

東京都国分寺市

多摩蘭坂遺跡 IV

TA MA RAN ZAKA SITE

—東京建物株式会社共同住宅建設に伴う事前調査—

2003年3月

国分寺市遺跡調査会



多摩蘭板遺跡 第8地点遠景(北東から)



第1文化層(X層)B区出土石器

序

国分寺崖線に沿って流れる野川の上流域は、南関東地方における後期旧石器時代の研究にあたり重要な位置を占めてきた。それは、10層の文化層が確認された野川遺跡（小金井市）における石器群の編年研究の結果「野川の以前と以後」と称されているフィールドの地域でもあるが、武蔵野台地における古い段階の石器を出土した武蔵台遺跡（府中市）や、日本における旧石器時代遺跡がはじめて確認された岩宿遺跡（群馬県）の発掘より以前に関東ローム層中から石器が出土することが知られていた熊ノ郷・殿ヶ谷戸遺跡（国分寺市）の存在によって広く考古学界に知られている地域でもある。

この度、発掘調査が実施された多摩蘭坂遺跡も、1977年の発掘以来、旧石器時代研究の重要な資料が検出された地点として注目されてきた。2001年11月から2002年2月にかけて実施された第8次調査の結果、とくに、Xc層からIXb層にかけて見出された第1文化層はきわめて注目すべきものであった。緑色凝灰岩、ホルンフェルスを原材として用いた「斧形石器」は、大形（約25cm）と中形（約15cm）の石器が発掘されたことは特筆されるであろう。

多摩蘭坂遺跡において検出された第1文化層は、武蔵野台地における立川ローム層中のX層に該当する時期のものであり、現在のところ、わが国における最も遡る時期に比定される旧石器時代の遺跡であると言える。

日本における旧石器時代の上限問題をめぐって議論されている考古学界の状況に鑑みて、本書の有する学術的意義は高く評価されるであろう。このような成果を挙ることが出来たのも発掘調査にご協力頂いた各位のご芳情の賜物であり、厚く御礼申し上げる次第である。

2003年3月

国分寺遺跡調査会

会長 坂 詰 秀 一

例 言

1. 本書は国分寺市№7遺跡（多摩蘭坂遺跡）の一部に相当する東京建物株式会社マンション建設に伴い調査された多摩蘭坂遺跡第8次調査(略称K7-8)の成果を掲載した発掘調査報告書である。第1次調査(略称K7-1)の成果は1980年に報告済である(安孫子・堀井他1980)。第3・4・6次調査(略称K7-3・4・6)の成果は1997年に報告済である(井上他1997)。第5次調査(略称K7-5)の成果は1999年に報告済である(上敷領1999)。
2. 発掘調査および調査報告書作成に係わる費用は株式会社岡三リピックが負担した。平成13年11月12日付けで締結した委託契約に基づき、国分寺市遺跡調査会が事業を実施した。
3. 遺跡所在地 第8次調査(第8地点) 国分寺市内藤1丁目2・3番地
4. 発掘調査期間 平成13年11月19日～平成14年2月28日(61日間)
5. 整理期間 平成14年3月1日～平成15年3月25日
6. 発掘調査は、上村昌男・桂弘美が担当した。
7. 発掘調査に伴う土木作業や労務については株式会社岡三リピックより提供を受ける。
8. 本書の編集は吉田格団長の指導の下に中村真理が担当し、上村昌男、上敷領久が補佐した。
9. 本書の執筆は、第1章 第1節、同 第2節(1)・(2)、同 第3節、同 第4節を上村昌男、第1章 第2節(3)、第Ⅱ章、第Ⅲ章を中村真理が行った。
10. 石器の器種分類、石材分類は、中村真理が担当し、遺物の実測・トレースは中村雄紀・森先一貴・長井謙治・中村真理(以上東京大学大学院生)が行った。
11. 本書の挿図・表等の作成は桂弘美が担当した。
12. 遺構写真は株式会社岡三リピックが撮影し、遺物写真は上村昌男が撮影した。
13. 基礎整理における、遺物の水洗い・注記・接合・測定は伊藤直子・勝俣史佐子・水谷のり子・田村育子・柴田憲子・塩田七重が行った。
14. 調査はトータルステーションによる遺物上げとパソコンによるデータ処理によって、作業の効率化を図り、データ処理・台帳作成ではマイクロソフト社「エクセル98」、図版作成には、(株)こうそく「リプログラフ」、アドビー社「イラストレーター8」の各ソフトを用いた。
15. 本遺跡の出土遺物、調査記録、データは国分寺市教育委員会が保管している。
16. 発掘調査から報告書作成に至る過程で次の方々からご教示、ご協力をいただいた。記して感謝いたします。
(敬称略)
阿部 敬 安斎正人 飯田茂雄 出穂雅実 宇井義典 内田 仁 大谷 薫 大沼克彦 亀田直美
川島雅人 北森梨恵子 国武貞克 熊林佑允 小菅将夫 坂梨夏代 酒巻孝夫 佐藤宏之 佐藤雅一
杉山真二 砂田佳弘 諏訪間順 早田 勉 高杉尚宏 高橋一史 橋 昌信 堤 隆 仲田大人
西井幸雄 野口 淳 藤木 聡 藤本 強 松本 茂 村木 敬 矢田美知子 山岡拓也 山崎芳春
山田 哲 山本 克 米倉 薫 米田 寛
17. 発掘調査参加者(順不同)
船木孝史 三ッ木直樹 畑山 豊 吉本敏夫 高田満雄 野田定男 角田勇作 伏見富重 相沢利一
佐藤博一 山下映子 穴沢由雄 山崎 誠 山崎留桜美 佐藤貢悟 白井政幸 高橋尚隆 鳥居秋夫
柴田美子 久米尊子 河内豊明 衣田樹彦 須賀きみ子 安藤康文 須山良吉 谷本 光 鈴木美香

下島武徳 勝又真里夫 佐伯幸夫 江頭利秋 関口和宏 白井 新 畑川幸徳 近藤雅之 竹下こずえ
林 謙介 (株)岡三リビング (堀苑孝志 高野雅浩 相原正人)

凡 例

1. 本書で使用した地図は、国土地理院発行1:25,000地形図「立川」であり、それ以外の地図は国分寺市遺跡調査会資料と現地測量によって作成したものである。
2. 図面に使用した方位は座標北を示す。
3. 遺構、遺物の実測図の縮尺は下記に示すものを基本としており、その都度、スケールバーを各図面の下に示している。
遺構 全体図1/1000、1/200、
遺物・母岩別資料・ブロック別資料1/80
礫群実測図1/40
遺物 石器・接合資料3/4
斧形石器素材・礫塊石器1/2
4. 基本層位の区分は、発掘調査時において国分寺遺跡調査会で統一した層位区分にしたがったが、本報告では、遺跡の主体が旧石器時代であることから、周辺遺跡における堆積状況との整合性を持たせるため、国分寺の層位区分を野川流域の立川ローム層の堆積に対比している。
5. 旧石器時代の報告は下層の第1文化層から上層の第4文化層へと順に行っている。
6. 石材の略号は以下のとおりである。
Ch:チャート Ob:黒曜石 Sa:砂岩 Sh:頁岩 SSh:珪質頁岩 BSh:黒色頁岩
An:安山岩 Ho:ホルンフェルス Tu:凝灰岩 GTu:緑色凝灰岩 Db:輝緑岩
7. ブロック別遺物分布図における石器器種の凡例は次頁の石器器種別記号表に示した。なお、母岩別資料分布図の凡例については、その都度示した。
8. 写真図版の縮尺は、約1/2である。また、写真図版の遺物番号は、実測図におけるそれと対応している。
9. 礫を除く出土石器全点について、その属性を巻末の石器観察表に示した。そこでの石器法量の単位は、長さ・幅・厚さ(mm)、重量(g)である。
10. 石器の計測は実測図の置き方に準じた。実測図を掲載していない石核・剥片等については最終剥離面の打点を起点とし、加撃軸方向の長さを「長さ」、「長さ」に対し直行する方向の長さを「幅」、さらに「長さ」・「幅」に対して垂直におろした長さを「厚さ」として計測した。
11. 本調査会では、遺構の発見順に遺構登録番号を付しており、その略称は次のとおりである。
ST:ブロック SR:礫群 SKP:土坑 SC:炭化物集中
このため、多摩蘭坂遺跡の第1地点から第8地点までの遺構には、連続した登録番号が与えられている。本報告書においては、旧石器時代のブロック番号、礫群番号について、文化層ごとに1番からの連続番号を付して記述しているが、付与されている遺構登録番号は次頁の遺構別遺構No対比表のようにになっている。なお、第1地点から第7地点までの登録番号も簡潔に示した。

<遺構別遺構No.対比表>

第1地点	S T	1~24
第2地点	S T	25~29
第3地点	S T	30, 31, 116
第4地点	S T	32~57
第5地点	S T	58~81
第6地点	S T	115
第7地点	S T	82~88

第1地点	S R	1~33
第2地点	S R	34~45, 133, 134
第3地点	S R	46, 135, 136
第4地点	S R	47~68
第5地点	S R	69~81
第6地点	S R	—
第7地点	S R	82~86

第8地点 (本報告書調査地点)

第4文化層

ブロック	1	2	3	4	5	6
S T No.	95	96	89	91	97	98

礫群	1	2	3	4	5	6
S R No.	87	88	89	90	130	129

第3文化層

ブロック	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
S T No.	99	90	100	101	93	102	103	105	106	104	92	107	94

礫群	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
S R No.	113	118	114	93	109	95	94	92	131	96	116	115	97	98	99	110	100	101	103	104
礫群	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
S R No.	91	102	123	132	124	127	126	128	125	111	121	112	122	105	120	119	108	117	106	107

第1文化層

ブロック	1	2	3	4	5	6	7
S T No.	108	109	110	111	112	113	114

<石器器種別記号表>

ナイフ形石器 ▲	台形様石器 ◇	基部加工石器 +	尖頭器 ⇩
楔形石器 ☆	スクレイパー ★	ノッチ ㄣ	錐形石器 □
部分加工剥片 ▲	使用痕剥片 ×	鋸歯縁石器 ㄣ	石核 ■
石刃 △	剥片 •	碎片 •	斧形石器 ▽
斧形石器素材 ▼	礫器 ◆	敲石 ◆	台石 ㊦
調整剥片 ㄩ			

本文目次

序

例言

凡例

本文目次・挿図目次・表目次・写真図版目次

第I章 調査の概要

第1節 調査に至る経緯	1
第2節 調査の方法	3
(1) 概要	3
(2) 調査の方法	3
(3) 整理の方法	3
第3節 調査経過	5
第4節 基本層位	8

第II章 遺跡の立地

第1節 遺跡の位置と地理的環境	12
第2節 多摩蘭坂遺跡の概要と周辺の遺跡	14

第III章 旧石器時代の調査

第1節 概要	18
第2節 第1文化層	21
(1) 出土状況	21
1. A区	22
2. B区	23
3. C区	24
(2) 出土遺物	24
1. A区	24
2. B区	29
3. C区	32
(3) 接合資料	32
1. A区	32
2. B区	35
第3節 第2文化層	100
(1) 出土状況	100
1. A区	100
2. F区	100
(2) 出土遺物	100

1. F区	100
第4節 第3文化層	103
(1) 出土状況	103
1. A区	104
2. B区	105
3. C区	106
4. D区	106
5. F区	107
(2) 出土遺物	107
1. A区	107
2. B区	109
3. C区	111
4. D区	111
5. F区	111
(3) 接合資料	112
1. A区	112
2. B区	113
3. F区	113
第5節 第4文化層	159
(1) 出土状況	159
1. A区	160
2. B区	160
3. D区	161
(2) 出土遺物	161
1. A区	161
2. B区	162
3. D区	164
(3) 接合資料	164
1. A区	164
2. B区	164
第6節 小結	187
第IV章 総括	197
引用文献	
石器観察表	
報告書抄録	
写真図版	

挿 図 目 次

<第I章>	
第1図 調査区分・発掘深度図 ……………	4
第2図 基本土層柱状図 ……………	8
第3図 A区土層断面図 ……………	9
第4図 B・D区土層断面図 ……………	10
第5図 C・F・G区土層断面図 ……………	11
<第II章>	
第6図 調査位置図 ……………	12
第7図 武蔵野台地と遺跡の位置 ……………	13
第8図 多摩蘭坂遺跡と周辺遺跡 ……………	16
<第III章>	
第9図 A・E区 炭化物出土図 ……………	19
第10図 第1文化層 石材別重量グラフ ……………	21
第11図 第1文化層 A区 石材別重量グラフ ……	22
第12図 第1文化層 B区 石材別重量グラフ ……	23
第13図 第1文化層 礫・石器分布図 ……………	38
第14図 第1文化層 A区 ブロック概念図 ……	39
第15図 第1文化層 B・C区 ブロック概念図 ……………	40
第16図 第1文化層 ブロック別遺物分布図 (1) ……………	41
第17図 第1文化層 ブロック別遺物分布図 (2) ……………	43
第18図 第1文化層 ブロック別遺物分布図 (3) ……………	44
第19図 第1文化層 ブロック別遺物分布図 (4) ……………	45
第20図 第1文化層 ブロック別遺物分布図 (5) ……………	46
第21図 第1文化層 ブロック別遺物分布図 (6) ……………	47
第22図 第1文化層 母岩別資料分布図 (1) ……	48
第23図 第1文化層 母岩別資料分布図 (2) ……	49
第24図 第1文化層 母岩別資料分布図 (3) ……	50
第25図 第1文化層 母岩別資料分布図 (4) ……	51
第26図 第1文化層 母岩別資料分布図 (5) ……	52
第27図 第1文化層 母岩別資料分布図 (6) ……	53
第28図 第1文化層 母岩別資料分布図 (7) ……	54
第29図 第1文化層 母岩別資料分布図 (8) ……	55
第30図 第1文化層 母岩別資料分布図 (9) ……	56
第31図 第1文化層 母岩別資料分布図 (10) ……	57
第32図 第1文化層 母岩別資料分布図 (11) ……	58
第33図 第1文化層 A区出土石器 (1) ……………	59
第34図 第1文化層 A区出土石器 (2) ……………	60
第35図 第1文化層 A区出土石器 (3) ……………	61
第36図 第1文化層 A区出土石器 (4) ……………	62
第37図 第1文化層 A区出土石器 (5) ……………	63
第38図 第1文化層 A区出土石器 (6) ……………	64
第39図 第1文化層 A区出土石器 (7) ……………	65
第40図 第1文化層 A区出土石器 (8) ……………	66
第41図 第1文化層 A区出土石器 (9) ……………	67
第42図 第1文化層 A区出土石器 (10) ………	68
第43図 第1文化層 A区出土石器 (11) ………	69
第44図 第1文化層 A区出土石器 (12) ………	70
第45図 第1文化層 A区出土石器 (13) ………	71
第46図 第1文化層 A区出土石器 (14) ………	72
第47図 第1文化層 A区出土石器 (15) ………	73
第48図 第1文化層 B区出土石器 (1) ……………	74
第49図 第1文化層 B区出土石器 (2) ……………	75
第50図 第1文化層 B区出土石器 (3) ……………	76
第51図 第1文化層 B・C区出土石器 ……………	77
第52図 第1文化層 A区接合資料 (1) ……………	78
第53図 第1文化層 A区接合資料 (2) ……………	79
第54図 第1文化層 A区接合資料 (3) ……………	80
第55図 第1文化層 A区接合資料 (4) ……………	81
第56図 第1文化層 A区接合資料 (5) ……………	82
第57図 第1文化層 A区接合資料 (6) ……………	83
第58図 第1文化層 A区接合資料 (7) ……………	84
第59図 第1文化層 A区接合資料 (8) ……………	85
第60図 第1文化層 A区接合資料 (9) ……………	86

第61図	第1文化層	A区接合資料 (10)	……	87	第89図	第3文化層	ブロック別遺物分布図 (4)	……	124
第62図	第1文化層	A区接合資料 (11)	……	88	第90図	第3文化層	ブロック別遺物分布図 (5)	……	125
第63図	第1文化層	A区接合資料 (12)	……	89	第91図	第3文化層	ブロック別遺物分布図 (6)	……	126
第64図	第1文化層	A区接合資料 (13)	……	90	第92図	第3文化層	ブロック別遺物分布図 (7)	……	127
第65図	第1文化層	A区接合資料 (14)	……	91	第93図	第3文化層	母岩別資料分布図 (1) …	128	
第66図	第1文化層	A区接合資料 (15)	……	92	第94図	第3文化層	母岩別資料分布図 (2) …	129	
第67図	第1文化層	A区接合資料 (16)	……	93	第95図	第3文化層	母岩別資料分布図 (3) …	130	
第68図	第1文化層	A区接合資料 (17)	……	94	第96図	第3文化層	母岩別資料分布図 (4) …	131	
第69図	第1文化層	A区接合資料 (18)	……	95	第97図	第3文化層	母岩別資料分布図 (5) …	132	
第70図	第1文化層	A区接合資料 (19)	……	96	第98図	第3文化層	礫群実測図 (1) …	133	
第71図	第1文化層	A・B区接合資料	……	97	第99図	第3文化層	礫群実測図 (2) …	134	
第72図	第1文化層	B区接合資料 (1)	……	98	第100図	第3文化層	礫群実測図 (3) …	135	
第73図	第1文化層	B区接合資料 (2)	……	99	第101図	第3文化層	礫群実測図 (4) …	136	
第74図	第2文化層	礫・石器分布図	……	101	第102図	第3文化層	礫群実測図 (5) …	137	
第75図	第2文化層	F区出土石器	……	102	第103図	第3文化層	礫群実測図 (6) …	138	
第76図	第3文化層	石材別重量グラフ	……	103	第104図	第3文化層	礫群実測図 (7) …	139	
第77図	第3文化層	A区 石材別重量グラフ	……	104	第105図	第3文化層	礫群実測図 (8) …	140	
第78図	第3文化層	B区 石材別重量グラフ	……	105	第106図	第3文化層	礫群実測図 (9) …	141	
第79図	第3文化層	D区 石材別重量グラフ	……	106	第107図	第3文化層	礫群実測図 (10) …	142	
第80図	第3文化層	F区 石材別重量グラフ	……	107	第108図	第3文化層	礫群実測図 (11) …	143	
第81図	第3文化層	礫・石器分布図	……	116	第109図	第3文化層	礫群実測図 (12) …	144	
第82図	第3文化層	A・C・F区 ブロック概念図	……	117	第110図	第3文化層	礫群実測図 (13) …	145	
第83図	第3文化層	B・D区 ブロック概念図	……	118	第111図	第3文化層	礫群実測図 (14) …	146	
第84図	第3文化層	A・C・F区 礫群概念図	……	119	第112図	第3文化層	礫群実測図 (15) …	147	
第85図	第3文化層	B・D区 礫群概念図 …	120	第113図	第3文化層	A区出土石器 (1) …	148		
第86図	第3文化層	ブロック別遺物分布図 (1)	……	121	第114図	第3文化層	A区出土石器 (2) …	149	
第87図	第3文化層	ブロック別遺物分布図 (2)	……	122	第115図	第3文化層	A区出土石器 (3) …	150	
第88図	第3文化層	ブロック別遺物分布図 (3)	……	123	第116図	第3文化層	A区出土石器 (4) …	151	
					第117図	第3文化層	B区出土石器 (1) …	152	
					第118図	第3文化層	B区出土石器 (2) …	153	
					第119図	第3文化層	C・D・F区出土石器	……	154
					第120図	第3文化層	A区接合資料 (1) …	155	
					第121図	第3文化層	A区接合資料 (2) …	156	

第122図	第3文化層	A区接合資料(3)	157	第135図	第4文化層	母岩別資料分布図(1)	174
第123図	第3文化層	A・B・F区接合資料	158	第136図	第4文化層	母岩別資料分布図(2)	175
第124図	第4文化層	石材別重量グラフ	159	第137図	第4文化層	母岩別資料分布図(3)	176
第125図	第4文化層	A区 石材別重量グラフ	160	第138図	第4文化層	礫群実測図(1)	177
第126図	第4文化層	B区 石材別重量グラフ	161	第139図	第4文化層	礫群実測図(2)	178
第127図	第4文化層	礫・石器分布図	166	第140図	第4文化層	礫群実測図(3)	179
第128図	第4文化層	A区 ブロック概念図	167	第141図	第4文化層	A区出土石器	180
第129図	第4文化層	B・D区 ブロック概念図	168	第142図	第4文化層	B区出土石器(1)	181
第130図	第4文化層	A区 礫群概念図	169	第143図	第4文化層	B区出土石器(2)	182
第131図	第4文化層	B・D区 礫群概念図	170	第144図	第4文化層	B区出土石器(3)	183
第132図	第4文化層	ブロック別遺物分布図(1)	171	第145図	第4文化層	D区石器出土平断面図	184
第133図	第4文化層	ブロック別遺物分布図(2)	172	第146図	第4文化層	A・B区接合資料	185
第134図	第4文化層	ブロック別遺物分布図(3)	173	第147図	第4文化層	B区接合資料	186
				第148図		多摩蘭坂遺跡の発掘区と周辺地形	187
				第149図	第5地点第1文化層	出土石器	190
				第150図	第5地点出土	斧形石器	192
				第151図	第8地点出土	斧形石器	193
				第152図	第8地点出土	主要石器一覧	196

表 目 次

<p>表1 発掘作業工程表 7</p> <p>表2 多摩蘭坂遺跡の調査一覧 15</p> <p>表3 文化層別器種組成表 20</p> <p>表4 文化層別石材組成表 20</p> <p>表5 第1文化層 石材組成重量表 21</p> <p>表6 第1文化層 母岩別器種一覧表 36</p> <p>表7 第1文化層 母岩別器種一覧表 (1号ブロック) 36</p> <p>表8 第1文化層 母岩別器種一覧表 (2号ブロック) 36</p> <p>表9 第1文化層 母岩別器種一覧表 (3号ブロック) 37</p> <p>表10 第1文化層 母岩別器種一覧表 (4号ブロック) 37</p> <p>表11 第1文化層 母岩別器種一覧表 (5号ブロック) 37</p> <p>表12 第1文化層 母岩別器種一覧表 (6号ブロック) 37</p> <p>表13 第1文化層 母岩別器種一覧表 (7号ブロック) 37</p> <p>表14 第1文化層 母岩別器種一覧表 (ブロック外) 37</p> <p>表15 第3文化層 石材組成重量表 103</p> <p>表16 第3文化層 母岩別器種一覧表 114</p> <p>表17 第3文化層 母岩別器種一覧表 (1号ブロック) 114</p> <p>表18 第3文化層 母岩別器種一覧表 (2号ブロック) 114</p> <p>表19 第3文化層 母岩別器種一覧表 (3号ブロック) 114</p> <p>表20 第3文化層 母岩別器種一覧表 (4号ブロック) 114</p> <p>表21 第3文化層 母岩別器種一覧表 (5号ブロック) 115</p> <p>表22 第3文化層 母岩別器種一覧表 (6号ブロック) 115</p>	<p>表23 第3文化層 母岩別器種一覧表 (7号ブロック) 115</p> <p>表24 第3文化層 母岩別器種一覧表 (8号ブロック) 115</p> <p>表25 第3文化層 母岩別器種一覧表 (9号ブロック) 115</p> <p>表26 第3文化層 母岩別器種一覧表 (10号ブロック) 115</p> <p>表27 第3文化層 母岩別器種一覧表 (11号ブロック) 115</p> <p>表28 第3文化層 母岩別器種一覧表 (12号ブロック) 115</p> <p>表29 第3文化層 母岩別器種一覧表 (13号ブロック) 115</p> <p>表30 第3文化層 母岩別器種一覧表 (ブロック外) 115</p> <p>表31 第4文化層 石材組成重量表 159</p> <p>表32 第4文化層 母岩別器種一覧表 165</p> <p>表33 第4文化層 母岩別器種一覧表 (1号ブロック) 165</p> <p>表34 第4文化層 母岩別器種一覧表 (2号ブロック) 165</p> <p>表35 第4文化層 母岩別器種一覧表 (3号ブロック) 165</p> <p>表36 第4文化層 母岩別器種一覧表 (4号ブロック) 165</p> <p>表37 第4文化層 母岩別器種一覧表 (5号ブロック) 165</p> <p>表38 第4文化層 母岩別器種一覧表 (6号ブロック) 165</p> <p>表39~43 第1文化層 石器観察表 200~204</p> <p>表44 第2文化層 石器観察表 205</p> <p>表45~50 第3文化層 石器観察表 205~210</p> <p>表51・52 第4文化層 石器観察表 211~212</p>
--	--

写真図版目次

- 図版1 多摩蘭坂遺跡 近景 (西から)
A区 近景 (南から)
A区発掘作業風景
B区発掘作業風景
F区西壁 土層層序 (東から)
A区第1文化層 遺物出土状況 (南から)
A区第1文化層 土層層序および遺物
出土状況 (北から)
A区第1文化層 遺物出土状況 (西から)
- 図版2 A区第1文化層 遺物出土状況 (南から)
B区第1文化層 遺物出土状況 (北から)
B区第1文化層 遺物出土状況 (東から)
C区第1文化層 遺物出土状況 (北から)
A区炭化物集中2 (西から)
A区第3文化層 6・7号礫群
出土状況 (東から)
A区第3文化層 13号礫群 出土状況
(東から)
B区第3文化層 33号礫群 出土状況
(南から)
- 図版3 B区第3文化層 37号礫群 出土状況
(南から)
B区第3文化層 30号礫群 出土状況
(東から)
B区第3文化層 31号礫群 出土状況
(南から)
D区第3文化層 13号ブロック 出土状況
(東から)
D区第3文化層 28号礫群 出土状況
(南から)
A区第4文化層 1~3号礫群 出土状況
(西から)
- B区第4文化層 出土状況 (北から)
D区第4文化層 尖頭器出土状況 (東から)
- 図版4 第1文化層A区出土石器 (1)
図版5 第1文化層A区出土石器 (2)
図版6 第1文化層A区出土石器 (3)
図版7 第1文化層A区出土石器 (4)
図版8 第1文化層A区出土石器 (5)
図版9 第1文化層A区出土石器 (6)
図版10 第1文化層A区出土石器 (7)
第1文化層B区出土石器 (1)
図版11 第1文化層B区出土石器 (2)
図版12 第1文化層C区出土石器
第1文化層A区接合資料 (1)
図版13 第1文化層A区接合資料 (2)
図版14 第1文化層A区接合資料 (3)
図版15 第1文化層B区接合資料
第2文化層F区出土石器
図版16 第3文化層A区出土石器 (1)
図版17 第3文化層A区出土石器 (2)
図版18 第3文化層B区出土石器
第3文化層C区出土石器
第3文化層D区出土石器
図版19 第3文化層F区出土石器
第3文化層A区接合資料
第3文化層B区接合資料
図版20 第3文化層F区接合資料
第4文化層A区出土石器
第4文化層B区出土石器 (1)
図版21 第4文化層B区出土石器 (2)
第4文化層D区出土石器
第4文化層A区接合資料
第4文化層B区接合資料

第 I 章 調査の概要

第 1 節 調査に至る経緯

東京建物株式会社より平成13年8月31日付国教社文第236号にて、内藤1丁目2・3番地においてマンション建設を行う旨、文化財保護法に基づく文化庁長官宛届出が国分寺市教育委員会を經由して提出された。敷地面積6,931.18㎡に対しマンション建設予定面積2,930㎡で、その他として立体式駐車場、提供公園、歩道設置部分が含まれる工事計画である。

当該地は多摩蘭坂遺跡に位置し、昭和56年に共同住宅建設（2棟）に伴う事前発掘調査を行っており、その際、旧石器時代の礫群やユニットが発見されている（実川1986）。また、周辺における状況から、分布密度はやや薄いものの古墳時代の横穴墓、縄文時代の陥穴土坑と小穴等が検出されている。そのためすでに発掘調査をしている既存の建物2棟、敷地内の進入道路、浄化槽部分、都道擁壁部分を除き、建設計画の掘削深度までを歴史・縄文時代と旧石器時代の調査対象とした。また、敷地が国分寺崖線上の縁辺部にあり、既存の樹木の保存や移転等も検討され、崖線の自然保護の観点から敷地内の大半の樹木を残し、調査範囲が決められた。

本調査については、工事の作業工程上、都道に面している北側を平成13年12月末日まで、残りの調査区を平成14年2月末までに終了してほしいという届出人の要望があった。そのため調査区全域の土層の堆積状況や盛土状況を把握するため試掘坑を設定し、発掘調査に係わる作業員数や残土量を算出し、調査実施計画を作成した。

この実施計画をもとに現地調査についての協議が行われ、以下の内容で合意を得た。

- ① 発掘調査は、北側の建物部分、立体駐車場部分、南側の建物部分、提供公園部分の順に行う。試掘坑の状況により建物計画の範囲外の切り土部分についても調査の対象とする。
- ② 発掘調査の作業員及び整理作業の作業員と、発掘調査に必要な重機や保安柵、事務所、機材について事業主より提供を受ける。
- ③ 表土掘削時の残土は、敷地外に搬出する。
- ④ 遺物包含層の掘削や遺構の掘削で出る残土は、敷地内の残土集積場に仮置きし、調査の進行状況により敷地外に搬出する。
- ⑤ 発掘調査の基準点測量は事業主が行う。
- ⑥ 発掘調査により出土した遺物は、現地の事務所にて水洗い注記作業を行う。

なお、東京建物株式会社より発掘の土木工事や労務提供の委託を受けている株式会社岡三リビックと国分寺市遺跡調査会で委託契約を結び、調査会の指導により平成13年11月19日より現地調査に着手し、平成14年2月28日で現地調査が終了し引き続き室内整理作業に移行した。

(上村 昌男)

遺跡調査会構成員

(平成15年1月30日現在)

——役員および監事——

会 長	坂 詰 秀 一	国分寺市文化財保護審議会委員長
副 会 長	吉 田 格	調査団長
理 事	大 川 清	國土舘大学名誉教授
〃	星 野 信 夫	国分寺市長
〃	大 平 惠 吾	国分寺市教育委員会委員長
〃	野 村 武 郎	国分寺市教育委員会教育長
〃	藤 間 恭 助	元国分寺市文化財保護審議会委員
〃	星 野 亮 雅	元国分寺市社会教育委員
〃	本 多 寅太郎	国分寺市文化財保護審議会副委員長
〃	古 関 豊	国分寺市文化財保護審議会委員
〃	関 口 雄基臣	国分寺市文化財保護審議会委員
〃	北 原 進	国分寺市文化財保護審議会委員
〃	小 林 文 治	東京都教育庁生涯学習スポーツ部副参事(文化財担当)
〃	平 井 茂 樹	国分寺市教育委員会教育部長
監 事	榎 戸 潔	元国分寺市社会教育委員
〃	岡 崎 完 樹	東京都教育庁生涯学習スポーツ部計画課埋蔵文化財係長

——武蔵国分寺跡調査・研究指導委員会——

委 員 長	吉 田 格	(考 古)
委 員	坂 詰 秀 一	(〃)
〃	大 川 清	(〃)
〃	藤 井 惠 介	(建築史学) 東京大学大学院工学系研究科助教授
〃	佐 藤 信	(古代史学) 東京大学大学院人文社会系研究科教授

——事務局——

事務局長	伊 藤 正 蔵	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課長
事務局員	豊 泉 文 夫	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課文化財保護係長
〃	田 中 富美雄	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課文化財保護係員
〃	松 崎 亜希子	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課史跡係員
〃	稲 井 亮	国分寺市遺跡調査会

——調査団——

調査団長	吉 田 格	元国分寺市文化財保護審議会委員
主任調査員	福 田 信 夫	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課史跡係長
調 査 員	上 村 昌 男	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課史跡係員
〃	上敷領 久	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課史跡係員
〃	木 下 さおり	国分寺市遺跡調査会
〃	板 倉 歎 之	国分寺市遺跡調査会
〃	吉 田 好 孝	日本窯業史研究所
〃	吉 岡 秀 範	日本窯業史研究所

第2節 調査の方法

(1) 概要

平成13年11月19日より東京建物株式会社マンション建設に伴う埋蔵文化財発掘調査を開始した。本調査地区はその一部が昭和57年に第2地点(実川1986)として発掘調査されている。多摩蘭坂遺跡は、都道を挟み北に第1・4・6・7地点、南東に第3・5地点があり、第8地点はそれらのほぼ中央に位置していた。そのため本調査は、現表土面から各層までの深度や各時代の遺構のあり方などをほぼ把握した上で調査を開始することが可能であった。調査区はマンション建設部分(A・B・F区)、駐車場建設部分(D・E・G区)、公園施設部分(C区)に分かれている。建設工事による影響範囲、つまり掘削深度は各区や区内の各所によって異なるため調査もそれに応じたものとなった。各調査区とも近年の宅地造成工事や、建物の基礎、盛土などによってIX層にまで攪乱がおよぶ場所もあり、特に崖線側はV層(BBI)から上の土層堆積は良好ではなかった。ここでは発掘深度図にあわせて、IV層上部でプライマリーな堆積が残っていたライン、すなわち崖線沿いの削平に伴うIV層上部での落ちこみ線を示した(第1図)。

調査はまず、建築計画の進行上A区から始め、順次他の調査区へ移動していった。特にA区は建築予定されている建物の掘削深度が全体に深く、日程上すべての面積を調査することが困難なため、部分的に試掘坑を掘り遺構の広がりを見て掘削範囲を決めた。その結果、崖線側からX層の遺物が確認されたため、調査区南西部を拡張調査した。またIV層下部から予想をこえる量の礫群が出土したため、この層を調査区のほぼ全域に渡り調査した。他トレンチでは遺構・遺物の分布が予想されると思われる範囲を部分的に拡張していく方法で確認調査を行った。また調査区分と発掘深度は第1図で示した。

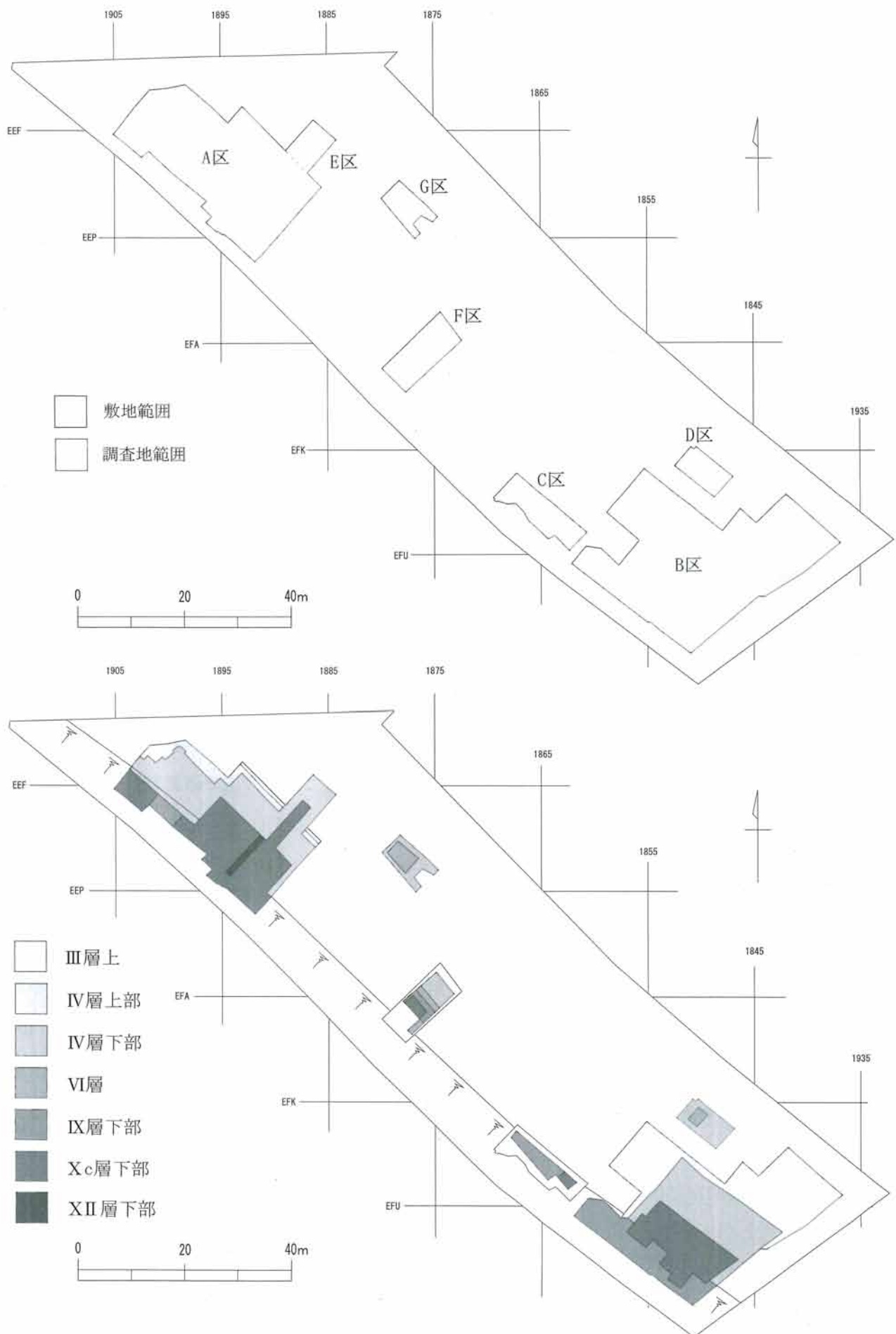
(2) 調査の方法

調査区の設定はグリット方式で行った。グリットは国分寺市の基準点($x=-30,000$ 、 $y=-30,000$ を原点)に基づく国家座標第9系を用いて設定した。グリットは $2\text{m} \times 2\text{m}$ を最小単位とし、x軸の東西ラインは 2m 毎にアルファベット3文字の組み合わせで表わしており、 100m 毎の大グリット、 50m 毎の中グリット、 2m 毎の小グリットに分割して、アルファベットを組み合わせている。y軸の南北ラインは $-30,000$ を0として数字で表示する。また、遺物の取り上げにおいてはトータルステーションを使用し全点出土位置を記録した。遺構(SR)の実測は $1/10$ 、断面図などは基本的に $1/20$ の縮尺で行った。

(3) 整理の方法

出土遺物について台帳を作成し、遺物全点の法量(長さ、幅、厚さ、重量)を計測した。そ

第I章 調査の概要



第1図 調査区分・発掘深度図

して、石器と礫に大別し、石器については器種別の分類、及び母岩別の分類を行った。母岩の分類はすべて肉眼観察によるものであり、判別可能なものに母岩名称を与え、判別不可能なものについては単体資料としている。接合作業は母岩別分類に基づいて行い、接合資料には剥離順序に従って、a, b, c・・・と記号を付していった。実測については、剥片石器、斧形石器関連資料、礫器については全点を対象とし、石核、剥片、敲石、台石、接合資料についてはその一部を対象とした。

遺物の平面的なまとまりについては、石器と礫の平面分布を個々に検討し、それぞれ「ブロック」、「礫群」と呼称した。特に石器については、接合関係や母岩別資料の共有関係を重視してブロックの分離・統合を行った。なお、両者にはそれぞれ国分寺市遺跡調査会の登録番号(S T、S R)が付されているが、報告書においては便宜上、文化層ごとに1番からの連続番号を付している。

以上をふまえ、第8地点の調査では、Xc層からIVa層の間に、遺物の層位的まとまりが見られたため、石器の接合関係や母岩別資料の共有関係による検討をし、4つの文化層を認定した。文化層の名称は、先行の多摩蘭坂遺跡の調査報告(安孫子・堀井他1980、井上他1997、上敷領1999)に準じ、下層位より第1文化層(X層)、第2文化層(VI層)、第3文化層(IV層下部)、第4文化層(IV層上部)と呼称した。そして、この設定に従い、文化層ごとに石器と礫の平面・垂直分布図を作成した。

なお、上記で観察された石器の属性については、巻末の石器観察表にまとめている。

第3節 調査経過

本調査の経過の概要は、次頁のとおりである。尚、各調査区の調査工程については、発掘作業工程表にまとめた(表1)。

平成13年11月19日、A区から重機による表土掘削を開始し、掘削の終了した所から縄文時代の調査を開始したが、遺構・遺物の発見に至らないため順次、旧石器時代の調査を開始した。平成14年2月28日調査終了。

調査対象面積は、1,773㎡である。近年の土地造成に伴う崖線の削平によって、V層(BBI)より上位の土層は一部失われていた。そのため上位の発掘区の形状や面積が、より下位の発掘区よりも狭まっている場合がある。詳細に示すと、旧石器時代の調査面積はIVb層(第4文化層下部)まではA区437.82㎡、B区336.45㎡、D区50.16㎡、F区49.21㎡、G区46.63㎡、合計920.27㎡。V層上部(第3文化層下部)まではA区516.2㎡、B区414.49㎡、C区12.95㎡、D区50.84㎡、F区49.21㎡、G区46.63㎡、合計1,090.24㎡。Xc層(第1文化層)まではA区284.24㎡、B区414.41㎡、C区6.1㎡、合計456.94㎡である。

〈調査状況〉

平成13年		平成14年	
11月19日	A区表土はぎ	1月7日	B区縄文時代調査終了
11月22日	A区縄文時代調査終了	1月10日	B区IV層遺物検出
11月29日	A区IV層礫群検出	1月31日	E区表土はぎ
12月18日	A区X層遺物検出	2月1日	F区表土はぎ
12月20日	A区南東部拡張	2月5日	F区ベルトコンベヤー設置
	B区表土はぎ	2月8日	E区調査終了
12月27日	年末後片づけ		D区表土はぎ
		2月12日	G区表土はぎ
		2月15日	C区表土はぎ
			B区X層遺物検出
		2月19日	G区調査終了
		2月21日	F区調査終了
		2月26日	C区調査終了
		2月27日	A区調査終了
		2月28日	B・D区調査終了
			後片づけ

調査日数は61日、調査延人数は土木委託1,749人である。出土遺構はブロック（S T）26基、礫群（S R）46基、遺物数量は石器969点、礫3,775点、合計4,744点にのぼり、コンテナ53箱を数える。

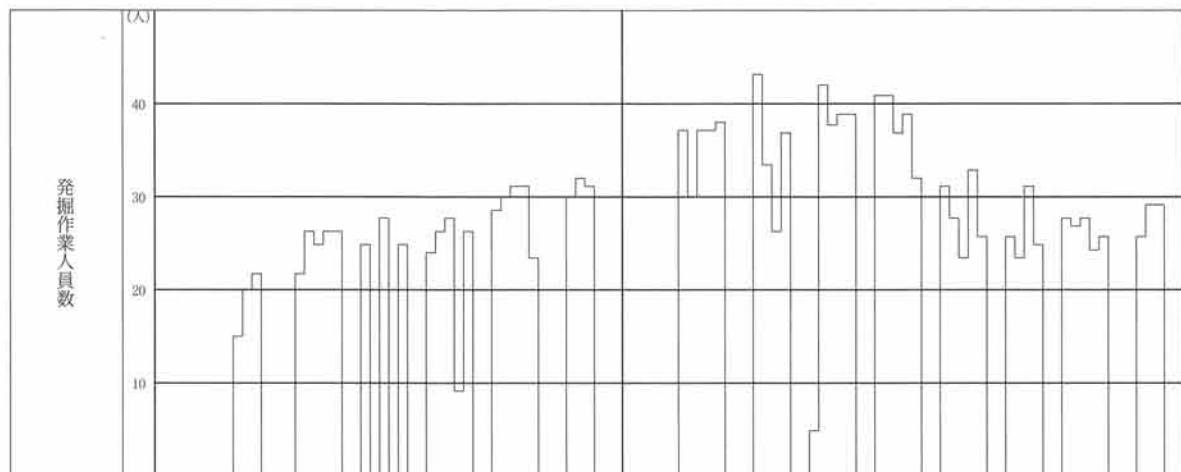
なお、整理作業は一部発掘調査と並行して行った。調査終了後、平成14年6月3日まで遺物の水洗い、注記、各種台帳の作成、図面整理等の基礎整理を行った。平成14年6月4日から平成15年1月23日まで母岩の分類や接合・遺物の実測・トレース・図版や表作成・遺物台帳修正・遺物写真撮影・原稿執筆等を行い、平成15年1月30日に原稿を入稿した。編集と校正は平成15年2月28日まで行った。

第4節 基本層位

本調査地区は武蔵野段丘上に位置し、武蔵野・立川ローム層、沖積層の順に堆積している。国分寺市内の土層堆積区分は武蔵国分寺跡周辺の調査による土層区分に基づき、歴史時代の遺

表1 発掘作業工程表

		平成13年				平成14年					
		11月		12月		1月		2月			
		20日	30日	10日	20日	30日	10日	20日	30日	10日	20日
A区	表土掘削										
	包含層掘削										
	遺構確認										
	遺構記録										
B区	表土掘削										
	包含層掘削										
	遺構確認										
	遺構記録										
C区	表土掘削										
	包含層掘削										
	遺構確認										
	遺構記録										
D区	表土掘削										
	包含層掘削										
	遺構確認										
	遺構記録										
E区	表土掘削										
	包含層掘削										
	遺構確認										
	遺構記録										
F区	表土掘削										
	包含層掘削										
	遺構確認										
	遺構記録										
G区	表土掘削										
	包含層掘削										
	遺構確認										
	遺構記録										
備考		調査開始				正月休					調査終了



構の検出面、遺物の出土層位をもとにして黒色土を二枚に細分し、II層が別に設定されている。そのため、ローム層の分層と層の呼称について、周辺地域で確認される一般的な立川ローム層の自然堆積区分とは異なっている。そこで、本報告では、他遺跡の立川ローム層の遺物出土と対比できるように、多摩蘭坂遺跡全体の基本層位を設定した(第2図)。

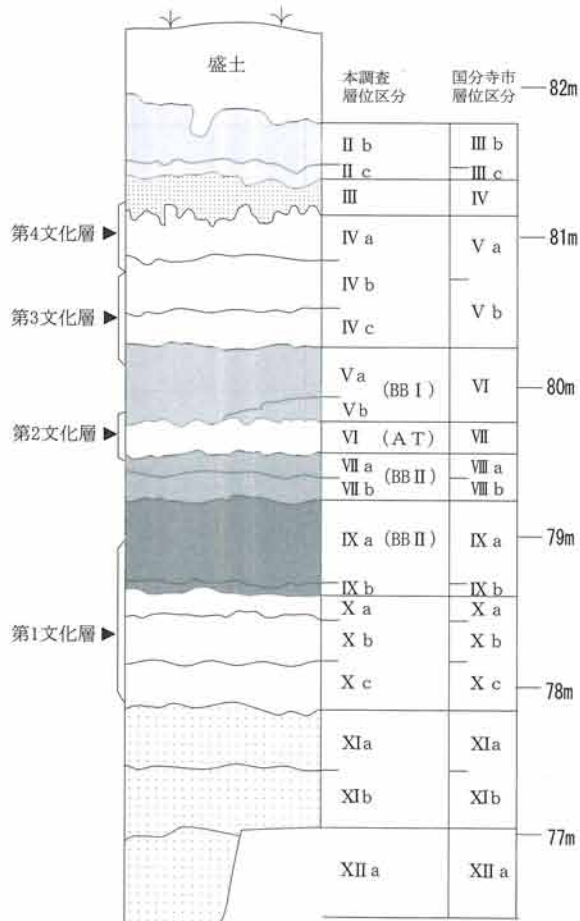
調査前の表土の堆積状況は、近年の土地造成に伴って崖線が雛壇上に削平された結果、北東から南西に向けて比較的急激な傾斜となっていた。特にA区では盛土が厚く、本調査の敷地範囲内における表土の標高差は、約3mもあった。また、最も標高の低かったB区の南側付近ではVI層(AT)が露出している部分があった。そのため、A・B・C区においてはV層(BBI)より上位の調査は遺物の出土がなくなった所を調査範囲とした。

一部分を除いては、立川ローム層は、ほぼ水平で安定した堆積状況であり、多摩蘭坂遺跡の他の地点の自然堆積状況にほぼ対応しているが、多摩蘭坂遺跡第4地点(井上他1997)で指摘されているようにIV層の堆積は遺跡ごとに厚さが異なる。したがって本調査地ではIV層の堆積状況が厚く、かつその下部において色調が暗く、V層(BBI)の影響を受けていると思われる層位(IVc層)を分け、IV層を3細分にした。

また、崖線側に近づくにつれV層(BBI)下部に粒子が粗く黒色が強い層(Vb層)が現れ、これを分けV層(BBI)を2細分にした。IXb層も同じく、崖線に近づくにつれ色調が灰褐色に変化し粘性を帯びた土になったが、2細分に分かれず、1層の色調の変化として捉えた(第3～5図)。

このような本遺跡の土層堆積の特徴から南西面の崖線側を調査した第5地点(上敷領1999)の土層堆積と非常に酷似していることがわかった。

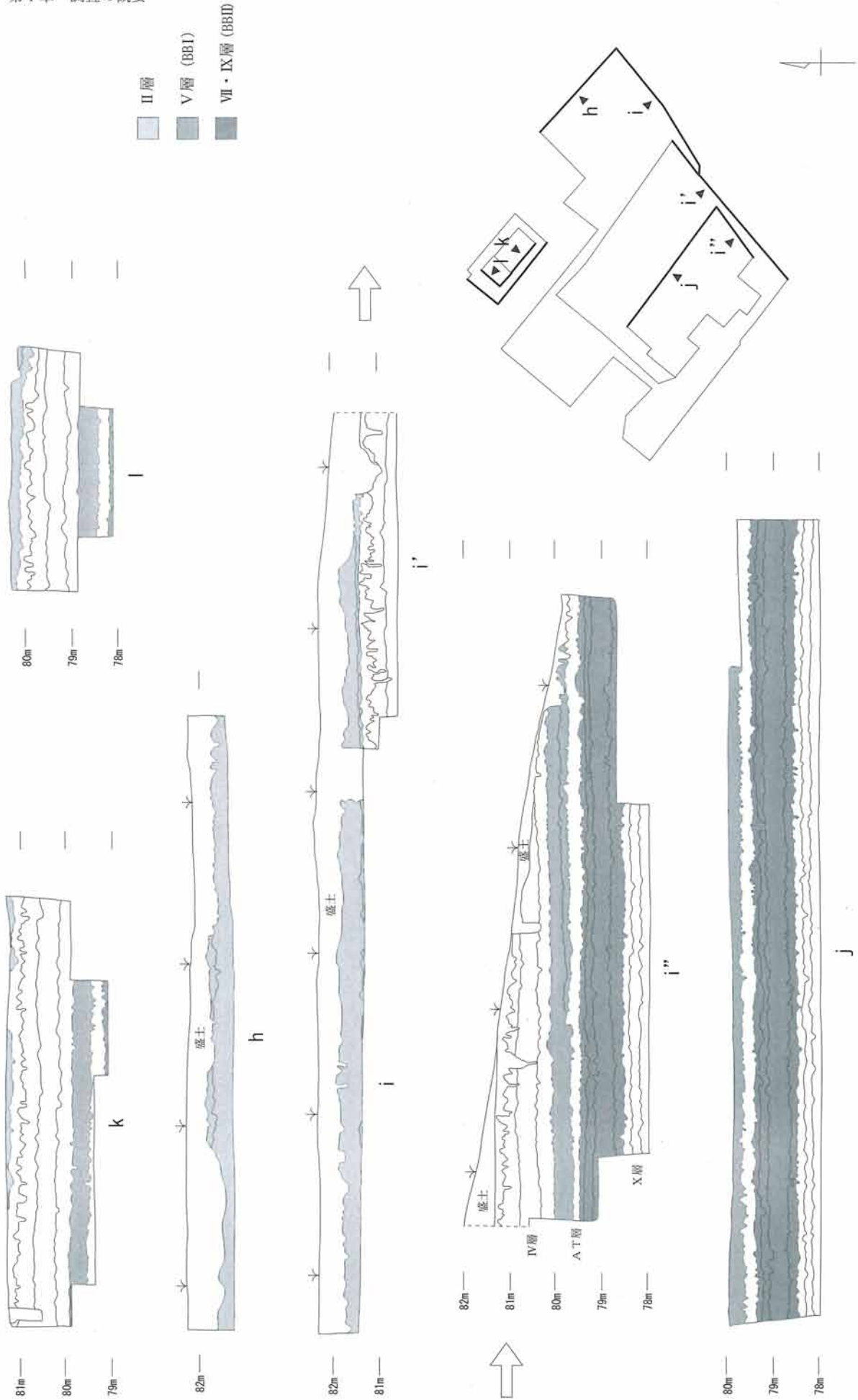
第2図に掲載した基本土層柱状図はA区の南壁を基準として作成した。



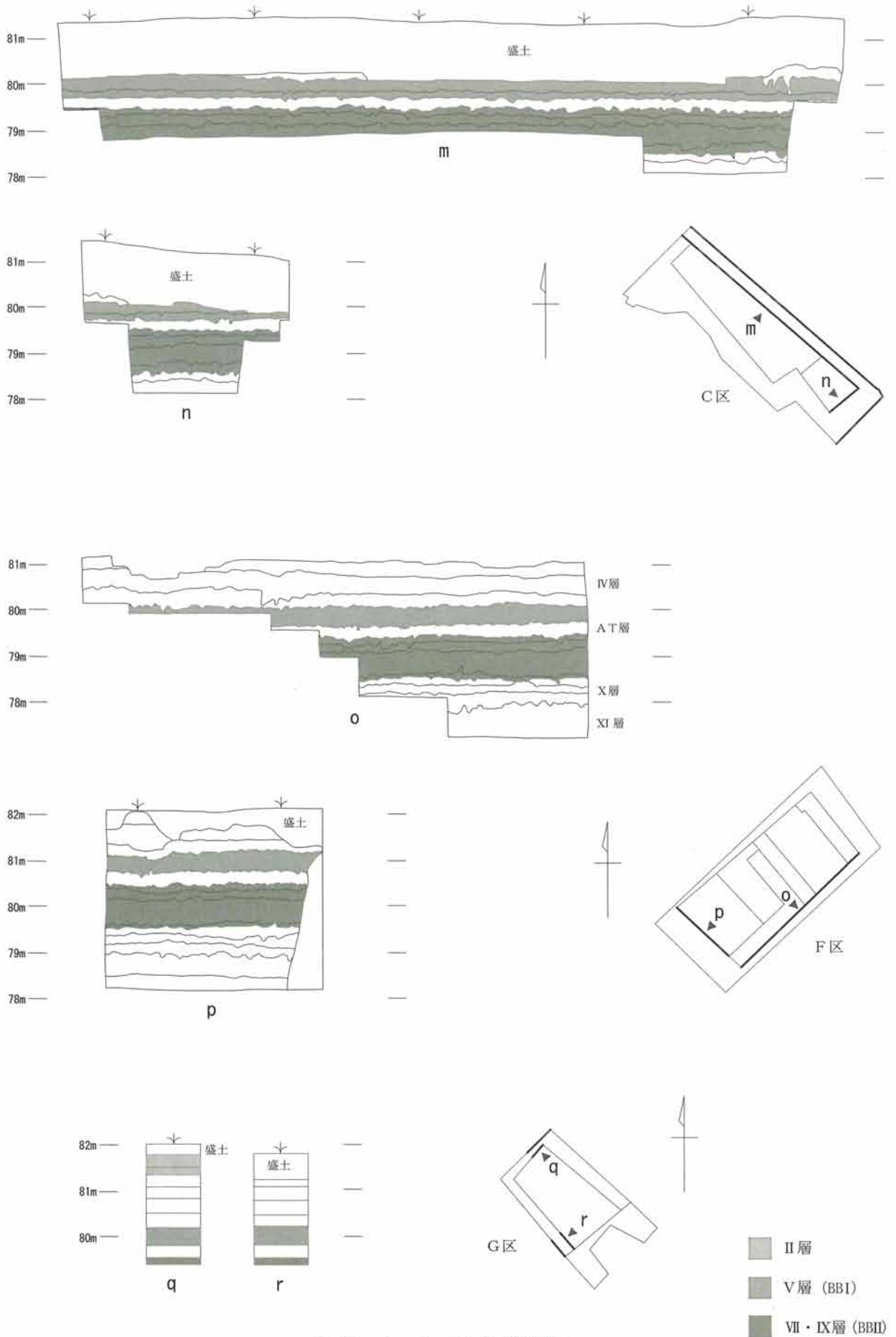
第2図 基本土層柱状図



第3圖 A区土層断面图



第4図 B・D区土層断面図

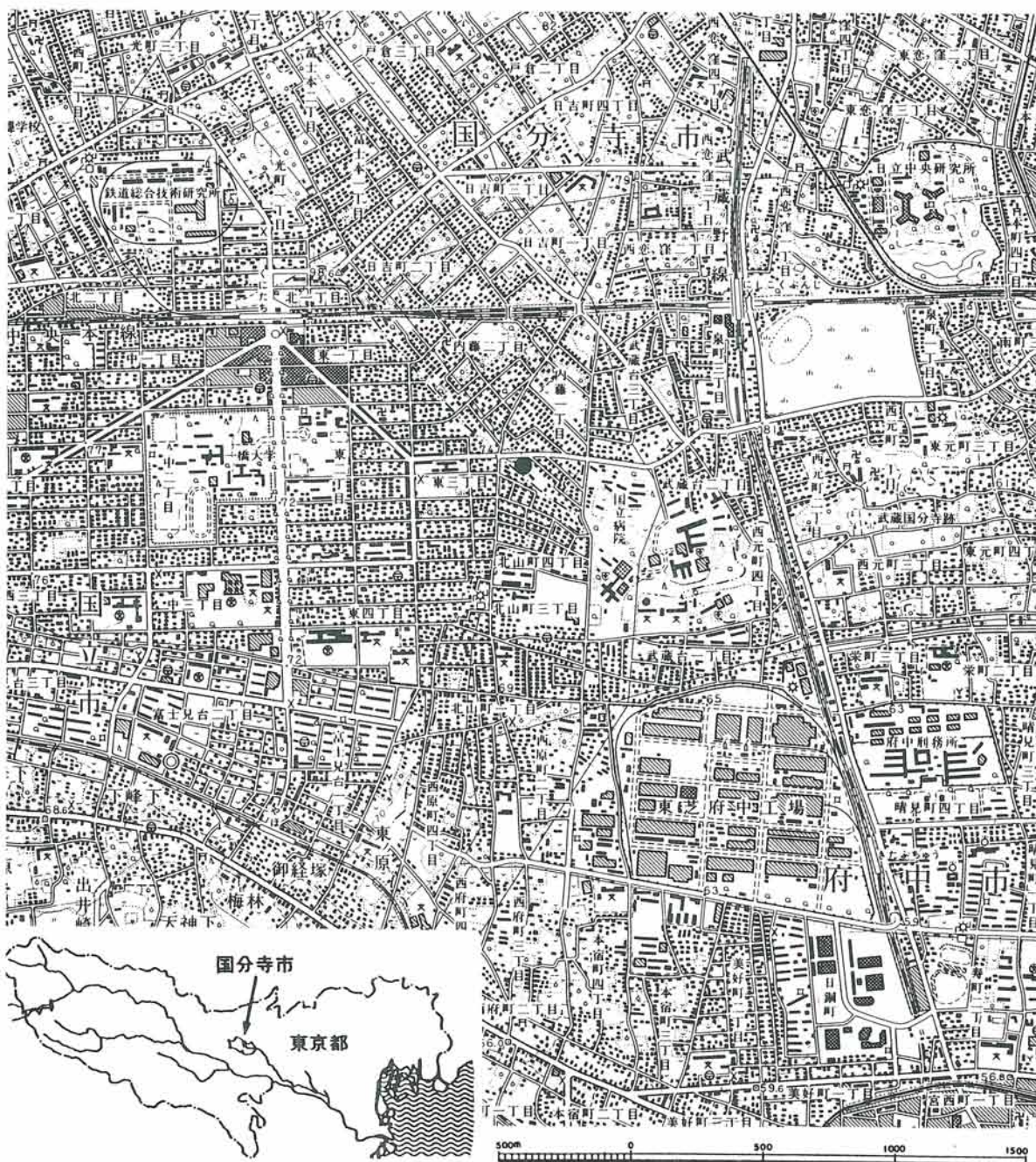


第5圖 C・F・G区土層断面图

第Ⅱ章 遺跡の立地

第1節 遺跡の位置と地理的環境

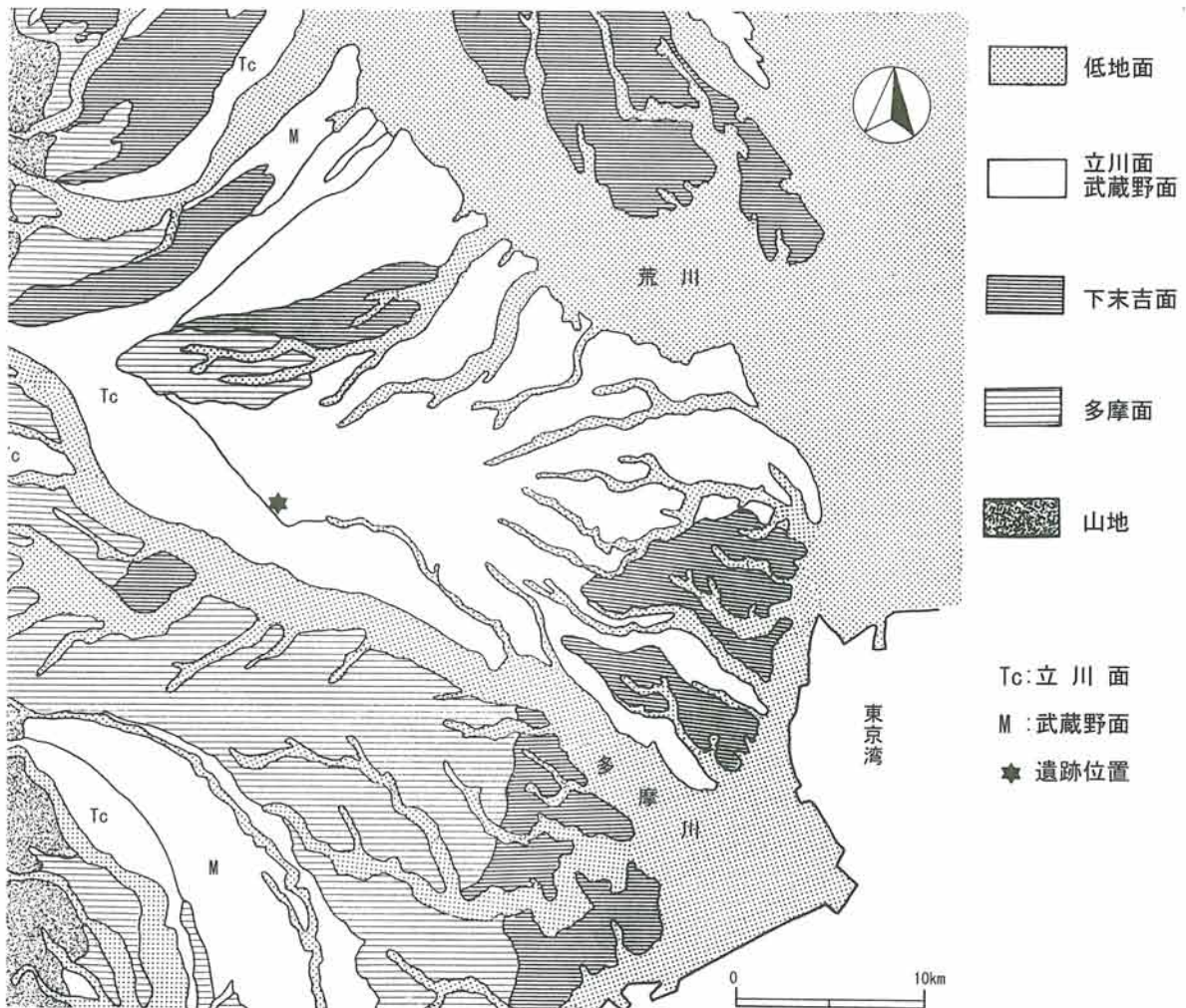
多摩蘭坂遺跡第8地点は、国分寺市内藤1丁目2, 3番地に所在する。J R国立駅の南東約1 km、J R西国分寺駅の南西約1 kmに位置し、通称「多摩蘭坂」に接する南側の地点が本調査の対象範囲となっている（第6図）。



第6図 調査位置図

地形的には、関東平野の南西部、荒川およびその支流の入間川と多摩川の沖積低地に挟まれた武蔵野台地に立地している。武蔵野台地は上位から多摩面、下末吉面、武蔵野面、立川面と呼ばれる（関東ローム研究グループ1965）が、本遺跡は、武蔵野面の南縁にあたる国分寺崖線上に位置している（第7図）。より詳細に見れば、本遺跡の位置する国分寺崖線の上面は、武蔵野面の中でも2番目に古いM2面に対比され、離水時期は約6万年前という年代が与えられている（久保1988）。

国分寺崖線は、武蔵野台地が古多摩川の側方侵食によって削られて形成された侵食崖である。離水や侵食を経た後の約3万年前以降は、ほとんど地形的な変化は見られていないという（パリノ・サーヴェイ1997）。崖線は現在の武蔵村山市から世田谷区の二子玉川付近にまで連なり、崖高は平均約10～20mであるが、国分寺市域においては、崖上の武蔵野面に対して崖下の立川面が西から東に向かって急傾斜しているため、上流から下流に向かって崖高が高くなる傾向があるという（滝口1986）。多摩蘭坂遺跡第8地点は、標高約84mで、崖線下の立川面からの比高は約10mとなっている。また、多摩蘭坂遺跡全体は国分寺崖線が武蔵野面に若干入り込む凹



第7図 武蔵野台地と遺跡の位置

地地形の周囲に展開していることが分かる。

一方、本遺跡の東、約2kmには、国分寺崖線の下を流れる野川があり、本地域から遠くない恋ヶ窪周辺を源流にしていると考えられている。崖線沿いの武蔵野礫層から湧き出す湧水に養われる川で、立川段丘を浅く掘りこんでおり、国分寺崖線を形成した古多摩川の名残川と考えられている（貝塚1979）。湧水を集めた野川は、世田谷区で入間川、仙川と合流し、最終的に多摩川に流入する。これらの河川の流域では、旧石器時代以来の人類の活動によって多くの遺跡が形成されてきたが、特に、野川最上流部にあたる本地域では、国分寺崖線際から得られる豊富な湧水と深く関連していると思われる多くの遺跡の立地が、各時代を通して認められている。現在の「多摩蘭坂」においては湧水を確認することはできないが、地形的に多摩蘭坂遺跡もこのような湧水に関連するものと捉えることが可能であり、本遺跡の豊かな生活環境がうかがえる。

第2節 多摩蘭坂遺跡の概要と周辺の遺跡

多摩蘭坂遺跡は、東京都遺跡台帳No. 2726に登録された遺跡名称である。その範囲は、現在の行政区分としては国分寺市の南西部にあたり、府中市と国立市の境に位置し、国分寺崖線に沿って幅約100m、長さ約600m、遺跡面積35,600㎡の広範囲に及んでいる。第1地点の調査（安孫子・堀井他1980）以来、発掘原因によって調査主体は国分寺市遺跡調査会、府中市教育委員会が続いた。また本遺跡の東側は都立府中病院内の武蔵台遺跡や武蔵台東遺跡であるため、都立府中病院遺跡調査会、都営川越道住宅遺跡調査会や東京都埋蔵文化財センターが継続して調査を行ってきた。その結果、本地域の遺跡名称は非常に複雑になっている。今回の第8地点は、国分寺崖線に沿って、1982年に調査された第2地点（実川1986）を挟み込む形で調査区が配列している（第8図）。ここではそれぞれの地点の調査について、概要を表2に示したので、その内容については既刊の報告書に譲ることとする。また、周辺の野川流域の遺跡、特に旧石器時代の遺跡についても、既刊報告書の井上慎也氏の記述（井上他1997, pp. 11-24）に詳しいので、ここでは繰り返さない。

よって以下では、新たに調査がなされた周辺の旧石器時代遺跡の調査範囲とその概要を見ていく（第8図）。

多摩蘭坂遺跡第7地点（国分寺市遺跡調査会資料）

道路築造工事及び住宅地造成工事に伴う発掘調査が、国分寺市遺跡調査会によって2000年6月～7月に実施された。調査地番は国分寺市内藤1丁目8-3他である。旧石器時代について、下位の文化層から見ていく。なお、土層は国分寺市層位区分によっている。

表2 多摩蘭坂遺跡の調査一覧

国分寺市遺跡調査会						
調査地点	所在地	調査年月日	面積	調査原因	遺跡の概要	備考
第1地点	内藤 2-2-3	(1次)1977.2.4~3.29 (2次)1977.5.18~5.29	1,000 m ²	民間開発	旧石器時代遺物集中 24 (Ⅲ・Ⅳ下・Ⅵ・Ⅹ中) 礫群 33 基 (Ⅳ下) 炭化物集中 奈良時代骨蔵器 (須恵、銅銭)	既報 (安孫子・堀井他 1980)
第2地点	内藤 1-3-1	(試掘) 1982.9.1~9.24 (本調査) 1982.12.27 ~1983.1.31	542 m ²	民間開発	旧石器時代遺物集中 5 (Ⅲ・Ⅳ下・Ⅸ) 礫群 14 (Ⅳ下)	未報告 (夷川 1986)
第3地点	内藤 1-2-1	1991.1.29~2.12	27 m ²	個人住宅	旧石器時代遺物集中 3 (Ⅳ下) 礫群 3 基 (Ⅳ下)	既報 (井上他 1997)
第4地点	内藤 1-9 他	(試掘) 1992.5.19~9.4 (本調査) 1992.10.7 ~1993.3.5	633 m ² 2,387 m ²	都営住宅	旧石器時代遺物集中 25 (Ⅲ・Ⅳa・Ⅳb・Ⅴ・Ⅵ・Ⅸ・Ⅹ) 礫群 22 基 (Ⅳ下)	既報 (井上他 1997)
第5地点	内藤 1-1 他	(試掘) 1992.5.12~8.17 (本調査) 1993.4.9~ 1994.4.18	363 m ² 1,908 m ²	都営住宅	旧石器時代遺物集中 24 (Ⅲ・Ⅳa・Ⅳb・Ⅴ・Ⅵ・Ⅸ・Ⅹa・Ⅹb) 配石・礫群・炭化物集中・土坑 時期不明小穴	既報 (上敷領 1999)
第6地点	内藤 1-8	1994.7.11~7.12	18 m ²	個人住宅 立会い	旧石器時代遺物集中 1 (Ⅳ下)	既報 (井上他 1997)
第7地点	内藤 1-8-3 他	2000.6.5~7.11	220 m ²	民間開発	旧石器時代遺物集中 7 (Ⅲ・Ⅳ上・Ⅳ下・Ⅶ・Ⅹ) 礫群 5 基 (Ⅲ・Ⅳ下) 土坑	未報告
第8地点	内藤 1-2-3	2000.11.19~2001.2.28	1,773 m ²	民間開発	旧石器時代遺物集中 26 (Ⅳa・Ⅳb・Ⅶ・Ⅹ) 礫群 46 基 (Ⅳ上・下) 土坑	本報告

府中市遺跡調査会						
調査地点	所在地	調査年月日	面積	調査原因	遺跡の概要	備考
816次調査地点	武蔵台 2-11	1994.12.15~1996.6.10	2,501 m ²	都営住宅	旧石器時代遺物集中 6 (Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ) 礫群 2 基	既報 (坂詰他 2000)
1020次調査地点	武蔵台 2-8-22 他	1998.7.25~11.30	3,014 m ²	民間	旧石器時代遺物集中 1 (Ⅳ層中位)	既報 (中山 2001)

東京埋蔵文化財センター (武蔵国分寺関連遺跡)						
調査地点	所在地	調査年月日	面積	調査原因	遺跡の概要	備考
武蔵台西地区1次	武蔵台 2	2000.8.21~2001.2.16	2,000 m ²	都市計画道路	旧石器時代遺物集中 16・礫群 28 基・炉跡状遺構 2 基 炭化物集中部 5 箇所	未報告
武蔵台西地区2次	武蔵台 2	2001.10.2~2002.3.31	4,900 m ²	都市計画道路	旧石器時代遺物集中 3・礫群 2 基・炉跡状遺構 2 基 炭化物集中部 5 箇所 (2002.2月現在)	未報告

第1文化層としたⅩa・Ⅹb層 (立川ローム第Ⅹ層) においては、石器集中地点3基 (登録番号ST86~88)、土坑1基 (SKP32) が検出された。ST86・87より石核が出土し、スクレイパーなども含まれる。ST88には石核はないが剥片が出土している。

第2文化層はⅨa層 (第二暗色帯) の中位において、石器集中地点1基 (ST85) が検出された。石核の他に台石や敲石が出土している。

第3文化層はⅥ層 (第一暗色帯) の中位において、石器集中地点1基 (ST84) が検出された。剥片と礫によって構成されている。

第4文化層はⅤb層~Ⅴc層 (ハードローム) において、礫群4基 (SR83~86)、炭化物集中地点1箇所 (SC24)、石器集中地点2基 (ST82・83) が検出された。ST82はナイフ形石器、スクレイパー、石核、剥片で構成されている。また、礫群の礫は、被熱とみられる赤化したものが多く出土している。

なお、より上位からは縄文時代と考えられるピット35基と縄文時代草創期と見られる槍先形尖頭器1点、礫群1基 (SR82) も確認された。

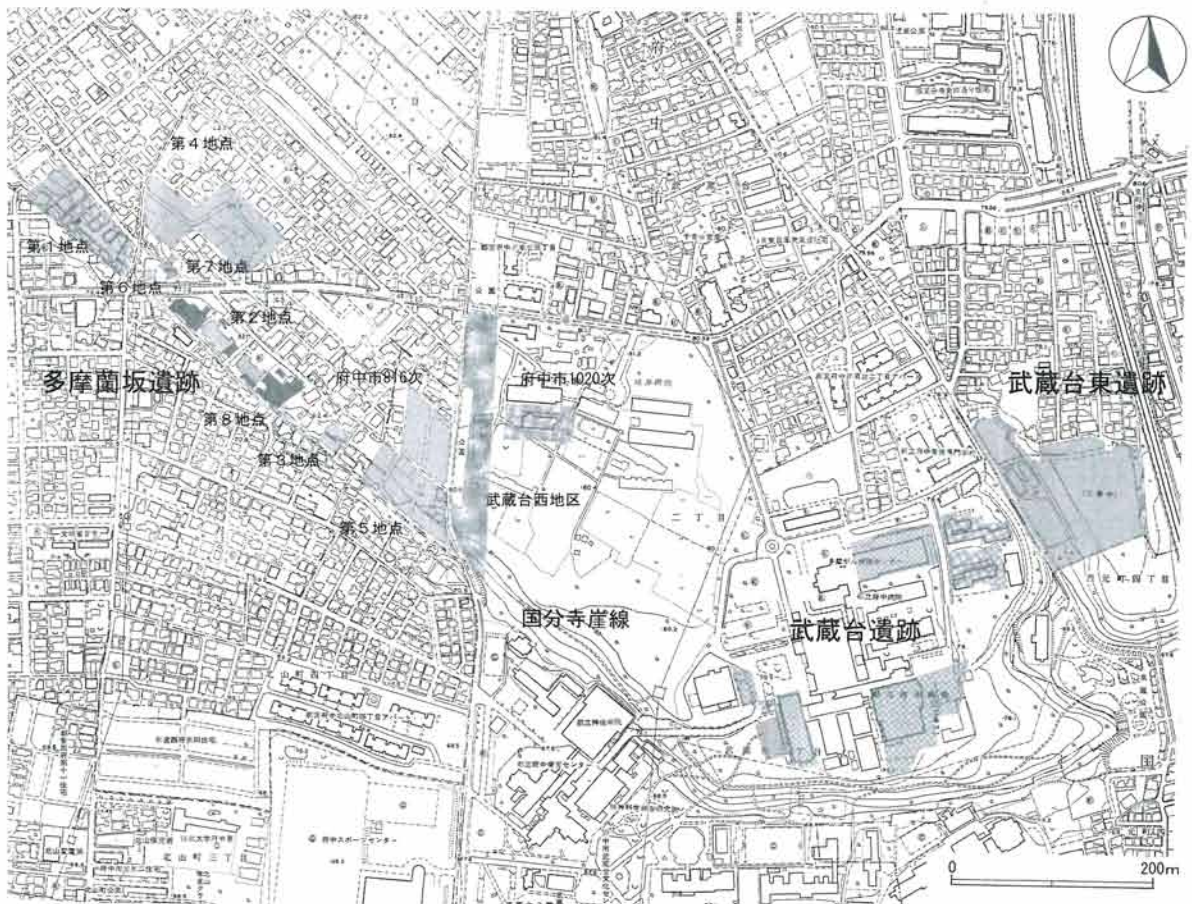
武蔵台遺跡（岩橋2000）

都立府中病院新外来棟増改修に伴う発掘調査が、東京都埋蔵文化財センターによって1998年12月～1999年5月に行われた。調査地番は府中市武蔵台2-9-2である。古代と縄文時代の遺構・遺物も確認されているが、旧石器時代においては大別して二つの層準から石器が検出されている。

IV層（ハードローム）上部で検出された遺物集中1は、黒曜石製のポイント2点、スクレイパー1点を含む。黒曜石、安山岩、チャートの剥片も検出されているが、散漫な分布である。

IV層（ハードローム）下部からV層上部では、遺物集中2～7と、炭化物集中3箇所が検出された。ナイフ形石器、角錐状石器、スクレイパー、ポイント、台石等を組成し、黒曜石、頁岩、チャート、安山岩、砂岩を石材に用いている。遺物集中3は、黒曜石を中心としているが、遺物集中2・5・6は、節理の多いチャートや頁岩を主体としており、分布の中心近くに台石を持つことで共通している。

埋没コンタから調査区の南西側に埋没谷があったことが想定され、台石を持つ遺物集中が埋没した小支谷の縁辺に沿って分布している可能性が提示されている。



第8図 多摩蘭坂遺跡と周辺遺跡

武蔵国分寺関連遺跡（武蔵台西地区）（川島・大西2002）

都市計画道路府中3・3・8号線建設に伴う事前調査が、東京都埋蔵文化財センターによって2000年8月～2001年2月と2001年10月～2002年3月の2次にわたって行われた。旧石器時代から近世以降にまで至る各時代の遺構と遺物が検出されているが、特に旧石器時代を中心に大きな成果が得られている。調査・整理作業が継続中の現在、詳細な成果は今後委ねられるが、紹介されている第1次調査の概要を紹介する。なお、層位は武蔵野台地における立川ローム層の層序に準拠している。

Ⅲ層からは礫器と剥片が出土しており、散漫な分布である。

Ⅳa層・Ⅳb層・Ⅴ層は、最も出土量が多い。器種も多く黒曜石やチャートを主体としたナイフ形石器・角錐状石器・錐・削器・石核のほか、磨石・敲打器・台石・剥片等が検出されている。石材には、頁岩・珪質頁岩・硬質頁岩・安山岩・細粒凝灰岩・砂岩・閃緑岩なども認められている。特にⅣb層からは石器集中部9箇所、礫群22基が、Ⅴ層からは炉穴状遺構1基、石器集中部3箇所、礫群4基が検出されている。

Ⅶ層の遺物は少量ではあるが、礫器と剥片が単独出土している。炭化物集中部1箇所も検出されている。

Ⅸ層も出土数は少ないものの、石斧未製品？や剥片・台石が単独で検出されている。炉穴状遺構1基と礫群2基も確認された。

Xa層からは石器集中部2箇所が検出されており、打製石斧・大形の縦長剥片が組成している。石材はほとんどがホルンフェルスで、珪質頁岩の剥片が一部混在している。

Xb層からは石器集中部1箇所が検出されており、局部磨製石斧・打製石斧・鋸歯縁状石器・石核・剥片・碎片が組成している。石材については、石斧類が中粒凝灰岩で、他はチャートが大部分を占めている。なお、チャートの石核と剥片には接合関係が認められるが、石斧の接合資料は皆無で、府中病院遺跡（武蔵台遺跡）とはその様相が異なる。

また、Xc層からは炭化物集中部1箇所も検出されている。

これらの遺跡の発掘によって、多摩蘭坂遺跡の第1地点から国分寺崖線に沿って東に武蔵国分寺関連遺跡（武蔵台西地区）、武蔵台遺跡がほぼ連続して隣接することとなり、武蔵台遺跡を含めた径約1kmの範囲に高い密度でX層段階から遺跡が営まれていたことが明らかになっている。しかし、遺跡は均一に分布しているのではない。その密度が増すのは、前節で見たような凹地地形の周囲であり、旧石器時代においても湧水をはじめとするさまざまな資源の利用に有利な占地がなされていたことを再確認できるであろう。

第Ⅲ章 旧石器時代の調査

第1節 概要

第8地点の調査全体では、石器969点、礫3,775点、総数4,744点の遺物が出土した(表3)。第8地点は国分寺崖線に沿ってA区からF区までを調査対象としており、最も距離の離れた調査区、すなわちA区とB区間の直線距離は約80mもある。したがって、同一文化層に含めている石器群の様相は均質ではなく、調査区ごとに個別に検討する必要があることをはじめに注意しておきたい。そのため、本報告書では、文化層を同じくする資料について、調査区に沿って見ていくこととする。各文化層の記載の前に、以下で各文化層の概要を述べる。

第1文化層 Xc層からIXa層にかけて検出された。ナイフ形石器、台形様石器、斧形石器を含む文化層で、Xb層が出土層位の中心となっていると考えられる。A・B・C区から検出されているが、A・B区が主体である。ブロック7箇所を認定した。

A区：台形様石器、斧形石器を組成し、チャートを主体とする石器群で、石器339点が検出された。1～4号ブロックを認定した。40個体が接合関係にある。

B区：ナイフ形石器を含む石器群で、石器60点が検出された。頁岩が主体となっている。5～7号ブロックを認定した。5個体が接合関係にある。

C区：ナイフ形石器1点を含む石器3点が検出された。遺物数が少なく、ブロックは認定していない。

第2文化層 VI層から検出された。出土遺物は、部分加工剥片1点と、礫9点である。A・F区から検出されたが、遺物数が少ないため、ブロックや礫群は認定していない。

第3文化層 V層上部からIVb層にかけて出土し、ナイフ形石器14点をはじめとする総数433点の石器が出土した。A・B・C・D・F区から検出された。また、礫群の発達著しいIV層下部の石器群で、ブロック13箇所、礫群40基を認定した。

A区：ナイフ形石器6点を含むチャート主体の石器群で、石器262点が検出された。1～4号ブロック、1～23号礫群を認定した。23個体が接合関係にある。

B区：ナイフ形石器6点を含む黒曜石主体の石器群で、石器113点が検出された。6～12号ブロック、30～40号礫群を認定した。3個体が接合関係にある。

C区：剥片1点、礫3点、計4点の遺物が出土された。遺物数が少なく、ブロック、礫群は認定していない。

D区：ナイフ形石器1点を含む石器群で、石器28点が検出された。13号ブロック、25～29号礫群を認定した。

F区：ナイフ形石器1点を含む黒曜石主体の石器群で、石器29点が検出された。5号ブロック、24号礫群を認定した。4個体が接合関係にある。

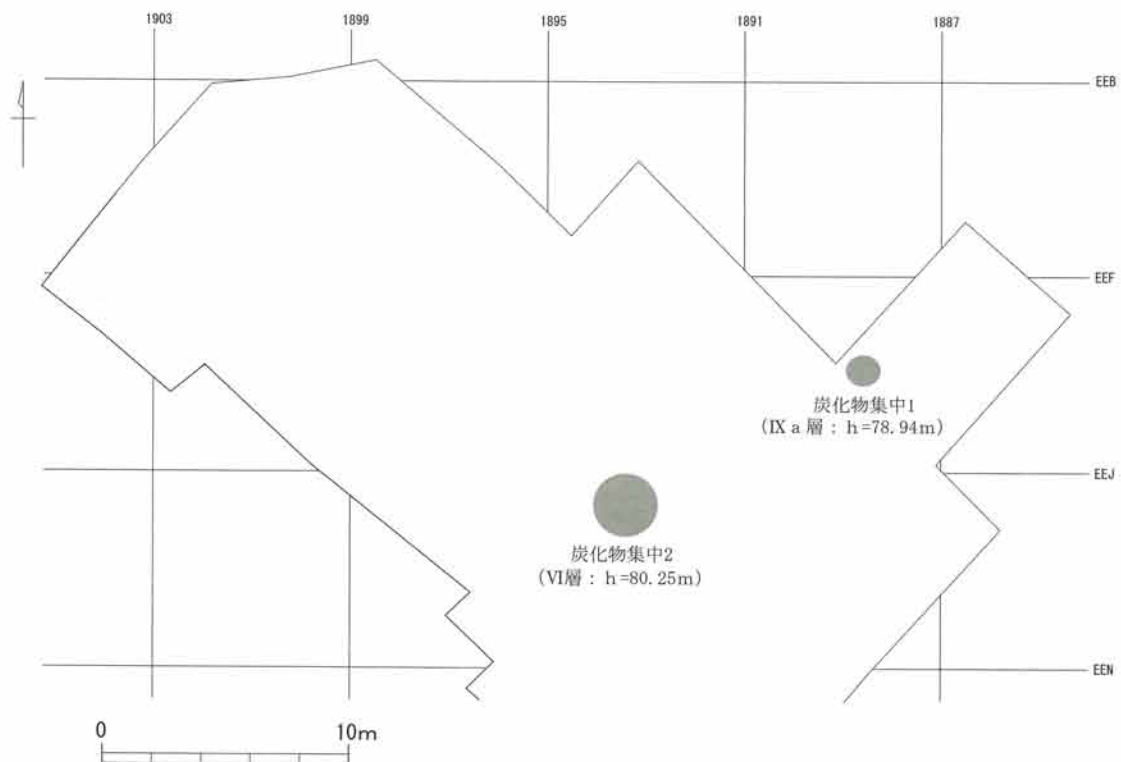
第4文化層 IVb層からIVa層にかけて出土し、ナイフ形石器9点をはじめとする総数133点の石器が出土した。IV層上部の石器群で、ブロック6箇所、礫群6基と認定した。

A区：ナイフ形石器3点を含むチャート主体の石器群で、石器47点が検出された。1～3号ブロック、1～4号礫群を認定した。2個体が接合関係にある。

B区：ナイフ形石器6点を含む黒色頁岩主体の石器群で、石器85点が検出された。4～6号ブロック、5～6号礫群を認定した。5個体が接合関係にある。

D区：両面加工の尖頭器1点が単独で検出された。

なお、本調査においては、炭化物が検出されている。E区のIXa層において検出されたものを炭化物集中1、A区のV層からVI層（AT）にかけて検出されたものを炭化物集中2とした（第9図）。炭化物集中1は、径30mmの大きな炭化物が含まれるものの、全体に希薄である。一方、炭化物集中2は、IXb層上面からの掘り込みと見られる約2mの土坑内部に炭化物が集中している。しかし、両者はともに石器や礫を伴っていないため、検出された石器群によって設定した文化層とは直接関係しないものと考えられる。



第9図 A・E区 炭化物出土図

表3 文化層別器種組成表

器種 文化層	発掘区	ブロック	ナイフ形石器	台形像石器	基部加工石器	尖頭器	錐形石器	スクレイパー	ノッチ	楔形石器	部分加工剥片	使用痕剥片	鋸歯縁石器	石核	石刃	剥片	碎片	斧形石器	斧形素材	調整剥片	礫器	敲石	台石	小計	石器	礫	合計		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23					
第1文化層	A	1		3			2	1		3	2			25		129				9		11		185	339	59	398		
		2		1							1				7		16		6		2		1					34	
		3		3							1	3	1	1	21		65		1	1			3					100	
		4		1											3		11					2						17	
		外													2		1												3
	B	5		1							1				4		2											8	
		6	1	1	1										3	1	16											23	
		7	1			1						1	1		3	1	17						4					29	
	C	外	1														1						1					3	
	小計			3	10	2		2	1		4	7	2	2	68	2	258		7	1	11	2	20					402	
第2文化層	F	外									1														1	1	9	10	
第3文化層	A	1									1			1	1	14	2								19	262	1820	2082	
		2	5					1	1		3		1	7		146								1	165				
		3	1							1	1				9		36						2		50				
		4					1	1							4		14						1	1	22				
		外									1		1	1	1		3												6
	B	6	2												1		10												13
		7	1						2		3				2		9						1						18
		8													1		9												10
		9	1								1						18												20
		10										2			1		7												10
		11							1						1		24	3						1					30
		12	2						1								5												8
		外									1						3												
	C	外														1													1
	D	13	1								3				1		18	4											27
外															1										1				
F	5	1				1				1				4		21	1								29				
小計			14			2	6	1	1	17	2	2	33	1	339	10					5	2		433					
第4文化層	A	1								1				1		8	1									11	47	111	158
		2									1	1			1		6									9			
		3	3						1		2						21									27			
	B	4	5						1						5	6	42									59			
		5							3								3									6			
D	6	1					1	1						1		15	1								20				
外						1																			1				
小計			9			1	1	6		4	1			8	6	95	2								133				
合計			26	10	2	1	5	13	1	5	29	3	4	109	9	692	12	7	1	11	2	25	2		969				

表4 文化層別石材組成表

石材 文化層	チャート	黒曜石	安山岩	珪質頁岩	頁岩	ホルンフェルス	凝灰岩	黒色頁岩	緑色凝灰岩	砂岩	輝緑岩	合計
第1文化層	174		18	25	61	42		1	59	18	4	402
第2文化層	1											1
第3文化層	194	136	27		36	11		8	5	16		433
第4文化層	70	8	2		7	14	1	24	5	2		133
合計	439	144	47	25	104	67	1	33	69	36	4	969

第2節 第1文化層

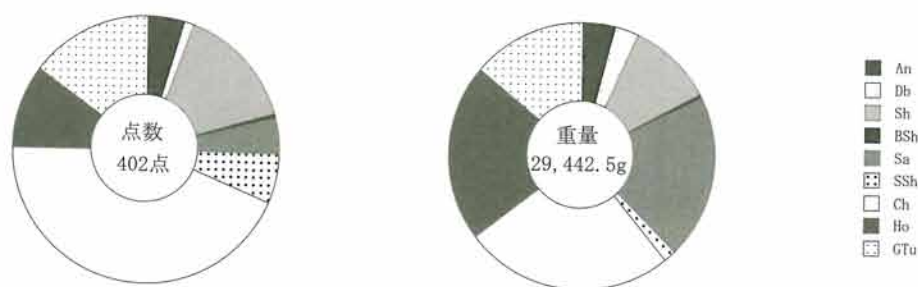
第1文化層は、Xc層からIXb層にかけて検出された文化層で、石器数が多く、特に今回の調査で充実した資料が得られていた。A、B、C区において確認されたが、それぞれ遺物出土の中心となる層準はXb層である。A区は台形様石器、斧形石器を主体とする石器群である一方、B区は石刃素材の基部加工のナイフ形石器を含む石器群である。

石材について見ると、第1文化層においてはチャートが主体となっている。第1文化層の出土遺物数はA区が非常に多いため、A区の石材組成に大きく反映されているが、特に本文化層の中に黒曜石が組成されていないことは注目される。

表5 第1文化層 石材組成重量表

第1文化層	安山岩	輝緑岩	頁岩	黒色頁岩	砂岩	珪質頁岩	チャート	(点数：点)		
								ホルンフェルス	緑色凝灰岩	合計
A区	18	4	37	1	13	10	161	42	53	339
B区			24		4	14	12		6	60
C区					1		2			3
合計	18	4	61	1	18	24	175	42	59	402

第1文化層	安山岩	輝緑岩	頁岩	黒色頁岩	砂岩	珪質頁岩	チャート	(重量：g)		
								ホルンフェルス	緑色凝灰岩	合計
A区	1133.4	829.7	2239.2	74.4	5386.9	105.2	6054.1	6443.0	3783.6	26049.5
B区			884.5		397.6	370.5	1347.3		274.7	3274.6
C区					105.8		12.6			118.4
合計	1133.4	829.7	3123.7	74.4	5890.3	475.7	7414.0	6443.0	4058.3	29442.5



第10図 第1文化層 石材別重量グラフ

(1) 出土状況

第1文化層の石器群は、A区、B区、C区において、Xc層からIXb層にかけて検出された(第13図)。

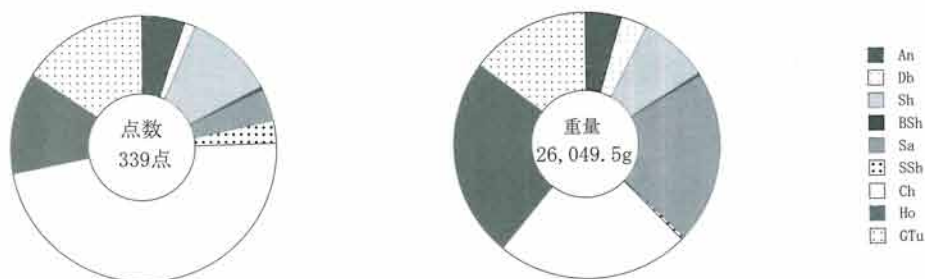
本文化層を構成するXc層からIXb層の土層は概ね平行する良好な堆積状況である。より詳細に見るならば、土層断面の検討から最も大きいところで約20cmほどのうねりがある。このため、遺物の文化層認定の際にも十分配慮し、遺物分布図下に示した垂直分布図では、該当する発掘区の平均的な値を土層図として併記している。

また先行研究から、本文化層はいわゆるXa層段階とXb層段階に分離される可能性があったため、特に文化層の分離・統合は慎重に行った。しかし、より上位、あるいはより下位の遺物を単独で抽出することのできる資料的根拠は見出せず、垂直方向に突出するように見える資料の多くが接合資料の接合範囲に収まっていた。よって、発掘時の所見、各遺物の出土レベルや接合資料、母岩の共有関係を検討した結果、本文化層はXb層が出土層位の中心となっているという結論に至っている。

平面分布については、石器の視覚的なまとまりが見られたA区とB区においては、接合関係・母岩の共有関係を検討し、それぞれ1～4号ブロック（第14図）、5～7号ブロック（第15図）を設定した。また、礫も散漫に出土するが、ブロックの石器集中部と重なる部分が多く、ブロックの範疇でとらえるべきであると考え、礫群として単独には抽出しなかった（第14・15図）。以下ではブロックの内容を見ていく（表6～14）。

1. A区

A区の第1文化層はチャートが多く用いられている（第11図）。チャートの点数は161点とA区出土遺物（礫を除く）の47%を占めており、重量は23%にあたる。これはチャートが接合する剥片として出土したためである。重量が多い石材は砂岩と緑色凝灰岩で、敲石や斧形石器といった大型の石器に用いられていることを反映している。他にも頁岩、ホルンフェルス、安山岩、珪質頁岩、輝緑岩、黒色頁岩が組成されているが、黒曜石は出土していない。



第11図 第1文化層 A区 石材別重量グラフ

1号ブロック（第16・22～26図） A区のほぼ中央に中心を持つ長径約12m、短径約9mのブロックである。Xc層からIXb層に遺物が包含されているが、接合関係により、同一の文化層と捉えた。面積的に広い接合関係を持つ資料を多く含んでいるが、特に1号ブロックの主体をなす緑色凝灰岩（GTu-4）の接合関係に代表される（第25図）。石器器種は台形様石器、錐形石器、楔形石器、敲石が主体となっている。

2号ブロック（第17・27図） A区の東に遺物がまとまる径約7mのブロックである。遺物の垂直分布はXa層下部からXb層上部に集中するが、上部のものは1号ブロックとの接合も見

られる。斧形石器とチャートの接合資料が主体となっている。

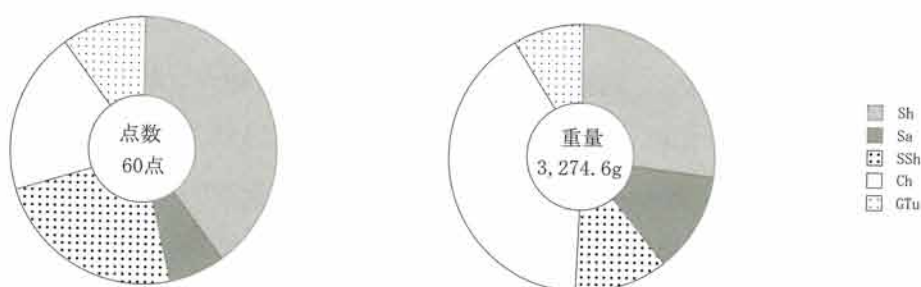
3号ブロック (第18・28・29図) A区の南西壁付近に集中する長径約9mのブロックで、未発掘地区にも続いていると考えられる。Xc層からIXb層に広く遺物が包含されているが、頁岩(Sh-5)の接合資料1の密な集中に大きく集約され、Xb層が主体であることが看取できる(第29図)。石器器種には、台形様石器、斧形石器、鋸齒縁石器が見られる。

4号ブロック (第19・30図) A区の南に位置し、他のブロックに比べ散漫に分布する。4号ブロックも東側の未発掘地区に続く可能性がある。接合関係はチャートの接合資料3しか見られないが、4号ブロックには台形様石器と礫器が含まれている。

ブロック外 (第14図) A区において上記ブロックに含まれない範囲で、剥片1点、石核2点、礫4点、計7点の資料が得られている。

2. B区

B区の第1文化層は石器の総点数が60点であるが、その中でも多く用いられているのは頁岩である(第12図)。この頁岩は黒色で珪化が進んでおり、良好な接合資料として組成されているもので、24点とB区出土遺物(礫を除く)の40%を占めており、重量は27%にあたる。重量が多い石材はチャートで、大型の石核に用いられていることを反映している。他にも珪質頁岩、緑色凝灰岩、砂岩が組成されているが、黒曜石は出土していない。



第12図 第1文化層 B区 石材別重量グラフ

5号ブロック (第19・30図) B区の西にみられる散漫な分布で、礫7点が主体となる。6・7号ブロックと接合する接合資料42・45が得られている。台形様石器、部分加工剥片、石核が組成される。

6号ブロック (第20・31図) B区北東壁付近に散漫に分布している。珪質頁岩の接合資料41と礫のまとまりが中心となっている。石器器種には、ナイフ形石器、基部加工石器、台形様石器、石刃が含まれている。

7号ブロック (第21・32図) B区の南に分布し、長径約8mのB区の主体となるブロックである。南側や東側の未発掘地区に続く可能性がある。頁岩(Sh-7)の接合資料44・45は当

該期の剥片剥離技術を考える上で特に注目される。石器器種には、ナイフ形石器、基部加工石器、鋸歯縁石器、敲石が組成されている。

3. C区

ブロック外 (第15・51図) C区は発掘面積が少なく、遺物もナイフ形石器1点、敲石1点、剥片1点、礫1点、計4点の出土であったため、ブロックとして扱わなかった。接合関係もないので、同時性を検討できないが、出土層位から本文化層に含めた。ただし、ナイフ形石器(第51図70)は、層位的にも石器形態的にも、他の資料より新しい段階のものと考えている。

(2) 出土遺物

先に述べたように、A区とB区間の直線距離は約80mもあるので、調査区ごとに個別に検討する必要がある。第1文化層全体で得られた資料は、ナイフ形石器3点、台形様石器10点、基部加工石器2点、スクレイパー1点、錐形石器2点、鋸歯縁石器2点、楔形石器4点、部分加工剥片7点、使用痕剥片2点、石刃2点、石核68点、剥片269点、斧形石器7点[5個体]、礫器2点、敲石20点、礫79点、合計481点である。以下、調査区ごとに詳細に見ていく。

1. A区

A区から出土した遺物は、台形様石器8点(第33図1～8)、スクレイパー1点(第33図9)、錐形石器2点(第33図10・11)、鋸歯縁石器1点(第33図12)、楔形石器4点(第34図13～16)、部分加工剥片6点(第34・35図17～20・22・23)、使用痕剥片1点(第34図21)、石核58点、剥片222点(第35図24～26)、斧形石器調整剥片11点(第39～41図29b・31～35・37・38、第57図接合24)、斧形石器7点[5個体](第36～40図27～30・第41図36)、斧形石器素材1点(第42図39)、礫器2点(第43図40・41)、敲石15点[12個体](第44～47図42～52)、礫59点、合計398点である。ツール23点、デビタージュ280点で、ツールの比率が8%と非常に低い。斧形石器関連資料は19点であった。

1(第33図)は台形様石器である。器体の両面に平坦剥離技術による側縁調整を加えており、精緻なつくりとなっている。素材となっている幅広剥片は、1号ブロック内で共有される母岩であるチャート(Ch-21)であるが、本遺跡内で生産されたと考えられる他のチャート剥片に比して大型の剥片を素材としている資料である。チャートの剥片剥離の目的にこのような台形様石器があったことがうかがえる資料と考えられる。

2(第33図)は、甲高の小型剥片の基部と先端部に微細な剥離痕が観察されるもので、台形様石器の範疇で考えられる資料である。チャートを素材としているが、共通母岩の資料は見出

せない。

3 (第33図) は、薄手の小型剥片の側縁部に微細剥離が観察されるもので、台形様石器の範疇で考えられる資料である。チャートを素材としているが、共通母岩の資料は見出せない。

4 (第33図) は、チャートの剥片の両側縁に平坦剥離がなされた台形様石器である。素材剥片は節理面に覆われており、節理割れの産物と考えられるが、結果的に目的を満たす形状をしていたために微細な加工が加えられていると考えられる。チャートを素材としているが、共通母岩の資料は見出せない。

5 (第33図) は、珪質頁岩製の幅広剥片の一端に微細な剥離痕が認められるもので、台形様石器の範疇で考えられる資料である。素材剥片は平坦な剥離面打面を広く残しており、本資料が出土した3号ブロックからは同一の母岩とみられる剥片 (SSh-2) も1点検出されている。

6 (第33図) は、頁岩製の幅広剥片の縁辺に連続的な二次加工が認められ、台形様石器の範疇で考えられる資料である。素材剥片は平坦な剥離面打面を残しており、本資料が出土した3号ブロックからは同一の母岩とみられる剥片等 (Sh-5) が他に19点検出されている。

7 (第33図) は、チャートの幅広剥片の両側縁が折断されており、基部の微細剥離を評価すると、台形様石器の範疇で考えられる資料である。素材の剥片は原礫面打面を残しているため、接合関係は認められないものの、本遺跡内で大量に剥片剥離が行われているチャートの目的剥片の一様相を示していると考えられる。

8 (第33図) は台形様石器である。素材は節理面を打面とする幅広剥片で、右側縁に連続的な二次加工が施されている。バルブは除去されていない。比較的大型のチャート製の個体で、同一母岩 (Ch-34) と考えられる資料が他に4点ある。

9 (第33図) はスクレイパーである。背面に原礫面を多く残した厚手の剥片を素材とし、原礫面側からの連続調整によりスクレイピング・エッジを作り出している。チャート製で、同一母岩と考えられる剥片 (Ch-21) が1号ブロックから多く検出されている。

10 (第33図) は錐形石器である。チャートの不定形剥片を横位に用いて、側縁の折面が機能部を作り出していると考えられる。機能部には微細剥離痕が認められる。

11 (第33図) は錐形石器である。チャートの幅広剥片には原礫面打面が残されている。素材の形状を活かすために横位に用いて、側縁を利用したものと考えられる。機能部には微細剥離痕が観察できる。

12 (第33図) は鋸歯縁石器である。頁岩 (Sh-5) の接合資料1 (第52~55図) に含まれ、縦長の剥片を素材としており、平坦な主剥離面の端部に大きく二箇所の手入部を作り出し、さらに打面側を剥離している (第53図1e)。素材の製作技術は接合資料1の記載中で記述する。決りによって突出部を作出しているという点では錐形石器の範疇と考えられるし、また、平坦

な主剥離面からの急角度な連続調整という加工技術的にはスクレイパーの範疇で考えられる石器でもあり、複合的な石器とみなすのが妥当であろう。しかし、このように明瞭な加工によって作出された特異な形状によって形態的に分類可能であるため、鋸歯縁石器とした。

13 (第34図) は楔形石器である。両極からの剥離痕が看取され、潰れも認められる。また、側縁にも急角度の調整がなされている。チャート製 (Ch-21) で、15 (第34図) の楔形石器と接合しており (第55図接合資料5)、素材となる剥片は、剥離面打面から連続的に剥離された幅広の剥片であったと考えられる。

14 (第34図) は楔形石器である。小型であるが、厚みのある資料である。器体の下半部は折損の可能性もあるが、打面と対極方向からの剥離痕がみられるため、完形品と考えておきたい。チャート製 (Ch-22) である。

15 (第34図) は楔形石器である。器体の周縁には、潰れ状の微細な剥離痕が多く観察される。13 (第34図) の楔形石器と接合し (第55図接合資料5)、素材剥片が、剥離面打面から連続的に剥離された幅広の剥片であることが分かる。チャート製 (Ch-21) である。

16 (第34図) は楔形石器である。チャート (Ch-22) の薄手の剥片が素材となっており、表裏面ともに、両極からの剥離痕と潰れが観察される資料である。側面は截断面となっている。

17 (第34図) は部分加工剥片である。複剥離面打面の石核から剥離された横長剥片の端部に急角度の連続調整がなされている。他の周縁部には使用痕とも考えられる微細な剥離痕が観察される。石材はチャート (Ch-34) である。

18 (第34図) は部分加工剥片である。原礫面打面から剥離された横長剥片を素材としている。加工部が鋸歯状とも見られる資料であるが、薄手で抉入の度合いが低いため、部分加工剥片とした。チャート製 (Ch-21) である。

19 (第34図) は部分加工剥片である。二側縁が折断されているが、素材となる剥片は、同一方向から連続的に剥離された横長の剥片と考えられる。石材は珪質頁岩 (SSH-1) である。

20 (第34図) は部分加工剥片である。原礫面を打面とする幅広剥片の側縁部に連続する剥離痕が認められる。チャート製 (Ch-33) である。

21 (第34図) は使用痕剥片である。縦長の剥片の先端部に微小剥離痕が観察できる。この個体は、同一の平坦打面から連続して剥離された2点の剥片と接合する (第53図接合資料1)。本遺跡の剥片剥離技術が目的としていた剥片の形状を示す資料である。頁岩製 (Sh-5) である。

22 (第35図) は部分加工剥片である。剥片の側縁に連続する微小剥離痕が認められる。背面構成から、素材は連続して剥離された剥片であることが看取できる。両極に潰れが見られ、側縁に縦割れがあることから、楔形石器と見ることもできる資料である。石材はチャートである。

23 (第35図) は部分加工剥片である。背面には原礫面を多く残し、節理の激しいチャート(Ch-22)を素材としているが、接合関係が得られたことから、単剥離打面から剥離された厚手の縦長指向の剥片が素材となっていることが分かる(第56図接合資料10)。

24~26 (第35図) は剥片である。これらはともに頁岩で同一母岩(Sh-6)と考えられ、非常に大型の縦長不定形剥片を剥離する技術の存在を示している。それぞれ、同一方向からの連続剥離がなされていたことを示す資料である。

27 (第36図) は斧形石器である。刃部には器体と同一方向の研磨痕が両面に観察でき、刃こぼれも少ない。大型で薄手の横長剥片を素材としており、器体深くまで及ぶ周縁加工は少ないため、再生されたものではないと考えられる。器体を二分する中央部の折れによって、最終的に廃棄されたものと考えられる。緑色凝灰岩製である。

28 (第37図) は斧形石器である。表裏面の刃部に認められる研磨痕は、器体とほぼ同一方向であり、特に裏面側では、研磨面が二枚観察できる。扁平礫の周縁を粗く加工して、形状を作り出しているが、基部は打点の不明瞭な剥離で、欠損とみなせる。しかし、最終的には、中央部の折れによって廃棄されたものと考えられる。石材は輝緑岩である。

29 (第38・39図) は斧形石器である。非常に厚みがあり、基部と両面に原礫面を残しているため、甲高の棒状礫を素材としていたと考えられる。研磨痕は確認できないが、調整剥片1点が接合しており、再生加工の痕跡を留めている、29aの調整剥片の背面構成からは、再生以前の刃部周辺にも緻密な周縁加工が施されていたこと、再生以前の斧形石器の大きさは一回り大きい程度であったことがうかがえる。しかし、再生加工中、29aを剥離した後に右側縁の裏面への調整が再生不可能な程に急角度となったため、最終的に廃棄されたものと考えられる。輝緑岩製である。

30 (第40図) は斧形石器である。研磨痕は確認できず、研磨を施す直前段階の未製品とみなすこともできるが、側縁から刃部にかけての周辺調整が緻密であり、使用に耐えるものと見ることが出来る。基部を中心に原礫面を多く残しており、扁平礫が素材となっていることが分かる。石材は緑色凝灰岩である。

36 (第41図) は斧形石器である。表面の基部と器体中央部に原礫面を残しているが、背面の主剥離面から、かなり大型の横長剥片を素材としていると考えられる。研磨痕は認められないが、周縁加工のありかたや、整った平面形態から、未製品とは考えにくい。周縁加工は器体深くまで及ぶものと、細かな連続剥離の両者が見られ、再生された個体である可能性もある。石材には緑色凝灰岩を用いている。

31~35・37・38 (第40・41図) は斧形石器の調整剥片である。これら7点は緑色凝灰岩であり、同一母岩とみられる。ある斧形石器の調整(あるいは再生)剥片と考えられるが、これら

の剥片が接合する斧形石器は本調査では検出されなかった。

39 (第42図) は斧形石器の素材と考えられる。最大長26.9cmの非常に大型の扁平礫で、表面は円礫面、裏面は節理面で構成されており、大きさに比して非常に薄く平らな形状の特殊な遺物である。側縁部や刃部に相当する部位に見られる剥離状の痕跡は、いずれも稜が丸く、自然礫の段階からのもので、調整剥離によるものではない。しかし、基部に相当する部位には裏面側を中心に明確な剥離痕が認められる。多く原礫面を残し、一部に簡略な加工がなされているという点で、礫器とするべき資料かもしれない。しかし、約250m離れた多摩蘭坂遺跡第5地点で検出された片面調整の「打製石斧」は最大長25.5cmと非常に大型であり、本資料と同一あるいは非常に類似する石材である。そのため、本資料はそのような大型の斧形石器の素材、あるいはこの石器自体で類似する機能を持つものと考えられ、ここでは斧形石器の素材と認識しておきたい。石材はホルンフェルスと見られる。

40 (第43図) は礫器である。厚みのある大型のホルンフェルスの扁平礫を素材としており、基部、刃部、側縁部にまとまった剥離が認められる。器体の中央部に認められる敲打痕からは、敲打的な機能も有していたと考えられる。また、側縁部の敲打痕は、斧形石器の製作を目的とした側縁調整が試みられた痕跡と見なすこともできる。しかし、敲打痕に隣接する側縁からの調整は、どれも器体深くには及んでおらず、したがって器体の厚さを減じ得なかったとも考えられる。このように斧形石器の未製品と見ることもできる資料であるが、ここでは、本遺跡の他の斧形石器とは石材選択の点で異なることと、器体中央部の敲打痕と刃部と基部の両面剥離を評価し、より多機能な石器と考えX層段階に見られる礫器とした。

41 (第43図) は礫器である。平面が矩形で、断面が台形の特殊な形状をした扁平礫を素材としている。刃部は鋸歯状を呈するが、素材形状を利用している部分があり、刃部加工は大ぶりの剥離が3回行われたと思われる。ただし、非常に風化が激しく、剥離面の観察は困難である。石材はホルンフェルスと考えられる。

42 (第44図) は敲打石である。緑色凝灰岩の亜円礫を素材としている。端部と側縁部に敲打痕とそれに伴う剥離痕が認められる。最終的には側縁部からの敲打に伴って、器体の長軸方向に3点の破片に分割されている。

43 (第44図) は敲打石である。小型の棒状礫を用いており、下端部に微弱な敲打痕が認められる。砂岩製である。

44 (第44図) は敲打石である。小型の円礫を素材としており、顕著な敲打痕が側面と端部を中心に面的に広がっている。裏面には敲打によって剥落した痕跡と考えられる剥離面が観察されるが、その上を端部からの敲打面が切っており、使用度の高さを示している資料である。砂岩製である。

45 (第45図) は敲石と分類した。非常に大型の棒状礫であるが、裏面が非常に平坦で、断面は三角形に近い。器体は中央基部よりで最も厚みを増している。2,598gと非常に重いため、石器製作具という機能を認めがたい資料である。しかし、端部には微弱な敲打痕と思しき痕跡がみられること、被熱の痕跡もなく特異な形状であることから、なんらかの機能を有する礫素材の無加工の石器、特に敲石と判断した。石材は硬砂岩とみられる。

46 (第45図) は敲石である。緑色凝灰岩の扁平礫を素材としている。器体の中央部、両端部、側縁部に敲打痕の集中する箇所がある。基部には敲打に伴うと考えられる剥離面も認められる。器体の1/3ほどのところで折損している。

47 (第46図) は敲石である。大型の棒状礫を素材としている。45 (第45図) の敲石と形状が類似しており、一回り小さくしたような資料で、裏面が平坦で断面は三角形に近い。両端部には敲打痕と見られる潰れが確認できる。砂岩製である。

48 (第46図) は敲石である。棒状の亜角礫が素材となっている。素材の面と面がつくる稜の頂部に敲打痕が集中しており、それに伴うと見られる剥離痕が多く確認できる資料である。この剥離面の方向から、敲打作業が器体長軸方向への運動よりも、短軸方向の運動による行為であったことがうかがえる資料である。緑色凝灰岩製である。

49 (第47図) は敲石である。小型の亜円礫を素材としている。下端部と側縁部に敲打痕が認められ、特に側縁部にはそれに伴う剥離痕も見られる。砂岩製である。

50 (第47図) は敲石である。平面、断面ともに三角形の亜角礫を素材としている。素材の面がつくる稜の頂部に敲打痕が認められる。石材は砂岩である。

51 (第47図) は敲石である。小型の円礫が素材となっている。下端部に敲打痕が認められる。石材は砂岩である。

52 (第47図) は敲石である。平面が四角形の扁平礫を素材としている。上下両端の四隅の稜頂部に敲打痕とそれに伴う剥離痕が顕著に認められる。剥離面の方向からは、器軸に対して斜め方向の運動がなされたことが推察される。砂岩製である。

2. B区

B区から出土した遺物は、ナイフ形石器2点 (第48図53・54)、台形様石器2点 (第48図55・57)、基部加工石器2点 (第48図56・58)、石刃2点 (第48図59・60)、鋸歯縁石器1点 (第48図61)、部分加工剥片1点 (第49図62)、使用痕剥片1点 (第49図63)、石核10点 (第49図64・65、第50図67)、剥片35点 (第50図66)、敲石4点 [2個体] (第51図68・69)、礫19点、合計79点である。ツール9点、デビタージュ47点で、ツールの占める割合は19%であった。

53 (第48図) はナイフ形石器である。背面構成から、平坦な剥離面打面から連続剥離された

石刃が素材であったと考えられる。基部の両側縁に急斜度剥離が認められる、いわゆる基部加工のナイフ形石器で、特に右側縁の調整は大きく明瞭である。Xb層とXc層との境界付近から出土しており、技術形態的に注目される資料である。頁岩製である。

54 (第48図) はナイフ形石器である。90度の打面転移を行った石核から連続的に剥離された石刃を素材としている。基部から最大幅を持つ器体中央部の右側縁には、表裏両面に連続的な調整剥離が認められ、その角度は急斜である。頁岩製である。

55 (第48図) は台形様石器の範疇で考えられる資料である。複剥離面打面から剥離された幅広剥片が素材となっており、端部に折面と微細な剥離痕が認められる。石材はチャート (Ch-35) で、隣接して出土した67 (第50図) の石核と同一母岩とみられる (第19図)。

57 (第48図) は台形様石器である。剥離面打面から剥離された横長剥片を素材として、縦位に用いている。側縁に調整剥離痕が認められ、その一部は素材剥片作出の際の打面調整とも考えられるが、一部は確実に主剥離面を切っており、刃部に認められる微細剥離痕とともに総合的に判断して台形様石器とした。石材には珪質頁岩 (SSh-4) を用いている。

56 (第48図) は基部加工石器である。横長の剥片を縦位に用いているが、素材の主剥離面のバルブや打面は、側縁の調整剥離によって除去されている。右側縁は素材の一次剥離面と主剥離面からなる鋭利な刃縁を残し、左側縁には急角度の調整剥離がなされ、尖頭状の平面形状を呈している。技術的にはナイフ形石器の範疇で捕らえることできるが、53・54 (第48図) の石刃素材のナイフ形石器とは区別するために基部加工石器とした。石材は緑色凝灰岩と見られる。

58 (第48図) は基部加工石器である。本資料は、頁岩 (Sh-7) の接合資料45 (第73図) に含まれる資料で、幅広の縦長剥片の打面付近が、素材剥片剥離後に加工されて作られた石器であることが分かる。素材の打面付近の調整は、側縁加工とも基部加工ともみることができ、素材が縦長指向の剥片であること、素材端部の尖頭状の形態を残置していること、素材に厚みがあり断面が三角形を呈すること等を考慮すると、台形様石器の範疇とするよりもナイフ形石器に近い石器と評価すべきと考えた。ただし、56 (第48図) の基部加工石器と同様、石刃素材のナイフ形石器とは異なるとみなし、基部加工石器とした。

59 (第48図) は石刃である。単剥離面打面を大きく残している。端部には、稜上からの微細な剥離痕が認められ、また、打面と対極方向からの剥離面も存在することから、積極的に評価すれば石刃を連続的に得るために石核に調整を加える石刃技術の存在を予想させる資料である。緑色凝灰岩製である。

60 (第48図) は石刃である。打面付近に調整剥離痕が認められるが、素材剥片剥離以前のものか以降のものか判然としないため、石刃とした。剥離面打面から剥離されており、ねじれの少ない点の特徴としてあげられる。先端部は折損していると考えられる。頁岩製である。

61（第48図）は鋸齒縁石器である。平坦な一次剥離面の端部に大きく二箇所の手入部を作り出し、その手入によって突出部を作出しており、技術形態的にA区の12（第33図）の鋸齒縁石器と非常に類似している。また、緑色凝灰岩の厚みのある横長剥片を素材としている点からは、斧形石器との何らかの関連性もうかがえる。本資料にはさらに、鋸齒縁部と反対方向に表裏面に調整剥離が認められ、より複合的な石器とみなすのが妥当であろう。

62（第49図）は部分加工剥片である。接合資料42（第71図）に見られるように、平坦な剥離面打面から剥離された幅広剥片が折断されたものを素材としている。周縁に部分的に調整剥離を加えているが、特に端部では連続的な調整剥離によって、直線的な刃部を作出している。珪質頁岩製（SSH-4）である。

63（第49図）は使用痕剥片である。複剥離面打面から剥離された横長剥片で、素材の一次剥離面と主剥離面からなる鋭利な刃縁に連続的に微細剥離痕が認められる。また、背面構成から、求心的な剥片剥離技術と横長剥片との結びつきがうかがわれる。チャート製である。

64（第49図）は石核である。表面には原礫面、裏面には節理面が残されており、周縁部から求心的に横長剥片が剥離された亀甲盤状の石核と考えられる。しかし、周縁部のより小さな剥離痕を積極的に評価すると本資料は斧形石器が折損したものとみることも可能で、節理面や原礫面の存在は斧形石器のそれと見ることができると考えている。石材は頁岩である。

65（第49図）は石核である。チャートの亜円礫が剥離やそれに伴う節理によって90度に交わる面を作出している。最終的に剥離された剥片が2枚の縦長剥片であったことが確認でき、単設打面から剥離する縦長剥片の製作を考える上で参考となる資料である。

66（第50図）はチャートの幅広の剥片である。55（第48図）の台形様石器や67（第50図）の大型の石核と同一母岩（Ch-35）と考えられる。本ブロック内で同一の母岩とみられる資料は他に検出されていないため、この剥片も素材の厚みを活かしてスクレイパー的機能を満たしていたと考えることもできるが、剥片端部に残る微細な剥落は、チャートという石材に特有の同時割れと区別がつかないため、ここでは剥片としておきたい。

67（第50図）はチャートの石核である。大型の亜角礫の一端を剥離し、その剥離面を打面として連続的に幅広剥片を剥離した痕跡を認めることができる。接合はしていないが、55（第48図）の台形様石器、66（第50図）の剥片と同一母岩（Ch-35）と見られるため、連続剥離の最初に66の剥片、連続剥離の最終段階で55の台形様石器の素材が剥離され、また何枚かの剥片を剥離した後の段階の石核と予想することもできる。

68（第51図）は敲石である。砂岩の棒状礫を素材としている。側縁に敲打痕の集中する箇所が認められ、上下両端部には敲打に伴うと考えられる剥離痕がある。この剥離面からは、本資料による敲打の動作が器体の長軸方向の運動であったことが推察される。

69 (第51図) は敲石である。もとは非常に扁平な楕円形の礫であったと思われる。大部分を損失しているが、接合している3点の破片は比較的集中して出土している。端部に剥離痕があり、素材の形状から斧形石器の一部あるいは未製品とみることにもできるが、周縁調整と思しき剥離面も少なく、その剥離面が敲打によるものとも考えられるため、残存部位のみからでは敲石と見る方が妥当と考えた。砂岩製である。

3. C区

C区から出土した石器は、ナイフ形石器1点(第51図70)、剥片1点(第51図71)、敲石1点(第51図72)、礫1点、合計4点である。ツール1点、デビタージュ1点であった。

70 (第51図) はナイフ形石器である。横長剥片を横位に用い、両側縁の基部に急斜度剥離がなされている。腹面と背面の構成からは、素材の剥片剥離に90度の打面転移がなされたことがうかがえる。チャート製である。

71 (第51図) は縦長剥片である。背面と打面は節理面で構成されているが、腹面には明瞭なバルブが認められる。チャート製である。

72 (第51図) は敲石である。小型で楕円形の扁平礫の下端部に敲打痕が認められる。砂岩製である。

(3) 接合資料

1. A区

A区からは40個体の接合資料が得られた。1～3号ブロックでは特に接合資料が多く、ブロック間の接合関係も見られる。それに対して4号ブロックにおける接合関係は少量である。接合する個体は在地石材であるチャートが大部分を占めている。他に頁岩、ホルンフェルス、安山岩、緑色凝灰岩等も、剥片剥離を目的としたことが看取できる接合状況を示している。また、斧形石器の折損、刃部再生を示す接合資料も少数ながら含まれていることは、本発掘区の特徴といえよう。技術的特徴を示していると考えられる接合資料について図示・記載を行った。

接合資料1 (第29・52～55図) は頁岩(Sh-5)である。この頁岩は黒色で珪化が進んでおり、特徴的な石材である。3号ブロックの主体をなしており、18点の接合資料の内、1点のみが1号ブロックから出土している。剥片剥離の過程を復元できる資料で、石核2点と剥片14点が接合している。素材は長径約15cmの円礫であり、①a～e、②f～k、③l～rの3つに分割され、各々が剥片剥離されている。①について見ると、まず単一の平坦打面から連続して剥離された3点の剥片a～cの接合があり、最後に剥離された剥片cは、使用痕と考えられる微細剥離が観察できる(第34図21)。3点とも形状が類似しており、目的剥片が縦長指向であったことがう

かがえる資料である。次にd～eは180度打面を転移させ縦長剥片を剥離している。このeは打面部を剥離し、端部に調整を加えており、鋸齒縁石器としている（第33図12）。②については、まず、fによって小口面を作り、そこからg～kの剥片を剥離している。③については、l～mが剥離され、n～pが剥離されたが同時割れを起こした。さらにgが剥離され、rが残核として残った。

接合資料5（第22・55図）はチャートである。1号ブロックから検出された楔形石器2点（第34図13・15）の接合であり、同一の剥離面打面から剥離された幅広剥片が素材となっていたことが分かる。

接合資料10（第28・56図）はチャートである。3号ブロックから検出された部分加工剥片（第35図23）と石核の接合である。節理構造が激しいが、平坦打面から縦長の剥片を剥離している。

接合資料19（第28・56図）はチャートである。3号ブロックから出土した。縦長剥片2点の接合であるが、aの背面構成から、90度打面転移を行っていたことがうかがえる。

接合資料18（第28・57図）はチャートである。3号ブロックから検出された。扁平な円礫を分割し、作業面を打面としながら不定形の小型剥片を剥離している。

接合資料24（第24・57図）は緑色凝灰岩である。1号ブロックから出土した。非常に薄く、横長の剥片で、一部同時割れを起こしている。斧形石器の調整剥片の接合資料と考えられる。

接合資料22（第27・58図）は輝緑岩である。2号ブロックで出土した斧形石器の基部と刃部（第37図28）の接合で、非常に近接して出土している。基部側の側縁は稜が潰れており、刃部も刃こぼれが若干見られる。器体中央部の折れは使用によるものと考えられる。

接合資料23（第27・58図）は輝緑岩である。2号ブロックで出土した斧形石器の器体と調整剥片の接合（第39図29a・29b）で、非常に近接して出土している。接合状態から、より扁平で大きな斧形石器の刃部再生を行っている資料と見られる。刃部形状が整った後、側縁調整を行ったが、剥離が予定以上に器体深くに入ったために、再生を中止し廃棄されたものと見られる。

接合資料25～28（第59～64図）は緑色凝灰岩である。1号ブロックの主体となっている接合資料である。これらは一つの大型の円礫を接合資料27と接合資料25・26・28とに半割し、その平坦面を利用しながら剥離していった一個体と考えられるが、各々は接合せず、ブロック外に持ち出されたと思われる剥片がかなりあることがうかがえる。接合資料25（第25・59図）は、半割面とその対向方向から縦長の剥片を剥離している。この後剥離された剥片がブロック内から持ち出されており、次に接合資料26（第25・59図）が剥離された。さらに接合資料28（第25・61～64図）へと剥離が進んでいく。半割面や原礫面から大型で厚みのある剥片が何枚か連続して剥離され、作業面を打面に転移してまた剥離を繰り返している。接合の空白になっている部

分が続き、次に見られる剥片は幅広の縦長剥片である。最終的には寸詰まりの小型剥片を剥離している。残された石核は、サイコロ状となっている。半割されたもう一方である接合資料27（第25・59・60図）も、半割面を打面に大型の剥片が剥離され、作業面を打面に転移して幅広剥片が剥離されるが、最終的には小型で寸詰まりの剥片を剥離したようである。残された石核は、原礫面を残しサイコロ状を呈する。

接合資料29（第27・65図）は緑色凝灰岩である。2ブロックで出土した斧形石器の基部と刃部（第36図27）の接合で、非常に近接して出土している。非常に薄く、器体を二分する中央の折れは、使用に伴うものと考えられる。

接合資料30（第24・65図）は緑色凝灰岩である。1号ブロックから検出された敲石2点（第45図46）の接合資料である。折面には節理面が含まれており、使用等の衝撃によって節理に沿って破損したのと考えられる。

接合資料31（第24・66図）は緑色凝灰岩である。1号ブロックから検出された敲石3点（第44図42）の接合資料である。使用等の衝撃によって節理に沿って破損したのと考えられる。

接合資料36（第23・66図）はホルンフェルスである。1号ブロックから出土した。円礫から大型の横長剥片を剥離している資料である。原礫面を横長の両端に残し、厚みも約2cmであるため、斧形石器の素材として剥離されたのと考えられる。しかし、同時割れを起こしており、斧形石器の素材とはなり得なかったものと見られる。図化はしていないが、本発掘区において、同様の接合個体が5個体得られている。

接合資料38（第26・67～69図）は安山岩である。1号ブロックに広く分布し、接合38kの剥片1点のみが2号ブロックから検出された。円礫の端部から剥離し、作業面を打面として数点の剥片を連続して剥離している。剥片は大ぶりで厚みがある。石核は残されていなかった。

接合資料39（第26・70図）は安山岩である。1号ブロックから出土した。扁平礫の両端から不定形な寸詰まり剥片を剥離し、チョッピングツール状の石核となっている。剥片剥離時の衝撃で、節理構造に沿って中央から破損している。

接合資料40（第29・71図）は珪質頁岩である。3号ブロックから出土した。石材が良質で剥片素材の小型の石核であると見られる。

2. B区

接合資料42（第31・71図）は珪質頁岩である。6号ブロックから出土した部分加工剥片（第49図62）と剥片の接合である。この接合から、単剥離の平坦打面から剥離された幅広剥片を縦方向に折り取り、調整加工を加えていたと見られる。

接合資料43（第32・71図）は砂岩である。7号ブロックから比較的集中して検出された敲石

破片3点(第51図69)の接合である。節理構造に沿って破損している。

接合資料44(第32・72・73図)は頁岩(Sh-7)である。この頁岩は黒色で珪化が進んでいる。7号ブロックの主体をなす資料である。剥離面打面からaを剥離し、b～dを連続して剥片剥離を行い、次に平坦な原礫面に打面を移してe・fの剥片を剥離し、fの作業面を打面としてg・hが剥離されている。素材の対向方向からは、jが剥離されている。不定形の小型剥片が剥離され、最終的に残された石核kは、亀甲状の石核となっている。

接合資料45(第32・73図)は頁岩(Sh-7)である。この頁岩も黒色で珪化が進んでいる。7号ブロックが主体となるが、bの剥片が5号ブロックから検出されるなど、非常に散漫に散らばっている。原礫面打面から連続して縦長の寸詰まり剥片を剥離している。また、打面を90度転移させ、剥離した縦長の幅広剥片dは、打面部を調整し、基部加工石器としている(第48図58)。この接合資料44・45は、接合することは出来ないものの、石質を観察すると肉眼で酷似している資料である。そればかりか、礫面の状況、縞状に入る節理の方向等も非常に酷似しており、数枚の剥片を介して互いに接合する個体と考えられる。

表6 第1文化層 母岩別器種一覧表

母岩	器種	台形様	基部加工	スレイト	楔形	部分加工	使用痕	鋸歯縁	石核	剥片	斧形	調整剥片	敲石	合計
Ch-20									1	6				7
Ch-21	1		1	2	1				6	21				32
Ch-22				2	1				8	11				22
Ch-23									3	1				4
Ch-24										3				3
Ch-25									4	3				7
Ch-26									1	6				7
Ch-27									5	7				12
Ch-28									1	1				2
Ch-29									1	1				2
Ch-30										4				4
Ch-31									1	2				3
Ch-32									1	2				3
Ch-33					1				1	4				6
Ch-34	1				1				1	2				5
Ch-35	1								1	1				3
An-7										12				12
An-8									2					2
Sh-5	1						1	1	2	16				21
Sh-6										3				3
Sh-7		1							2	14				17
SSH-1						1			1	3				5
SSH-2	1									3				4
SSH-3									2	2				4
SSH-4	1				1					6				8
Ho-2									1	3				4
Ho-3									1	4				5
Ho-4									1	5				6
Ho-5										2				2
Ho-6										4				4
Ho-7										3				3
GTu-3											10			10
GTu-4									3	28				31
GTu-5										2				2
GTu-6											2			2
GTu-7											3			3
Sa-2											3			3
Db-1										2				2
Db-2										1	1			2
合計	6	1	1	4	6	1	1	1	50	183	5	11	8	277

表7 第1文化層 母岩別器種一覧表
(1号ブロック)

母岩	器種	台形様	基部加工	スレイト	楔形	部分加工	使用痕	鋸歯縁	石核	剥片	斧形	調整剥片	敲石	合計
Ch-21	1			1	2	1			6	20				31
Ch-22					1				1	4				6
Ch-24										3				3
Ch-25									1	1				2
Ch-26										4				4
Ch-30										4				4
Ch-33									1	3				4
Ch-34						1			1	2				4
An-7										10				10
An-8									2					2
Sh-5									1					1
Sh-6										2				2
SSH-1										1				1
SSH-2										1				1
Ho-2									1	3				4
Ho-3									1	4				5
Ho-4									1	5				6
Ho-6										4				4
Ho-7										3				3
GTu-3												9		9
GTu-4									3	28				31
GTu-6													2	2
GTu-7													3	3
合計	1			1	3	2			19	102		9	5	142

表8 第1文化層 母岩別器種一覧表
(2号ブロック)

母岩	器種	台形様	基部加工	スレイト	楔形	部分加工	使用痕	鋸歯縁	石核	剥片	斧形	調整剥片	敲石	合計
Ch-20										1				1
Ch-21										1				1
Ch-22									4	7				11
Ch-25									1	1				2
Ch-32									1					1
Ch-33						1								1
An-7										2				2
SSH-2										1				1
GTu-3												1		1
GTu-5											2			2
Db-1											2			2
Db-2											1	1		2
合計						1			6	13	5	2		27

表9 第1文化層 母岩別器種一覧表
(3号ブロック)

母岩	器種	台形様	基部加工	多シヤイ	楔形	部分加工	使用痕	鋸歯縁	石核	剥片	斧形	調整剥片	敲石	合計
Ch-22					1	1			2					4
Ch-23									3	1				4
Ch-25									2	1				3
Ch-26									1	2				3
Ch-27									5	7				12
Ch-28									1	1				2
Ch-29									1	1				2
Ch-31									1	2				3
Ch-32										2				2
Sh-5	1						1	1	1	16				20
Sh-6										1				1
SSh-1					1				1	2				4
SSh-2	1									1				2
Ho-5										2				2
合計	2				1	2	1	1	18	39				64

表12 第1文化層 母岩別器種一覧表
(6号ブロック)

母岩	器種	台形様	基部加工	多シヤイ	楔形	部分加工	使用痕	鋸歯縁	石核	剥片	斧形	調整剥片	敲石	合計
Ch-35										1				1
SSh-3									2	2				4
SSh-4	1									2				3
合計	1								2	5				8

表13 第1文化層 母岩別器種一覧表
(7号ブロック)

母岩	器種	台形様	基部加工	多シヤイ	楔形	部分加工	使用痕	鋸歯縁	石核	剥片	斧形	調整剥片	敲石	合計
Sh-7			1						2	13				16
SSh-4										4				4
Sa-2													3	3
合計			1						2	17			3	23

表10 第1文化層 母岩別器種一覧表
(4号ブロック)

母岩	器種	台形様	基部加工	多シヤイ	楔形	部分加工	使用痕	鋸歯縁	石核	剥片	斧形	調整剥片	敲石	合計
Ch-20									1	5				6
Ch-33										1				1
Ch-34	1													1
合計	1								1	6				8

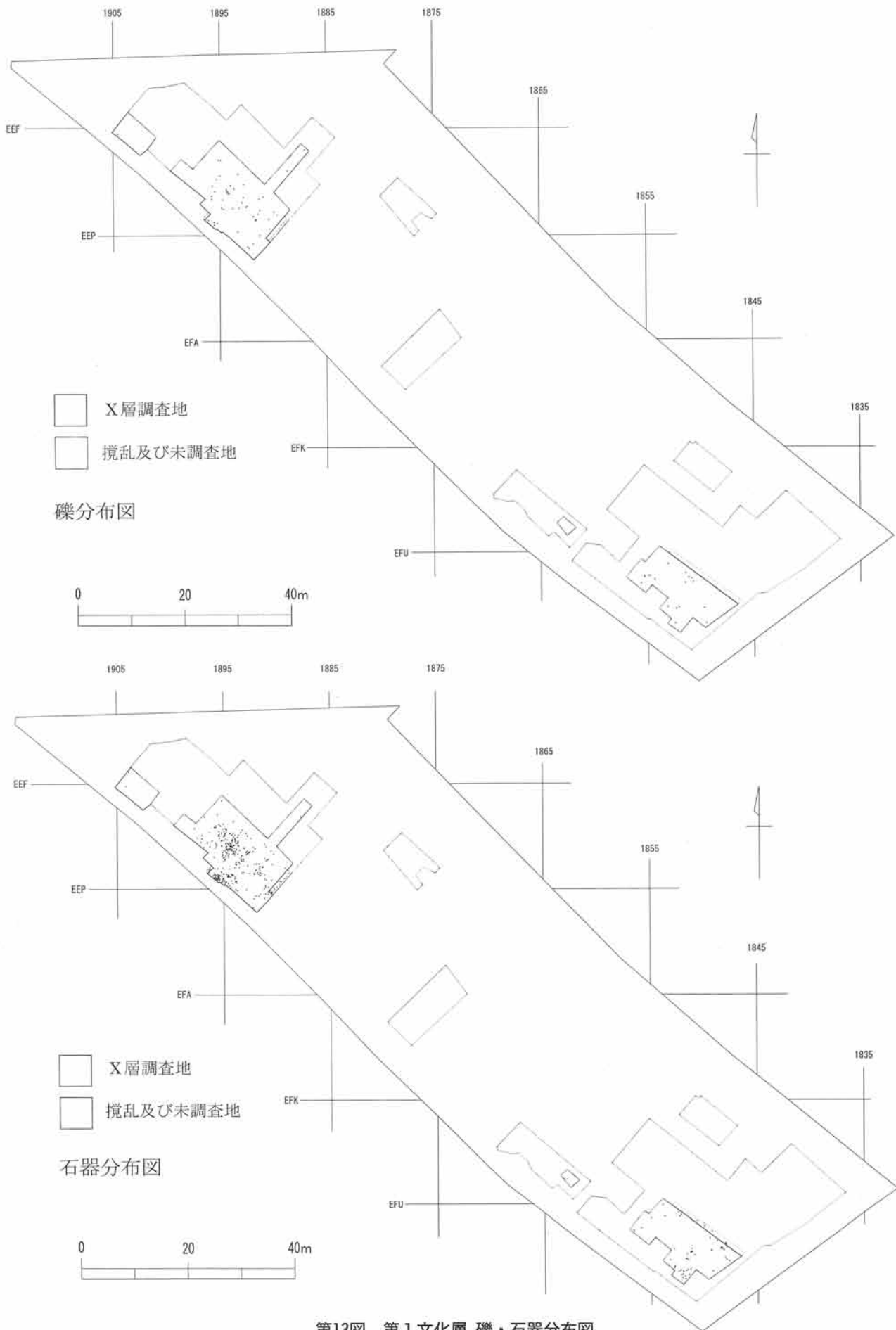
表14 第1文化層 母岩別器種一覧表
(ブロック外)

母岩	器種	発掘区	台形様	基部加工	多シヤイ	楔形	部分加工	使用痕	鋸歯縁	石核	剥片	斧形	調整剥片	敲石	合計
Ch-22	A									1				1	
合計										1				1	

表11 第1文化層 母岩別器種一覧表
(5号ブロック)

母岩	器種	台形様	基部加工	多シヤイ	楔形	部分加工	使用痕	鋸歯縁	石核	剥片	斧形	調整剥片	敲石	合計
Ch-35	1								1					2
Sh-7										1				1
SSh-4						1								1
合計	1					1			1	1				4

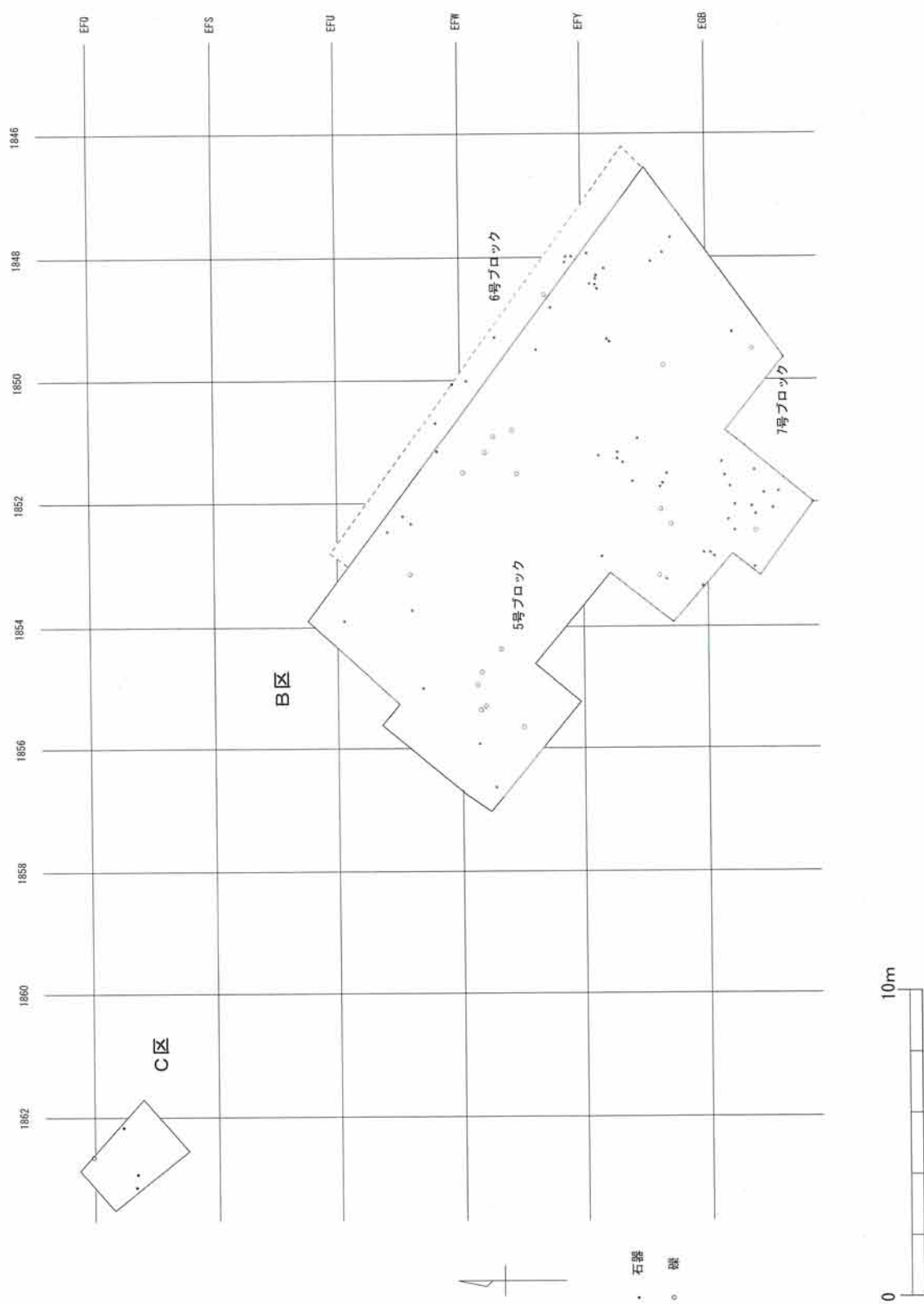
第三章 旧石器時代の調査



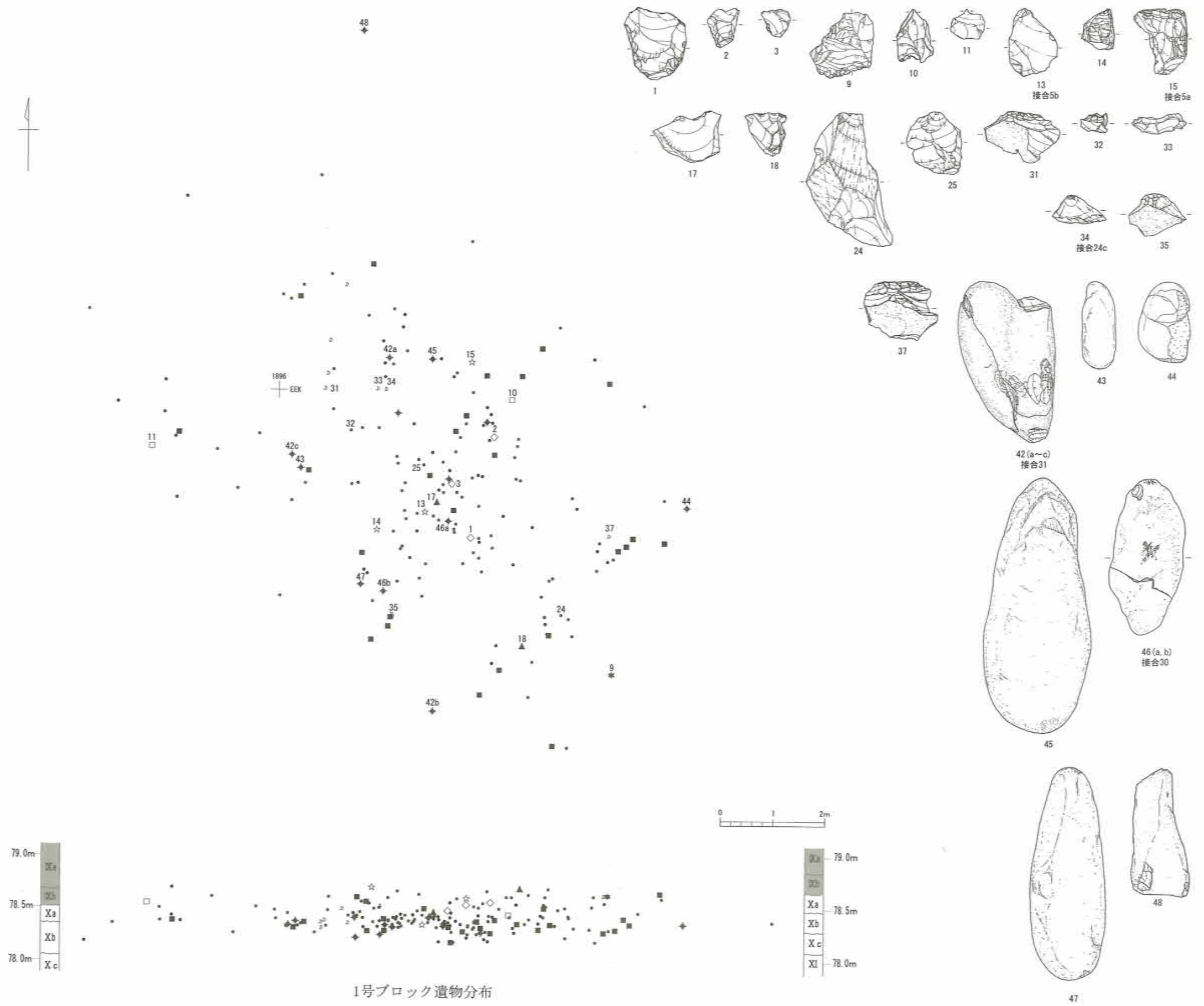
第13図 第1文化層 礫・石器分布図



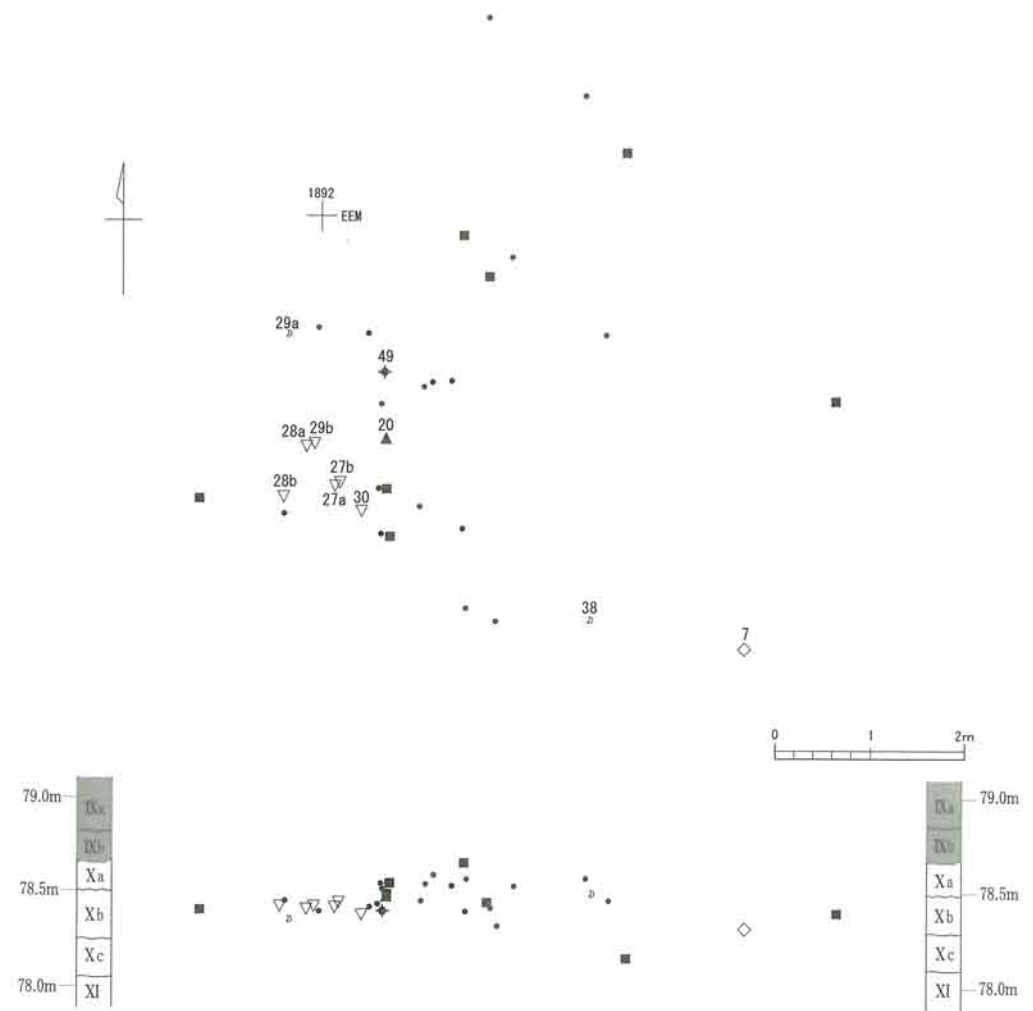
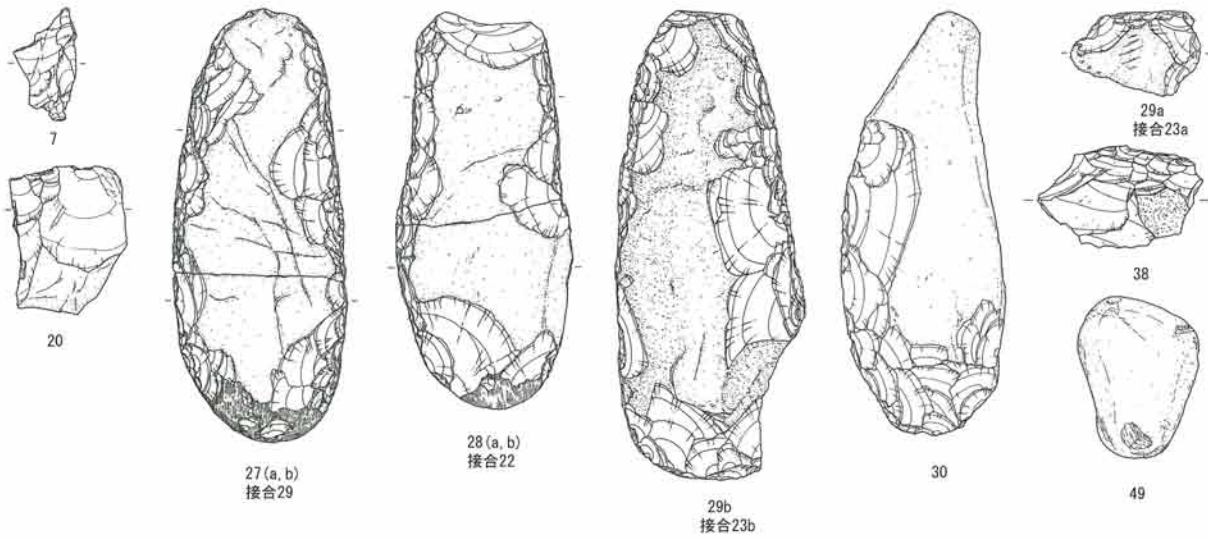
第14図 第1文化層 A区 ブロック概念図



第15図 第1文化層 B・C区 ブロック概念図

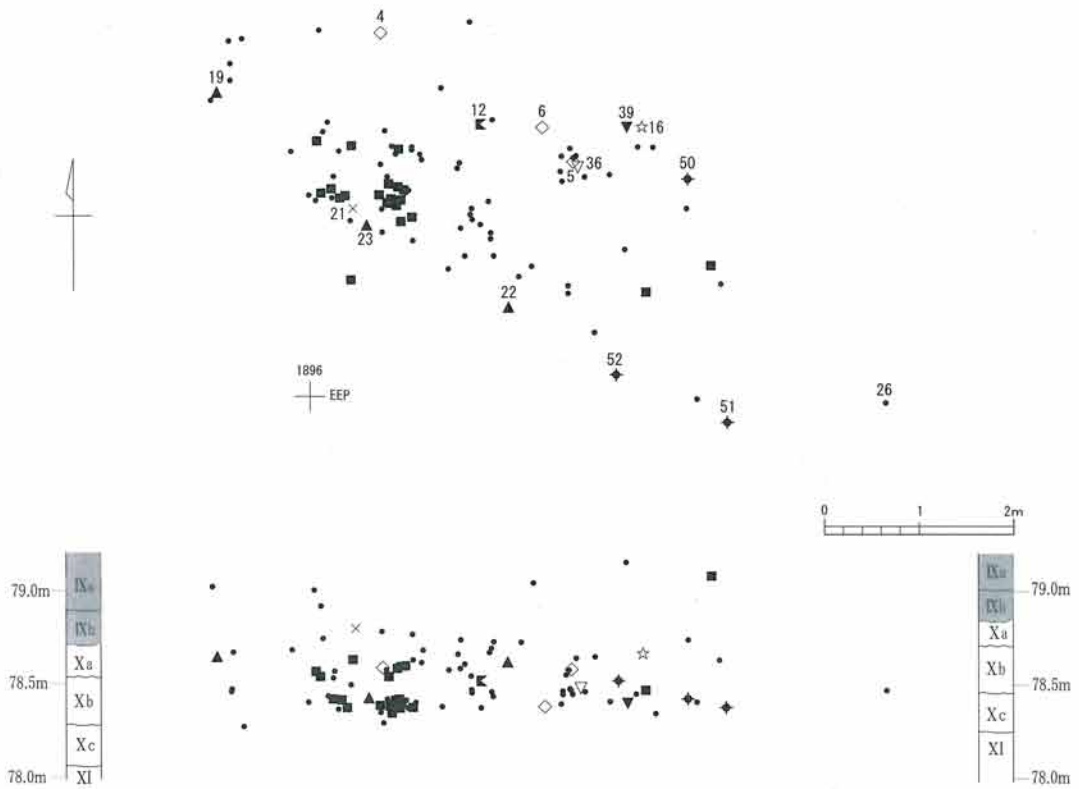
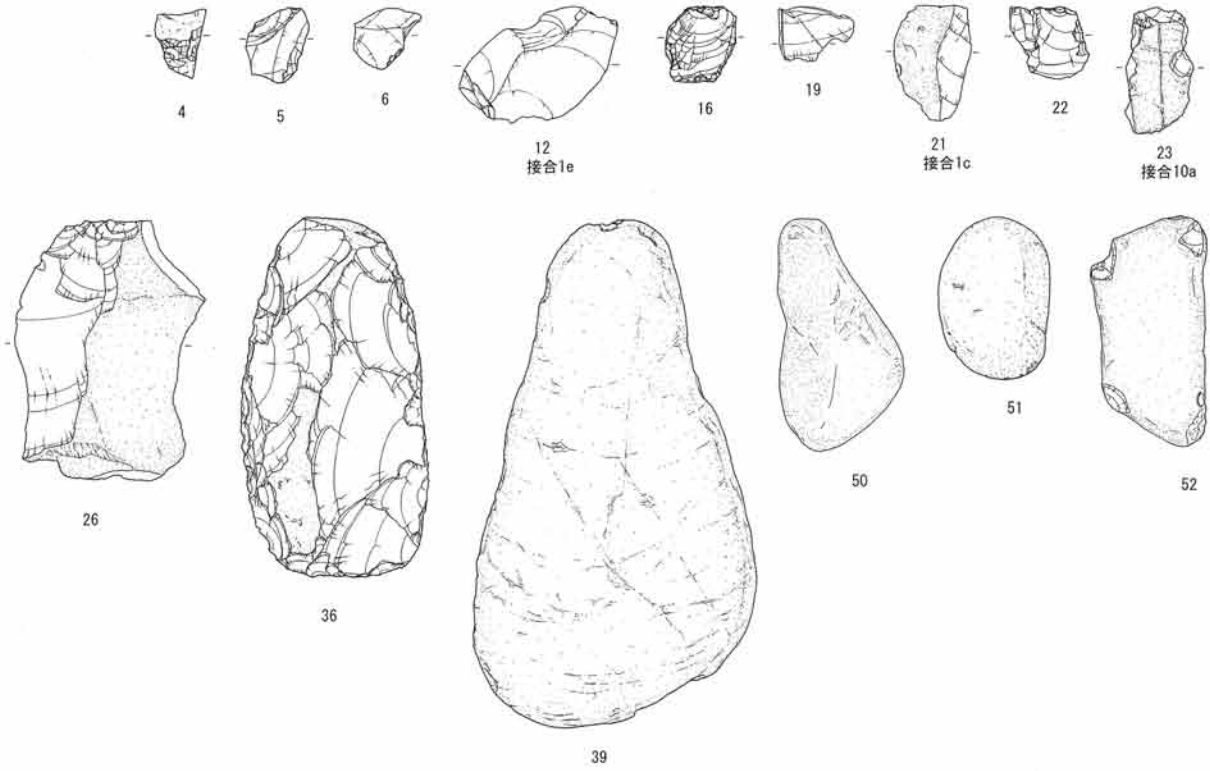


第16図 第1文化層 ブロック別遺物分布図(1)



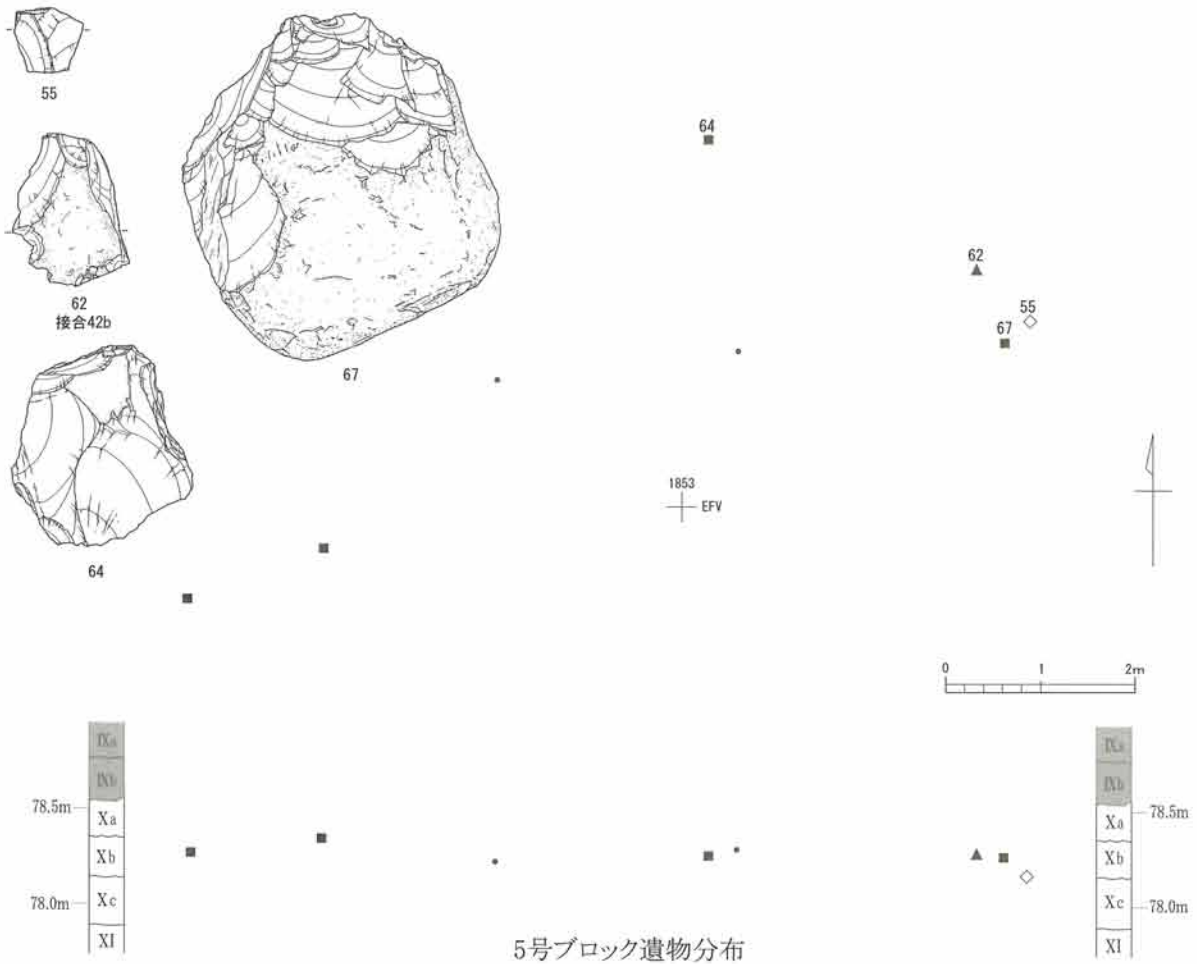
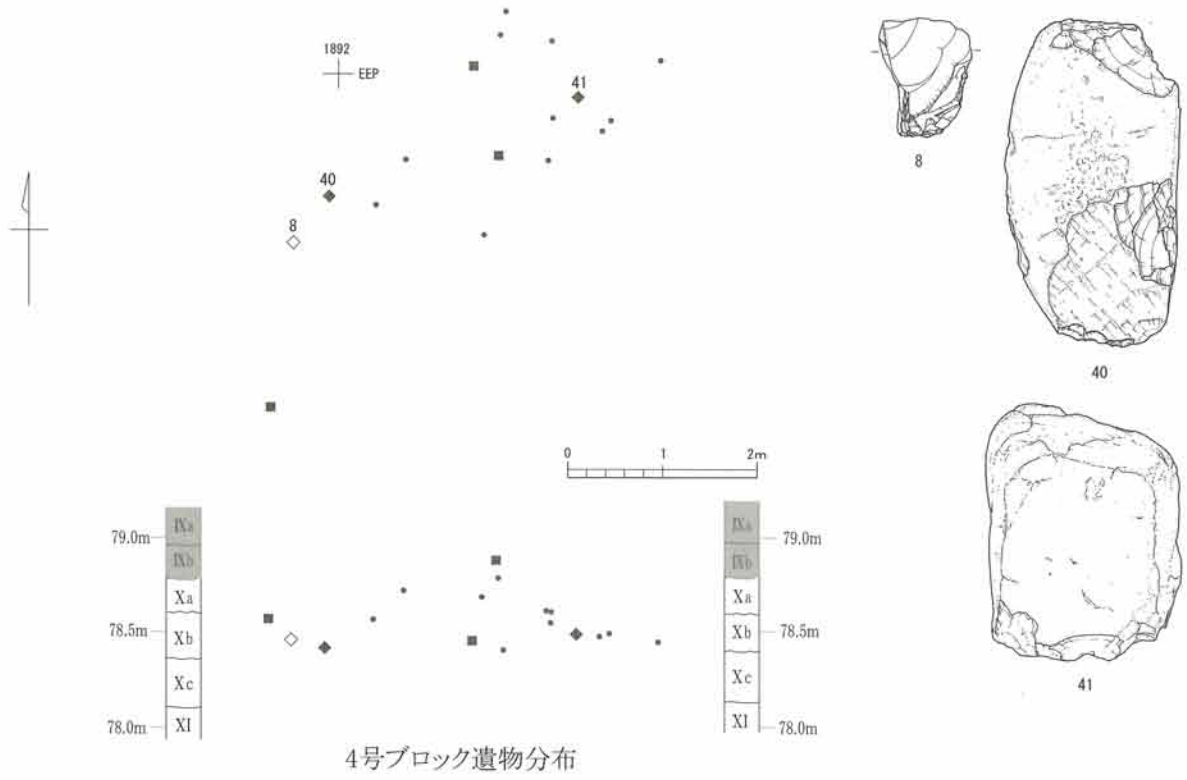
2号ブロック遺物分布

第17図 第1文化層 ブロック別遺物分布図 (2)

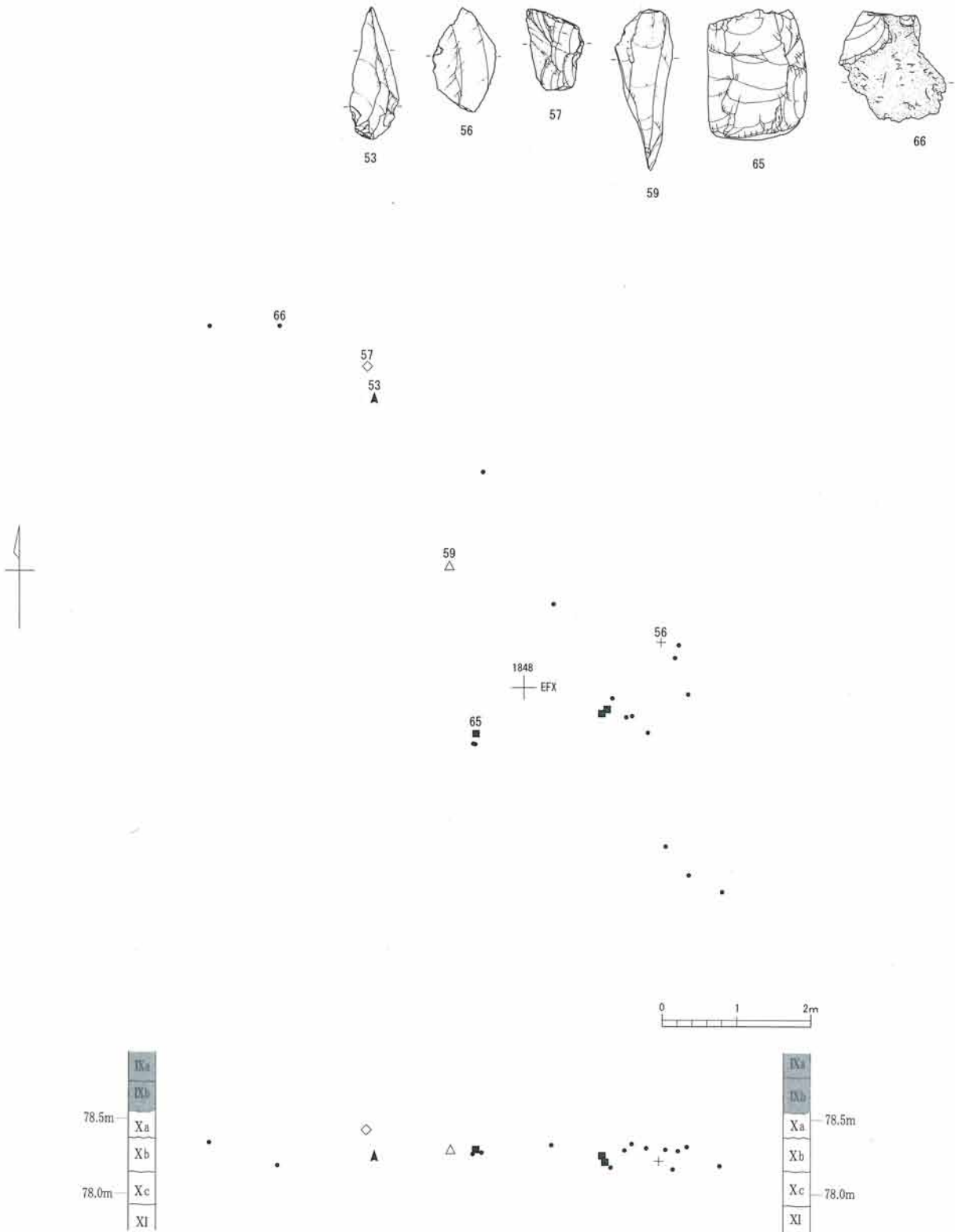


3号ブロック遺物分布

第18図 第1文化層 ブロック別遺物分布図 (3)

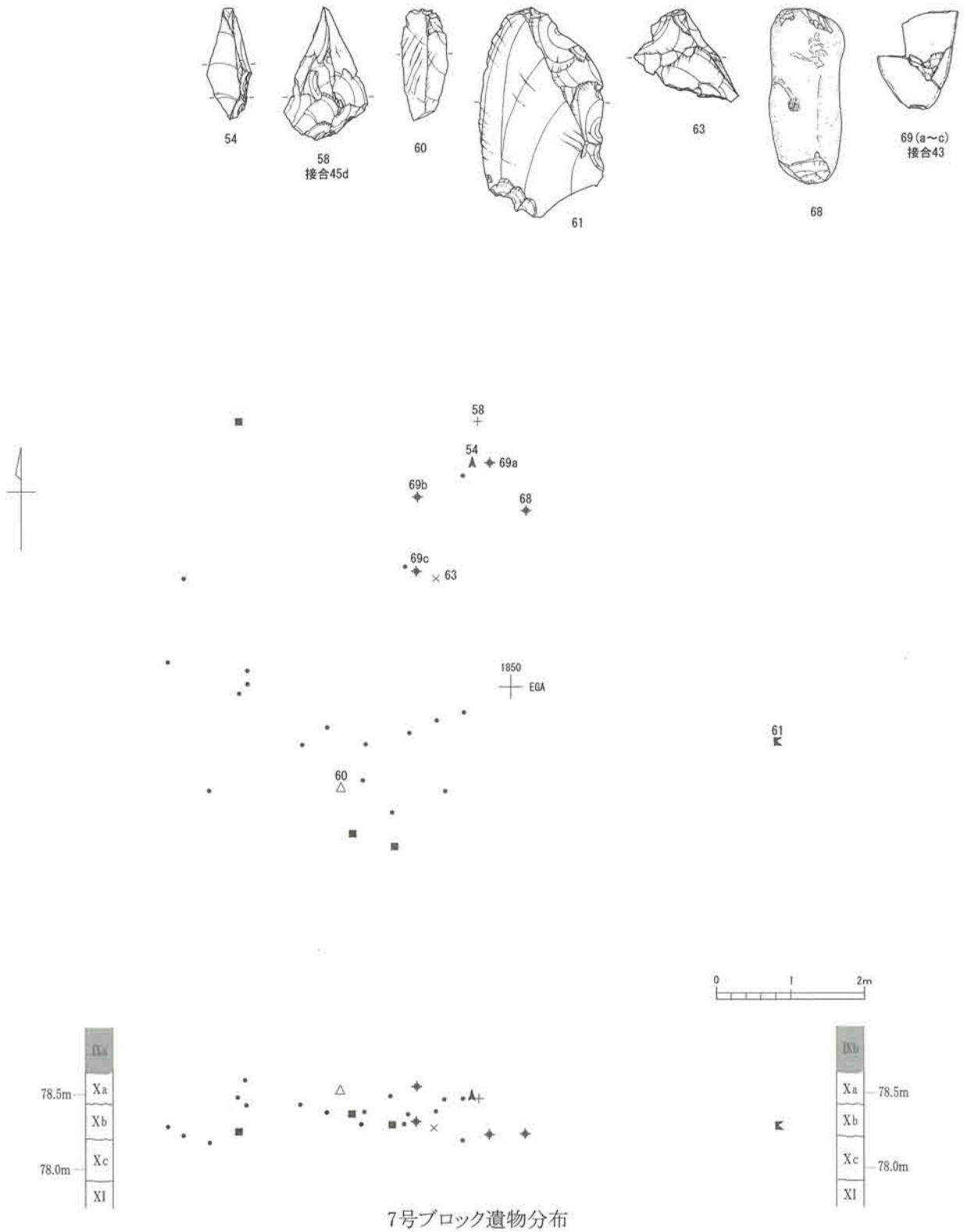


第19図 第1文化層 ブロック別遺物分布図 (4)

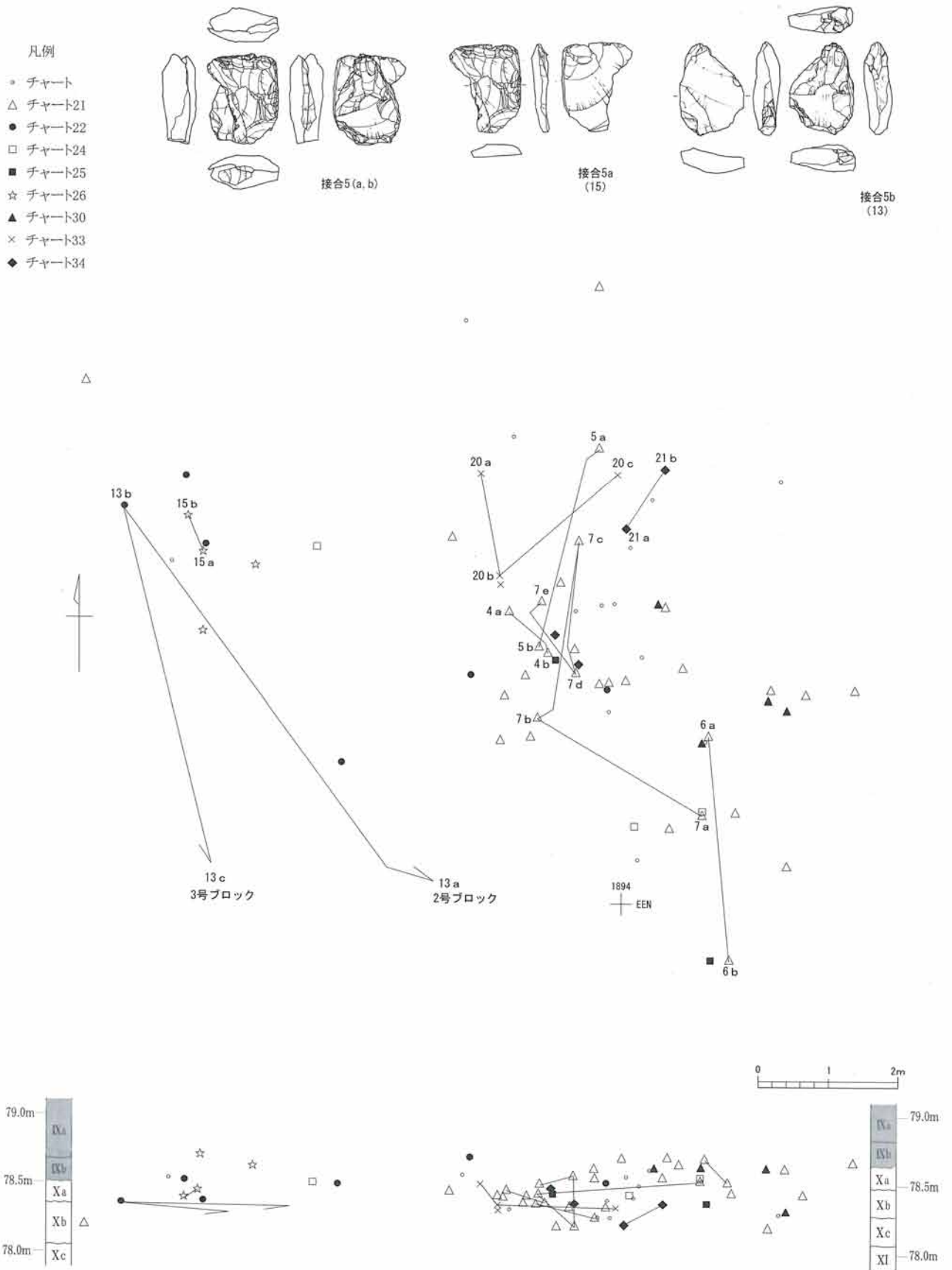


6号ブロック遺物分布

第20図 第1文化層 ブロック別遺物分布図 (5)



第21図 第1文化層 ブロック別遺物分布図 (6)

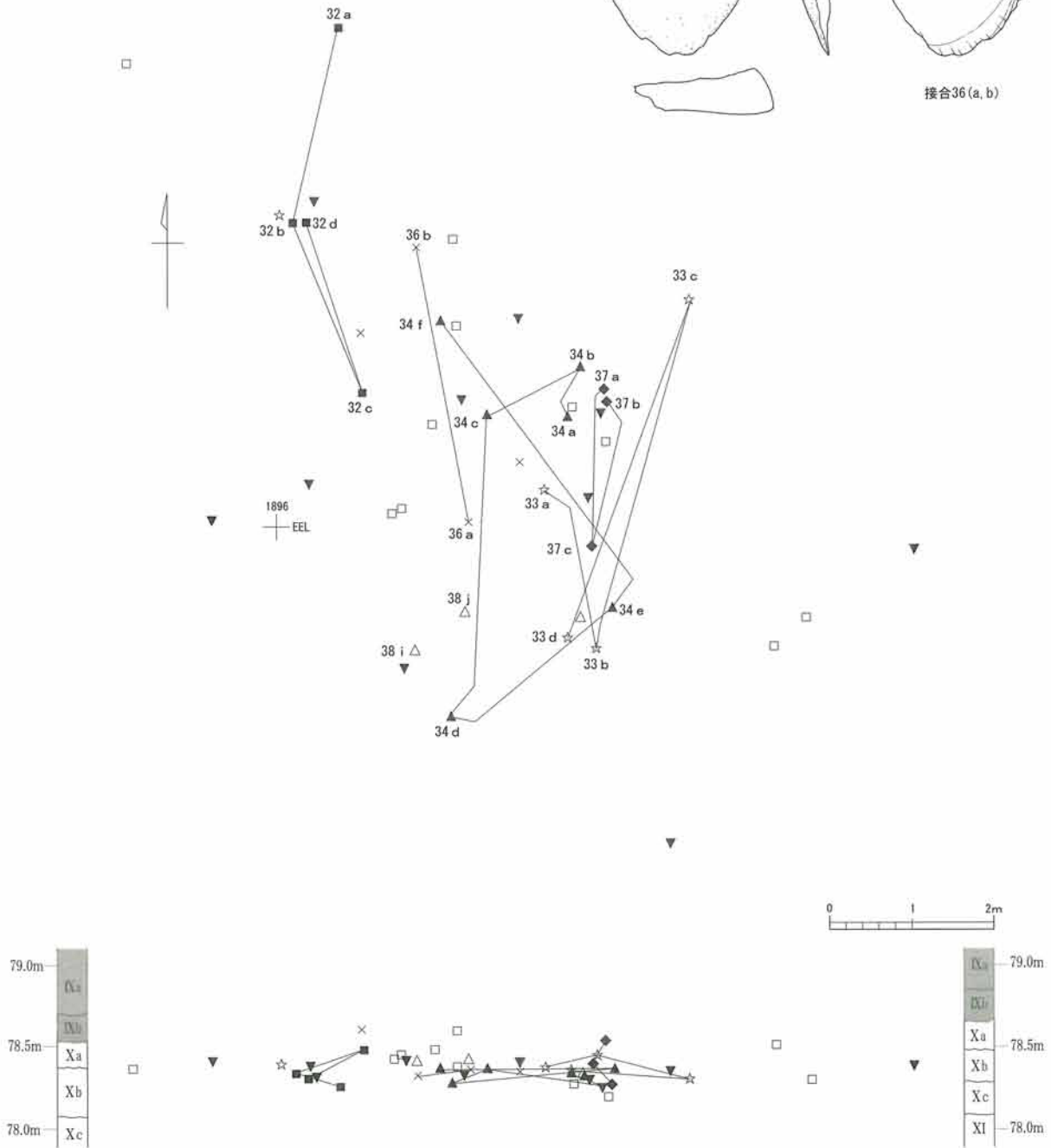
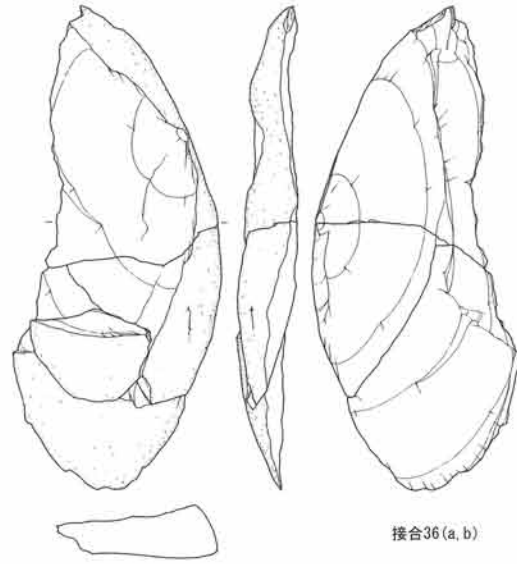


1号ブロック母岩別資料分布①

第22図 第1文化層 母岩別資料分布図(1)

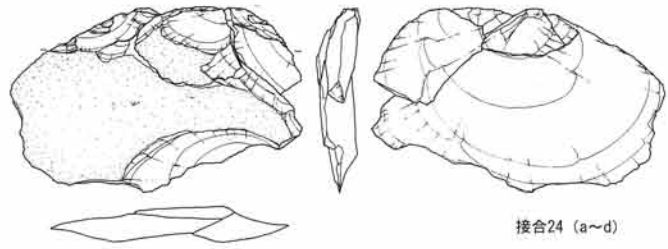
凡例

- ホルンフェルス
- ホルンフェルス2
- ☆ ホルンフェルス3
- ▲ ホルンフェルス4
- × ホルンフェルス6
- ◆ ホルンフェルス7
- ▼ 砂岩



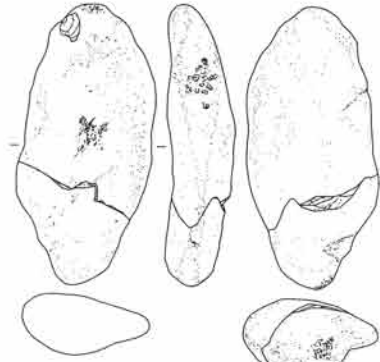
1号ブロック母岩別資料分布②

第23図 第1文化層 母岩別資料分布図(2)

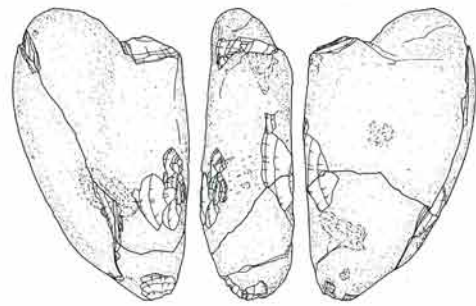
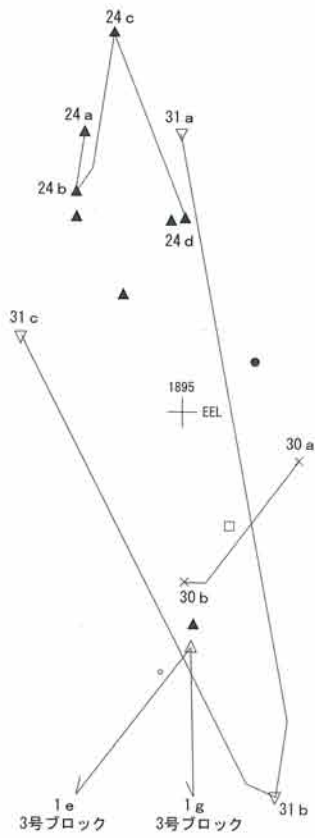


☆

接合24 (a~d)



接合30 (a, b)
(46)

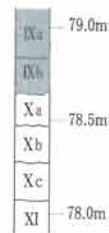
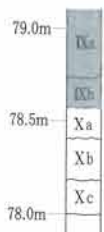
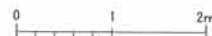


接合31 (a~c)
(42)

☆

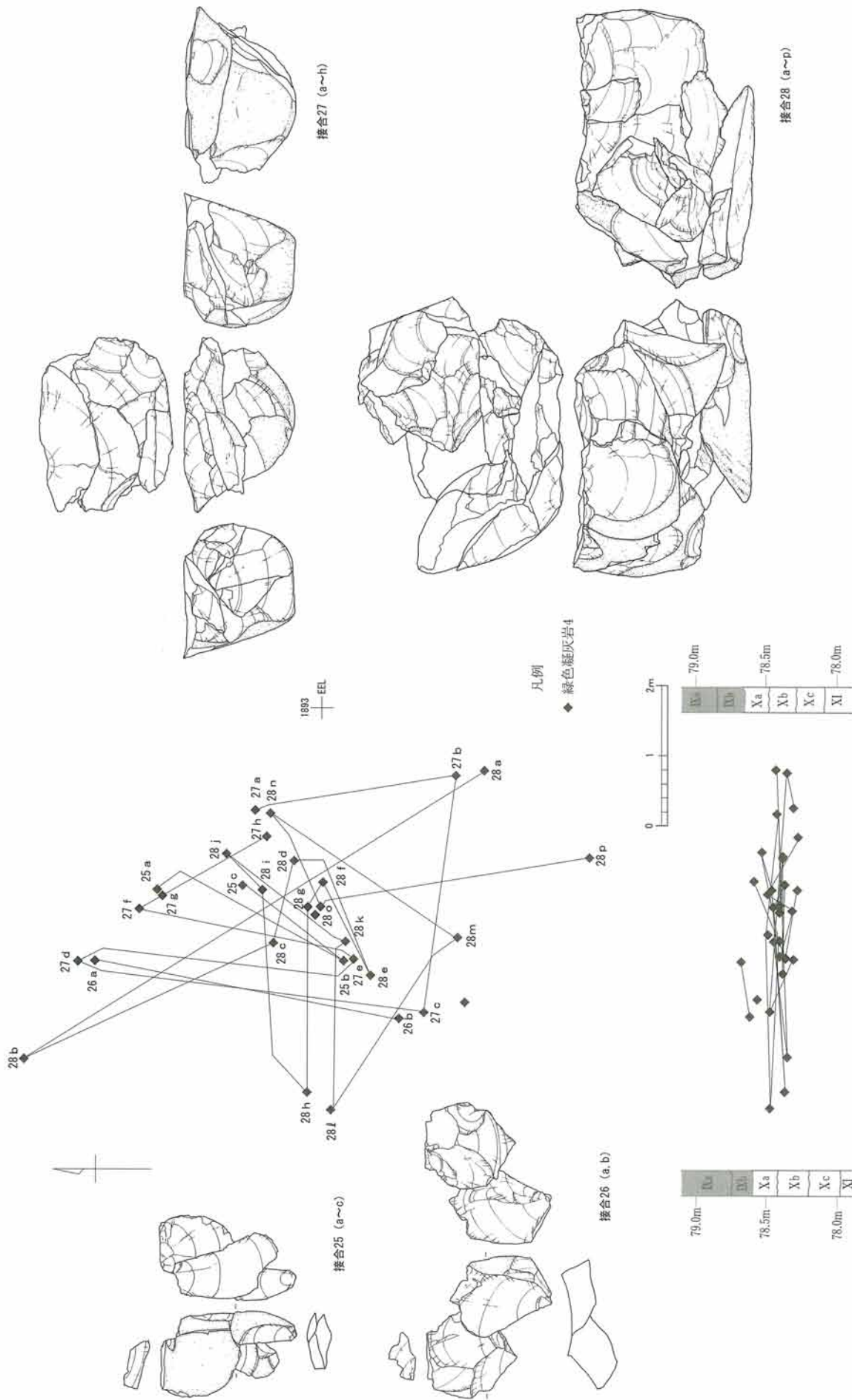
凡例

- 頁岩
- △ 頁岩5
- 頁岩6
- 珪質頁岩1
- 珪質頁岩2
- ☆ 綠色凝灰岩
- ▲ 綠色凝灰岩3
- × 綠色凝灰岩6
- ▽ 綠色凝灰岩7



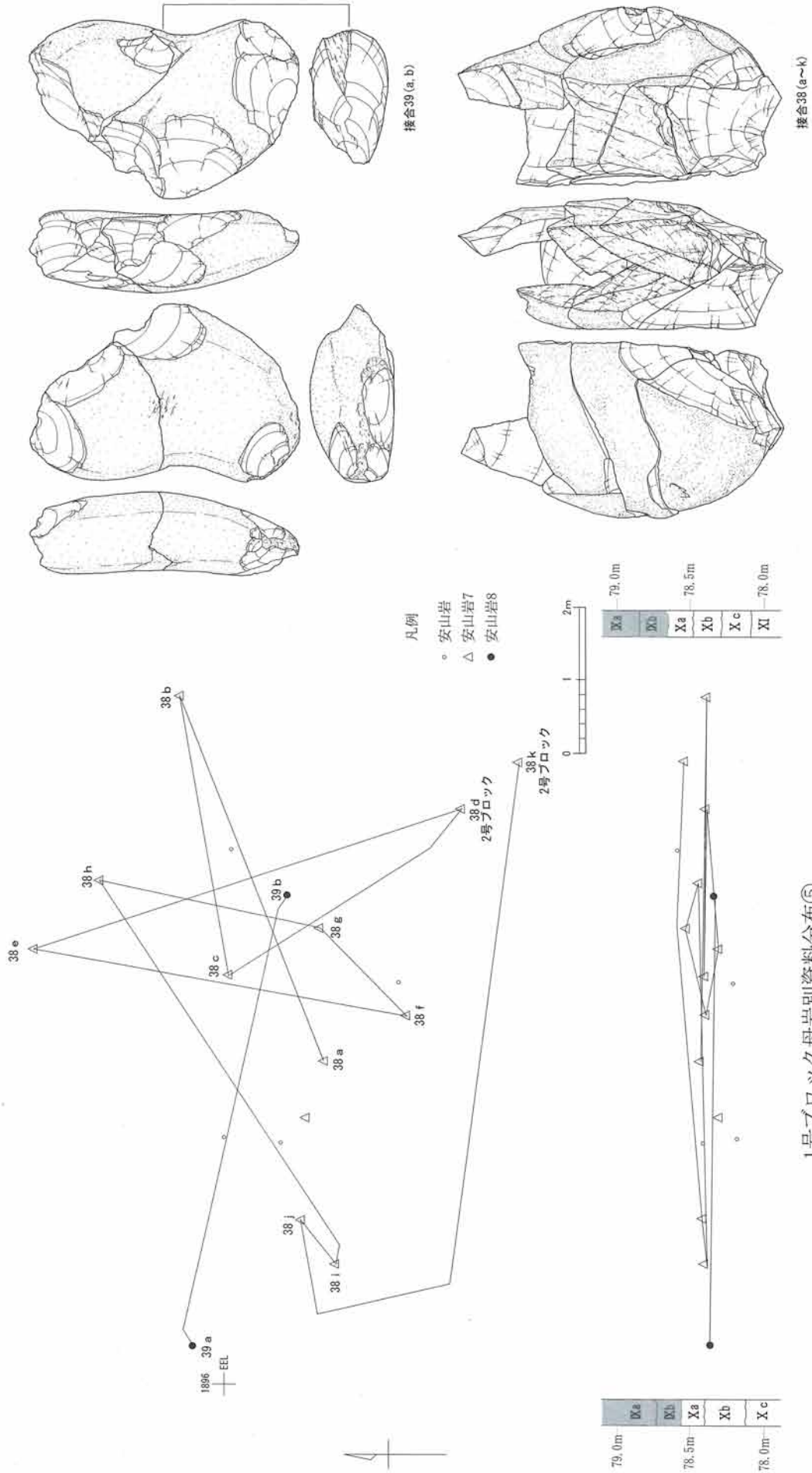
1号ブロック母岩別資料分布③

第24図 第1文化層 母岩別資料分布図 (3)



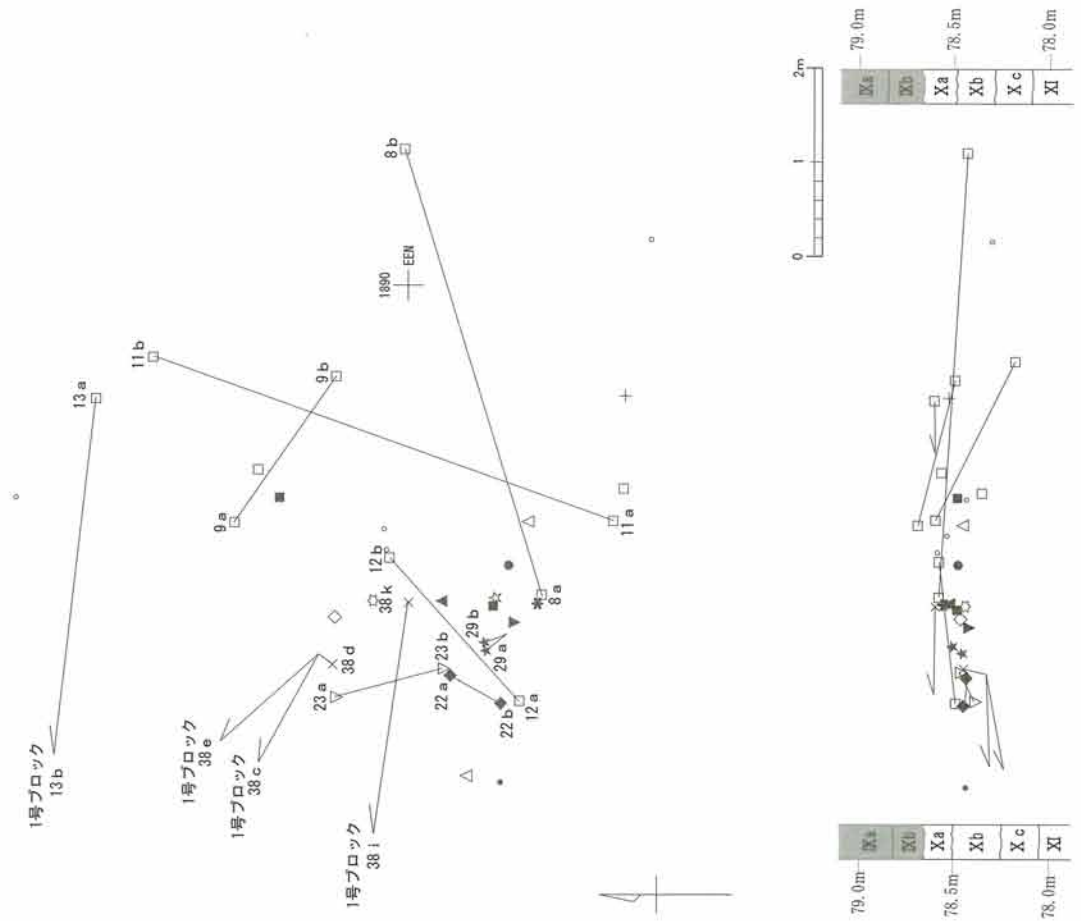
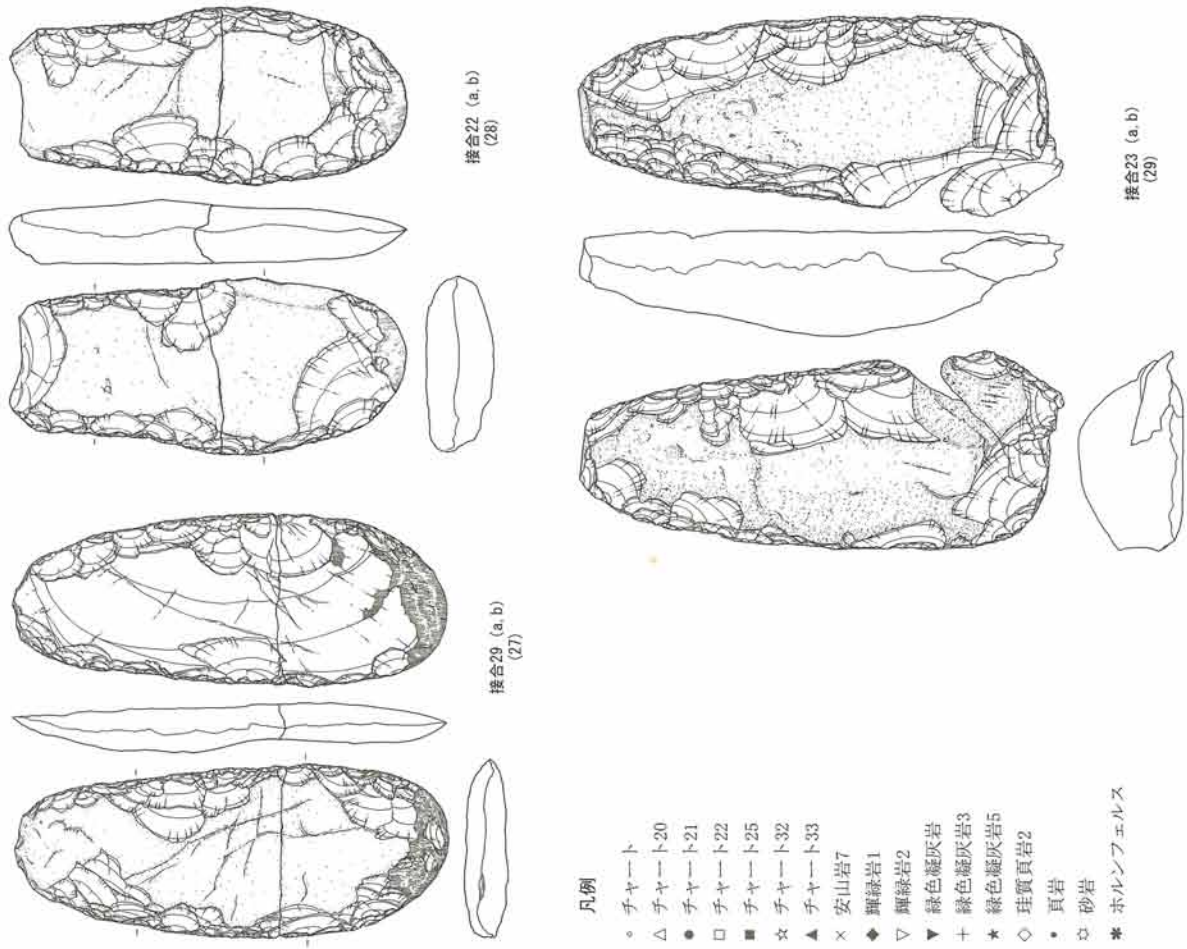
1号ブロック母岩別資料分布④

第25図 第1文化層 母岩別資料分布図 (4)



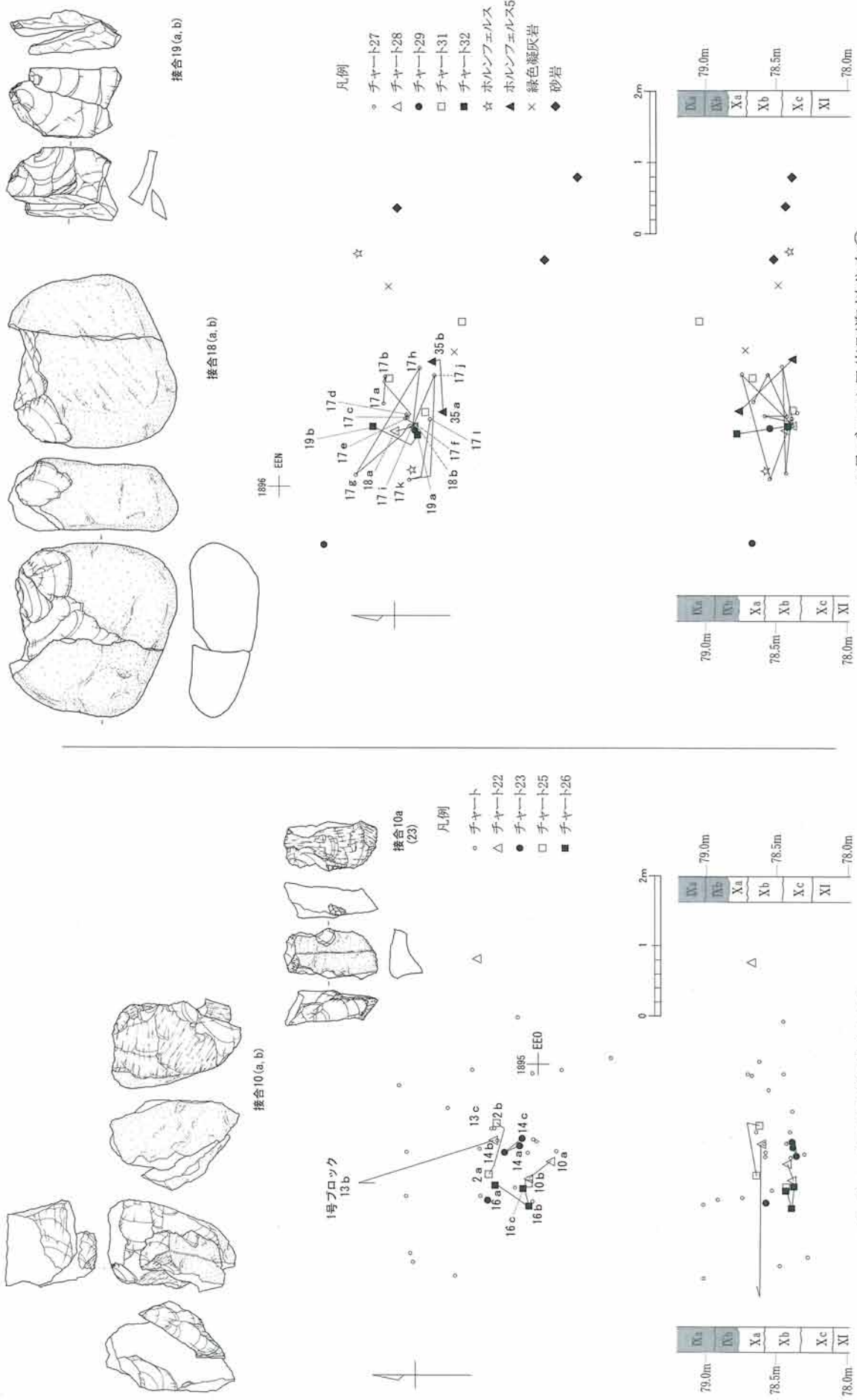
1号ブロック母岩別資料分布⑤

第26図 第1文化層 母岩別資料分布図 (5)

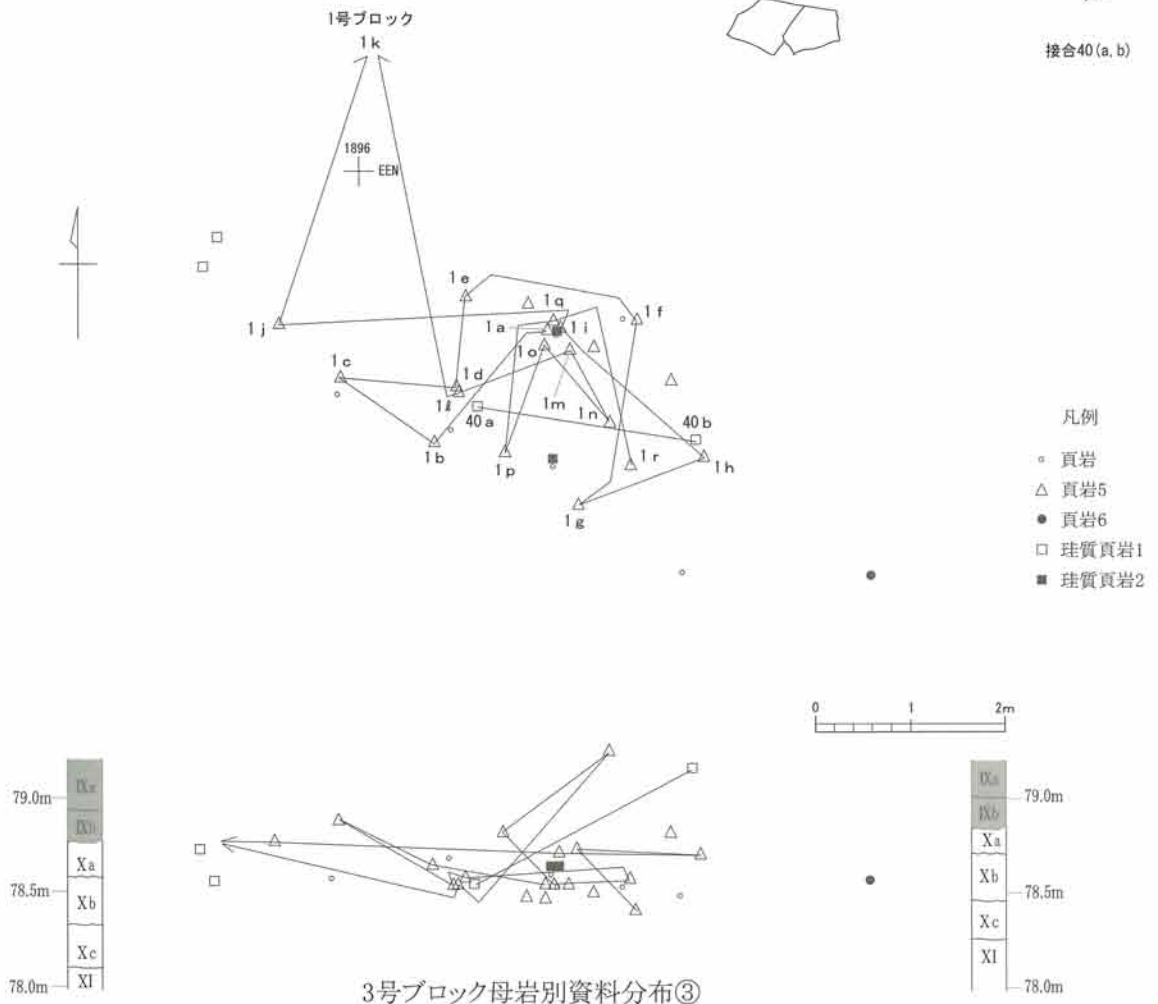
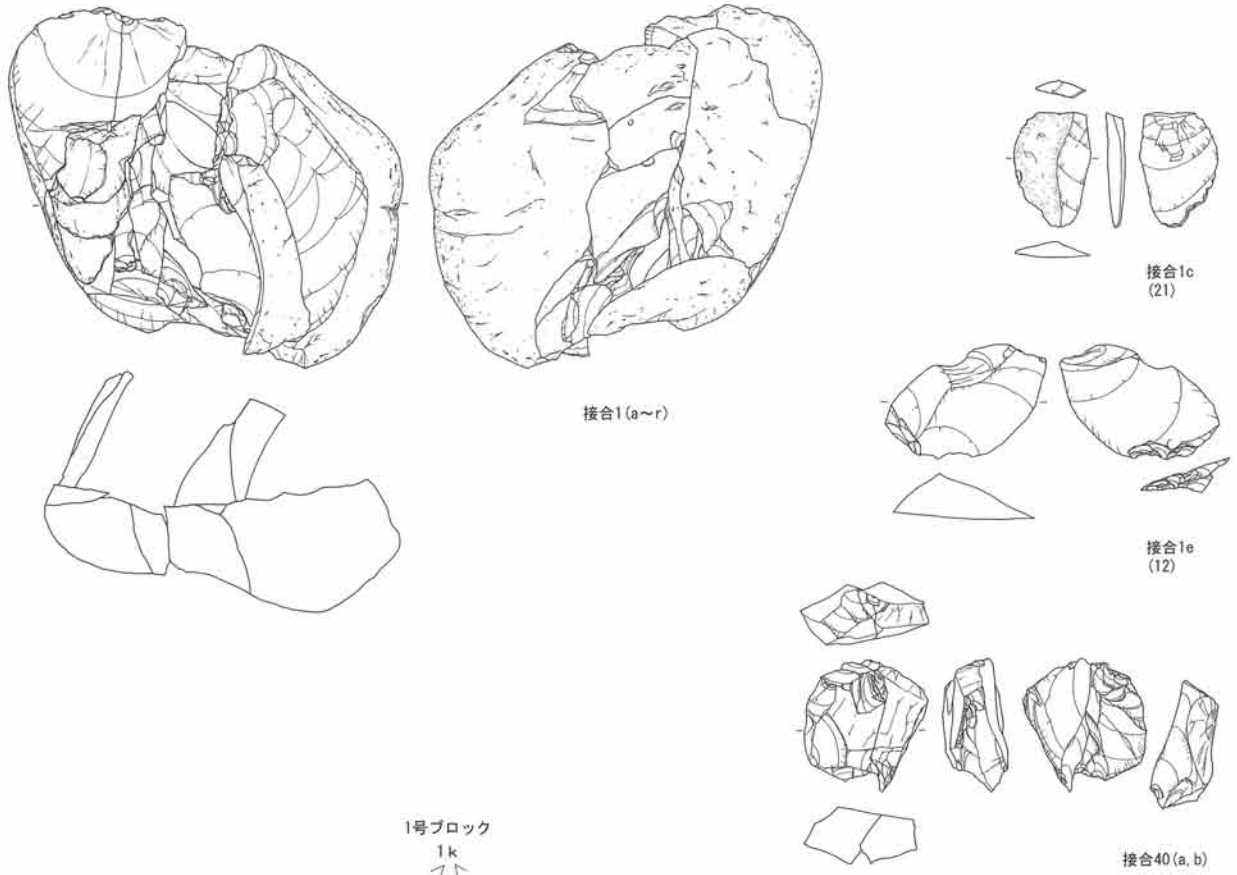


2号ブロック母岩別資料分布

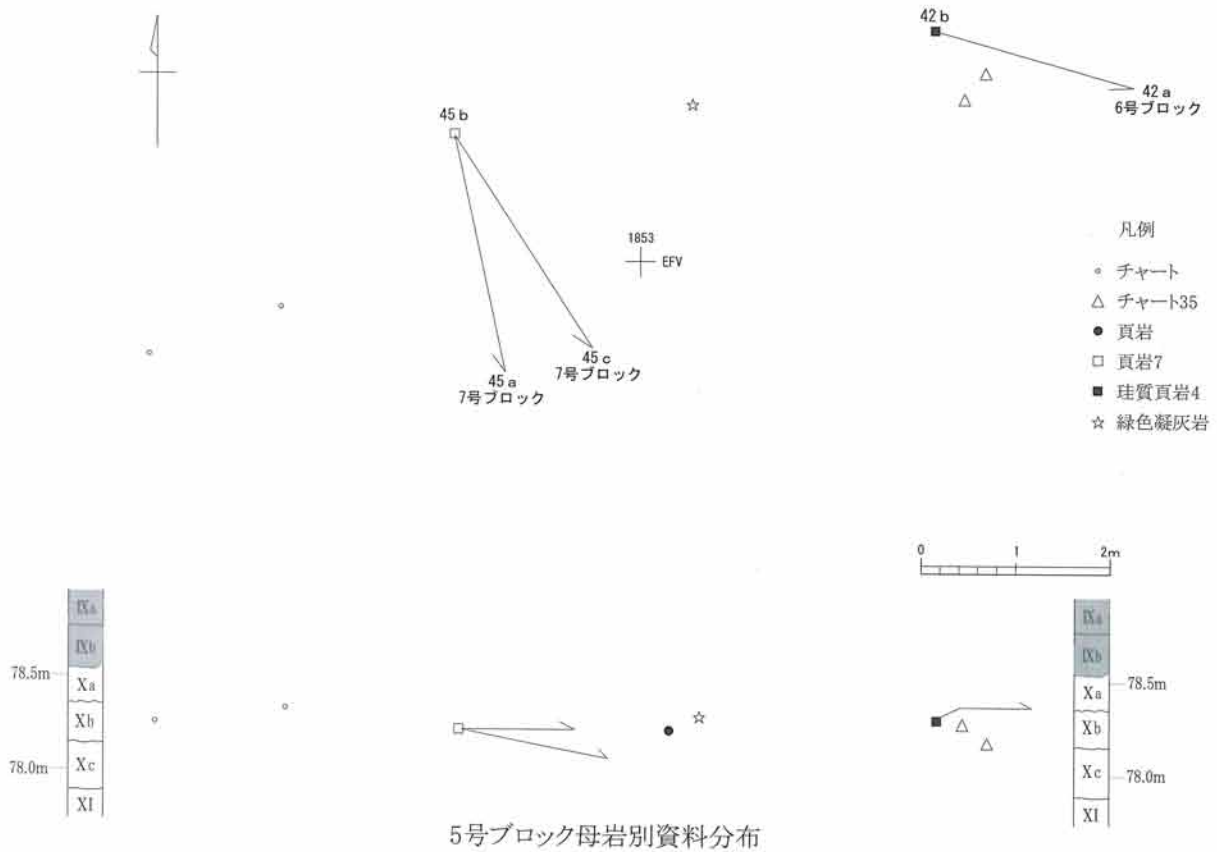
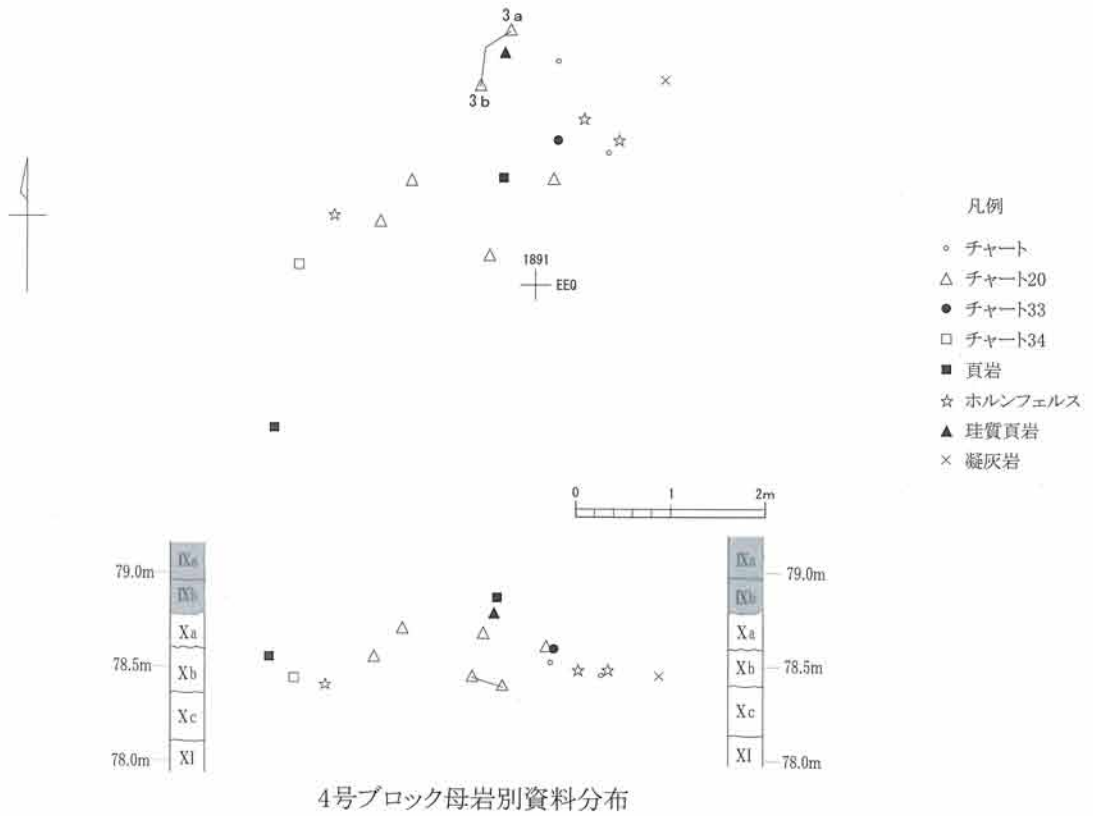
第27図 第1文化層 母岩別資料分布図 (6)



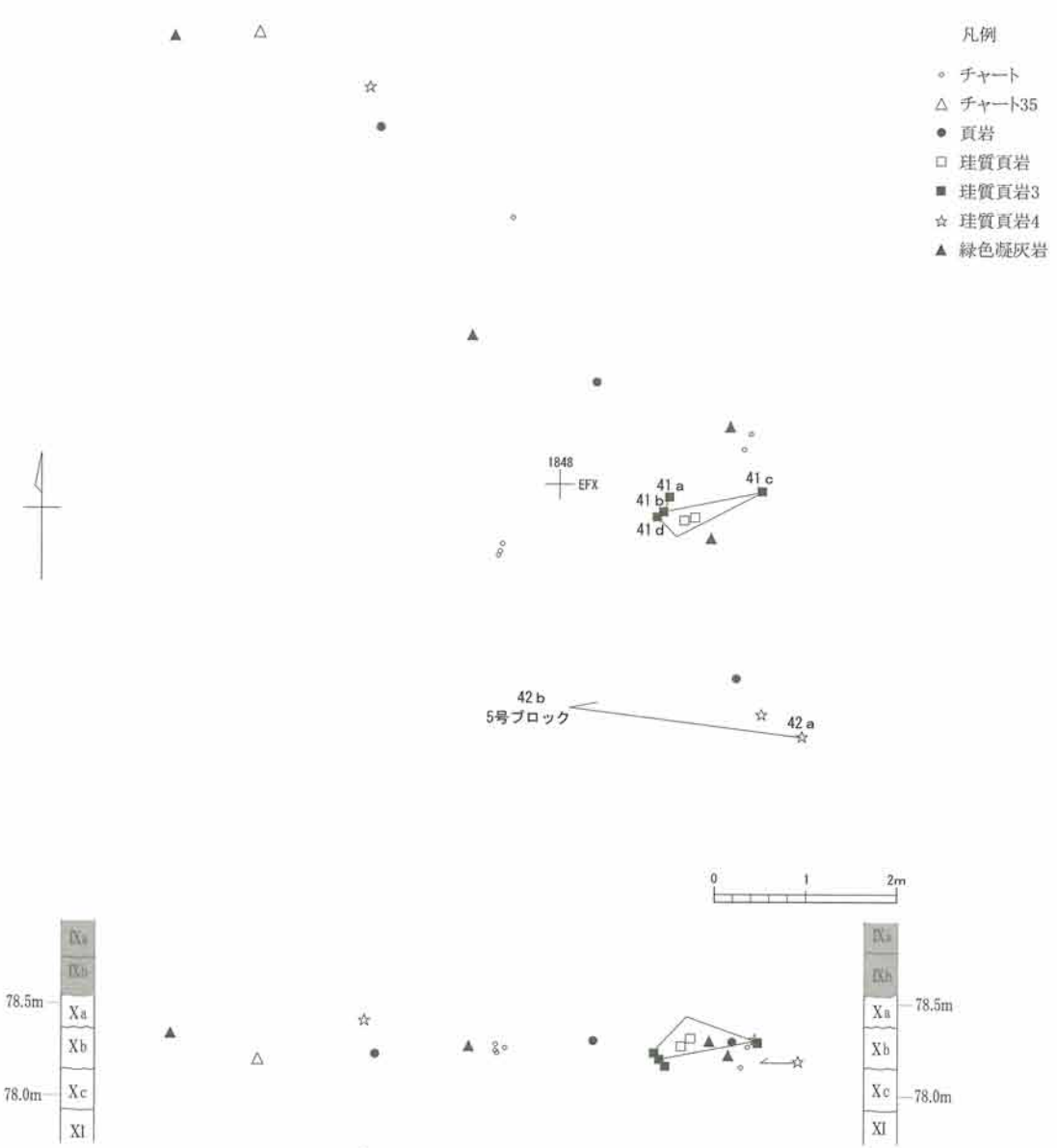
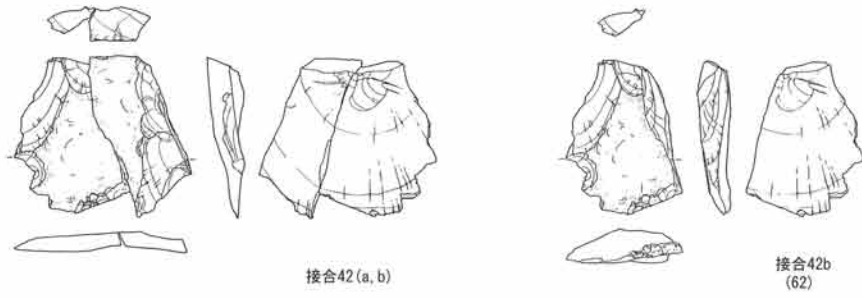
第28図 第1文化層 母岩別資料分布図(7)



第29図 第1文化層 母岩別資料分布図 (8)

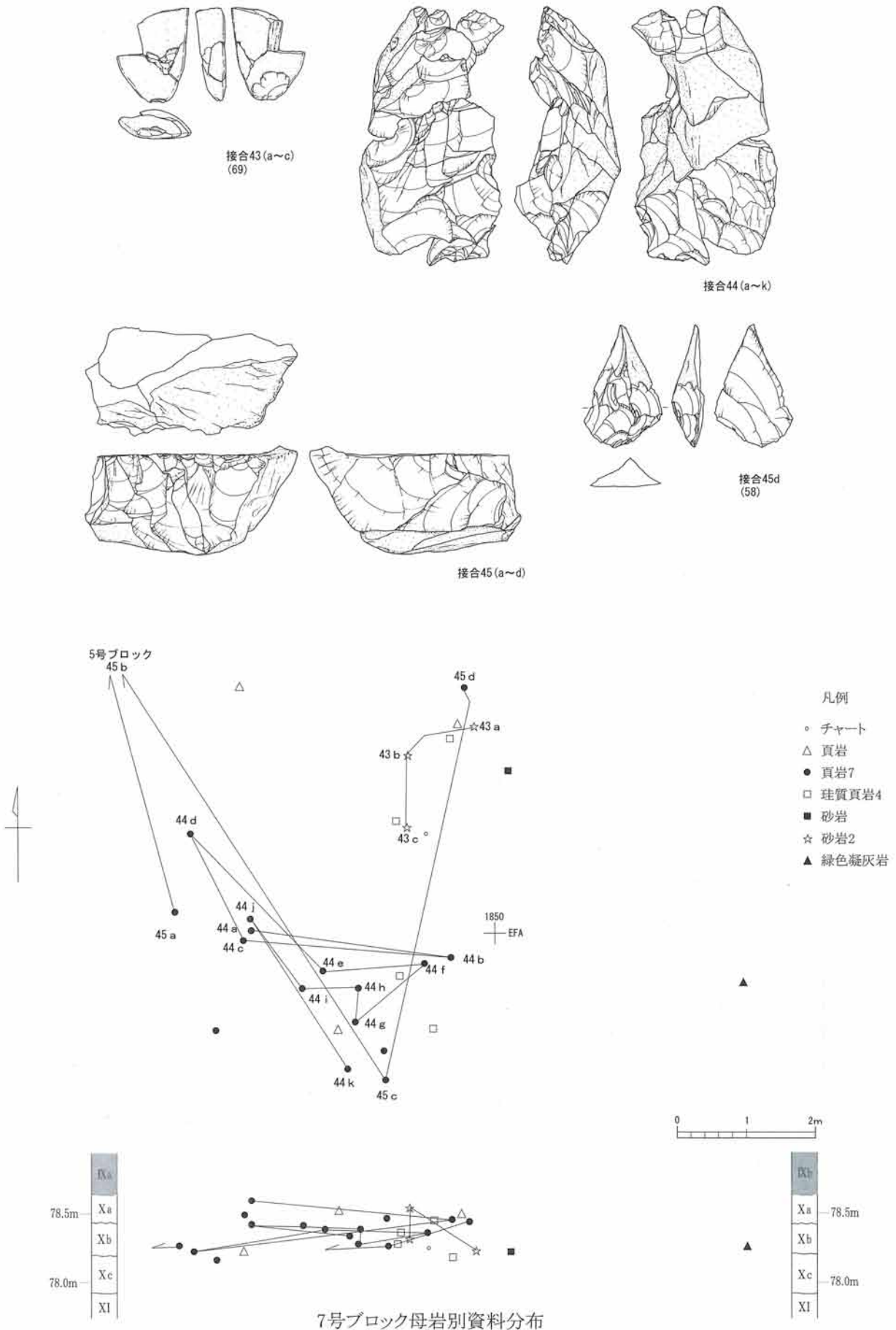


第30図 第1文化層 母岩別資料分布図 (9)

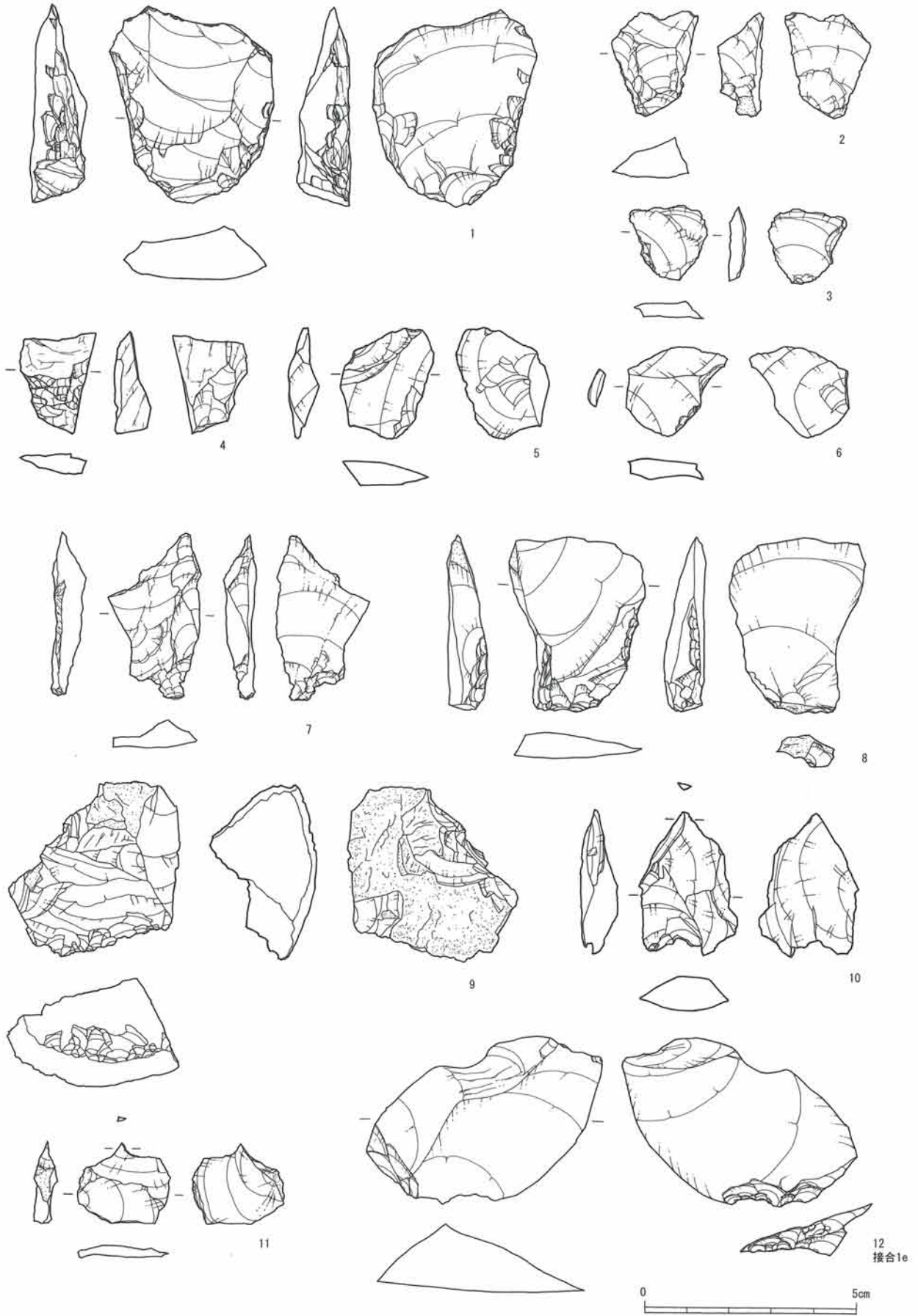


6号ブロック母岩別資料分布

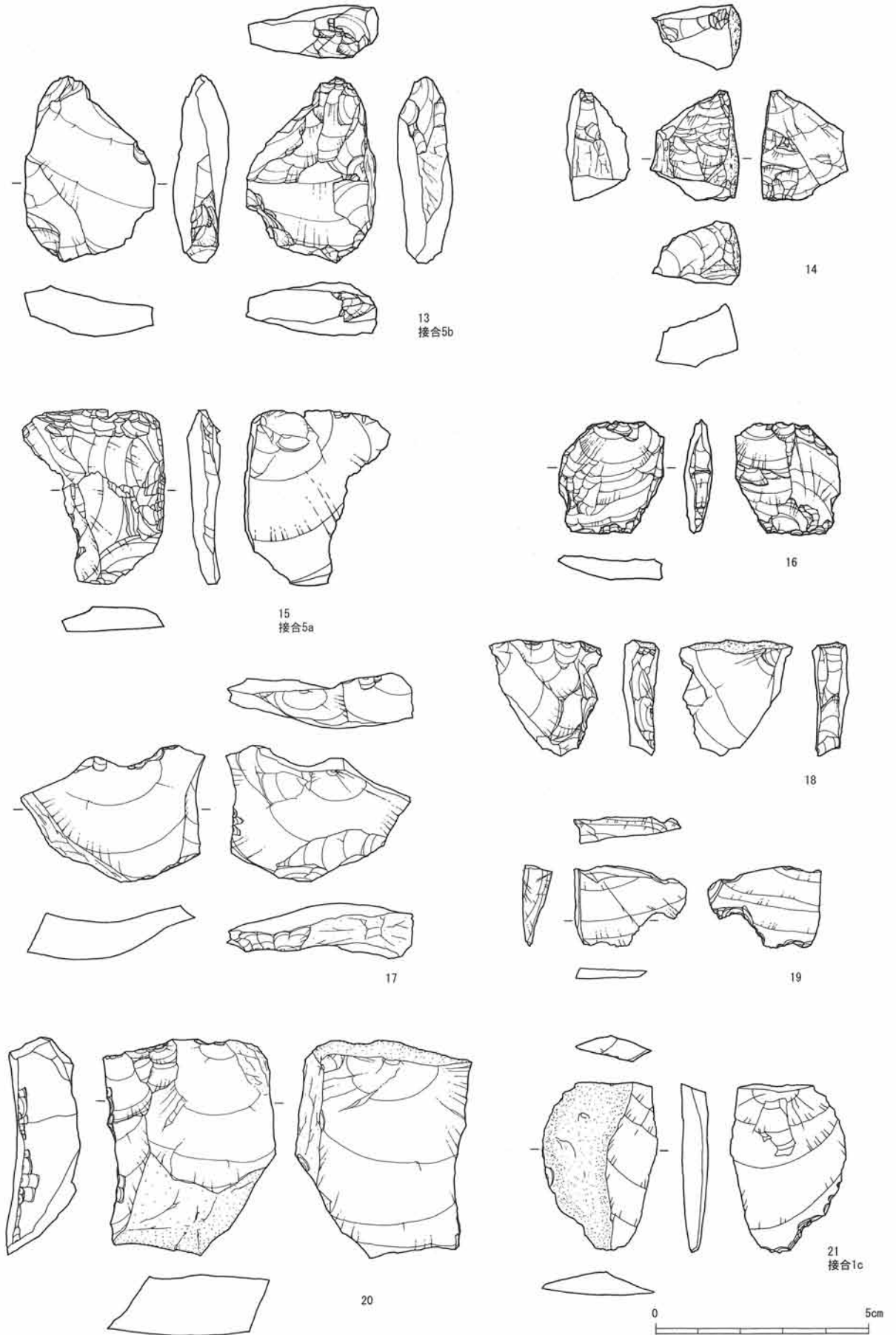
第31図 第1文化層 母岩別資料分布図 (10)



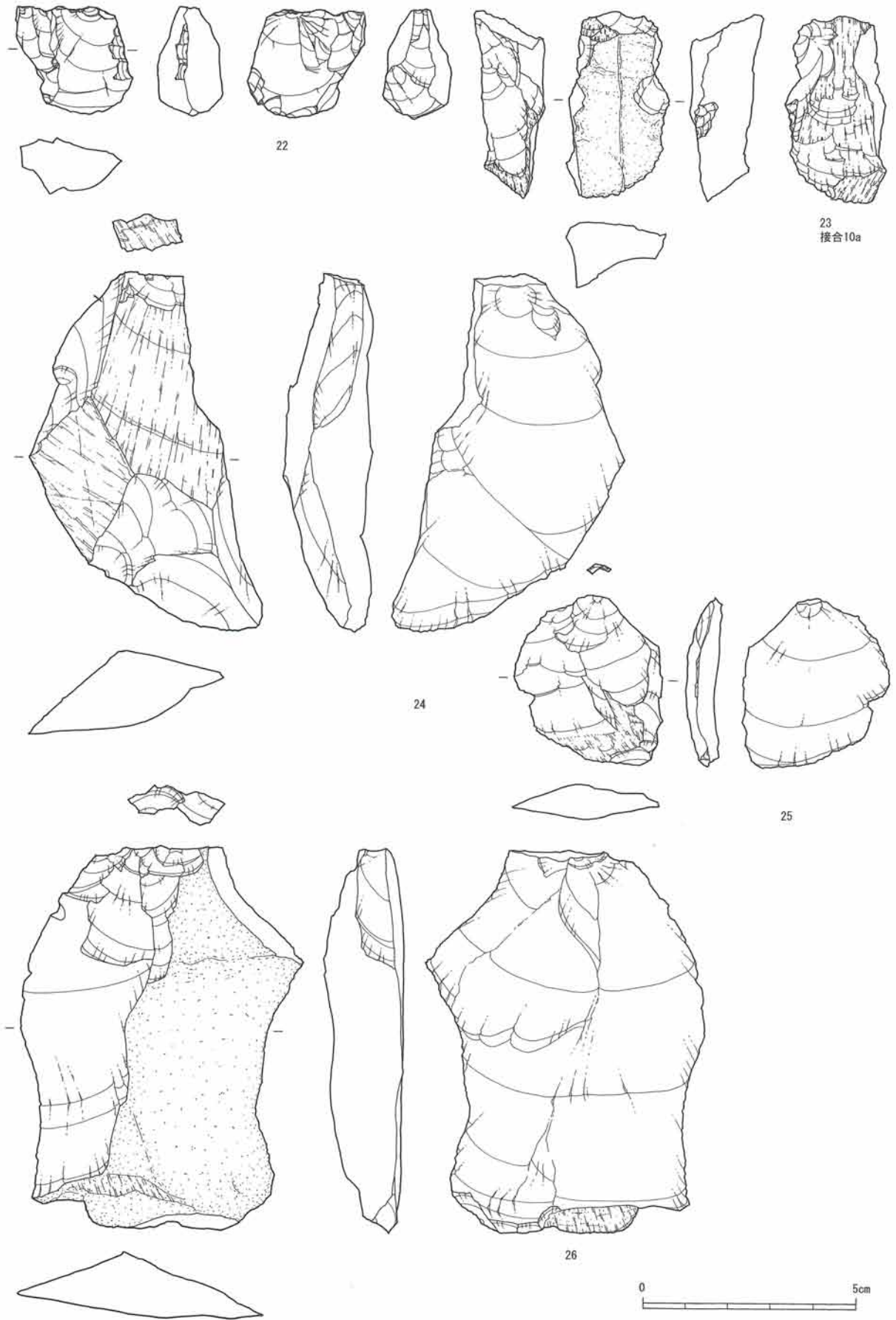
第32図 第1文化層 母岩別資料分布図 (11)



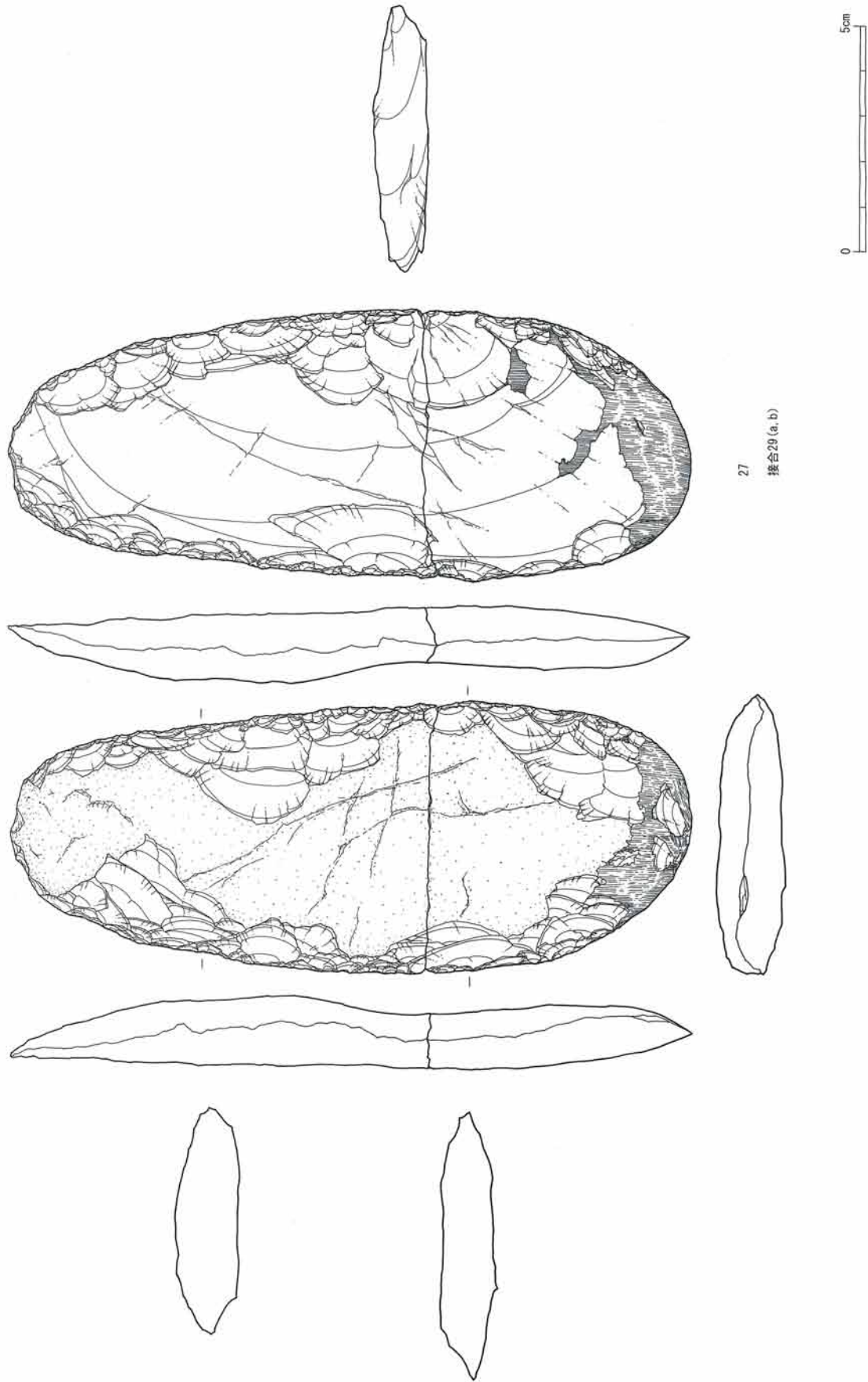
第33图 第1文化層 A区出土石器 (1)



第34図 第1文化層 A区出土石器 (2)

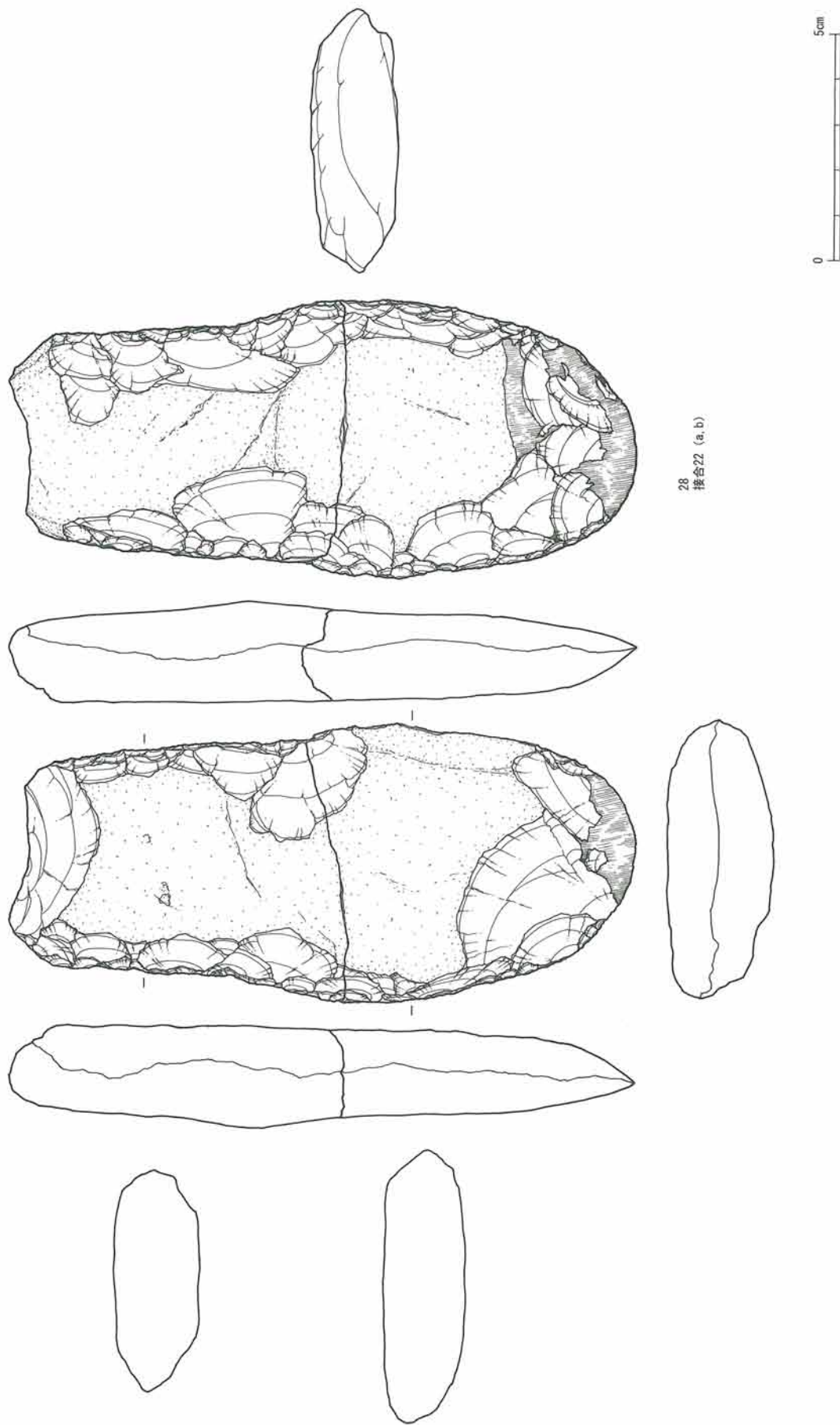


第35図 第1文化層 A区出土石器 (3)

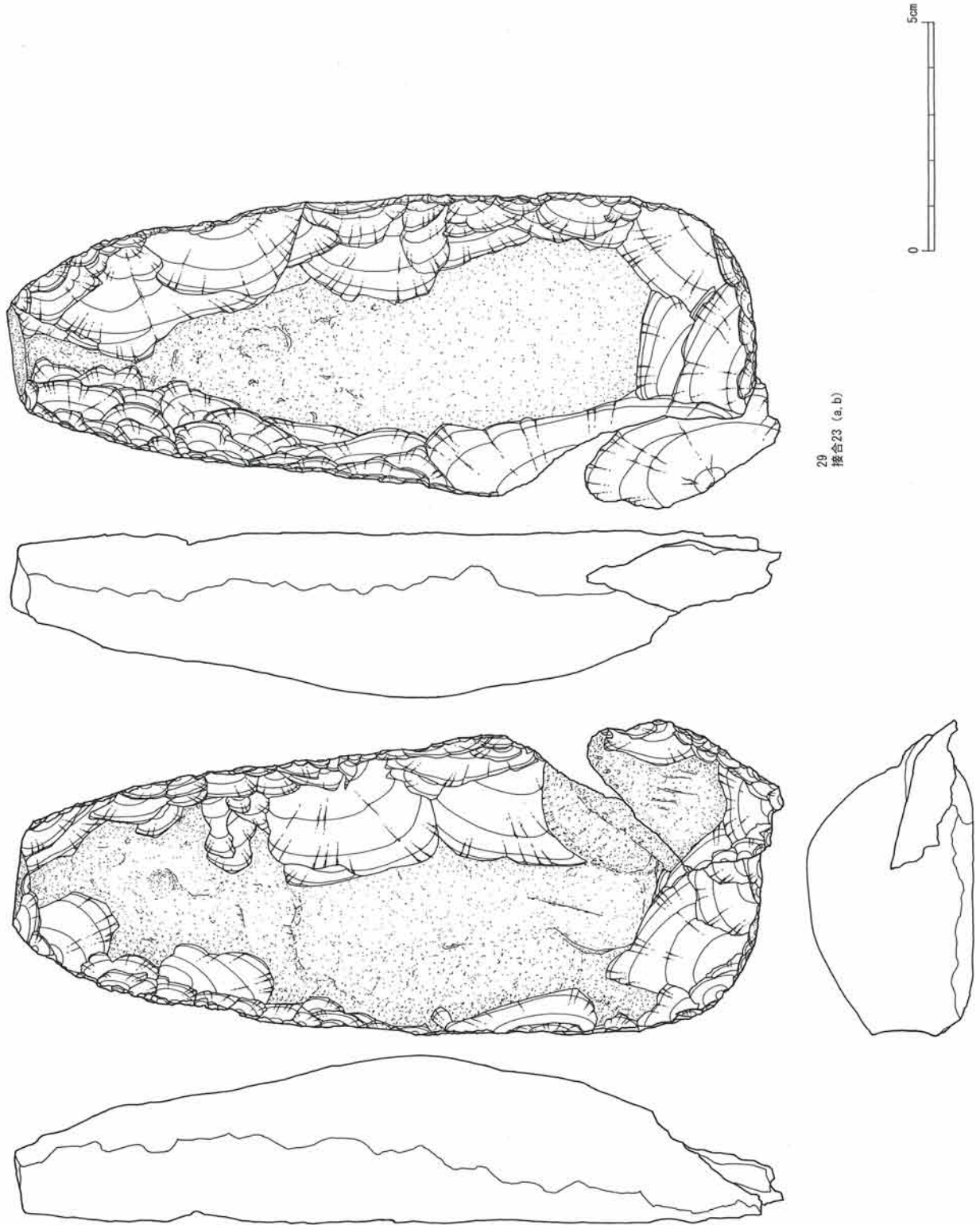


27
接合29(a, b)

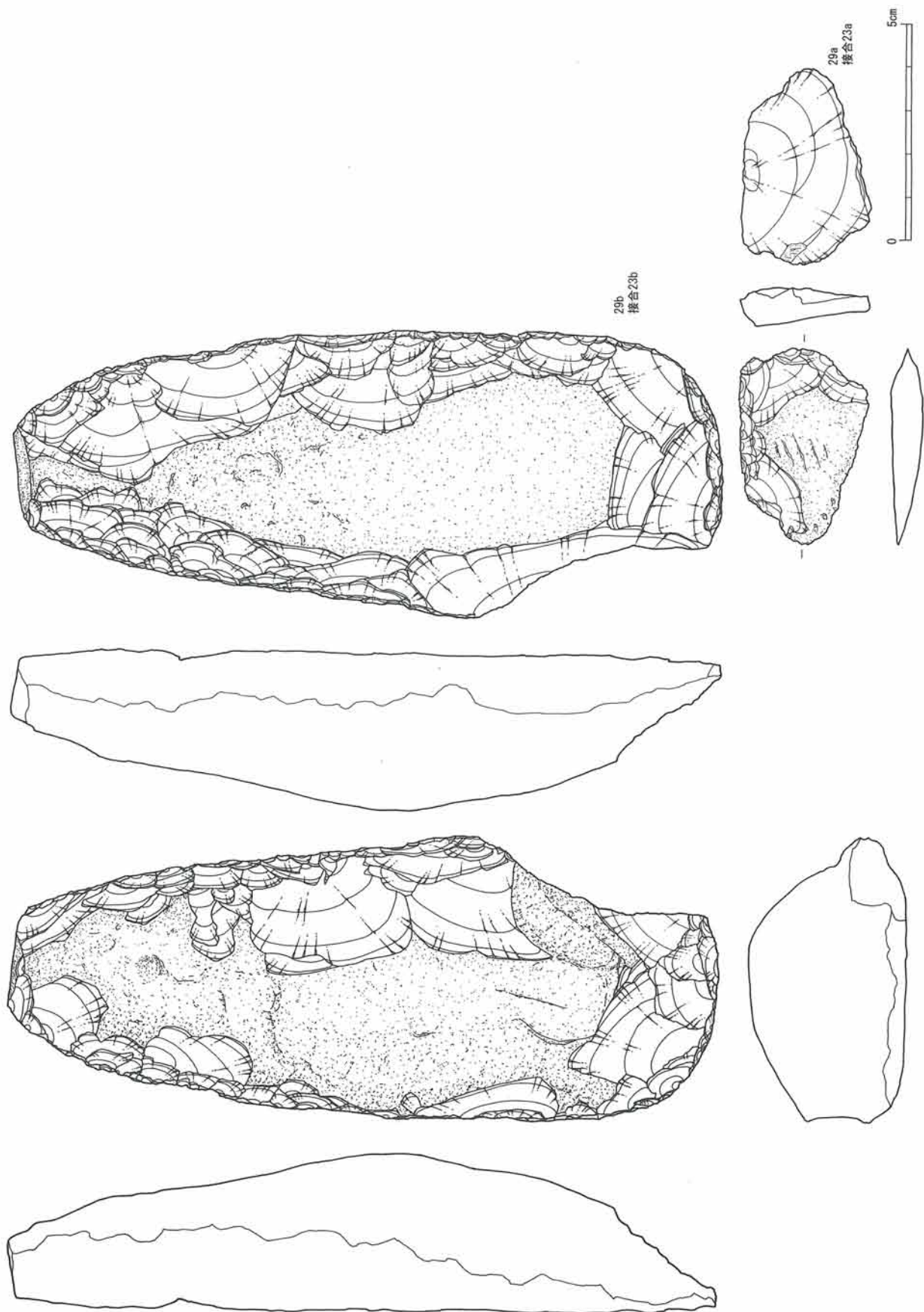
第36図 第1文化層 A区出土石器 (4)



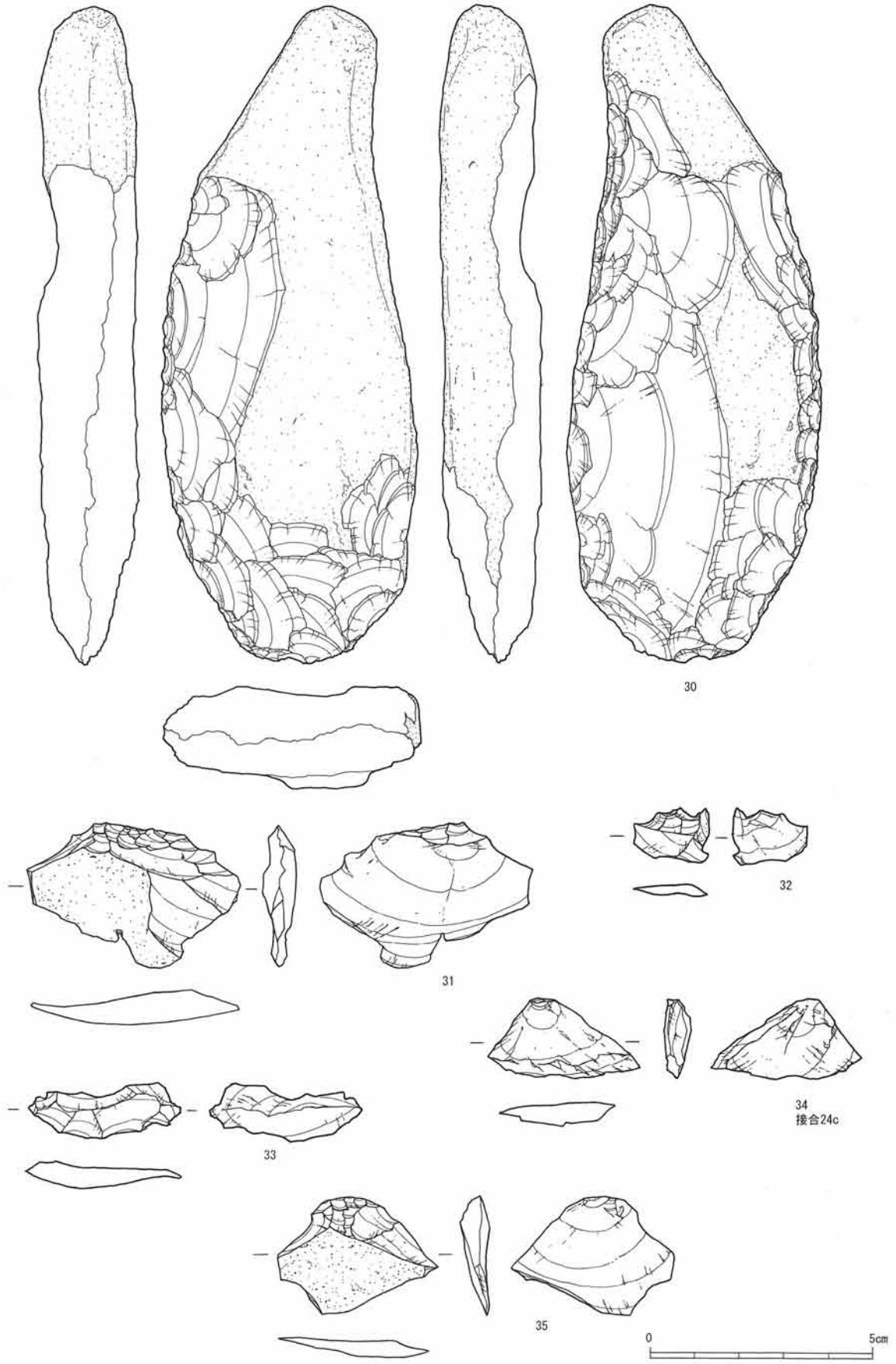
第37図 第1文化層 A区出土石器(5)



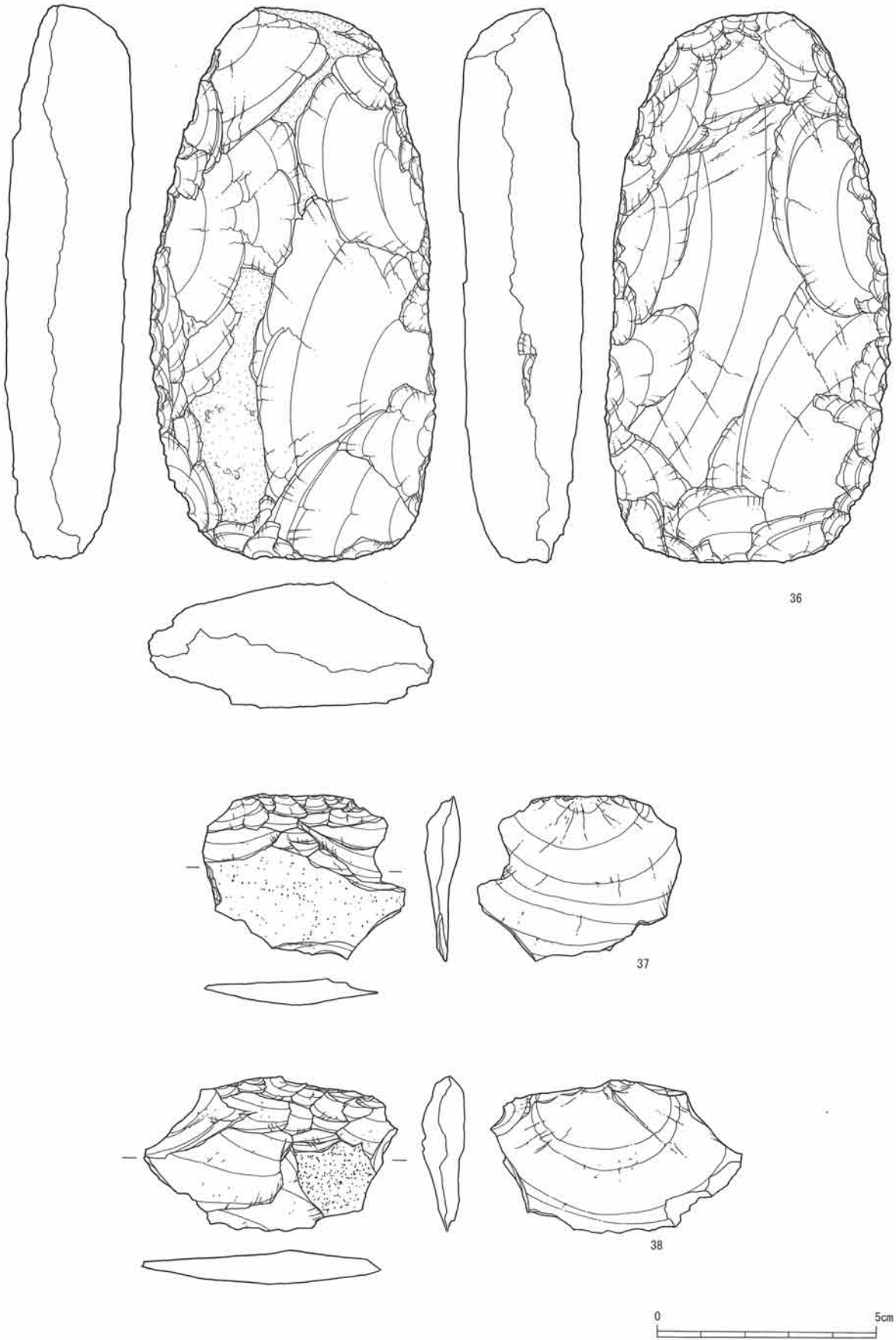
第38図 第1文化層 A区出土石器 (6)



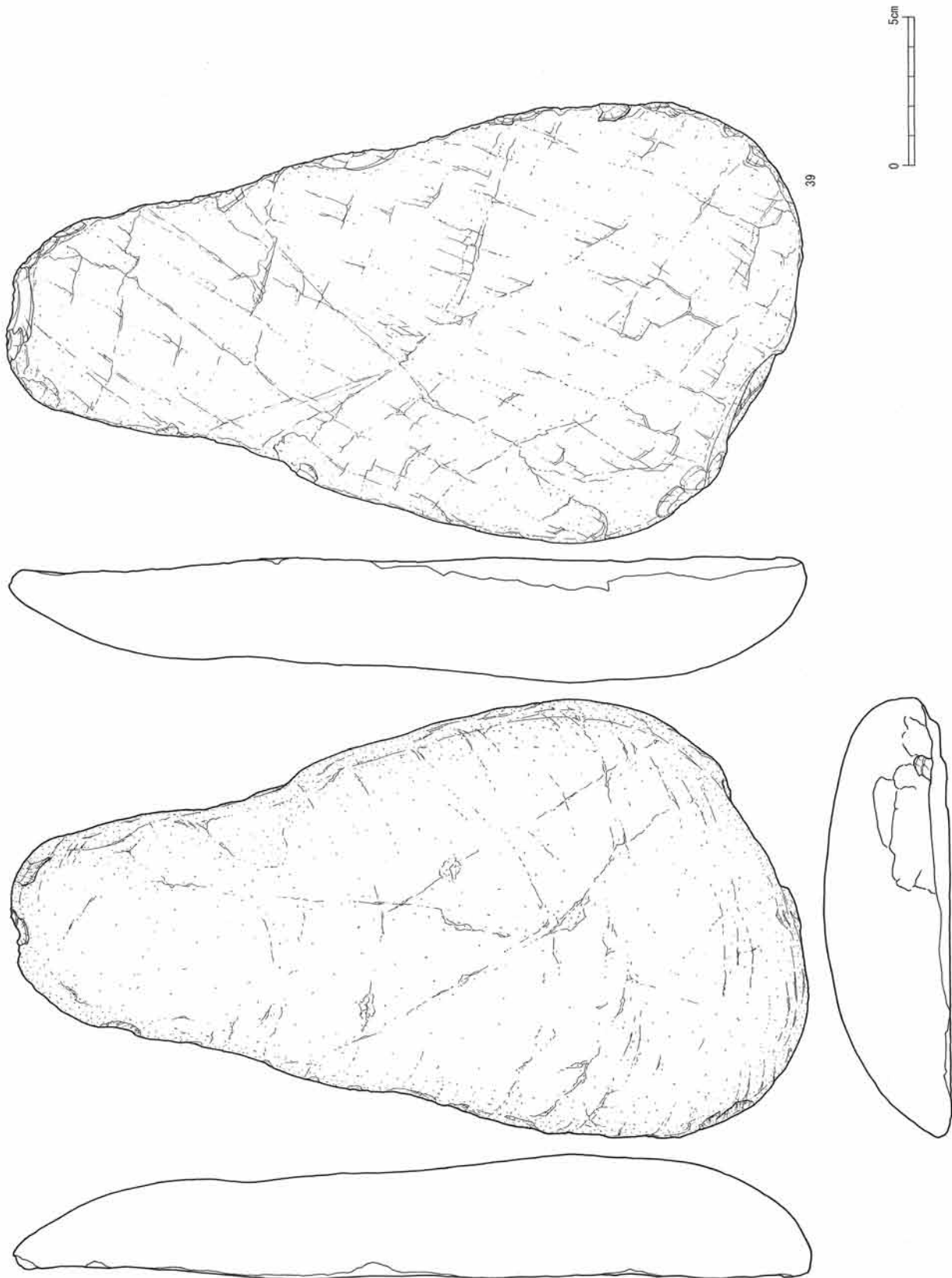
第39図 第1文化層 A区出土石器(7)



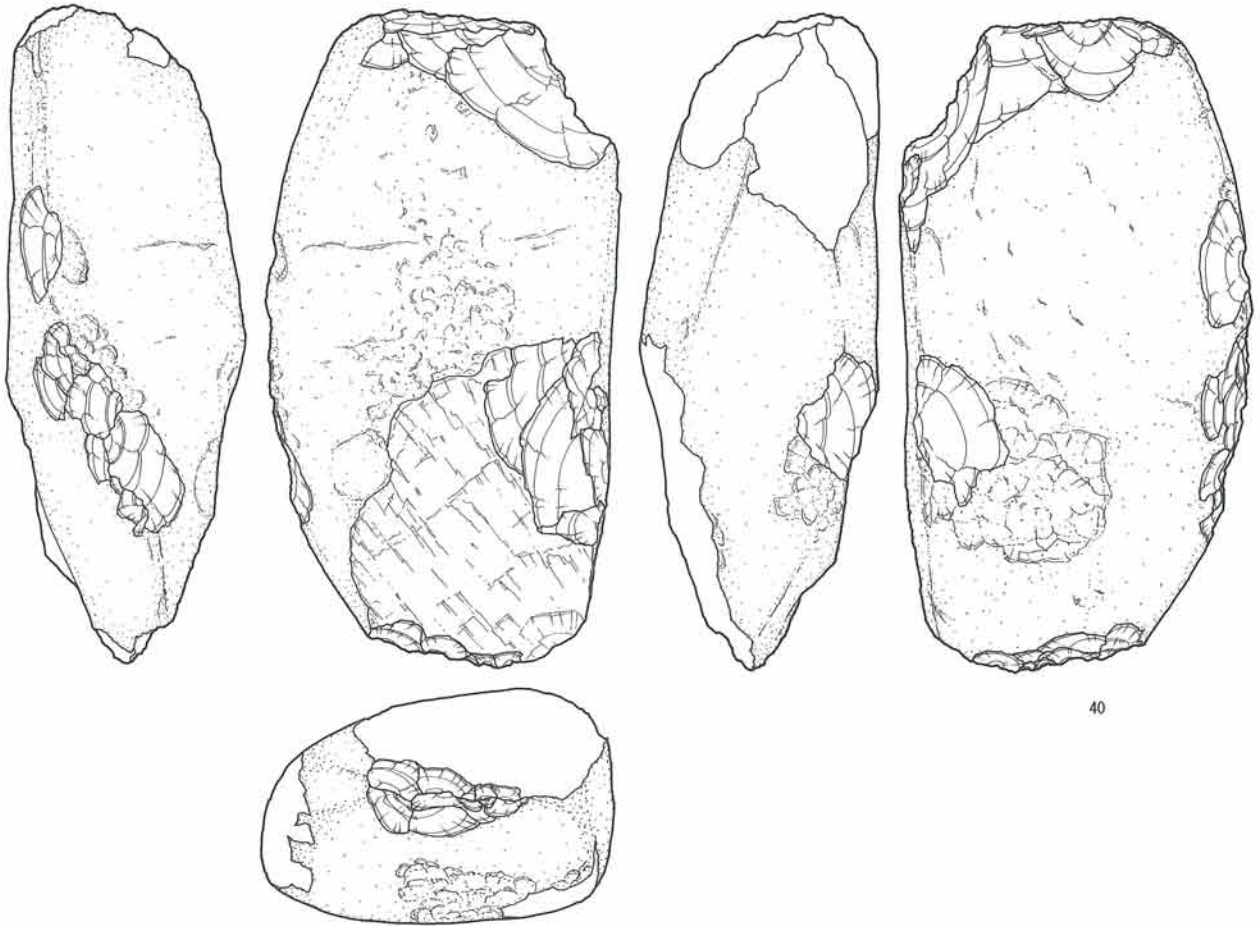
第40図 第1文化層 A区出土石器 (8)



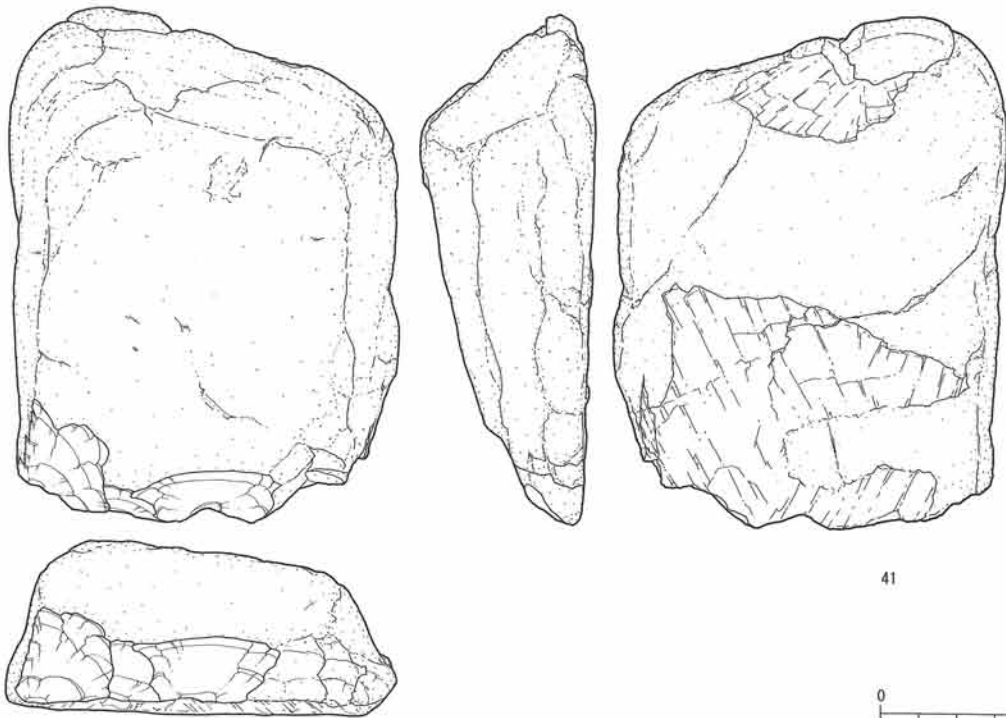
第41圖 第1文化層 A区出土石器 (9)



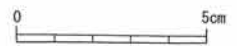
第42図 第1文化層 A区出土石器(10)



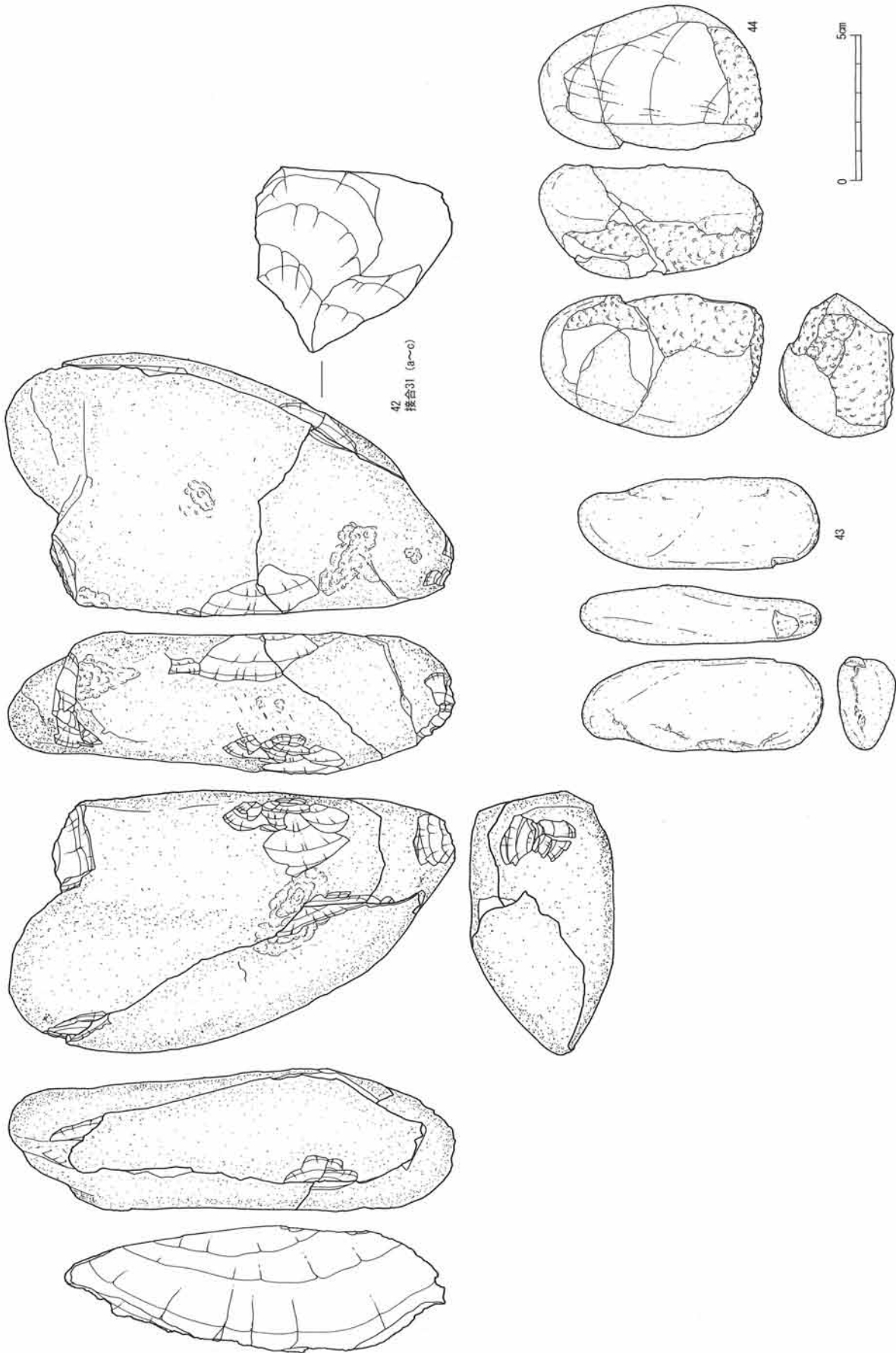
40



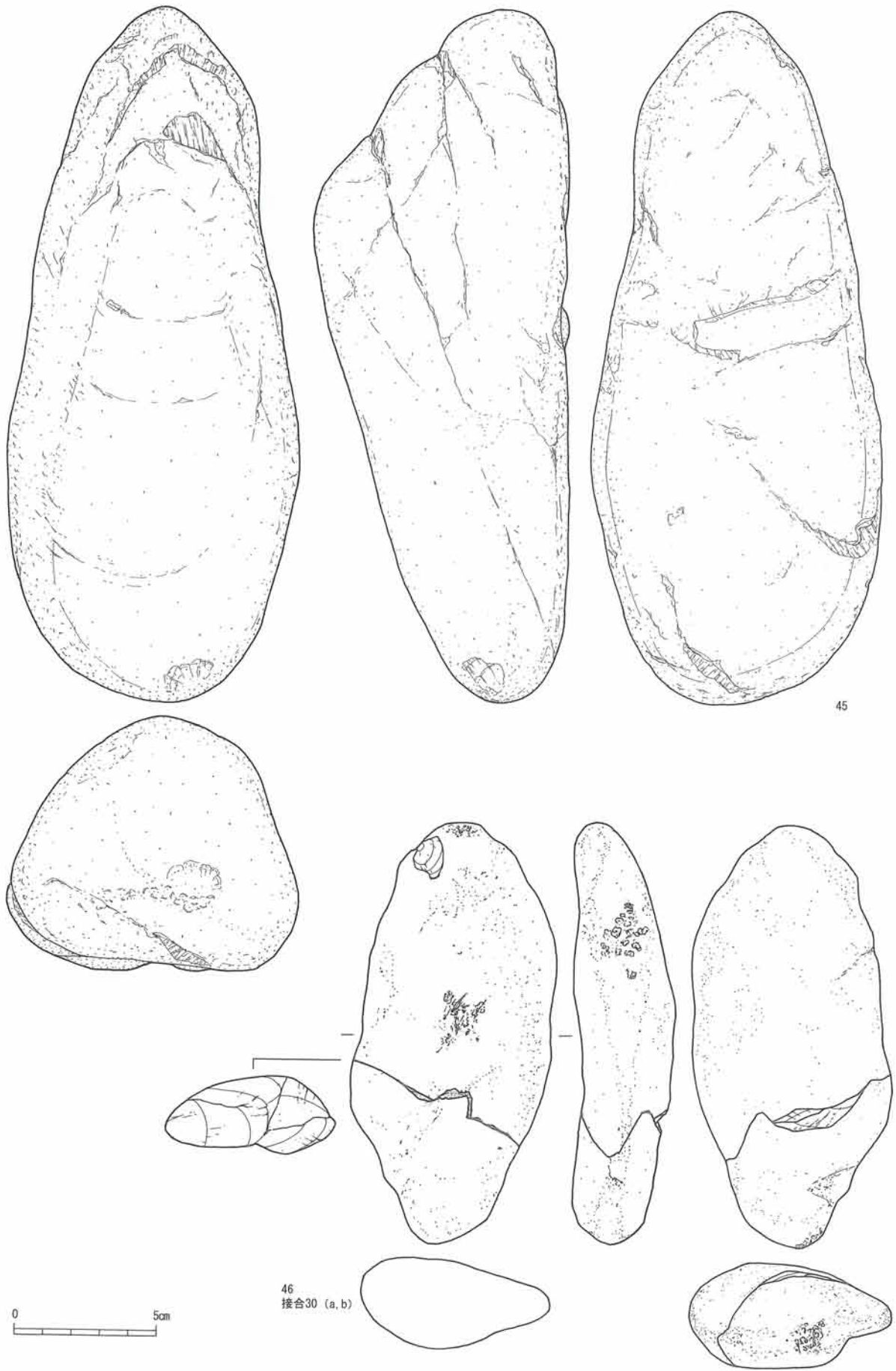
41



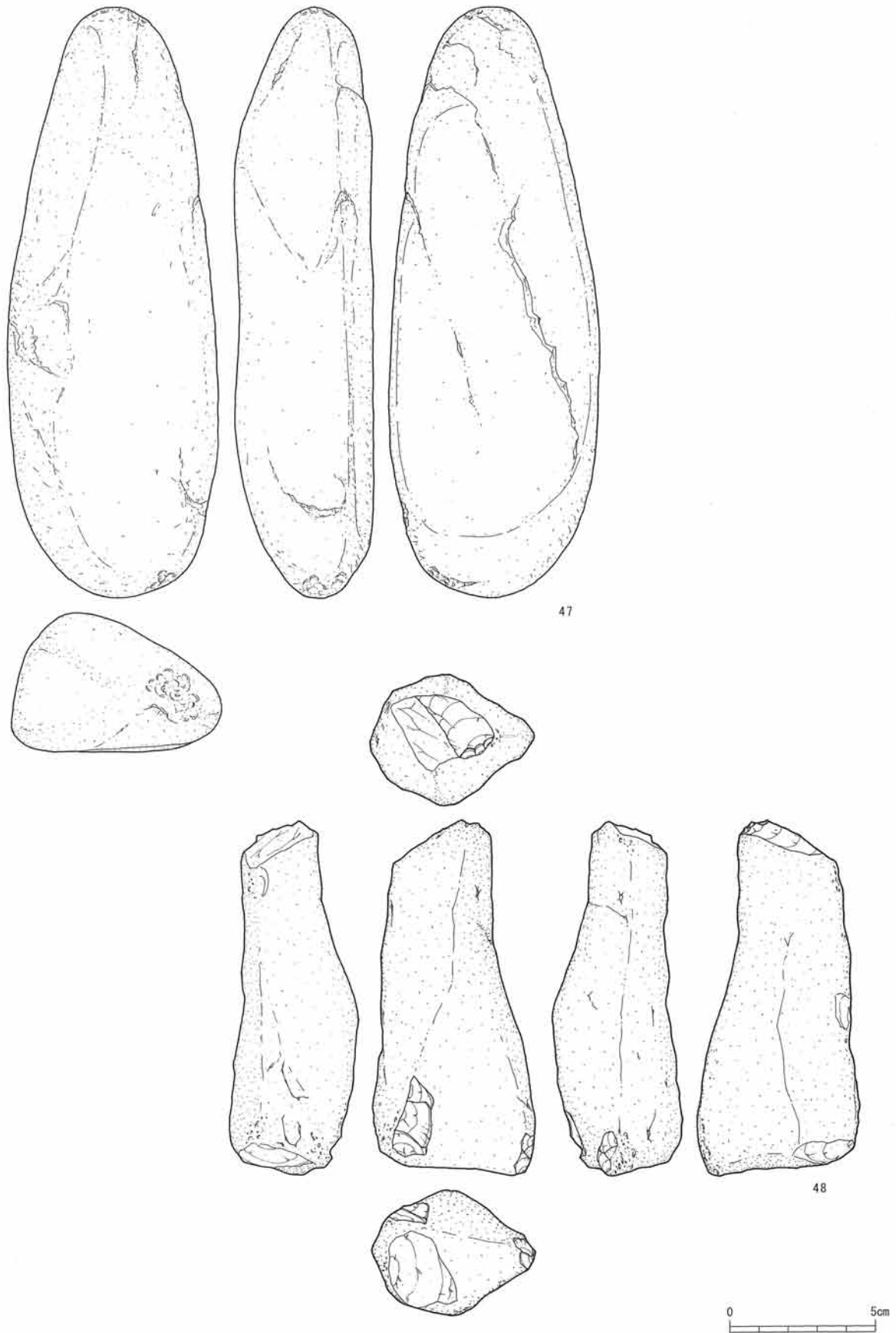
第43圖 第1文化層 A区出土石器 (11)



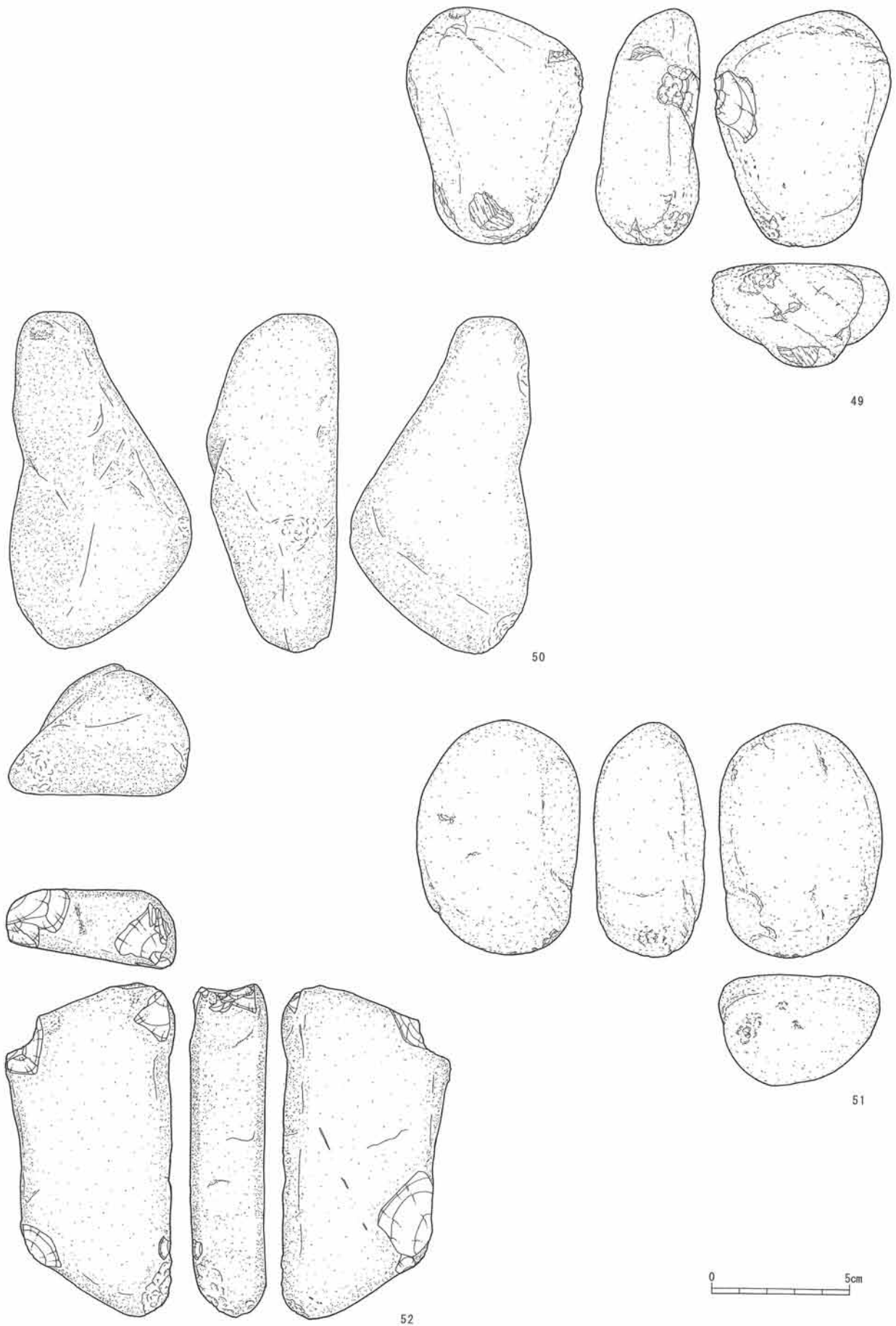
第44図 第1文化層 A区出土石器 (12)



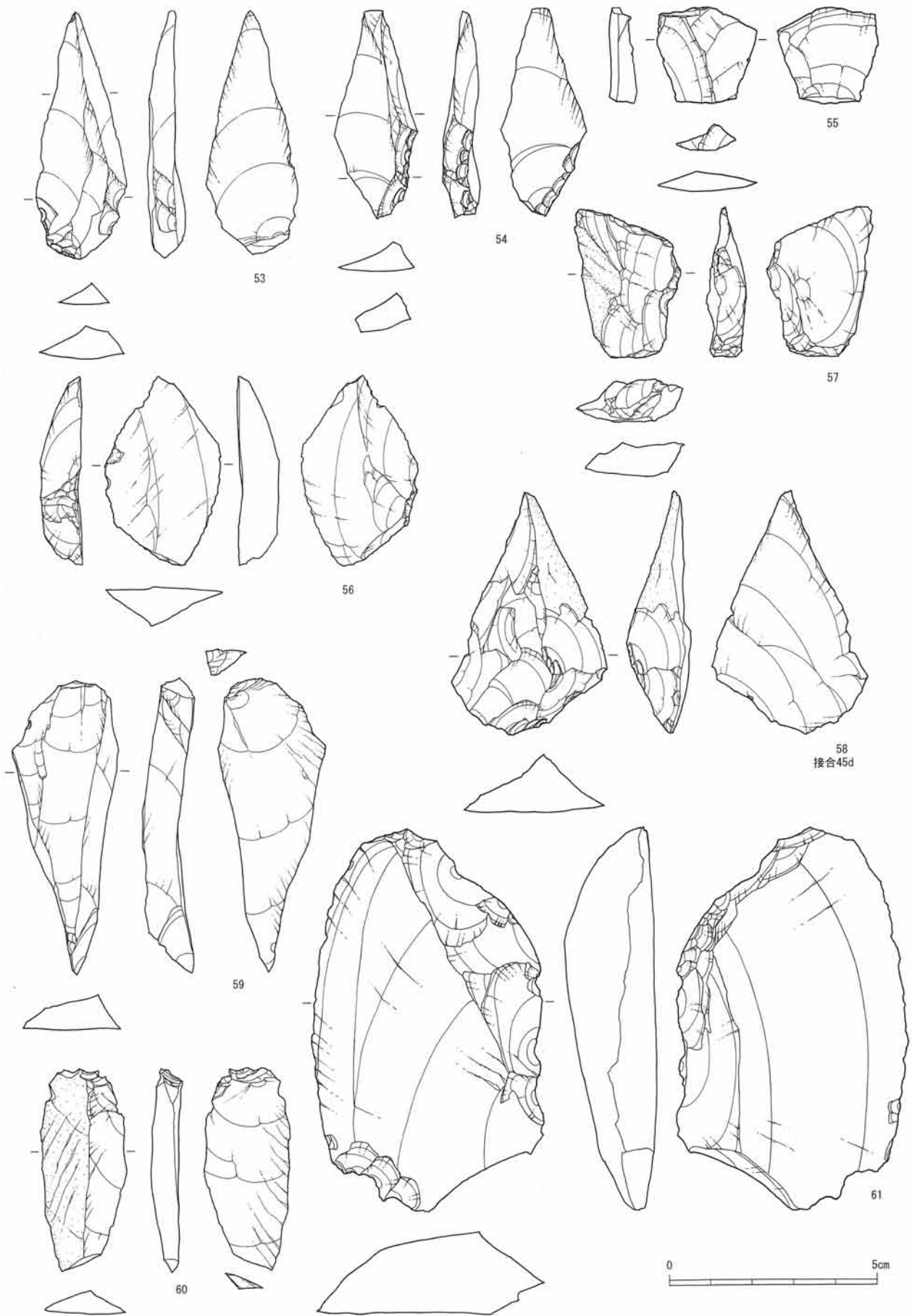
第45図 第1文化層 A区出土石器 (13)



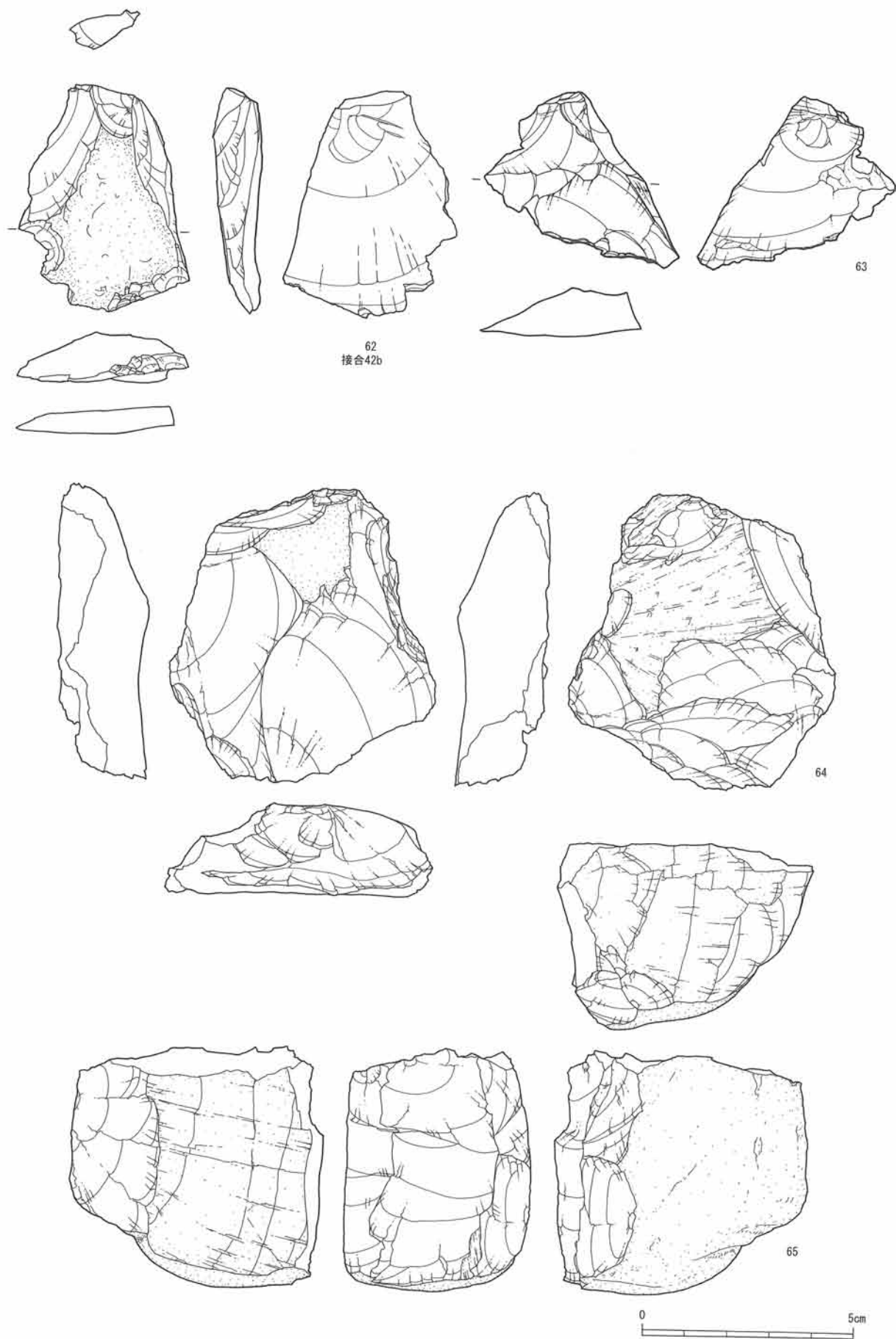
第46図 第1文化層 A区出土石器 (14)



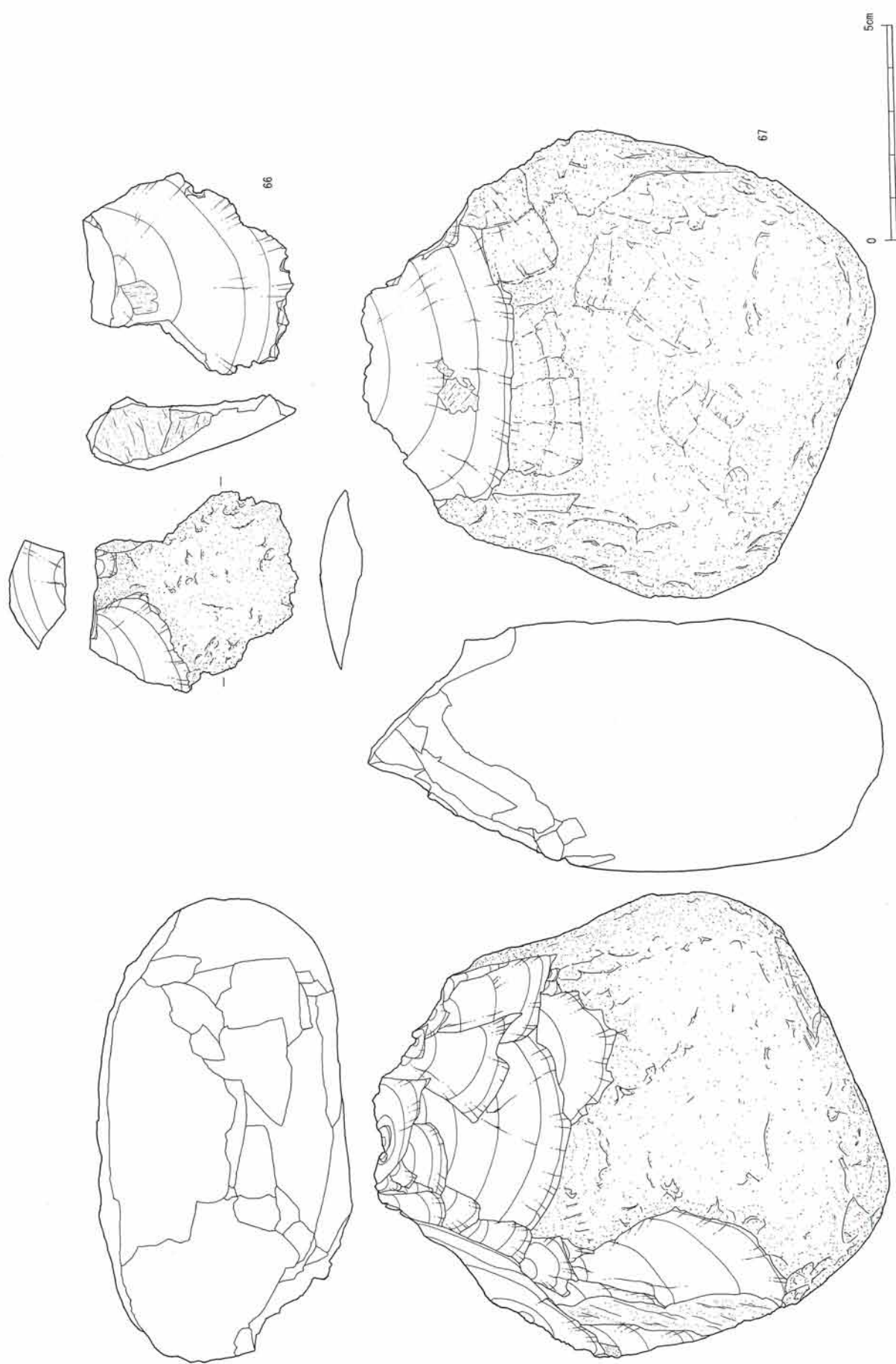
第47図 第1文化層 A区出土石器 (15)



第48図 第1文化層 B区出土石器 (1)

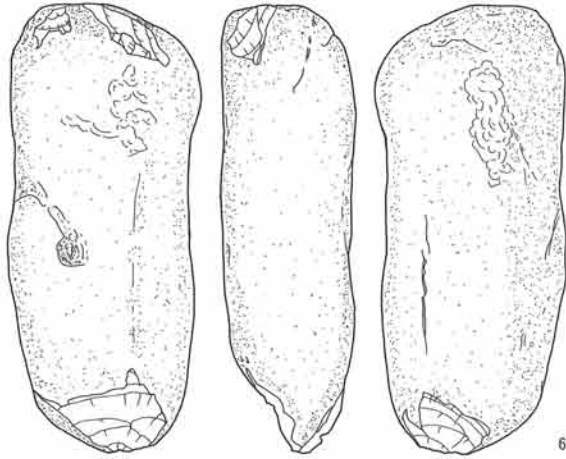
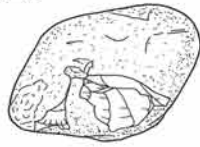


第49図 第1文化層 B区出土石器 (2)

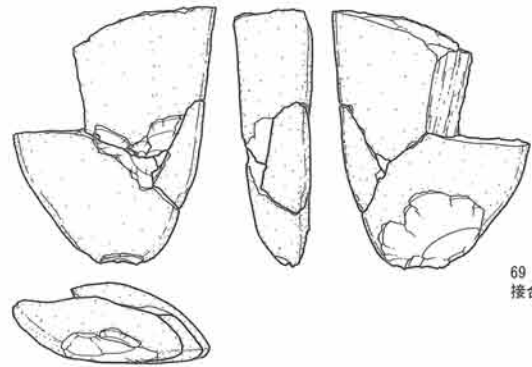


第50図 第1文化層 B区出土石器 (3)

<B区>



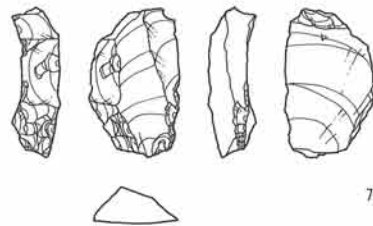
68



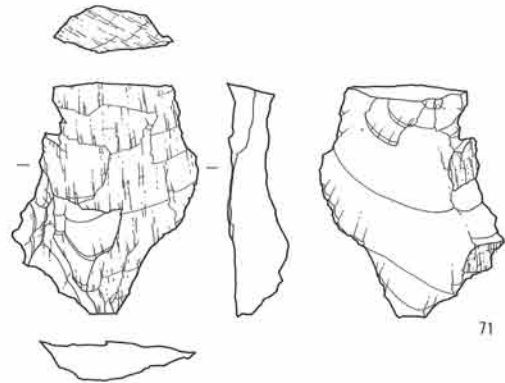
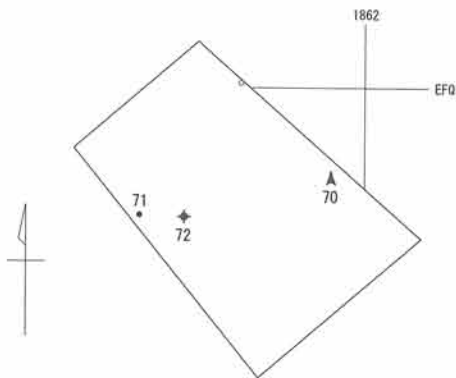
69
接合43(a~c)



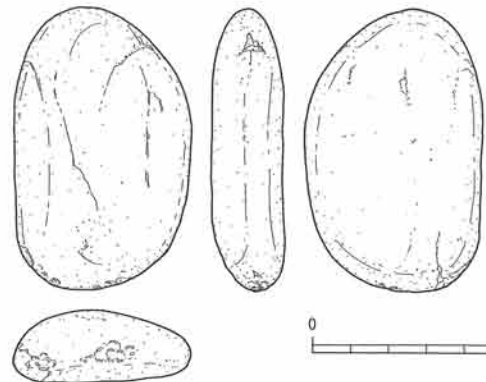
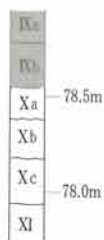
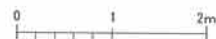
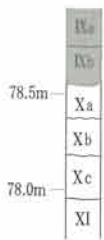
<C区>



70



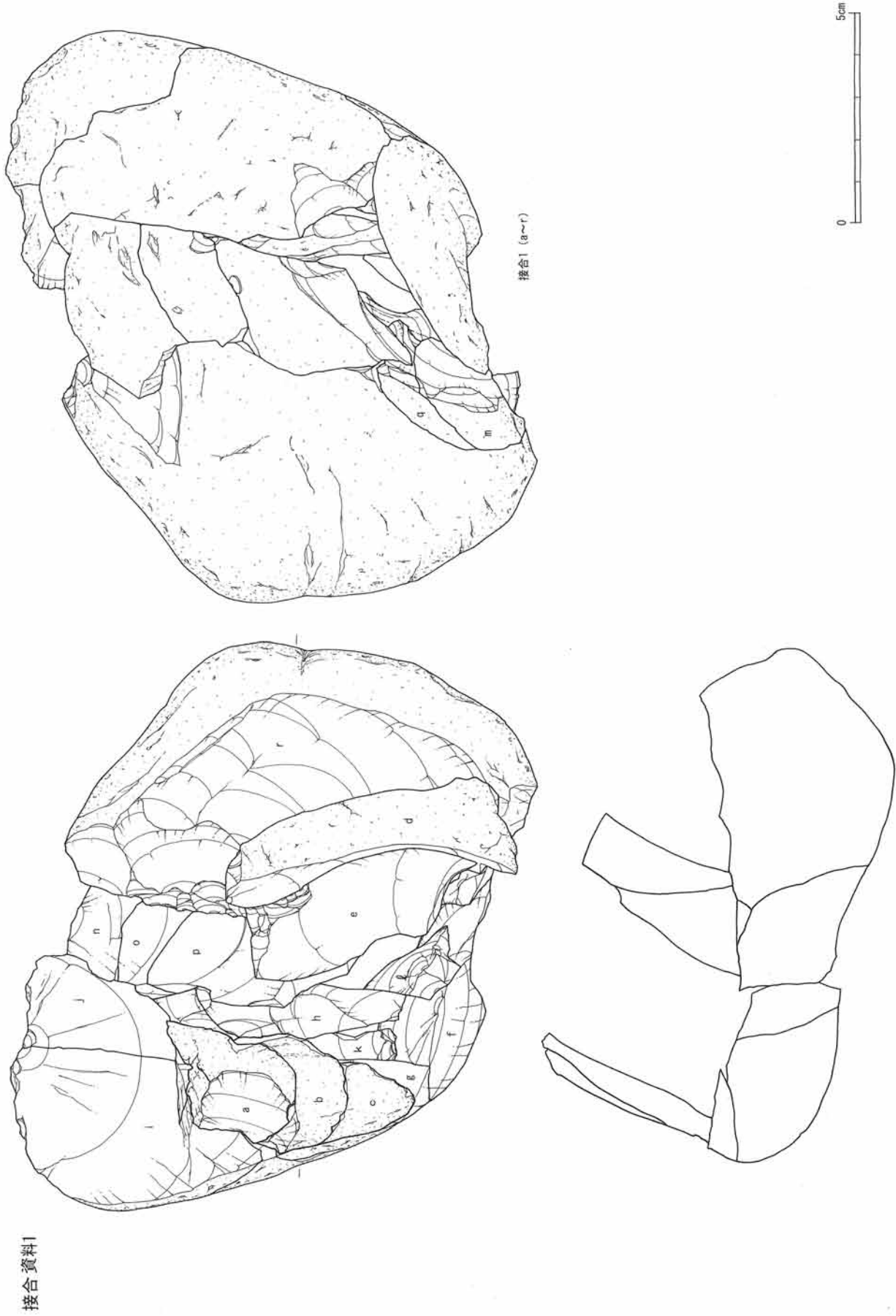
71



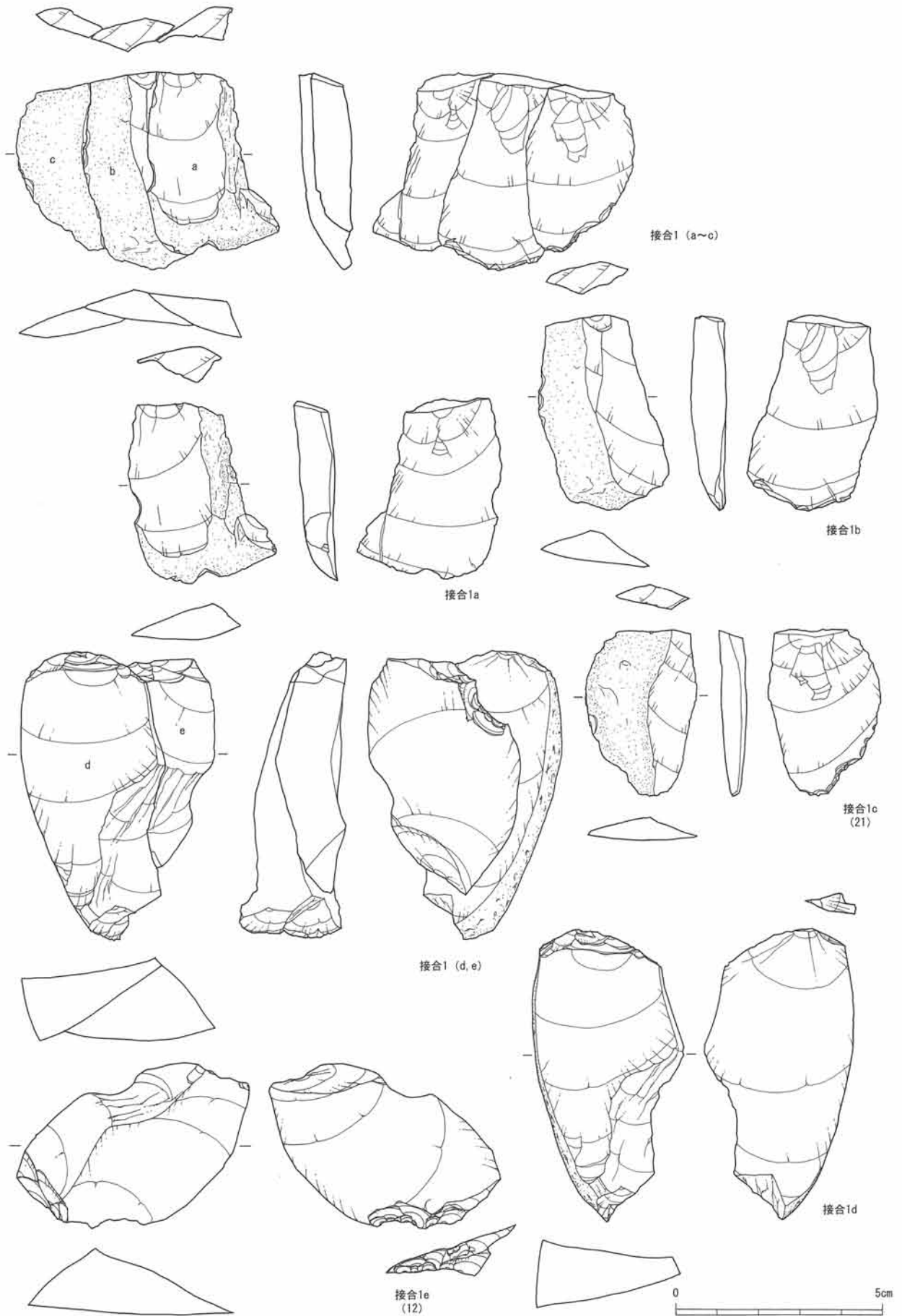
72



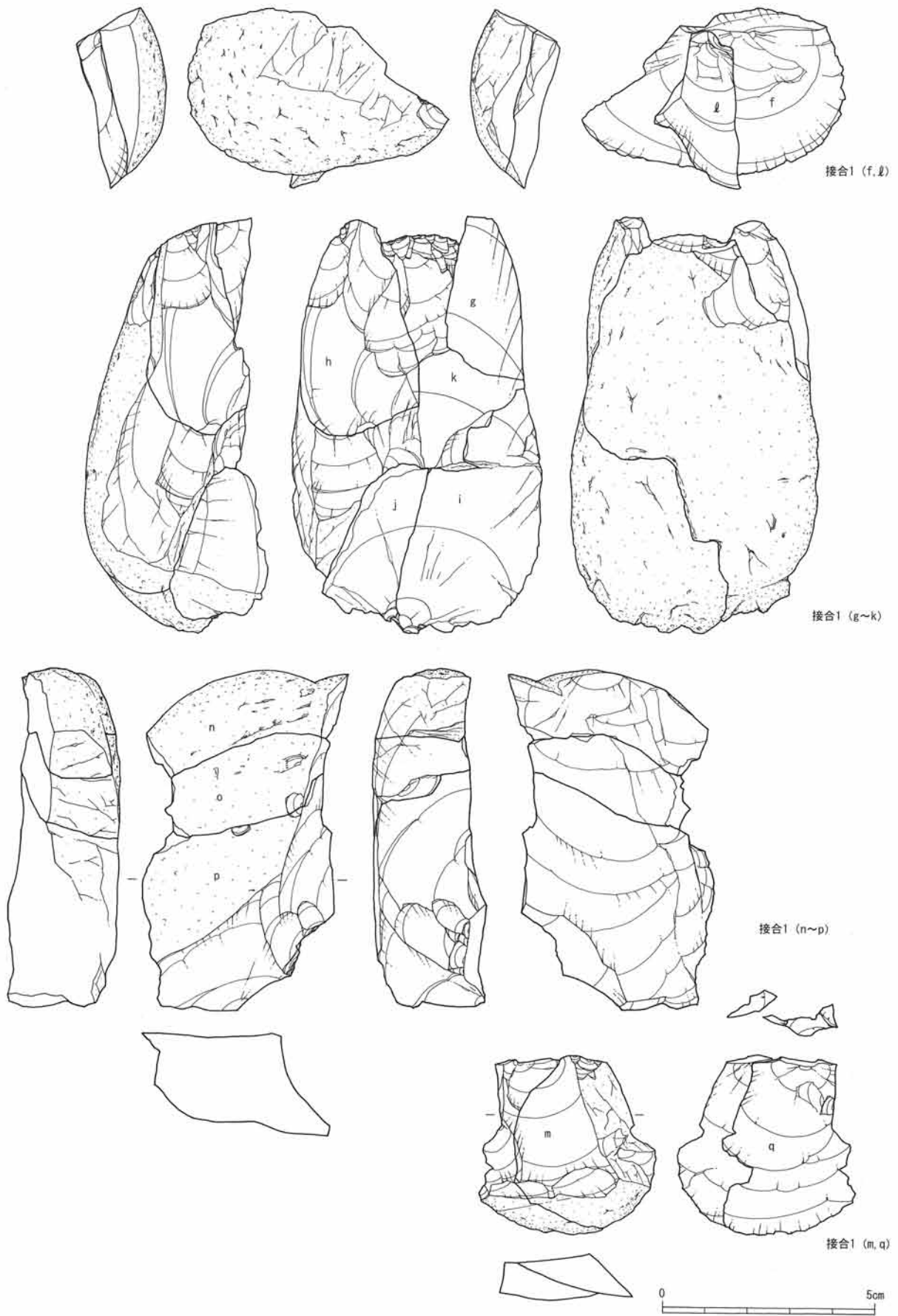
第51図 第1文化層 B・C区出土石器



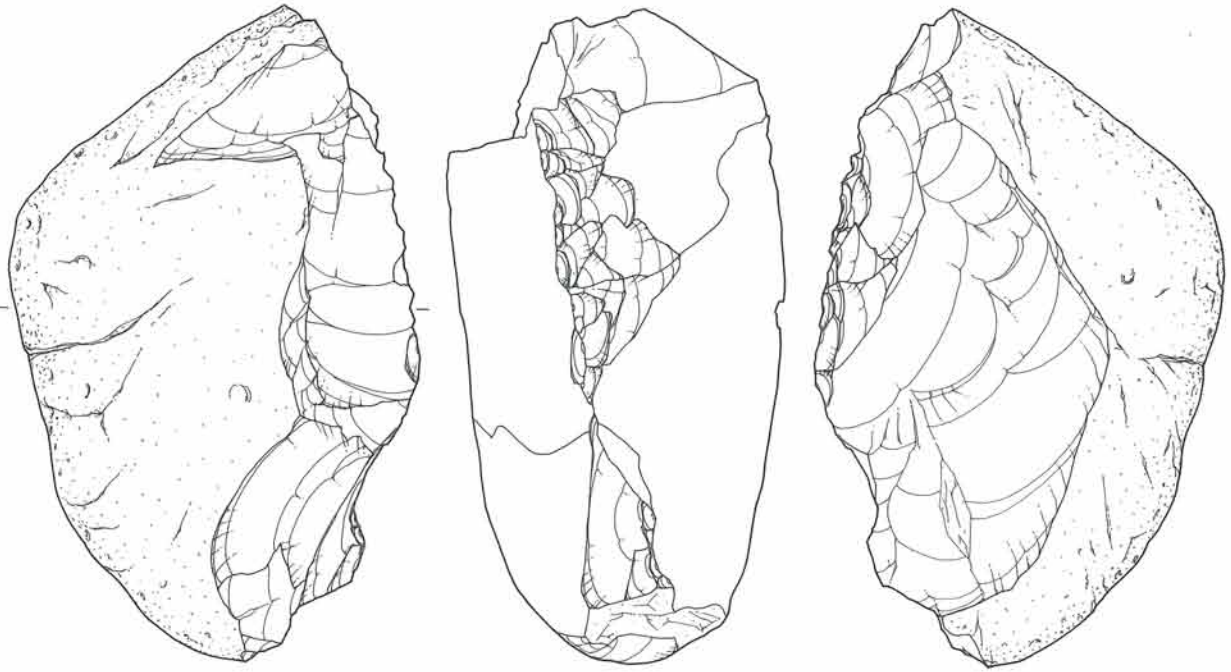
第52図 第1文化層 A区接合資料(1)



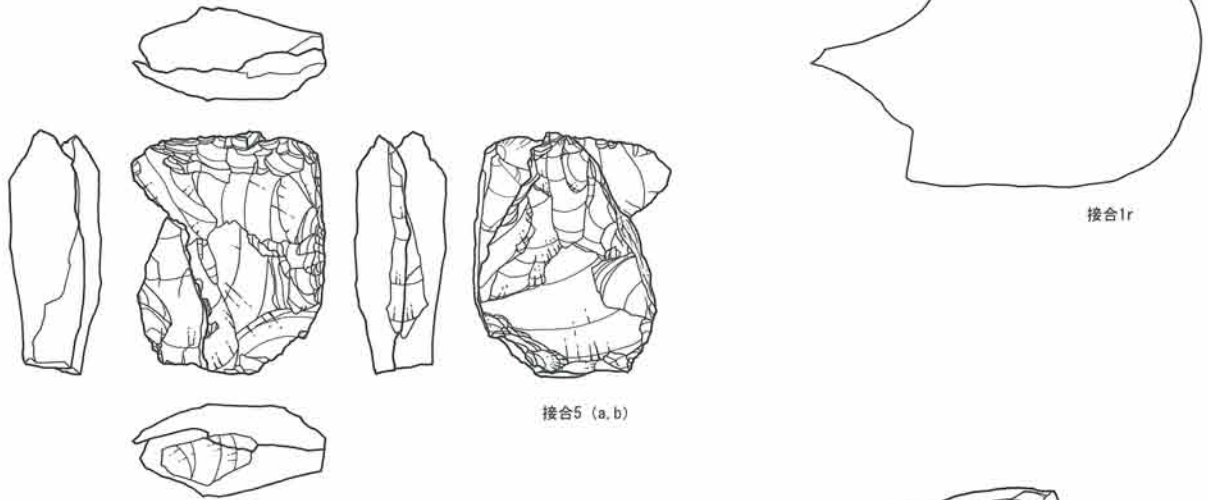
第53図 第1文化層 A区接合資料 (2)



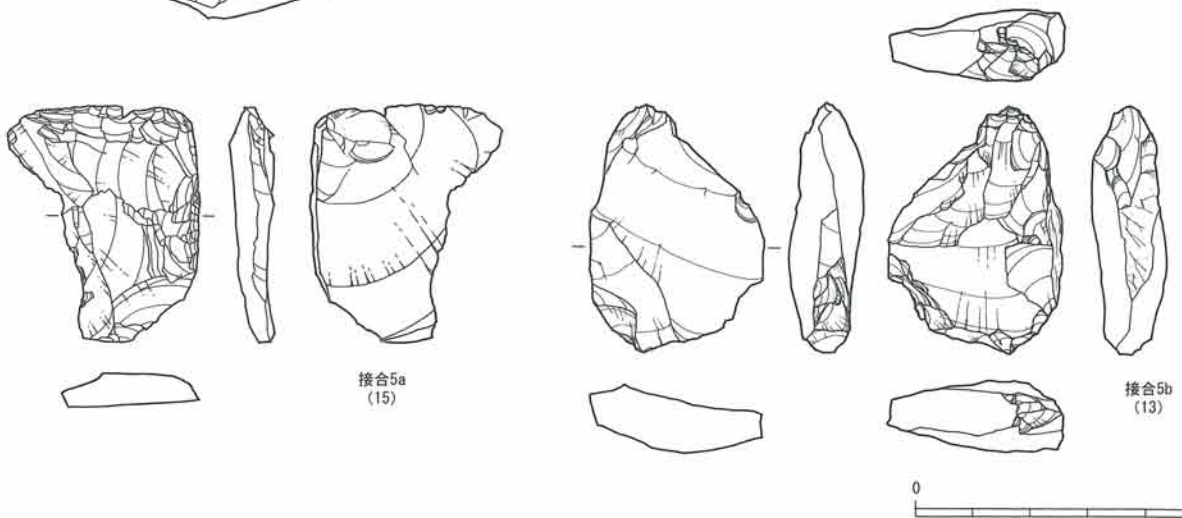
第54図 第1文化層 A区接合資料 (3)



接合資料5

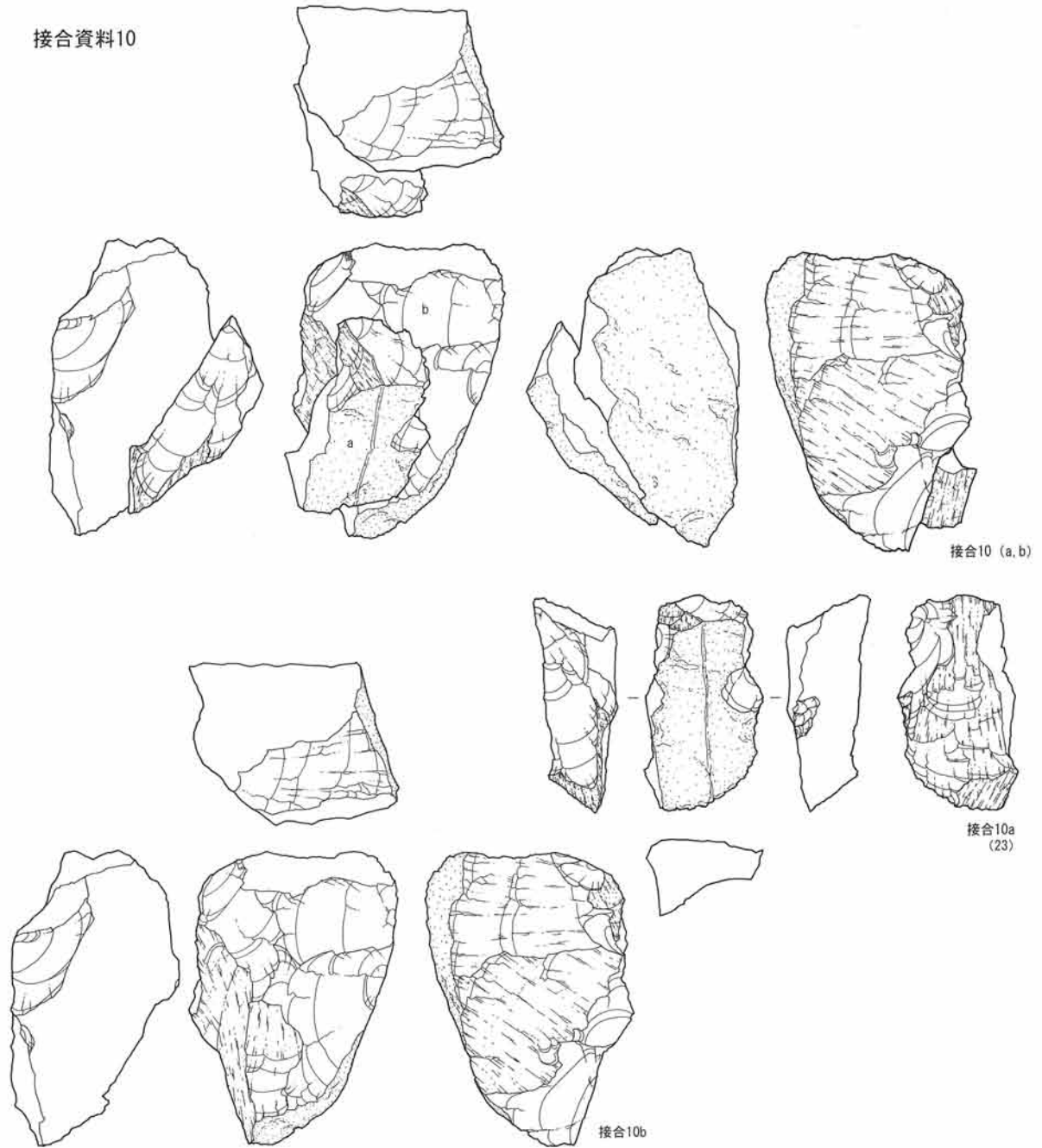


接合5 (a, b)

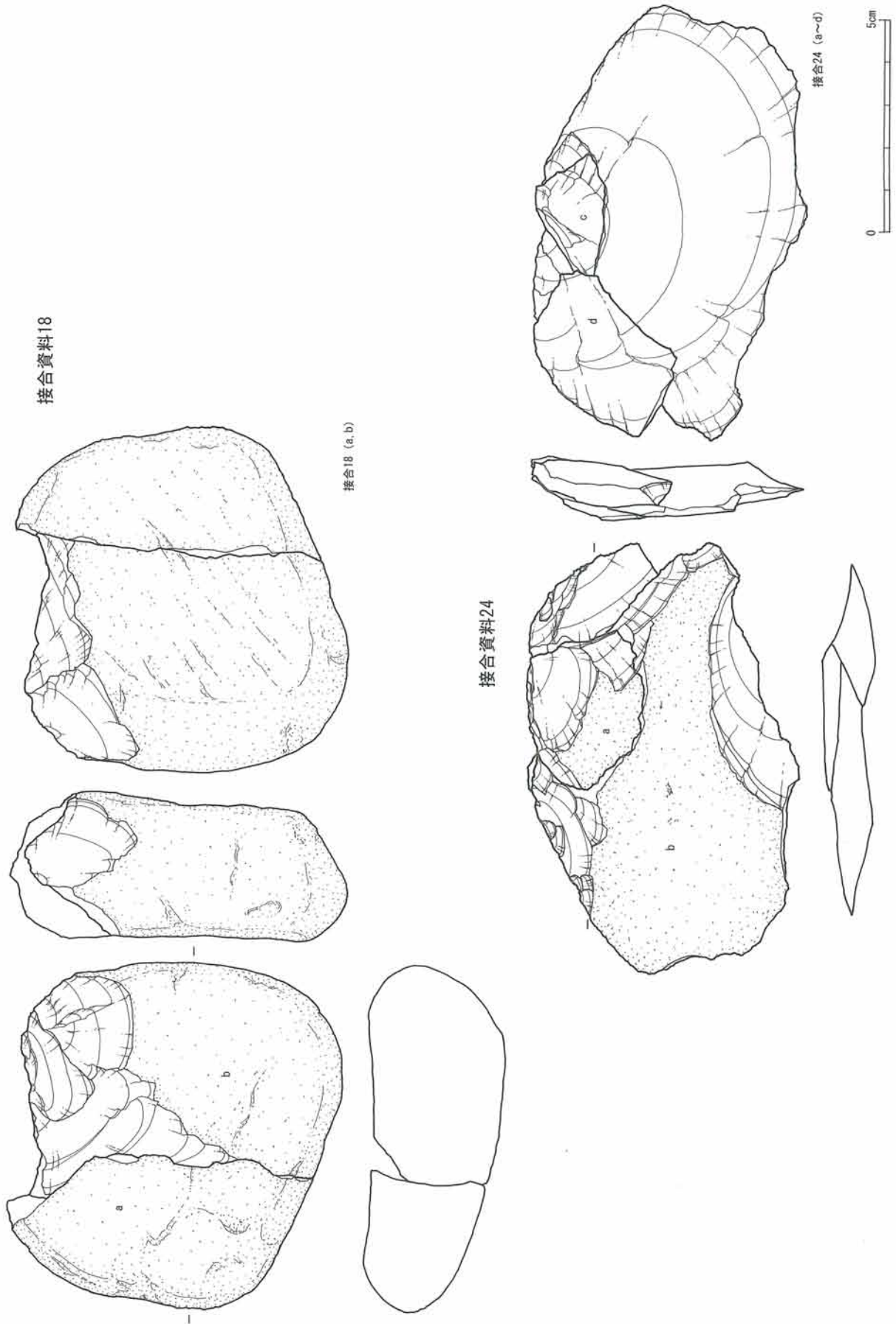


第55図 第1文化層 A区接合資料 (4)

接合資料10

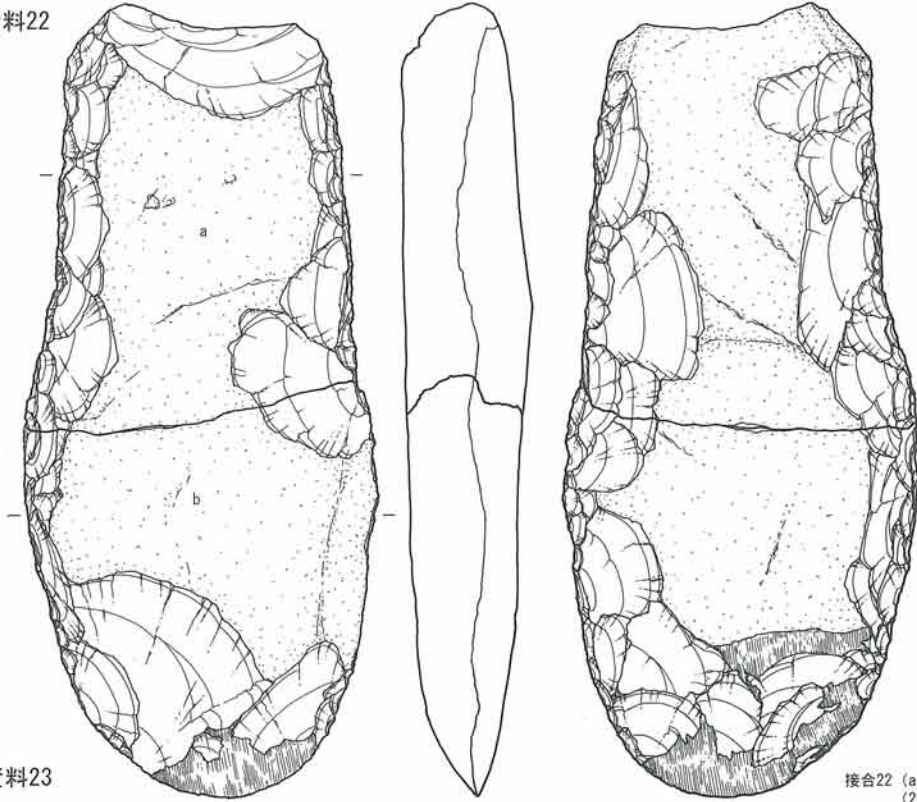


第56図 第1文化層 A区接合資料 (5)

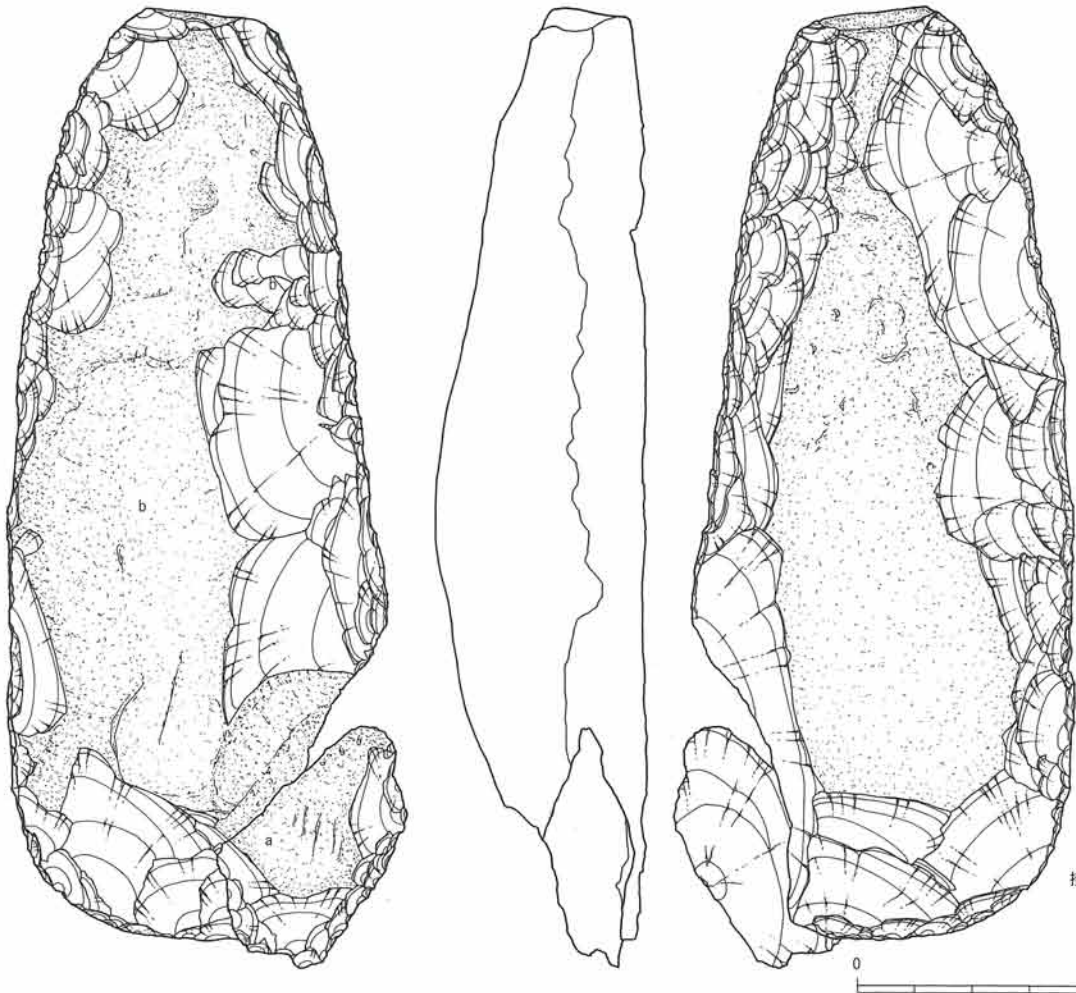


第57図 第1文化層 A区接合資料(6)

接合資料22



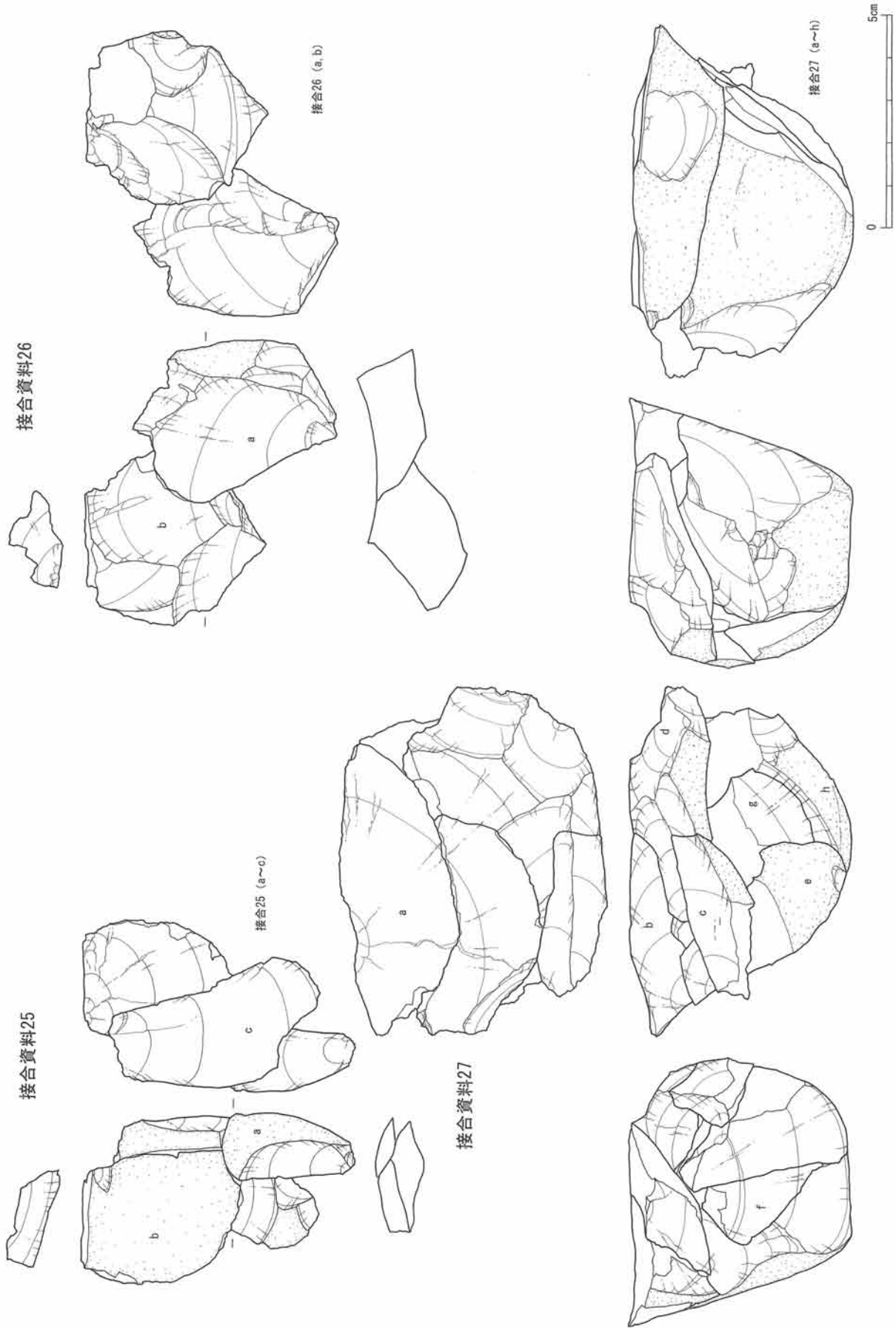
接合資料23



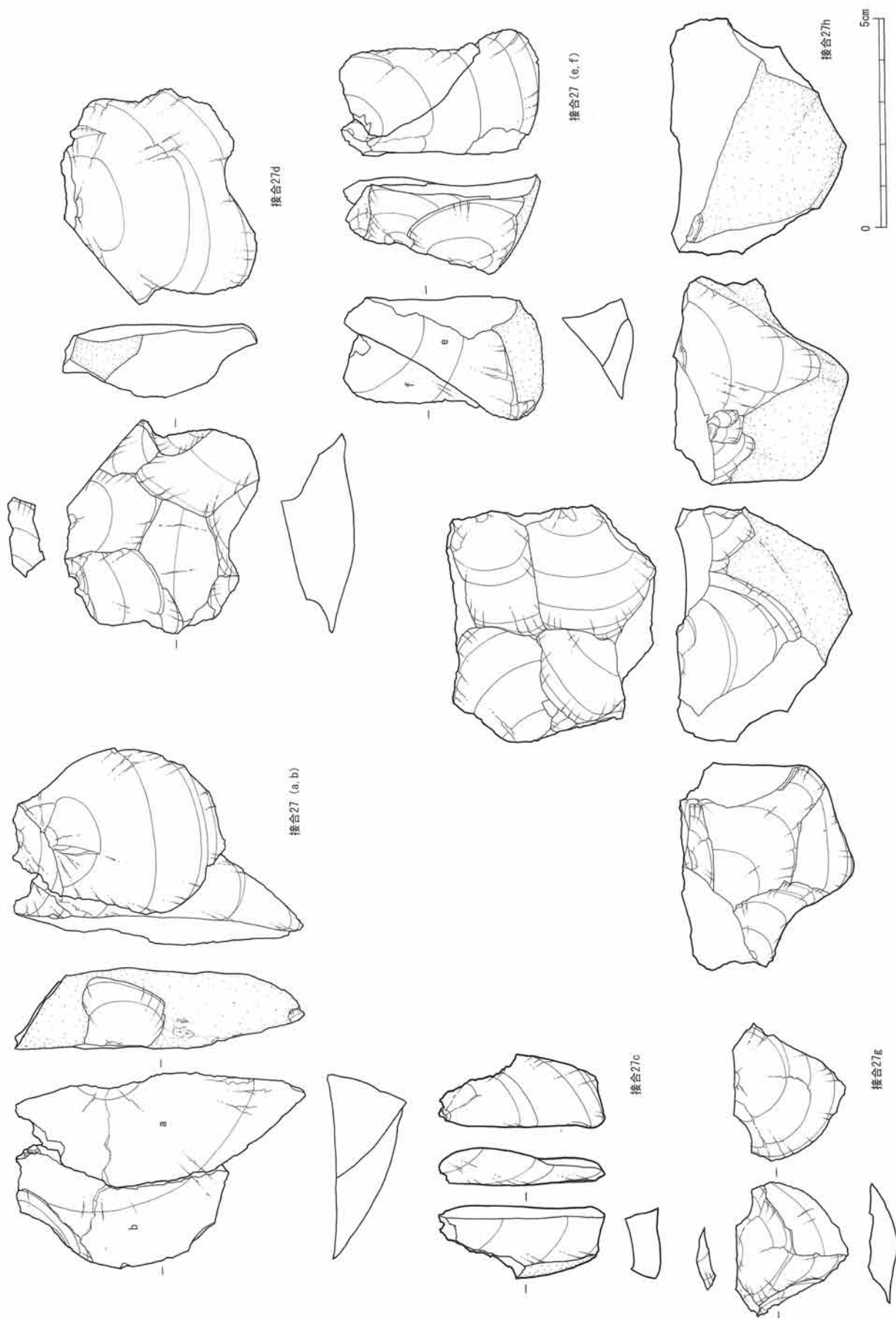
接合22 (a, b)
(28)

接合23 (a, b)
(29)

第58図 第1文化層 A区接合資料 (7)

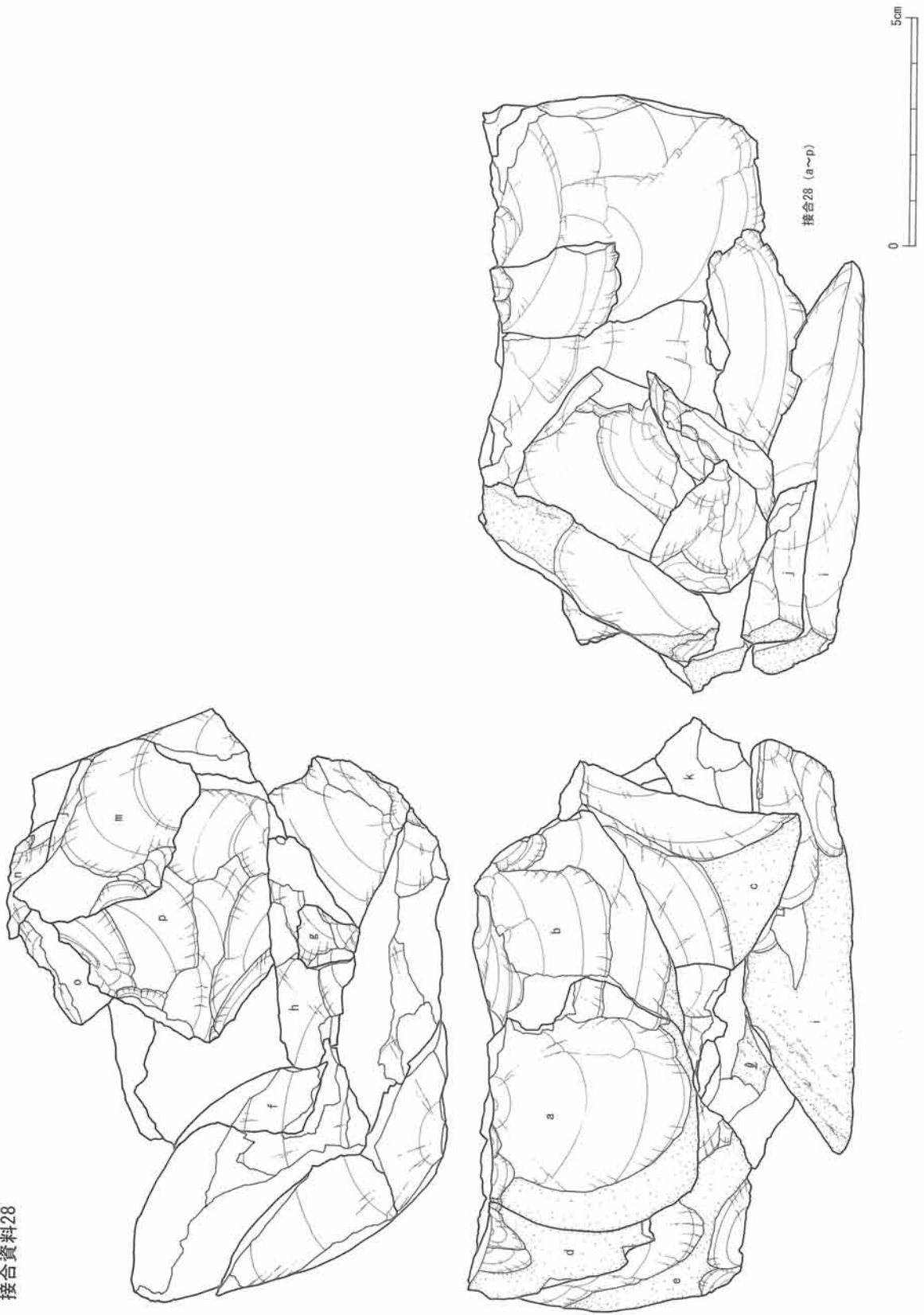


第59図 第1文化層 A区接合資料 (8)

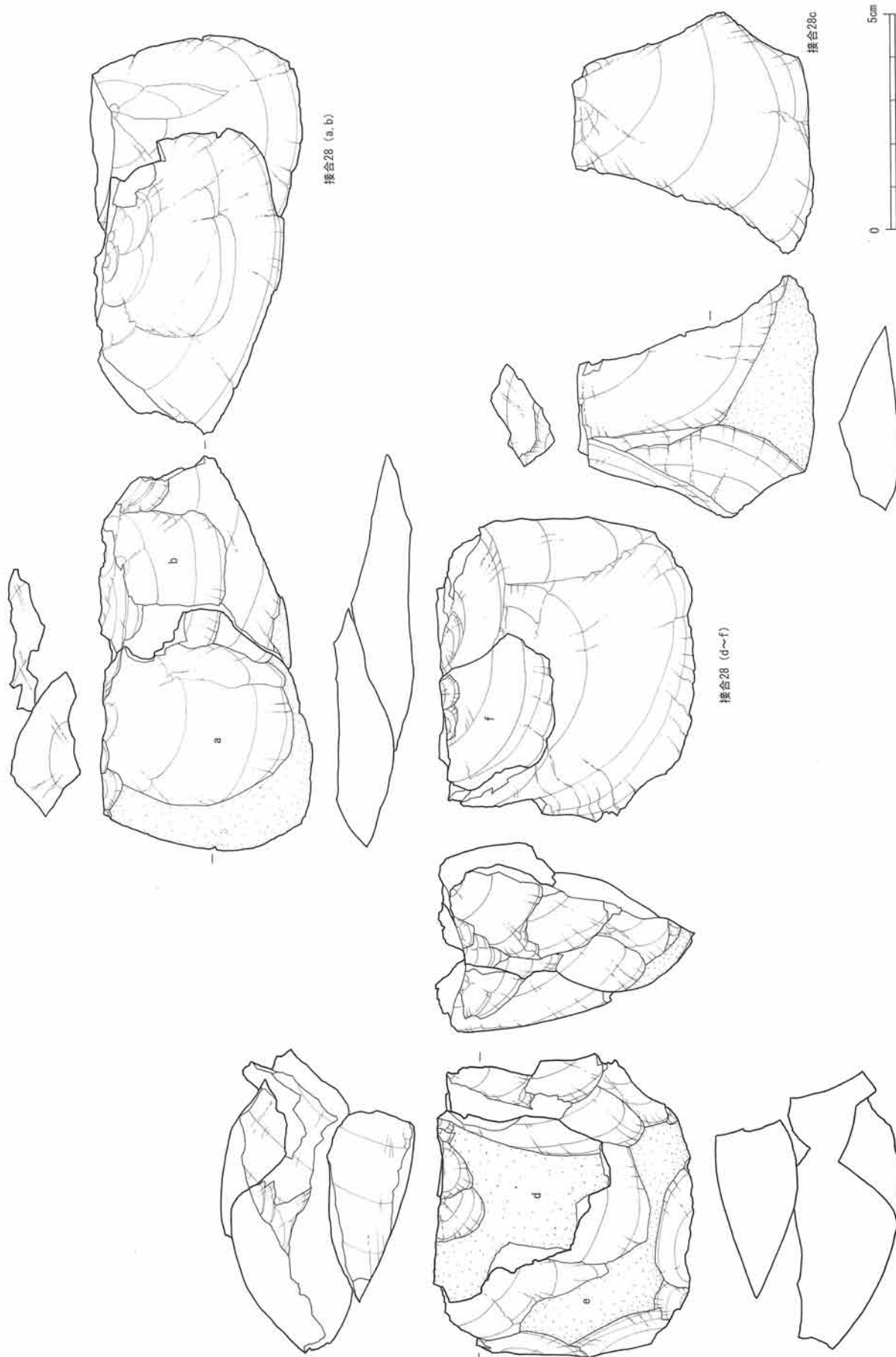


第60図 第1文化層 A区接合資料 (9)

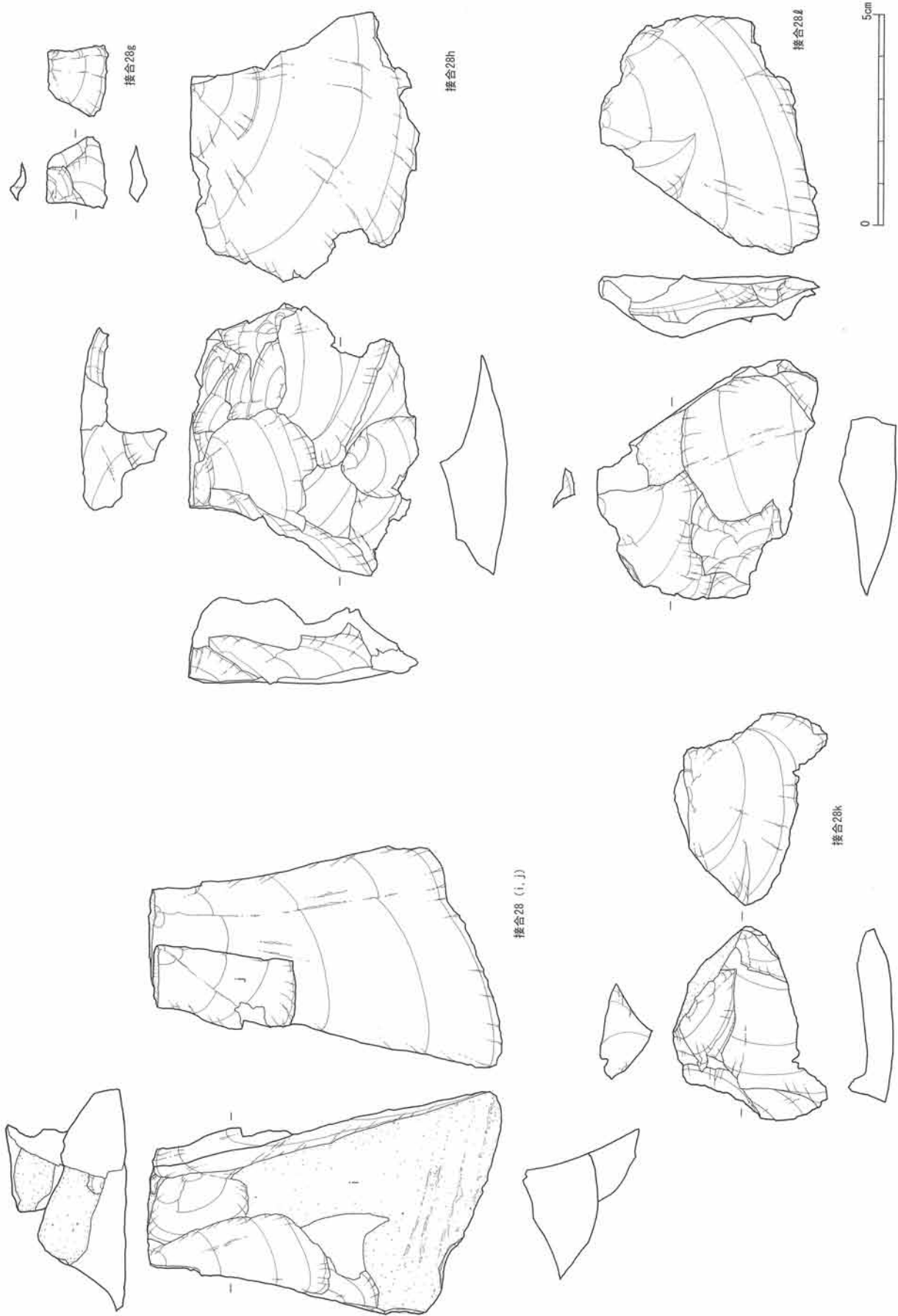
接合資料28



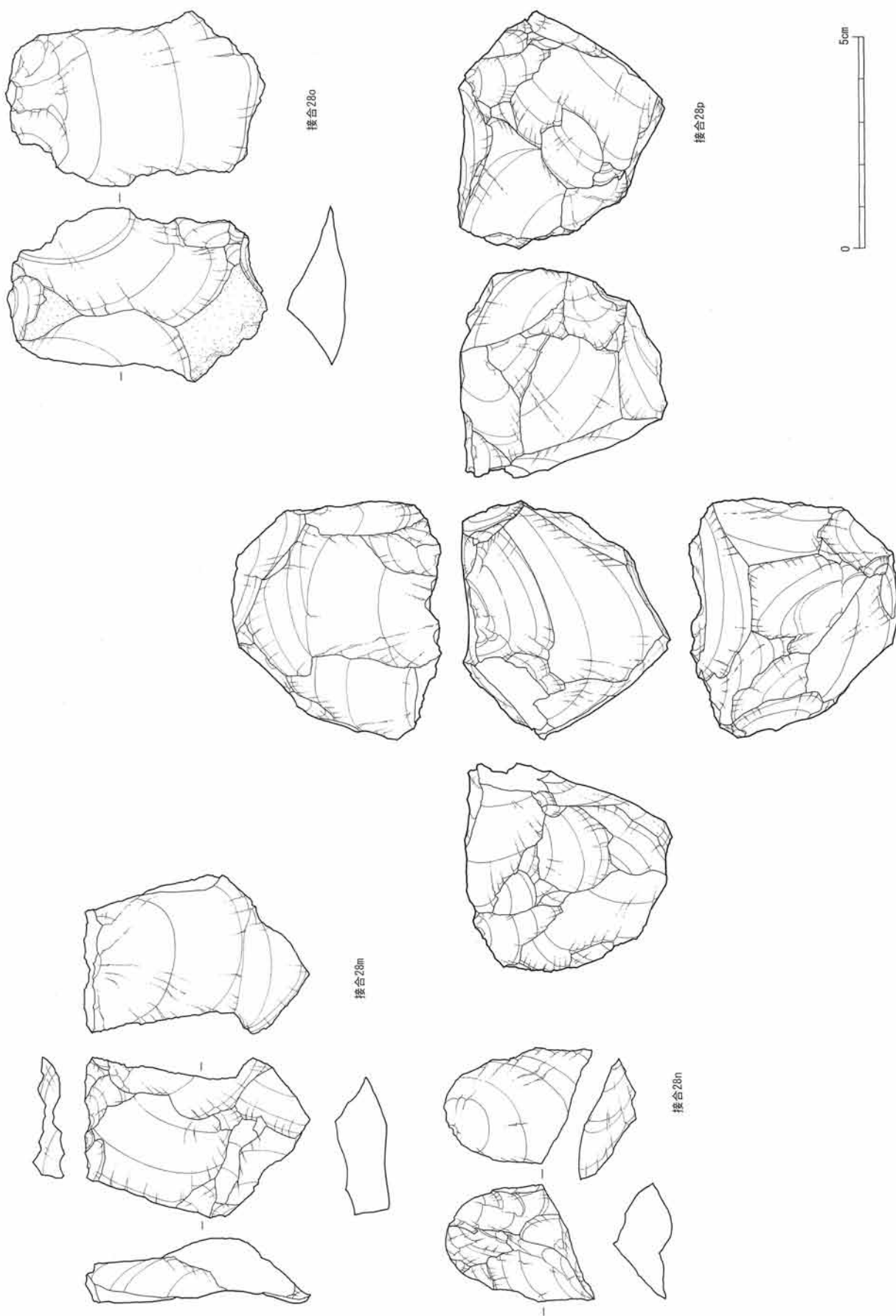
第61図 第1文化層 A区接合資料 (10)



第62図 第1文化層 A区接合資料 (11)

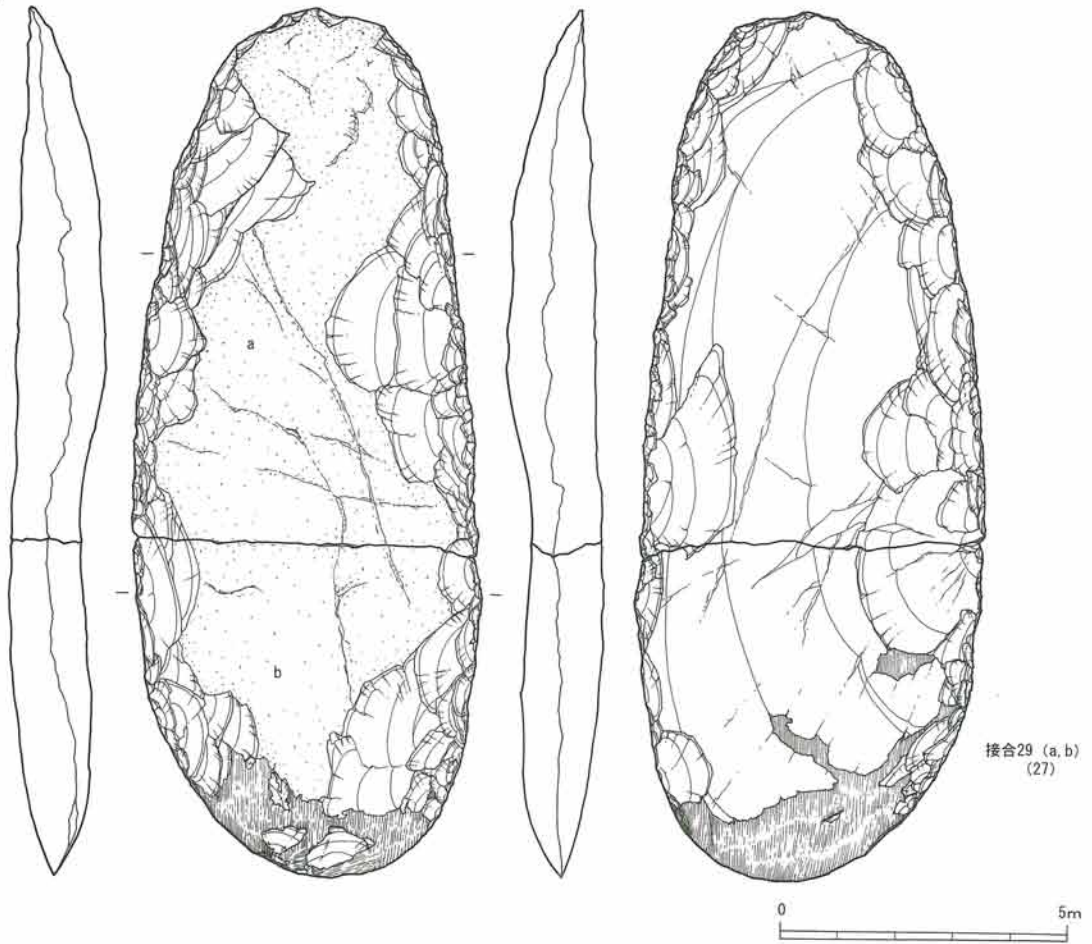


第63図 第1文化層 A区接合資料 (12)

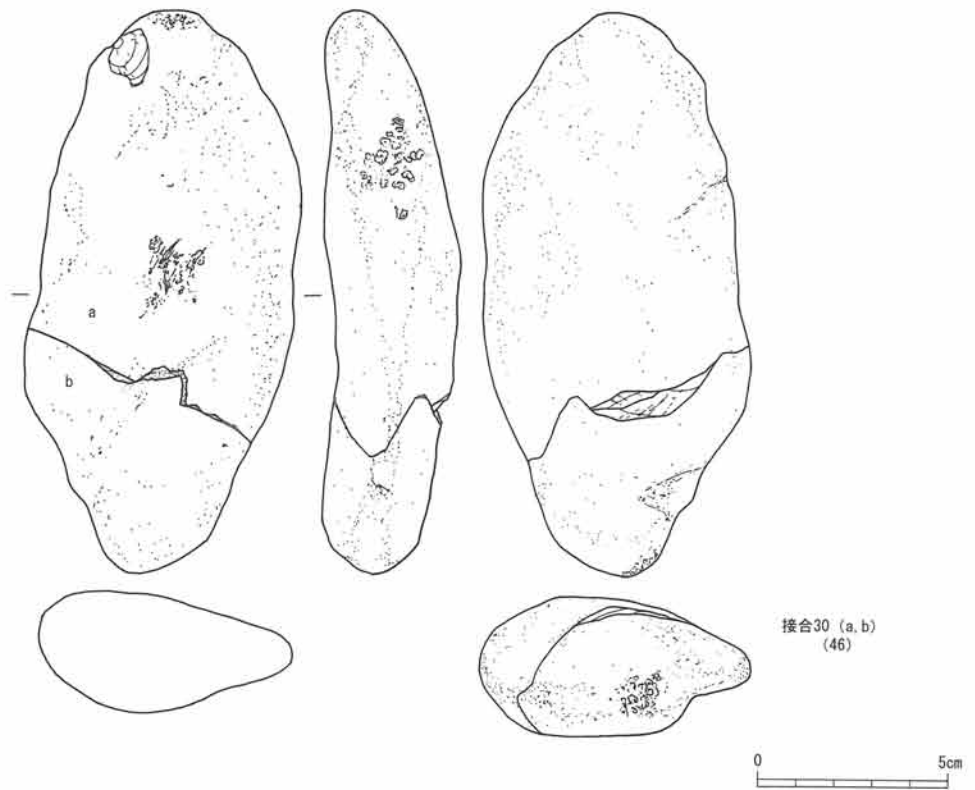


第64図 第1文化層 A区接合資料 (13)

接合資料29

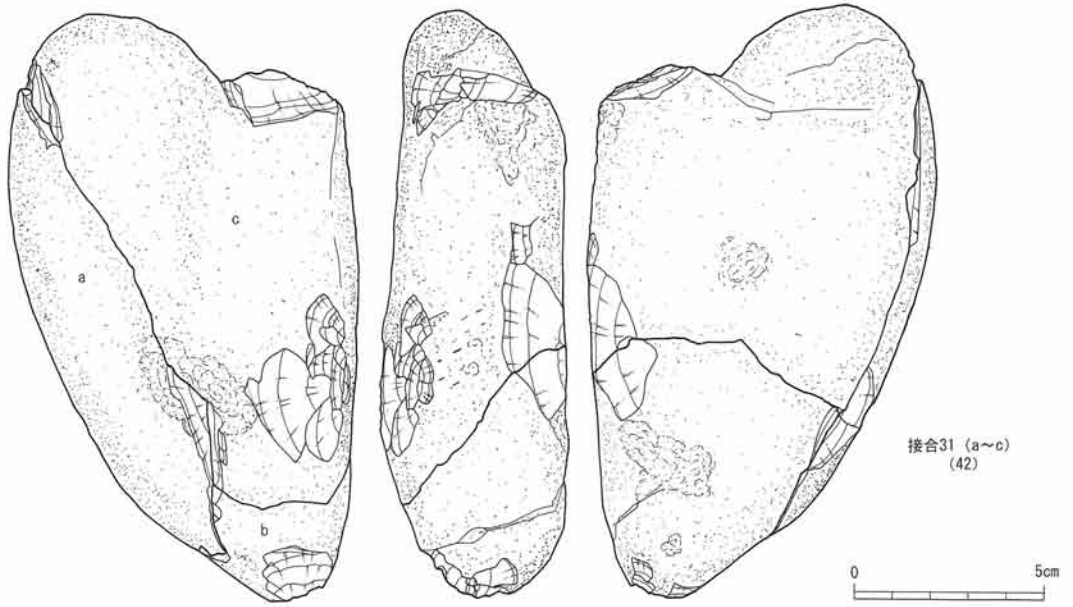


接合資料30

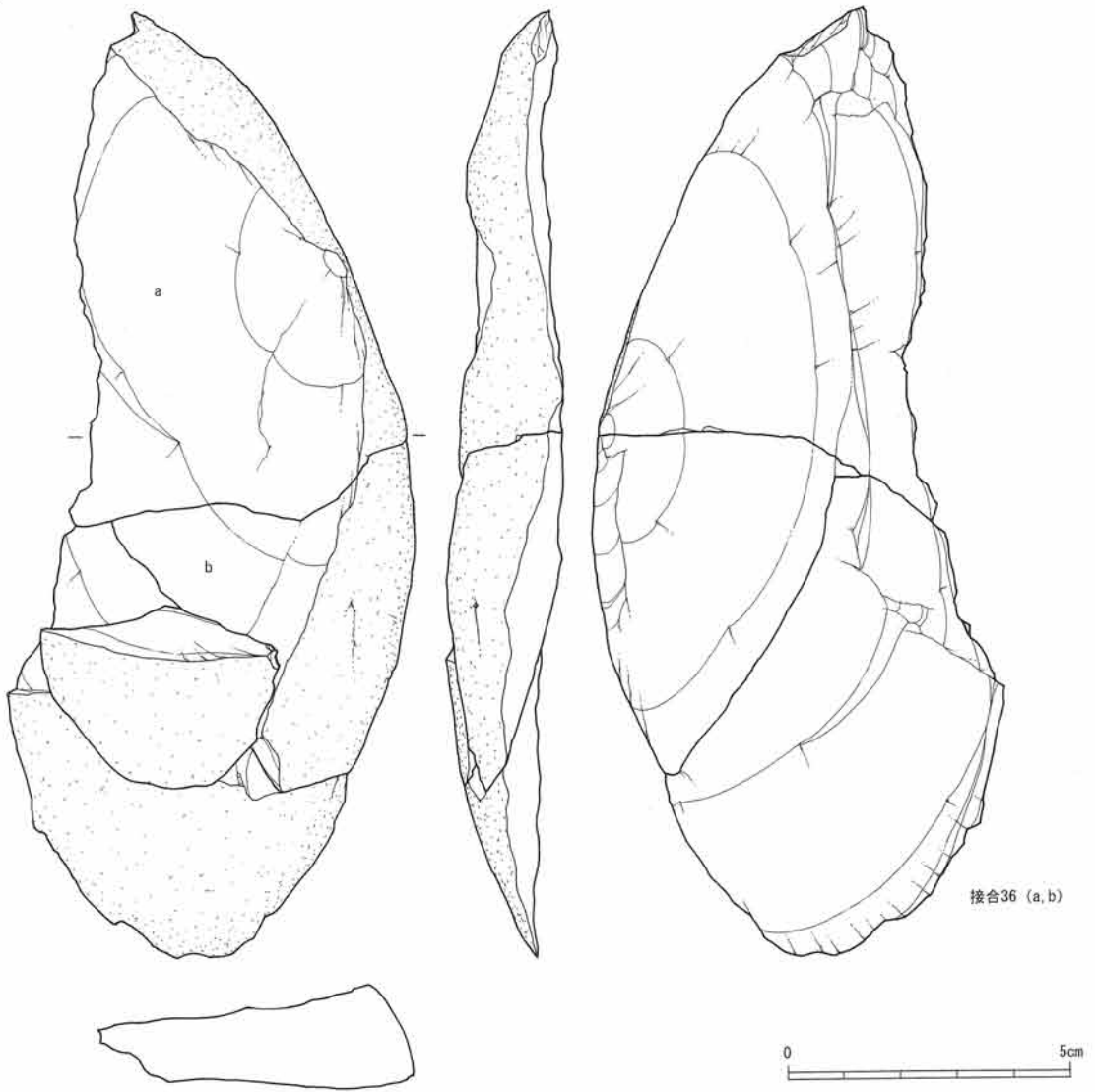


第65図 第1文化層 A区接合資料 (14)

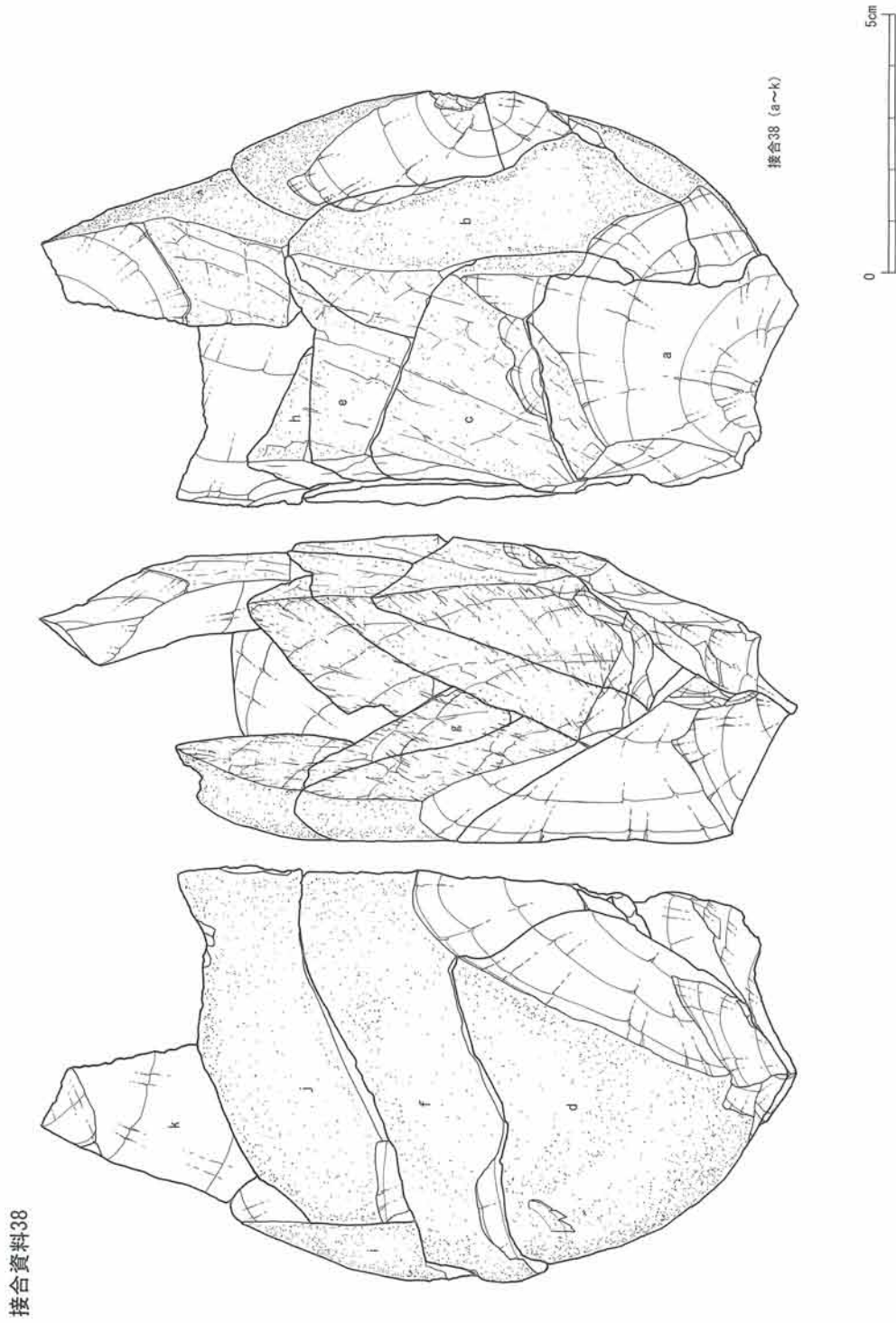
接合資料31



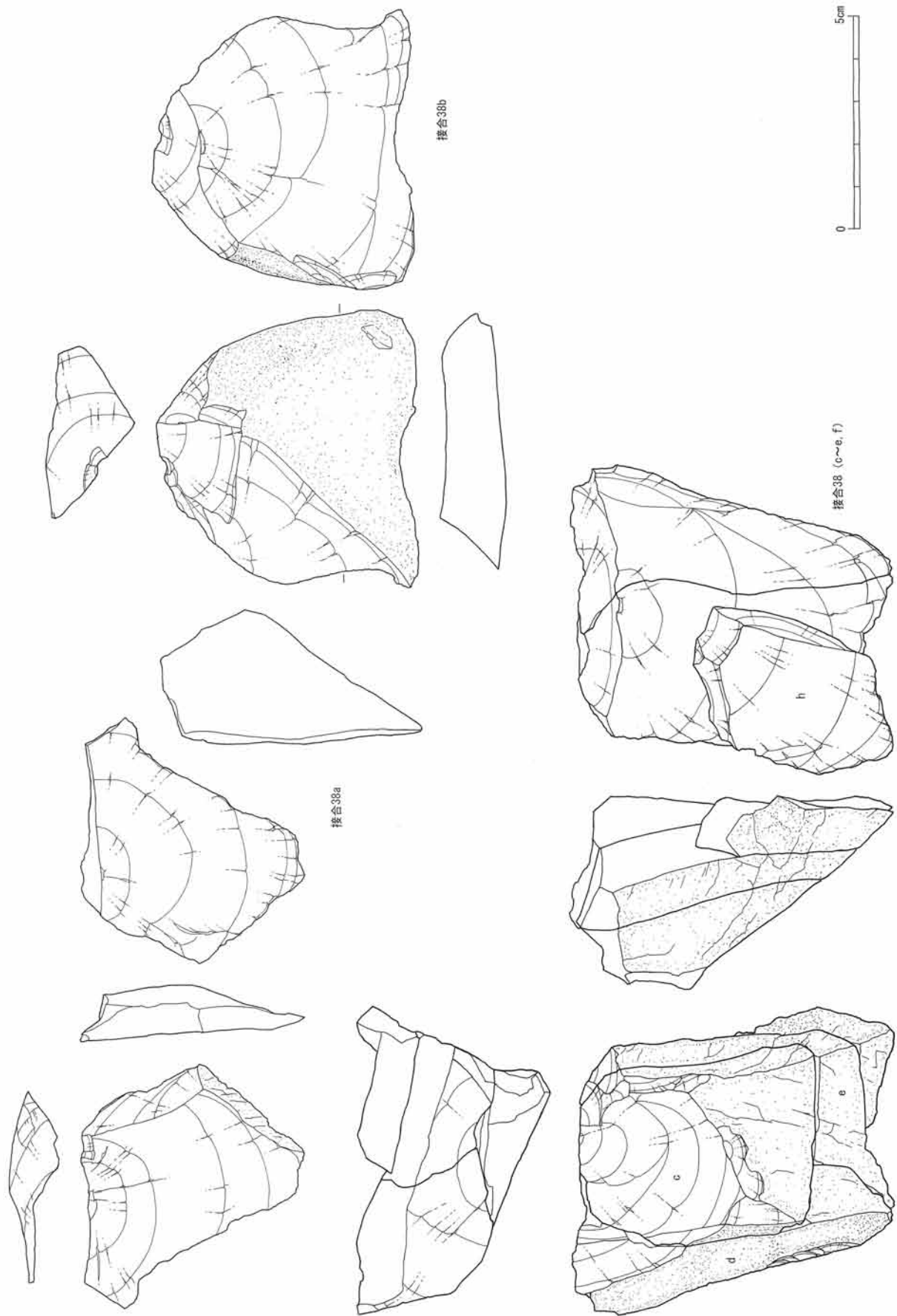
接合資料36



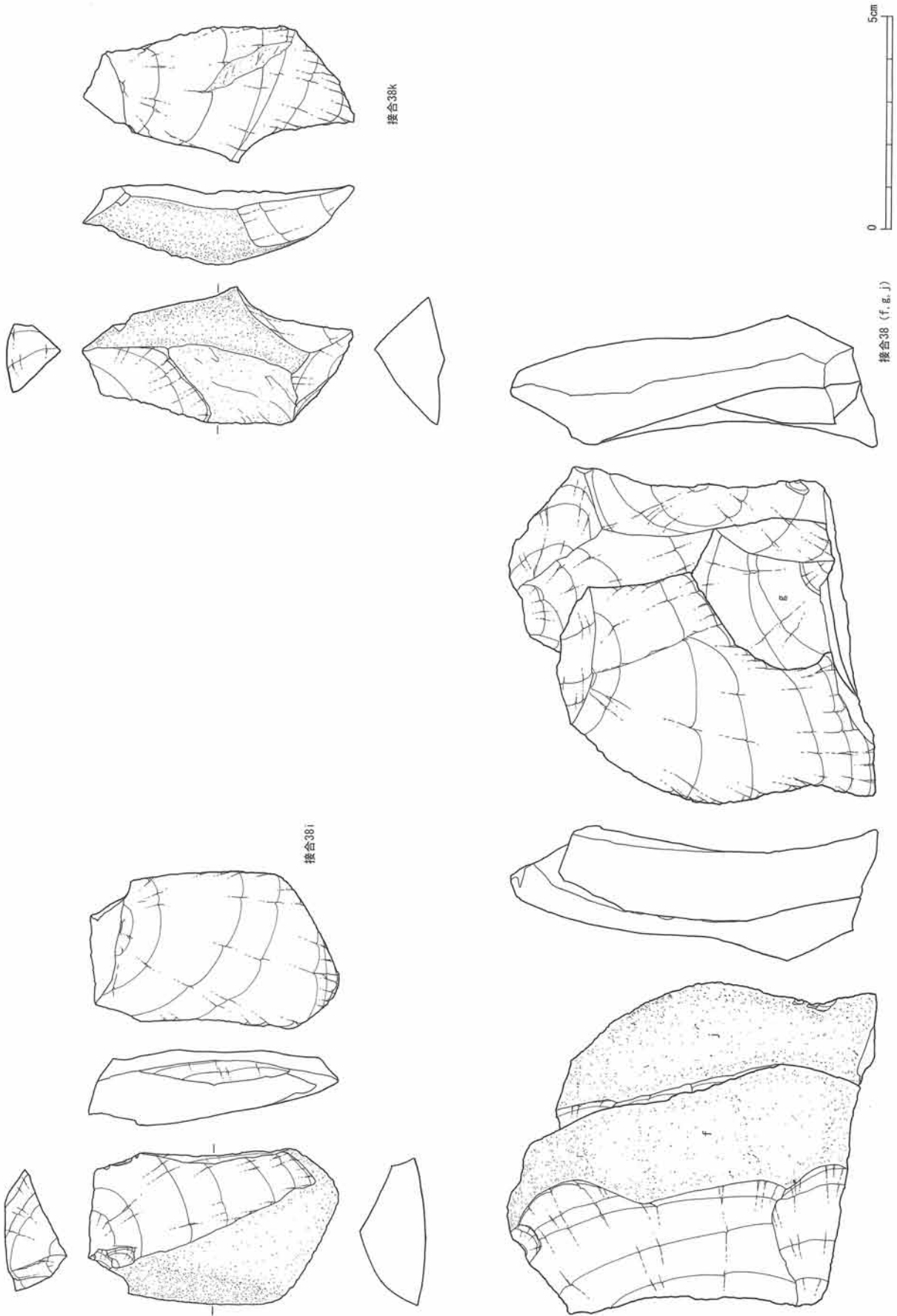
第66図 第1文化層 A区接合資料 (15)



第67図 第1文化層 A区接合資料 (16)

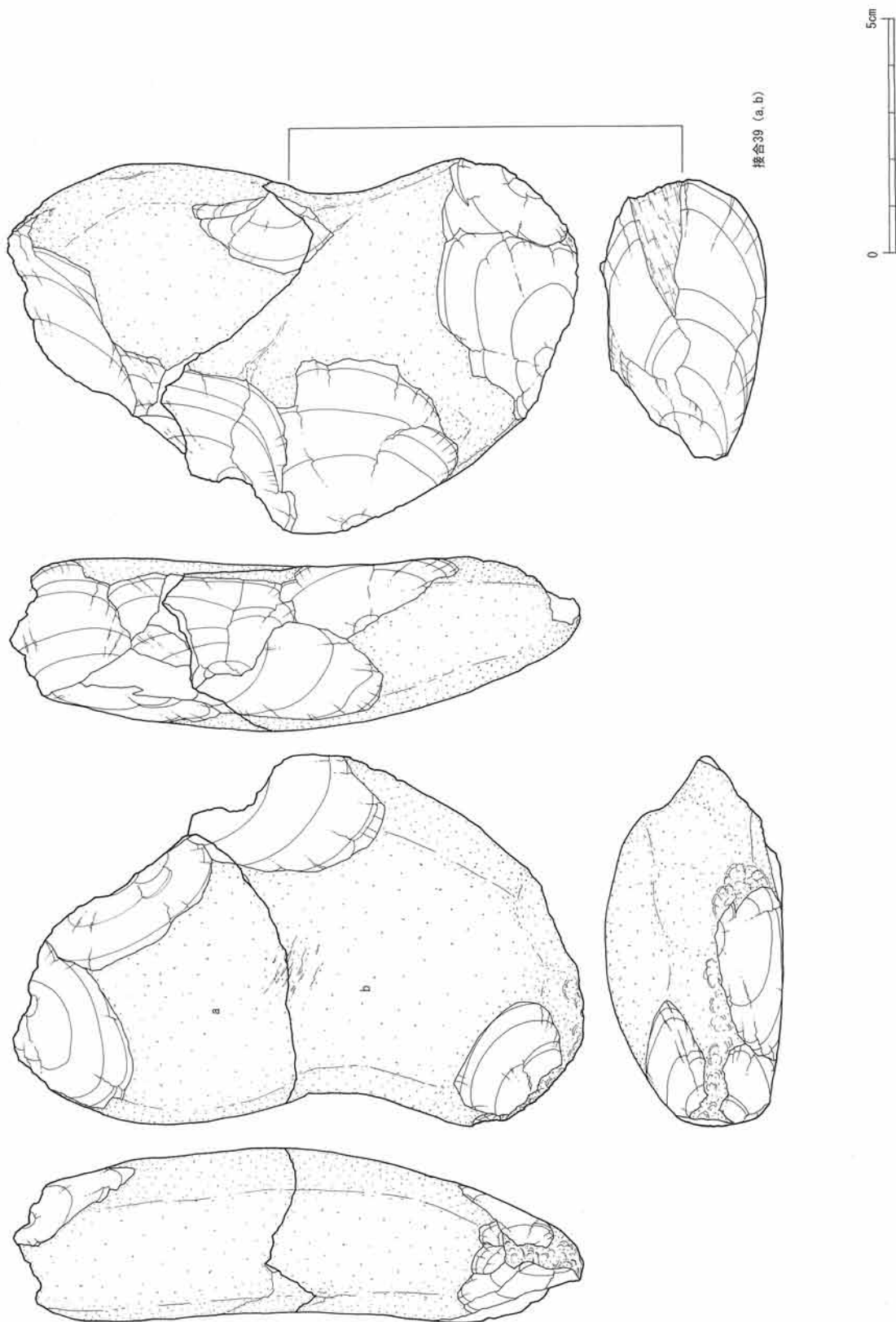


第68図 第1文化層 A区接合資料 (17)

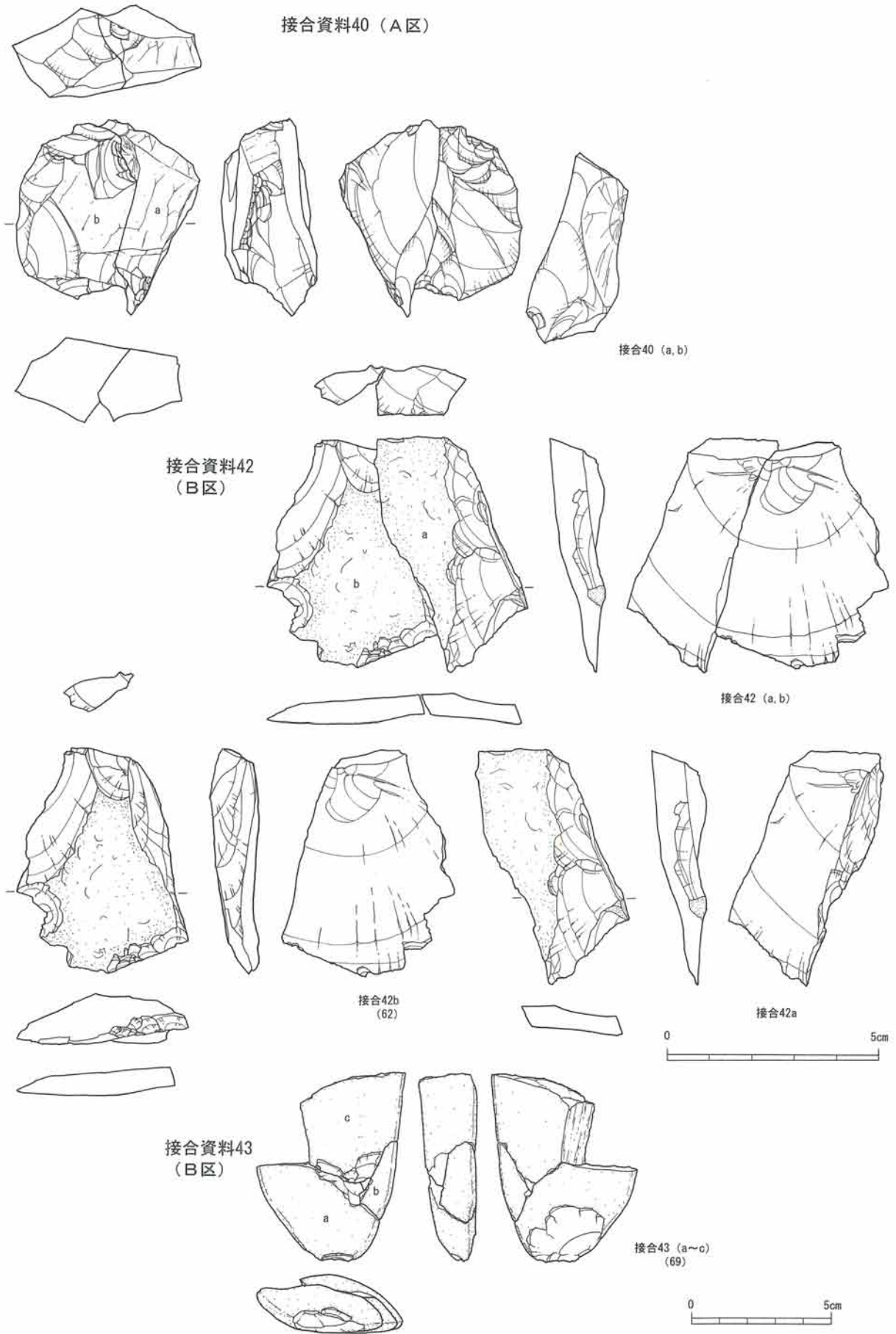


第69圖 第1文化層 A区接合資料 (18)

接合資料39

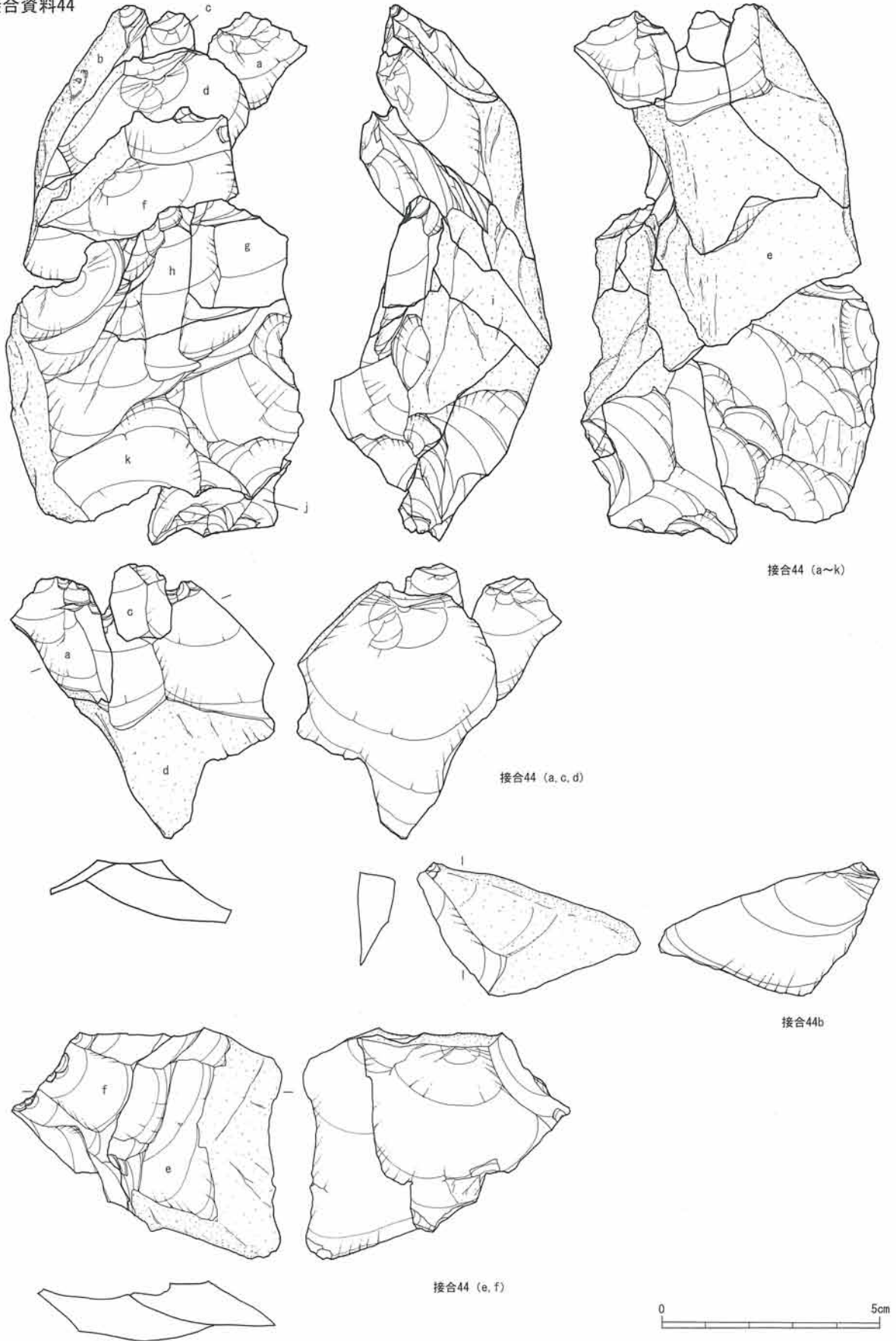


第70図 第1文化層 A区接合資料(19)

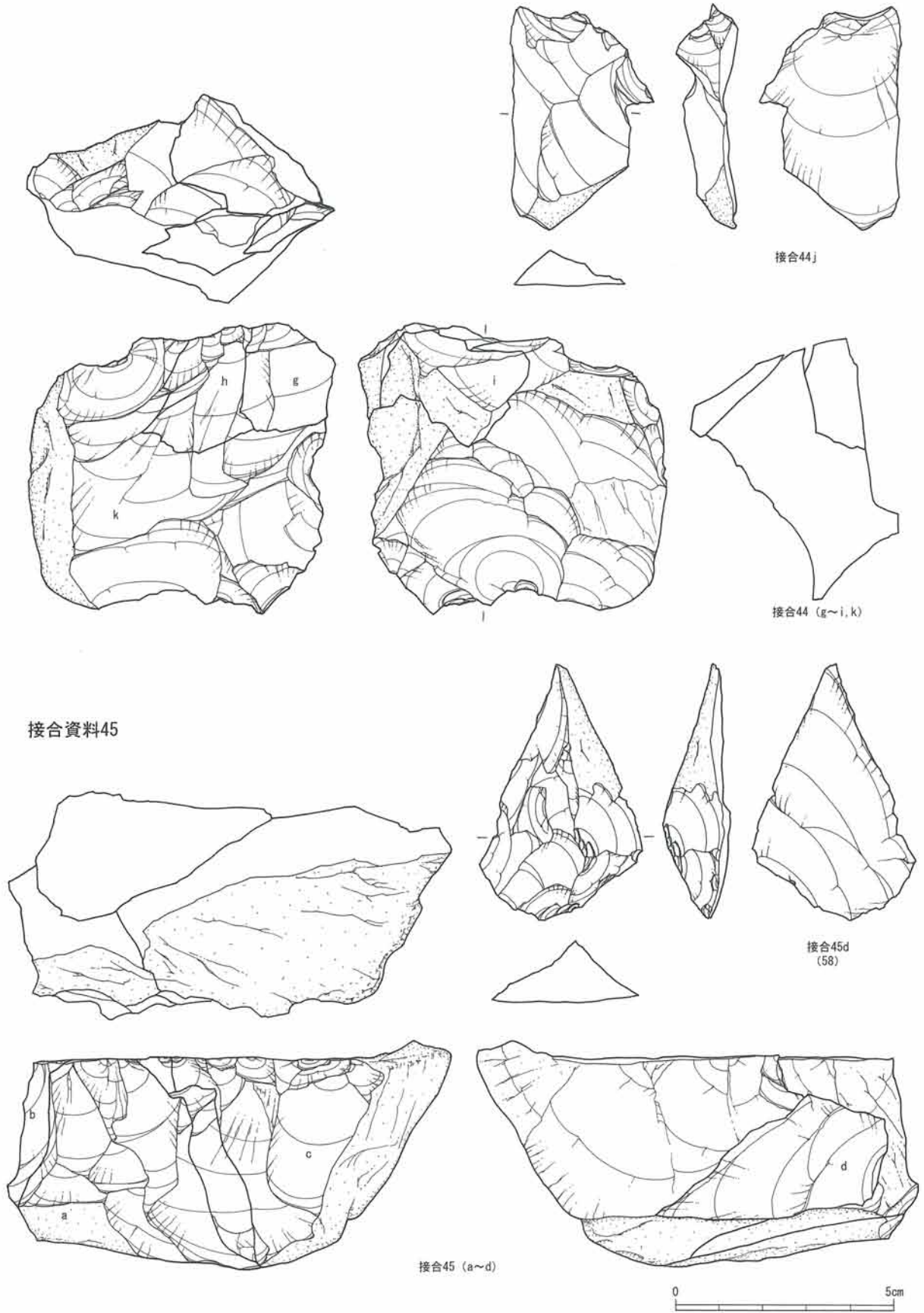


第71図 第1文化層 A・B区接合資料

接合資料44



第72図 第1文化層 B区接合資料 (1)



第73図 第1文化層 B区接合資料 (2)

第3節 第2文化層

第2文化層の石器群は、VI層から検出された。出土遺物は、部分加工剥片1点と、礫9点のみである。この部分加工剥片は単独で出土した石器ではあるものの、石材を見るとチャートが用いられている。チャートは本地域において最も多く利用される石材である。そのため、石材利用の面からは本遺跡の他の文化層や、周辺遺跡と同様の状況であると言える。遺物数が少ないため、ブロックや礫群は認定しない。

(1) 出土状況

第2文化層はA区、F区において検出された。遺物が希薄で、調査を行ったB区、C区においても、遺物が全く検出されなかったことから、第8地点における当該期の土地利用の様相が、他の文化層と異なるものであったことを示唆するものであると言えよう（第74図）。

1. A区

A区からは礫が4点検出された。分布も散漫で、平面的なまとまりを見出すことはできない。

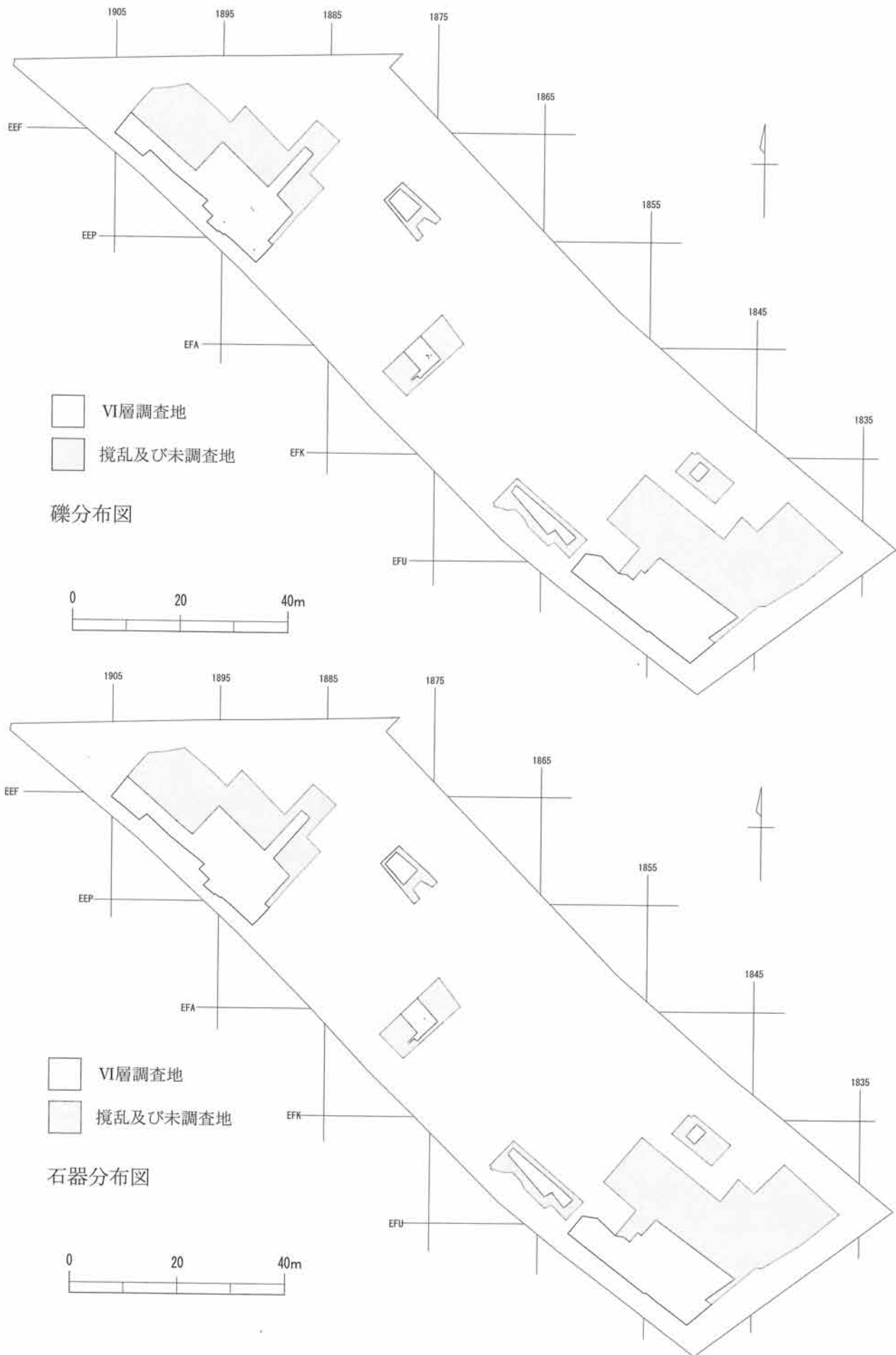
2. F区

F区の中央部から、部分加工剥片1点と、それに伴うと考えられる礫5点が出土した。遺物の点数は少ないが、径約50cmの範囲内から集中して出土しており、何らかの活動の痕跡と考えられる一群である（第75図）。

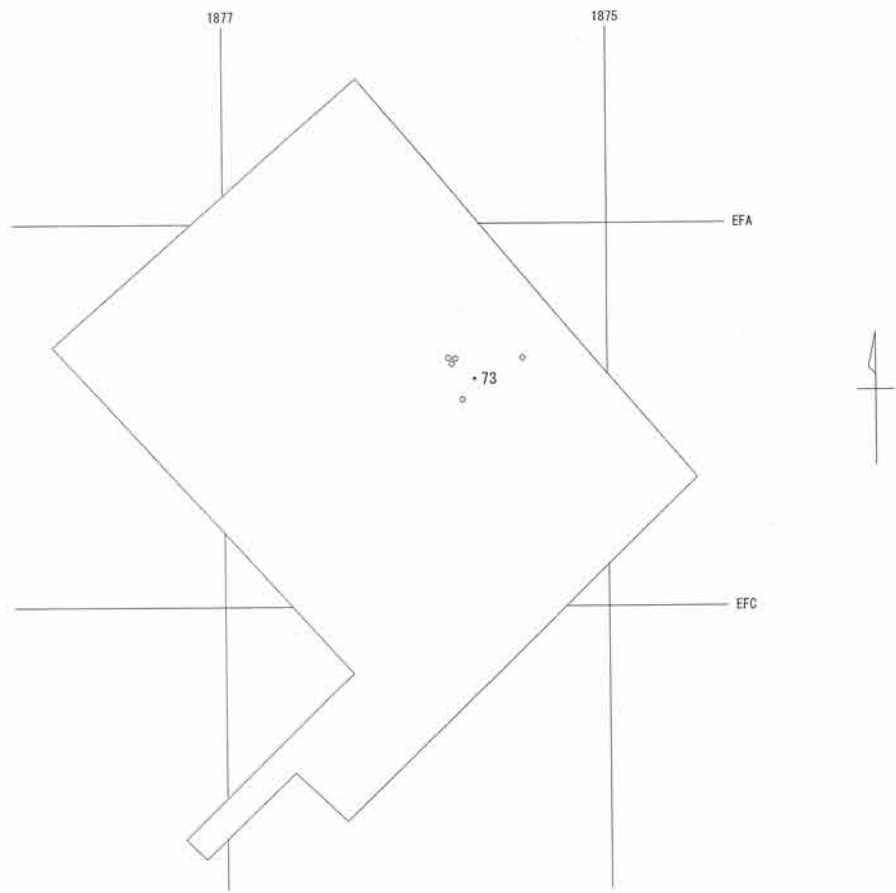
(2) 出土遺物

1. F区

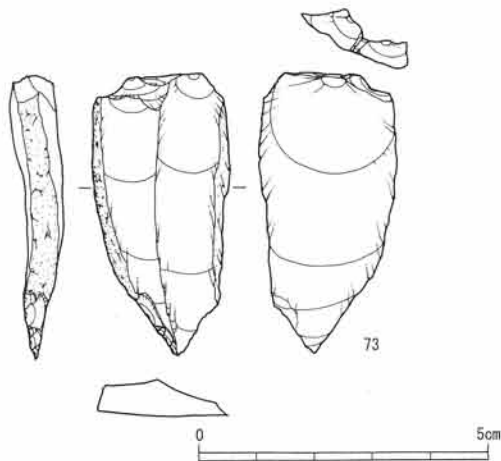
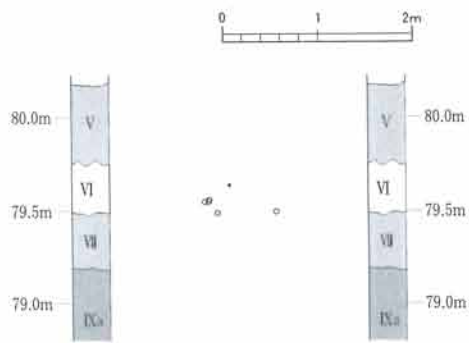
73（第75図）は部分加工剥片である。チャートの石刃の先端部に明確な調整剥離痕が認められる資料である。打面は調整打面で、背面には原礫面と連続的に石刃が剥離された痕跡を留めており、他の石器が検出されていないことから、遺跡外からの持ち込みと考えられる。



第74図 第2文化層 礫・石器分布図



- ・ 石器
- 礫



第75図 第2文化層 F区出土石器

第4節 第3文化層

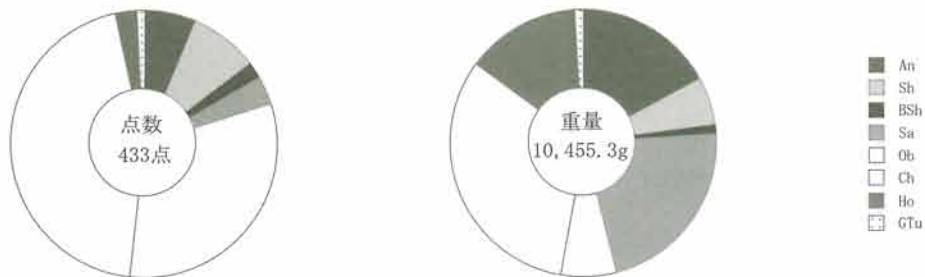
第3文化層の石器群は、V層上部からIVb層にかけて検出された（第81図）。発掘時の所見を考慮し、出土レベルや接合資料、母岩の共有関係を検討した結果、IV層下部を出土の中心としていると考えられる。出土遺物は、ナイフ形石器14点、錐形石器2点、スクレイパー5点、ノッチ1点、楔形石器1点、鋸歯縁石器3点、部分加工剥片17点、石核33点、石刃1点、剥片339点、碎片10点、敲石5点、台石2点、礫3,501点、計3,934点である。また、本文化層は非常に発達した礫群によっても特徴付けられる。

石器に用いられている石材について見ると、第3文化層においてもチャートが主体となっている（表15、第76図）。第3文化層の出土遺物数はA区が半数を占めるため、A区の石材組成に大きく反映されているが、それに次ぐ資料数があるB区においては黒曜石が主体となっているため、点数においては黒曜石の占める率が高いことも注目される。

表15 第3文化層 石材組成重量表

第3文化層	安山岩	頁岩	黒色頁岩	砂岩	黒曜石	チャート	ホルンフェルス	緑色凝灰岩	(点数:点)
									合計
A区	17	30		11	28	167	8	1	262
B区	2	6	7	5	76	10	3	4	113
C区						1			1
D区			1		17	10			28
F区	8				15	6			29
合計	27	36	8	16	136	194	11	5	433

第3文化層	安山岩	頁岩	黒色頁岩	砂岩	黒曜石	チャート	ホルンフェルス	緑色凝灰岩	(重量:g)
									合計
A区	1363.5	520.2		2083.9	205.7	2480.1	1300.5	7.0	7960.9
B区	32.5	96.9	92.5	239.5	404.4	694.0	142.0	118.5	1820.3
C区						12.0			12.0
D区			6.6		10.6	107.3			124.5
F区	374.2				51.0	112.4			537.6
合計	1770.2	617.1	99.1	2323.4	671.7	3405.8	1442.5	125.5	10455.3



第76図 第3文化層 石材別重量グラフ

(1) 出土状況

第3文化層の石器群は、A区、B区、C区、D区、F区において確認されている（第81図）。遺物の分布には視覚的なまとまりが見られたため、接合関係、母岩を検討し、A区に1～4号

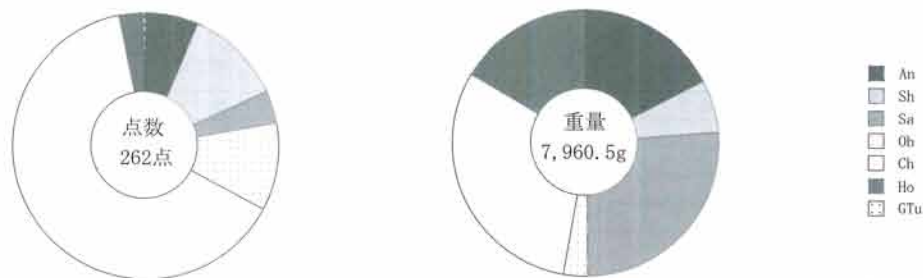
ブロック（第82図）、B区に6～12号ブロック（第83図）、D区に13号ブロック（第83図）、F区に5号ブロック（第82図）、を設定した。詳細は次項で各ブロックについて記載する。

また、本文化層においては礫の集中部が発掘時より確認されており、ブロックよりも細かな単位で認識できた。それぞれ、A区の1～23号礫群（第84・98～105図）、B区の30～40号礫群（第85・107～112図）、D区の25～29号礫群（第85・105・106図）、F区の24号礫群（第84・105図）である。これらの礫群はIV層下部段階と考えられるが、若干の出土レベル差が看取でき、さらに2ないし3枚に細分することも可能であると考えられる。このような礫群の発達が本文化層の大きな特徴と捉えられる。

以下、各区・各ブロックについて見ていく。

1. A区

A区の第3文化層はチャートが多く用いられている（第77図）。チャートの点数は167点とA区出土遺物（礫を除く）の64%を占めており、重量は31%にあたる。砂岩や安山岩も重量が多く、これらの石材が敲石や石核といった大型の石器に用いられていることを反映している。他にも頁岩、黒曜石、ホルンフェルス、緑色凝灰岩が組成されている。



第77図 第3文化層 A区 石材別重量グラフ

1号ブロック（第86・93図） A区の北西部に散漫に出土し、5～7号礫群との関連が想定される。石材は黒曜石が主体で、チャート、頁岩も含まれるが、接合関係は得られていない。石刃、部分加工剥片が組成される。

2号ブロック（第86・93・94図） A区の中央部に遺物が集中するブロックで、A区の第3文化層の主体となっている。チャートの接合資料が多く得られており、チャート製のナイフ形石器、鋸歯縁石器、部分加工剥片が組成されている。他にも黒曜石、頁岩、安山岩、砂岩が含まれ、ノッチ、石核も出土した。8～13号礫群との関連が想定される。

3号ブロック（第87・94図） A区の南に分布し、安山岩、黒曜石、砂岩、頁岩の接合資料が得られている。石材には他にもチャート、ホルンフェルスが見られる。石器は黒曜石のナイ

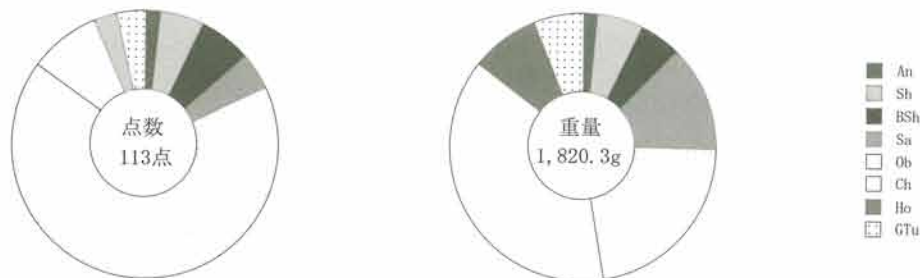
フ形石器、楔形石器、石核が組成されており、他のブロックと様相を異にしている。敲石も組成されている。16～18号礫群との関連が想定される。

4号ブロック (第87・95図) A区の南壁付近から出土しており、石材がチャート、黒曜石、頁岩、安山岩、ホルンフェルス、砂岩、緑色凝灰岩とバラエティーに富む。接合関係は得られていない。スクレイパー、錐形石器、石核、敲石、台石が組成されている。19～22号礫群との関連が想定される。

ブロック外 (第82図) A区の北側からは、ブロックとは認識できないものの、鋸歯縁石器と部分加工剥片が出土した。1～4号礫群に伴う遺物と考えられる。

2. B区

B区の第3文化層では黒曜石が多く用いられている(第78図)。黒曜石の点数は76点とB区出土遺物(礫を除く)の67%を占めており、重量は22%にあたる。これらの黒曜石はツールとして多く組成されており、接合する剥片としても出土したためである。チャートや砂岩も重量が多い。他にもホルンフェルス、緑色凝灰岩、頁岩、黒色頁岩が組成されている。



第78図 第3文化層 B区 石材別重量グラフ

6号ブロック (第89・95図) B区の北側に位置する。石材にはチャート、黒曜石、頁岩、黒色頁岩、砂岩が見られ、ナイフ形石器が組成される。接合関係は得られなかった。散漫な集中であるが、関連が想定される30号礫群は非常に高い密度で礫が集中している。

7号ブロック (第89・95図) B区の中央北よりに位置し、黒曜石、チャート、緑色凝灰岩、砂岩を用いている。黒曜石製のナイフ形石器、スクレイパー、部分加工剥片と、緑色凝灰岩製のスクレイパーが組成されている。31号礫群との関連が想定される。

8号ブロック (第90・96図) B区の中央部に位置し、黒曜石、チャート、砂岩からなる。黒曜石の接合資料が1個体確認されており、組成は石核と剥片のみである。34・35号礫群との関連が想定される。

9号ブロック (第90・96図) B区の東部に分布し、石材は黒曜石、チャート、安山岩、黒

色頁岩、頁岩、ホルンフェルス、緑色凝灰岩とバラエティーに富んでいる。安山岩の接合資料が1個体得られている。黒曜石製のナイフ形石器、部分加工剥片が組成される。36～38号礫群との関連性が想定される。

10号ブロック (第91・96図) B区の西部に位置し、黒曜石、チャート、頁岩、ホルンフェルス、緑色凝灰岩、砂岩からなる。接合関係は得られておらず、部分加工剥片と石核が組成される。32号礫群との関連が想定される。

11号ブロック (第91・97図) B区西南部に集中するブロックで、黒曜石が主体となっている。チャート、ホルンフェルスも含まれるが、少量である。黒曜石の接合資料が1個体見られ、スクレイパー、石核、敲石が組成されている。33号礫群との関連が想定される。

12号ブロック (第92・97図) B区の南部の集中部で、黒曜石が主体となっている。黒曜石製のナイフ形石器、スクレイパーが組成されている。接合関係は得られていない。39～40号礫群との関連が想定される。

ブロック外 (第83図) B区のブロック外からは、部分加工剥片と石核が出土している。

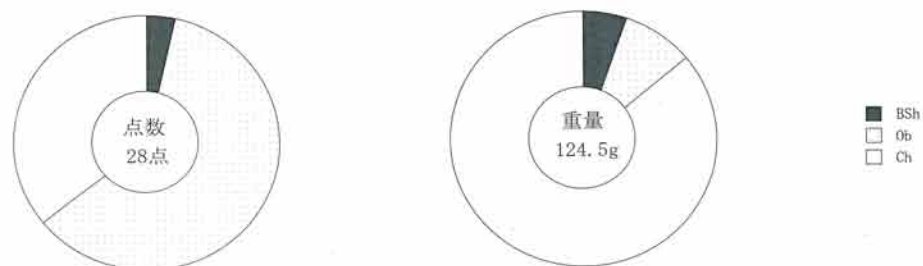
3. C区

C区の第3文化層からはチャート製の剥片が1点と礫3点が出土した。資料数が少ないため、ブロックや礫群は認定されなかった。

ブロック外 (第82図) チャート製の剥片が1点出土した。礫群は認定されないが、礫が3点検出されている。

4. D区

D区の第3文化層はチャートと黒曜石が主体となっている(第79図)。黒曜石の点数は17点とD区出土遺物(礫を除く)の61%を占めているが、重量は9%に満たない。これはチャートが石核に用いられていることを反映しており、重量が86%を占めているためである。他にも黒色頁岩が1点組成されている。



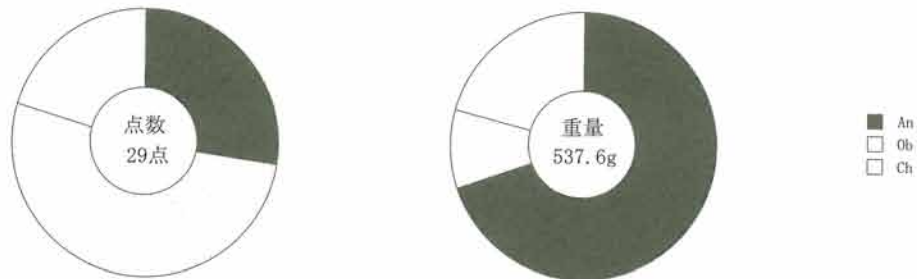
第79図 第3文化層 D区 石材別重量グラフ

13号ブロック (第92・97図) D区の東側に集中するブロックで、黒曜石が主体となっている。接合関係は得られていないが、ナイフ形石器、部分加工剥片、石核が組成される。26～29号礫群との関連が想定される。

ブロック外 (第83図) D区の西側から剥片が1点出土している。25号礫群との関連が想定される。

5. F区

F区の第3文化層は黒曜石と安山岩が多く用いられている(第80図)。黒曜石の点数は15点とF区出土遺物(礫を除く)の52%を占めているが、重量は9%と少ない。これは全資料数が少ない中で、黒曜石がツールや剥片として出土したため、石核が組成される安山岩やチャートが重量的には多くなっている。



第80図 第3文化層 F区 石材別重量グラフ

5号ブロック (第88・95図) F区全体から出土しており、チャート、黒曜石、安山岩からなる。接合資料も4個体得られている。石器には黒曜石が用いられており、ナイフ形石器、錐形石器、部分加工剥片が組成されている。24号礫群との関連が想定されるブロックである。

(2) 出土遺物

1. A区

A区から出土した石器は、ナイフ形石器6点(第113図74～79)、スクレイパー2点(第113図80・81)、鋸歯縁石器2点(第113図82・83)、ノッチ1点(第114図84)、錐形石器1点(第114図85)、楔形石器1点(第114図86)、石刃1点(第114図87)、部分加工剥片6点(第114図88～93)、石核22点(第115図94～96)、剥片213点、敲石3点(第116図97～99)、台石2点(第116図100)、碎片2点、礫1,820点、計2,082点である。ツール19点、デビタージュ238点で、ツールの比率が8%となっている。

74(第113図)はナイフ形石器である。右側縁を急斜度調整しており、基部側には稜上から

の調整も観察される。小型であるが、大きさに比して厚みがある。チャート製である。

75 (第113図) はナイフ形石器である。横長剥片を横位に用い、二側縁を急斜度調整し、尖鋭な先端部を作出している。断面は三角形を呈する。チャート製である。

76 (第113図) はナイフ形石器である。横長剥片を横位に用い、素材打面側の一侧縁に急斜度の調整剥離を加えている。断面三角形。チャート製である。

77 (第113図) はナイフ形石器である。素材を縦位に用い、側縁に微細剥離が連続的に認められるため、大部分を折損しているがナイフ形石器の基部とみなした。チャート製である。

78 (第113図) はナイフ形石器である。横長剥片を横位に用い、一侧縁に大ぶりの急斜度剥離を連続的に施し、尖鋭な先端部を作出している。断面は三角形を呈する。チャート製である。

79 (第113図) はナイフ形石器である。横長剥片を横位に用い、一侧縁に急斜度剥離調整を行い、尖鋭な先端部を作出している。また、切出状の刃縁には表裏面に平坦な剥離が見られる。信州産と考えられる良質な黒曜石を素材としている。

80 (第113図) はスクレイパーである。チャートの不定形剥片を素材としている。素材の最も広い平坦な剥離面から連続的な調整剥離を加えて機能部を作り出している。

81 (第113図) はスクレイパーである。平坦な腹面から大ぶりの調整加工を加え、鋸歯状の機能部を作出している。背面には同一方向の剥離面が残されており、接合資料59 (第121図) のように復元されるため、素材は連続的に剥離された縦長剥片であることが看取できる。チャート製である。

82 (第113図) は鋸歯縁石器である。節理面に大ぶりの調整加工を加え、鋸歯状の機能部を作出している。また、部分的に調整加工もみられる。チャート製である。

83 (第113図) は鋸歯縁石器である。単剥離の平坦打面から剥離された厚みのある縦長の剥片を素材としている。腹面からの連続的な調整剥離が認められ、その調整によって鋸歯状の刃部となっている。チャート製である。

84 (第114図) はノッチである。複剥離面打面の幅広剥片を素材とし、先端部に抉入と、微細な調整加工を加えている。チャート製である。

85 (第114図) は錐形石器である。幅広剥片の側縁部を利用している。表裏面からそれぞれ連続的に調整し、突出した機能部を作出している。チャート製である。

86 (第114図) は楔形石器である。両極方向からの剥離面で構成されており、上端と下端には微細な潰れも認められる。黒曜石製である。

87 (第114図) は石刃である。単剥離面打面から剥離されており、比較的厚みのある資料である。石材はいわゆるチョコレート色の頁岩で、他に同質の石材が組成されていないことや接合資料との比較から、北関東あるいは東北南部との関連を想定できる搬入品と考えられる資料

である。

88・89（第114図）は部分加工剥片である。共に良質な黒曜石の剥片に調整を加えている。

90～93（第114図）はチャート製の部分加工剥片である。素材の形状が不定形な90には折面に明瞭な調整加工が観察できる。91～93は平坦打面から剥離された尖頭状の幅広剥片を素材としており、調整加工がやや微細であるのは素材形状を生かしたためと考えられる。

94（第115図）は石核である。背面に原礫面を残し、求心的に小型の剥片を剥離している。本調査区には少ない黒曜石が用いられている。

95（第115図）は石核である。90°の打面転移を行いながら縦長や幅広の剥片を剥離している。頁岩製である。

96（第115図）は石核である。大型の円礫を素材として横長の剥片を剥離している。ホルンフェルス製である。

97～99（第116図）は敲石である。棒状の円礫の端部に潰れが観察される。特に97は敲打痕が明瞭に残されている。97はホルンフェルス製、98・99は砂岩製である。

100（第116図）は台石である。扁平礫の表裏面が浅く凹んでおり、台石として利用されたものと考えられる。砂岩製である。

2. B区

B区から出土した石器は、ナイフ形石器6点（第117図101～106）、スクレイパー4点（第117図107～110）、部分加工剥片7点（第117・118図111～117）、石核6点（第118図118～120）、敲石2点（第118図121）、剥片85点、碎片3点、礫1,324点、計1,437点である。ツール17点、デビタージュ94点で、ツールの比率が15%となっている。

101（第117図）はナイフ形石器である。表面には大ぶりの急斜度調整、裏面には平坦剥離を施し両側縁を作り出している。基部にも微細な調整剥離が観察される。黒曜石製。

102（第117図）はナイフ形石器である。二側縁加工のナイフ形石器で、先端部をわずかに欠損している。素材には縦長の剥片を用いており、やや厚みがある。黒色頁岩製である。

103（第117図）はナイフ形石器である。横長の剥片を横位に用い、両側縁を裏面から連続的に調整し、基部を作出している。先端部は折面によって、尖鋭になっている。黒曜石製である。

104（第117図）はナイフ形石器である。複剥離面打面の稜上から剥離された横長剥片を素材としている。素材剥片を横位に用い、両側縁に急斜度の連続調整を施すことによって基部を作り出している。先端部は折面とそこからの平坦剥離面で構成されている。黒曜石製である。

105（第117図）はナイフ形石器である。大ぶりの急斜度調整を行っており、断面三角形を呈する。角錐状石器とも見られるが、先端部がそれほど尖鋭でなく、素材剥片の鋭利な刃縁を残

置しているため、ナイフ形石器と捉えた。黒曜石製である。

106 (第117図) はナイフ形石器である。広く打面を残す横長剥片を横位に用いて基部を作り出している。非常に薄く、小型であり、他のナイフ形石器と機能を異にする可能性もあるが、製作技術からナイフ形石器とした。黒曜石製である。

107 (第117図) はスクレイパーである。背面構成から連続的に剥離された石刃を素材として見られる。器体の全周をめぐるように角度の浅い調整加工が施され、器形を作り出している。先端部には原礫面が一部残されており、その周囲の調整加工が他に比して粗雑で、一部はじけ割れを起こしていると思われること、また、平面的に斜刃となっていることから、一部に再生加工が為された可能性も考えられる。このような加工を全周に施すスクレイパーはIV層下部の周辺遺跡においても確認されておらず、注目される資料である。緑色凝灰岩製である。

108 (第117図) はスクレイパーである。原礫面を打面とする幅広剥片を素材としている。左側縁には抉入状の大ぶりの調整がなされ、その周囲に微細な剥離痕が観察できるため、ノッチとみることもできるが、素材端部に施された連続調整加工の様子からスクレイパーとした。黒曜石製である。

109 (第117図) はスクレイパーである。非常に小型であるが、連続的な調整加工によってスクレイピングエッジを作り出しており、大部分を折損していると考えられる。黒曜石製である。

110 (第117図) はスクレイパーである。剥片素材の石核を素材としており、平坦な腹面から調整を加え、機能部を作出している。黒曜石製である。

111～114・116 (第117・118図) は部分加工剥片である。剥片の一部に調整加工が観察される。これらは全て黒曜石製であるが、産地を異にするものと見られる。

115 (第118図) は部分加工剥片である。単剥離面打面から剥離された大型の幅広剥片の側縁に調整加工を加えている。緑色凝灰岩製である。

117 (第118図) は部分加工剥片である。横長の剥片が折損しているものと考えられるが、端部に調整剥離が観察される。チャート製である。

118 (第118図) は石核である。打面調整を施し、同一方向に連続的に剥片が剥離されている。縦長の剥片を作出していたが、最終的に寸詰まりの剥片が剥離されて、廃棄されたものと考えられる。チャート製で、原礫面の残存状況から比較的大きな円礫が素材であったと見られる。

119 (第118図) は石核である。黒曜石の小型の亜角礫を素材としており、小型の剥片を剥離している。90°の打面転移ののち、単剥離面打面から連続的に剥離を行ったものと見られる。

120 (第118図) は石核である。打面転移を繰り返し、不定形剥片を剥離したものと見られる。黒曜石製であるが、原礫面を残していないことから、119 (第118図) の石核に比して、大きな素材であったと見られる。

121 (第118図) は敲石である。小型のホルンフェルスの棒状礫を素材としており、両端には器軸方向の剥落や敲打痕が観察される。

3. C区

C区から出土した石器は、剥片1点(第119図122)、礫3点、計4点のみであった。

122 (第119図) は剥片である。やや厚みのある不定形の資料で、チャート製である。

4. D区

D区から出土した石器は、ナイフ形石器1点(第119図123)、部分加工剥片3点(第119図124～126)、石核1点(第119図127)、剥片19点(第119図128)、碎片4点、礫309点、計337点である。ツール4点、デビタージュ24点で、ツールの比率が14%となっている。D区から出土した黒曜石は白色の節状構造が発達するものである。

123 (第119図) はナイフ形石器と考えられる。小型で薄い剥片の両側縁に腹面から連続的な調整加工がなされている。素材剥片のねじれが強くなる先端部においては、背面からの調整が見られる。黒曜石製である。

124 (第119図) は部分加工剥片である。側縁に調整加工が見られる。また、両端には両極方向からの微細な剥離痕も観察することができ、楔形石器ととらえることも可能である。黒曜石の小型剥片を素材に用いている。

125 (第119図) は部分加工剥片である。側面は折損している。連続的な調整加工や微細な剥離痕が素材の各所に観察できる。チャート製である。

126 (第119図) は部分加工剥片である。非常に小型の横長の剥片に調整加工がなされているが、折損している。黒曜石製である。

127・128 (第119図) は、同一母岩と考えられるチャートの石核と剥片である。両者は接合しないものの、小型の円礫を素材とし、剥離によって打面を作り、そこから打面調整を行わずに打面転移を繰り返して小型の剥片を剥離している。接合関係の得られていないD区での剥片剥離技術を示す資料と考えられる。

5. F区

F区から出土した石器は、ナイフ形石器1点(第119図129)、錐形石器1点(第119図130)、部分加工剥片1点(第119図131)、石核4点(第119図132)、剥片21点(第119図133・134)、碎片1点、礫45点、計74点である。ツール3点、デビタージュ26点で、ツールの比率が10%となっている。F区から出土したツールは全て漆黒色で粒類の含まれる黒曜石が素材に用い

られている。

129 (第119図) はナイフ形石器である。二側縁加工のナイフ形石器であるが、右側縁基部の調整は非常に微細である。打面を大きく残しており、作業面調整を行った平坦打面から剥離された小型の縦長剥片を素材としている。黒曜石製である。

130 (第119図) は錐形石器である。連続的な調整剥離によって機能部を作出している。背面に原礫面を大きく残す小型の石核を素材としているため、非常に甲高な資料である。黒曜石製。

131 (第119図) は部分加工剥片である。厚みのある縦長剥片を素材としており、打面は除去されている。腹面の側縁と先端部に調整加工を加えている資料である。黒曜石製である。

132 (第119図) は石核である。小型の剥片を剥離した石核で、130 (第119図) の錐形石器の素材と同一の技術基盤にあると考えられる。黒曜石製である。

133・134 (第119図) は剥片である。133は黒曜石製で、両端を折損しており、比較的大型の剥片が組成される可能性を示す資料である。134はチャート製で、背面に原礫面を多く残しており、遺跡内で剥離された剥片の平均的な資料と考えられる。

(3) 接合資料

1. A区

接合資料55 (第93・120図) はチャートである。2号ブロックから検出された。こぶし大の円礫をa・bで大きく割り、小型の剥片c・dを剥離している。節理構造が発達しているが、cは部分的に加工を施しており (第114図92)、cのような剥片が、本調査で行われた剥片剥離作業において目的を満たす剥片であったと考えられる。

接合資料59 (第93・121図) はチャートである。2号ブロックから出土した。aののちb・cが連続して剥離された縦長剥片で、b・cは中央部から折り、基部側のbを加工してスクレイパーとしている (第113図81)。

接合資料63 (第94・122図) は安山岩である。3号ブロックから検出された。大型の皿円礫からa~dの大型の剥片を剥離し、作業面を作出している。そして、平坦な原礫面からe・fの縦長の剥片を連続的に剥離している。fは打面と末端部に原礫面を残しており、素材となった礫の厚さによって剥片の長さが規定されている。石核は残されていなかった。接合状態から、素材の大半をa~dの剥離によって失っており、廃棄率の高い個体である。

接合資料64 (第94・121図) は頁岩である。2号ブロックから検出された。縦長の剥片を90度打面転移させながら剥離している。a・bは同一の単剥離の平坦打面から剥離されているが、作業面が原礫面であるため、頭部調整や作業面調整が行われていない。cは、bの後に数回の打面転移を行い、相当数の剥片を介在すると思われる。cには頭部調整がなされているが打面は

平坦な単剥離面打面である。

接合資料68（第94・123図）は黒曜石である。3号ブロックから出土した。石材は良質で透明度の高いものであるが、非常に小型で、剥片素材の石核と考えられる。素材端部に見られる調整は、bを剥離するための作業面調整と考えられる。

2. B区

接合資料70（第97・123図）は黒曜石である。11号ブロックから出土した。気泡の多い粗質の石材である。aの打面部は残置していないものの、同一の打面から連続して剥離されたと考えられる縦長剥片の接合である。

接合資料71（第96・123図）は黒曜石である。8号ブロックから出土した。石材は良質で透明度の高いものであるが、小型の亜角礫を素材としており、原礫面から小型の横長の剥片を剥離したと見られる。石材の観察からも推測されることだが、本文化層から出土した主要なトゥールあるいは黒曜石製の剥片類は3cm弱のものがほとんどであるのに対して、この接合資料は長さ4.9cmと5.8cmの石刃が接合しているため、原石の採取地や搬入経路が他の黒曜石資料とは異なると思われる。

3. F区

接合資料74（第95・123図）は安山岩である。5号ブロックから出土した。同一打面から剥離された寸詰まりの剥片の接合資料と考えられるが、aの打面部は欠損しているため断定は出来ない。aの背面に残る原礫面は非常に平坦である。

接合資料75（第95・123図）は安山岩である。5号ブロックから検出された。平坦な原礫面を打面とし、そこから非常に小型の不定形剥片を剥離している資料である。

表 16 第 3 文化層 母岩別器種一覧表

母岩	器種	ナイフ	多岐片	錐形	ノッチ	部分加工	鋸歯縁	石核	剥片	砕片	合計
Ch-1		1				2		3	78		85
Ch-2									7		7
Ch-3								1	7		8
Ch-4					1	1			8		10
Ch-6								1	2		3
Ch-7									10		10
Ch-8								1	1		2
Ch-9							1	1	3		5
Ch-10		1							11		12
Ch-11						1	1		1		3
Ch-12			1	1				3			5
Ch-16						1			3		4
Ch-18								1	1		2
Ch-19									3		3
Ob-1									2		2
Ob-2								1	2		3
Ob-3									3		3
Ob-4									2		2
Ob-5									2		2
Ob-6									5		5
Ob-7			2					2	17	1	22
Ob-8		2				1			6		9
Ob-9			1						3		4
Ob-10		1				1			5		7
Ob-11									5	3	8
Ob-12									2		2
An-1								3	7		10
An-2								1	2		3
An-3									2		2
An-4								1	2		3
An-5									2		2
An-6								1	1		2
Sh-1									2		2
Sh-2									4		4
Sh-3								1	4		5
Sh-4									3		3
HSh-4									2		2
GTu-1						1			1		2
Sa-7								1	2		3
合計		5	5	1	1	8	2	22	223	4	271

表 17 第 3 文化層 母岩別器種一覧表
(1号ブロック)

母岩	器種	ナイフ	多岐片	錐形	ノッチ	部分加工	鋸歯縁	石核	剥片	砕片	合計
Ch-1									2		2
Ob-2								1	1		2
Ob-3									1		1
Ob-4									1		1
合計								1	5		6

表 18 第 3 文化層 母岩別器種一覧表
(2号ブロック)

母岩	器種	ナイフ	多岐片	錐形	ノッチ	部分加工	鋸歯縁	石核	剥片	砕片	合計
Ch-1		1	1			2		3	76		83
Ch-2									7		7
Ch-3								1	6		7
Ch-4					1	1			8		10
Ch-5								1	2		3
Ch-7									10		10
Ch-8								1	1		2
Ch-10		1							4		5
Ch-11							1				1
Ob-2									1		1
An-1									2		2
Sh-3								1	9		10
Sh-4									3		3
合計		2	1		1	3	1	7	129		144

表 19 第 3 文化層 母岩別器種一覧表
(3号ブロック)

母岩	器種	ナイフ	多岐片	錐形	ノッチ	部分加工	鋸歯縁	石核	剥片	砕片	合計
Ch-9								1	3		4
Ch-10									7		7
Ch-11						1					1
Ob-1									2		2
An-1								3	5		8
An-2								1	2		3
Sh-1									2		2
Sh-2									4		4
Sa-1								1	2		3
合計						1		6	27		34

表 20 第 3 文化層 母岩別器種一覧表
(4号ブロック)

母岩	器種	ナイフ	多岐片	錐形	ノッチ	部分加工	鋸歯縁	石核	剥片	砕片	合計
Ch-3									1		1
Ch-12			1	1				3			5
Ob-4									1		1
合計			1	1				3	2		7

表21 第3文化層 母岩別器種一覧表
(5号ブロック)

母岩	器種	ナイフ	多 刃 ス キ ヤ ー	錐 形	ノ ツ チ	部 分 加 工	鋸 歯 縁	石 核	剥 片	砕 片	合 計
Ch-19									3	3	
Ob-12									2	2	
An-4								1	2	3	
An-5									2	2	
An-6								1	1	2	
合計								2	10	12	

表22 第3文化層 母岩別器種一覧表
(6号ブロック)

母岩	器種	ナイフ	多 刃 ス キ ヤ ー	錐 形	ノ ツ チ	部 分 加 工	鋸 歯 縁	石 核	剥 片	砕 片	合 計
Ob-8		1							2	3	
Ob-9									1	1	
合計		1							3	4	

表23 第3文化層 母岩別器種一覧表
(7号ブロック)

母岩	器種	ナイフ	多 刃 ス キ ヤ ー	錐 形	ノ ツ チ	部 分 加 工	鋸 歯 縁	石 核	剥 片	砕 片	合 計
Ob-9			1						1	2	
Ob-10						1			1	2	
合計			1			1			2	4	

表24 第3文化層 母岩別器種一覧表
(8号ブロック)

母岩	器種	ナイフ	多 刃 ス キ ヤ ー	錐 形	ノ ツ チ	部 分 加 工	鋸 歯 縁	石 核	剥 片	砕 片	合 計
Ob-6									5	5	
Ob-10									2	2	
合計									7	7	

表25 第3文化層 母岩別器種一覧表
(9号ブロック)

母岩	器種	ナイフ	多 刃 ス キ ヤ ー	錐 形	ノ ツ チ	部 分 加 工	鋸 歯 縁	石 核	剥 片	砕 片	合 計
Ob-8						1				1	
Ob-9									1	1	
An-3									2	2	
BSh-4									2	2	
Gtu-1									1	1	
合計						1			6	7	

表26 第3文化層 母岩別器種一覧表
(10号ブロック)

母岩	器種	ナイフ	多 刃 ス キ ヤ ー	錐 形	ノ ツ チ	部 分 加 工	鋸 歯 縁	石 核	剥 片	砕 片	合 計
Ch-16						1				1	
Ob-7								1		1	
Ob-8								2		2	
Gtu-1						1				1	
合計						2		3		5	

表27 第3文化層 母岩別器種一覧表
(11号ブロック)

母岩	器種	ナイフ	多 刃 ス キ ヤ ー	錐 形	ノ ツ チ	部 分 加 工	鋸 歯 縁	石 核	剥 片	砕 片	合 計
Ch-16									2	2	
Ob-5									2	2	
Ob-7			1					1	17	1	20
合計			1					1	21	1	24

表28 第3文化層 母岩別器種一覧表
(12号ブロック)

母岩	器種	ナイフ	多 刃 ス キ ヤ ー	錐 形	ノ ツ チ	部 分 加 工	鋸 歯 縁	石 核	剥 片	砕 片	合 計
Ob-7			1							1	
Ob-8		1								1	
Ob-10		1							2	3	
合計		2	1						2	5	

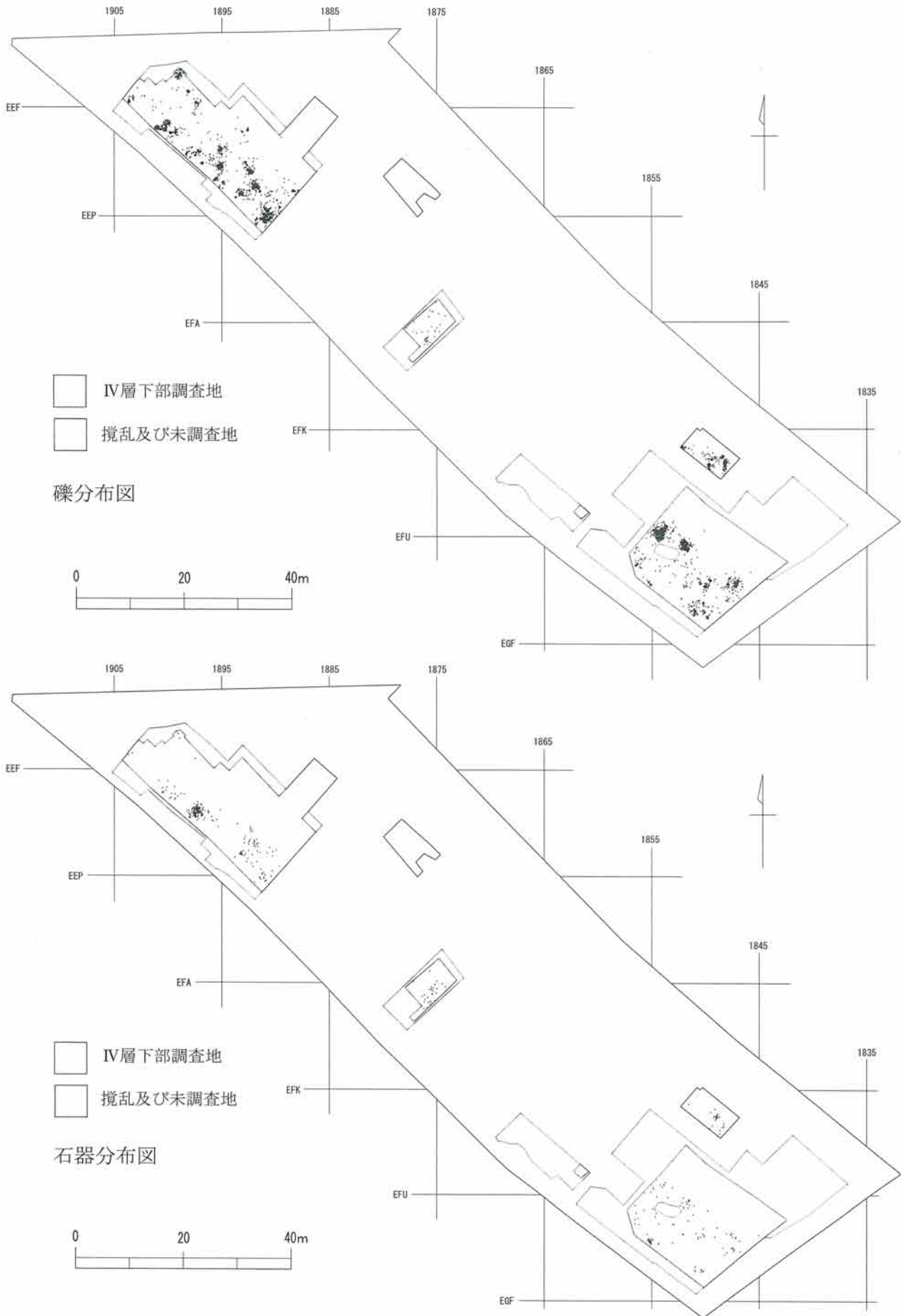
表29 第3文化層 母岩別器種一覧表
(13号ブロック)

母岩	器種	ナイフ	多 刃 ス キ ヤ ー	錐 形	ノ ツ チ	部 分 加 工	鋸 歯 縁	石 核	剥 片	砕 片	合 計
Ch-18								1		1	
Ob-11									5	3	8
合計								1	5	3	9

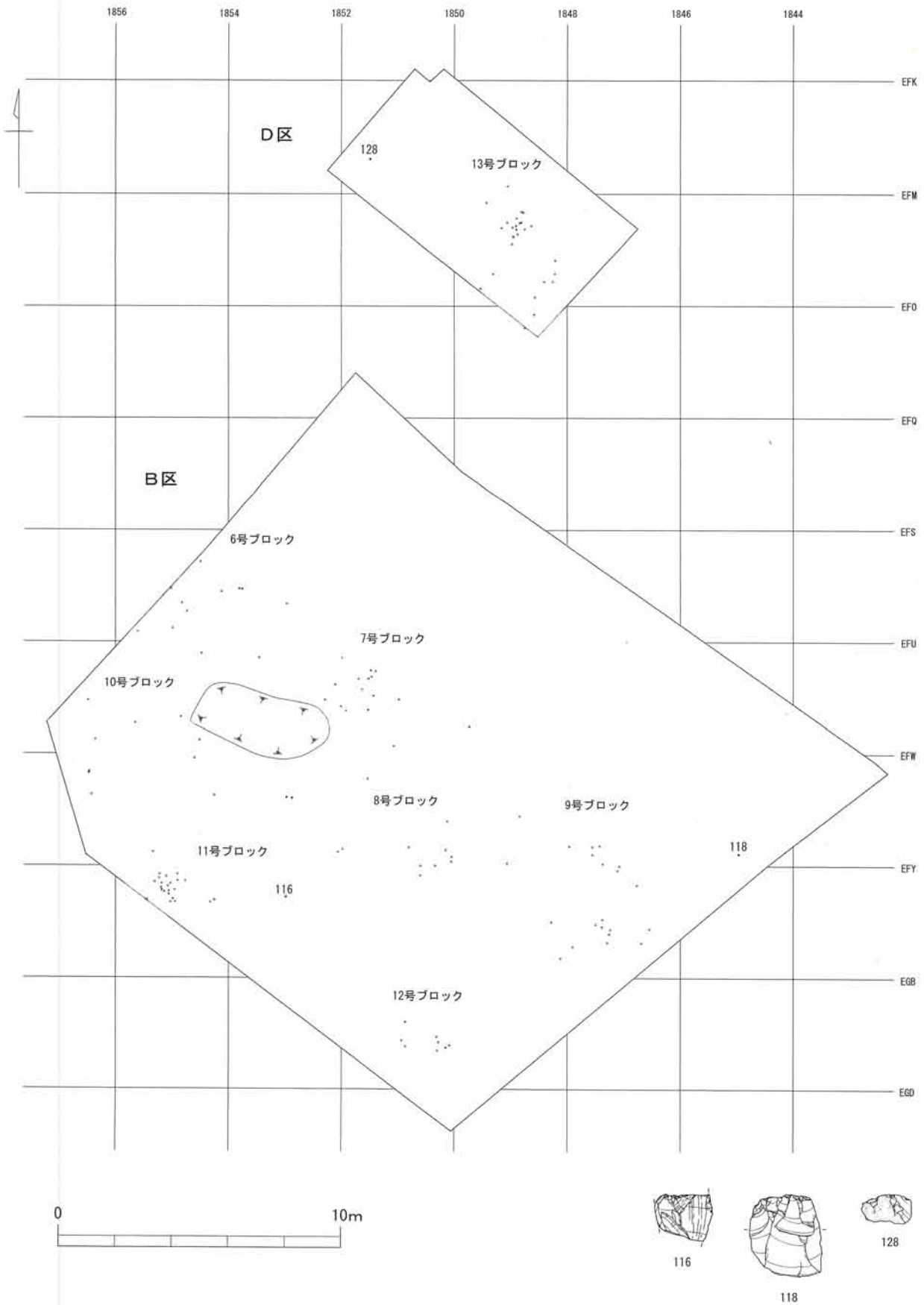
表30 第3文化層 母岩別器種一覧表(ブロック外)

母岩	器種	発掘区	ナイフ	多 刃 ス キ ヤ ー	錐 形	ノ ツ チ	部 分 加 工	鋸 歯 縁	石 核	剥 片	砕 片	合 計
Ch-9		A						1			1	
Ch-11		A								1	1	
Ch-16		B								1	1	
Ch-18		D								1	1	
Ob-3		A								1	1	
Ob-8		B								2	2	
合計								1		6	7	

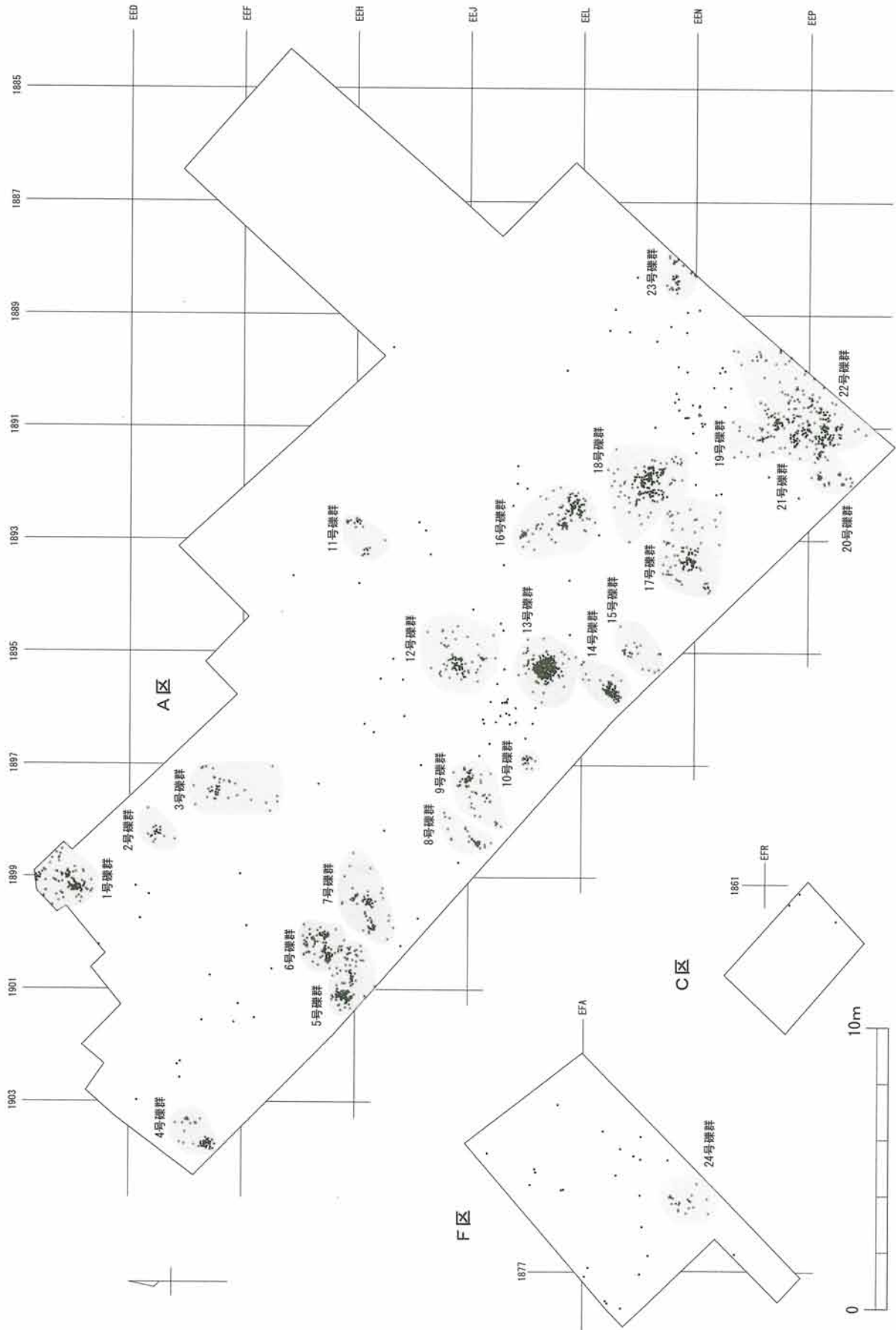
第三章 旧石器時代の調査



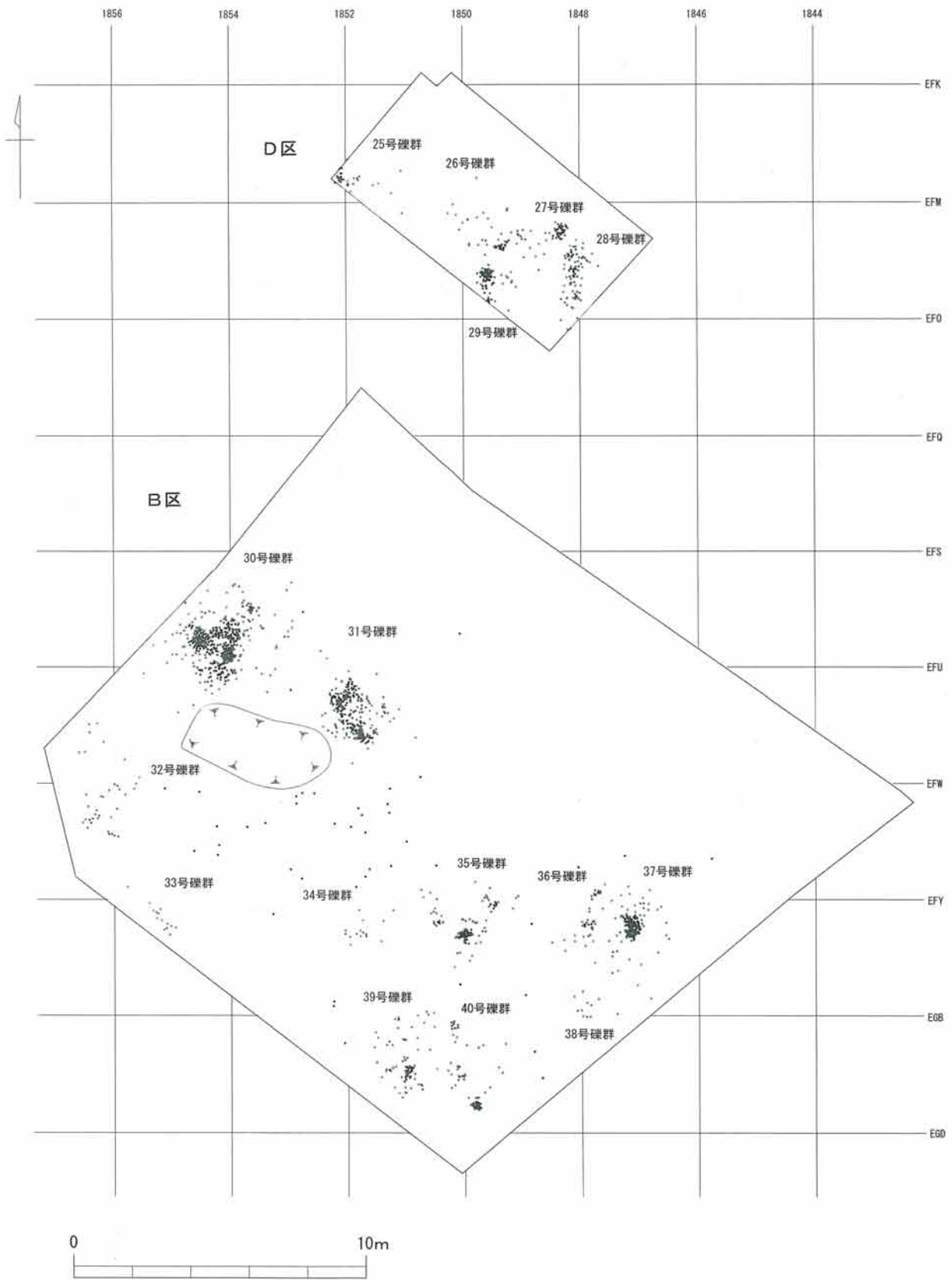
第81図 第3文化層 礫・石器分布図



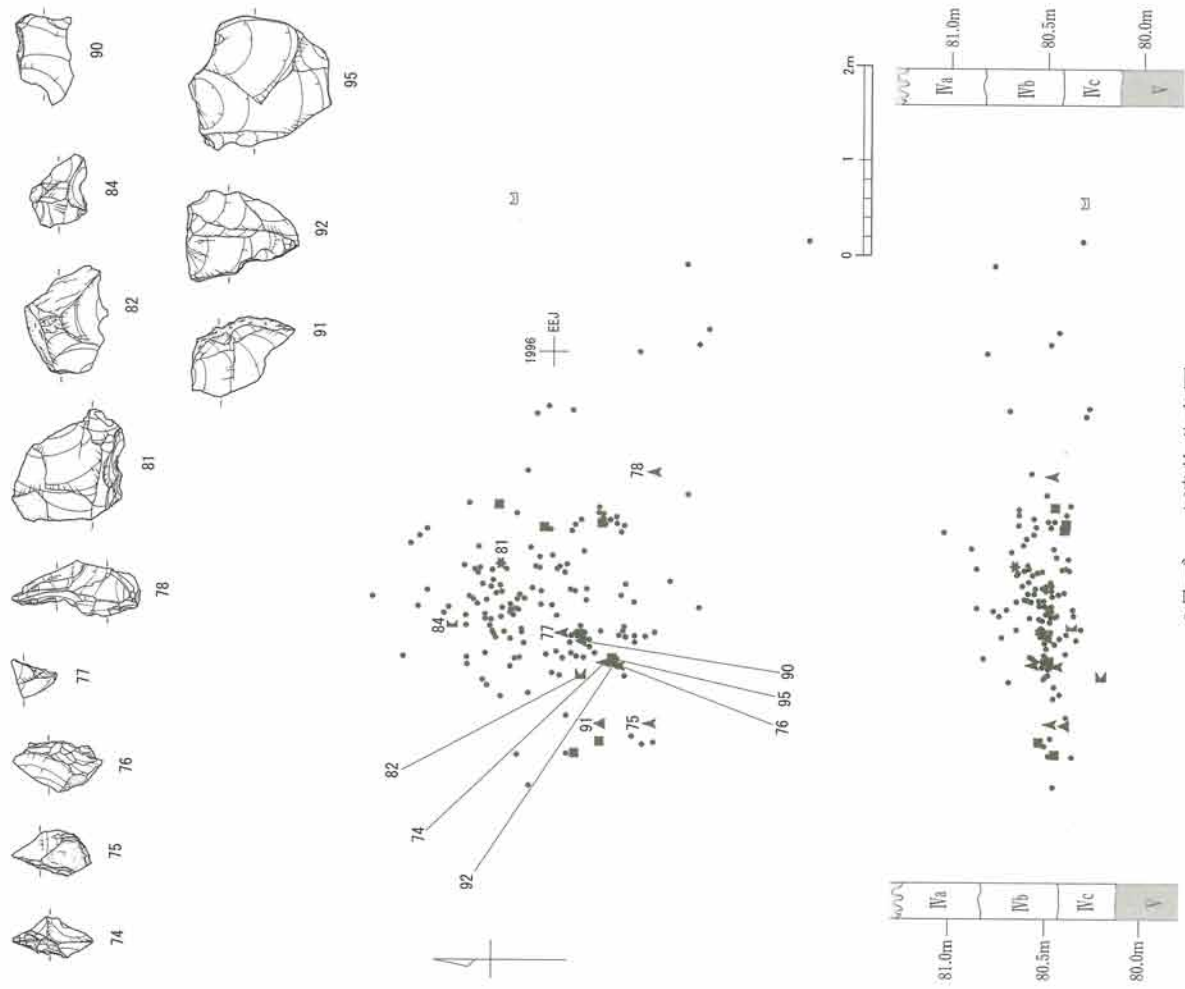
第83図 第3文化層 B・D区 ブロック概念図



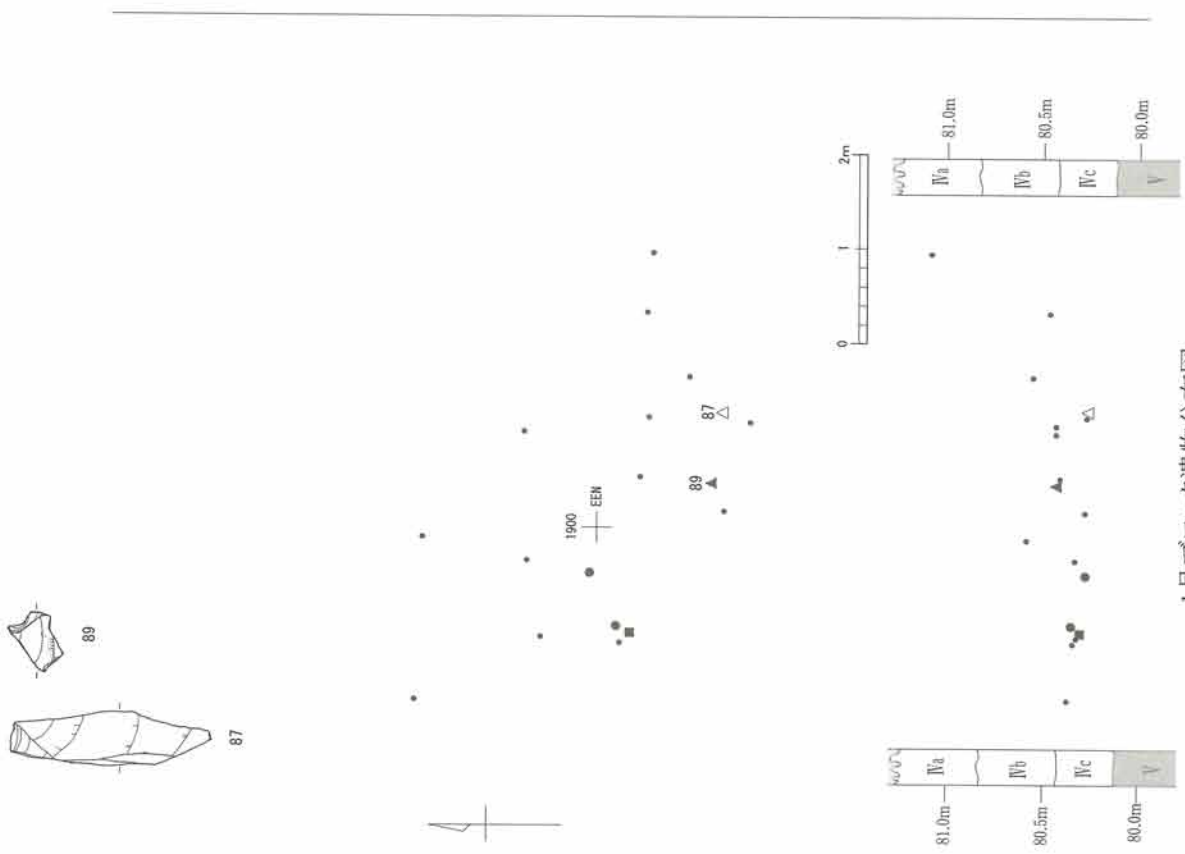
第84図 第3文化層 A・C・F区 礫群概念図



第85図 第3文化層 B・D区 礫群概念図

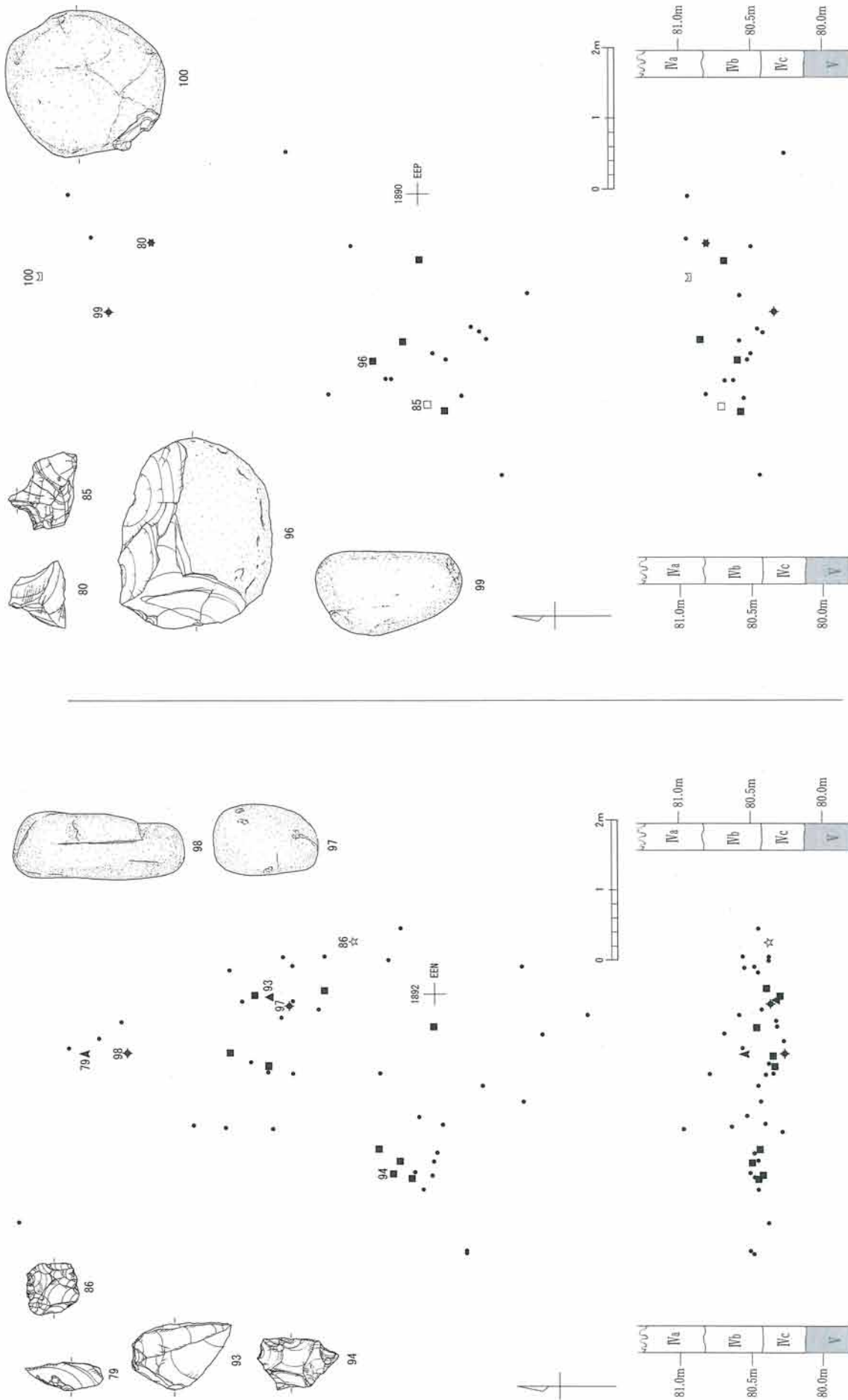


2号ブロック遺物分布図



1号ブロック遺物分布図

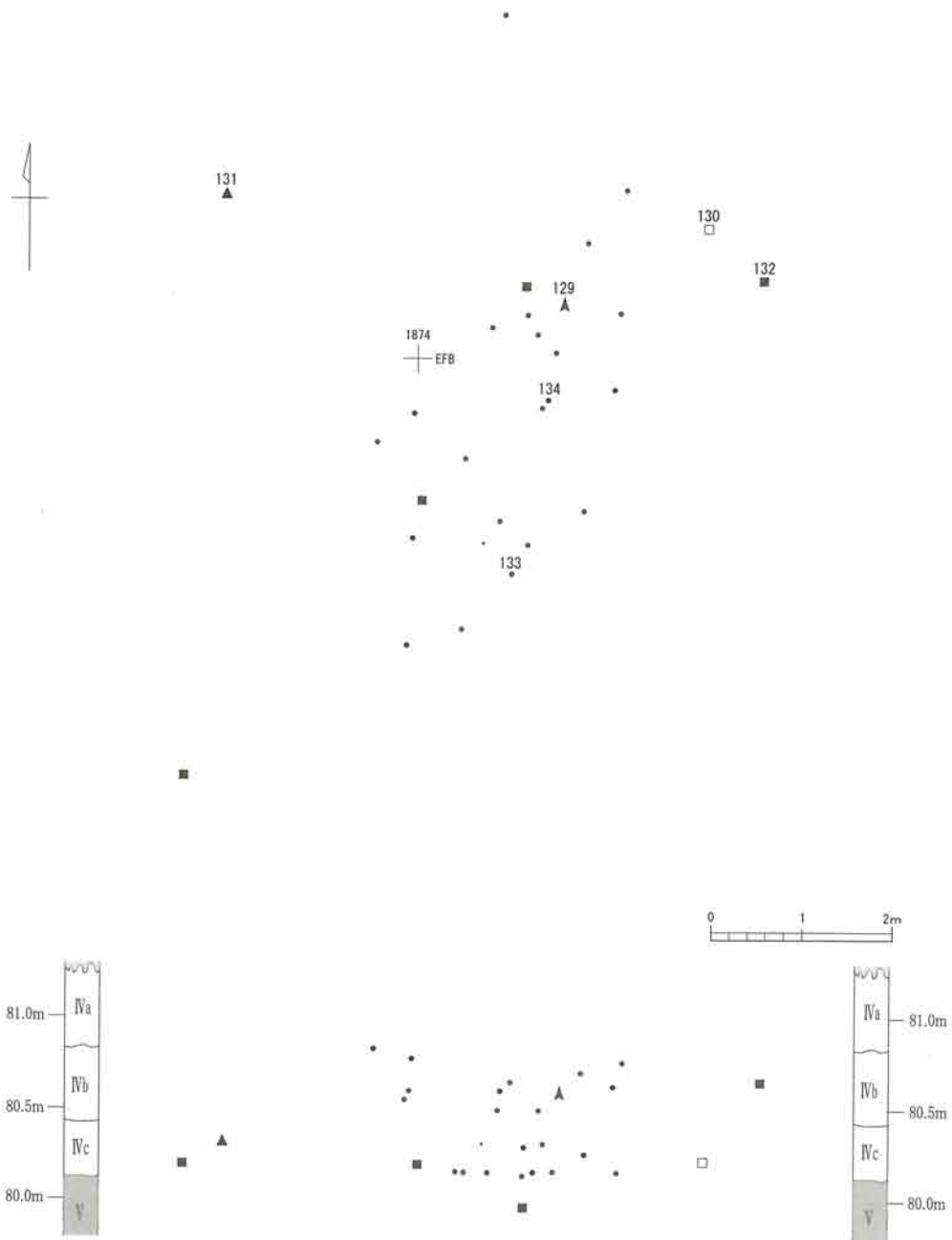
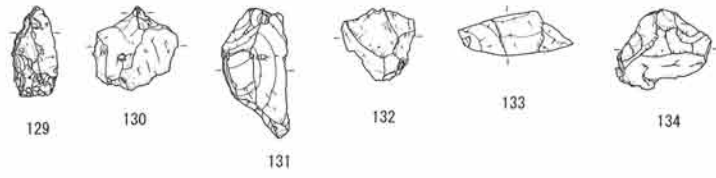
第86図 第3文化層 ブロック別遺物分布図 (1)



4号ブロック遺物分布図

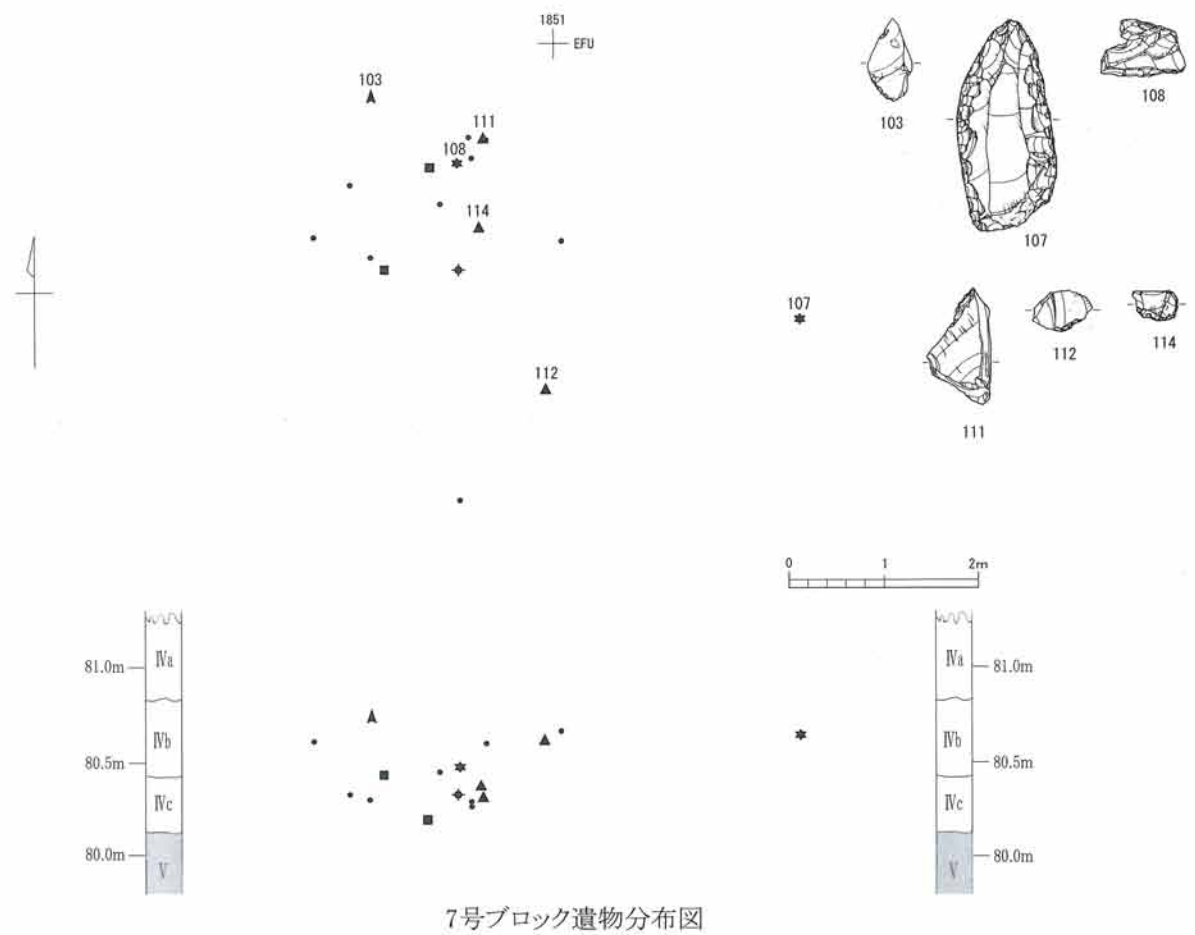
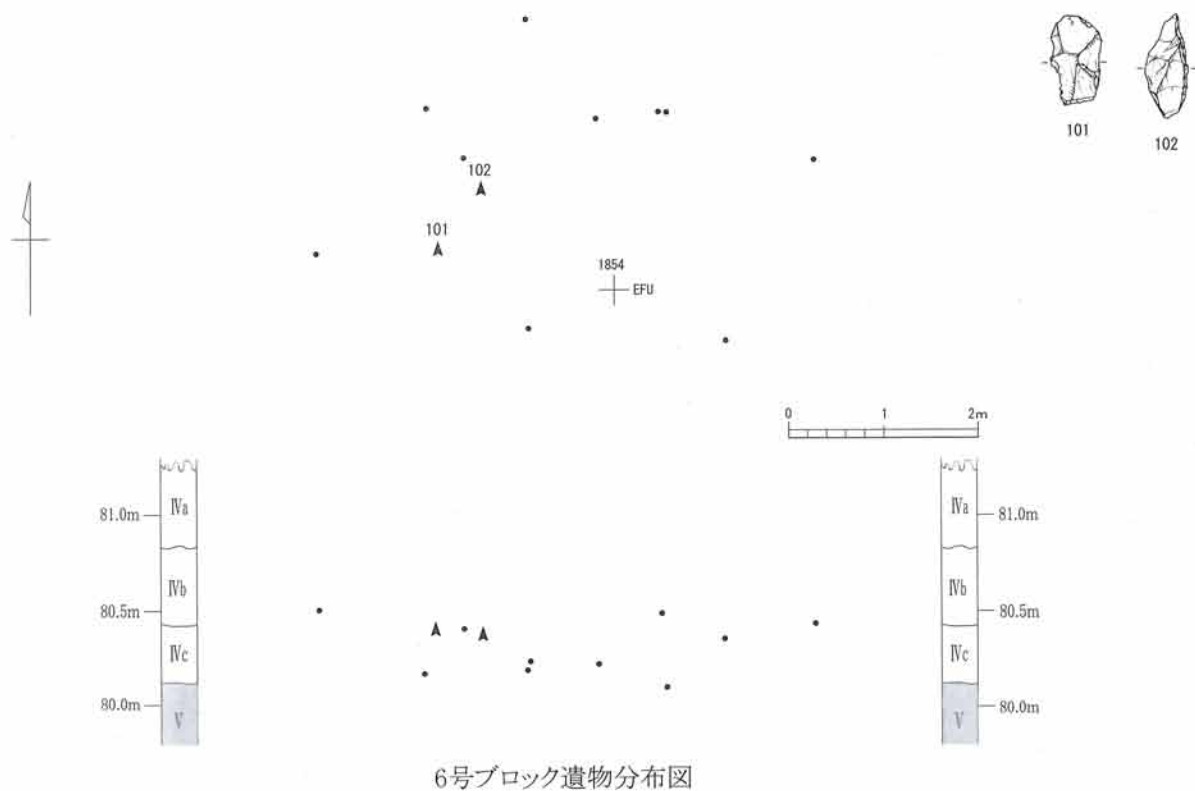
3号ブロック遺物分布図

第87図 第3文化層 ブロック別遺物分布図 (2)

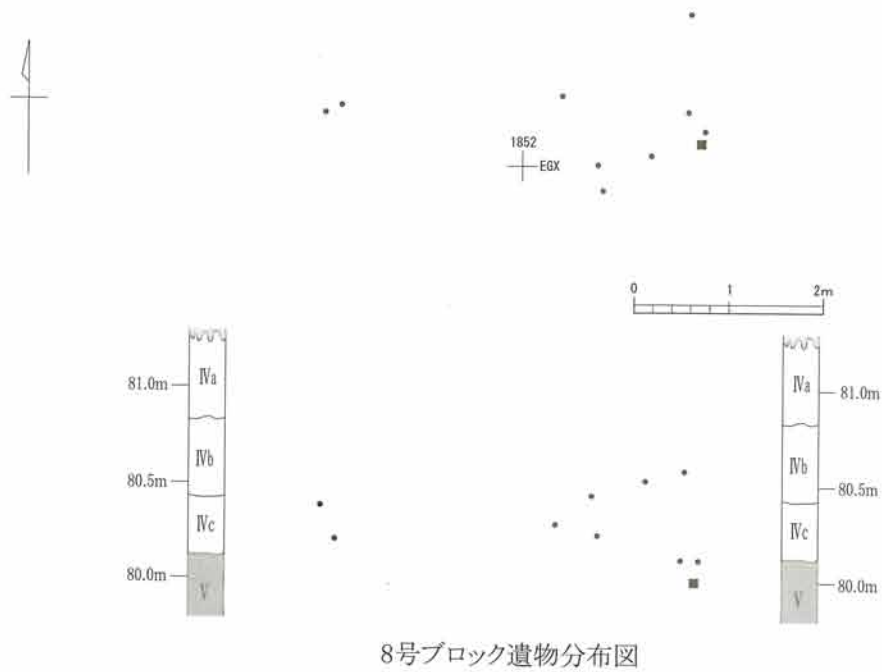


5号ブロック遺物分布図

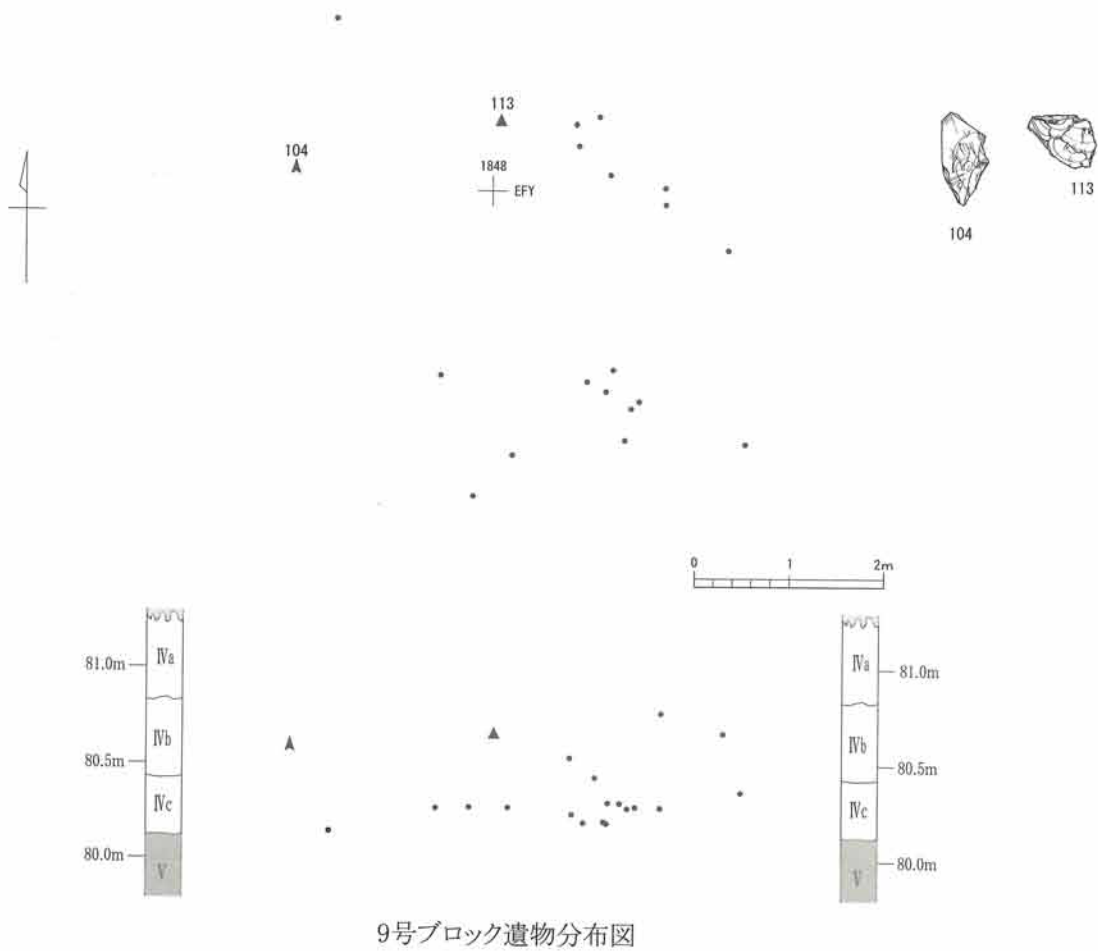
第88図 第3文化層 ブロック別遺物分布図 (3)



第89図 第3文化層 ブロック別遺物分布図 (4)

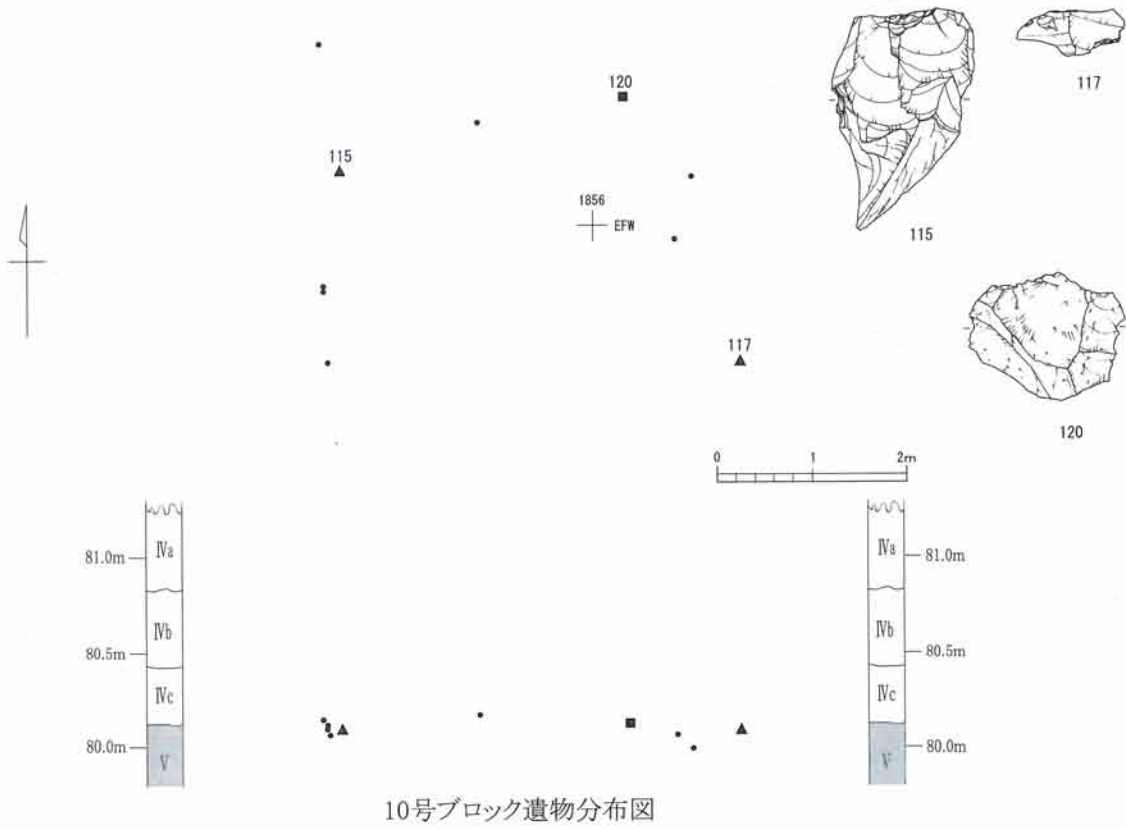


8号ブロック遺物分布図

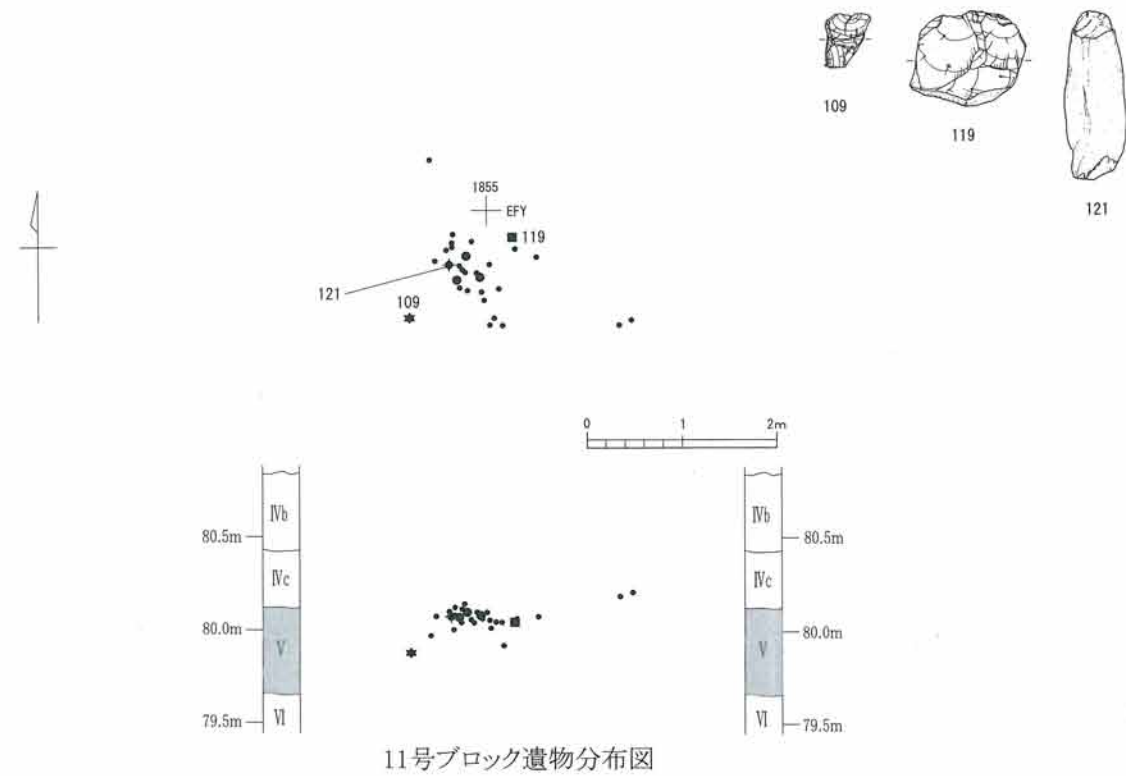


9号ブロック遺物分布図

第90図 第3文化層 ブロック別遺物分布図 (5)

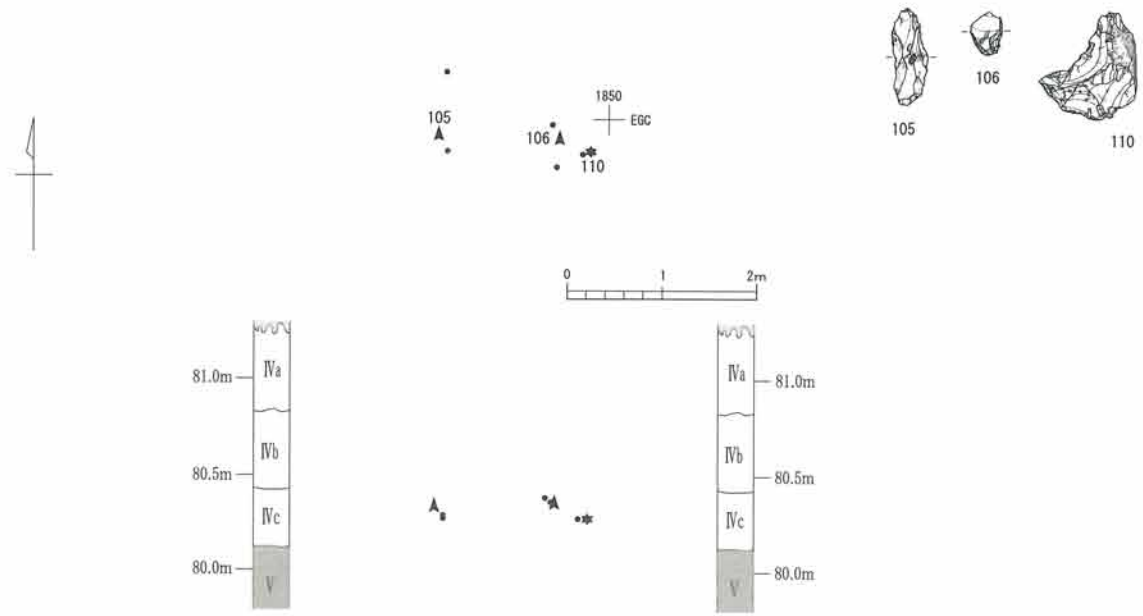


10号ブロック遺物分布図

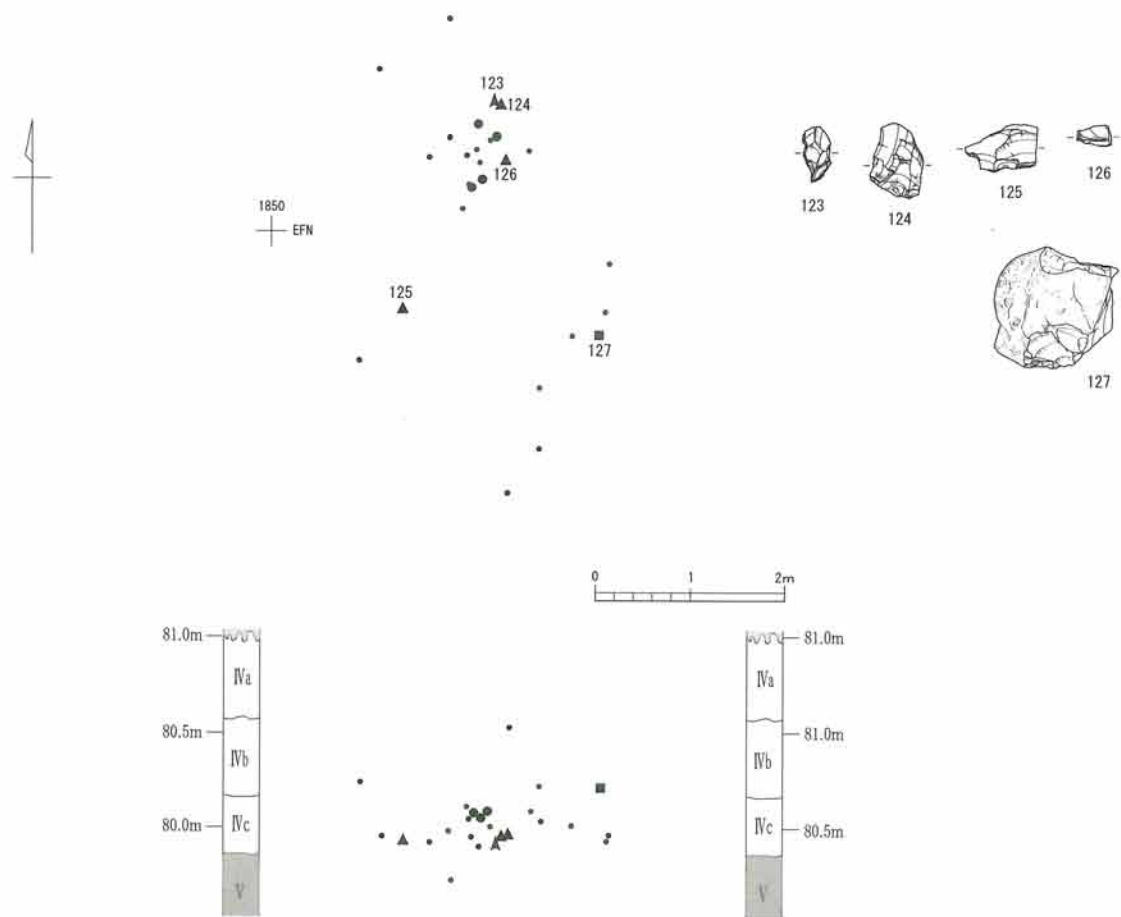


11号ブロック遺物分布図

第91図 第3文化層 ブロック別遺物分布図 (6)

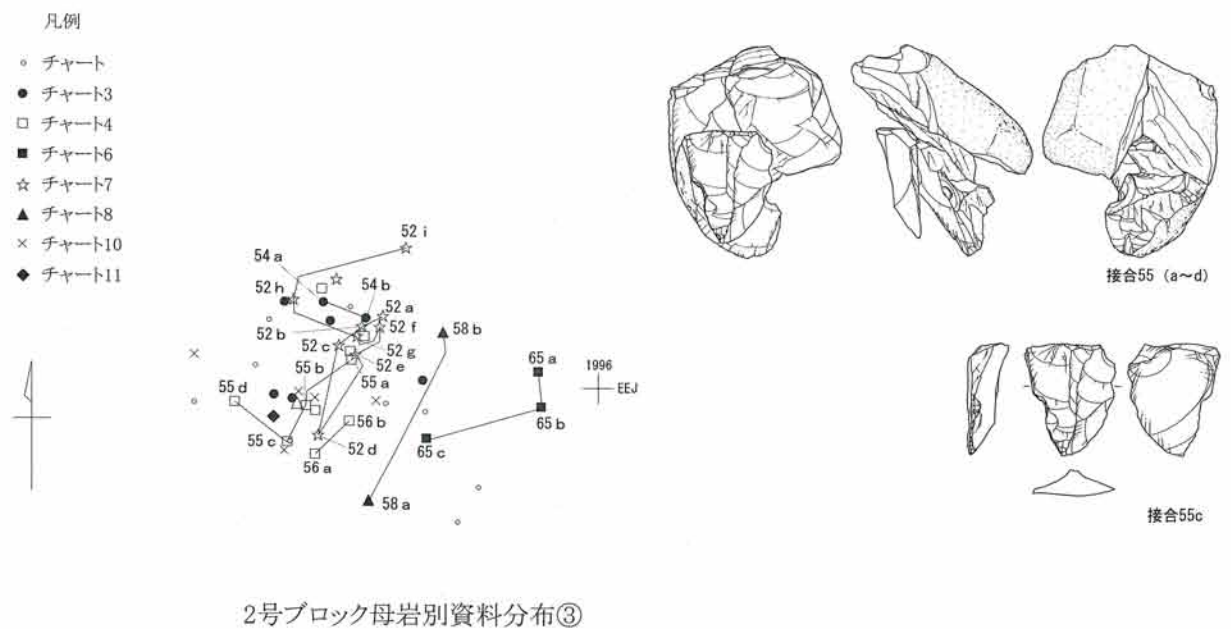
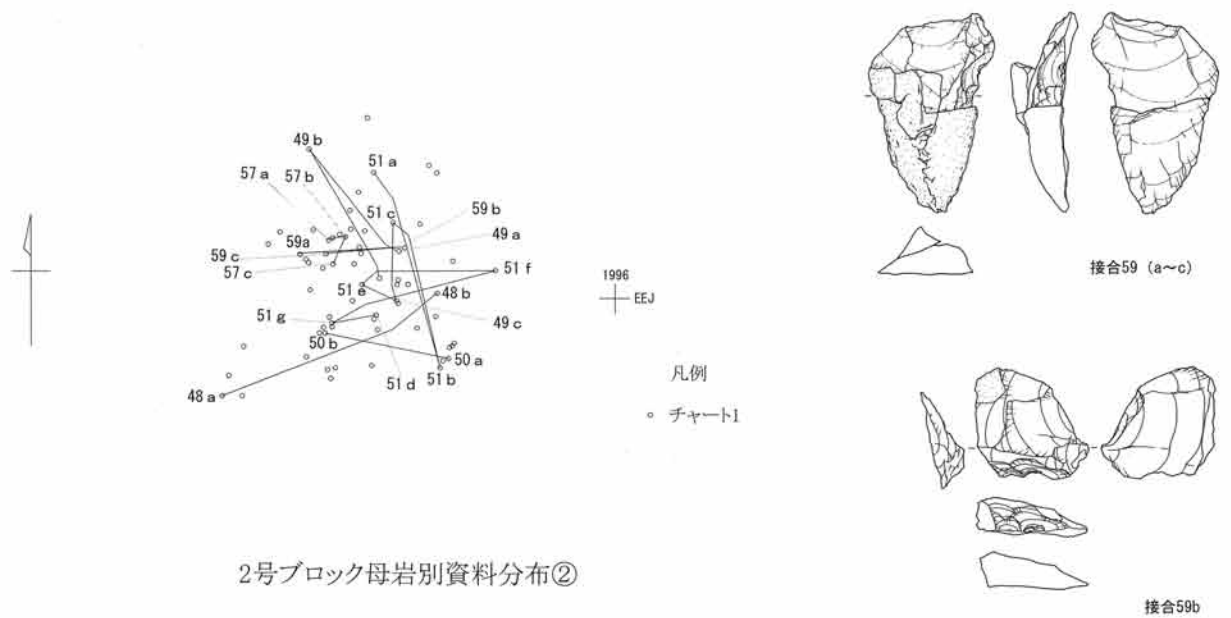
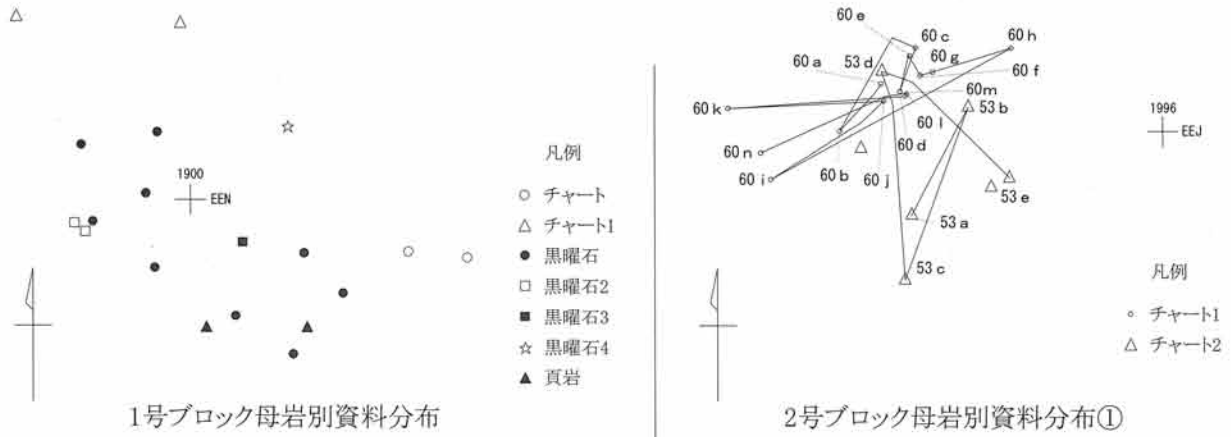


12号ブロック遺物分布図

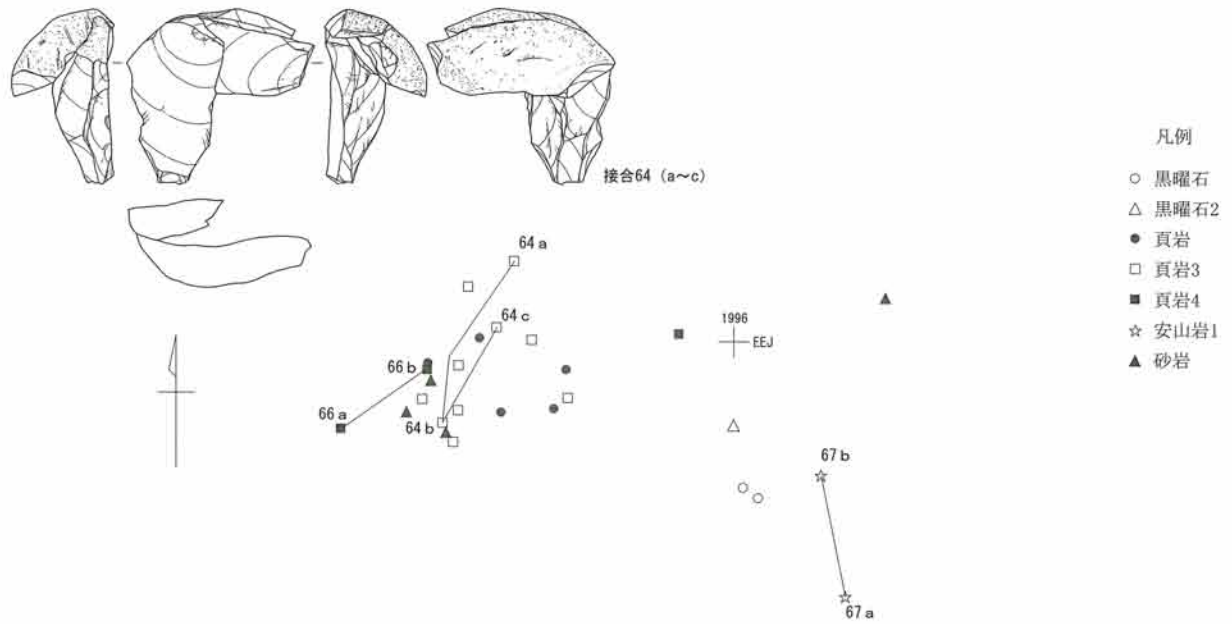


13号ブロック遺物分布図

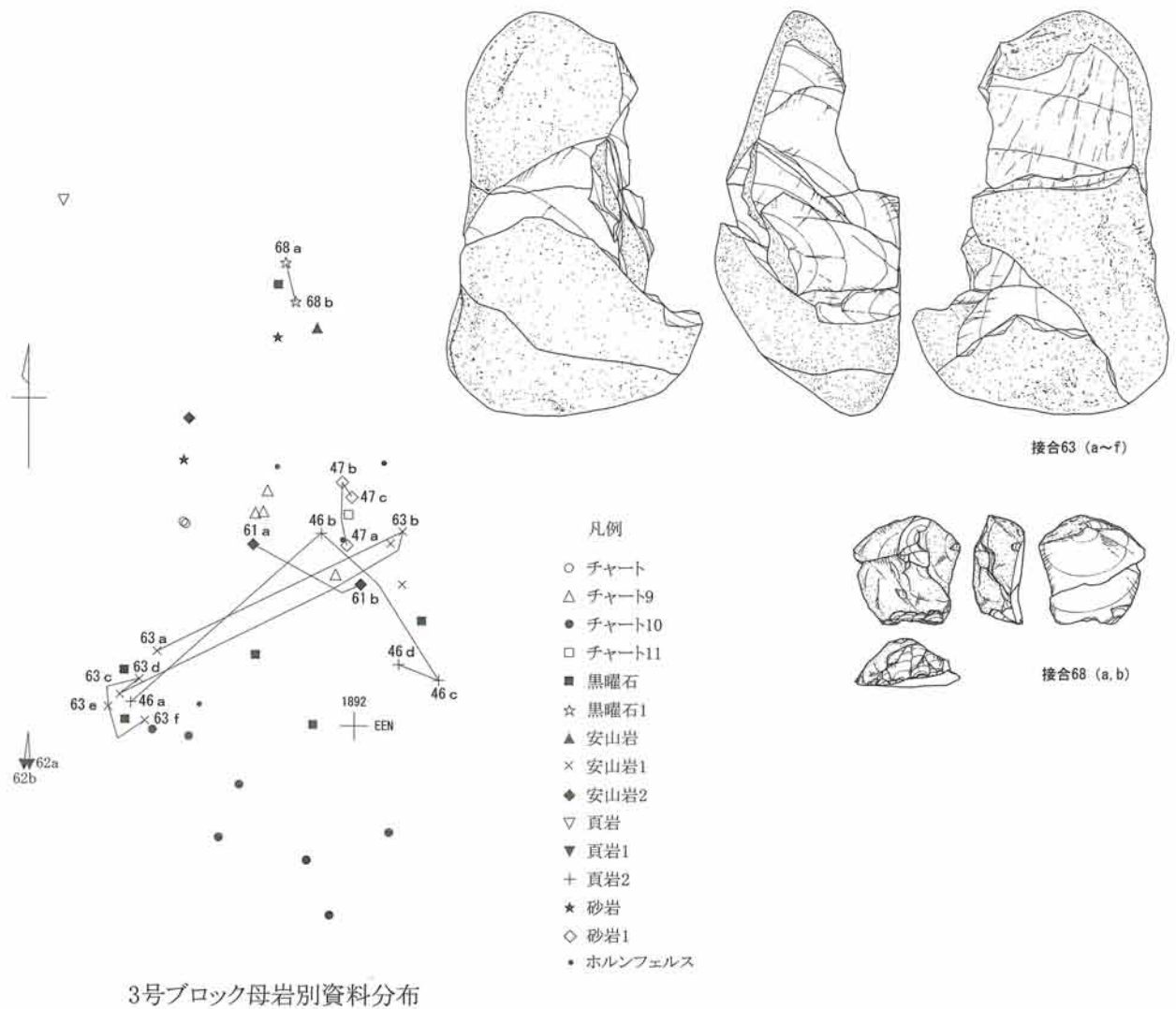
第92図 第3文化層 ブロック別遺物分布図 (7)



第93図 第3文化層 母岩別資料分布図 (1)

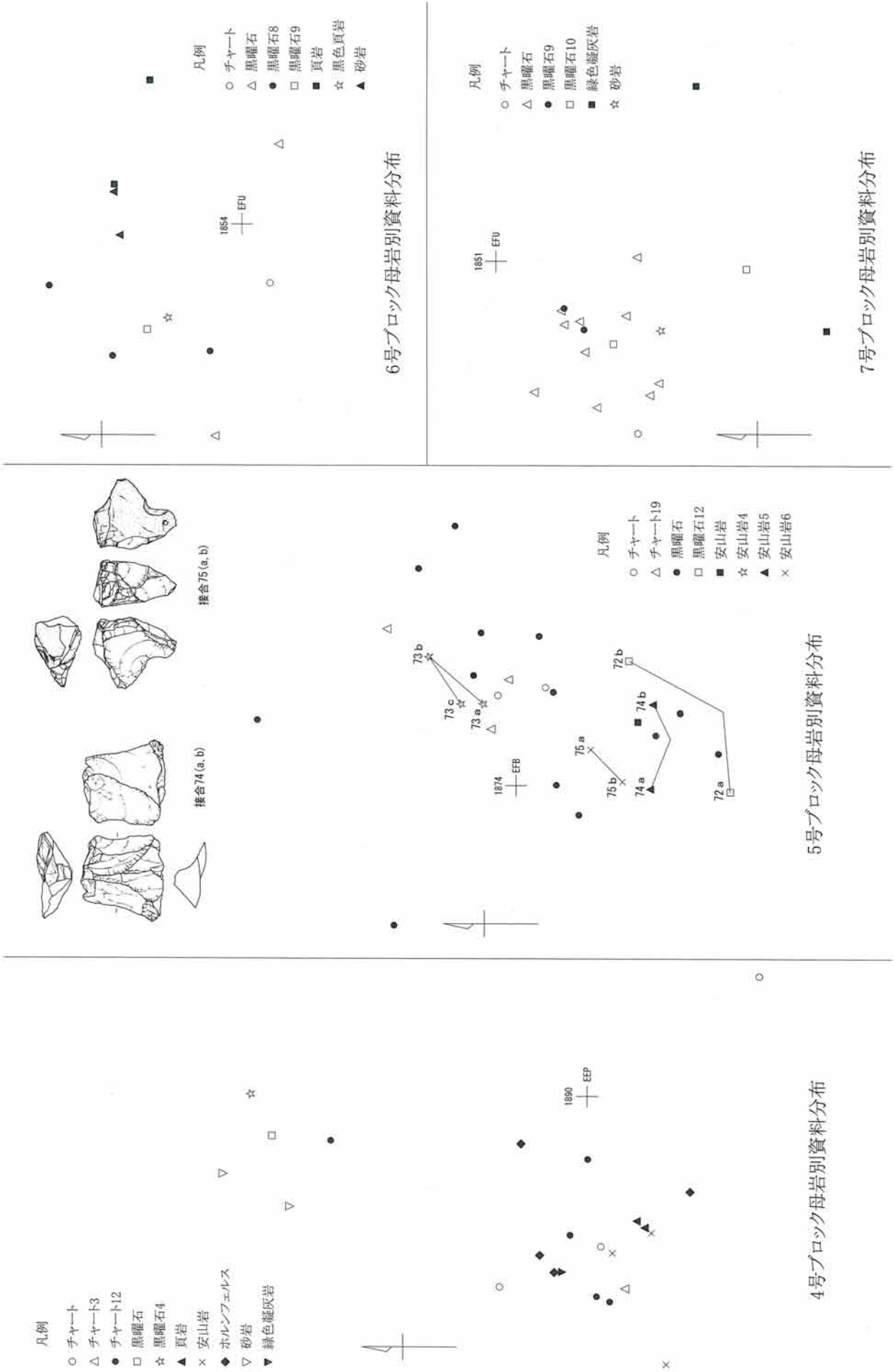


2号ブロック母岩別資料分布④

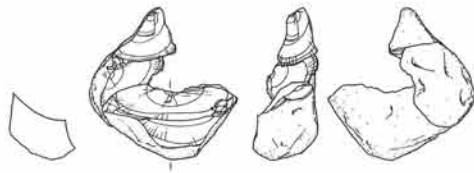


3号ブロック母岩別資料分布

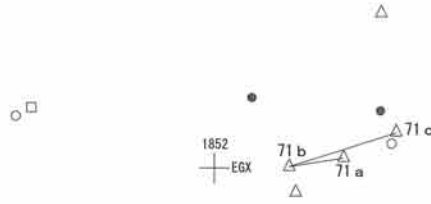
第94図 第3文化層 母岩別資料分布図 (2)



第95図 第3文化層 母岩別資料分布図 (3)



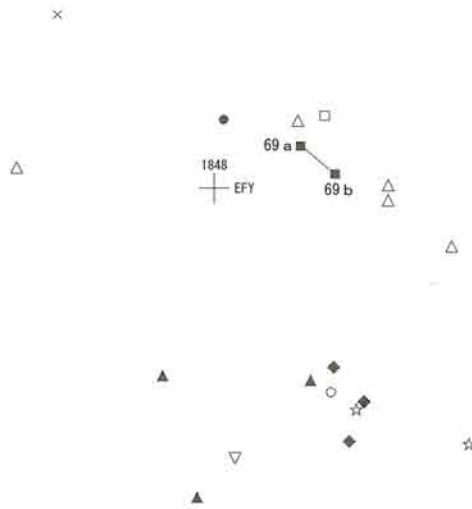
接合71 (a~c)



凡例

- チャート
- △ 黒曜石6
- 黒曜石10
- 砂岩

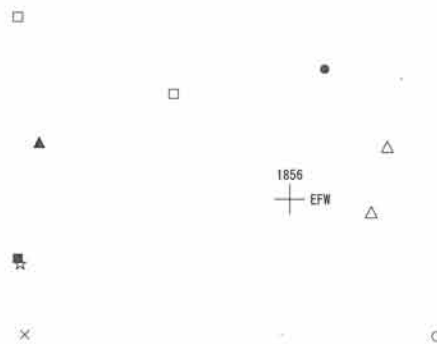
8号ブロック母岩別資料分布



凡例

- チャート
- △ 黒曜石
- 黒曜石8
- 黒曜石9
- 安山岩3
- ☆ 黒色頁岩4
- ▲ 頁岩
- × ホルンフェルス
- ◆ 緑色凝灰岩
- ▽ 緑色凝灰岩1

9号ブロック母岩別資料分布

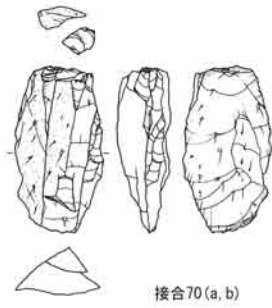


凡例

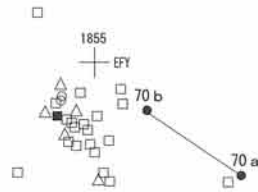
- チャート16
- △ 黒曜石
- 黒曜石7
- 黒曜石8
- 頁岩
- ☆ ホルンフェルス
- ▲ 緑色凝灰岩1
- × 砂岩

10号ブロック母岩別資料分布

第96図 第3文化層 母岩別資料分布図 (4)



接合70(a, b)



- 凡例
- チャート16
 - △ 黒曜石
 - 黒曜石5
 - 黒曜石7
 - ホルンフェルス

11号ブロック母岩別資料分布

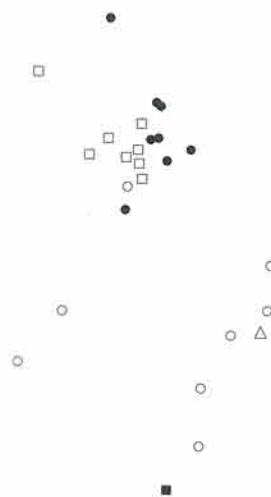


- 凡例
- 黒曜石
 - △ 黒曜石7
 - 黒曜石8
 - 黒曜石10
 - 黒色頁岩

12号ブロック母岩別資料分布



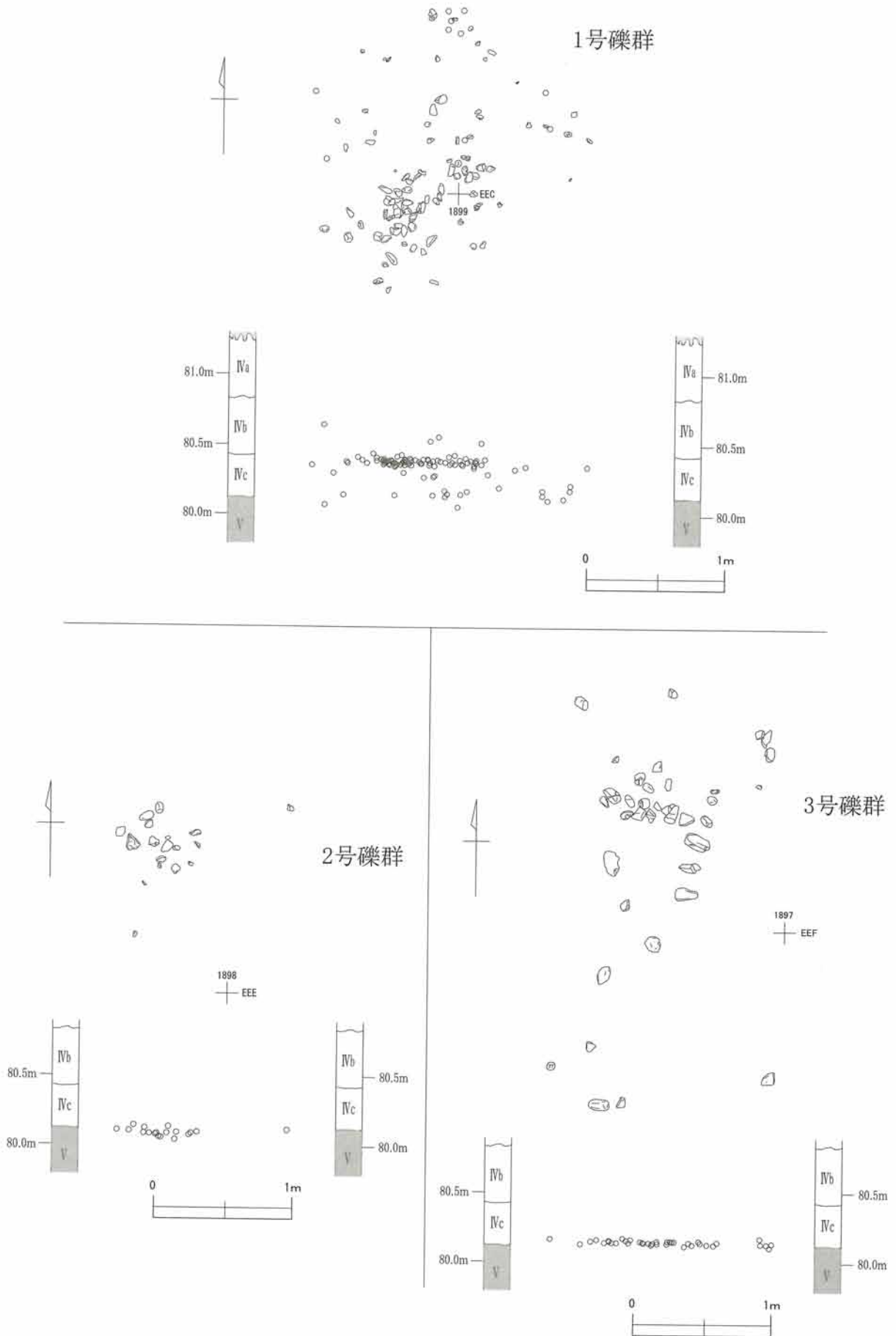
1850
EFN



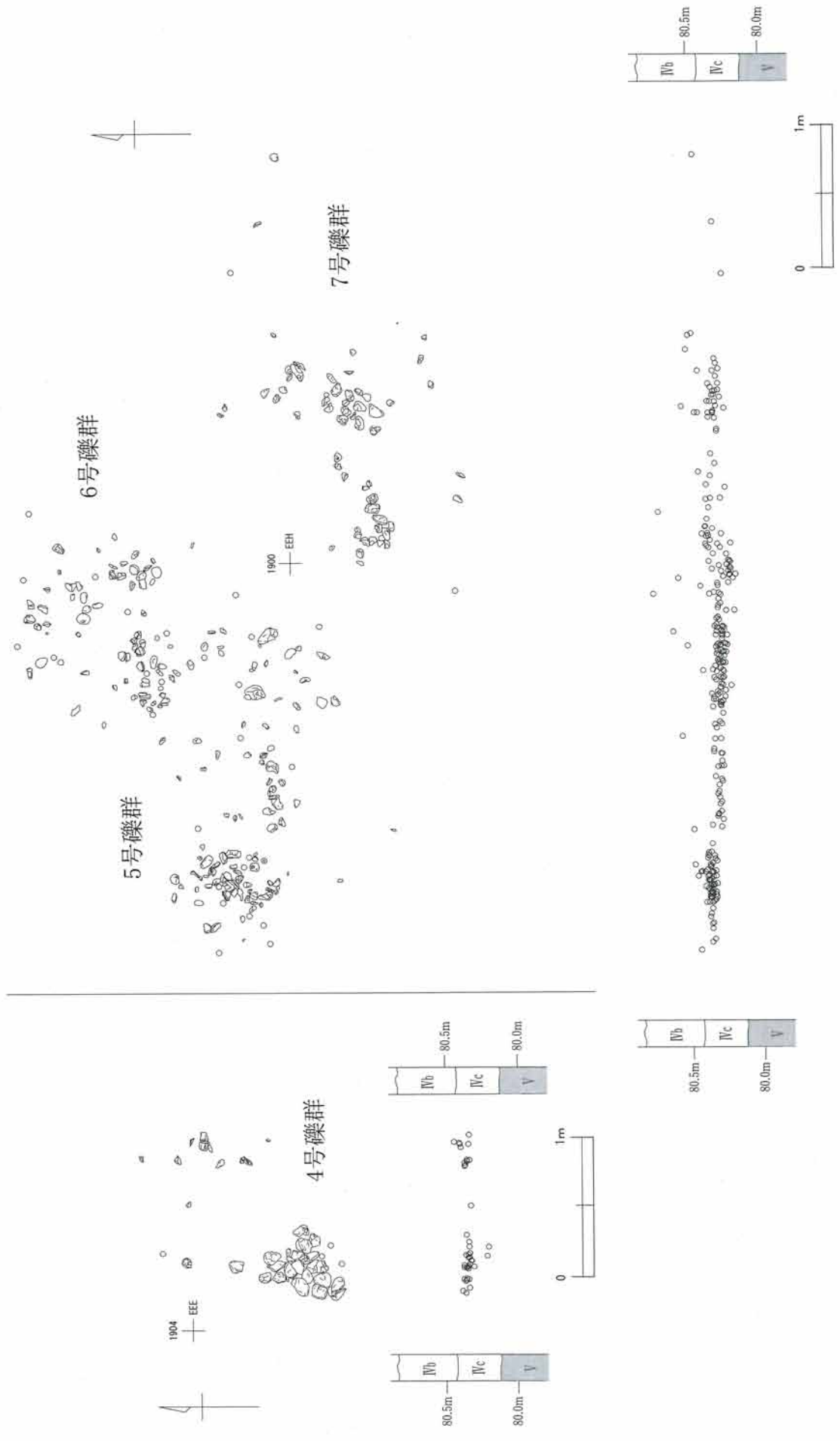
- 凡例
- チャート
 - △ チャート18
 - 黒曜石
 - 黒曜石11
 - 黒色頁岩

13号ブロック母岩別資料分布

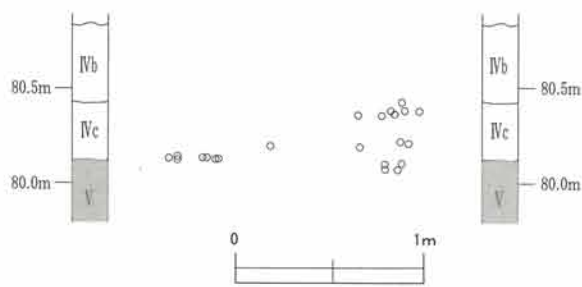
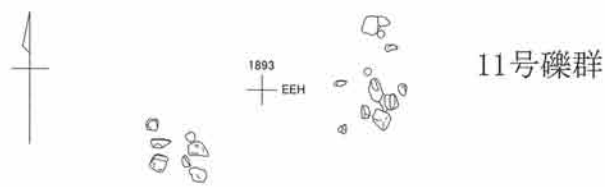
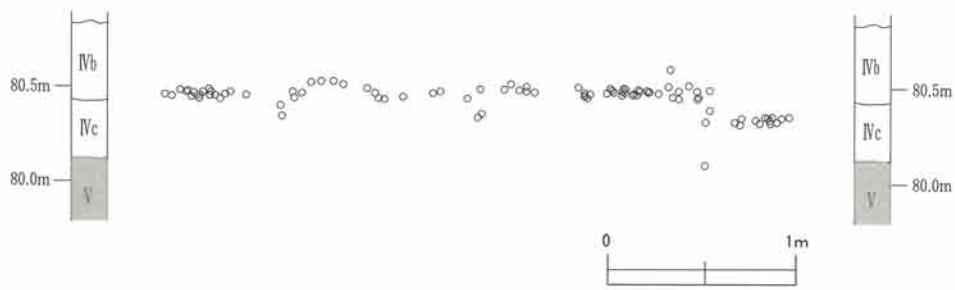
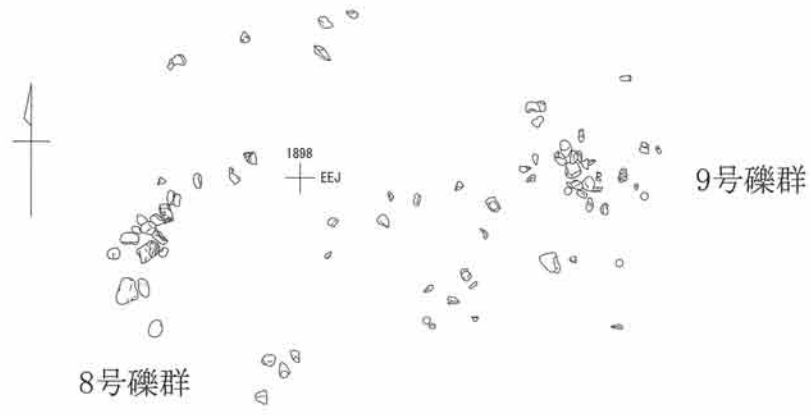
第97図 第3文化層 母岩別資料分布図 (5)



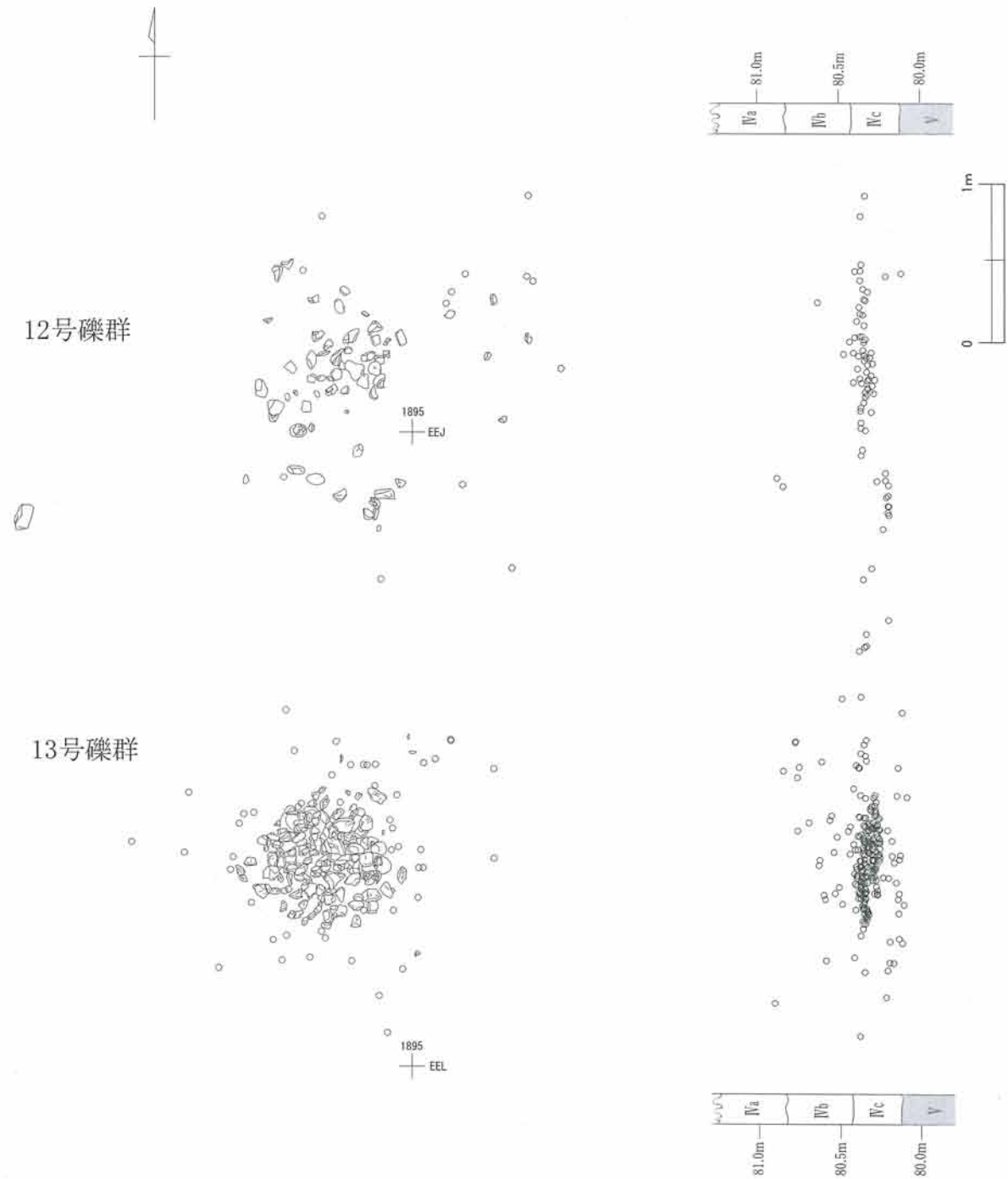
第98図 第3文化層 礫群実測図 (1)



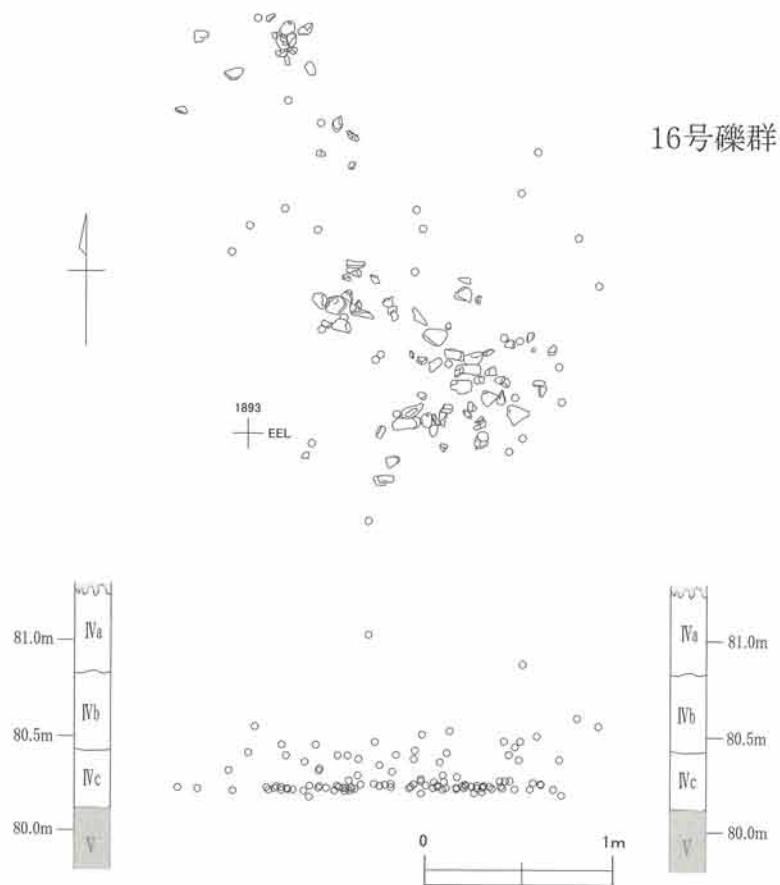
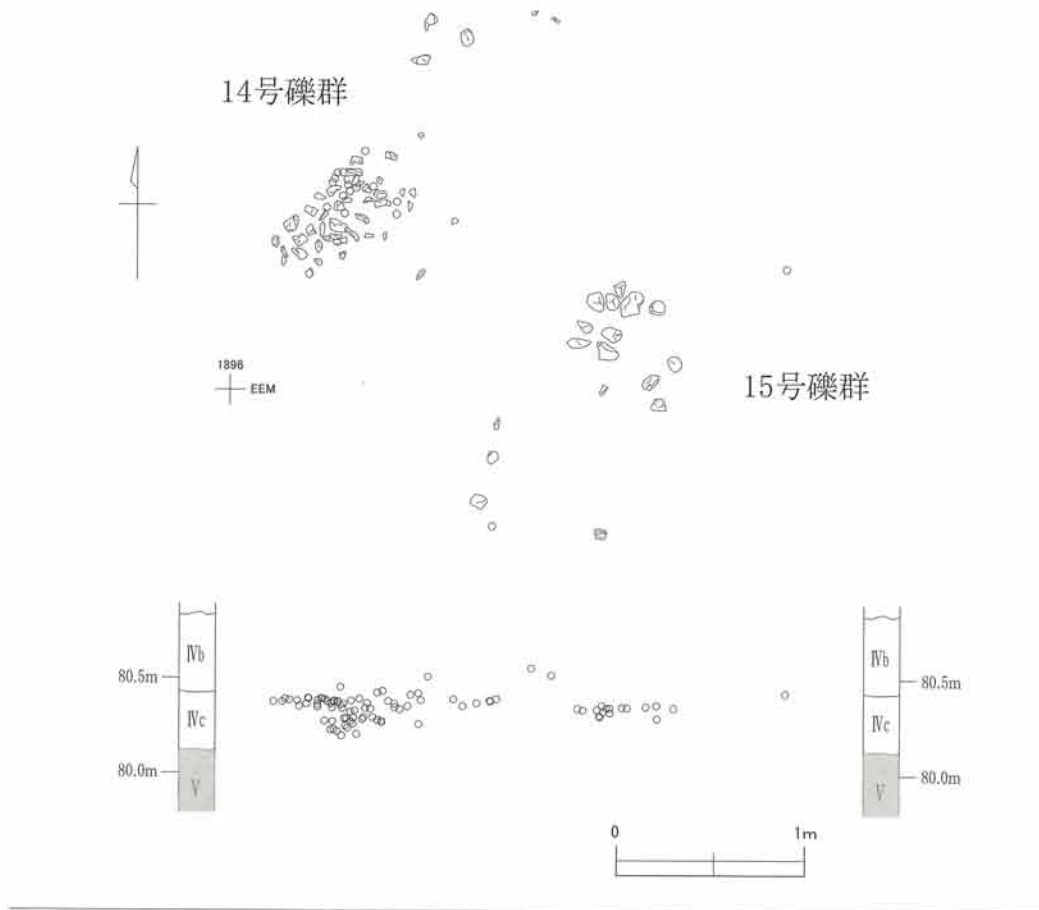
第99図 第3文化層 礫群実測図(2)



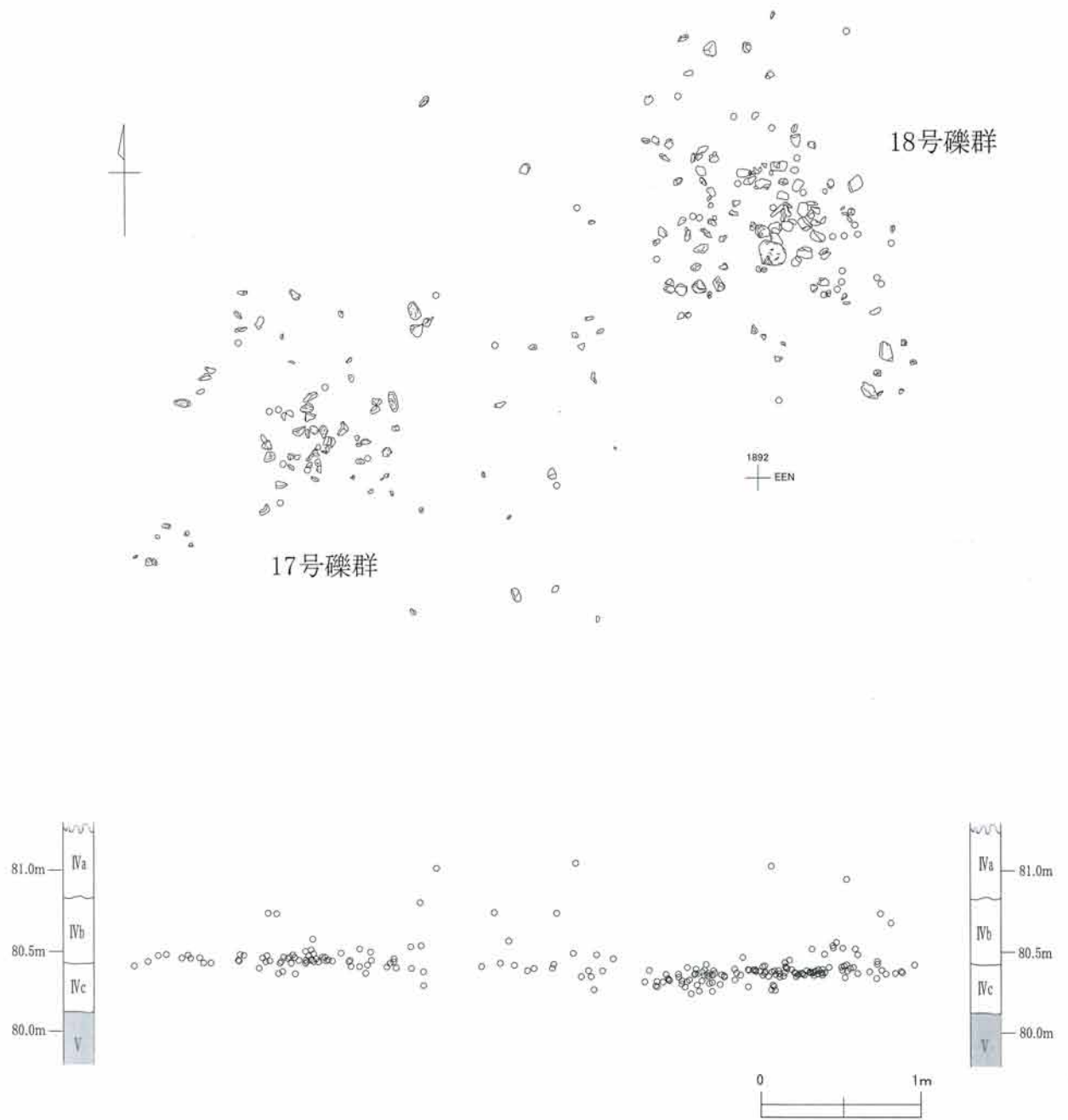
第100図 第3文化層 礫群実測図 (3)



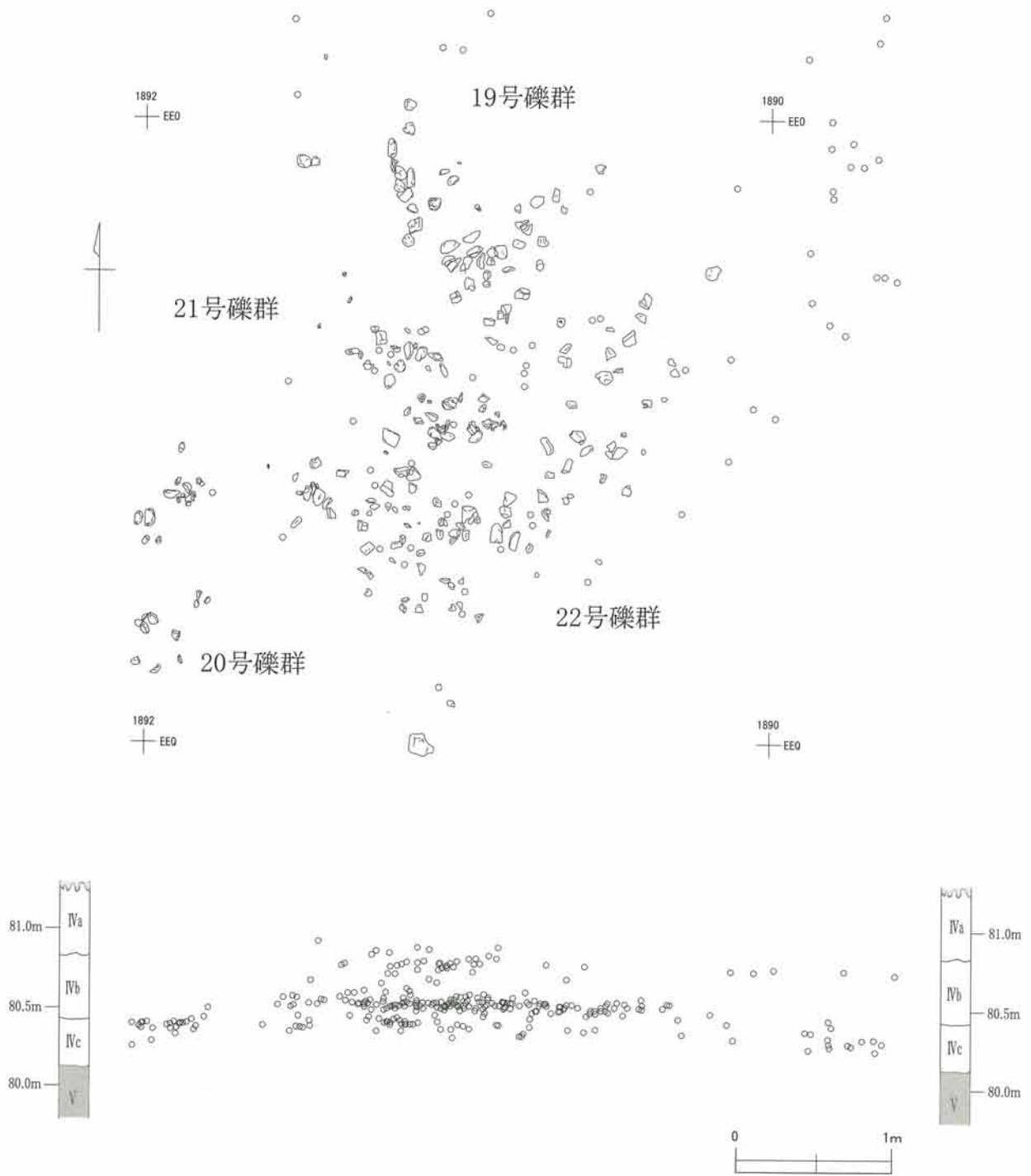
第101図 第3文化層 礫群実測図 (4)



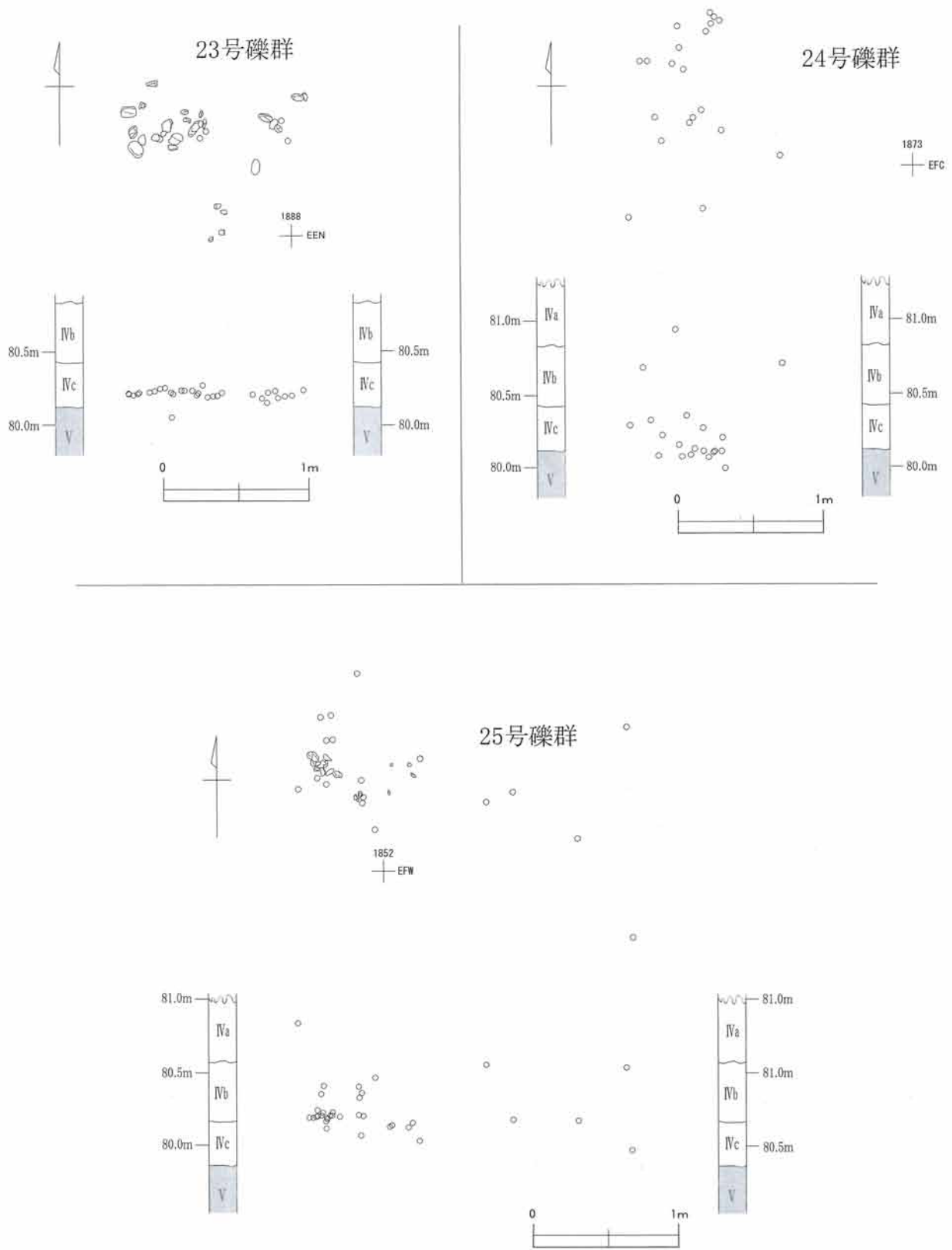
第102図 第3文化層 礫群実測図 (5)



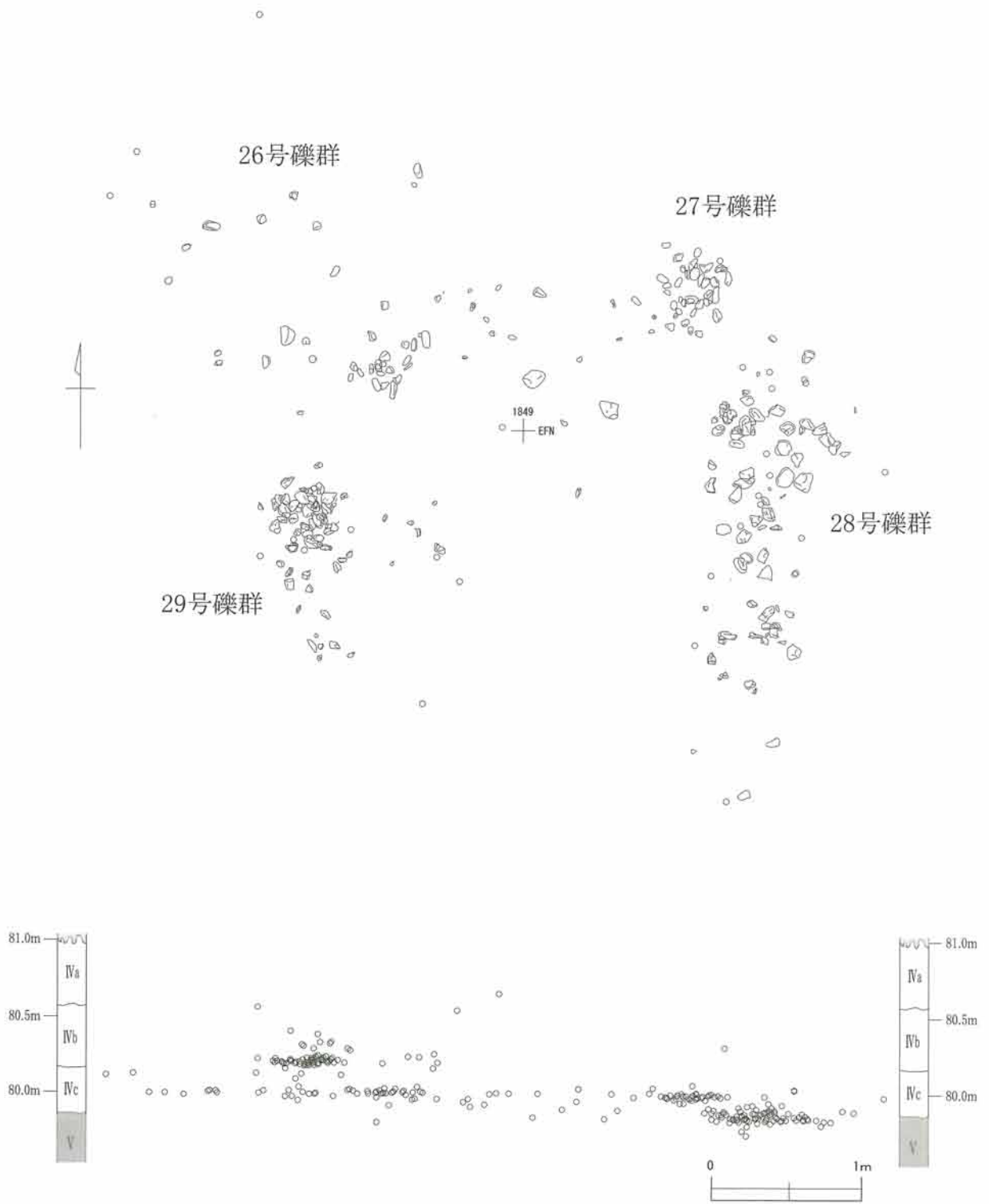
第103図 第3文化層 礫群実測図 (6)



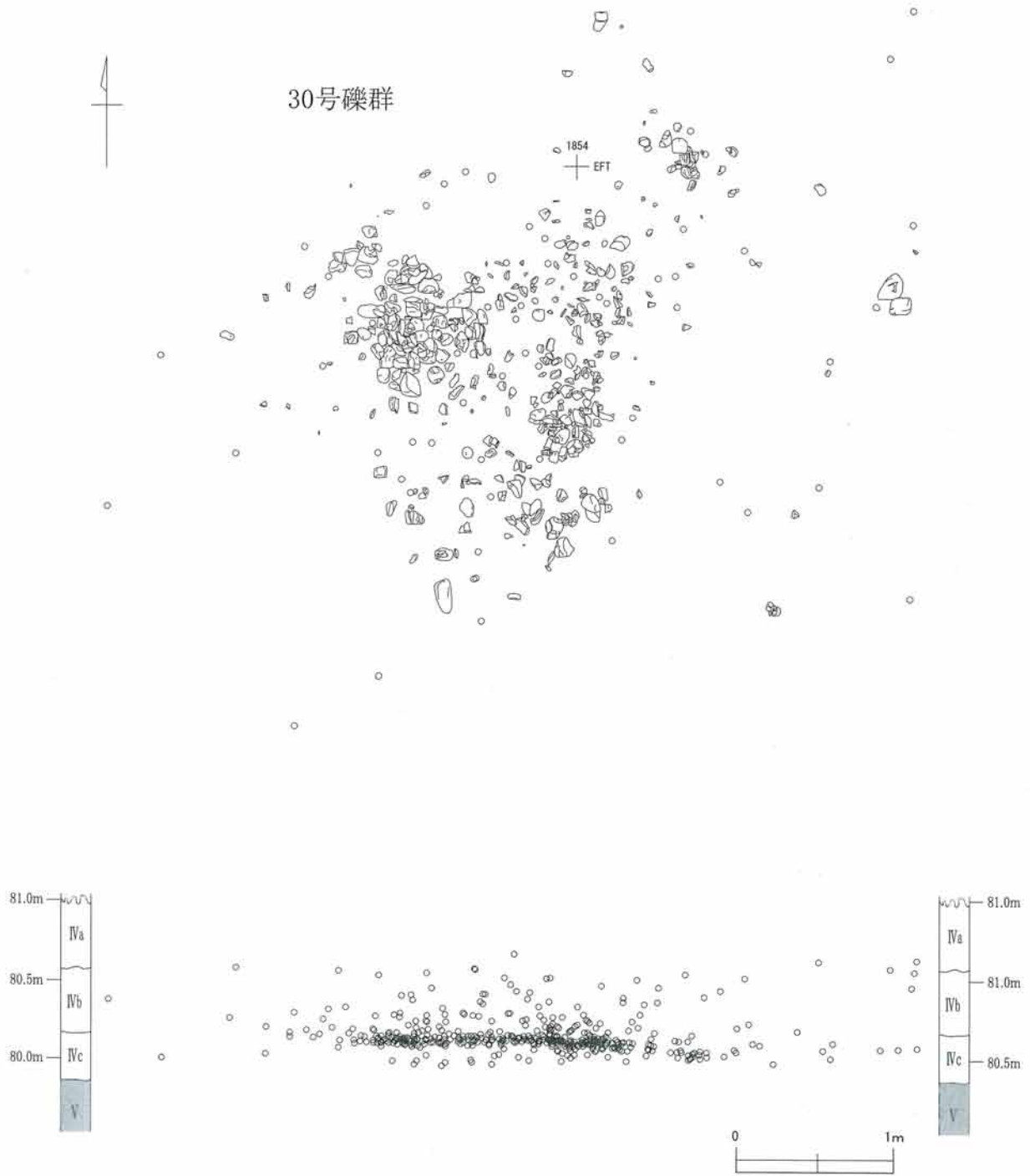
第104図 第3文化層 礫群実測図 (7)



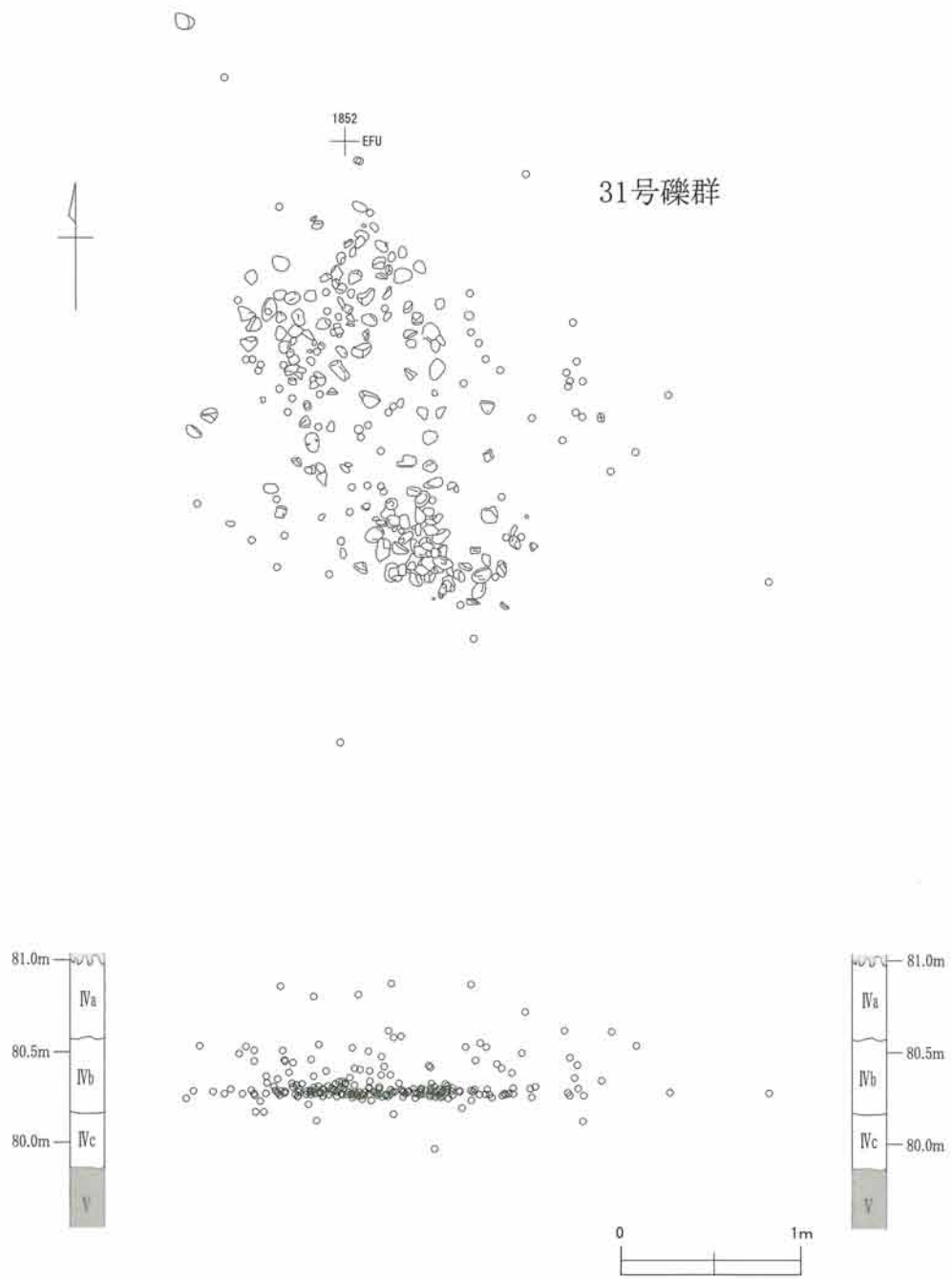
第105図 第3文化層 礫群実測図 (8)



第106図 第3文化層 礫群実測図 (9)



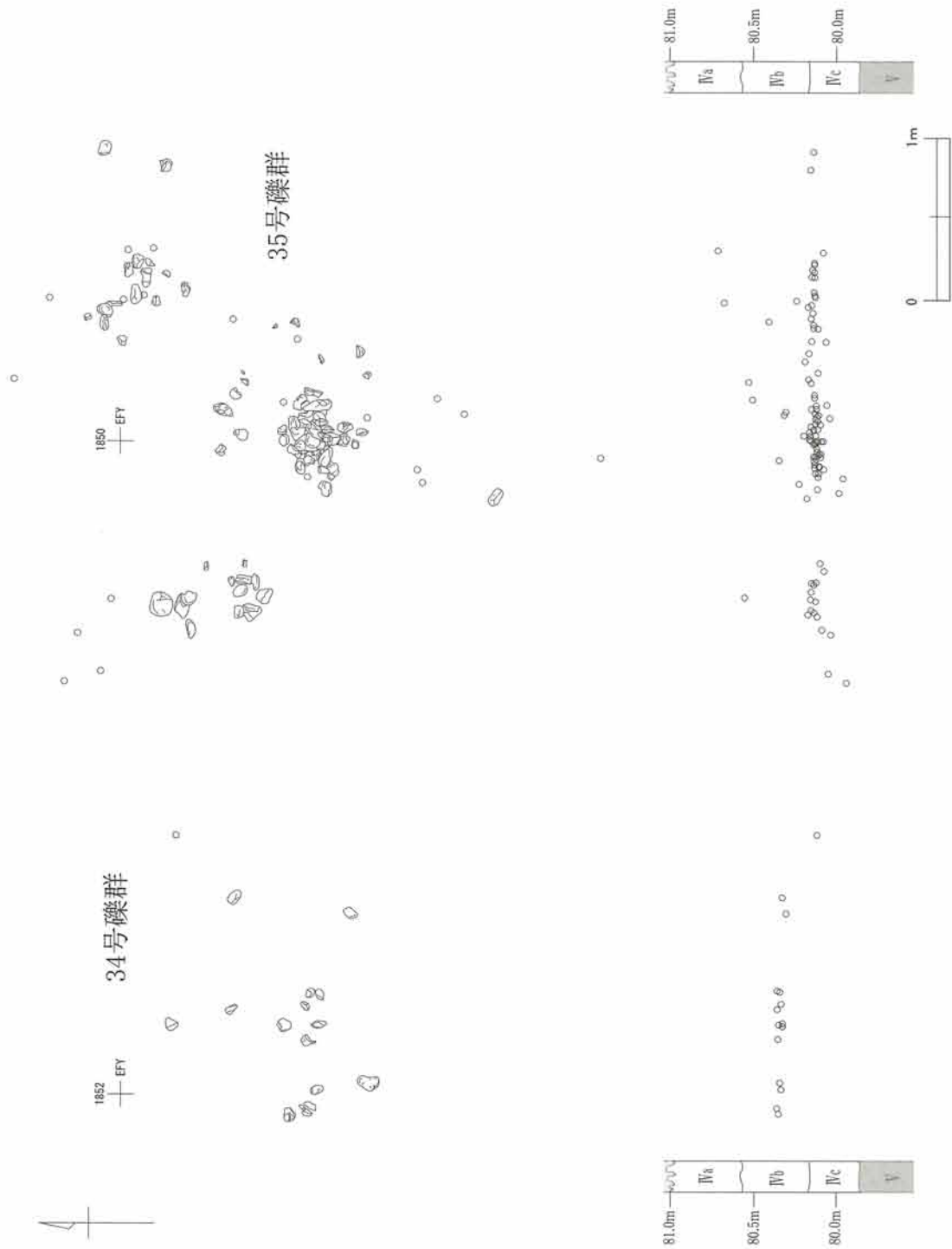
第107図 第3文化層 礫群実測図 (10)



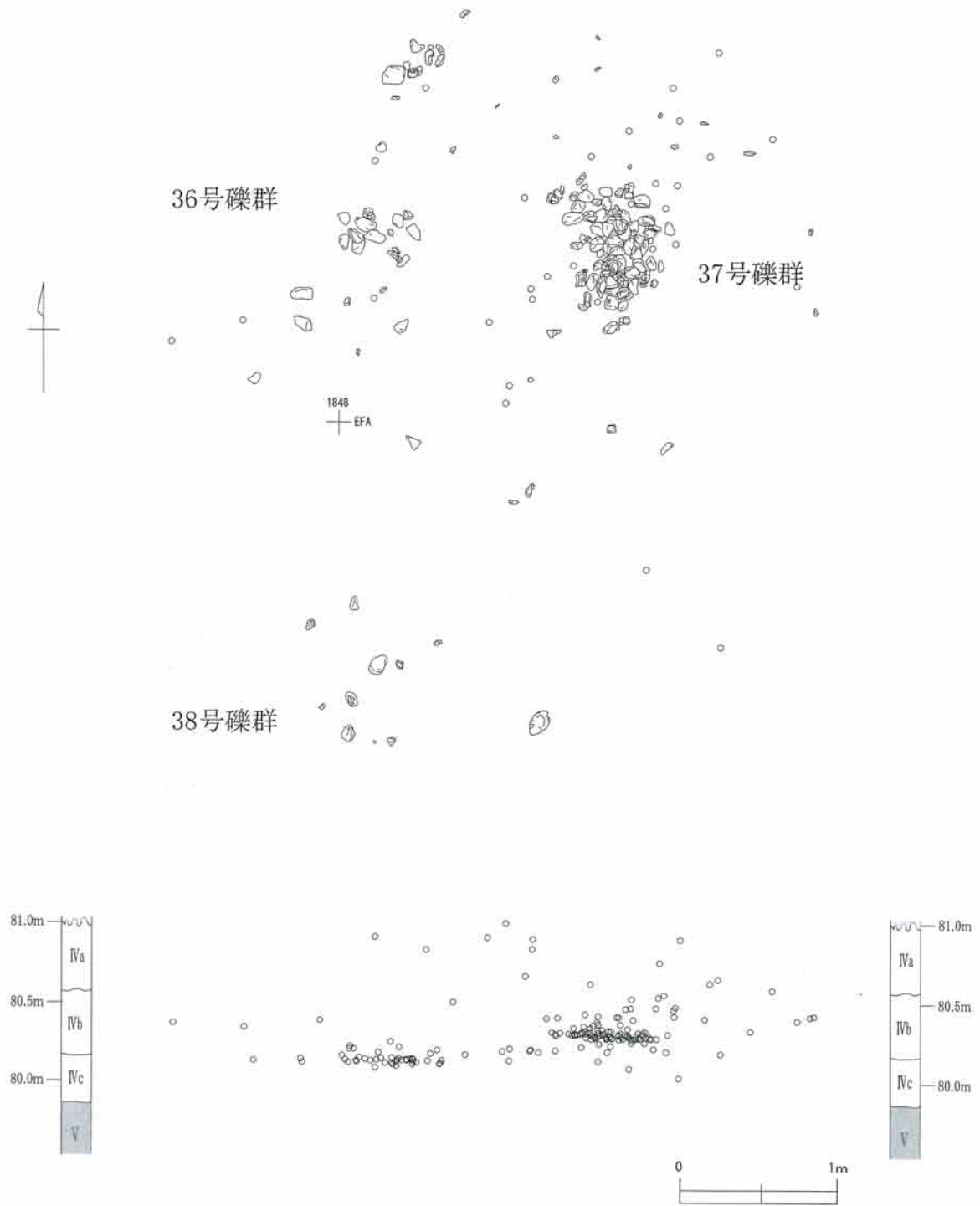
第108図 第3文化層 礫群実測図 (11)



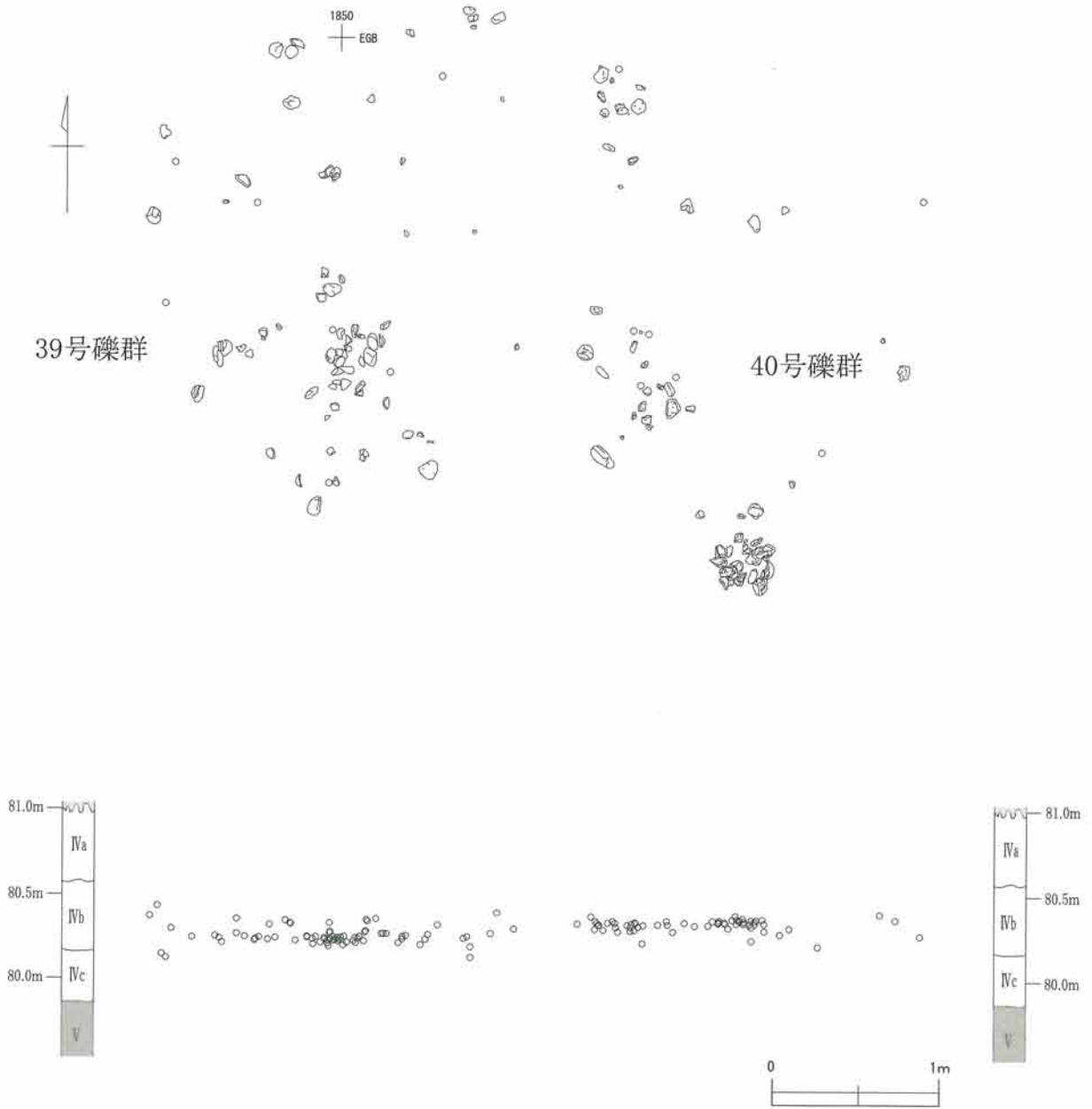
第109図 第3文化層 礫群実測図 (12)



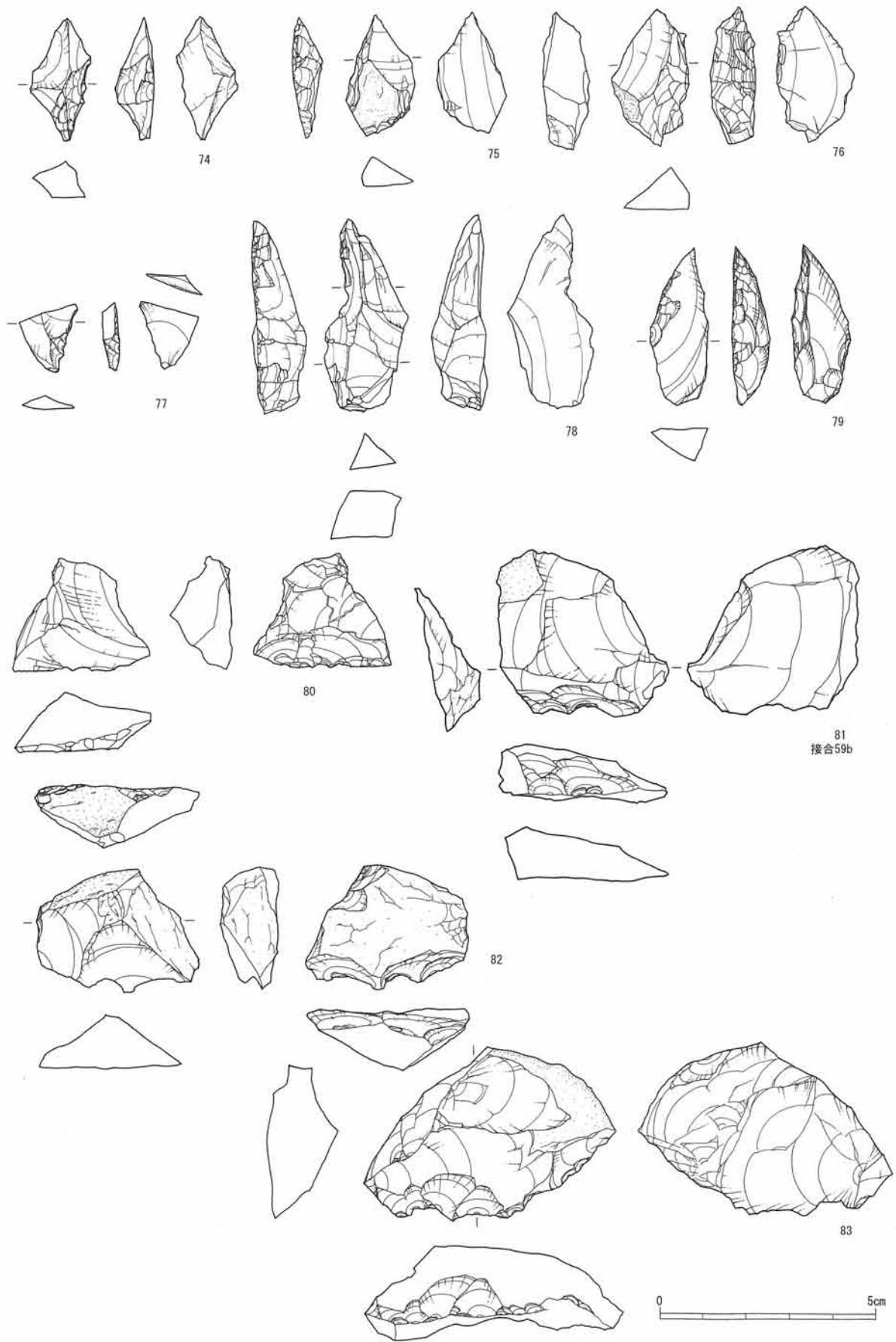
第110図 第3文化層 礫群実測図 (13)



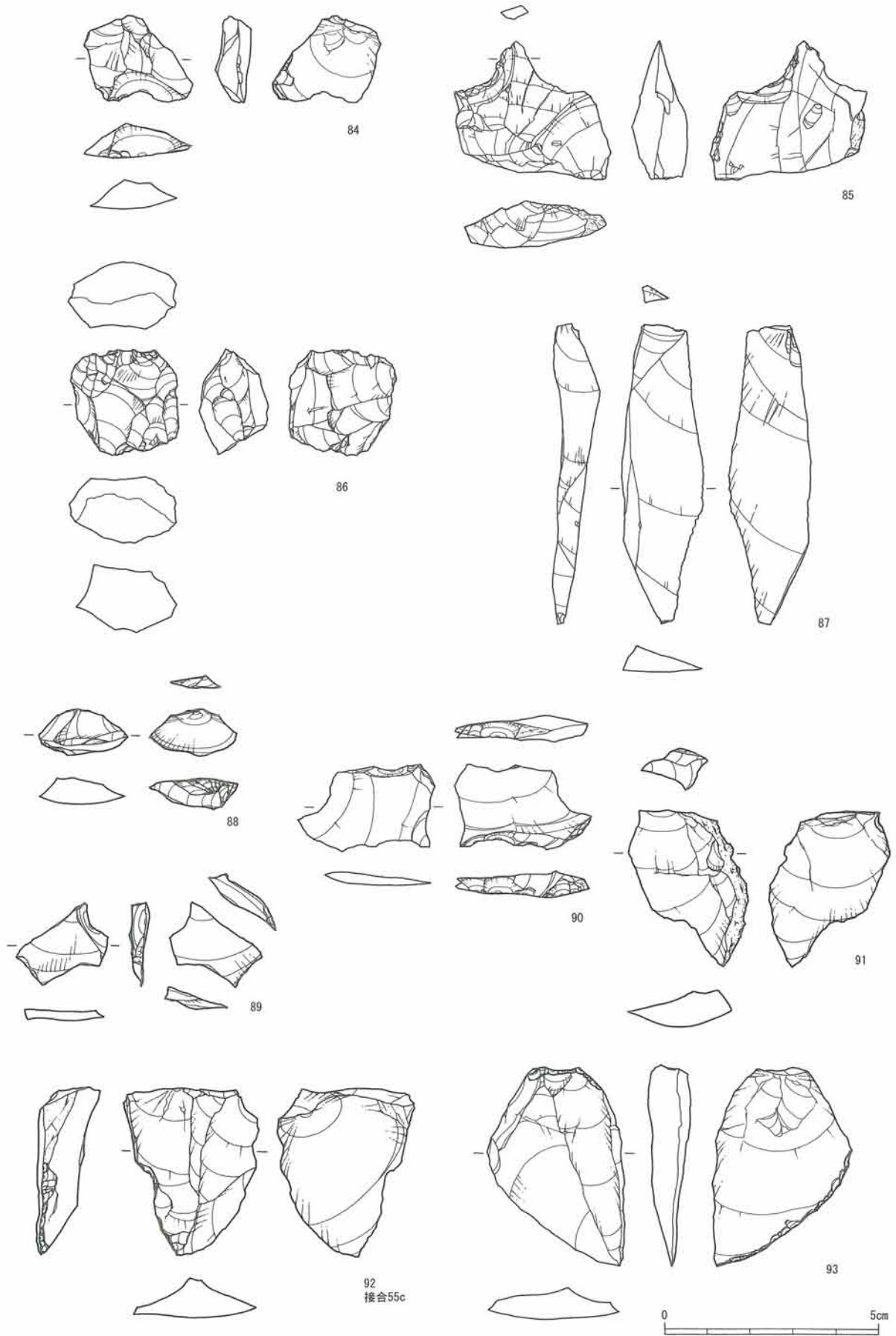
第111図 第3文化層 礫群実測図 (14)



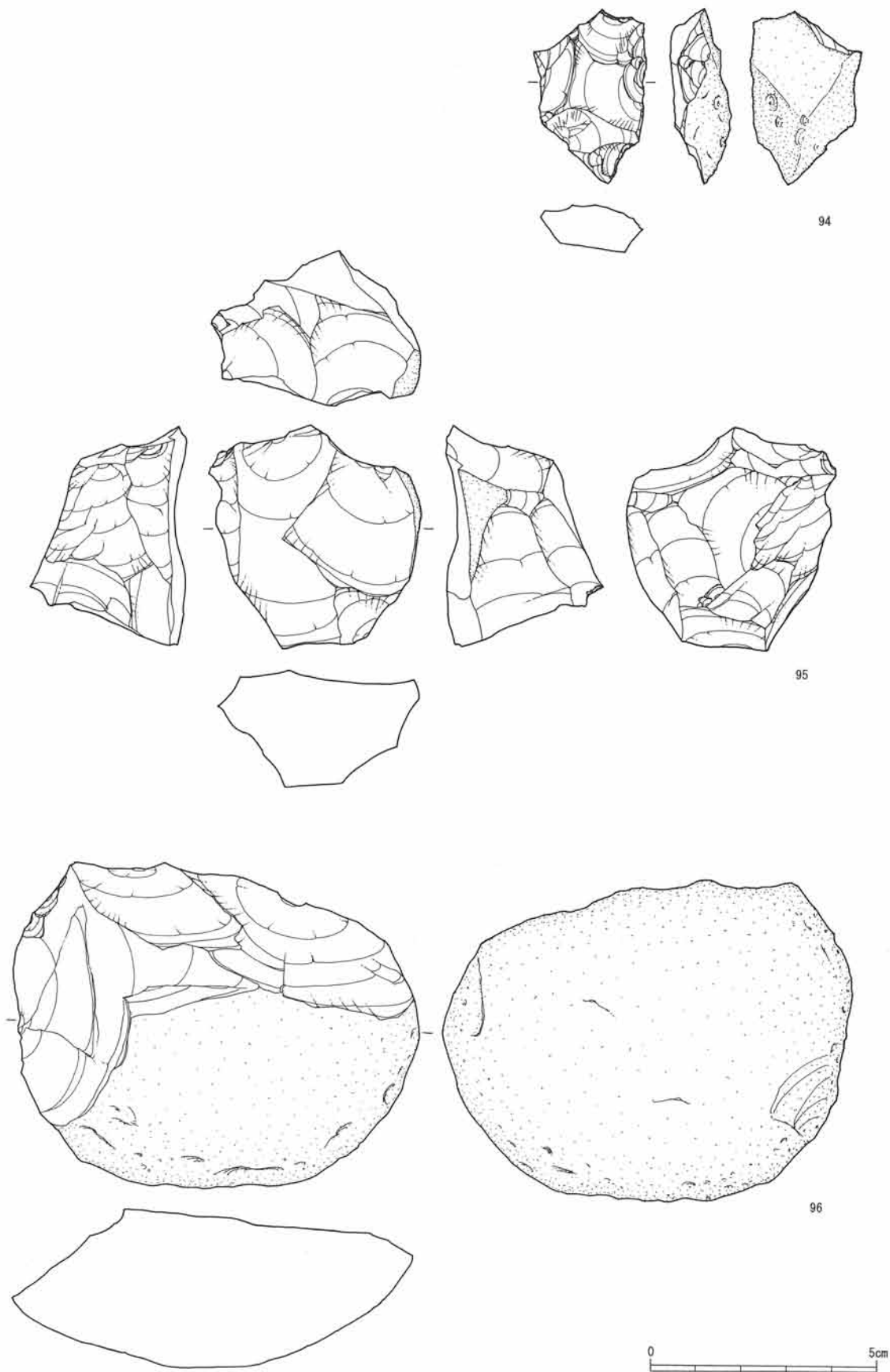
第112図 第3文化層 礫群実測図 (15)



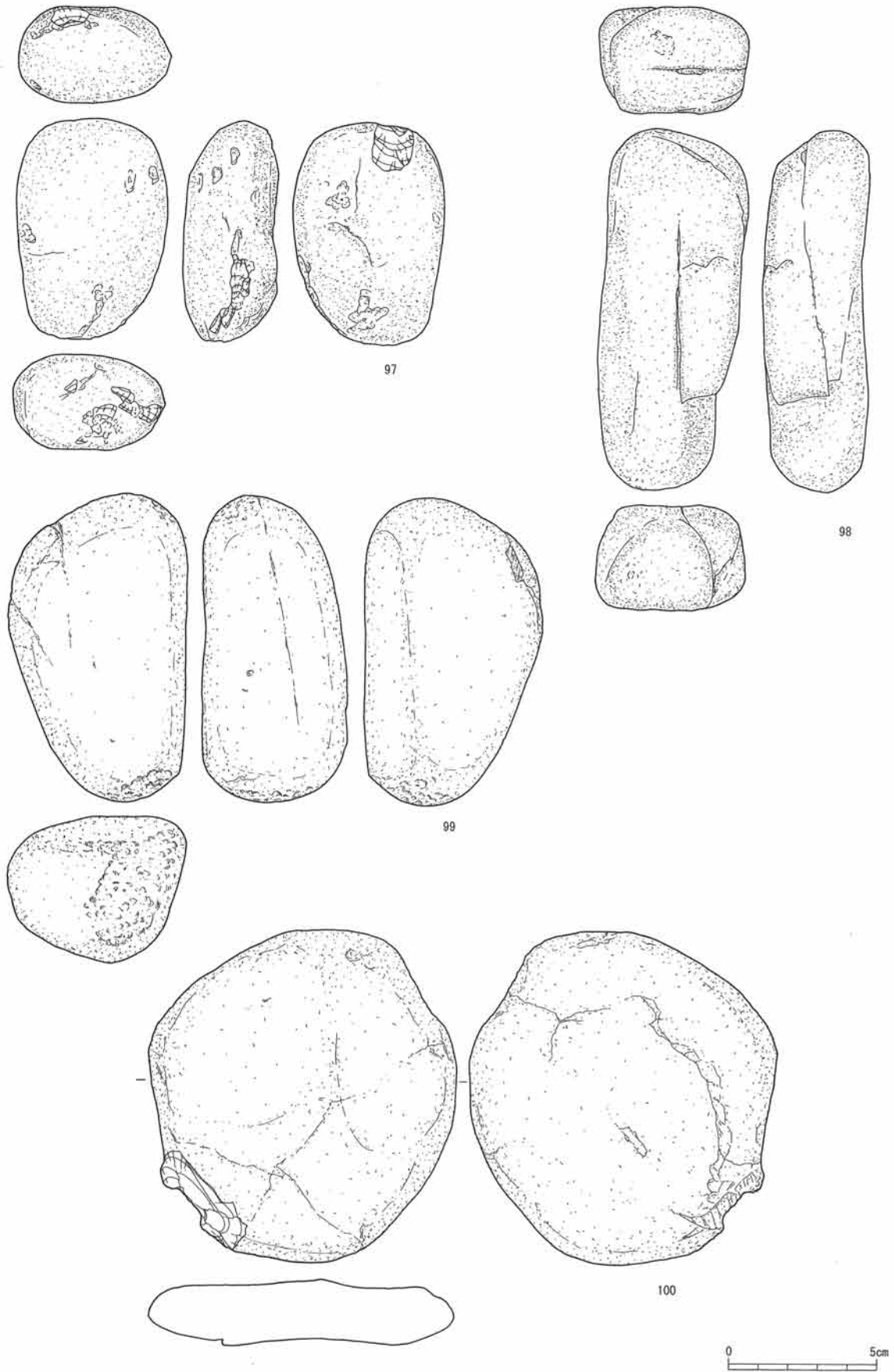
第113図 第3文化層 A区出土石器 (1)



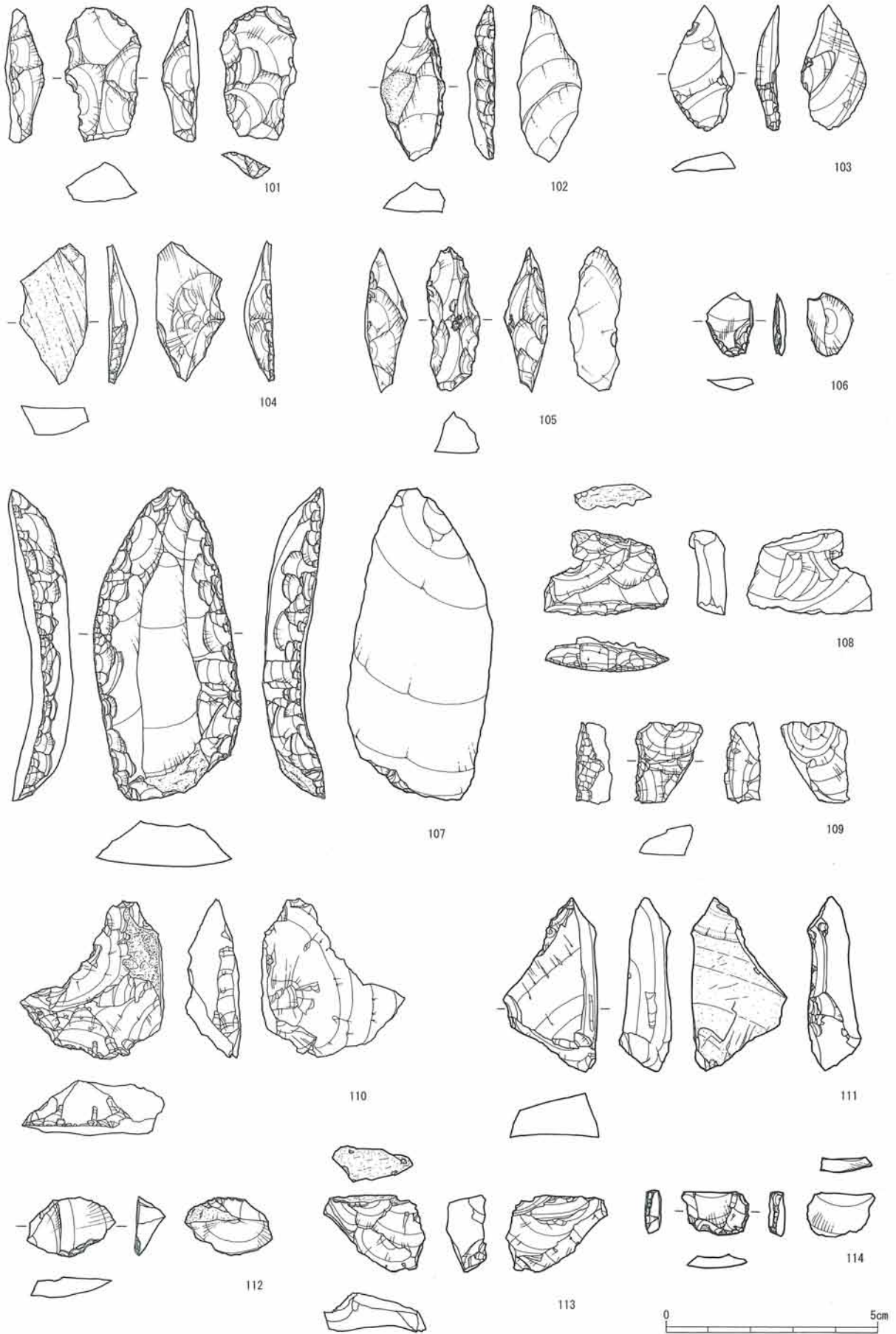
第114図 第3文化層 A区出土石器 (2)



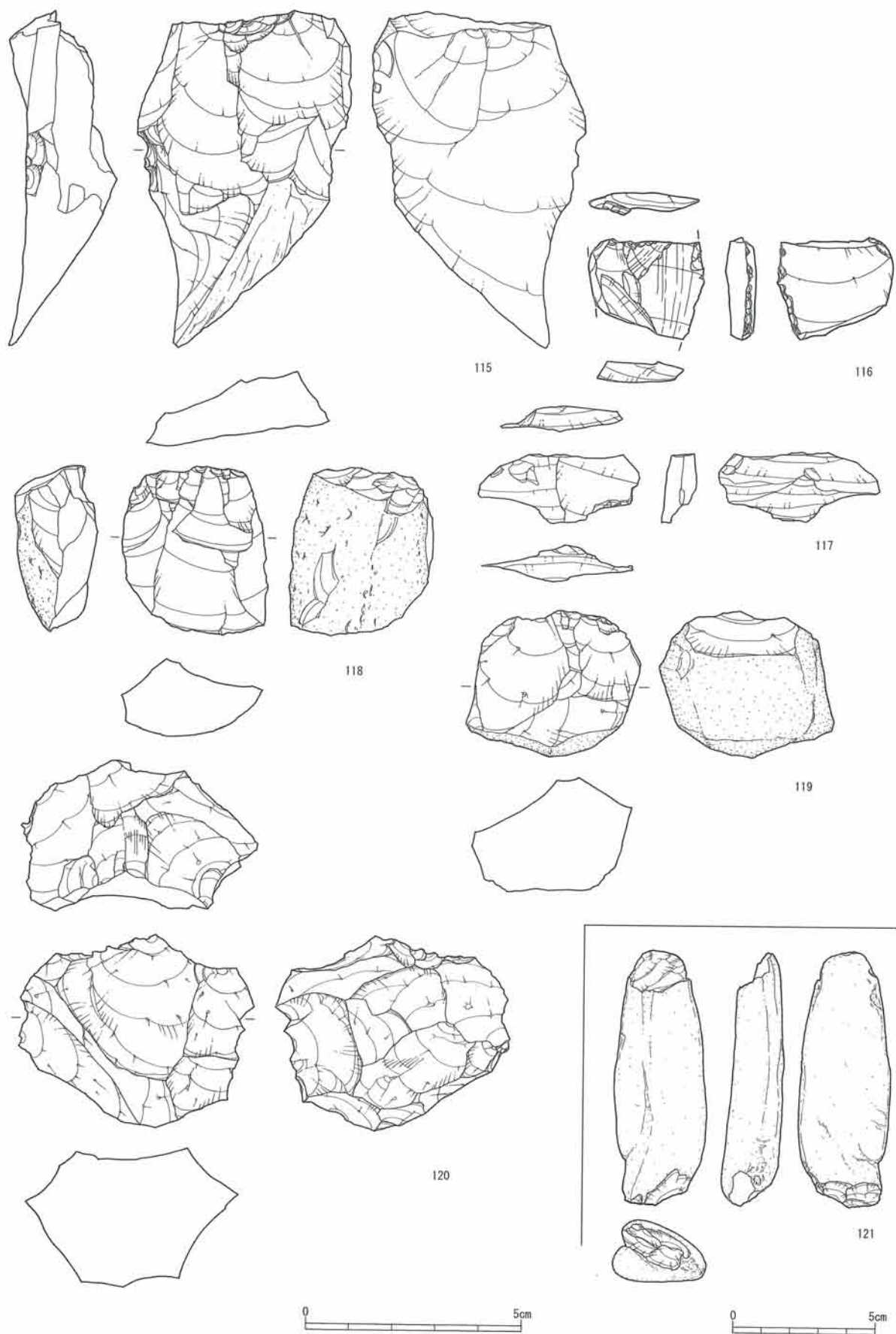
第115図 第3文化層 A区出土石器 (3)



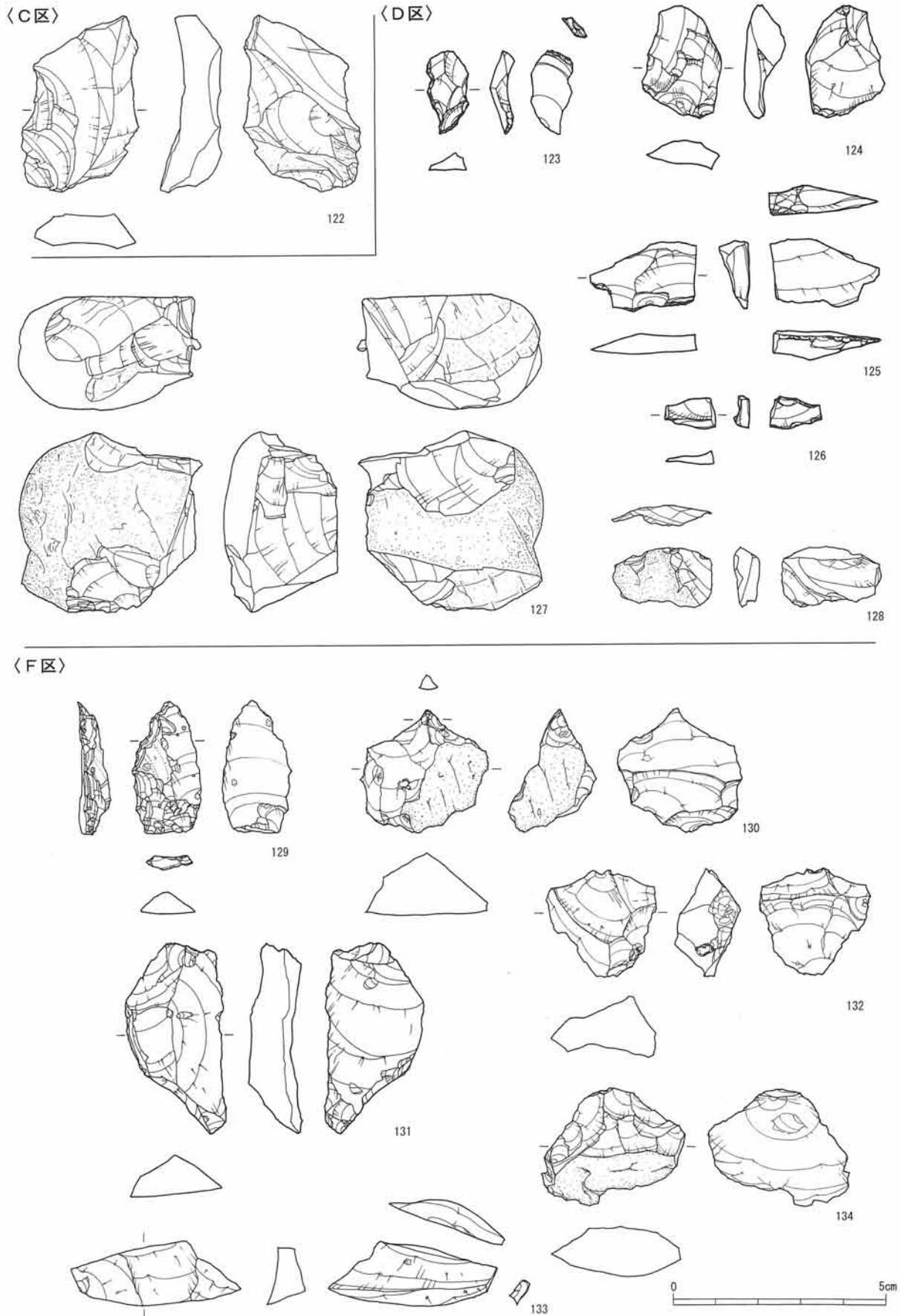
第116図 第3文化層 A区出土石器 (4)



第117図 第3文化層 B区出土石器 (1)

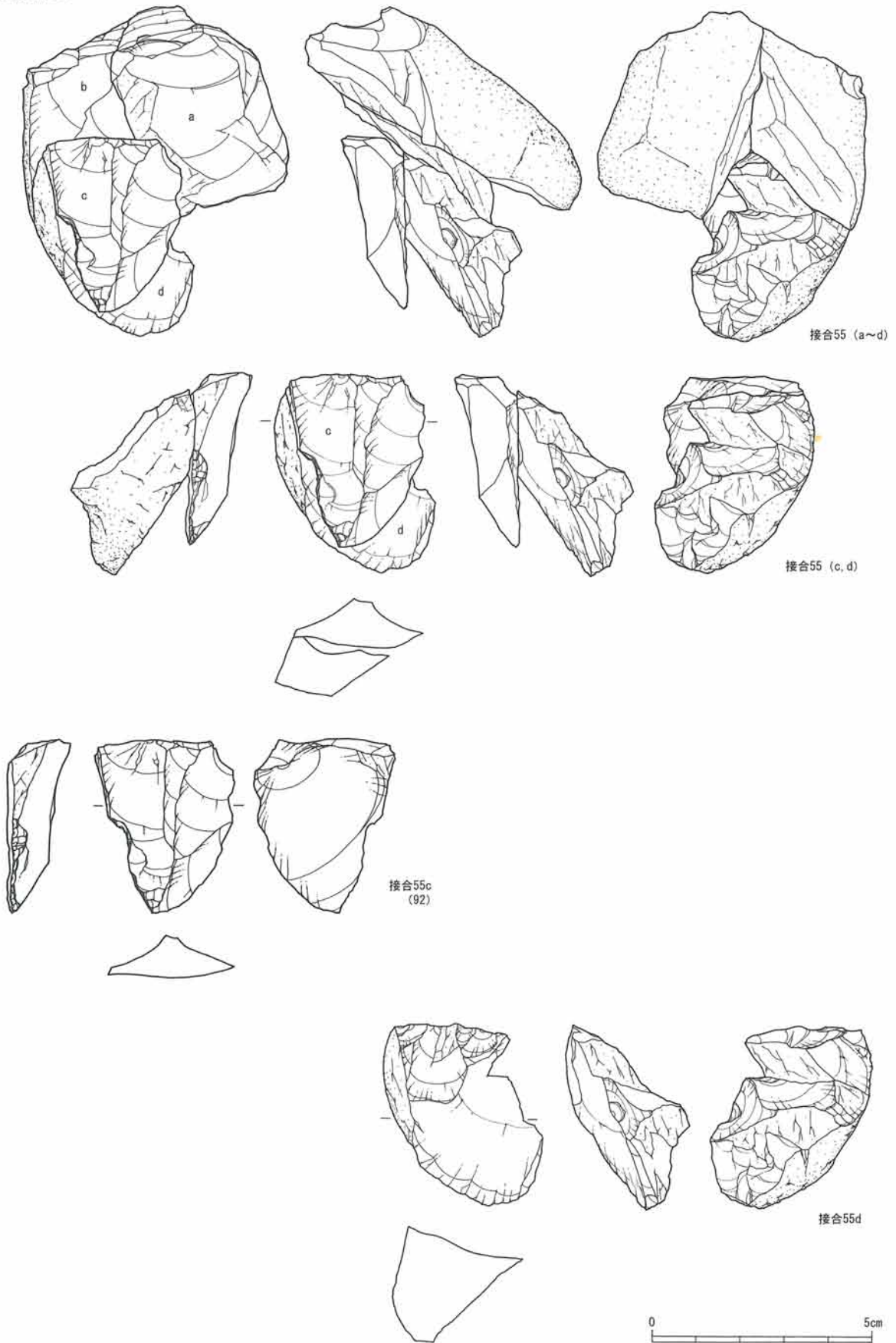


第118図 第3文化層 B区出土石器 (2)



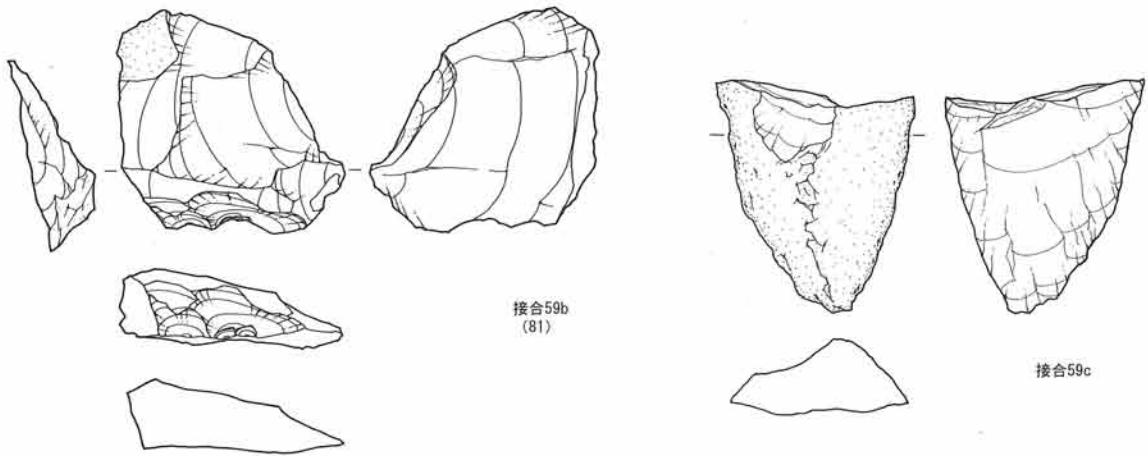
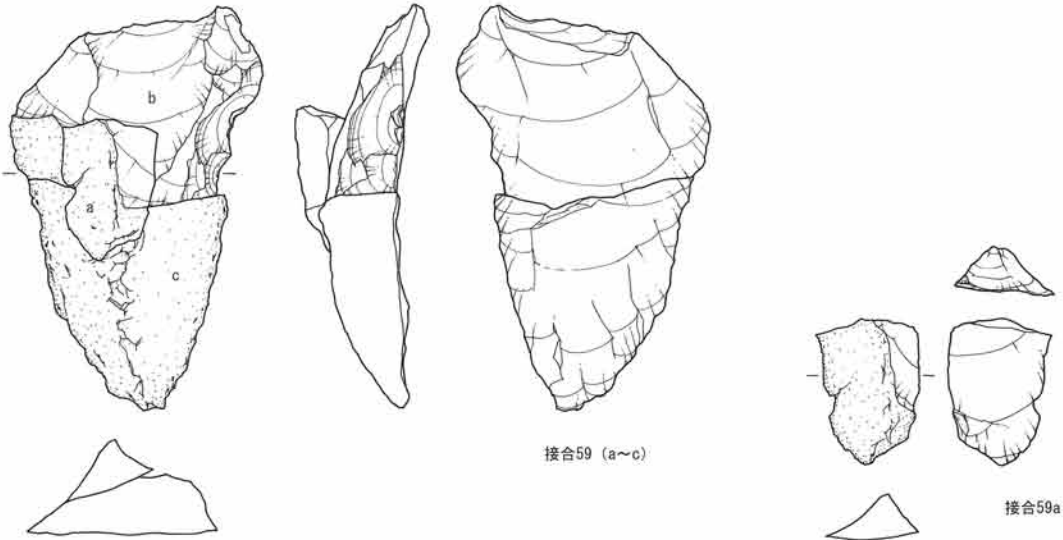
第119図 第3文化層 C・D・F区出土石器

接合資料55

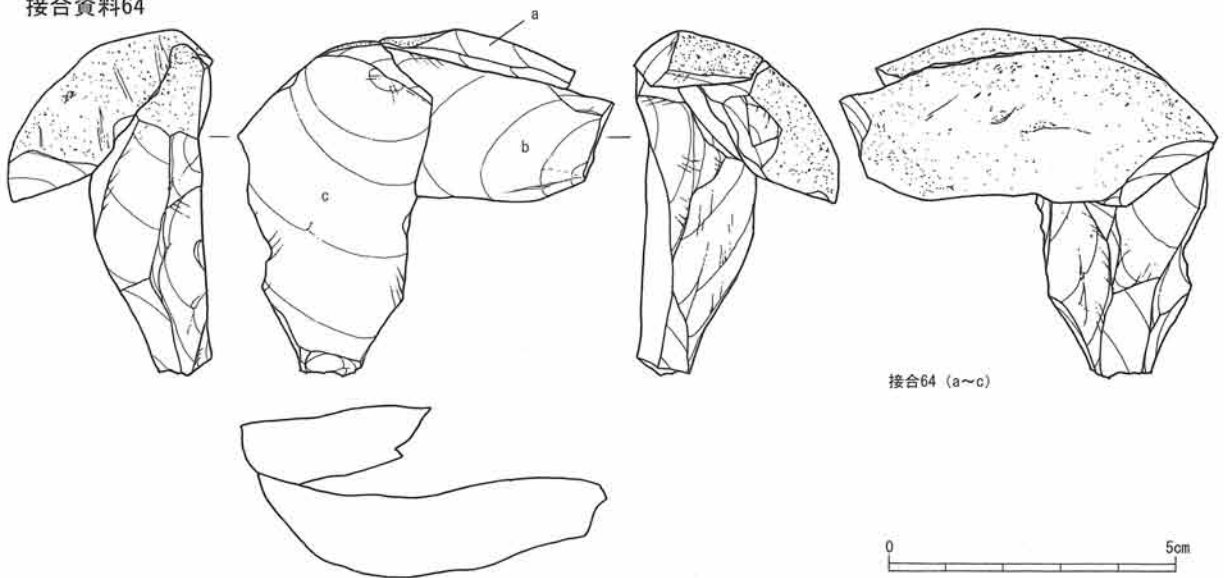


第120図 第3文化層 A区接合資料 (1)

接合資料59

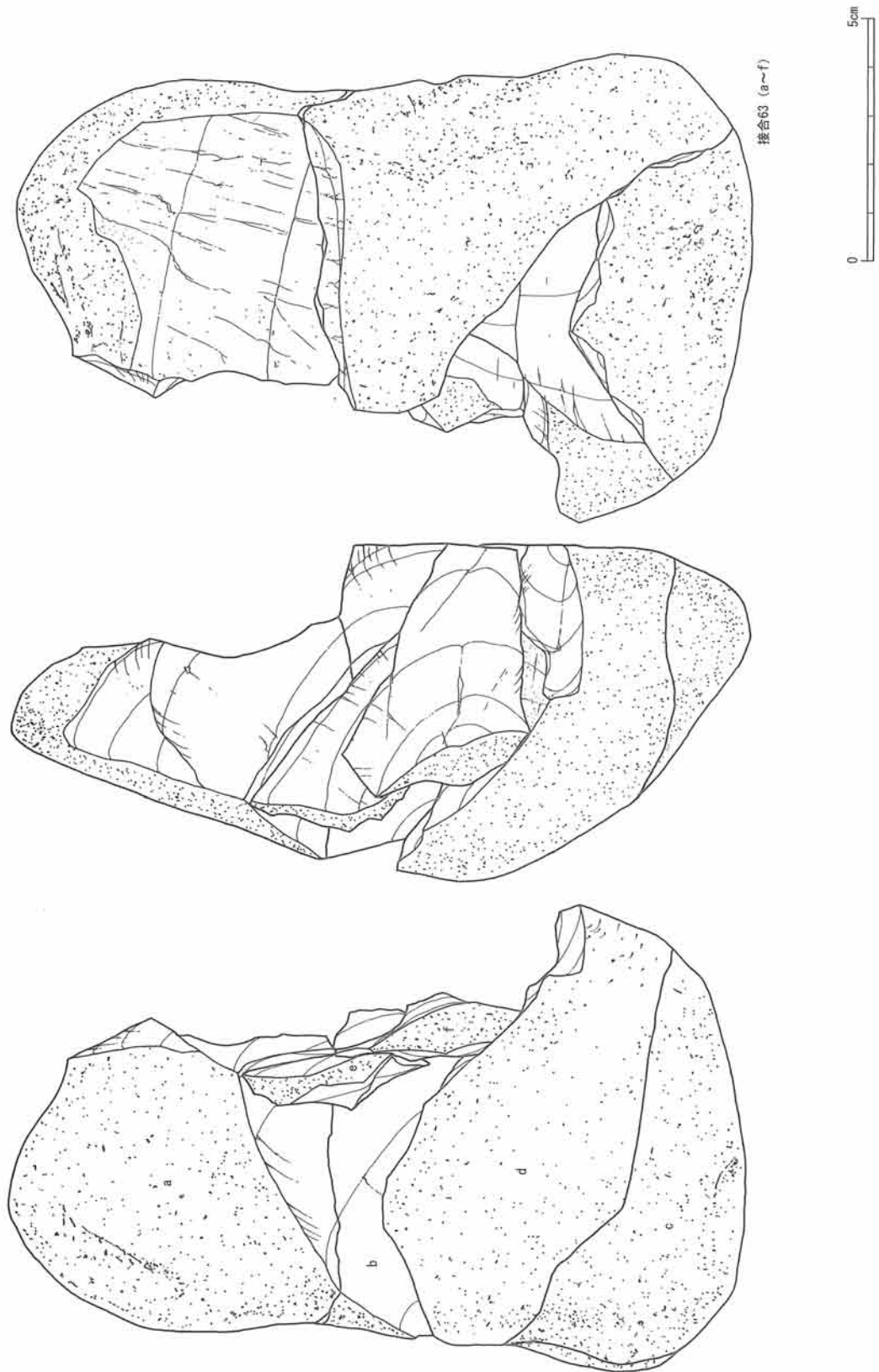


接合資料64



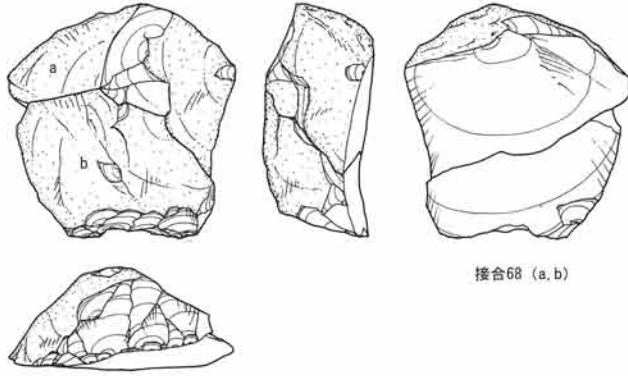
第121図 第3文化層 A区接合資料 (2)

接合資料63



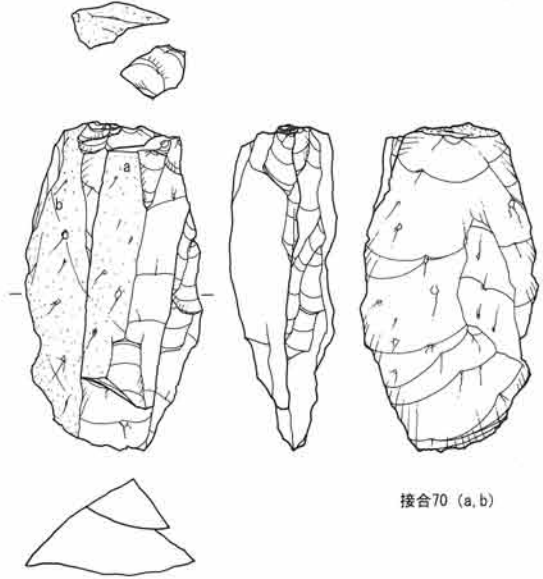
第122図 第3文化層 A区接合資料(3)

接合資料68 (A区)



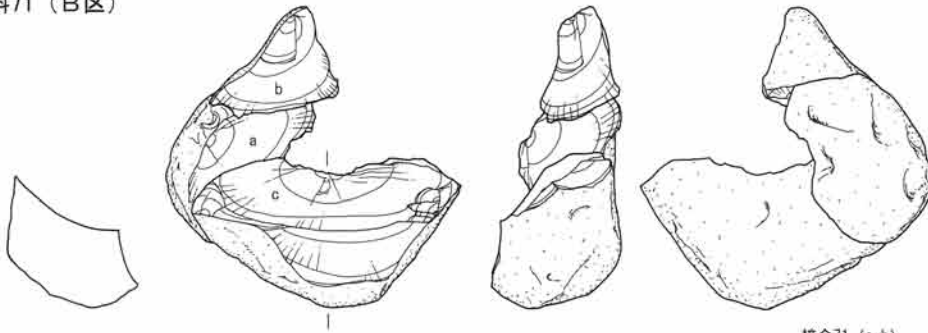
接合68 (a, b)

接合資料70 (B区)



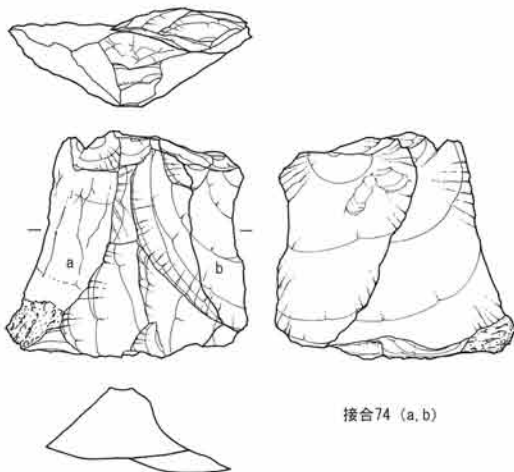
接合70 (a, b)

接合資料71 (B区)



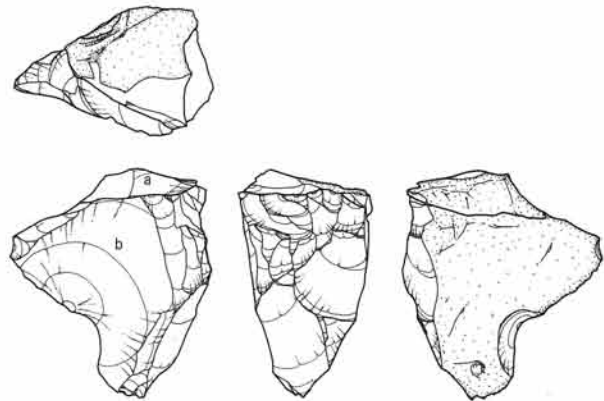
接合71 (a, b)

接合資料74 (F区)



接合74 (a, b)

接合資料75 (F区)



接合75 (a, b)



第123図 第3文化層 A・B・F区接合資料

第5節 第4文化層

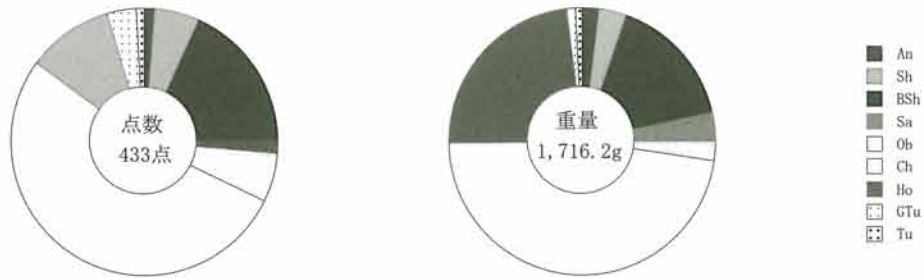
第4文化層の石器群は、IVb層からIVa層にかけて検出された（第127図）。発掘時の所見を考慮し、出土レベルや接合資料、母岩の共有関係を検討した結果、IV層上部を生活面としていると考えられる。出土遺物は、ナイフ形石器9点、尖頭器1点、錐形石器1点、スクレイパー6点、部分加工剥片4点、使用痕剥片1点、石核8点、石刃6点、剥片95点、碎片2点、礫186点、計319点である。

石材について見ると、第4文化層においてはチャートが主体となっている（表31、第124図）。第4文化層の出土遺物数はB区が多いため、B区の石材組成に大きく反映されているが、特に本文化層の中に黒色頁岩が一定量組成されていることが注目される。

表31 第4文化層 石材組成重量表

										(点数：点)
第4文化層	安山岩	頁岩	黒色頁岩	砂岩	黒曜石	チャート	ホルンフェルス	緑色凝灰岩	凝灰岩	合計
A区	2	3	1	1	6	33	1			47
B区		4	23	1	2	37	13	5		85
D区									1	1
合計	2	7	24	2	8	70	14	5	1	133

										(重量：g)
第4文化層	安山岩	頁岩	黒色頁岩	砂岩	黒曜石	チャート	ホルンフェルス	緑色凝灰岩	凝灰岩	合計
A区	31.2	13.8	16.6	34.2	32.8	325.6	206.5			660.7
B区		45.7	258.3	29.5	6.7	487.2	194.6	19.2		1041.2
D区									14.3	14.3
合計	31.2	59.5	274.9	63.7	39.5	812.8	401.1	19.2	14.3	1716.2



第124図 第4文化層 石材別重量グラフ

(1) 出土状況

第4文化層の石器群は、A区、B区、D区において確認されている（第127図）。遺物の視覚的なまとまりが見られたA区とB区において、接合関係、母岩を検討し、それぞれ1～3号ブロック（第128図）、4～6号ブロック（第129図）を設定した。詳細は次項で各ブロックについて記載する。

また、本文化層においても礫の集中部が発掘時より認識できた。それぞれ、A区の1～4号礫群（第130・138・139図）、B区の5・6号礫群（第131・139・140図）である。第3文化層に比して散漫ではあるが、ブロックとの関連も予想される分布状況となっている。

1. A区

A区の第4文化層はチャートが多く用いられている（第125図）。チャートの点数は33点とA区出土遺物（礫を除く）の70%を占めており、重量は49%にあたる。チャートに次いで重量の多い石材は、ホルンフェルスで、1点のみの出土ながら、重量は全体の31%を占めている。これは、ホルンフェルスの資料が比較的大きな石核であることの表れであるが、一方で他の資料が小型の剥片に多く占められていることを反映している。他の石材としては、黒曜石、頁岩、安山岩、黒色頁岩、砂岩が数点ずつ組成されている。



第125図 第4文化層 A区 石材別重量グラフ

1号ブロック（第132・135図） A区の北側に見られる散漫な分布で、チャート、頁岩、砂岩、黒曜石のブロックである。接合関係は認められず、部分加工剥片、石核、剥片が組成される。

2号ブロック（第132・135図） A区の中央部に遺物が散漫に分布しており、接合関係も得られていないが、ひとつのまとまりと見なした。石材はチャート、黒曜石、安山岩、ホルンフェルス、黒色頁岩とバラエティーに富む。部分加工剥片、使用痕剥片が1点ずつ含まれる。

3号ブロック（第133・135図） チャートの集中するブロックである。黒曜石、頁岩も若干含まれる。ナイフ形石器、スクレイパー、部分加工剥片が組成され、A区の第4文化層の主体をなすブロックである。チャートの接合資料も得られている。

2. B区

B区の第4文化層はチャートと黒色頁岩が多く用いられている（第126図）。最も点数の多いチャートは37点とB区出土遺物（礫を除く）の44%を占めており、重量は47%にあたる。しかし、それに次いで黒色頁岩が23点出土しており、点数の27%、重量の25%を占める。この黒色頁岩は小型の石核、石刃、ナイフ形石器、スクレイパーとして組成され、本文化層の特徴となる要素を表現している石材として注目される。他にもホルンフェルス、緑色凝灰岩、頁岩、黒曜石、砂岩が組成されている。



第126図 第4文化層 B区 石材別重量グラフ

4号ブロック (第134・136図) B区の北西壁付近に遺物が集中するブロックで、黒色頁岩の石器群が組成される。他の石材にはチャート、ホルンフェルス、黒色頁岩、黒曜石、頁岩、緑色凝灰岩もみられる。ナイフ形石器、スクレイパー、石刃、石核が組成され、石刃の接合資料も2個体得られている。

5号ブロック (第134・137図) B区中央部に少量の遺物が集中しており、ホルンフェルスのスクレイパー2個体が出土している。

6号ブロック (第133・137図) B区の東側にまとまりが見られ、西に向かって散漫になる。チャートが主体で、接合資料も1個体得られている。黒曜石、黒色頁岩、頁岩、ホルンフェルス、砂岩も含まれており、ナイフ形石器、スクレイパー、錐形石器が組成されている。

3. D区

ブロック外 (第129・145図) ハードルーム中から単独で尖頭器が1点検出されている。

(2) 出土遺物

1. A区

A区から出土した遺物は、ナイフ形石器3点(第141図135~137)、スクレイパー1点(第141図138)、部分加工剥片4点(第141図139・141~143)、使用痕剥片1点(第141図140)、石核2点、剥片35点、碎片1点、礫111点、計158点である。ツール9点、デビタージュ38点で、ツールの比率が19%と高い。

135(第141図)はナイフ形石器である。左側縁の急斜度剥離による加工は対向方向の調整が観察される。右側縁は表面に平坦な調整を施し、背面側から連続的に微細な調整を加えて作り出している。素材は横長剥片で、打面と考えられる原礫面を残すが、バルブは平坦な調整剥離によって除去されている。チャート製である。

136(第141図)はナイフ形石器である。両側縁に裏面から微細な調整加工を施し、平行する側縁を作り出している。左側縁の基部側には表面からの連続調整もあり、調整が錯向している。

素材には頁岩の非常に薄い横長剥片を用いている。

137 (第141図) はナイフ形石器である。鋭利な素材縁辺を残し、両側縁に裏面から連続的な調整加工を施し、切出状の刃部を作出している。先端部は折損している。打面は側縁の調整によって失われているが、縦長の幅広剥片を素材としていられる。チャート製である。

138 (第141図) はスクレイパーである。素材は粒顆の多い黒曜石で、原礫面打面から剥離された幅広剥片である。背面に平坦な原礫面を多く残しているため、腹面側の縁辺に連続的な調整加工を施し、刃部としている。

139 (第141図) は部分加工剥片である。縦長剥片の側縁に平坦な調整剥離痕が認められる。

140 (第141図) は使用痕剥片である。横長剥片の縁辺に微細な連続剥離痕が認められる。黒曜石製である。

141 (第141図) は部分加工剥片である。幅広剥片の打面部と側縁部に連続的な調整剥離が認められ、特に側縁部は対向調整になっている。チャート製である。

142 (第141図) は部分加工剥片である。縦長剥片の先端部に器軸と直交方向の急斜度調整加工を施している。また、側縁部には対向方向の剥離痕も観察できる。チャート製である。

143 (第141図) は部分加工剥片である。原礫面打面から剥離した横長剥片を素材としている。一次剥離面と主剥離面のなす鋭利な刃縁に微細な剥離痕が認められる。

2. B区

B区から出土した遺物は、ナイフ形石器6点(第142図144~149)、スクレイパー5点[4個体](第142・143図150~152・154)、錐形石器1点(第142図153)、石刃6点(第143図155~157)、石核6点(第143・144図158~160)、剥片60点、碎片1点、礫75点、計160点である。ツール12点、デビタージュ73点で、ツールの比率が16%と非常に高い比率で含まれている。

144 (第142図) はナイフ形石器である。非常に薄く小型であるが、二側縁に連続調整加工を行うことによって切出状の刃部を作り出している。緑色凝灰岩の小型剥片を素材としている。

145 (第142図) はナイフ形石器である。非常に薄く小型で、二側縁加工を施し、丸みを帯びた素材縁辺を切出状の刃部としている。打面部が折損していると考えられる。緑色凝灰岩の小型剥片を素材としている。

146 (第142図) はナイフ形石器である。先断形の截頂石刃とも呼ばれる先端部に調整を施した部分加工のナイフ形石器である。素材は、白く風化した黒色頁岩の縦長剥片であるが、背面構成から、特に石核稜調整剥片であったと考えられる。

147 (第142図) はナイフ形石器である。尖鋭な先端と基部を持つ二側縁加工のナイフ形石器で、先端部を欠損している。左側縁の先端部は、稜上からの対向剥離によって調整されている。

白く風化した黒色頁岩の石刃を素材としている。

148 (第142図) はナイフ形石器である。鋭先先端と基部を持つ二側縁加工のナイフ形石器で、先端部を欠損している。背面に原礫面を残した白く風化した黒色頁岩の石刃を素材としており、159・160 (第144図) のような石核から剥離されたものと考えられる。

149 (第142図) はナイフ形石器である。一側縁を急斜度の連続剥離で調整加工しており、裏面の調整加工はバルブ除去を目的としたものと考えられる。黒曜石製。

150 (第142図) はスクレイパーである。甲高の幅広剥片に連続的に急斜な調整剥離を施している。チャート製である。

151 (第142図) はスクレイパーである。剥片の端部に急斜な調整剥離を行うによって円刃を作り出している。裏面は節理面であり、石刃製作に伴って節理方向に割れた幅広の剥片が素材となっていることが分かる。石材は黒色頁岩で、白く風化している。

152 (第142図) はスクレイパーである。平坦な剥離面打面を広く残す甲高の幅広剥片を素材としており、素材の先端に急斜な連続剥離加工を行っている。ホルンフェルス製。

153 (第142図) は錐形石器である。原礫面打面から剥離された剥片の先端部に向かって、両側縁を抉るように調整加工している。調整によって作り出された先端部は節理面であるが、突出部が存在したものの、石の構造によって折損したのと考えられる。

154 (第143図) はスクレイパーである。平坦打面から剥離された幅広剥片の縁辺に連続的な急斜度剥離によって作出された刃部は、円刃である。器体中央部から器軸方向に折損しているが、節理構造に由来する折損で、素材剥離時に形成されたツインバルブが潜在割れとして残っていたものと考えられる。ホルンフェルス製である。

155 (第143図) は石刃である。本資料は非常に薄手で小型であり、147・148 (第142図) のようなナイフ形石器の素材と考えられる。よく調整された複剥離面打面から連続的に剥離されている。黒色頁岩製である。

156 (第143図) は石刃である。非常に薄い。背面構成から、打面転移、あるいは作業面の修正がなされた石核から連続的に剥離されたと考えられる。打面部は剥離時の同時割れによって失われていると考えられる。147・148 (第142図) のようなナイフ形石器の素材と考えられる。黒色頁岩製である。

157 (第143図) は石刃である。背面構成から、連続的に剥離されたことがうかがえ、打面は線状に近い。先端部には稜上調整があり、作業面調整が確認できる。チャート製である。

158 (第143図) は石核である。サイコロ状石核で、原礫面をのこしておらず、小型の剥片を多く剥離したとみられる。緑色凝灰岩製である。

159 (第144図) は石核である。単設の剥離面打面に打面調整を行っており、147・148 (第142

図)のようなナイフ形石器、155・156(第143図)のような石刃を剥離したと考えられる。小型の円礫が素材となっている。黒色頁岩製である。

160(第144図)は石核である。本資料も剥離面に打面調整を行っており、147・148(第142図)のようなナイフ形石器、155・156(第143図)のような石刃を剥離したと考えられるが、より幅広の石刃を多く作出した痕跡があり、原礫はより大きかったと見られる。黒色頁岩製。

3. D区

161(第145図)は尖頭器である。表裏両面の調整剥離によって非常に薄く成形されており、平面は木葉形、断面は平たいレンズ状を呈する。全面が調整剥離面で覆われているため、素材剥片の形状は推し量れない。基部は折損しているが、最大幅は器体中央部寄りにあるとみられる。なお、側面の欠損はガジリである。

(3) 接合資料

1. A区

接合資料77(第135・146図)はチャートの個体である。3号ブロックから出土した。求心的に剥片剥離されており、小型のナイフ形石器の素材となるものと考えられる。

2. B区

接合資料80(第137・146図)はホルンフェルスである。5号ブロックから出土した。平坦打面から剥離された幅広剥片の接合資料で、うち1点は端部に連続調整を施し、スクレイパーとしている。

接合資料81(第137・147図)はホルンフェルスである。5号ブロックから出土した。平坦打面から剥離された幅広剥片素材のスクレイパーである。1点のスクレイパーが節理構造に沿って縦に分割された資料である。

接合資料78(第136・147図)はチャートである。4号ブロックから出土した。打面調整を加えながら縦長の石刃状剥片を連続的に剥離している。縦長剥片を剥離したのち、下縁調整を行い、小型の縦長剥片を剥離した後、打面転移を行って不定形剥片も剥離されている。本資料の石刃を素材とするナイフ形石器は今回の発掘では検出されなかった。

接合資料82(第136・147図)は黒色頁岩である。4号ブロックから出土した。3点の石刃の接合資料で、うち2点は打面側が失われているが、同一あるいは近似する打面から剥離されていると考えられる。薄く小型の石刃の連続剥離を示す資料である。

表 32 第4文化層 母岩別器種一覧表

器種 母岩	ナイフ	イ スク レ	部分 加工	石 核	石 刃	剥 片	合 計
Ch-5			3			17	20
Ch-13				1		5	6
Ch-14				1		4	5
Ch-15					1	1	2
Ch-17						2	2
BSh-1	1			1	3	6	11
BSh-2	2			1		1	4
BSh-3		1			2		3
Ho-1		3				3	6
Gtu-2	2					3	5
合計	5	4	3	4	6	42	64

表 36 第4文化層 母岩別器種一覧表
(4号ブロック)

器種 母岩	ナイフ	イ スク レ	部分 加工	石 核	石 刃	剥 片	合 計
Ch-13				1		5	6
Ch-15					1	1	2
Ch-17						2	2
BSh-1	1			1	3	6	11
BSh-2	2			1		1	4
BSh-3		1			2		3
Ho-1						1	1
Gtu-2	2					3	5
合計	5	1		3	6	19	34

表 37 第4文化層 母岩別器種一覧表
(5号ブロック)

器種 母岩	ナイフ	イ スク レ	部分 加工	石 核	石 刃	剥 片	合 計
Ho-1		3				2	5
合計		3				2	5

表 33 第4文化層 母岩別器種一覧表
(1号ブロック)

器種 母岩	ナイフ	イ スク レ	部分 加工	石 核	石 刃	剥 片	合 計
Ch-5						1	1
合計						1	1

表 38 第4文化層 母岩別器種一覧表
(6号ブロック)

器種 母岩	ナイフ	イ スク レ	部分 加工	石 核	石 刃	剥 片	合 計
Ch-14				1		4	5
合計				1		4	5

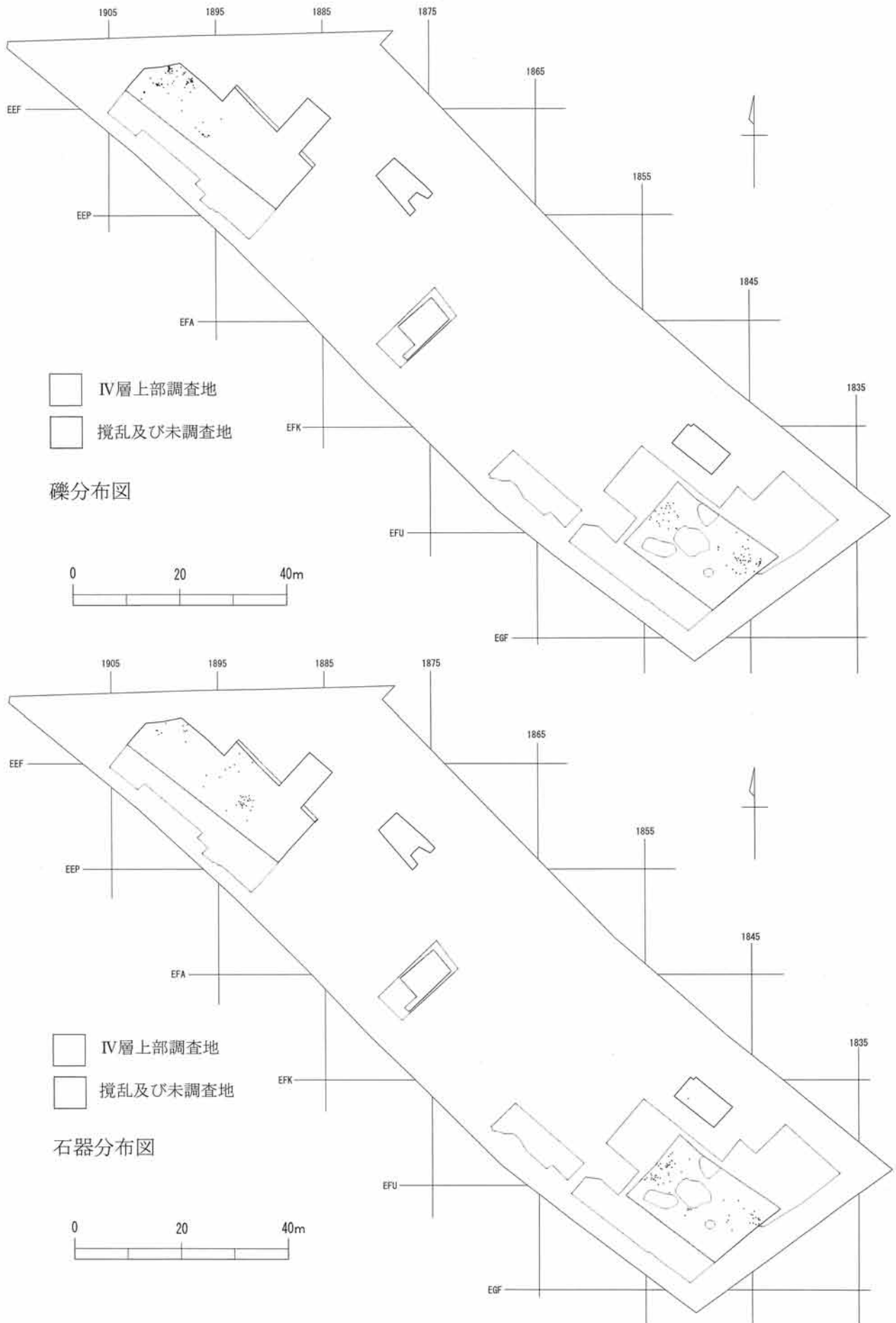
表 34 第4文化層 母岩別器種一覧表
(2号ブロック)

器種 母岩	ナイフ	イ スク レ	部分 加工	石 核	石 刃	剥 片	合 計
Ch-5			1				1
合計			1				1

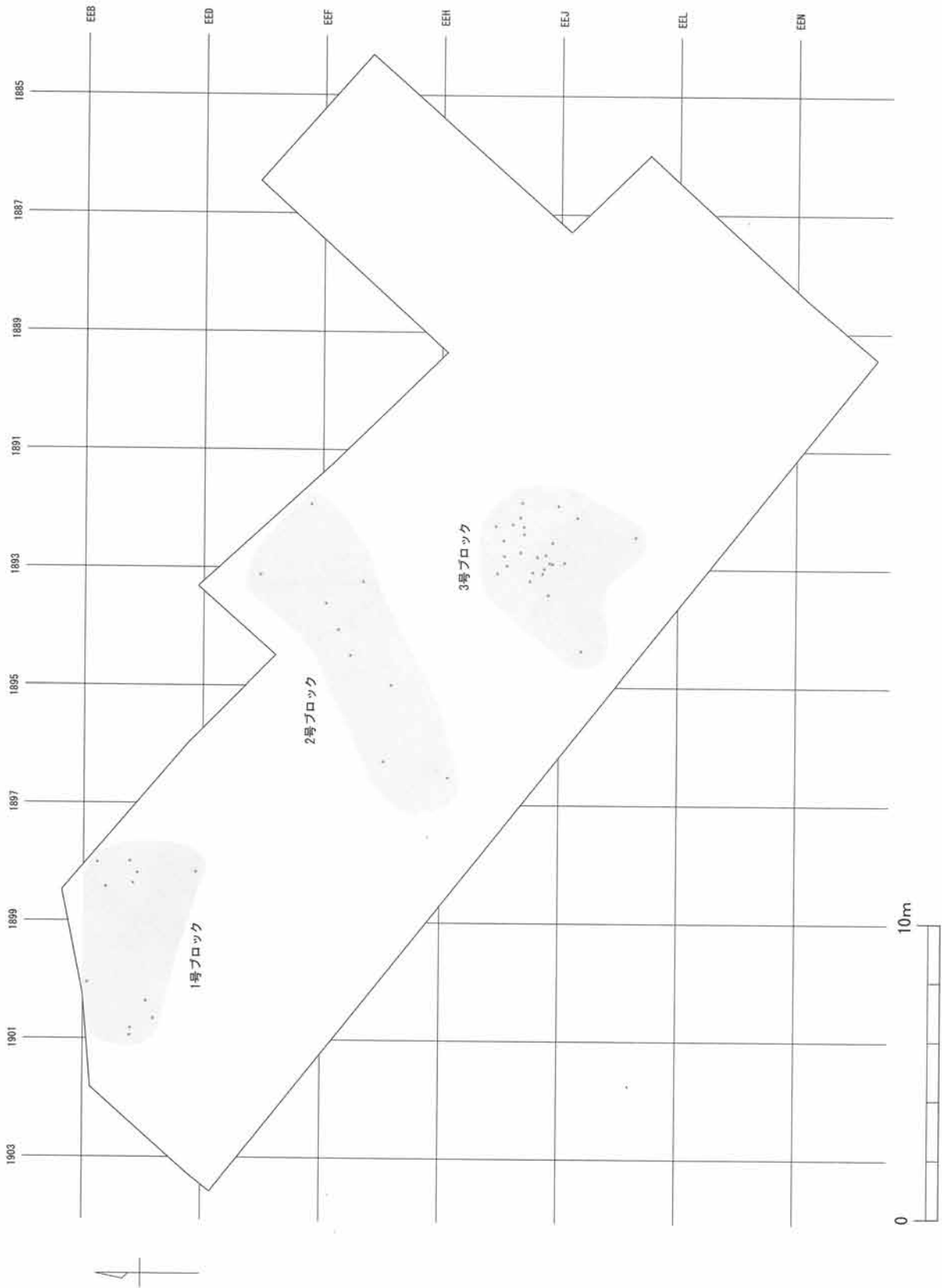
表 35 第4文化層 母岩別器種一覧表
(3号ブロック)

器種 母岩	ナイフ	イ スク レ	部分 加工	石 核	石 刃	剥 片	合 計
Ch-5			2			16	18
合計			2			16	18

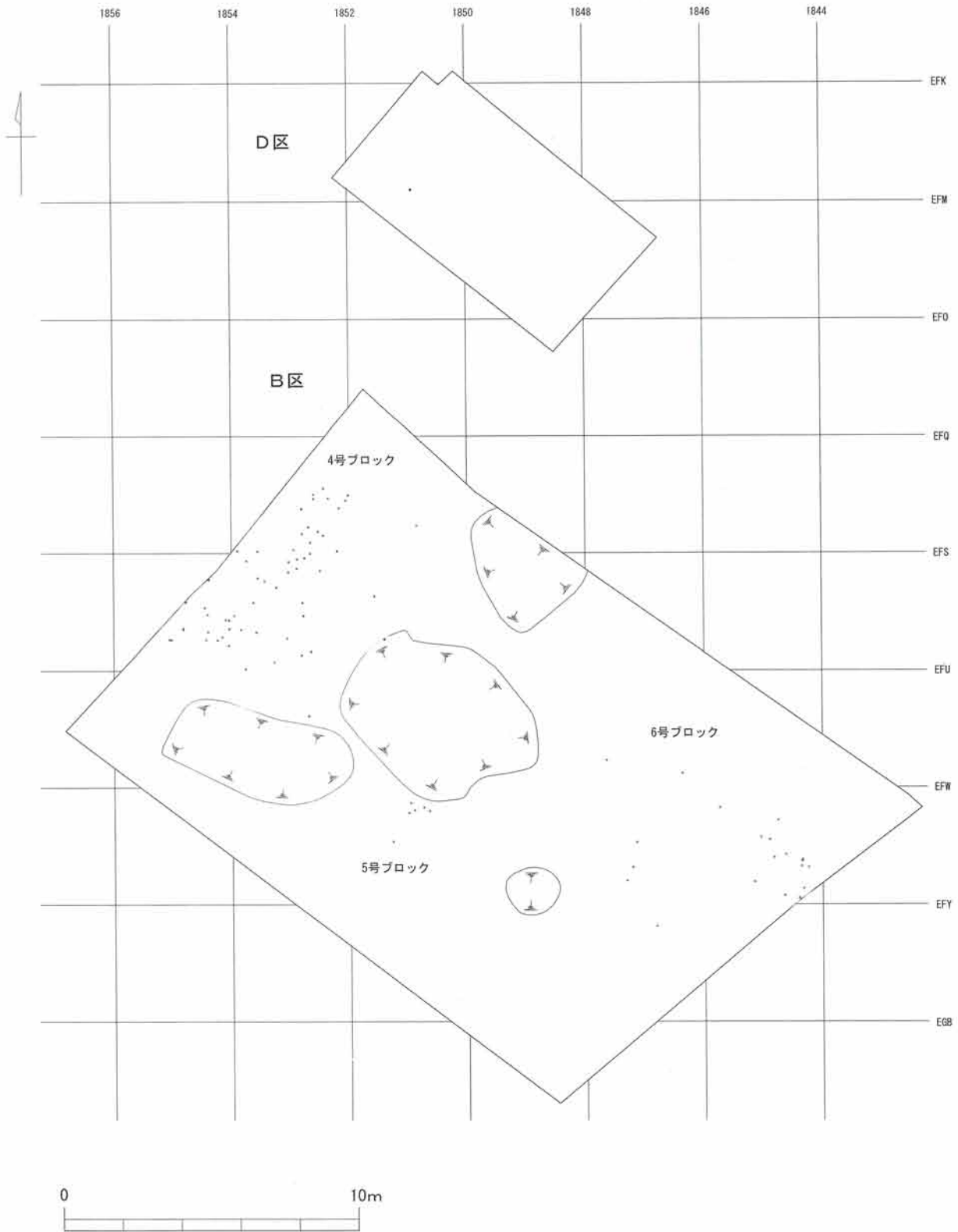
第三章 旧石器時代の調査



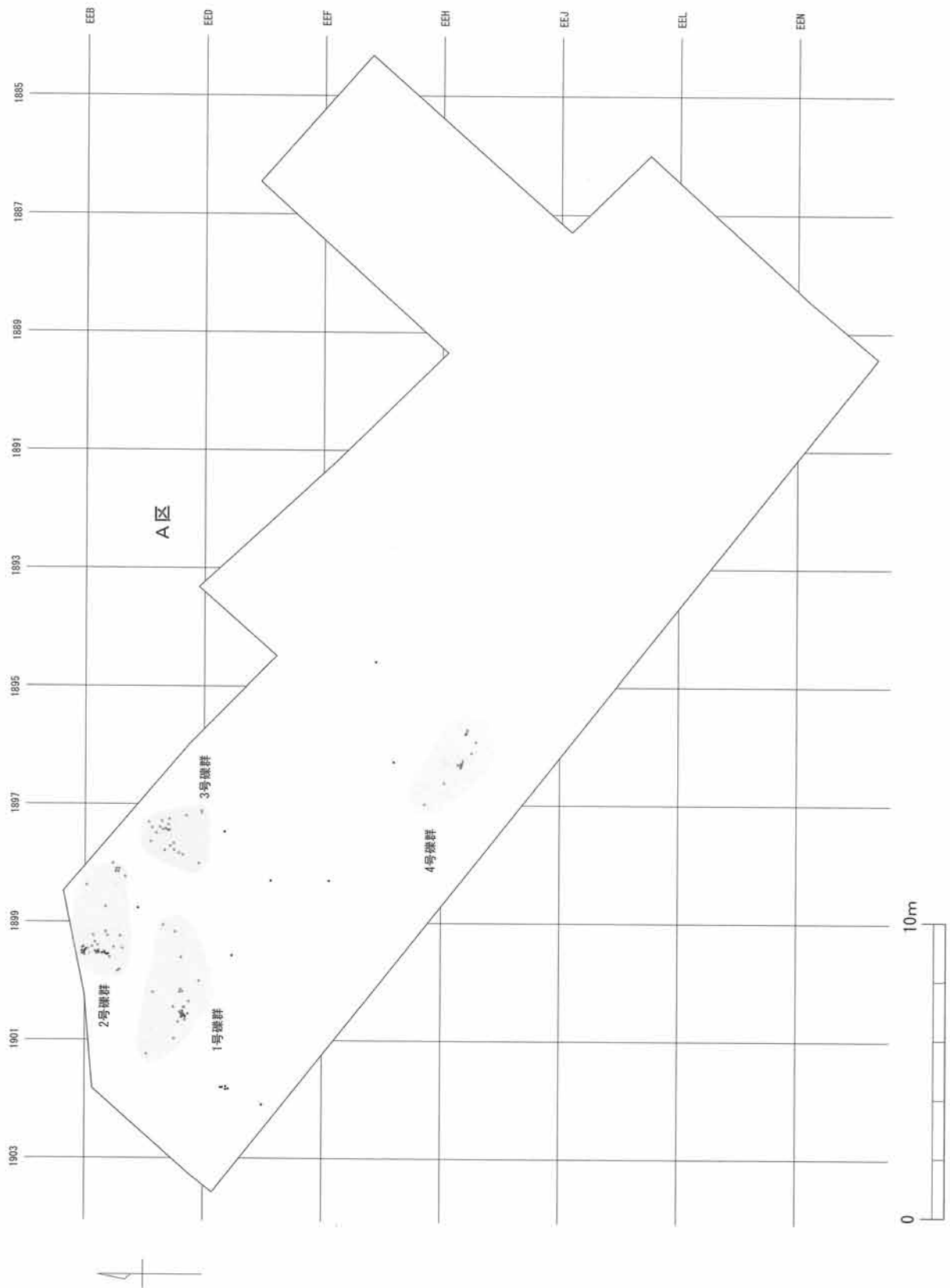
第127図 第4文化層 礫・石器分布図



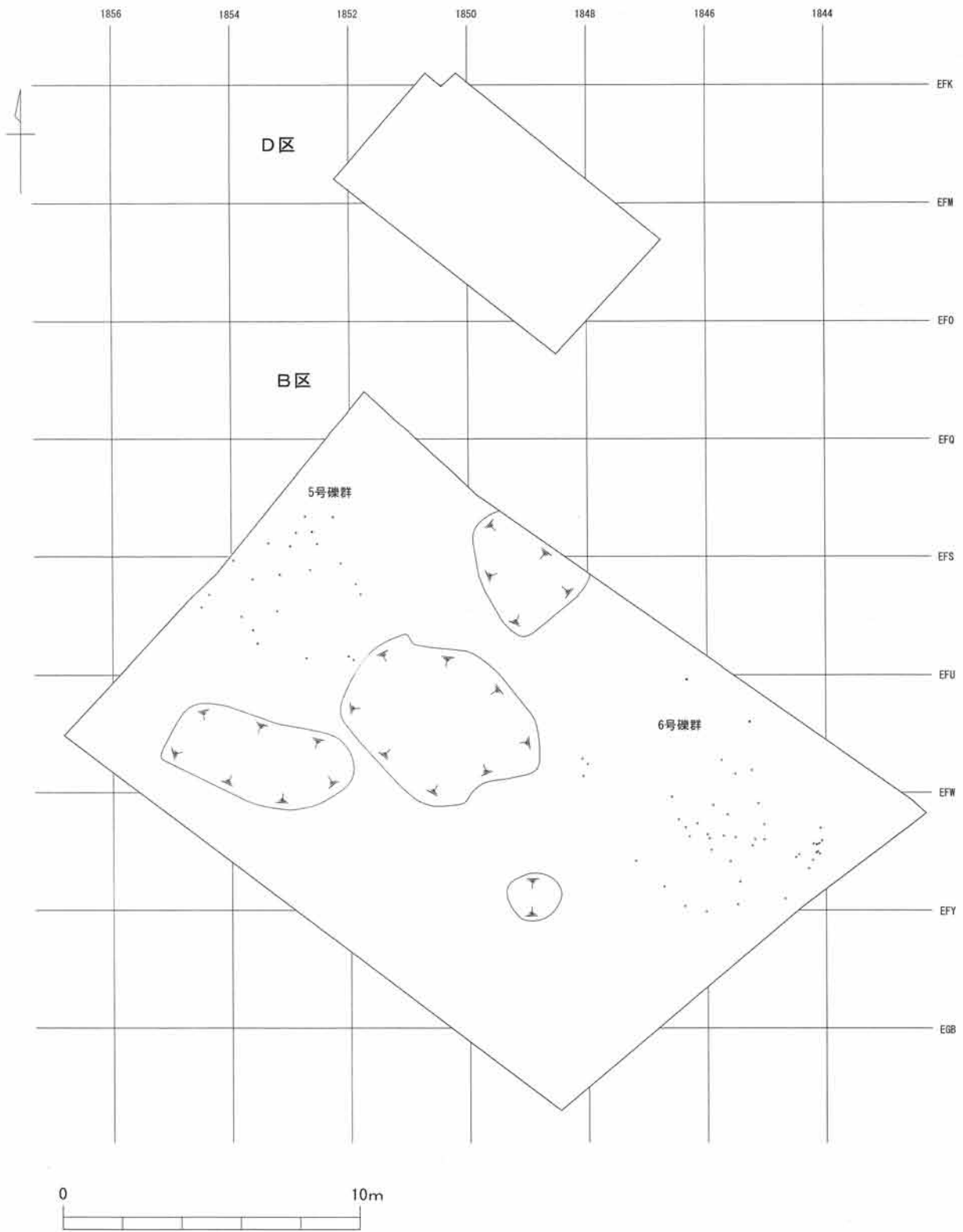
第128図 第4文化層 A区 ブロック概念図



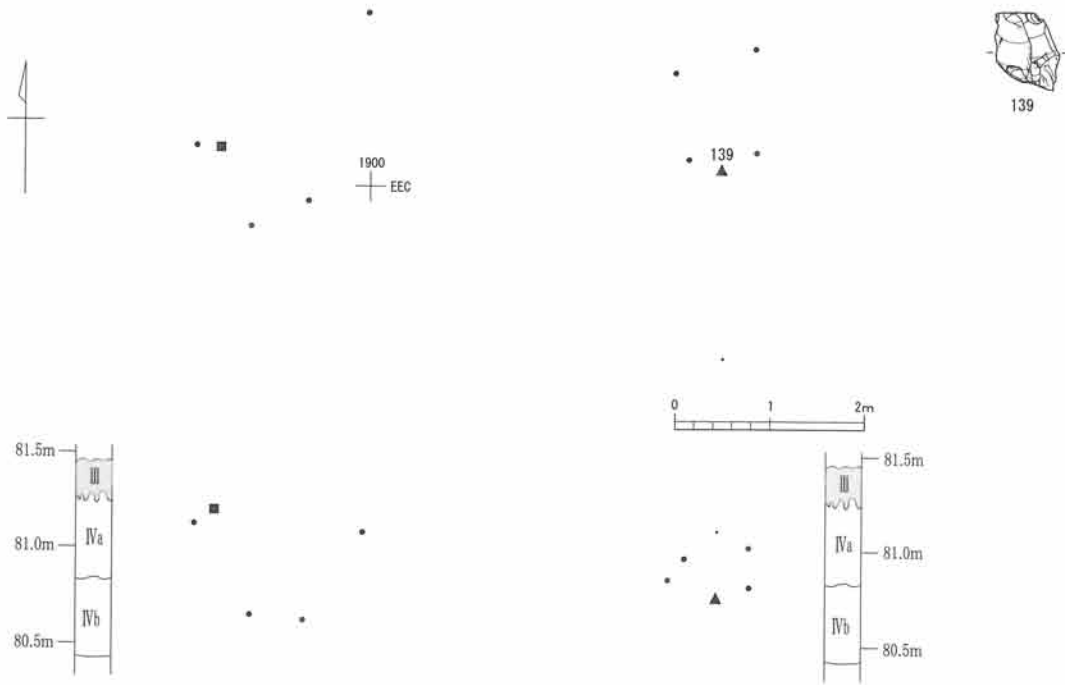
第129図 第4文化層 B・D区 ブロック概念図



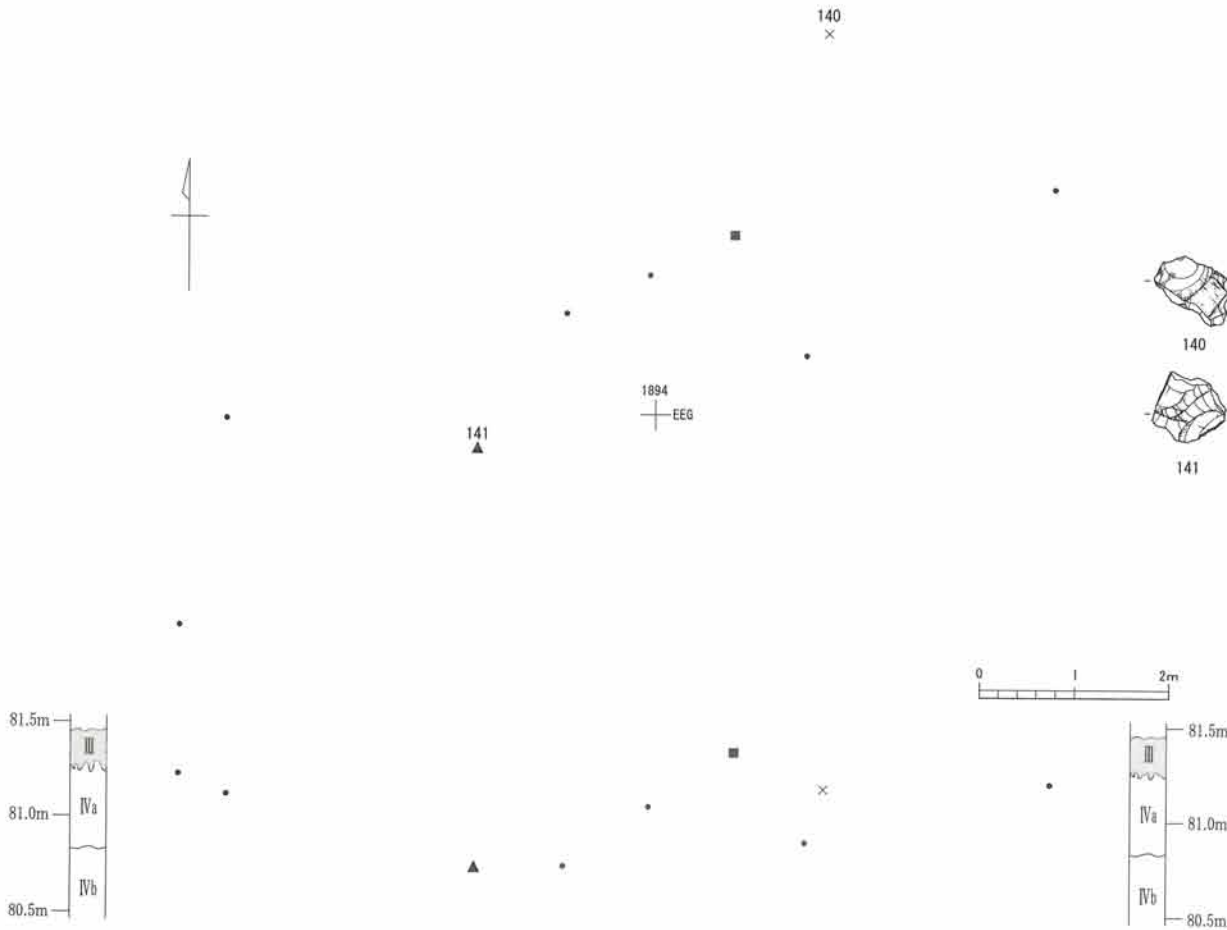
第130图 第4文化層 A区 燧群概念图



第131図 第4文化層 B・D区 礫群概念図

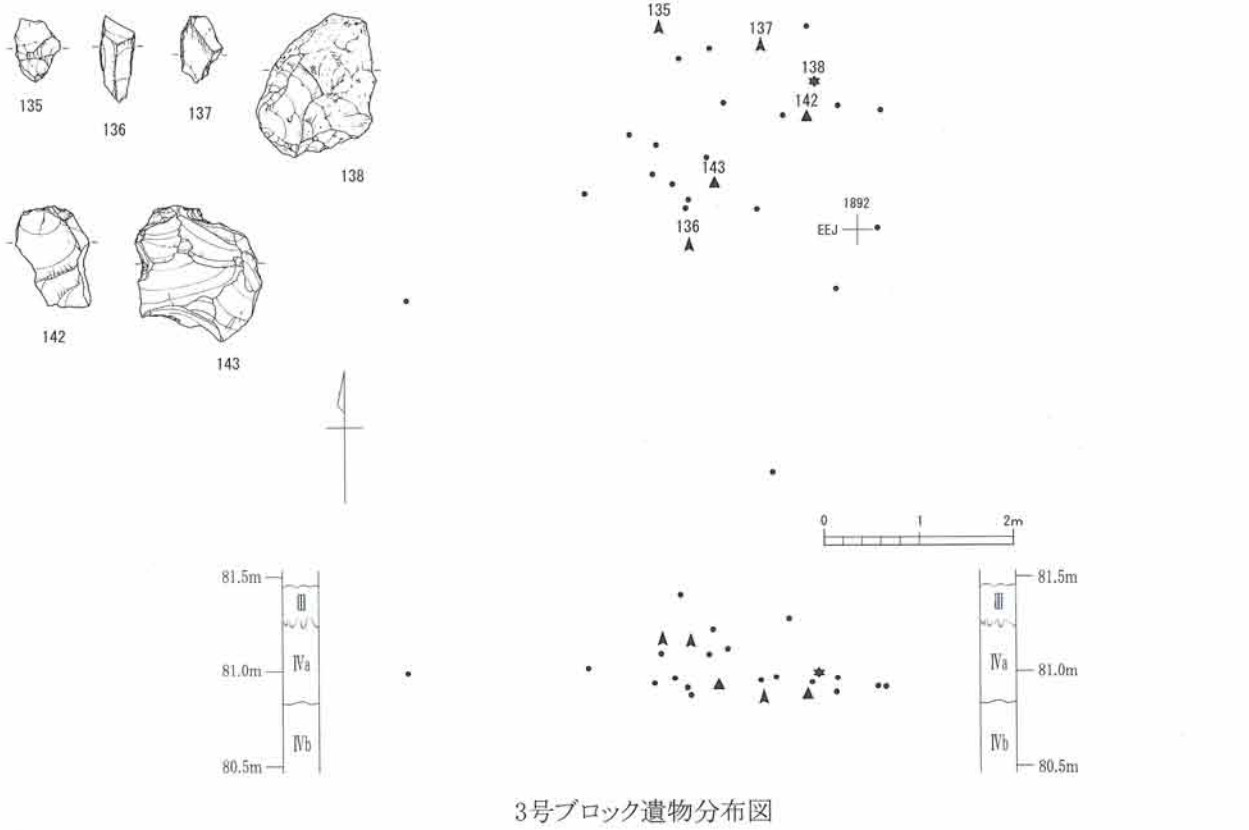


1号ブロック遺物分布図

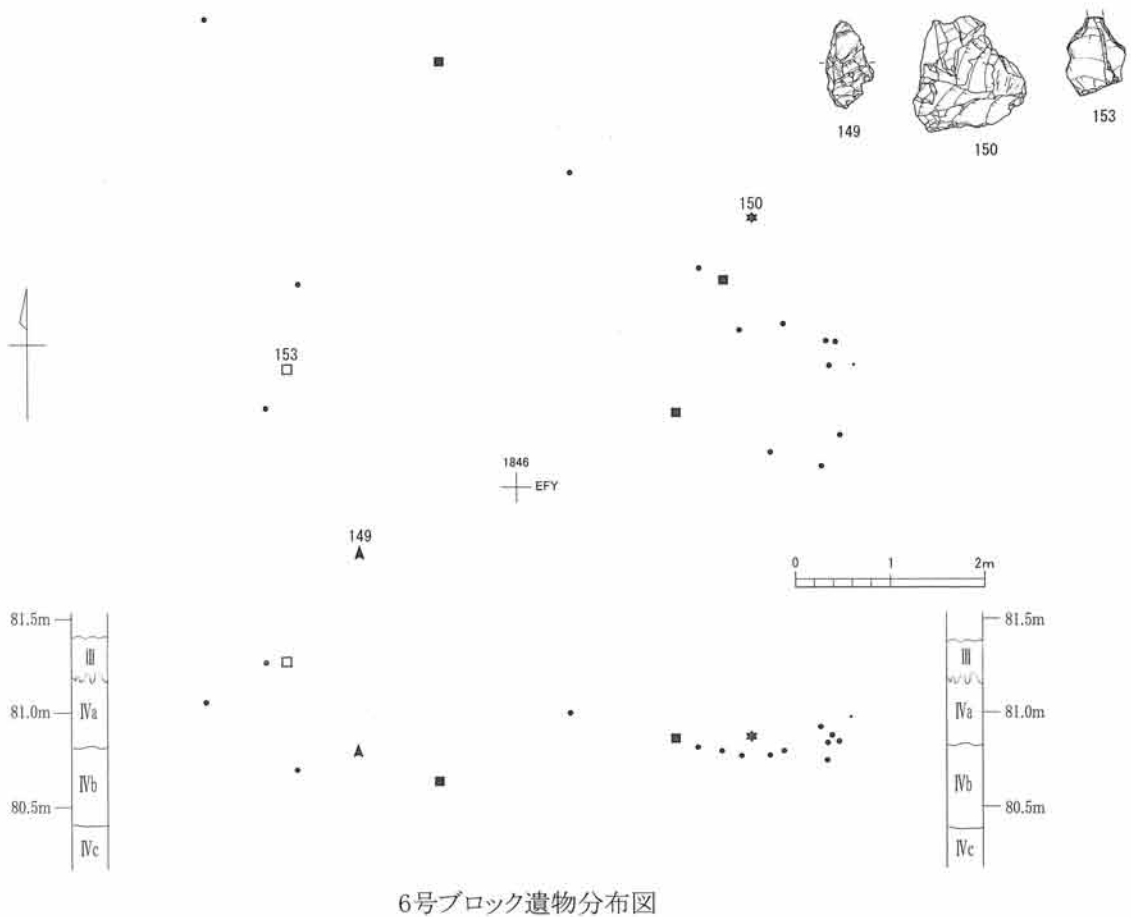


2号ブロック遺物分布図

第132図 第4文化層 ブロック別遺物分布図 (1)

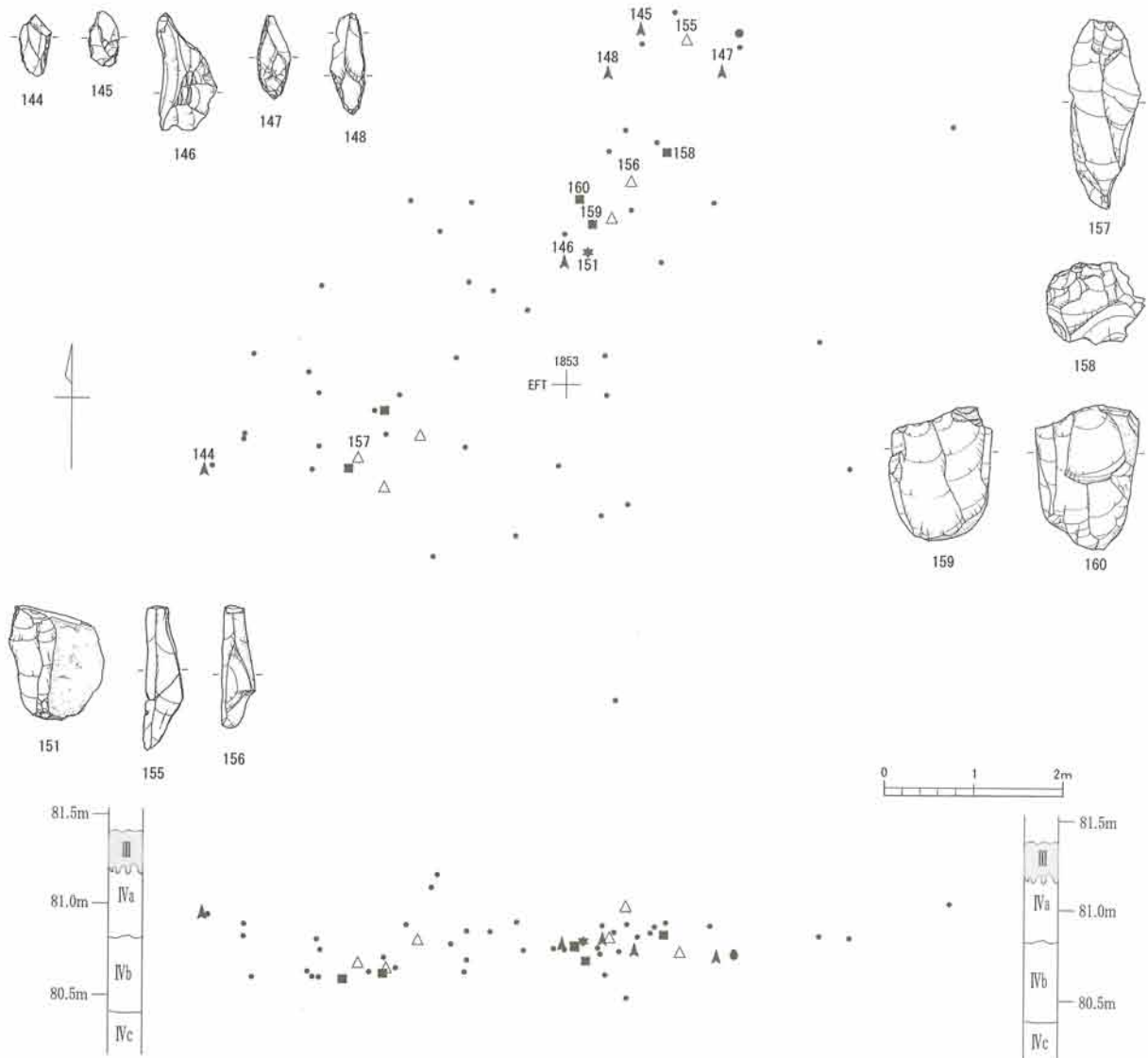


3号ブロック遺物分布図

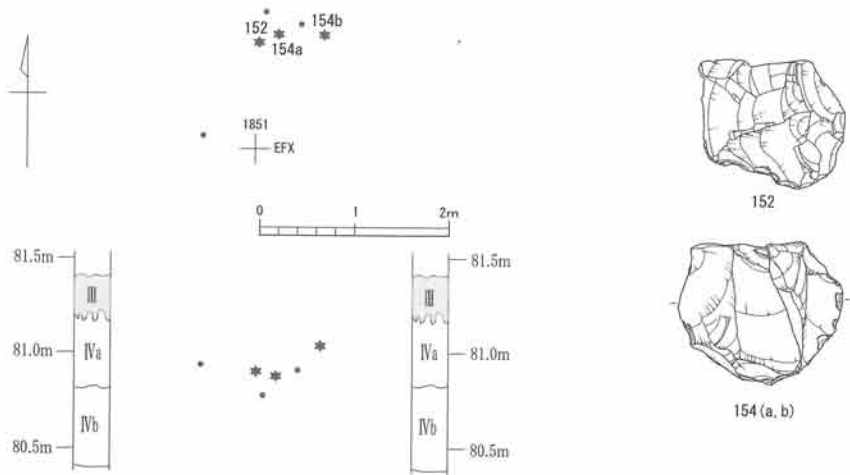


6号ブロック遺物分布図

第133図 第4文化層 ブロック別遺物分布図 (2)

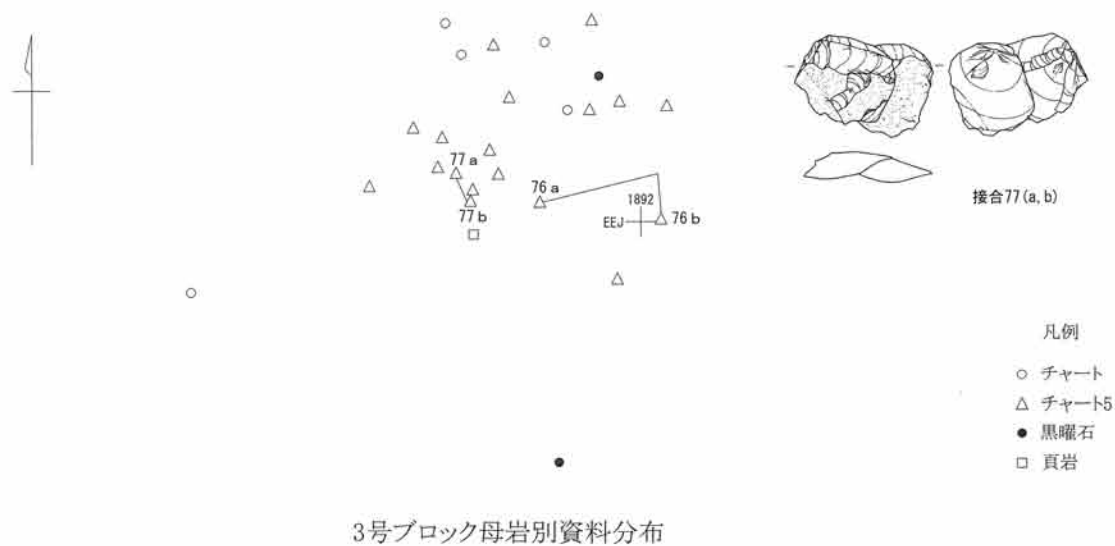
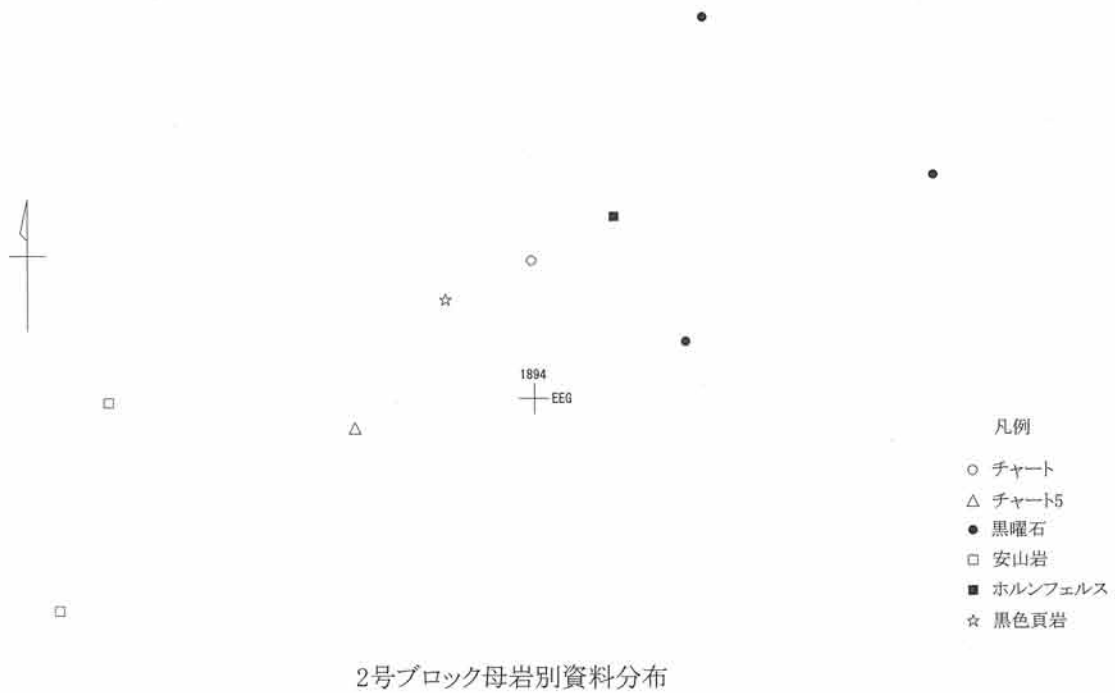


4号ブロック遺物分布図

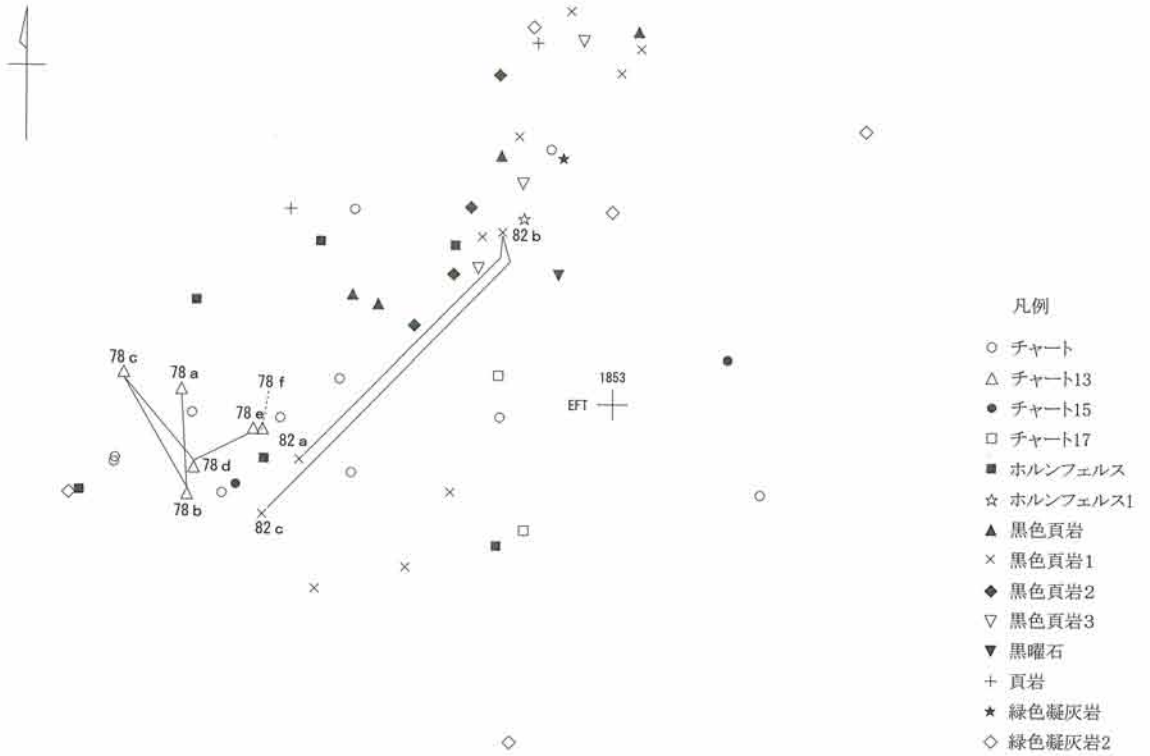
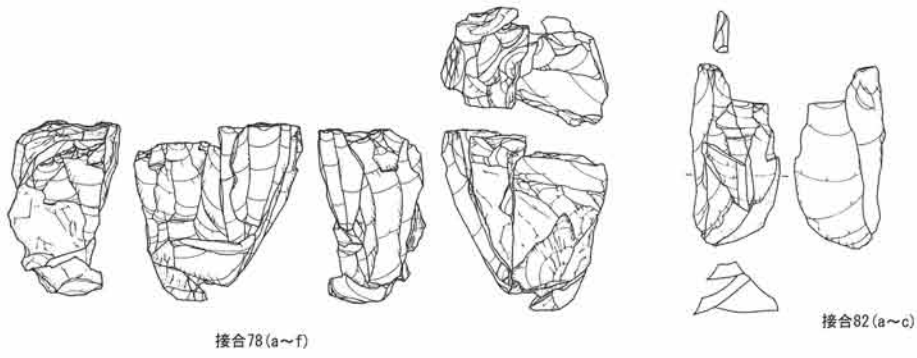


5号ブロック遺物分布図

第134図 第4文化層 ブロック別遺物分布図 (3)

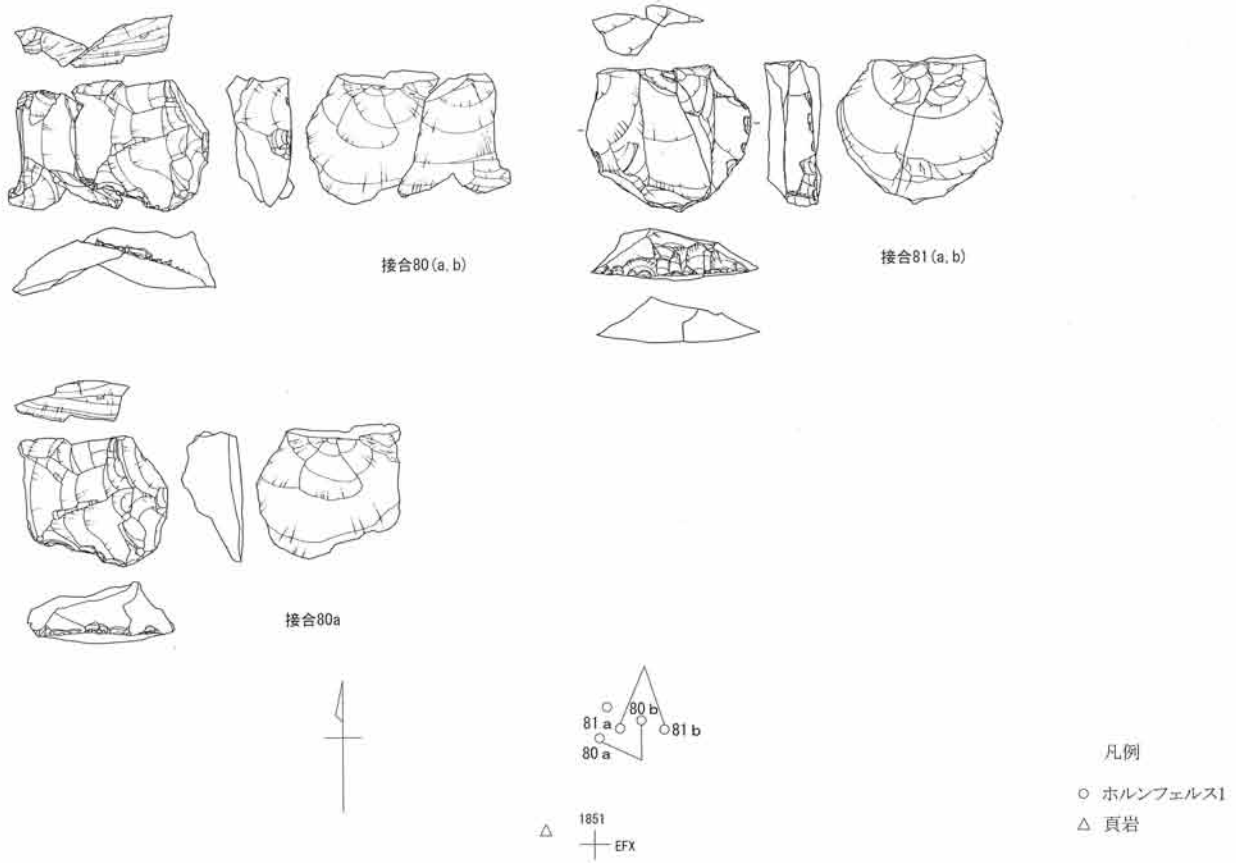


第135図 第4文化層 母岩別資料分布図 (1)

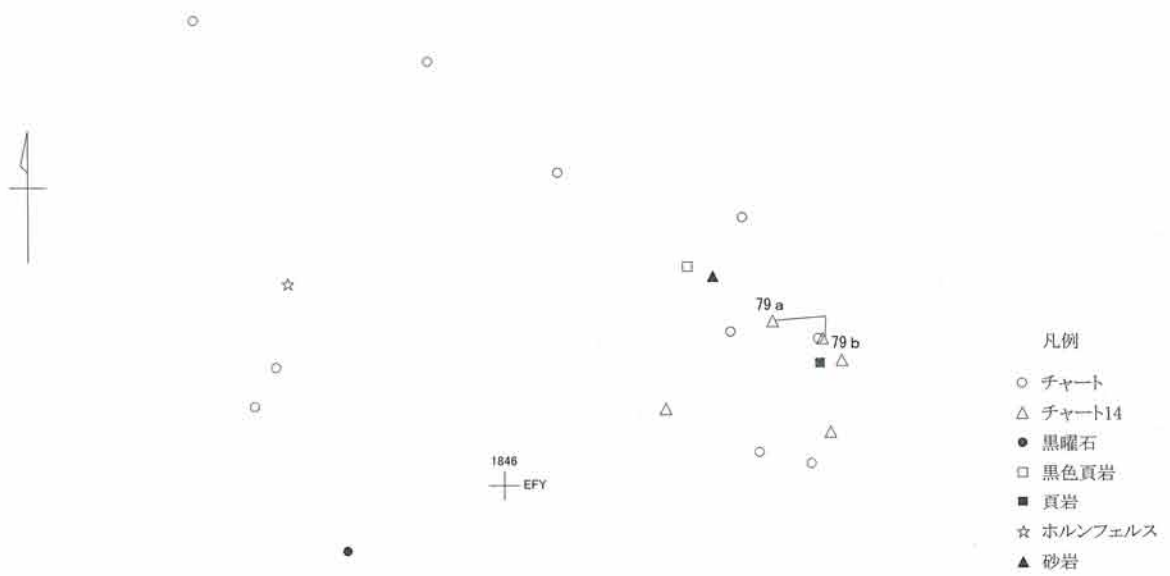


4号ブロック母岩別資料分布

第136図 第4文化層 母岩別資料分布図 (2)



5号ブロック母岩別資料分布

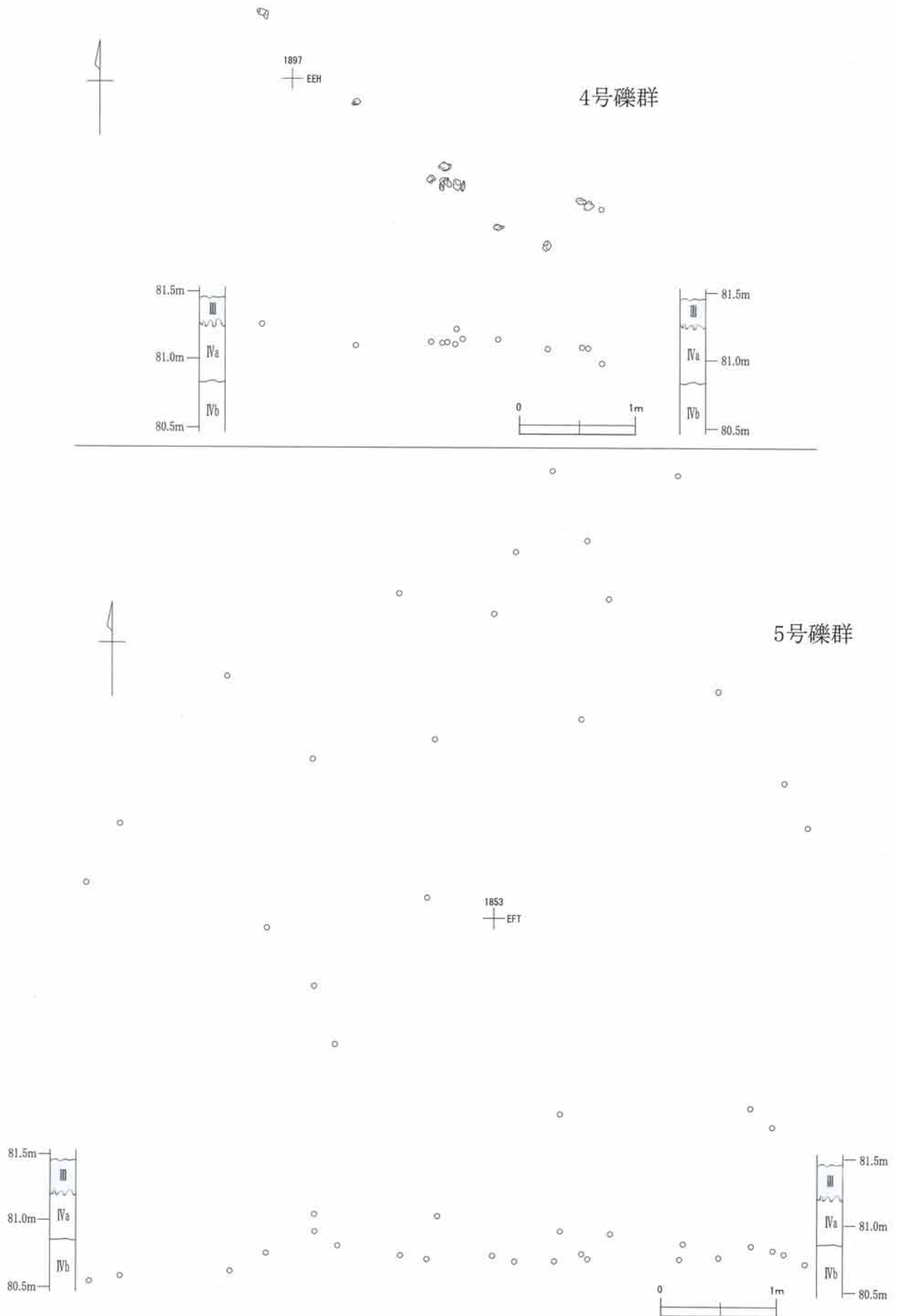


6号ブロック母岩別資料分布

第137図 第4文化層 母岩別資料分布図 (3)



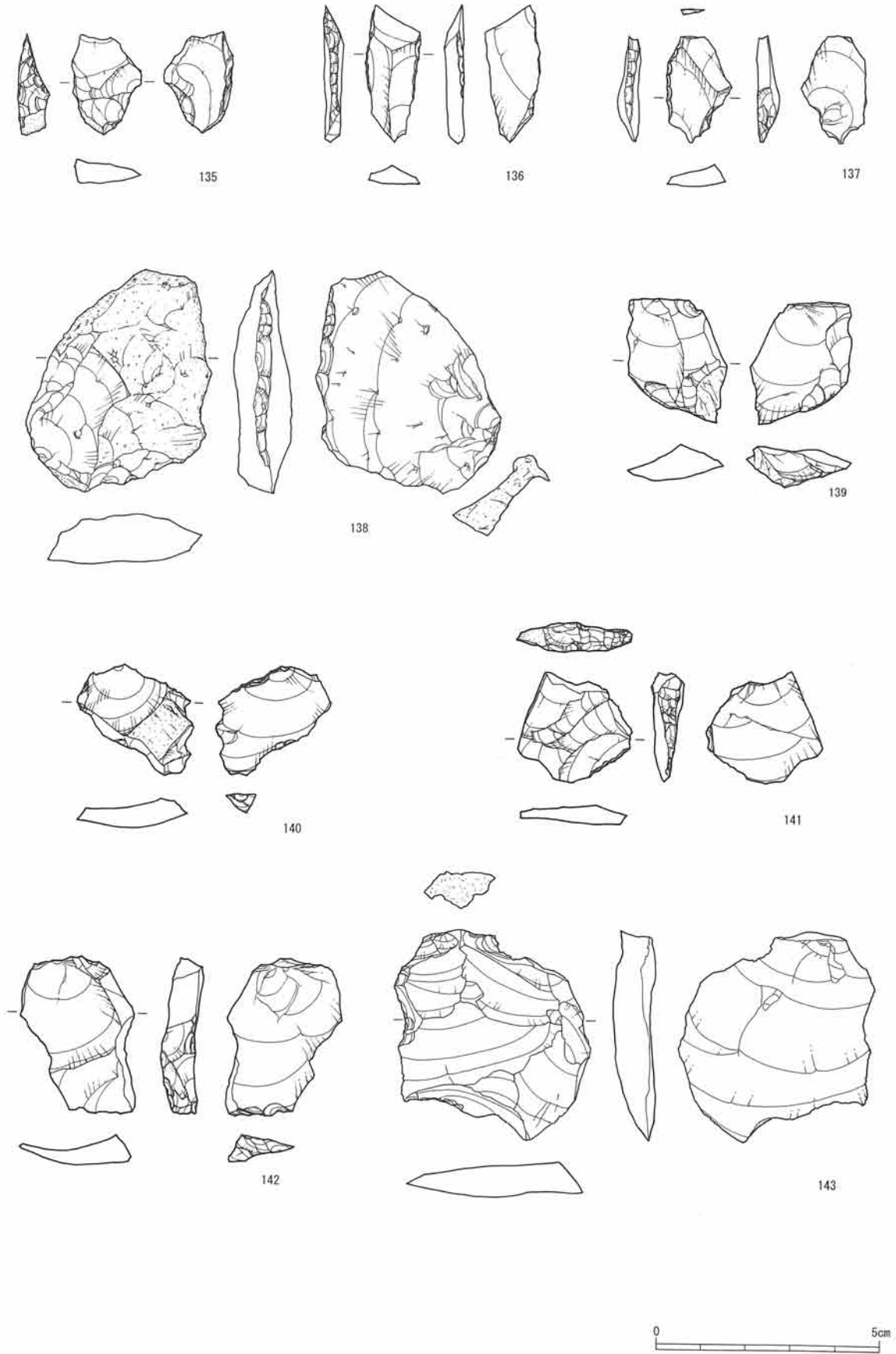
第138図 第4文化層 礫群実測図(1)



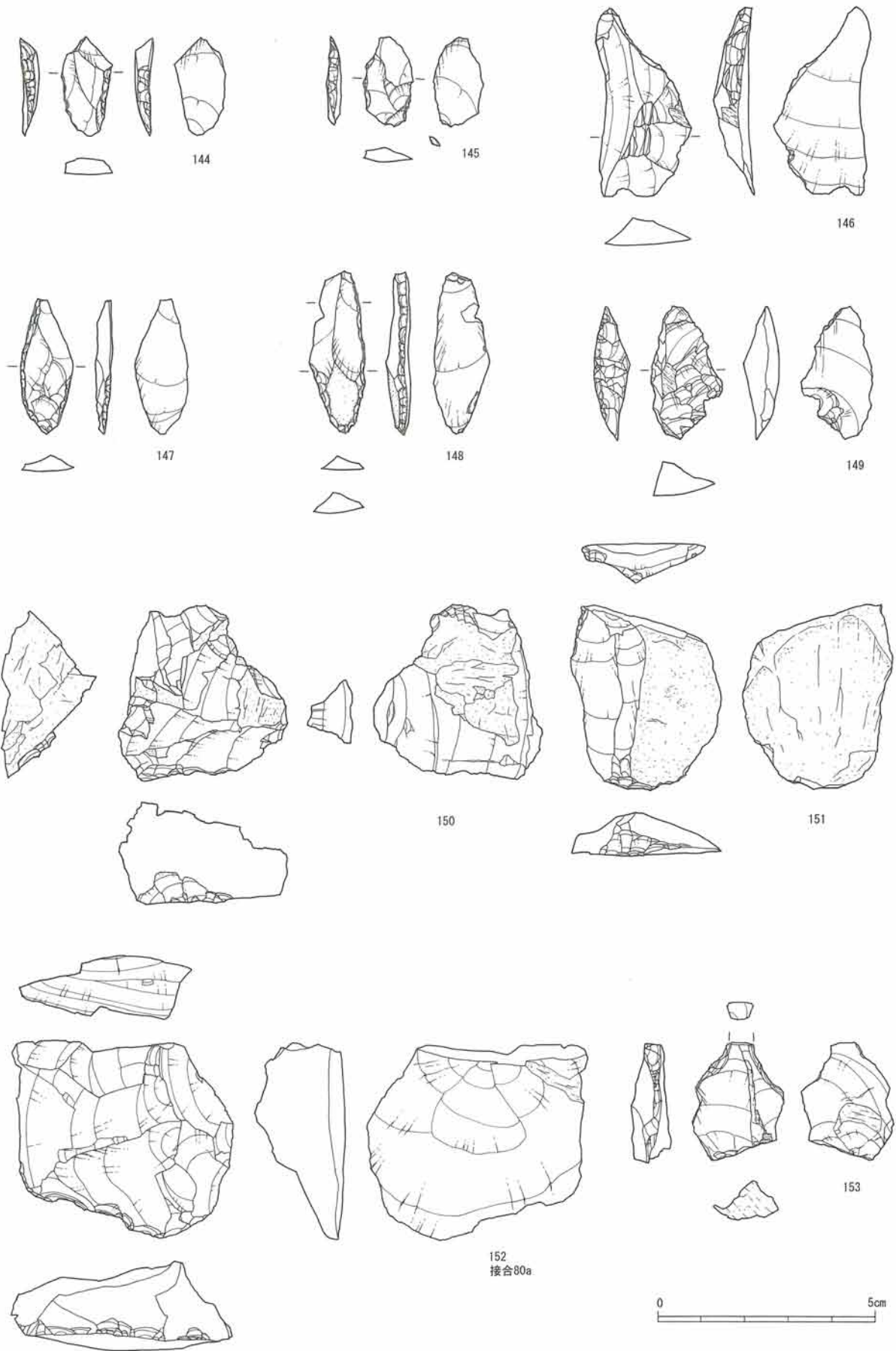
第139図 第4文化層 礫群実測図 (2)



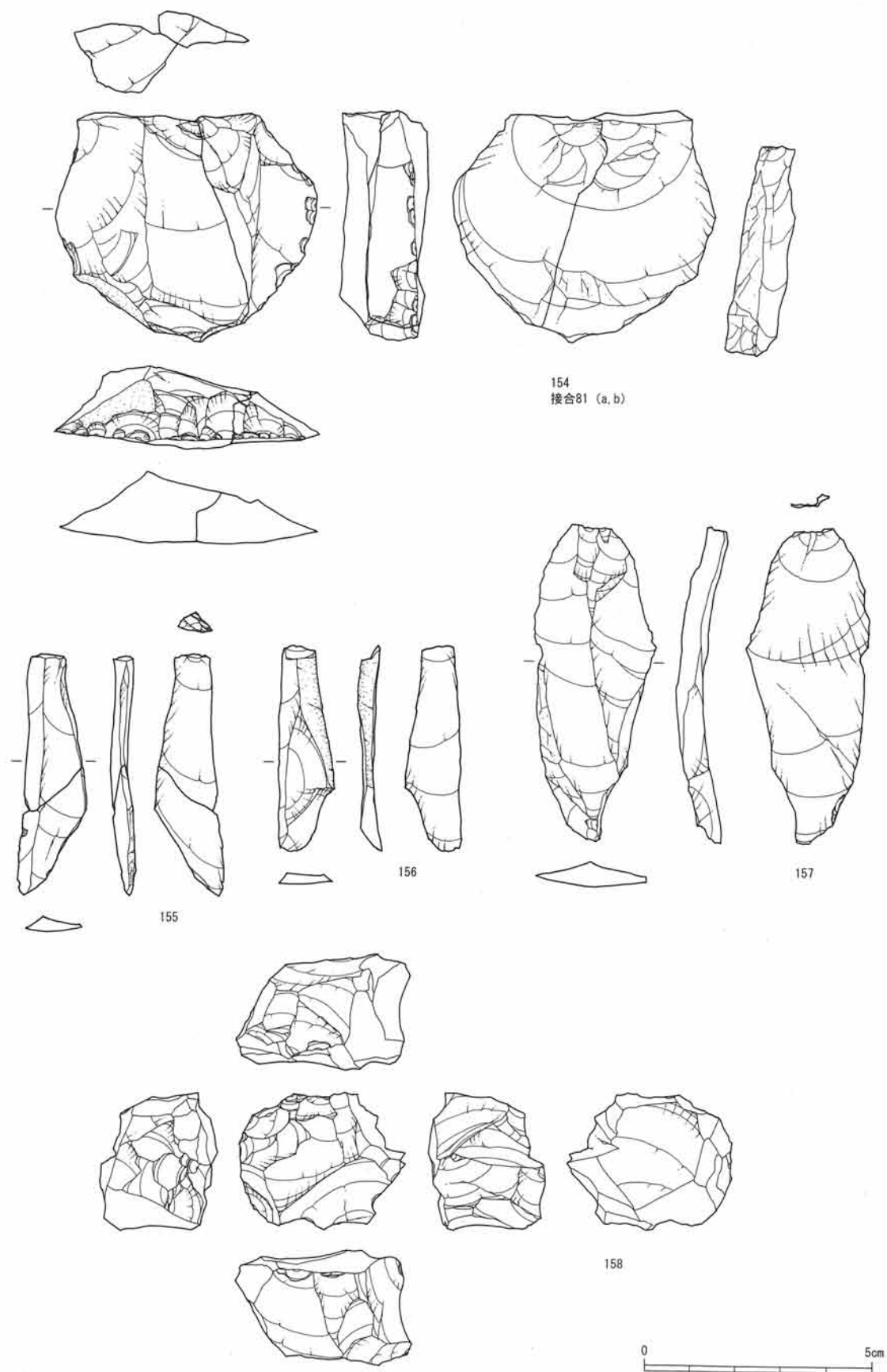
第140図 第4文化層 礫群実測図 (3)



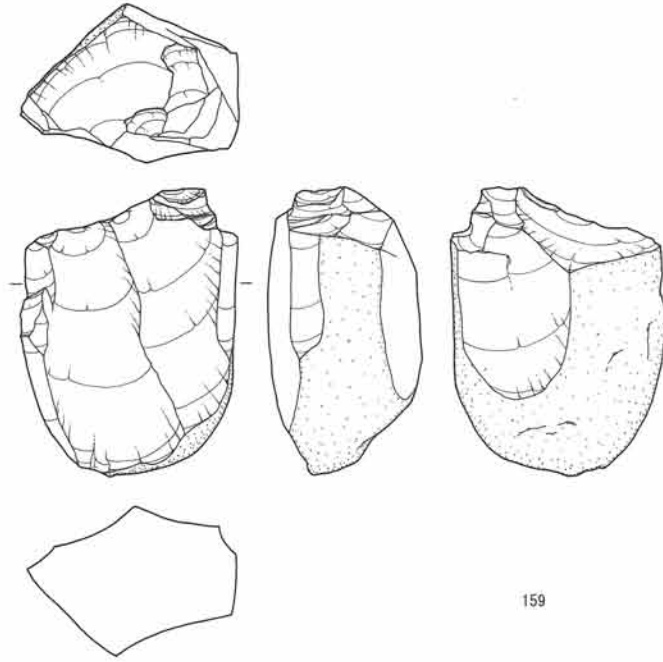
第141図 第4文化層 A区出土石器



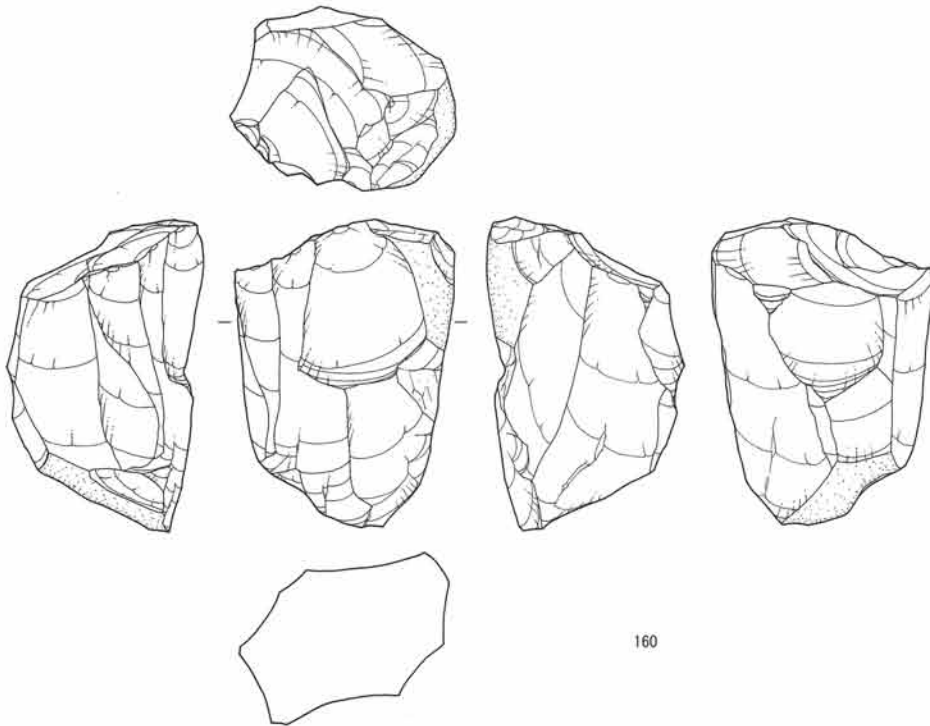
第142图 第4文化層 B区出土石器 (1)



第143図 第4文化層 B区出土石器 (2)



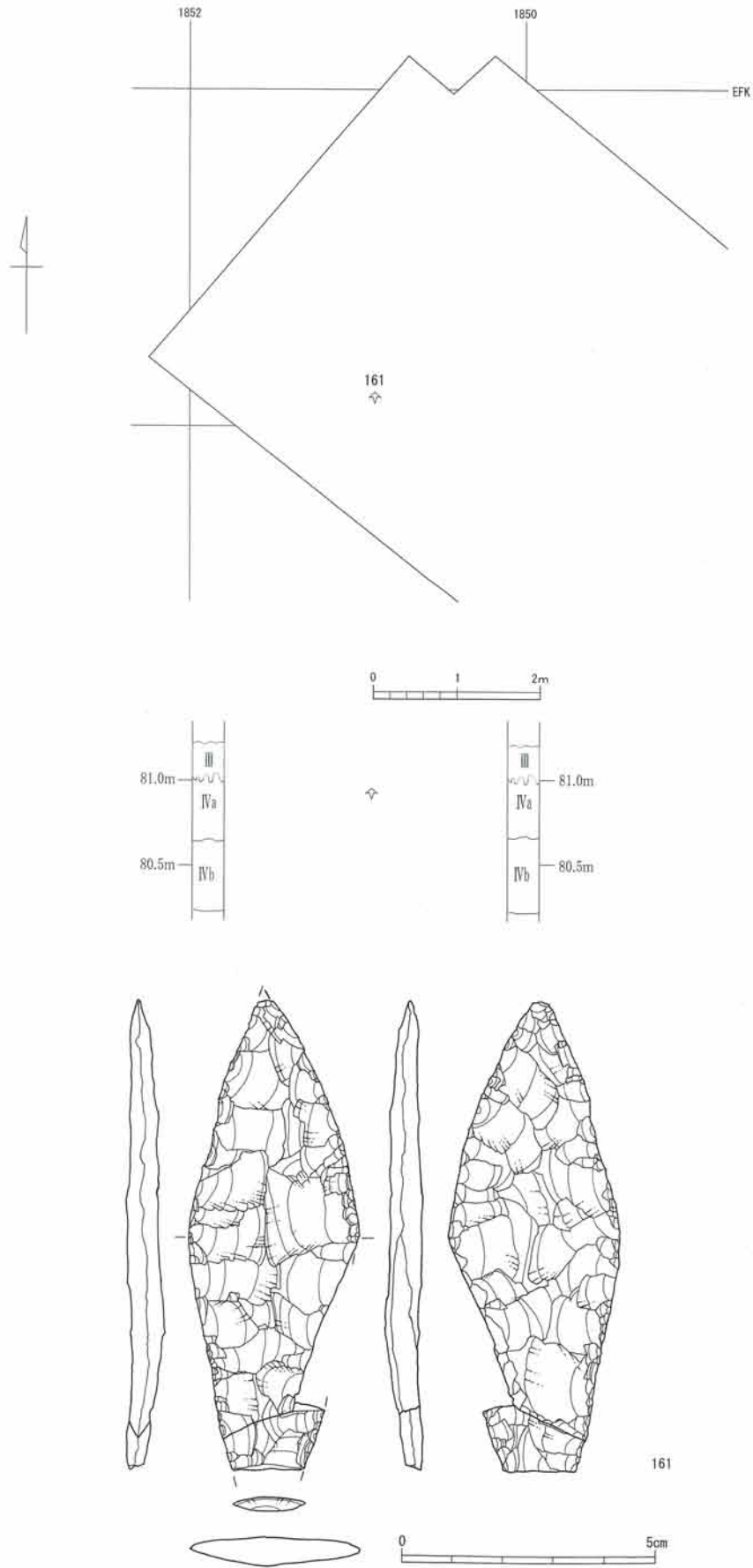
159



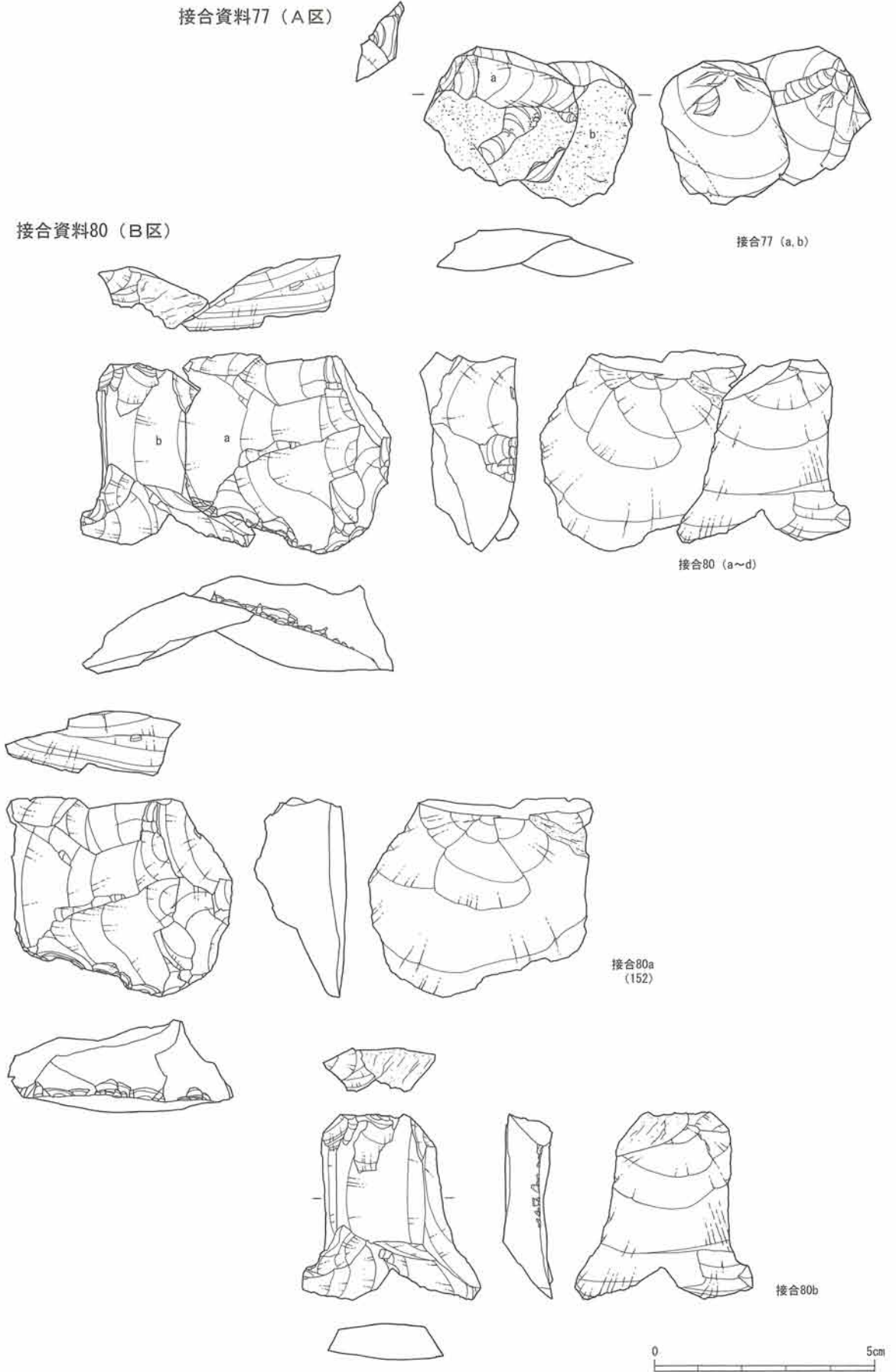
160



第144図 第4文化層 B区出土石器 (3)

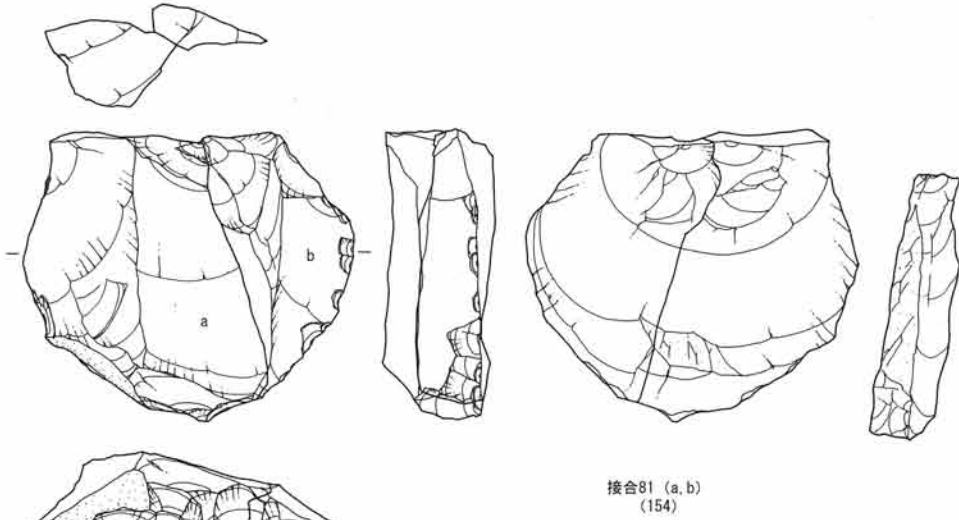


第145図 第4文化層 D区石器出土平断面図



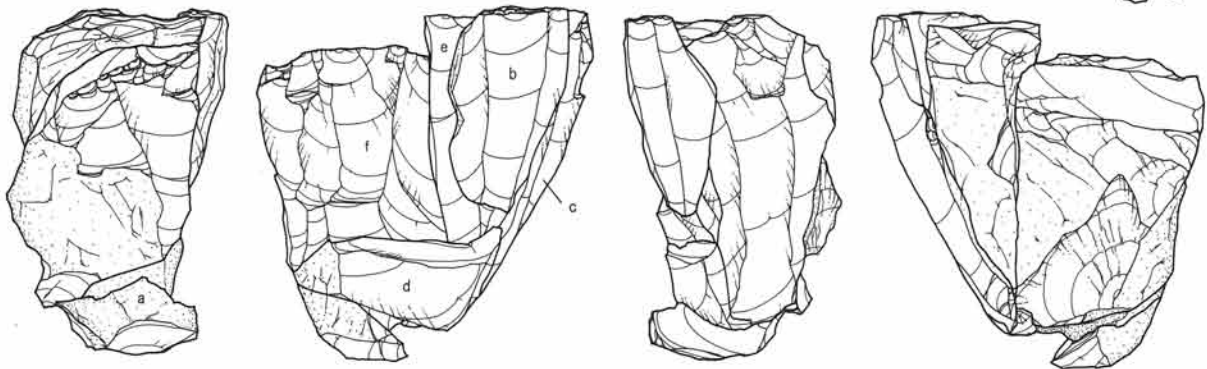
第146図 第4文化層 A・B区接合資料

接合資料81



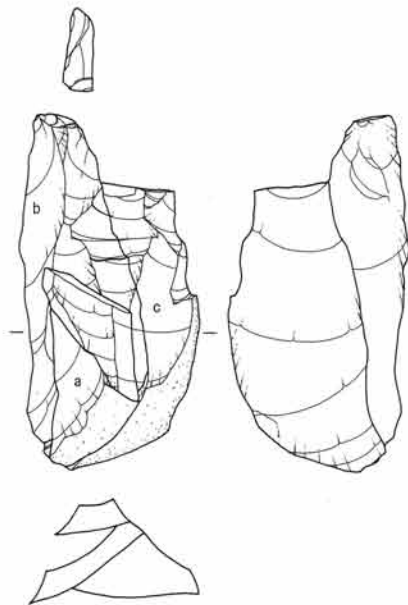
接合81 (a,b)
(154)

接合資料78



接合78 (a~f)

接合資料82



接合82 (a~c)



第147図 第4文化層 B区接合資料

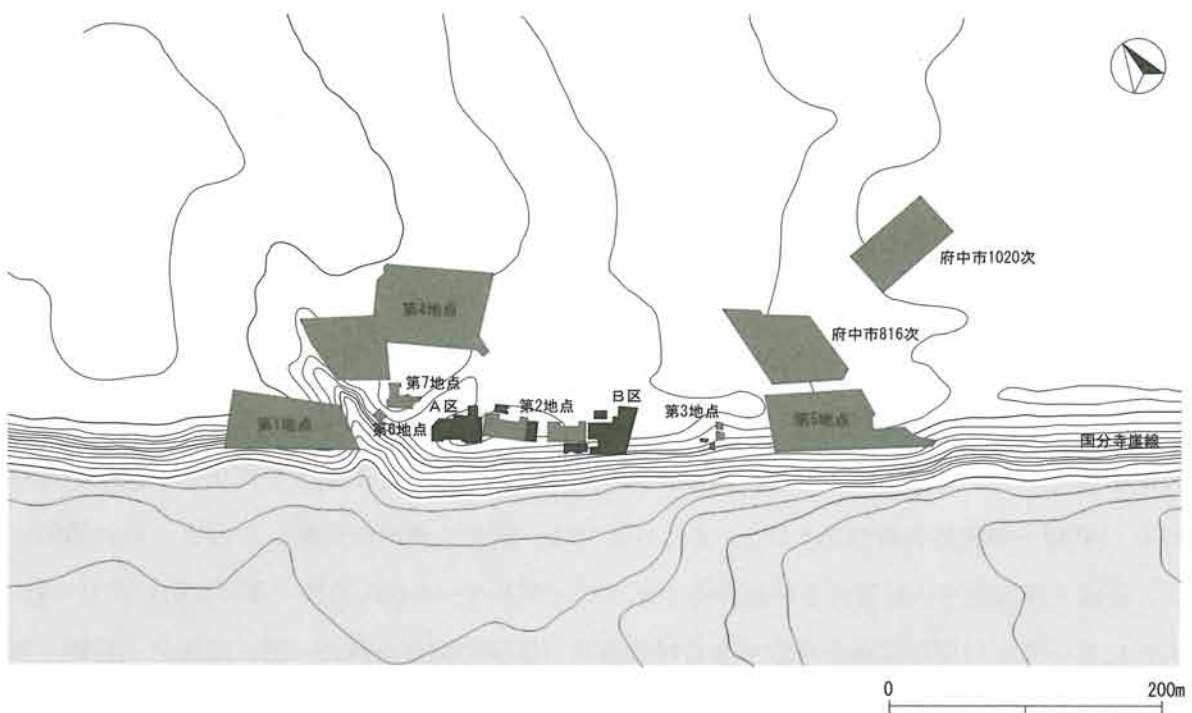
第6節 小 結

多摩蘭坂遺跡は1977年の調査（安孫子・堀井他1980）以来、個人開発等に伴う発掘調査が行われてきた。遺跡の範囲は国分寺崖線に沿って約600mにもわたっており、今回の第8地点も、1982年に調査された第2地点を挟み込む形で約80mの距離を隔ててA区とB区が設定され、C・D・E・F区も非連続的に配列することとなった(第148図)。それによって、調査区が異なる同一の文化層において検出された石器群であっても様相を異にしていたことが明らかになった。しかし、出土層位、接合関係、母岩の共有関係によって検討したそれぞれの文化層の中では、段階的に大きな隔たりがあると解釈するのは難しいと考えている。ここでは、多摩蘭坂遺跡第8地点の調査で認定した4つの文化層とその石器群を振り返り、検討課題を整理して本書のまとめとする。

1. 第1文化層の概要

第1文化層は、特に今回の調査で充実した資料が得られている文化層である。第1文化層とした石器群の検討を行い、武蔵野台地Xb層段階の編年の問題提起をするために、ここでは第1文化層の概要を整理しておく。

第1文化層は、Xc層からIXb層にかけて検出された遺物を、報告者が時間的、空間的に一定のまとまりとしてとらえた概念上の集合である。A・B・C区において確認されたが、それぞれ遺物出土の中心となる層準はXb層である。本調査地から東へ約1kmの地点にあたる武蔵台



第148図 多摩蘭坂遺跡の発掘区と周辺地形

遺跡（横山他1984）ではXb層とXa層とに石器群が分離されているが、多摩蘭坂第8地点では、上下に二分する資料的根拠を見出すことはできなかった。ただしC区において検出されたナイフ形石器（第51図70）は、単独出土に近い状況で、この1点のみは分離される可能性があるため、ここでは扱わないこととする。よって、第1文化層の検討は、A区とB区の対比という形で以下行っていく。出土した石器の組成を見ると、A区は台形様石器、斧形石器を主体とする石器群である一方、B区は石刃素材の基部加工のナイフ形石器を含む石器群で、これまで時期差と捉えられてきた組成上の差異が両調査区にはあると言える。

石材選択について見てみると、数量的には、A区ではチャートが主体を占め、緑色凝灰岩、ホルンフェルス、頁岩がそれに続く（第11図）。B区では総点数が少ないものの、接合資料44・45（第72・73図）といった良好な接合関係が得られた黒色の珪化が進んだ頁岩が主体となっており、珪質頁岩、チャート、緑色凝灰岩、砂岩が組成されている（第12図）。ここで言う珪質頁岩とは、東北地方を産出地とする石材ではなく、在地の頁岩の中でも変性を受け珪化したもののことを指す。そのため、この珪質頁岩を含めて、A区・B区ともにチャート、緑色凝灰岩、頁岩、砂岩などを主体とするいわゆる在地系の石材から構成されており、黒曜石は1点も組成されていないことも注目される（表4）。

これらの石材がツール、特に剥片石器とどのような関係にあるかを見ると、A区では、台形様石器、スクレイパー、鋸歯縁石器、楔形石器、部分加工剥片等、主要なツールはほとんど全てチャートや頁岩であり、他の剥片類と母岩を共有する資料が多い。B区においては、台形様石器、基部加工石器、部分加工剥片はチャート、頁岩が用いられており、他の剥片類と母岩の共有が見られる資料であるのに対し、注目されるナイフ形石器、石刃には、他に共通する母岩が見られない。これは、遺跡外からの持ち込みを示しており、本遺跡内での剥離活動においてはナイフ形石器の素材やそれ自体としての石刃を剥離する過程は表現されていないものと考えられる。

しかし、A区の斧形石器とB区のナイフ形石器、石刃を除くと、A区とB区の組成は類似していると言わざるを得ない。またそれらの石器を製作する技術も、差異性よりも類似性が抽出される。今回の発掘での大きな成果は、良好な接合関係が得られたことであった。それらの接合関係から看取される遺跡内での剥片剥離技術は、A区・B区ともに、90度あるいは180度の打面転移を行い、大型の幅広剥片から寸詰まりの縦長の剥片と小型剥片を作出する技術が見られる（第59～64図接合資料25～28）。またB区では、縦長の剥片を剥離した石核（第49図65）と、打面と作業面を入れ替えるいわゆるチョッピングツール状の石核（第50図67）が見られ、A区においても同様の技術を看取できる接合資料（第56図接合資料19、第57図接合資料18、第70図接合資料39等）があり、共通性が見られる。さらに、縦長の剥片を何枚か連続して剥離する資料が、A区（第52～55図接合資料1）とB区（第72・73図接合資料44・45）において、確認さ

れていることは、特筆せねばならない。

なお、本報告で用いた石刃素材のナイフ形石器、あるいは石刃という用語については、若干の問題を残していることを注意しておきたい。当然ながら「真正な石刃技法」に対して「石刃状の縦長剥片を連続的に剥離する技術」は分離されて考えることが妥当であるように、「石刃」と「石刃状の縦長剥片」とを分離すべきであろう。しかし、接合資料やそれに対応する技術的参考となる資料が不在であった場合に単独で検出された資料をどのように考えるのかが問題となってくる。特に、その石器の有無で語られてきた研究史の延長上に本報告書があることを加味すると、より慎重に検討がなされるべきであろう。ここでは抽出された資料が、広義の石刃の定義、すなわち「側縁がほぼ平行しそれに平行する稜をもつ幅が1 cm以上、長さが幅の2倍以上のもの（加藤・鶴丸1991）」の範疇でとらえることが可能であったため、石刃と呼んできた。これらの用語や立川ロームX層の剥片剥離技術の問題については再考の機を別に残すこととする。

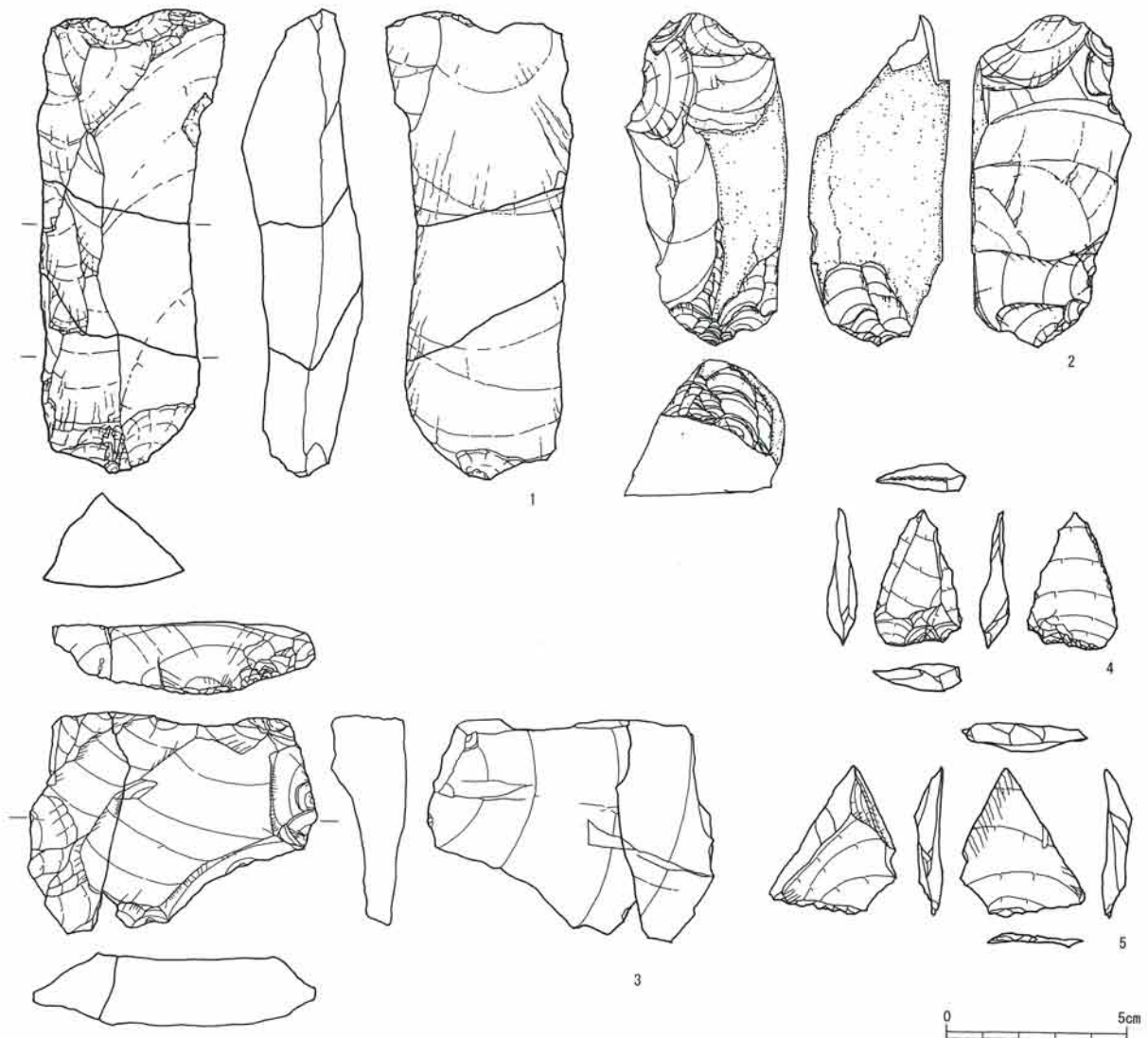
2. Xb層段階の石器について

現在、Xb層の石器群と呼ばれる段階は、ナイフ形石器の不在が強く意識されて来たといえる。ナイフ形石器の初期形態として、「基部加工尖頭形石刃石器」（安齋2000）、「ナイフ状石器」（小田1999、鈴木2000、戸田1995）、「初期ナイフ形石器」（佐藤1992）、「祖型ナイフ形石器」等の用語が用いられている。先に述べたように、これらの用語も整理すべき問題ではあるが、今回報告する多摩蘭坂第8地点B区の資料については、ナイフ形石器と呼んでおく。一方、Xb層段階の石器群として想定されている遺跡は、現在、中山谷遺跡X層（キダー・小田1975）、西之台遺跡B地点X層（小田1980）、鈴木遺跡御幸第I地点XI層（戸田1982・1992・1997）、武蔵台遺跡Xb層（横山他1984）、西台後藤田遺跡Xb層（角張・藤波他1999）が挙げられる。いずれもチャートが主体となり、黒曜石が組成されていない小型剥片石器と礫器が組成される石器群である。石核は求心状剥離を行うもの、90度打面転移を行うもの、チョッピングトゥール状のものが報告されている。ここで注意したいのは、遺跡で剥離された剥片の形状である。上に挙げた遺跡では確かにXb層段階の剥片は、横長や寸詰まりのものが大部分である。しかし、武蔵台遺跡Xb層、鈴木遺跡御幸第I地点では、本報告の多摩蘭坂第8地点と同様、縦長の剥片を連続して剥離した痕跡が接合資料や剥片の背面構成から看取されるし、また、少数ながら広義の「石刃」も出土している。

また、先にも触れたが、武蔵野台地においてXb層段階から組成される石器として、小型剥片石器と礫器という組み合わせが目されてきたが、本遺跡で抽出することの出来た中型の剥片を素材とする鋸歯縁石器について検討したい。多摩蘭坂遺跡第8地点の調査では、A区とB区とにおいて、技術的特徴が非常に類似する石器が組成されていた。それが鋸歯縁石器とした

資料（第33図12・第48図61）である。A区の鋸歯縁石器（第33図12）は、平坦な主剥離面の端部に大きく二箇所の抉入部を作り出し、さらに打面側を剥離している。素材は接合資料1から180度打面転移を行って剥離された縦長剥片であることが分かっている。抉りによって突出部を作出しているという点では錐形石器の範疇と考えられるし、また、平坦な主剥離面からの急角度な連続調整という加工技術的にはスクレイパーの範疇で考えられる石器でもあり、複合的な石器とみなした。B区の鋸歯縁石器（第48図61）は、素材剥片の形状は異なるが、平坦な一次剥離面の端部に大きく二箇所の抉入部を作り出し、その抉りによって突出部を作出しており、技術形態的にA区の鋸歯縁石器（第33図12）と非常に類似している。また、緑色凝灰岩の厚みのある横長剥片を素材としている点からは、斧形石器との関連性もうかがえる。本資料にはさらに、鋸歯縁部と反対方向に表裏面に調整剥離が認められる。

同様の特徴を持つと考えられる石器は、多摩蘭坂遺跡第5地点（上敷領1999）においても報



第149図 第5地点第1文化層出土石器

告されている（第149図1・2）。これらの資料はともに、石器を縦方向に置くと、素材の末端部を抉入状に加工し、錐状の弱い突出部を作出している。そして、同一面の対向方向（基部側と想定される）に大ぶりの剥離を行い、基部が凹む形状を作っている。また、素材の形状は異なるが、折損した大型の剥片の端部に、やはり、錐状の弱い突出部を作り出している資料（第149図3）も、類似する石器として抽出できる。武蔵台遺跡（横山他1984）において報告されている剥片石器Ⅱ類（抉入刃部を有するもの）、同Ⅲ類（鋸歯状の二次加工を有するもの）も、この範疇に入る可能性がある。X層の錐状の石器としては、西ノ台遺跡や中山谷遺跡で組成されていた小型のチャート製の錐状石器が特筆されてきたが、中型の剥片、あるいは石核を素材とする突出部を持つ石器についても注意が必要である。このような石器はそれのみで編年の指標とはならないが、特に九州でも報告例が増え、錐形石器awl（佐藤2002）などと呼称されており、編年上の問題が残されているものの、後期旧石器時代の移行期あるいは初頭からある程度普遍的に組成される石器であると考えられる。

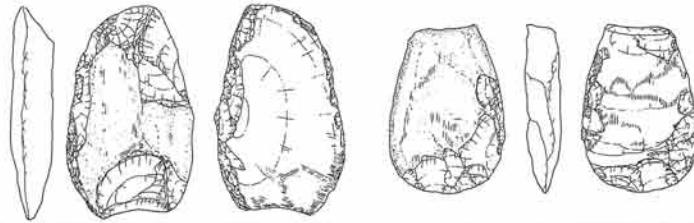
次に、小型剥片石器について考えてみる。多摩蘭坂第8地点A区はチャートを中心に多くの剥片剥離活動の痕跡を示しており、台形様石器の素材となる小型剥片が作出されたと見れば、台形様石器もまたA区において製作されたと考えて良いだろう。台形様石器の形態分類（佐藤1988、1992）を行うならば、I-a-2類に第33図1・8、I-a-1類に第33図4、Ⅲ類に第33図2・3・5・6・7を分類することが可能であろう。Ⅲ類は田村氏が指摘するように端部整形刃器（田村2001）と捉えるべきかもしれない。また、B区の小型剥片石器について見ると、第48図55は端部整形刃器、第48図56は端部整形尖頭器とすると東日本の後期旧石器石器群成立期の良好な資料として位置付けられよう。

また、第8地点B区で出土した基部加工石器（第48図58）についても、同様の石器が多摩蘭坂第5地点においても報告されている（第149図4・5）。4についてはナイフ形石器として報告されており、「幅広で薄手の縦長剥片を素材とし、打面のある基部部分加工を施す。やや寸詰まりの三角形で表裏面に主剥離面を残す（上敷領1999、p. 42）。」と説明されている。第8地点の資料（第48図58）は黒色珪質頁岩の接合資料45（第73図）に含まれる資料で、幅広の縦長剥片の打面付近が、素材剥片剥離後に加工されて作られた石器であることが分かる。素材の打面付近の調整は、側縁加工とも基部加工ともみることができ、素材が縦長指向の剥片であること、素材端部の尖頭状の形態を残置していること、素材に厚みがあり断面が三角形を呈すること等を考慮すると、台形様石器の範疇とするよりもナイフ形石器に近い石器と評価し、石刃素材のナイフ形石器とは異なるという点から、基部加工石器とした資料であった。これらも端部整形尖頭器とみなすこともできよう。

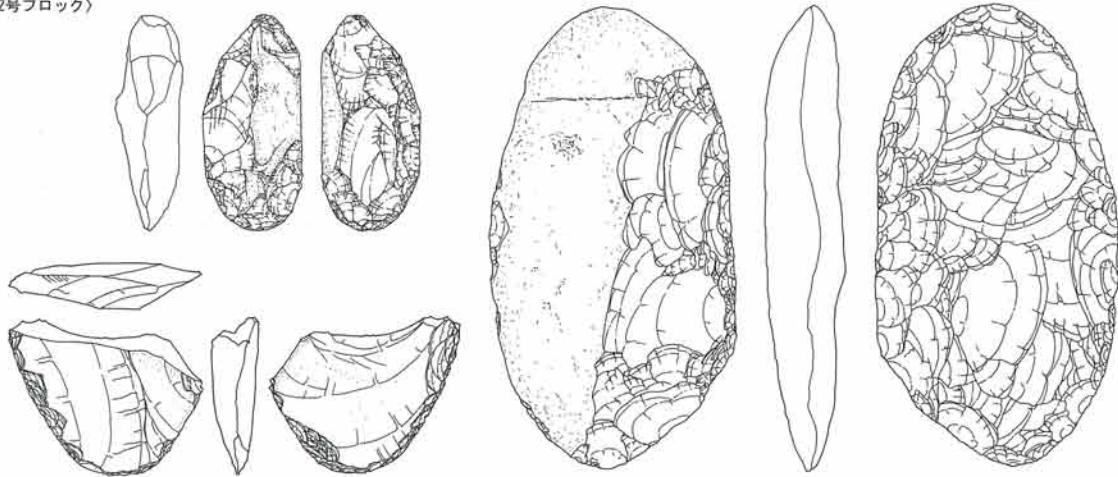
このような様相を踏まえると、本遺跡は石器が豊富な状況であると解釈するには至れないで

あろうか。特に問題とされるであろうB区出土のナイフ形石器（第48図53・54）については、その基部加工が明瞭であるが故、Xb層をナイフ形石器の初源的な段階と見る限り、異様な存在と映るであろう。しかし、ナイフ形石器以外はこれまでの編年においてもXb層段階に組成されるべき器種であり、接合資料に見られる技術的特徴、すなわち剥片剥離技術も段階として分離することができない。このような状況を呈する本遺跡の第1文化層の遺物をXa層段階に位置付けると武蔵野編年とも適合し、解釈も混乱しないであろう。しかし、層位的に明瞭にXc層にほど近いXb層から出土したことを重視し、問題提起の意味も込めて、多摩蘭坂遺跡第8地点の第1文化層は、Xb層段階に位置付けられると考えており、武蔵野台地においては最古期のこの段階から台形様石器とナイフ形石器とそれをめぐる素材剥片剥離技術の二極構造がある程度完成していたと考えたい。台形様・ナイフ形石器石器群（安斎1997・2000）という構造を後期旧石器時代の中に見出す上で、編年上の画期や段階差といった視点を、特定石器の有無で示準化石的に論じるのではなく、遺跡から得られる情報を最大に得た後に編年が組まれるべきであろう。そのような意味で、Xa・Xb層段階の分離という問題は、ナイフ形石器の有無

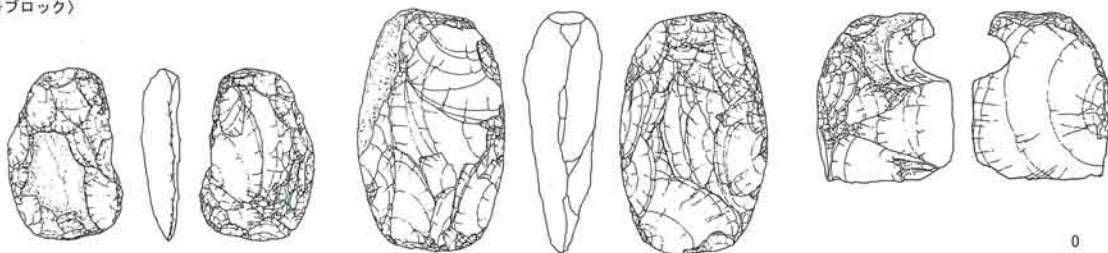
〈1号ブロック〉



〈2号ブロック〉



〈3号ブロック〉



0 5cm

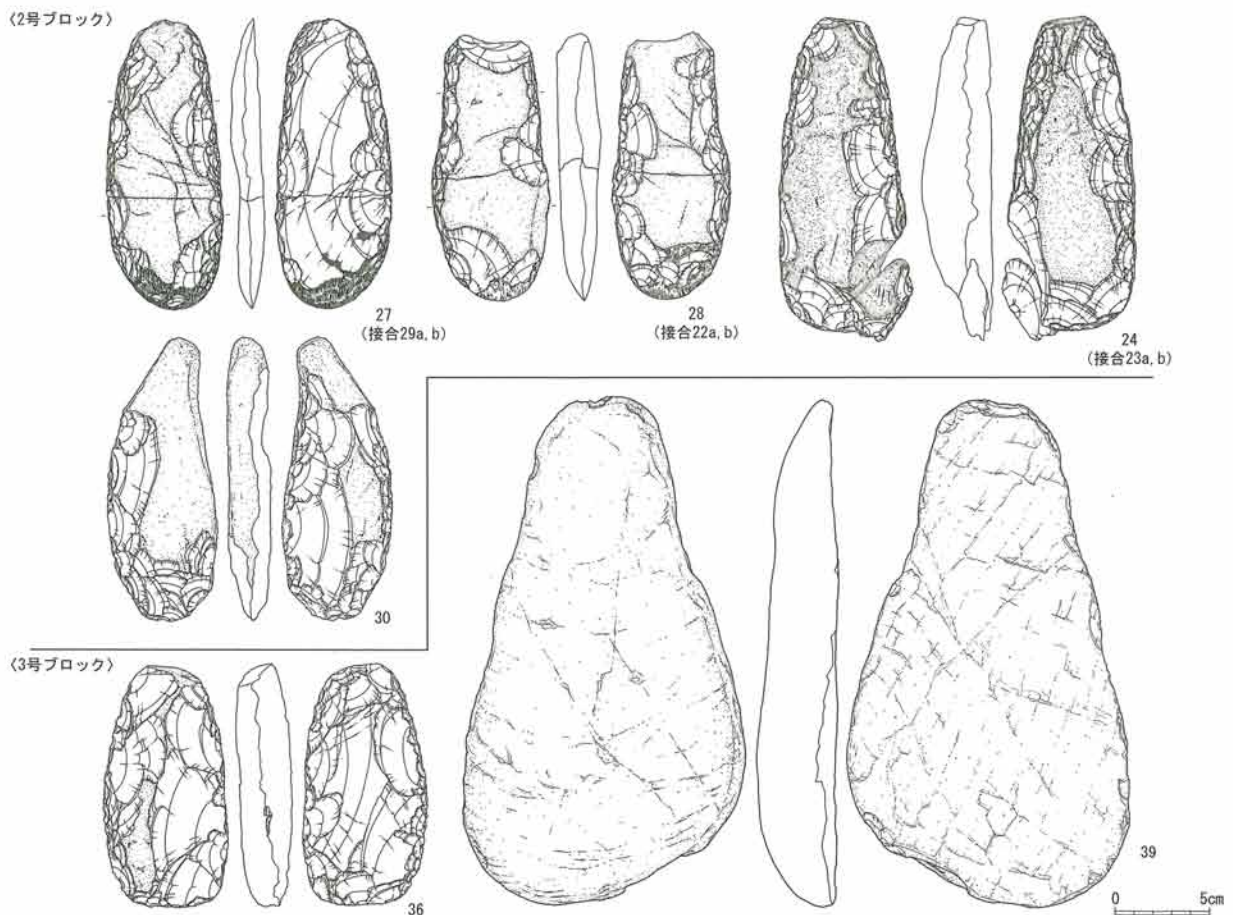
第150図 第5地点出土 斧形石器

で語られるべきではない。残念なことに、日本列島各地の旧石器編年は武蔵野台地という物差しに載せていく作業が多く、特にナイフ形石器の不在を以ってしてX層段階あるいは限定的にXb層段階の石器群と位置付けられてしまっている。層序の堆積に恵まれない地域に対して武蔵野台地が果たす役割は大きく、であるからこそ示準化石的な特定石器の有無のみではない構造的な編年観をも示す必要がある。

3. 第1文化層の遺跡機能

上では本文化層の位置付けおよびその内容にふれたが、第8地点のA区とB区における石器組成が異なることもまた事実である。ここではA区とB区を詳細に見ていく。

A区では斧形石器が検出されていることが注目される。多摩蘭坂遺跡全体においては、第1地点、第5地点、そして今回の第8地点A区でX層の斧形石器が検出されている。第1地点は調整剥片主体であったが、第5地点では斧形石器が8個体(第150図)、第8地点A区では斧形石器5個体と斧形石器素材1点が確認されている(第151図)。第5地点と第8地点の斧形石器は、石材に緑色凝灰岩やホルンフェルスを用いること、長さが約15cmの中型の斧形石器と約25cmの大型の斧形石器(第8地点では斧形石器素材)が組成していること、中型の斧形石器



第151図 第8地点出土 斧形石器

は素材、形態、研磨の有無等様々であり、バラエティーに富むことが共通しており、同じ技術基盤にある一群であると考えられる。ただし、斧形石器の残存状況は若干異なり、本書で報告した斧形石器は、刃部がよく研磨され器体中ほどで折れた2個体と、調整剥片が刃部で接合する1個体、接合しないものの同一石材と見られる調整剥片が検出された個体がある。また、斧形石器素材としたもの(第42図39)や礫器としたもの(第43図40)は積極的に評価すれば斧形石器の未製品と解釈可能であり、第5地点に比べ第8地点は、より斧形石器の製作や再生に関わる場であったと考えられる。さらに、第5地点の東に隣接する武蔵国分寺関連遺跡(武蔵台西地区)で検出された斧形石器(川島・大西2002)も加えると、斧形石器の点数は16点にものぼる。若干距離は離れるが、国分寺崖線に沿って東に進むと武蔵台遺跡(横山他1984)があり、ここまで含めた径約1kmの範囲に斧形石器が26個体出土していることになる。ただし、武蔵台遺跡においては砂岩が多く選択されている。多摩蘭坂遺跡第8地点A区においては武蔵台遺跡のような刃部再生工程(長崎1990)は復元されないが、ブロック規模も大きく、特に第3ブロックについては武蔵台遺跡と類似した斧形石器の接合資料が得られることが期待できる遺物分布となっている。しかし、現状では大型の「わらじ形の斧形石器」からのリダクションとする決定的な斧形石器は出土していない。

また、チャート原石を不規則に剥片剥離する痕跡も著しく、さまざまな石器器種を組成している。先に述べたように、A区におけるチャートの接合資料や剥片剥離技術を見ると、台形様石器との結びつきが想定される小型剥片を多く製作した痕跡であることが看取される。

以上のことから、多摩蘭坂遺跡の中でも、A区はより拠点的な場と想定されるが、一方のB区ではチャートの組成率が低く、黒色珪質頁岩の接合資料44・45(第72・73図)を除いては接合資料が極端に少ない。であるにも関わらず、完成された形態の剥片石器が組成している。それぞれの石器機能やその有機的関連性を推測するのは現段階では困難であるが、A区とB区のような差異は、大きな時期差を示すものではなく遺跡機能の差と見ることが妥当であろう。

4. 第2文化層の様相

第2文化層の石器群は、VI層から検出された。出土遺物は、部分加工石器1点と、礫9点のみである。遺物が希薄で、調査を行ったB区、C区においても、遺物が全く検出されなかったことから、第8地点における当該期の遺跡利用の様相が、他の文化層と異なるものであったことを示唆する文化層であると考えられる。

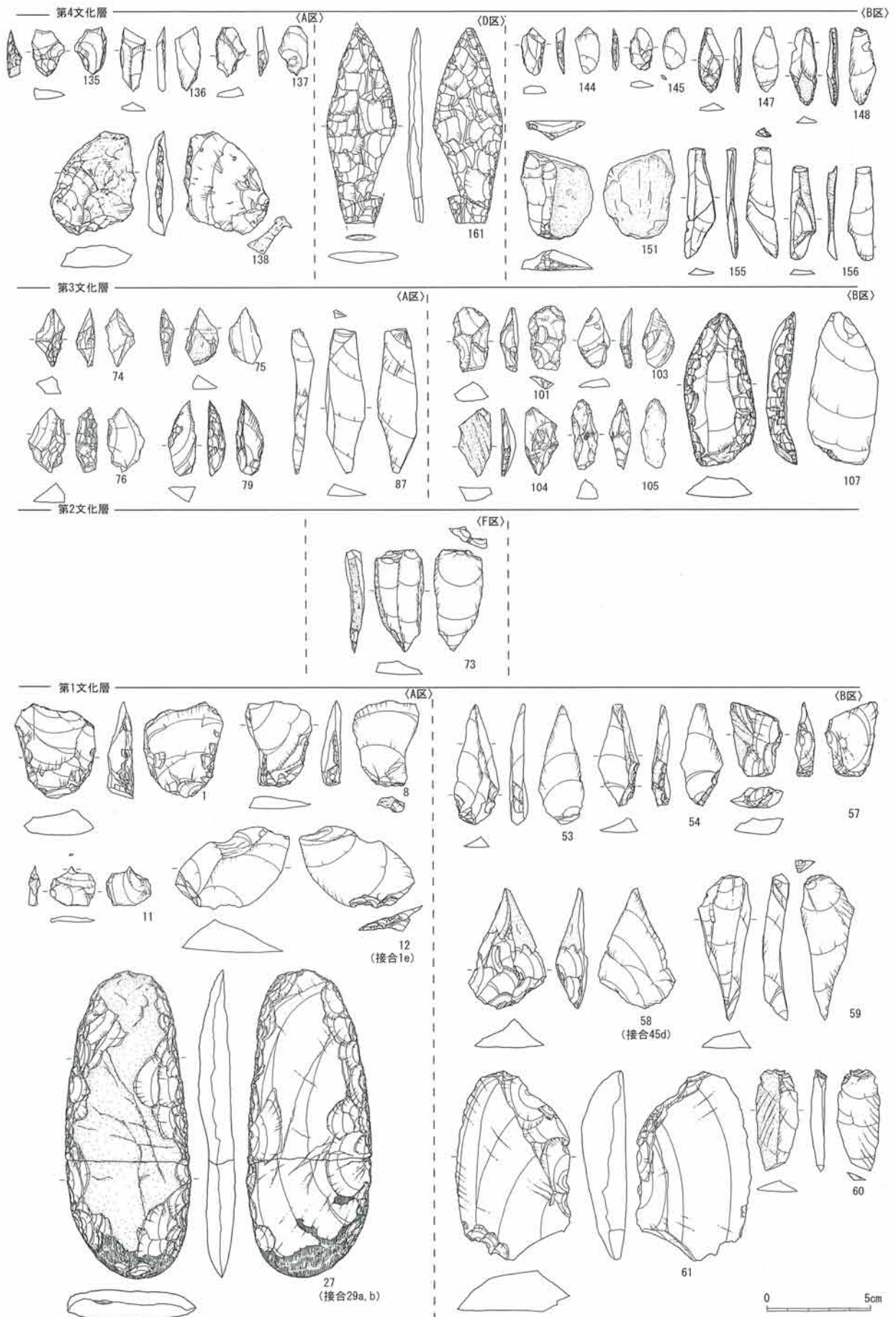
5. 第3文化層と第4文化層

第3文化層・第4文化層の様相は野川上流部の該期遺跡の類例に違わず、多数の礫群が伴っ

ている。本報告では礫群の詳細な分析を行っていないが、両文化層ともに充実した資料群である。第3文化層は、IVc層からIVa層にかけて検出されており、ナイフ形石器14点を含む、いわゆるIV下層の石器群と考えられる。第4文化層は、IVb層からIVa層にかけて出土し、尖頭器1点、ナイフ形石器9点を含む、いわゆるIV上層の石器群と考えられる。

第3文化層では特に礫群の発達著しく、礫の点数も3,501点にのぼり、40基の礫群を認定した。ほとんどの調査区から石器が出土したが、資料数が多く得られたA区とB区を比較してみる。ともに礫群の発達著しく、武蔵野台地、特に野川上流部のIV層下部段階の特徴的な様相を示している。ナイフ形石器の形態も、急斜度調整によって三角形に近い断面に仕上げられた横長剥片素材の小型の二側縁加工ナイフ形石器が主体をなしている。しかし、石材の選択から見ると、黒曜石とチャートの組成差において大きな差異が生じている。A区はチャートがツールの主体となっており、B区は黒曜石が主体となっている。黒曜石は肉眼観察で伊豆・箱根産と透明度の高い信州産が想定されるが、いずれも小型の円礫を石核としている。結果として不純物の多く含まれるナイフ形石器も小型である。そのような中で、比較的大きな石刃（縦長剥片）の連続剥離を示す接合資料70（第123図）は特異な存在となっている。大型の緑色凝灰岩製のスクレイパーや部分加工剥片が含まれることも注目され、B区がやや特異な状況を呈しているとも考えられる。しかし、チャートといういわゆる在地石材と伊豆・箱根と信州という遠隔地の石材が比率差をもって組成されていることは、石材消費と遺跡での行動論研究（国武1999）等、今後の発展的研究に対しても良好な資料を提示できたと考えている。

第4文化層でも小型のナイフ形石器を含むブロックと礫群が検出されたが、第3文化層ほど礫群や遺物の密度は高くない。A区は点数も少なくなり、特にナイフ形石器の小型化が見られる。また、よく指摘されるように、黒曜石の使用が減少傾向となる。また、B区は黒色頁岩の石核（第144図159・160）、打面再生剥片、石刃（第143図155・156）、ナイフ形石器（第142図147・148）が得られている。この黒色頁岩のナイフ形石器をはじめとする一群は、いわゆる砂川期の資料とも考えられる。しかし、組成されるスクレイパーに石刃素材のものがなく、石刃の剥離技術が単設打面からの石刃剥離であること等、やや後出の様相も看取される。また、同一のブロックから非常に小型の緑色凝灰岩のナイフ形石器も組成されておりより新しい段階のものとも考えられ、注目される資料である。井上氏の多摩蘭坂遺跡周辺のナイフ形石器による文化層の細分（井上他1997）によれば、B区の石器群は他の発掘区の資料より新しい段階に位置付けられる可能性がある。今後は遺跡群を1つの構造体ととらえながら（野口1995）、編年研究において、石器の形態差が時期差を反映しているという仮定について検討が加えられるべきではないかと考えている。



第152図 第8地点出土 主要石器一覽

第IV章 総括

日本列島における旧石器時代の研究は、昭和22年（1947）に相沢忠洋によって群馬県の岩宿遺跡が発見されたことに始まる。当時、小生も南関東地域における縄文時代以前の遺跡の存在を期待していたところ、昭和26年（1951）の春、滝沢浩氏が板橋区茂呂町オセド山のローム層の切通しで採集された黒曜石の石器を実見する機会に恵まれた。現地に向かったところ、礫群をも確認することができ、同年の夏には武蔵野博物館と明治大学考古学研究所と共同発掘調査を行う運びとなった。この遺跡から出土したナイフ形石器は茂呂型ナイフ形石器として、その後の旧石器時代研究の礎となっていった。

縄文時代以前の文化の一手がかりとして礫群を頼りに、続いて調査を行ったのが国分寺市である。国分寺住職の星野亮勝氏にお話をうかがい、恋ヶ窪の熊ノ郷遺跡を調査したのは茂呂の発掘の直後であったし、その熊ノ郷遺跡の調査を見学に来られた佐藤敏也氏を通じて殿ヶ谷戸遺跡を調査する運びとなったのである。あれから50年が過ぎ、武蔵野台地では確実に調査事例が蓄積され、特に野川上流部の国分寺市や小金井市は、全国でも指折りの旧石器時代遺跡の集中する地域となっていった。国分寺市は国分寺関連の遺跡が大規模に確認されており、貴重な文化財として名を知られているが、その周辺には約3万年前に遡る旧石器時代の遺跡が非常に高い密度で分布していることになるのである。

野川上流部に数多く分布する旧石器時代遺跡の中でも、特に著名な多摩蘭坂遺跡であるが、今回の東京建物共同住宅建設工事に伴う発掘によって、調査が8次を数えるに至った。今回の調査によって国分寺崖線に沿って、ほぼ隙間なく調査がなされたことになり、その遺跡密度の高さに新たに驚かされた。1980年代以降の大規模な発掘も昨今では少なくなったとはいえ、開発や建て替えに伴う事前発掘はなくなり、調査成果も蓄積され続けていることになろう。発掘作業に追われる時期は過ぎ、今後は各遺跡の整理・分析を進めた成果が、地域史に還元される段階に来ていると見るべきかもしれない。

しかし、旧石器時代研究は、捏造問題発覚以降、再整理を余儀なくされている。旧石器研究者の中でも前・中期旧石器時代の存在については賛否両論があり、日本列島に残された人類の確実な痕跡として共通理解されるのは、武蔵野台地の立川ロームX層段階までとなっているようである。奇しくも様々な方面から注目されているこの時期に、多摩蘭坂遺跡からX層段階の石器群が検出され、早急に報告するに至れたことは、非常に意義深いことである。

ひとくちに多摩蘭坂遺跡と言っても、現在の行政区分としても国分寺市と府中市にまたがり、遺跡名称も複雑になっている。また、国分寺崖線に沿って約600mの広範囲に及んでおり、発

掘地点ごとに石器群の様相も多様である。今回の第8地点も、1982年に調査された第2地点を挟み込む形で調査区が配列しており、最も離れたA区とB区間の距離は約80mもある。既刊の報告書や本報告書を基に、それぞれの地点や発掘区について、その関連性を明らかにしていくことが、今後の研究に期待される部分であろう。

今回、特に充実した資料が得られているXc層からIXb層にかけて検出された第I文化層においては、A区とB区の石器群を比べてみても、違う遺跡であるかのような印象を受ける。武蔵野台地で検討されてきた小田静夫による武蔵野編年（小田・キーリー1979、小田1999）の第Ia亜文化期に相当すると見られるが、A区は台形様石器、斧形石器を主体とする石器群である一方、B区は石刃素材の基部加工のナイフ形石器を含む石器群であり、その内容を再検討する上でも良好な資料を提示することができた。

また、第2文化層は、遺物数が少ないが、VII層から加工痕のある石器1点と、それに伴うと考えられる礫数点が確認されている。

さらに、第3文化層の様相は野川上流部の該期遺跡の類例に違わず、多数の礫群が伴っていることが注目される。本報告書では礫群の詳細な分析を行っていないが、礫群の数が24箇所というだけでも本遺跡における礫群の密度の高さを再認識できるであろう。第3文化層は、IVc層からIVa層にかけて検出されており、ナイフ形石器14点を含む、いわゆるIV層下部の石器群と考えられる。小田の武蔵野編年では第IIa亜文化期に相当しよう。

第4文化層は、V層からIVb層にかけて出土し、尖頭器1点、ナイフ形石器9点を含む文化層である。周辺の遺跡においても類例が見られるIV層上部の石器群と考えられる資料で、今回の発掘によって新たな資料が追加され蓄積されたことになる。小田の武蔵野編年では第IIb亜文化期に相当しよう。

上記のように、今回の発掘で出土した石器群は、各文化層がそれぞれ充実した良好な資料群であるが故、今後の研究の進展に寄与する部分が多々あるであろう。このような本遺跡の石器群について、どのような解釈や説明が可能であるか、多角的な研究の素材になってゆくことを願い、同時に、研究者諸氏による建設的な批評・批判を願いたい。

最後に、発掘調査や整理作業に協力していただいた方々に心より謝意を表するとともに、さらなる埋蔵文化財行政への理解を請う次第である。

（調査団長 吉田 格）

引用文献

- 安孫子昭二・堀井晶子他 1980『多摩蘭坂遺跡』国分寺市教育委員会・恋ヶ窪遺跡調査会
- 安齋正人 1997「台形様・ナイフ形石器石器群(1)」『先史考古学論集』6:79-115
- 安齋正人 2000「台形様・ナイフ形石器石器群(2) -構造変動研究法の階層的秩序-」『先史考古学論集』9:1-28
- 井上慎也・上敷領久・山本克他 1997『多摩蘭坂遺跡Ⅱ』国分寺市遺跡調査会
- 岩橋陽一 2000『武蔵台遺跡 -都立府中病院新外来棟増改築に伴う調査報告-』東京都埋蔵文化財センター
- キダー, J. E.・小田静夫 1975『中山谷遺跡』国際基督教大学考古学研究センター
- 小田静夫 1980『西之台遺跡B地点』東京都教育委員会
- 小田静夫 1999「富士見台遺跡における旧石器時代の概要」『富士見台Ⅲ』都立学校遺跡調査会
- 小田静夫・岡崎完樹 1975『中山谷遺跡』国際基督教大学考古学研究センター
- 小田静夫・キーリー, C. T. 1979『日本旧石器時代の編年』国際基督教大学考古学研究センター(英文)
- 貝塚爽平 1979『東京の自然史<増補第2版>』紀伊国屋書店
- 角張淳一・藤波啓容他 1999『東京都板橋区西台後藤田遺跡発掘調査報告書』都内第二遺跡調査会
- 加藤晋平・鶴丸俊明 1991『図録 石器入門辞典-先土器』柏書房
- 上敷領久 1999『多摩蘭坂遺跡Ⅲ』国分寺市遺跡調査会
- 川島雅人・大西雅也 2002「武蔵国分寺跡関連遺跡(武蔵台西地区)」『第8回石器文化研究交流会-発表要旨-』17-20, 石器文化研究会
- 関東ローム研究グループ 1965『関東ローム その起源と性状』築地書館
- 国武貞克 1999「石材消費と石器製作・廃棄による遺跡の類別-行動論的理解に向けた分析法の試み-」『考古学研究』46-3:35-55, 考古学研究会
- 久保純子 1988「相模野台地・武蔵野台地を刻む谷の地形-風成テフラを供給された名残川の谷地形-」『地理学評論』61:25-48
- 坂詰秀一他 2000『武蔵国府関連遺跡調査報告27・武蔵国分寺跡調査報告4』府中市教育委員会
- 佐藤宏之 1988「台形様石器研究序論」『考古学雑誌』73-3:1-37, 日本考古学協会
- 佐藤宏之 1990「後期旧石器時代前半期石器群の発生と成立」『法政考古学』15:1-42, 法政考古学会
- 佐藤宏之 1992『日本旧石器時代の構造と進化』柏書房
- 佐藤宏之 2002「後牟田遺跡Ⅲ文化層の編年の意義と行動論」『後牟田遺跡 宮崎県川南町後牟田遺跡における旧石器時代の研究』:382-395, 後牟田遺跡調査団・川南町教育委員会
- 実川順一 1986「(二) 多摩欄坂遺跡」『国分寺市史』上巻:26-44, 市史編纂委員会
- 鈴木次郎 2000「相模野台地におけるナイフ形石器文化の出現」『神奈川考古』36:33-56, 神奈川考古同人会
- 滝口 宏 1986「序章 地と人と」『国分寺市史』上巻:1-12, 市史編纂委員会
- 田村 隆 2001「重層的二項性と交差変換-端部整形石器範疇の検出と東北日本後期旧石器石器群の生成-」『先史考古学論集』10:1-50
- 戸田正勝 1982『鈴木遺跡-御幸第1地点-』小平市遺跡調査会
- 戸田正勝 1987「鈴木遺跡をめぐる旧石器時代の諸問題(一)」『太平臺史窓』6:32-60, 大塚書店
- 戸田正勝 1992「鈴木遺跡におけるナイフ形石器群の構造と機能論的考察-刺突系石器と切截系石器-」『太平臺史窓』11:1-38, 大塚書店
- 戸田正勝 1995「武蔵野台地におけるナイフ形石器文化成立の背景」『古代文化』44-2:16-32, 日本古代文化学会
- 戸田正勝 1997「鈴木遺跡御幸第1地点石器群の再検討」『國學院大學栃木短期大學紀要』31:83-93, 國學院大學栃木短期大學
- 長崎潤一 1990「後期旧石器時代前半期の石斧-形能変化論を視点として-」『先史考古学研究』3:1-33, 阿佐ヶ谷先史学研究会
- 中山真治 2001「1020次調査」『年報』19, 府中市教育委員会・府中市遺跡調査会
- 野口 淳 1995「武蔵野台地Ⅳ下・Ⅴ上層階段の遺跡群」『旧石器考古学』51:19-36, 旧石器文化談話会
- パリノ・サーヴェイ 1997「第1節地理的環境」『多摩蘭坂遺跡Ⅱ』:9-11, 国分寺市遺跡調査会
- 横山祐平・早川泉・河内公夫・川口潤 1984『武蔵台遺跡Ⅰ 武蔵国分寺跡西方地区の調査』都立府中病院内遺跡調査会

表 39 第 I 文化層 石器観察表 (1)

通番号	小ラベル	区	層位	器種	石材	母岩	ブロック	STNo.	長さ	幅	厚さ	重量	接合	図版	X	Y	H	実測図番号
2190	2190	A区	IXa	剥片	チャート		3	ST110	57.7	33.2	19.7	38.7			-34226.124	-33791.886	78.904	
2191	2191	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-22	1	ST108	29.7	41.0	12.8	9.8	単		-34223.960	-33791.971	78.472	
2192	2192	A区	Xa	台形椀石器	チャート		3	ST110	25.3	17.0	9.0	2.7		○	-34226.150	-33791.249	78.565	4
2193	2193	A区	Xa	剥片	チャート		3	ST110	36.4	21.9	12.4	5.3			-34226.039	-33790.316	78.532	
2194	2194	A区	IXa	剥片	チャート		3	ST110	23.0	9.7	5.1	1.1			-34226.844	-33793.024	79.005	
2195	2195	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-29	3	ST110	33.0	30.5	20.0	13.4	単		-34226.651	-33792.813	78.660	
2197	2197	A区	Xa	剥片	頁岩	Sh-5	3	ST110	39.0	27.0	16.3	13.8	1 j ○		-34227.391	-33792.195	78.672	
2199	2199	A区	IXa	剥片	チャート		3	ST110	41.4	18.3	12.0	6.1			-34227.927	-33791.956	78.995	
2200	2200	A区	IXb	剥片	チャート		3	ST110	25.3	16.6	9.9	3.5			-34227.190	-33791.872	78.730	
2201	2201	A区	Xa	石核	チャート	Ch-23	3	ST110	38.7	71.4	30.3	87.1	単		-34227.285	-33791.934	78.552	
2202	2202	A区	Xa	石核	チャート	Ch-25	3	ST110	34.1	34.1	18.0	21.2	2 b		-34227.316	-33791.558	78.615	
2204	2204	A区	Xb	剥片	チャート		3	ST110	16.1	33.1	7.9	3.6			-34227.668	-33791.756	78.524	
2205	2205	A区	Xa	石核	チャート	Ch-27	3	ST110	51.8	35.9	27.4	41.6	17 k		-34227.848	-33791.893	78.534	
2206	2206	A区	Xa	剥片	緑色凝灰岩		3	ST110	42.9	44.0	19.9	22.4			-34227.890	-33791.758	78.563	
2207	2207	A区	IXa	使用痕剥片	頁岩	Sh-5	3	ST110	40.1	26.9	7.5	7.3	1 c ○		-34227.981	-33791.527	78.790	21
2209	2209	A区	IXb	剥片	チャート	Ch-32	3	ST110	49.4	27.3	9.5	12.4	19 a ○		-34228.003	-33791.246	78.764	
2210	2210	A区	Xa	石核	チャート	Ch-29	3	ST110	32.7	28.7	27.4	29.6	単		-34227.936	-33791.173	78.530	
2211	2211	A区	Xa	石核	チャート	Ch-27	3	ST110	43.9	38.4	26.9	41.5	17 e		-34227.805	-33791.013	78.588	
2212	2212	A区	Xa	剥片	チャート		3	ST110	28.9	15.3	6.8	2.8			-34227.185	-33791.210	78.561	
2213	2213	A区	Xa	剥片	チャート		3	ST110	12.4	17.1	3.1	0.6			-34227.422	-33791.082	78.590	
2214	2214	A区	Xa	剥片	チャート		3	ST110	20.4	12.1	6.4	1.2			-34227.383	-33790.916	78.614	
2215	2215	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-25	3	ST110	18.5	8.0	4.7	0.6	2 a		-34227.425	-33790.832	78.601	
2217	2217	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-27	3	ST110	24.4	25.4	12.7	4.8	17 a		-34227.486	-33790.811	78.670	
2218	2218	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-31	3	ST110	44.5	29.9	8.8	11.2	単		-34227.571	-33790.447	78.645	
2219	2219	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-27	3	ST110	41.6	26.7	13.6	12.4	17 b		-34227.517	-33790.427	78.571	
2220	2220	A区	Xa	石核	チャート	Ch-22	3	ST110	30.8	59.9	20.6	37.6	13 c		-34227.400	-33791.085	78.585	
2221	2221	A区	Xb	鋸歯縁石器	頁岩	Sh-5	3	ST110	55.7	37.2	56.8	27.1	1 e ○		-34227.118	-33790.194	78.486	12
2222	2222	A区	IXb	剥片	緑色凝灰岩	Itu-5	3	ST110	42.1	64.7	11.1	24.8	35 a		-34228.345	-33790.919	78.759	
2223	2223	A区	Xb	剥片	頁岩	Sh-5	3	ST110	48.7	28.9	7.8	12.0	1 b ○		-34228.646	-33790.543	78.560	
2224	2224	A区	Xa	剥片	頁岩		3	ST110	12.7	28.7	10.5	2.9			-34228.513	-33790.372	78.593	
2225	2225	A区	IXb	剥片	チャート	Ch-27	3	ST110	29.9	17.2	11.2	4.1	17 j		-34228.216	-33790.414	78.723	
2228	2228	A区	Xa	剥片	チャート		3	ST110	26.3	34.6	12.7	9.4			-34228.335	-33790.097	78.683	
2229	2229	A区	Xa	剥片	緑色凝灰岩		3	ST110	39.1	33.1	7.9	8.1			-34228.516	-33790.067	78.707	
2230	2230	A区	Xa	剥片	チャート		3	ST110	28.8	9.8	4.1	1.0			-34227.937	-33790.121	78.664	
2231	2231	A区	Xb	剥片	チャート	Ch-27	3	ST110	32.6	25.6	18.4	13.6	17 h		-34228.002	-33790.300	78.455	
2232	2232	A区	Xb	剥片	頁岩	Sh-5	3	ST110	70.7	37.0	25.5	47.5	1 d ○		-34228.072	-33790.302	78.451	
2233	2233	A区	Xb	剥片	頁岩	Sh-5	3	ST110	35.0	23.2	7.2	4.5	1 i ○		-34228.119	-33790.289	78.449	
2234	2234	A区	Xb	剥片	珪質頁岩	SSh-1	3	ST110	46.9	26.4	19.3	18.8	40 a		-34228.267	-33790.093	78.449	
2235	2235	A区	Xa	剥片	頁岩	Sh-5	3	ST110	58.4	41.0	24.5	58.4	1 i ○		-34227.447	-33789.201	78.625	
2236	2236	A区	Xb	剥片	頁岩	Sh-5	3	ST110	44.7	33.0	10.2	12.2	1 a ○		-34227.457	-33789.338	78.453	
2237	2237	A区	Xb	剥片	頁岩	Sh-5	3	ST110	42.6	34.0	8.9	8.1	1 q ○		-34227.359	-33789.259	78.457	
2238	2238	A区	Xb	剥片	頁岩		3	ST110	55.2	29.7	17.4	23.1			-34227.507	-33789.251	78.450	
2239	2239	A区	Xb	剥片	チャート		3	ST110	20.5	32.2	8.9	4.6			-34227.715	-33789.341	78.442	
2240	2240	A区	Xb	斧形石器	緑色凝灰岩		3	ST110	127.0	65.6	28.2	297.8		○	-34227.568	-33789.154	78.469	36
2241	2241	A区	Xb	剥片	頁岩	Sh-5	3	ST110	43.5	33.7	10.0	10.8	1 m ○		-34227.673	-33789.101	78.448	
2242	2242	A区	Xa	楔形石器	チャート	Ch-22	3	ST110	27.2	28.4	6.3	4.1	単		-34227.156	-33788.490	78.653	16
2243	2243	A区	Xb	斧形石器素材	緑色凝灰岩		3	ST110	269.8	152.0	42.5	2040.0		○	-34227.130	-33788.657	78.398	39
2244	2244	A区	Xb	剥片	頁岩		3	ST110	35.2	24.3	6.8	5.7			-34227.350	-33788.547	78.442	
2245	2245	A区	Xc	剥片	頁岩	Sh-5	3	ST110	39.6	60.6	14.2	30.2	1 f ○		-34227.352	-33788.373	78.329	
2246	2246	A区	Xb	敲石	砂岩		3	ST110	124.5	69.0	50.5	441.0		○	-34227.702	-33788.022	78.412	50
2247	2247	A区	IXb	剥片	頁岩	Sh-5	3	ST110	31.2	33.5	10.7	7.7	単		-34228.013	-33788.027	78.724	
2248	2248	A区	IXa	剥片	頁岩	Sh-5	3	ST110	20.8	49.2	22.3	23.8	1 n ○		-34228.439	-33788.678	79.136	
2249	2249	A区	IXa	剥片	チャート	Ch-31	3	ST110	38.8	29.2	19.0	17.6	単		-34228.623	-33789.662	79.024	
2250	2250	A区	IXb	剥片	頁岩	Sh-5	3	ST110	43.4	57.4	27.6	58.6	1 p ○		-34228.738	-33789.788	78.715	
2251	2251	A区	Xa	部分加工剥片	チャート		3	ST110	25.4	33.5	11.9	10.1		○	-34229.048	-33789.907	78.607	22
2252	2252	A区	Xa	剥片	珪質頁岩	SSh-2	3	ST110	26.6	45.5	15.2	17.8	単		-34228.831	-33789.280	78.560	
2253	2253	A区	Xb	剥片	頁岩		3	ST110	32.0	15.3	9.2	2.9			-34228.898	-33789.284	78.539	
2254	2254	A区	Xa	剥片	頁岩	Sh-5	3	ST110	42.8	23.7	12.5	9.0	1 g ○		-34229.330	-33789.007	78.643	
2255	2255	A区	Xb	敲石	砂岩		3	ST110	121.3	68.0	28.1	324.2		○	-34229.766	-33788.769	78.507	52
2256	2256	A区	Xb	石核	頁岩	Sh-5	3	ST110	71.3	114.7	58.5	509.6	1 r ○		-34228.894	-33788.465	78.462	
2257	2257	A区	IXa	石核	珪質頁岩	SSh-1	3	ST110	41.4	25.6	21.1	22.8	40 b ○		-34228.622	-33787.782	79.065	
2258	2258	A区	Xa	剥片	頁岩	Sh-5	3	ST110	51.7	33.9	10.2	20.6	1 h ○		-34228.803	-33787.683	78.620	
2260	2260	A区	Xc	剥片	頁岩		3	ST110	73.4	50.6	24.3	79.2			-34230.030	-33787.933	78.398	
2261	2261	A区	Xc	敲石	砂岩		3	ST110	86.8	59.0	41.2	297.6		○	-34230.264	-33787.601	78.363	51
2262	2262	A区	Xb	剥片	頁岩	Sh-6	3	ST110	91.8	65.9	19.5	100.0	単		-34230.071	-33785.930	78.462	26
2263	2263	A区	Xb	台形椀石器	チャート	Ch-34	4	ST111	41.8	32.5	9.2	12.2	単		-34231.785	-33784.462	78.451	8
2264	2264	A区	Xc	礫器	緑色凝灰岩		4	ST111	172.7	90.3	63.5	1368.0		○	-34231.288	-33784.111	78.418	40
2266	2266	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-20	4	ST111	30.5	58.0	9.8	12.3	単		-34231.371	-33783.608	78.561	
2267	2267	A区	IXb	剥片	チャート	Ch-20	4	ST111	53.3	42.2	14.5	27.5	単		-34230.914	-33783.290	78.718	
2268	2268	A区	Xb	石核	頁岩		4	ST111	46.3	79.3	38.8	138.5			-34233.528	-33784.713	78.563	
2269	2269	A区	IXb	石核	頁岩		4	ST111	62.4	55.4	4.3	186.4			-34230.875	-33782.310	78.877	
2271	2271	A区	Xa	石核	チャート	Ch-20	4	ST111	67.5	59.5	51.1	158.5	3 b		-34229.922	-33782.571	78.448	
2272	2272	A区	IXb	剥片	珪質頁岩		4	ST111	22.2	17.4	5.0	1.6			-34229.588	-33782.295	78.790	
2273	2273	A区	Xa	剥片	安山岩	An-7	2	ST109	32.2	64.3	17.3	27.5	38 k ○		-34225.993	-33783.365	78.532	
2275	2275	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-22	2	ST109	30.1	41.3	16.5	16.5	12 b		-34225.809	-33782.898	78.530	
2276	2276	A区	Xa	斧形石器	輝緑岩	Db-1	2	ST109	71									

表40 第1文化層 石器観察表(2)

通番号	小ラベル	区	層位	器種	石材	母岩	プロック	STNo	長さ	幅	厚さ	重量	接合	図版	X	Y	H	実測図番号
2282	2282	A区	Xb	石核	チャート	Ch-25	1	ST108	64.0	52.5	54.0	181.2	単		-34226.810	-33786.727	78.337	
2283	2283	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-21	1	ST108	56.1	33.1	27.1	39.0	f b		-34226.818	-33786.434	78.491	
2284	2284	A区	Xb	剥片	砂岩		1	ST108	43.5	35.6	12.5	19.4			-34225.861	-33787.201	78.342	
2285	2285	A区	Xb	剥片	安山岩	An-7	1	ST108	79.8	47.8	23.9	65.2	38 d	○	-34225.203	-33784.026	78.384	
2286	2286	A区	Xb	調整剥片	輝緑岩	Db-2	2	ST109	31.0	45.3	9.0	12.2	23 a	○	-34225.267	-33784.352	78.349	29 a
2289	2289	A区	Xb	剥片	チャート	Ch-21	1	ST108	41.3	49.9	16.5	22.4	単		-34224.699	-33786.363	78.409	
2290	2290	A区	Xa	剥片	頁岩	Sh-6	1	ST108	90.2	46.2	21.5	61.7	単	○	-34224.299	-33786.563	78.466	24
2291	2291	A区	Xc	剥片	安山岩		1	ST108	48.5	53.0	12.9	31.6			-34224.378	-33786.419	78.201	
2293	2293	A区	Xa	スクレイパー	チャート	Ch-21	1	ST108	44.5	34.3	25.4	31.7	単	○	-34225.461	-33785.621	78.592	9
2294	2294	A区	Xb	剥片	頁岩		1	ST108	22.1	16.3	4.7	1.2			-34225.194	-33787.114	78.388	
2295	2295	A区	Xa	石核	チャート	Ch-21	1	ST108	51.5	72.9	32.9	127.3	7 a		-34224.696	-33786.829	78.488	
2296	2296	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-24	1	ST108	21.0	37.7	17.7	15.1	単		-34224.672	-33786.829	78.506	
2297	2297	A区	Xb	剥片	安山岩	An-7	1	ST108	55.7	88.8	21.5	87.2	38 f	○	-34224.469	-33786.851	78.401	
2298	2298	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	GU-4	1	ST108	51.2	58.3	15.7	36.9	28 a	○	-34224.343	-33786.888	78.417	
2299	2299	A区	IXa	部分加工剥片	チャート	Ch-21	1	ST108	28.9	26.0	8.4	6.3	単		-34224.904	-33787.295	78.661	18
2300	2300	A区	Xb	石核	緑色凝灰岩	GU-4	1	ST108	53.8	52.7	48.5	150.0	28 p	○	-34225.844	-33788.117	78.352	
2301	2301	A区	Xb	石核	チャート		1	ST108	58.0	78.0	39.2	169.2			-34225.344	-33787.762	78.378	
2302	2302	A区	Xb	剥片	珪質頁岩	SSH-2	1	ST108	52.2	26.0	16.2	13.9	単		-34225.232	-33787.886	78.418	
2303	2303	A区	Xb	剥片	チャート	Ch-24	1	ST108	47.4	52.2	27.5	57.1	単		-34224.889	-33787.806	78.402	
2305	2305	A区	IXa	剥片	チャート	Ch-21	1	ST108	38.3	25.9	8.8	7.6	6 a		-34223.603	-33786.751	78.671	
2306	2306	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-30	1	ST108	37.8	34.0	13.5	12.5	単		-34223.664	-33786.806	78.595	
2307	2307	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	GU-4	1	ST108	50.8	45.4	15.3	21.8	27 b	○	-34223.955	-33786.933	78.338	
2308	2308	A区	Xa	剥片	砂岩		1	ST108	56.3	43.4	14.1	30.6			-34223.434	-33785.915	78.498	
2309	2309	A区	Xa	剥片	安山岩	An-7	1	ST108	42.0	49.0	11.8	23.8	38 g	○	-34223.285	-33785.681	78.532	
2310	2310	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-30	1	ST108	39.2	32.0	16.8	16.1	単		-34223.073	-33785.882	78.599	
2311	2311	A区	IXb	調整剥片	緑色凝灰岩	GU-3	1	ST108	37.4	47.5	7.6	10.9	単	○	-34222.780	-33785.720	78.608	37
2312	2312	A区	Xb	石核	チャート	Ch-21	1	ST108	49.4	43.7	26.0	49.4	単		-34222.995	-33785.345	78.399	
2313	2313	A区	Xb	石核	安山岩	An-8	1	ST108	98.1	75.9	41.0	288.4	39 b	○	-34222.833	-33785.226	78.345	
2315	2315	A区	Xb	剥片	頁岩		1	ST108	48.3	62.4	17.2	36.1			-34222.256	-33786.269	78.303	
2316	2316	A区	Xb	剥片	安山岩	An-7	1	ST108	47.0	60.3	21.9	47.6	38 c	○	-34222.055	-33786.350	78.392	
2317	2317	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-21	1	ST108	23.5	37.3	13.4	8.3	単		-34222.624	-33787.120	78.617	
2318	2318	A区	Xa	剥片	安山岩	An-7	1	ST108	60.5	46.8	14.0	24.3	38 a	○	-34223.352	-33787.488	78.421	
2319	2319	A区	Xa	剥片	砂岩	Ho-3	1	ST108	27.5	17.8	5.7	1.7	33 b		-34223.469	-33788.083	78.415	
2320	2320	A区	Xb	剥片	砂岩	Ho-3	1	ST108	79.0	58.8	28.0	156.2	33 d		-34223.326	-33788.423	78.330	
2321	2321	A区	Xb	剥片	チャート		1	ST108	28.4	15.5	12.8	3.7			-34223.217	-33788.156	78.357	
2322	2322	A区	Xc	剥片	安山岩	An-7	1	ST108	82.9	37.9	22.2	64.0	単		-34223.107	-33788.262	78.306	
2323	2323	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-22	1	ST108	22.4	25.0	11.1	5.6	単		-34222.906	-33788.155	78.496	
2324	2324	A区	Xa	台形様石器	チャート	Ch-21	1	ST108	47.8	38.2	11.7	22.7	単	○	-34222.841	-33788.308	78.523	1
2325	2325	A区	IXa	剥片	チャート	Ch-21	1	ST108	29.2	20.4	12.6	8.1	単		-34222.800	-33787.913	78.651	
2326	2326	A区	Xb	剥片	砂岩	Ho-4	1	ST108	30.0	27.9	9.5	5.9	34 e		-34223.013	-33787.875	78.365	
2327	2327	A区	Xa	剥片	チャート		1	ST108	22.5	11.6	5.8	1.4			-34222.416	-33787.681	78.480	
2328	2328	A区	IXb	剥片	チャート	Ch-30	1	ST108	26.6	20.0	8.0	2.9	単		-34221.696	-33787.455	78.591	
2329	2329	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-21	1	ST108	29.4	19.1	13.9	7.0	単		-34221.724	-33787.351	78.523	
2330	2330	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩		1	ST108	28.5	25.2	16.2	10.1			-34220.934	-33787.400	78.257	
2331	2331	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	GU-4	1	ST108	70.5	26.6	19.6	29.0	27 a	○	-34221.069	-33787.428	78.301	
2332	2332	A区	Xa	剥片	緑色凝灰岩	GU-4	1	ST108	34.6	29.0	14.4	12.3	28 n	○	-34221.272	-33787.494	78.406	
2334	2334	A区	Xb	石核	緑色凝灰岩	GU-4	1	ST108	52.0	5.0	47.5	120.3	27 h	○	-34221.255	-33787.843	78.252	
2335	2335	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	GU-4	1	ST108	43.2	47.2	19.8	33.7	28 d	○	-34221.620	-33788.152	78.360	
2336	2336	A区	Xb	剥片	チャート		1	ST108	72.0	36.4	24.6	50.1			-34221.679	-33788.277	78.242	
2337	2337	A区	Xa	剥片	砂岩	Ho-7	1	ST108	14.1	35.9	9.2	4.0	37 b		-34222.226	-33788.144	78.368	
2338	2338	A区	IXb	剥片	緑色凝灰岩	GU-4	1	ST108	28.0	38.6	16.3	13.6	28 f	○	-34222.035	-33788.486	78.577	
2339	2339	A区	Xb	石核	チャート	Ch-21	1	ST108	72.3	44.5	47.5	179.2	単		-34222.333	-33788.647	78.313	
2340	2340	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-21	1	ST108	29.0	18.8	17.8	7.6	7 d		-34222.683	-33788.611	78.544	
2341	2341	A区	Xb	敲石	緑色凝灰岩	GU-6	1	ST108	117.5	69.1	36.5	365.1	30 a	○	-34222.528	-33788.721	78.333	46 a
2342	2342	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-25	1	ST108	48.9	56.2	16.7	48.4	単		-34222.498	-33788.917	78.406	
2343	2343	A区	Xb	剥片	チャート	Ch-21	1	ST108	52.8	50.3	25.6	52.5	4 b		-34222.407	-33789.029	78.343	
2344	2344	A区	Xb	楔形石器	チャート	Ch-21	1	ST108	43.4	31.4	12.8	17.4	5 b	○	-34222.317	-33789.142	78.354	13
2345	2345	A区	Xa	剥片	緑色凝灰岩	GU-4	1	ST108	42.9	39.8	13.1	14.0	28 k	○	-34222.368	-33789.329	78.412	
2346	2346	A区	Xb	剥片	チャート	Ch-21	1	ST108	50.8	48.6	16.7	42.7	単		-34222.713	-33789.340	78.346	
2347	2347	A区	Xa	剥片	緑色凝灰岩	GU-4	1	ST108	51.0	28.9	23.1	20.5	27 e	○	-34222.471	-33789.542	78.388	
2348	2348	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	GU-4	1	ST108	40.2	32.4	10.8	13.9	25 b	○	-34222.315	-33789.573	78.340	
2349	2349	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	GU-4	1	ST108	60.8	72.2	26.5	130.1	28 e	○	-34222.701	-33789.793	78.359	
2350	2350	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-21	1	ST108	16.8	21.4	7.6	1.6	単		-34223.003	-33789.634	78.392	
2351	2351	A区	Xa	剥片	安山岩	An-7	1	ST108	84.0	48.5	22.0	63.4	38 j	○	-34223.039	-33789.658	78.389	
2352	2352	A区	Xa	剥片	珪質頁岩	SSH-1	1	ST108	21.3	34.4	9.2	4.4	単		-34223.216	-33789.475	78.420	
2353	2353	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-21	1	ST108	36.3	35.9	18.0	28.4	7 b		-34223.338	-33789.143	78.414	
2354	2354	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-21	1	ST108	89.4	33.0	25.7	90.6	単		-34223.612	-33789.280	78.377	
2355	2355	A区	Xa	剥片	緑色凝灰岩	GU-4	1	ST108	61.5	45.2	13.5	28.6	28 m	○	-34223.943	-33789.238	78.460	
2356	2356	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-21	1	ST108	23.0	32.5	8.0	5.4	単		-34223.648	-33789.701	78.397	
2357	2357	A区	Xc	敲石	緑色凝灰岩	GU-6	1	ST108	66.1	55.2	30.7	122.3	30 b	○	-34223.848	-33789.959	78.239	46 b
2358	2358	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	GU-4	1	ST108	10.5	19.4	6.6	0.9	単		-34224.039	-33790.162	78.537	
2359	2359	A区	Xc	調整剥片	緑色凝灰岩	GU-3	1	ST108	26.4	37.0	6.4	4.5	単	○	-34224.305	-33789.867	78.262	35
2360	2360	A区	Xc	石核	砂岩	Ho-4	1	ST108	114.5	54.7	26.5	223.6	34 d		-34224.306	-33789.872	78.264	
2361	2361	A区	Xb	石核	頁岩	Sh-5	1	ST108	54.6	87.2	3.8	159.7	1 k	○	-34224.517	-33789.890	78.381	
2363	2363	A区	Xc	石核	頁岩													

表41 第1文化層 石器観察表(3)

通番号	小ラベル	区	層位	器種	石材	母岩	ブロック	STNo.	長さ	幅	厚さ	重量	接合	図版	X	Y	H	実測図番号
2371	2371	A区	IXa	楔形石器	チャート	Ch-22	1	ST108	21.0	26.3	15.7	7.6	単	○	-34222.694	-33790.110	78.674	14
2372	2372	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-21	1	ST108	37.3	38.8	13.1	16.8	4 a	○	-34221.787	-33789.558	78.425	
2373	2373	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	Ho-6	1	ST108	60.3	92.7	22.0	88.9	36 a	○	-34221.936	-33789.627	78.357	
2374	2374	A区	Xa	部分加工剥片	チャート	Ch-34	1	ST108	42.8	40.1	14.5	16.0	単	○	-34222.151	-33788.934	78.442	17
2376	2376	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	GTu-4	1	ST108	53.5	38.6	15.0	25.6	28 o	○	-34221.977	-33788.829	78.376	
2378	2378	A区	Xa	剥片	緑色凝灰岩	GTu-4	1	ST108	46.9	24.5	11.8	9.1	単	○	-34221.910	-33788.922	78.387	
2379	2379	A区	Xa	剥片	緑色凝灰岩	GTu-4	1	ST108	15.5	16.5	4.0	0.8	28 g	○	-34221.801	-33788.837	78.409	
2380	2380	A区	Xb	台形礫石器	チャート		1	ST108	17.9	19.3	3.7	1.4	○	-34221.797	-33788.655	78.341	3	
2383	2383	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	Ho-3	1	ST108	39.8	38.5	15.6	22.0	33 a	○	-34221.538	-33788.716	78.359	
2384	2384	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	GTu-4	1	ST108	89.1	50.8	16.1	66.4	28 i	○	-34221.183	-33788.602	78.261	
2385	2385	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	GTu-4	1	ST108	51.1	26.9	13.5	12.8	25 c	○	-34220.908	-33788.512	78.364	
2386	2386	A区	Xa	台形礫石器	チャート		1	ST108	25.3	20.2	10.5	4.3	○	-34220.878	-33787.869	78.545	2	
2387	2387	A区	Xa	剥片	緑色凝灰岩	GTu-4	1	ST108	36.9	20.8	13.9	8.4	28 j	○	-34220.665	-33788.069	78.495	
2389	2389	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	Ho-7	1	ST108	53.5	50.6	24.8	76.7	37 c	○	-34220.466	-33787.941	78.262	
2390	2390	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	Ho-4	1	ST108	28.4	53.2	19.5	26.0	34 a	○	-34220.645	-33788.418	78.333	
2392	2392	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	Ho-4	1	ST108	43.6	24.1	12.0	12.6	34 b	○	-34220.044	-33788.268	78.310	
2393	2393	A区	Xc	剥片	緑色凝灰岩		1	ST108	42.1	63.1	27.0	69.1	○	-34220.958	-33787.970	78.190		
2394	2394	A区	Xb	剥片	チャート		1	ST108	27.1	13.6	14.5	4.3	○	-34221.659	-33788.099	78.242		
2395	2395	A区	Xb	剥片	砂岩		1	ST108	51.5	25.7	8.6	11.5	○	-34221.638	-33788.182	78.292		
2397	2397	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	Ho-6	1	ST108	34.3	56.2	9.7	20.9	単	○	-34221.202	-33789.031	78.339	
2399	2399	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	GTu-4	1	ST108	56.0	56.8	17.0	37.5	28 c	○	-34221.338	-33789.311	78.368	
2400	2400	A区	IXb	剥片	頁岩	Sh-6	1	ST108	42.5	35.3	8.4	9.1	単	○	-34221.452	-33789.210	78.613	25
2402	2402	A区	Xa	石核	チャート	Ch-21	1	ST108	30.3	50.1	27.8	37.6	7 c	○	-34221.662	-33789.105	78.482	
2403	2403	A区	Xb	剥片	チャート	Ch-33	1	ST108	65.5	49.6	27.8	84.6	20 b	○	-34221.275	-33789.719	78.316	
2404	2404	A区	Xb	剥片	チャート	Ch-33	1	ST108	43.4	29.0	8.7	9.9	単	○	-34221.408	-33789.696	78.299	
2405	2405	A区	Xa	剥片	緑色凝灰岩		1	ST108	24.5	48.2	15.8	8.6	○	-34221.773	-33790.468	78.435		
2406	2406	A区	Xa	剥片	緑色凝灰岩		1	ST108	35.2	59.3	19.7	49.0	○	-34221.824	-33790.561	78.416		
2409	2409	A区	Xa	剥片	緑色凝灰岩	GTu-4	1	ST108	46.8	65.0	15.3	30.8	28 i	○	-34222.122	-33791.722	78.432	
2410	2410	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	GTu-4	1	ST108	60.3	56.5	22.5	57.1	28 h	○	-34221.795	-33791.460	78.344	
2412	2412	A区	Xb	石核	安山岩	An-8	1	ST108	64.4	62.4	38.5	159.3	39 a	○	-34221.550	-33791.426	78.349	
2413	2413	A区	Xa	礫石	砂岩		1	ST108	83.9	34.7	20.1	78.5	○	-34221.469	-33791.563	78.364	43	
2414	2414	A区	Xb	礫石	緑色凝灰岩	GTu-7	1	ST108	135.0	86.5	50.5	672.3	31 c	○	-34221.227	-33791.709	78.326	42 b
2415	2415	A区	Xa	剥片	緑色凝灰岩	Ho-2	1	ST108	44.8	24.4	13.5	10.1	32 c	○	-34220.349	-33790.936	78.466	
2416	2416	A区	Xb	調整剥片	緑色凝灰岩	GTu-3	1	ST108	8.2	8.4	2.6	0.6	単	○	-34220.780	-33790.589	78.354	32
2417	2417	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-21	1	ST108	20.0	28.9	9.8	3.7	単	○	-34220.724	-33790.391	78.420	
2418	2418	A区	Xa	剥片	緑色凝灰岩		1	ST108	20.8	38.1	11.4	4.9	○	-34220.729	-33790.076	78.481		
2419	2419	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	Ho-4	1	ST108	35.3	39.9	10.8	16.5	34 c	○	-34220.641	-33789.415	78.365	
2420	2420	A区	Xb	礫石	砂岩		1	ST108	68.4	63.9	19.4	98.0	○	-34220.450	-33789.725	78.308		
2421	2421	A区	Xb	調整剥片	緑色凝灰岩	GTu-3	1	ST108	14.3	34.9	5.9	1.7	単	○	-34219.998	-33790.101	78.348	33
2422	2422	A区	Xa	調整剥片	緑色凝灰岩	GTu-3	1	ST108	21.0	29.3	5.8	3.1	24 d	○	-34219.982	-33789.976	78.505	34
2423	2423	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-33	1	ST108	37.0	10.0	9.3	2.2	20 a	○	-34219.767	-33789.968	78.485	
2424	2424	A区	Xa	剥片	緑色凝灰岩		1	ST108	53.3	51.9	12.0	27.5	○	-34219.515	-33789.796	78.378		
2425	2425	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	Ho-4	1	ST108	47.7	91.8	11.1	42.0	34 f	○	-34219.483	-33789.970	78.360	
2427	2427	A区	Xb	剥片	チャート		1	ST108	40.2	56.2	13.4	23.4	○	-34219.267	-33789.536	78.313		
2428	2428	A区	Xa	礫石	硬砂岩		1	ST108	245.2	102.5	89.0	2598.0	○	-34219.427	-33789.041	78.400	45	
2429	2429	A区	Xb	礫石	緑色凝灰岩	GTu-7	1	ST108	132.5	46.0	22.5	136.4	31 a	○	-34219.066	-33790.001	78.307	42 a
2431	2431	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	Ho-6	1	ST108	64.7	101.9	19.2	128.3	36 b	○	-34218.583	-33790.275	78.309	
2432	2432	A区	Xa	調整剥片	緑色凝灰岩	GTu-3	1	ST108	31.5	38.6	5.8	6.8	24 a	○	-34219.075	-33791.025	78.373	
2434	2434	A区	IXb	剥片	緑色凝灰岩	Ho-6	1	ST108	40.2	50.0	9.1	14.3	単	○	-34219.628	-33790.931	78.593	
2435	2435	A区	Xb	調整剥片	緑色凝灰岩	GTu-3	1	ST108	64.0	104.5	11.0	72.2	24 b	○	-34219.699	-33791.084	78.300	
2436	2436	A区	Xa	調整剥片	緑色凝灰岩	GTu-3	1	ST108	31.3	47.9	7.2	9.0	単	○	-34219.956	-33791.096	78.349	31
2438	2438	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-24	1	ST108	68.5	43.3	20.1	42.5	単	○	-34220.864	-33792.329	78.494	
2439	2439	A区	Xb	剥片	砂岩		1	ST108	51.8	42.6	11.5	23.5	○	-34221.926	-33792.751	78.250		
2440	2440	A区	IXb	剥片	チャート	Ch-26	1	ST108	36.2	19.0	10.0	5.6	単	○	-34221.162	-33793.167	78.598	
2441	2441	A区	IXb	剥片	チャート	Ch-26	1	ST108	34.2	19.7	14.9	9.2	単	○	-34222.082	-33793.930	78.679	
2442	2442	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-26	1	ST108	35.3	22.4	14.9	11.2	15 a	○	-34220.919	-33793.941	78.420	
2443	2443	A区	IXb	錐形石器	チャート		1	ST108	21.6	19.7	6.1	1.6	○	-34221.069	-33794.393	78.539	11	
2444	2444	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-26	1	ST108	41.5	33.1	20.0	25.7	15 b	○	-34220.431	-33794.161	78.373	
2445	2445	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-22	1	ST108	46.8	31.9	11.9	14.6	単	○	-34219.847	-33794.167	78.488	
2446	2446	A区	Xb	剥片	チャート	Ch-22	1	ST108	30.5	35.1	33.6	24.0	13 b	○	-34220.261	-33795.060	78.338	
2447	2447	A区	Xb	石核	チャート	Ch-22	外	外	57.8	39.6	27.6	69.9	単	○	-34210.454	-33808.450	78.385	
2449	2449	A区	IXa	石核	緑色凝灰岩		外	外	49.0	54.2	36.0	91.7	○	-34207.766	-33807.889	79.063		
2450	2450	A区	Xa	部分加工剥片	チャート	Ch-33	2	ST109	52.8	45.9	17.3	42.3	単	○	-34226.372	-33783.319	78.457	20
2451	2451	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-25	2	ST109	49.2	43.8	19.4	44.3	単	○	-34226.887	-33783.388	78.430	
2452	2452	A区	Xa	石核	チャート	Ch-32	2	ST109	43.3	52.1	24.5	38.2	単	○	-34226.907	-33783.318	78.477	
2456	2456	A区	Xa	台形礫石器	珪質頁岩	SSh-2	3	ST110	19.2	27.4	10.2	3.0	単	○	-34227.469	-33789.215	78.560	5
2457	2457	A区	Xa	剥片	チャート		1	ST108	14.3	18.4	9.1	1.8	○	-34223.644	-33786.797	78.505		
2458	2458	A区	Xb	剥片	チャート	Ch-30	1	ST108	27.5	58.0	18.1	25.6	単	○	-34223.230	-33785.598	78.275	
2459	2459	A区	Xc	剥片	チャート	Ch-21	1	ST108	26.5	33.2	8.9	4.4	単	○	-34222.853	-33788.155	78.301	
2460	2460	A区	Xa	剥片	安山岩		1	ST108	44.0	32.2	6.3	8.6	○	-34222.744	-33788.610	78.396		
2461	2461	A区	Xb	剥片	チャート	Ch-34	1	ST108	36.0	27.1	7.1	4.1	単	○	-34222.582	-33788.606	78.319	
2462	2462	A区	IXb	石核	チャート	Ch-22	2	ST109	34.4	40.3	18.9	25.1	9 a	○	-34224.196	-33782.504	78.655	
2465	2465	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-22	2	ST109	39.3	41.9	23.3	28.5	13 a	○	-34222.736	-33781.208	78.567	
2466	2466	A区	Xb	剥片	チャート		2	ST109	32.2	19.5	14.6	7.7	○	-34221.894	-33782.235	78.410		
2467	2467	A区																

表42 第I文化層 石器観察表(4)

通番号	小ラベル	区	層位	器種	石材	母岩	プロック	STNo	長さ	幅	厚さ	重量	接合	図版	X	Y	H	実測図番号
2478	2478	A区	Xb	剥片	チャート	Ch-26	3	ST110	50.8	51.9	24.7	54.6	16 a		-34227.39	-33791.702	78.364	
2479	2479	A区	Xc	剥片	チャート	Ch-23	3	ST110	51.1	39.9	16.9	37.1	14 b		-34227.53	-33791.248	78.342	
2480	2480	A区	Xb	剥片	チャート	Ch-28	3	ST110	72.2	36.9	30.2	86.3	18 a	○	-34227.66	-33791.195	78.414	
2481	2481	A区	Xb	石核	チャート	Ch-23	3	ST110	41.7	66.3	39.0	94.8	14 a		-34227.73	-33791.157	78.379	
2482	2482	A区	Xb	石核	チャート	Ch-23	3	ST110	57.3	48.5	29.9	76.8	14 c		-34227.77	-33791.057	78.378	
2483	2483	A区	Xb	剥片	チャート	Ch-27	3	ST110	34.9	37.6	21.5	21.8	17 c		-34227.83	-33790.997	78.408	
2484	2484	A区	Xc	剥片	チャート	Ch-27	3	ST110	73.2	54.8	35.7	151.2	17 d		-34227.82	-33790.967	78.359	
2485	2485	A区	Xc	石核	チャート	Ch-31	3	ST110	34.9	51.6	26.0	40.5	単		-34228.08	-33790.926	78.375	
2486	2486	A区	Xc	石核	チャート	Ch-27	3	ST110	75.6	57.0	52.0	224.3	17 l		-34228.14	-33791.043	78.400	
2487	2487	A区	Xb	石核	チャート		3	ST110	55.0	61.3	36.7	128.6			-34227.98	-33791.089	78.403	
2488	2488	A区	Xb	石核	チャート		3	ST110	47.9	62.0	46.0	146.3			-34227.93	-33791.067	78.394	
2489	2489	A区	Xb	石核	チャート	Ch-27	3	ST110	70.6	29.8	29.5	66.4	17 f		-34227.94	-33791.107	78.405	
2490	2490	A区	Xb	石核	チャート	Ch-28	3	ST110	77.1	55.1	35.2	211.2	18 b	○	-34227.92	-33791.141	78.372	
2491	2491	A区	Xb	石核	チャート		3	ST110	57.0	68.2	50.9	191.0			-34227.86	-33791.267	78.373	
2492	2492	A区	Xc	部分加工剥片	チャート	Ch-22	3	ST110	45.5	25.6	15.5	17.5	10 a	○	-34228.19	-33791.376	78.410	23
2493	2493	A区	Xb	剥片	頁岩		3	ST110	22.1	39.9	4.7	3.2			-34228.12	-33791.578	78.489	
2494	2494	A区	Xb	石核	チャート	Ch-25	3	ST110	45.1	70.8	37.3	115.4	単		-34227.88	-33791.670	78.407	
2495	2495	A区	Xb	石核	チャート	Ch-26	3	ST110	78.0	75.0	46.5	230.0	16 c		-34227.79	-33791.771	78.420	
2496	2496	A区	Xb	剥片	チャート	Ch-26	3	ST110	71.9	47.9	34.6	157.9	16 b		-34227.87	-33792.012	78.393	
2554	2554	A区	Xb	石核	チャート	Ch-22	3	ST110	41.5	62.5	34.5	89.8	10 b	○	-34227.88	-33791.635	78.377	
2555	2555	A区	Xc	石核	チャート	Ch-27	3	ST110	37.3	33.0	30.8	42.2	17 i		-34227.91	-33791.144	78.345	
2556	2556	A区	Xc	剥片	緑色凝灰岩	Ho-5	3	ST110	42.6	40.1	10.8	13.2	35 b		-34228.17	-33790.196	78.363	
2557	2557	A区	Xb	剥片	チャート		3	ST110	15.9	22.8	9.9	2.1			-34226.72	-33790.617	78.370	
2558	2558	A区	Xb	剥片	チャート		3	ST110	39.0	19.0	9.9	6.3			-34227.07	-33790.066	78.428	
2559	2559	A区	Xb	台形礫石器	頁岩	Sh-5	3	ST110	19.1	24.4	5.1	2.0	単	○	-34227.17	-33789.536	78.375	6
2560	2560	A区	Xb	剥片	頁岩	Sh-5	3	ST110	39.6	24.0	19.2	25.4	1 o	○	-34227.61	-33789.362	78.383	
2561	2561	A区	Xb	剥片	頁岩	Sh-5	3	ST110	28.0	34.3	13.0	9.7	単		-34227.65	-33788.844	78.397	
2562	2562	A区	Xb	石核	チャート	Ch-22	2	ST109	46.3	43.4	28.5	46.0	8 b		-34225.97	-33788.676	78.386	
2565	2565	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-22	2	ST109	36.6	33.3	23.0	19.5	9 b		-34225.26	-33780.969	78.448	
2567	2567	A区	Xa	調整剥片	緑色凝灰岩	GTu-3	2	ST109	35.4	58.7	9.6	19.8	単	○	-34228.27	-33781.171	78.484	38
2569	2569	A区	Xb	剥片	チャート	Ch-22	2	ST109	23.0	12.1	6.9	1.2	単		-34228.28	-33782.149	78.311	
2570	2570	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-22	2	ST109	13.5	23.2	10.7	2.6	11 a		-34228.15	-33782.462	78.564	
2571	2571	A区	Xa	剥片	チャート		4	ST111	50.5	35.5	21.2	40.6			-34229.66	-33781.746	78.547	
2572	2572	A区	Xa	石核	チャート	Ch-22	2	ST109	32.1	25.2	22.4	19.7	8 a		-34227.40	-33783.271	78.533	
2573	2573	A区	Xa	剥片	緑色凝灰岩		2	ST109	61.2	64.8	16.9	58.0			-34227.37	-33783.363	78.511	
2574	2574	A区	Xb	斧形石器	緑色凝灰岩		2	ST109	149.5	57.8	26.0	260.2		○	-34227.12	-33783.570	78.381	30
2575	2575	A区	Xb	斧形石器	輝緑岩	Db-1	2	ST109	77.0	58.8	23.0	160.3	22 a	○	-34226.45	-33784.129	78.396	28 a
2577	2577	A区	Xb	剥片	チャート	Ch-20	2	ST109	46.0	57.6	10.2	20.4	単		-34227.29	-33782.497	78.384	
2578	2578	A区	Xa	石核	チャート	Ch-25	2	ST109	36.6	57.9	22.2	47.5	単		-34224.65	-33782.236	78.429	
2579	2579	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-22	2	ST109	24.6	27.1	13.9	8.4	単		-34224.43	-33781.969	78.527	
2581	2581	A区	Xa	剥片	チャート		2	ST109	33.3	20.5	11.3	6.9			-34225.73	-33782.625	78.528	
2582	2582	A区	Xa	剥片	チャート		2	ST109	38.3	18.3	11.0	8.7			-34225.75	-33782.815	78.572	
2583	2583	A区	Xb	敲石	砂岩		2	ST109	84.5	65.7	38.3	259.9		○	-34225.66	-33783.333	78.387	49
2584	2584	A区	Xa	剥片	珪質頁岩	SSH-2	2	ST109	23.8	23.2	7.3	2.9	単		-34225.25	-33783.488	78.412	
2586	2586	A区	Xb	敲石	緑色凝灰岩		1	ST108	123.0	49.1	44.5	345.8		○	-34213.13	-33790.417	78.195	48
2587	2587	A区	Xb	剥片	チャート	Ho-2	1	ST108	66.4	78.9	14.0	88.8	32 a		-34215.91	-33791.208	78.256	
2590	2590	A区	Xb	剥片	チャート	Ch-21	1	ST108	18.9	26.7	9.6	4.0	単		-34217.17	-33788.298	78.208	
2591	2591	A区	Xa	剥片	チャート		1	ST108	35.2	50.6	14.1	28.7			-34216.33	-33793.755	78.362	
2592	2592	A区	Xa	剥片	チャート	Ho-3	1	ST108	36.1	66.7	10.0	21.8	単		-34218.20	-33791.933	78.387	
2593	2593	A区	Xb	剥片	チャート	Ho-2	1	ST108	79.3	44.0	20.5	66.4	32 b		-34218.28	-33791.747	78.306	
2594	2594	A区	Xb	石核	チャート	Ho-2	1	ST108	107.0	73.4	35.5	266.6	32 d		-34218.26	-33791.603	78.301	
2595	2595	A区	Xb	剥片	砂岩		1	ST108	45.5	32.0	11.4	11.1			-34218.00	-33791.525	78.323	
2596	2596	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	GTu-4	1	ST108	43.7	72.5	16.5	53.2	28 b	○	-34217.79	-33790.983	78.326	
2597	2597	A区	Xa	調整剥片	緑色凝灰岩	GTu-3	1	ST108	27.3	37.0	10.4	11.2	24 c	○	-34217.98	-33790.694	78.477	
2598	2598	A区	Xb	石核	チャート		1	ST108	52.0	34.6	21.2	40.0			-34217.60	-33790.214	78.551	
2599	2599	A区	Xb	剥片	チャート	Ch-21	1	ST108	25.0	27.1	8.5	5.2	単		-34218.50	-33795.595	78.175	
2601	2601	A区	Xb	剥片	チャート		1	ST108	23.8	24.0	6.4	3.5			-34218.47	-33789.805	78.587	
2602	2602	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	GTu-4	1	ST108	57.4	44.7	18.3	36.9	27 d	○	-34218.55	-33789.592	78.296	
2603	2603	A区	Xa	剥片	緑色凝灰岩	GTu-4	1	ST108	44.8	31.9	23.2	28.3	26 a	○	-34218.80	-33789.616	78.648	
2604	2604	A区	Xb	剥片	緑色凝灰岩	GTu-4	1	ST108	34.5	20.8	10.2	5.1	27 f	○	-34219.40	-33788.886	78.300	
2605	2605	A区	Xa	剥片	緑色凝灰岩	GTu-4	1	ST108	32.5	16.9	6.0	2.6	25 a	○	-34219.68	-33788.589	78.438	
2606	2606	A区	Xa	剥片	緑色凝灰岩	GTu-4	1	ST108	28.8	28.1	12.0	5.3	27 g	○	-34219.75	-33788.644	78.471	
2607	2607	A区	Xb	楔形石器	チャート	Ch-21	1	ST108	31.7	44.4	7.2	8.9	5 a		-34219.44	-33788.311	78.573	15
2608	2608	A区	Xb	石核	チャート		1	ST108	64.2	59.0	33.0	99.4			-34220.53	-33788.382	78.271	
2609	2609	A区	Xc	石核	チャート	Ch-21	1	ST108	47.1	63.8	19.5	83.9	7 c		-34220.80	-33788.600	78.164	
2610	2610	A区	Xa	剥片	チャート	Ho-7	1	ST108	14.1	37.3	6.7	3.6	37 a		-34220.32	-33787.986	78.527	
2611	2611	A区	Xb	錐形石器	チャート		1	ST108	34.0	25.3	9.8	6.1		○	-34220.17	-33787.540	78.599	10
2612	2612	A区	Xb	石核	チャート	Ch-34	1	ST108	55.9	53.4	45.9	112.4	21 b		-34219.75	-33787.355	78.338	
2613	2613	A区	Xb	石核	チャート	Ho-3	1	ST108	58.8	56.5	27.0	105.4	33 c		-34219.20	-33786.946	78.288	
2614	2614	A区	Xb	剥片	頁岩		1	ST108	89.6	50.2	21.8	82.2			-34218.82	-33786.626	78.317	
2615	2615	A区	Xb	剥片	安山岩	An-7	1	ST108	79.7	42.5	16.0	55.7	38 e	○	-34219.41	-33785.967	78.290	
2616	2616	A区	Xb	石核	チャート		1	ST108	57.5	56.1	33.3	144.8			-34219.88	-33785.705	78.264	
2617	2617	A区	Xa	剥片	安山岩	An-7	1	ST108	54.5	35.8	16.4	24.5	38 h	○	-34220.30	-33785.042	78.445	
2619	2619	A区	Xa	剥片	安山岩		1	ST108	29.5	40.9	16.3	13.3			-34222.09	-33784.603	78.588	
2620	2620	A区	Xb	敲石	砂岩		1	ST108	76.8	49.8	40.5	194.2		○	-34222.26	-33784.227	78.373	44
2621	2621	A区	Xb	石核	チャート	Ch-21												

表 43 第 I 文化層 石器観察表 (5)

通番号	小ラベル	区	層位	器種	石材	母岩	ブロック	STNo	長さ	幅	厚さ	重量	接合	図版	X	Y	H	実測図番号
2628	2628	A区	Xc	剥片	安山岩		1	ST108	34.2	18.2	8.5	4.1			-34221.96	-33788.561	78.165	
2629	2629	A区	Xc	剥片	チャート	Ch-21	1	ST108	26.9	18.6	9.0	2.5	単		-34221.39	-33788.844	78.161	
2631	2631	A区	Xc	石核	チャート	Ch-22	2	ST109	24.7	26.2	20.8	13.8	11 b		-34223.31	-33780.793	78.149	
2633	2633	A区	Xc	剥片	チャート		3	ST110	24.3	13.6	9.0	2.9			-34226.21	-33792.710	78.270	
2634	2634	A区	Xb	剥片	チャート		3	ST110	35.9	26.4	15.6	13.4			-34226.24	-33792.840	78.460	
2635	2635	A区	Xb	剥片	珪質頁岩	SSh-1	3	ST110	62.4	20.4	26.6	17.4	単		-34226.47	-33792.830	78.460	
2636	2636	A区	Xc	剥片	チャート		3	ST110	30.4	17.4	6.0	2.5			-34228.26	-33791.240	78.290	
2637	2637	A区	Xa	部分加工剥片	珪質頁岩	SSh-1	3	ST110	25.9	18.5	6.8	2.6	単	○	-34226.79	-33792.970	78.630	19
2639	2639	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-20	4	ST111	20.3	35.4	11.1	7.9	単		-34231.70	-33782.457	78.681	
2640	2640	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-20	4	ST111	30.9	19.2	10.4	3.0	単		-34230.92	-33781.783	78.608	
2641	2641	A区	Xa	剥片	チャート	Ch-33	4	ST111	35.2	25.4	16.8	11.0	単		-34230.48	-33781.741	78.604	
2642	2642	A区	Xb	礫器	ナツツェルス		4	ST111	135.3	106.8	47.0	768.7		○	-34230.27	-33781.463	78.488	41
2643	2643	A区	Xb	台形礫石器	チャート		2	ST109	39.8	22.9	8.2	4.4		○	-34228.54	-33779.533	78.276	7
2644	2644	A区	Xa	剥片	黒色頁岩		4	ST111	59.7	61.1	17.1	74.4			-34229.86	-33780.611	78.451	
2645	2645	A区	Xb	剥片	ナツツェルス		4	ST111	86.1	83.5	30.5	238.2			-34230.50	-33781.114	78.494	
2646	2646	A区	Xb	剥片	チャート		4	ST111	53.7	26.7	19.2	22.4			-34230.60	-33781.226	78.471	
4248	1602	B区	Xb	剥片	頁岩	Sh-7	5	ST112	51.3	59.8	12.4	40.1	45 b	○	-34292.66	-33709.922	78.209	
4249	1603	B区	Xb	剥片	緑色凝灰岩		5	ST112	71.5	68.2	26.5	81.0			-34292.33	-33707.390	78.280	
4251	1605	B区	Xb	石核	頁岩		5	ST112	71.9	64.1	20.6	100.6		○	-34290.13	-33707.700	78.234	64
4253	1607	B区	Xb	部分加工剥片	珪質頁岩	SSh-4	5	ST112	54.4	40.0	11.7	22.0	42 b	○	-34291.53	-33704.857	78.263	62
4254	1608	B区	Xb	台形礫石器	チャート	Ch-35	5	ST112	26.0	25.5	6.9	3.3	単	○	-34292.01	-33704.343	78.136	55
4255	1609	B区	Xb	石核	チャート	Ch-35	5	ST112	114.0	100.7	58.5	999.1	単	○	-34292.28	-33704.577	78.231	67
4256	1610	B区	Xb	剥片	緑色凝灰岩		6	ST113	40.9	46.1	10.0	20.6			-34293.14	-33702.215	78.327	
4258	1612	B区	Xb	剥片	珪質頁岩	SSh-4	6	ST113	58.5	29.1	11.9	15.9	42 a	○	-34300.77	-33695.344	78.182	
4259	1613	B区	Xb	剥片	珪質頁岩	SSh-4	6	ST113	28.3	37.2	8.5	6.9	単		-34300.54	-33695.801	78.321	
4260	1614	B区	Xb	剥片	頁岩		6	ST113	60.1	70.2	24.5	71.1			-34300.14	-33696.070	78.288	
4261	1615	B区	Xb	剥片	珪質頁岩	SSh-3	6	ST113	63.8	34.8	15.0	34.1	41 c		-34298.08	-33695.803	78.303	
4262	1616	B区	Xb	剥片	チャート		6	ST113	14.2	27.7	14.4	4.1			-34297.58	-33695.979	78.161	
4263	1617	B区	Xb	基部加工石器	緑色凝灰岩		6	ST113	32.7	39.0	10.1	10.3		○	-34297.38	-33696.128	78.214	56
4264	1618	B区	Xb	剥片	緑色凝灰岩		6	ST113	52.3	45.6	7.4	16.8			-34298.60	-33696.343	78.293	
4265	1619	B区	Xb	剥片	珪質頁岩		6	ST113	43.9	59.7	14.9	32.5			-34298.36	-33696.544	78.323	
4266	1620	B区	Xb	剥片	珪質頁岩	SSh-3	6	ST113	37.0	35.1	19.7	15.5	41 d		-34298.14	-33696.814	78.172	
4267	1621	B区	Xb	石核	珪質頁岩	SSh-3	6	ST113	55.8	59.5	49.0	132.7	41 a		-34298.35	-33696.934	78.247	
4269	1623	B区	Xb	剥片	頁岩		6	ST113	77.7	42.3	19.5	48.7			-34296.87	-33697.601	78.315	
4270	1624	B区	Xb	石核	チャート		6	ST113	56.5	60.5	46.0	221.6		○	-34298.66	-33698.637	78.282	65
4271	1625	B区	Xb	剥片	チャート		6	ST113	13.1	10.5	3.0	0.2			-34298.74	-33698.645	78.263	
4272	1626	B区	Xb	剥片	チャート		6	ST113	9.3	16.7	3.5	0.5			-34298.75	-33698.673	78.256	
4273	1627	B区	Xb	鋸歯縁石器	緑色凝灰岩		7	ST114	93.6	57.7	22.5	128.3		○	-34302.75	-33698.381	78.240	61
4276	1630	B区	Xb	石刃	緑色凝灰岩		6	ST113	71.7	25.7	13.0	17.7		○	-34296.39	-33698.957	78.272	59
4281	1635	B区	Xb	石核	頁岩		7	ST114	38.2	67.0	3.7	98.0			-34298.45	-33705.654	78.206	
4282	1636	B区	Xa	基部加工石器	頁岩	Sh-7	7	ST114	37.8	53.7	14.8	19.0	45 d	○	-34298.42	-33702.409	78.437	58
4283	1637	B区	Xa	ナイフ形石器	頁岩		7	ST114	49.6	20.1	8.2	6.4		○	-34298.97	-33702.510	78.476	54
4284	1638	B区	Xb	礫石	砂岩	Sa-2	7	ST114	42.6	35.9	18.0	34.1	43 a	○	-34298.99	-33702.276	78.202	69 a
4285	1639	B区	Xb	剥片	珪質頁岩	SSh-4	7	ST114	24.3	15.6	7.4	1.3	単		-34299.16	-33702.623	78.153	
4286	1640	B区	Xb	剥片	珪質頁岩		6	ST113	10.7	20.7	5.6	0.9			-34298.38	-33696.629	78.281	
4287	1641	B区	Xb	石核	珪質頁岩	SSh-3	6	ST113	52.8	41.6	21.5	59.8	41 b		-34298.31	-33696.874	78.212	
4288	1642	B区	Xb	礫石	砂岩		7	ST114	120.0	53.5	35.9	322.0		○	-34299.64	-33701.792	78.208	68
4289	1643	B区	Xa	礫石	砂岩	Sa-2	7	ST114	28.7	9.4	12.8	4.0	43 b	○	-34299.45	-33703.237	78.512	69 b
4291	1645	B区	Xb	剥片	珪質頁岩	SSh-4	7	ST114	35.5	55.0	20.6	31.8			-34300.38	-33703.400	78.272	
4292	1646	B区	Xb	礫石	砂岩	Sa-2	7	ST114	38.9	38.3	21.7	37.5	43 c	○	-34300.47	-33703.263	78.284	69 c
4293	1647	B区	Xb	使用痕剥片	チャート		7	ST114	48.9	33.0	12.6	14.8		○	-34300.55	-33702.988	78.246	63
4294	1648	B区	Xb	石核	チャート		5	ST112	45.7	40.0	26.1	43.7			-34294.99	-33713.158	78.254	
4295	1649	B区	Xb	石核	チャート		5	ST112	36.2	29.5	13.6	11.0			-34294.47	-33711.756	78.343	
4297	1651	B区	Xc	剥片	チャート	Ch-35	6	ST113	56.3	41.4	17.3	30.4	単	○	-34293.11	-33701.271	78.184	66
4298	1652	B区	Xb	台形礫石器	珪質頁岩	SSh-4	6	ST113	38.2	23.4	9.4	7.6	単	○	-34293.69	-33700.079	78.406	57
4299	1653	B区	Xb	ナイフ形石器	頁岩		6	ST113	58.9	22.7	8.3	9.0		○	-34294.13	-33699.977	78.235	53
4300	1654	B区	Xb	剥片	チャート		6	ST113	40.9	40.4	4.2	6.8			-34295.07	-33698.541	78.262	
4301	1655	B区	Xb	剥片	チャート		6	ST113	40.9	31.6	12.5	11.8			-34297.42	-33695.915	78.269	
4303	1657	B区	Xc	剥片	頁岩	Sh-7	7	ST114	56.0	44.8	14.9	33.0	44 d	○	-34300.57	-33706.376	78.192	
4304	1658	B区	Xb	剥片	頁岩	Sh-7	7	ST114	51.1	57.3	15.5	26.5	45 a	○	-34301.71	-33706.591	78.252	
4306	1660	B区	Xb	剥片	頁岩	Sh-7	7	ST114	51.2	34.8	12.5	15.4	44 j	○	-34301.80	-33705.540	78.405	
4307	1661	B区	Xa	剥片	頁岩	Sh-7	7	ST114	33.6	19.9	7.6	3.2	44 a	○	-34302.00	-33705.541	78.574	
4308	1662	B区	Xa	剥片	頁岩	Sh-7	7	ST114	18.1	14.6	4.7	1.4	44 c	○	-34302.13	-33705.637	78.464	
4309	1663	B区	Xb	剥片	頁岩	Sh-7	7	ST114	48.8	44.9	11.1	26.6	44 e	○	-34302.57	-33704.469	78.362	
4310	1664	B区	Xb	剥片	頁岩	Sh-7	7	ST114	40.5	30.4	12.1	9.2	44 i	○	-34302.79	-33704.796	78.386	
4311	1665	B区	Xc	剥片	頁岩	Sh-7	7	ST114	34.2	22.3	8.9	5.1	単		-34303.43	-33706.044	78.143	
4313	1667	B区	Xb	剥片	頁岩	Sh-7	7	ST114	26.5	43.2	14.5	13.6	44 h					

表 44 第 2 文化層 石器観察表

通番号	小ラベル	区	層位	器種	石材	母岩	ブロック	STNo	長さ	幅	厚さ	重量	接合	図版	X	Y	H	実測図番号
4747	79	F 区	VI 層位	部分加工剥片	チャート		外	外	50.9	24.4	6.6	9.9			-34251.643	-33751.319	79.644	73

表 45 第 3 文化層 石器観察表 (I)

通番号	小ラベル	区	層位	器種	石材	母岩	ブロック	STNo	長さ	幅	厚さ	重量	接合	図版	X	Y	H	実測図番号
21	21	A 区	IV a	剥片	チャート		1	ST99	56.4	39.4	13.9	23.1			-34214.603	-33797.080	81.067	
126	126	A 区	IV a	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	20.0	18.8	7.9	2.1	単		-34216.666	-33793.875	81.014	
127	127	A 区	IV a	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	26.1	52.5	12.0	11.7	単		-34217.222	-33794.056	80.876	
128	128	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	24.1	37.9	10.4	9.4	単		-34217.064	-33794.269	80.845	
129	129	A 区	IV a	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	23.3	17.5	5.2	1.9	単		-34216.569	-33794.686	80.851	
130	130	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	28.0	37.3	11.3	10.8	49 b		-34216.432	-33795.218	80.814	
131	131	A 区	IV b	剥片	チャート		2	ST90	33.5	30.9	15.7	15.0			-34217.258	-33795.460	80.674	
132	132	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	34.5	18.0	10.6	4.7	単		-34217.567	-33794.764	80.736	
133	133	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	32.0	44.1	14.3	17.1	60 m		-34217.603	-33794.710	80.754	
134	134	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	59.2	26.4	13.9	12.3	単		-34218.212	-33794.998	80.716	
135	135	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	28.0	17.8	8.0	3.5	単		-34216.881	-33794.696	80.685	
136	136	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-10	2	ST90	31.0	38.4	20.7	22.3	単		-34218.138	-33794.334	80.639	
137	137	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	26.7	28.8	12.3	7.7	単		-34218.319	-33794.090	80.663	
138	138	A 区	IV b	剥片	頁岩		2	ST90	26.1	23.8	6.4	2.7			-34218.764	-33794.457	80.602	
141	141	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	15.0	20.7	7.4	1.2	単		-34218.714	-33794.564	80.575	
142	142	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	30.8	47.7	28.6	34.5	単		-34218.872	-33794.996	80.508	
143	143	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-10	2	ST90	46.1	45.6	14.4	25.9	単		-34218.657	-33795.258	80.524	
144	144	A 区	IV b	部分加工剥片	チャート	Ch-4	2	ST90	40.1	32.2	13.7	12.7	55 c	○	-34218.577	-33795.276	80.539	92
145	145	A 区	IV b	剥片	砂岩		2	ST90	37.8	26.0	10.0	7.7			-34218.760	-33795.423	80.489	
146	146	A 区	IV b	剥片	頁岩	Sh-3	2	ST90	53.7	25.0	7.3	8.9	単		-34218.281	-33794.901	80.639	
147	147	A 区	IV b	石核	チャート	Ch-1	2	ST90	46.4	41.6	23.0	41.4	60 i		-34218.501	-33796.116	80.521	
148	148	A 区	IV b	剥片	チャート		2	ST90	47.6	32.7	15.1	20.4			-34218.138	-33796.245	80.461	
159	159	A 区	IV b	剥片	安山岩	An-1	2	ST90	36.7	32.8	12.5	13.2	67 b		-34219.412	-33791.066	80.753	
160	160	A 区	IV b	剥片	黒曜石	Ob-2	2	ST90	20.2	12.7	9.3	2.1	単		-34218.914	-33791.991	80.798	
193	193	A 区	IV a	剥片	砂岩		3	ST100	37.0	23.2	5.3	4.3			-34223.044	-33785.898	80.957	
200	200	A 区	IV a	剥片	黒曜石		4	ST101	19.9	22.4	8.0	3.5			-34225.382	-33780.596	80.932	
201	201	A 区	IV a	剥片	黒曜石	Ob-4	4	ST101	57.0	32.5	17.7	14.4	単		-34225.075	-33779.983	80.928	
204	204	A 区	IV a	台石	砂岩		4	ST101	103.5	114.0	24.5	369.5		○	-34224.642	-33781.162	80.910	100
205	205	A 区	IV b	スクレイパー	チャート	Ch-12	4	ST101	31.0	30.2	11.9	7.4	単	○	-34226.235	-33780.677	80.794	80
210	210	A 区	IV b	剥片	黒曜石		3	ST100	16.0	19.1	4.4	0.8			-34225.243	-33785.112	80.751	
245	245	A 区	IV b	剥片	黒曜石		1	ST99	24.9	13.0	10.1	2.1			-34214.999	-33798.384	80.548	
269	269	A 区	IV b	剥片	チャート		4	ST101	30.5	22.0	14.0	7.7			-34228.735	-33782.853	80.786	
280	280	A 区	IV a	石核	チャート	Ch-12	4	ST101	33.0	39.0	22.0	30.5	単		-34229.769	-33782.083	80.852	
300	300	A 区	IV b	剥片	緑色凝灰岩		4	ST101	42.9	20.0	13.8	7.0			-34229.632	-33782.617	80.645	
302	302	A 区	IV b	錐形石器	チャート	Ch-12	4	ST101	35.0	36.4	12.9	11.5	単	○	-34230.162	-33783.003	80.675	85
304	304	A 区	IV b	石核	チャート	Ch-12	4	ST101	43.0	53.6	29.0	81.2	単		-34230.349	-33783.087	80.559	
340	340	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	1	ST99	18.3	32.4	8.1	3.0	単		-34212.171	-33800.102	80.569	
352	352	A 区	IV b	部分加工剥片	黒曜石		外	外	20.9	10.7	7.7	1.2		○	-34206.867	-33806.803	80.475	88
353	353	A 区	IV b	剥片	黒曜石	Ob-3	外	外	20.8	27.5	11.1	4.2	単		-34207.264	-33807.477	80.545	
399	399	A 区	IV c	剥片	チャート	Ch-1	1	ST99	14.0	21.5	5.6	1.2	単		-34212.083	-33801.819	80.350	
400	400	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-7	2	ST90	27.0	25.3	13.1	6.2	52 i		-34216.509	-33794.014	80.601	
401	401	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	32.2	34.4	13.2	10.9	単		-34216.602	-33793.954	80.589	
402	402	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	35.9	19.8	4.0	2.0	単		-34216.094	-33794.601	80.512	
403	403	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	38.3	28.5	8.9	8.1	51 a		-34216.661	-33794.536	80.550	
404	404	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	29.0	22.7	15.6	6.3	60 c		-34217.125	-33794.596	80.583	
405	405	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-7	2	ST90	23.1	35.0	12.2	8.9	52 f		-34217.359	-33794.310	80.622	
406	406	A 区	IV b	スクレイパー	チャート	Ch-1	2	ST90	38.4	41.8	13.1	17.4	59 b	○	-34217.464	-33794.227	80.617	81
407	407	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-7	2	ST90	37.4	25.0	13.8	9.2	52 a		-34217.228	-33794.276	80.600	
408	408	A 区	IV b	剥片	頁岩	Sh-3	2	ST90	35.9	21.1	6.7	5.1	64 a	○	-34217.176	-33794.294	80.579	
409	409	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-7	2	ST90	50.3	39.0	20.2	29.1	52 g		-34217.466	-33794.532	80.574	
410	410	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	27.4	32.1	18.6	10.3	60 g		-34217.369	-33794.409	80.573	
411	411	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	47.3	30.6	11.3	8.2	51 f		-34217.716	-33793.250	80.556	
412	412	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-2	2	ST90	30.8	22.3	13.5	7.3	53 e		-34218.490	-33793.631	80.621	
413	413	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	20.6	20.5	8.0	1.9	単		-34218.486	-33793.698	80.618	
414	414	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	29.4	18.0	11.0	4.9	単		-34218.522	-33793.703	80.627	
415	415	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	23.3	26.3	6.9	2.3	単		-34218.674	-33793.800	80.623	
416	416	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-2	2	ST90	33.6	18.7	9.6	2.9	単		-34218.548	-33793.813	80.534	
417	417	A 区	IV b	剥片	チャート		2	ST90	23.6	10.7	5.8	0.9			-34218.151	-33794.237	80.581	
418	418	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-4	2	ST90	25.2	34.4	15.3	13.4	56 b		-34218.349	-33794.624	80.633	
419	419	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	15.0	19.9	3.0	0.6	単		-34218.033	-33794.776	80.572	
420	420	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	26.0	36.3	10.8	11.6	単		-34217.934	-33795.199	80.559	
421	421	A 区	IV b	剥片	頁岩		2	ST90	10.8	15.6	6.5	0.7			-34218.261	-33795.218	80.541	
422	422	A 区	IV b	剥片	頁岩	Sh-4	2	ST90	36.9	28.6	12.7	14.0	66 b		-34218.320	-33795.223	80.532	
423	423	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-7	2	ST90	50.4	31.7	7.7	13.8	52 d		-34218.507	-33794.955	80.532	
424	424	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-4	2	ST90	21.6	29.7	12.0	5.4	56 a		-34218.699	-33794.989	80.483	
425	425	A 区	IV b	剥片	頁岩	Sh-3	2	ST90	34.0	36.4	9.0	8.2	単		-34218.744	-33794.906	80.519	
426	426	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-2	2	ST90	24.5	36.6	9.6	5.9	53 a		-34218.866	-33794.638	80.523	
427	427	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	16.0	16.7	8.2	2.3	単		-34218.834	-33796.054	80.459	
428	428	A 区	IV b	剥片	頁岩	Sh-4	2	ST90	33.0	52.7	11.1	17.8	66 a		-34218.940	-33796.136	80.494	
429	429	A 区	IV b	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	37.9	27.3	16.4	12.0	48 a		-34219.047	-33796.126	80.494	
430	430	A 区	IV c	石核	チャート	Ch-1	2	ST90	41.0	32.7	20.8	22.3	60 n		-34218.224	-33796.233	80.440	
431	431	A 区	IV c	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	37.6	61.4	11.6	20.0	60 k		-34217.754	-33796.570	80.437	

表46 第3文化層 石器観察表(2)

通番号	小ラベル	区	層位	器種	石材	母岩	ブロック	STNo	長さ	幅	厚さ	重量	接合	図版	X	Y	H	実測図番号
432	432	A区IVc	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	28.1	38.3	11.9	9.5	単			-34217.440	-33795.631	80.437	
433	433	A区IVc	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	19.6	16.6	4.2	1.0	単			-34217.302	-33795.519	80.442	
434	434	A区IVb	剥片	チャート	Ch-3	2	ST90	17.4	12.6	5.7	1.4	単			-34217.082	-33795.305	80.507	
435	435	A区IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	14.8	40.1	12.7	10.3	単			-34217.279	-33795.187	80.492	
436	436	A区IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	18.3	25.5	9.4	3.4	59 a	○		-34217.541	-33795.324	80.469	
437	437	A区IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	36.3	24.2	15.4	13.8	単			-34217.635	-33795.225	80.486	
438	438	A区IVb	剥片	チャート	Ch-2	2	ST90	43.8	27.1	15.2	13.5	53 d			-34217.362	-33794.949	80.471	
439	439	A区IVb	剥片	チャート	Ch-3	2	ST90	35.5	20.0	13.5	7.8	54 a			-34217.088	-33794.880	80.501	
440	440	A区IVc	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	26.9	23.8	8.8	3.2	単			-34217.077	-33794.778	80.438	
441	441	A区IVb	剥片	頁岩	Sh-3	2	ST90	32.9	62.7	11.7	14.1	単			-34217.455	-33794.796	80.513	
442	442	A区IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	21.0	15.2	8.6	2.6	単			-34217.292	-33794.622	80.516	
443	443	A区IVb	剥片	チャート	Ch-7	2	ST90	42.2	32.4	9.1	10.7	52 b			-34217.349	-33794.478	80.530	
444	444	A区IVb	剥片	チャート	Ch-3	2	ST90	22.7	16.9	9.5	2.2	54 b			-34217.255	-33794.446	80.481	
445	445	A区IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	63.3	33.9	15.9	23.0	60 j			-34217.664	-33794.923	80.470	
446	446	A区IVb	剥片	チャート	Ch-7	2	ST90	45.5	31.3	17.6	23.2	52 c			-34217.555	-33794.729	80.464	
447	447	A区IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	35.5	43.9	20.3	20.3	単			-34217.544	-33794.664	80.469	
448	448	A区IVb	剥片	チャート	Ch-4	2	ST90	49.4	30.1	21.2	25.3	55 d	○		-34217.627	-33794.609	80.493	
449	449	A区IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	30.0	46.6	13.3	15.3	49 c			-34217.787	-33794.486	80.459	
450	450	A区IVc	石核	チャート	Ch-8	2	ST90	30.2	33.0	21.7	22.8	58 b			-34217.431	-33793.626	80.444	
451	451	A区IVc	剥片	チャート	Ch-2	2	ST90	34.4	46.7	14.2	13.0	53 b			-34217.752	-33794.051	80.435	
452	452	A区IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	19.7	24.6	11.0	4.1	単			-34218.074	-33794.271	80.576	
453	453	A区IVc	剥片	頁岩	Sh-3	2	ST90	23.3	35.2	18.8	7.2	単			-34218.001	-33794.146	80.426	
454	454	A区IVb	剥片	チャート		2	ST90	64.2	19.0	12.0	9.6				-34218.230	-33793.816	80.452	
455	455	A区IVb	剥片	頁岩		2	ST90	15.2	26.4	6.4	2.1				-34218.301	-33793.761	80.465	
456	456	A区IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	38.6	37.3	19.9	20.5	51 h			-34218.189	-33794.509	80.476	
457	457	A区IVb	ナイフ形石器	チャート	Ch-10	2	ST90	14.8	14.4	3.8	0.5	単	○		-34218.108	-33794.981	80.491	77
458	458	A区IVb	石核	チャート	Ch-1	2	ST90	45.8	81.3	28.8	95.9	51 g			-34218.280	-33794.975	80.467	
459	459	A区IVb	部分加工剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	32.0	21.0	5.1	2.8	単	○		-34218.317	-33795.062	80.475	90
460	460	A区IVb	剥片	チャート	Ch-4	2	ST90	23.4	55.0	21.1	28.1	55 b	○		-34218.180	-33795.070	80.482	
461	461	A区IVb	剥片	チャート	Ch-2	2	ST90	22.0	25.5	4.5	2.4	単			-34218.187	-33795.171	80.477	
462	462	A区IVb	剥片	チャート	Ch-3	2	ST90	26.3	17.6	5.5	1.8	単			-34218.095	-33795.225	80.494	
463	463	A区IVb	剥片	チャート	Ch-3	2	ST90	23.5	9.7	4.9	0.8	単			-34218.079	-33795.415	80.482	
464	464	A区IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	37.0	47.1	10.2	9.8	60 b			-34217.989	-33795.393	80.476	
465	465	A区IVb	剥片	砂岩		2	ST90	50.9	31.2	13.2	18.9				-34218.445	-33795.179	80.487	
466	466	A区IVb	ナイフ形石器	チャート		2	ST90	29.0	13.4	8.6	2.2		○		-34218.572	-33795.265	80.466	74
467	467	A区IVb	石核	頁岩	Sh-3	2	ST90	44.7	50.7	33.9	73.1	単	○		-34218.624	-33795.285	80.467	95
468	468	A区IVc	ナイフ形石器	チャート	Ch-10	2	ST90	31.6	17.5	10.4	5.0	単	○		-34218.664	-33795.300	80.427	76
469	469	A区IVc	剥片	砂岩		2	ST90	15.3	11.9	3.9	0.7				-34218.979	-33795.009	80.413	
470	470	A区IVc	剥片	頁岩	Sh-3	2	ST90	29.4	28.2	11.5	6.6	単			-34219.077	-33794.947	80.449	
471	471	A区IVb	剥片	頁岩	Sh-3	2	ST90	65.7	38.6	14.5	38.1	64 b	○		-34218.874	-33795.051	80.462	
472	472	A区IVb	剥片	チャート	Ch-8	2	ST90	28.2	23.1	15.5	11.5	58 a			-34219.239	-33794.417	80.458	
473	473	A区IVb	剥片	頁岩		2	ST90	37.2	34.2	7.3	8.2				-34218.722	-33793.897	80.539	
474	474	A区IVc	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	33.9	52.5	15.7	16.7	51 b			-34218.756	-33793.827	80.449	
475	475	A区IVb	剥片	チャート		2	ST90	12.7	27.7	7.4	1.9				-34219.421	-33793.492	80.480	
476	476	A区IVc	ナイフ形石器	チャート		2	ST90	45.2	21.0	13.0	9.4		○		-34219.070	-33793.269	80.437	78
477	477	A区IVc	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	33.0	20.4	6.0	3.5	単			-34218.202	-33793.880	80.379	
478	478	A区IVc	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	37.1	47.5	11.6	22.9	48 b			-34217.964	-33793.871	80.374	
479	479	A区IVc	石核	チャート	Ch-3	2	ST90	42.7	49.1	25.1	53.5	単			-34217.921	-33793.860	80.383	
480	480	A区IVc	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	35.0	27.1	11.7	6.9	単			-34217.614	-33793.704	80.371	
481	481	A区IVc	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	20.2	13.8	3.4	1.0	60 h			-34217.114	-33793.594	80.343	
482	482	A区IVb	剥片	チャート	Ch-4	2	ST90	19.5	21.5	7.0	2.1	単			-34217.441	-33794.459	80.457	
483	483	A区IVc	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	19.6	25.7	9.8	3.9	49 a			-34217.506	-33794.290	80.364	
484	484	A区IVc	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	32.3	11.7	11.7	3.4	単			-34217.867	-33794.282	80.401	
485	485	A区IVc	剥片	チャート	Ch-7	2	ST90	29.5	17.0	6.4	3.1	単			-34216.847	-33794.755	80.341	
486	486	A区IVc	ノッチ	チャート	Ch-4	2	ST90	28.0	20.4	8.2	3.5	単	○		-34216.946	-33794.905	80.352	84
487	487	A区IVc	剥片	チャート		2	ST90	19.0	16.9	7.0	1.1				-34217.745	-33795.602	80.416	
488	488	A区IVc	剥片	チャート	Ch-4	2	ST90	37.4	19.6	12.8	5.6	単			-34218.134	-33795.833	80.370	
489	489	A区IVc	剥片	チャート	Ch-10	2	ST90	28.0	31.5	8.0	6.6	単			-34217.629	-33796.255	80.354	
490	490	A区IVc	部分加工剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	41.0	24.4	9.7	6.9	単	○		-34218.523	-33795.908	80.448	91
491	491	A区IVc	ナイフ形石器	チャート	Ch-1	2	ST90	28.2	15.9	6.7	2.4	単	○		-34219.045	-33795.923	80.385	75
492	492	A区IVc	剥片	チャート	Ch-2	2	ST90	41.8	31.1	14.2	13.5	53 c			-34219.551	-33794.702	80.345	
524	524	A区IVb	剥片	安山岩	An-1	3	ST100	39.8	20.2	16.2	10.4	単			-34224.452	-33783.435	80.522	
532	532	A区IVb	石核	チャート	Ch-12	4	ST101	26.3	32.2	24.5	14.1	単			-34230.023	-33780.939	80.669	
572	572	A区IVc	剥片	砂岩		3	ST100	101.0	50.8	13.2	57.2				-34223.102	-33783.637	80.428	
574	574	A区IVb	剥片	チャート	Ch-10	3	ST100	24.8	39.0	13.8	10.5	単			-34227.547	-33784.534	80.653	
575	575	A区IVb	剥片	チャート	Ch-10	3	ST100	45.7	19.9	10.0	6.3	単			-34228.176	-33784.274	80.542	
576	576	A区IVb	剥片	チャート	Ch-10	3	ST100	25.0	19.9	8.4	3.0	単			-34227.242	-33783.592	80.460	
588	588	A区IVc	剥片	チャート		1	ST99	29.9	23.4	13.3	5.8				-34214.545	-33797.702	80.437	
644	644	A区IVc	剥片	黒曜石	Ob-3	1	ST99	46.7	28.1	11.5	9.7	単			-34214.466	-33799.435	80.379	
645	645	A区IVc	部分加工剥片	黒曜石		1	ST99	14.2	21.4	4.3	1.3		○		-34215.228	-33799.526	80.400	89
646	646	A区IVc	剥片	黒曜石		1	ST99	23.8	30.3	11.9	6.1				-34215.637	-33798.898	80.412	
647	647	A区IVc	剥片	黒曜石	Ob-4	1	ST99	25.0	38.7	9.6	8.4	単			-34213.251	-33798.959	80.398	
648	648	A区IVc	剥片	頁岩		3	ST100	53.3	43.9	11.8	29.2				-34220.113	-33787.244	80.344	
664	664	A区IVb	剥片	チャート	Ch-10	3	ST100	36.0	38.0	13.8	15.2	単			-34226.143	-33785.843	80.598	
683	683	A区IVb	剥片	頁岩	Sh-1	3	ST100	45.1	40.4	16.7	29.5	62 b			-34226.464	-33787.690	80.460	
684	684	A区IVb	剥片	頁岩	Sh-1	3	ST100	51.3	31.4	16.9	24.2	62 a			-34226.458	-33787.658	80.461	
690	690	A区IVb	剥片	頁岩	Sh-2	3	ST100	28.5	41.6	15.8	14.9	46 a			-34225.754	-33786.508	80.481</	

表47 第3文化層 石器観察表(3)

通番号	小ラベル	区	層位	器種	石材	母岩	ブロック	STNo.	長さ	幅	厚さ	重量	接合	図版	X	Y	H	実測図番号
729	729	A区	IVc	石核	安山岩	An-1	3	ST100	69.9	71.3	36.5	213.8	63 a	○	-34225.210	-33786.199	80.415	
747	747	A区	IVc	石核	黒曜石		3	ST100	39.1	25.8	12.7	10.4		○	-34225.400	-33786.573	80.383	94
748	748	A区	IVc	剥片	黒曜石		3	ST100	23.1	30.0	12.1	3.8			-34225.966	-33786.581	80.441	
749	749	A区	IVb	剥片	黒曜石		3	ST100	32.0	11.4	7.5	1.9			-34225.794	-33785.727	80.492	
750	750	A区	IVc	石核	黒曜石		3	ST100	32.1	44.8	27.5	22.2			-34226.010	-33784.454	80.437	
751	751	A区	IVc	剥片	チャート	Ch-10	3	ST100	19.3	36.5	8.0	2.6	単		-34226.697	-33785.287	80.411	
752	752	A区	IVc	剥片	チャート	Ch-10	3	ST100	64.7	31.8	13.9	15.1	単		-34227.280	-33785.511	80.403	
778	778	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-4	2	ST90	44.3	39.6	13.5	19.5	単		-34218.237	-33794.981	80.499	
783	783	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	67.8	40.5	19.6	46.0	51 d		-34218.048	-33794.289	80.508	
798	798	A区	IVb	剥片	頁岩	Sh-3	2	ST90	58.6	37.8	18.3	35.5	64 c	○	-34217.881	-33794.515	80.478	
809	809	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-4	2	ST90	69.8	35.9	21.0	69.0	55 a	○	-34217.700	-33794.599	80.463	
819	819	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	42.5	33.8	16.0	18.3	51 c		-34217.205	-33794.332	80.541	
820	820	A区	IVb	剥片	チャート		2	ST90	27.3	19.8	8.6	3.4			-34217.140	-33794.604	80.575	
821	821	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-7	2	ST90	26.5	27.8	5.8	2.8	52 h		-34217.071	-33795.224	80.470	
822	822	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-3	2	ST90	23.1	24.7	10.8	4.1	単		-34217.286	-33794.819	80.509	
823	823	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	50.3	48.1	11.7	27.3	57 b		-34217.355	-33794.832	80.471	
824	824	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	34.8	22.2	6.3	3.6	単		-34217.605	-33795.243	80.496	
825	825	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	38.8	36.6	14.0	17.6	59 c	○	-34217.544	-33795.029	80.478	
826	826	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	43.0	88.5	25.1	70.1	60 a		-34217.483	-33794.957	80.472	
827	827	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	40.4	28.4	11.7	23.9	単		-34217.374	-33794.974	80.493	
828	828	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	65.7	48.0	27.9	80.9	60 l		-34217.636	-33794.729	80.473	
829	829	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-7	2	ST90	48.5	43.4	27.0	43.1	52 e		-34217.648	-33794.570	80.450	
830	830	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	30.5	33.5	13.3	10.4	51 e		-34217.870	-33794.659	80.477	
831	831	A区	IVb	剥片	頁岩		2	ST90	31.4	42.8	15.1	19.3			-34217.985	-33794.673	80.479	
832	832	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	43.3	47.3	28.9	47.4	50 b		-34218.379	-33795.049	80.494	
833	833	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	27.4	29.9	6.5	4.6	単		-34218.750	-33794.936	80.520	
834	834	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	19.4	31.6	15.4	6.3	単		-34218.528	-33793.734	80.544	
835	835	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	46.2	20.8	9.0	8.0	50 a		-34218.661	-33793.742	80.539	
851	851	A区	IVc	剥片	安山岩	An-1	3	ST100	28.5	61.0	12.4	15.7	63 e	○	-34225.838	-33786.749	80.431	
888	888	A区	IVc	剥片	安山岩	An-2	3	ST100	69.2	44.0	23.4	73.6	61 a		-34224.007	-33785.119	80.369	
891	891	A区	IVc	剥片	黒曜石	黒曜石	3	ST100	75.8	49.9	35.3	194.8		○	-34223.942	-33784.123	80.377	97
929	929	A区	IVc	剥片	安山岩	An-1	3	ST100	83.3	100.3	38.5	207.3	63 b	○	-34223.868	-33783.431	80.346	
936	936	A区	IVc	石核	安山岩	An-2	3	ST100	80.0	69.0	47.5	322.5	61 b		-34224.459	-33783.910	80.365	
971	971	A区	IVc	石核	チャート	Ch-9	3	ST100	44.4	53.9	38.5	94.6	単		-34223.657	-33785.008	80.305	
972	972	A区	IVc	石核	黒曜石		3	ST100	76.2	76.0	54.9	323.0			-34223.130	-33784.838	80.327	
973	973	A区	IVc	剥片	頁岩	Sh-2	3	ST100	54.3	35.8	10.2	15.7	46 c		-34225.523	-33783.032	80.429	
974	974	A区	IVc	楔形石器	黒曜石		3	ST100	25.0	25.3	16.8	9.5		○	-34224.864	-33783.229	80.348	86
975	975	A区	IVc	剥片	頁岩	Sh-2	3	ST100	44.2	34.3	15.3	22.2	46 d		-34225.349	-33783.492	80.349	
976	976	A区	IVb	剥片	安山岩	An-1	3	ST100	39.6	35.2	13.6	14.6	単		-34223.991	-33783.576	80.489	
977	977	A区	IVc	剥片	チャート	Ch-9	3	ST100	28.3	18.9	7.9	4.1	単		-34224.360	-33784.199	80.398	
978	978	A区	IVc	剥片	頁岩	Sh-2	3	ST100	78.6	40.3	17.8	48.3	46 b		-34223.854	-33784.340	80.301	
979	979	A区	IVc	剥片	チャート	Ch-9	3	ST100	31.9	28.7	10.4	8.5	単		-34223.670	-33785.095	80.308	
980	980	A区	IVc	剥片	チャート	Ch-9	3	ST100	44.4	36.5	13.5	10.9	単		-34223.409	-33784.947	80.332	
981	981	A区	IVc	部分加工剥片	チャート	Ch-11	3	ST100	43.6	37.8	11.0	12.0	単	○	-34223.675	-33784.033	80.317	93
1180	1180	A区	IVc	剥片	安山岩	An-1	2	ST90	40.0	34.2	16.2	17.3	67 a		-34220.701	-33790.810	80.294	
1216	1216	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-6	2	ST90	46.0	19.1	12.8	11.0	65 b		-34218.202	-33792.603	80.676	
1224	1224	A区	IVb	剥片	黒曜石		2	ST90	20.2	14.5	4.8	0.7			-34219.555	-33791.900	80.464	
1225	1225	A区	IVc	剥片	黒曜石		2	ST90	15.2	18.8	3.1	0.3			-34219.648	-33791.744	80.410	
1265	1265	A区	IVb	剥片	安山岩		4	ST101	34.7	28.8	9.8	6.4			-34230.960	-33782.044	80.544	
1294	1294	A区	IVb	剥片	安山岩		4	ST101	35.7	49.7	13.1	23.4			-34230.390	-33782.351	80.509	
1349	1349	A区	IVb	石核	黒曜石		4	ST101	88.7	80.7	35.1	266.0		○	-34229.353	-33782.368	80.571	96
1353	1353	A区	IVb	剥片	黒曜石		4	ST101	47.0	29.2	11.6	13.1			-34229.547	-33782.630	80.611	
1361	1361	A区	IVb	剥片	黒曜石		4	ST101	94.3	104.0	38.5	269.4			-34229.053	-33780.718	80.474	
1419	1419	A区	IVc	剥片	頁岩	Sh-3	2	ST90	44.7	43.8	15.6	24.9	単		-34218.605	-33793.761	80.442	
1420	1420	A区	IVc	石核	チャート	Ch-6	2	ST90	71.8	55.0	51.3	220.4	65 c		-34218.538	-33793.806	80.386	
1421	1421	A区	IVc	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	28.3	39.5	13.8	8.0	単		-34218.353	-33794.499	80.385	
1422	1422	A区	IVc	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	29.2	16.3	8.5	2.7	単		-34218.236	-33794.528	80.391	
1423	1423	A区	IVc	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	25.0	15.6	13.8	4.5	単		-34217.869	-33794.166	80.358	
1424	1424	A区	IVc	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	28.0	20.8	6.5	3.6	単		-34217.824	-33794.271	80.376	
1425	1425	A区	IVc	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	23.8	32.0	10.1	6.4	60 f		-34217.401	-33794.546	80.417	
1426	1426	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	25.5	22.9	10.0	4.4	60 e		-34217.203	-33794.660	80.450	
1427	1427	A区	IVc	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	42.8	33.5	14.7	11.6	単		-34217.279	-33794.770	80.427	
1428	1428	A区	IVc	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	23.6	22.7	8.8	3.1	単		-34217.466	-33794.698	80.449	
1429	1429	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	26.1	49.4	17.5	21.8	60 d		-34217.566	-33794.755	80.476	
1430	1430	A区	IVc	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	22.7	23.0	8.0	3.7	単		-34217.336	-33794.901	80.298	
1431	1431	A区	IVc	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	20.9	17.5	6.2	1.7	57 a		-34217.387	-33795.018	80.327	
1432	1432	A区	IVc	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	31.0	29.4	10.6	7.2	57 c		-34217.659	-33794.964	80.379	
1433	1433	A区	IVc	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	33.9	23.9	11.3	7.5	単		-34217.697	-33795.066	80.446	
1434	1434	A区	IVc	剥片	チャート	Ch-10	2	ST90	31.9	30.5	13.7	10.2	単		-34218.030	-33795.160	80.371	
1435	1435	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	41.7	23.6	12.0	8.5	単		-34218.318	-33794.971	80.471	
1436	1436	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	36.6	10.3	7.6	2.4	単		-34218.390	-33795.111	80.473	
1437	1437	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	42.5	31.0	18.0	19.5	単		-34218.631	-33795.245	80.471	
1438	1438	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-1	2	ST90	35.0	20.6	8.6	4.3	単		-34218.773	-33795.019	80.483	
1632	1632	A区	IVc	砕片	黒曜石		1	ST99	10.3	7.5	1.1	0.1			-34214.235	-33801.027	80.325	
1633	1633	A区	IVc	石核	黒曜石	Ob-2	1	ST99	35.3	39.2	21.5	25.3	単		-34214.335	-33801.097	80.305	
1634	1634	A区	IVc	剥片	黒曜石	Ob-2	1	ST99	41.7	34.5	18.8	24.9	単		-34214.252	-33801.212	80.32	

表48 第3文化層 石器観察表(4)

通番号	小ラベル	区	層位	器種	石材	母岩	ブロック	STNo	長さ	幅	厚さ	重量	接合	図版	X	Y	H	実測図番号
1668	1668	A区	IVc	剥片	頁岩			4 ST101	15.1	22.6	7.0	0.9			-34230.872	-33781.956	80.392	
1697	1697	A区	V	剥片	頁岩	Sh-4	2	ST90	49.0	41.0	15.2	21.9	単		-34217.944	-33792.565	80.249	
1698	1698	A区	IVc	剥片	チャート	Ch-6	2	ST90	25.0	21.7	14.2	8.8	65 a		-34217.820	-33792.642	80.266	
1699	1699	A区	V	鋸歯縁石器	チャート	Ch-11	2	ST90	29.5	38.3	18.7	13.1	単	○	-34218.304	-33795.415	80.193	82
1714	1714	A区	V	剥片	頁岩		1	ST99	32.9	27.1	10.8	5.5			-34215.358	-33799.821	80.239	
1717	1717	A区	V	石刃	頁岩		1	ST99	72.0	19.9	11.3	9.3		○	-34215.350	-33798.754	80.239	87
1754	1754	A区	IVc	剥片	安山岩		4	ST101	33.1	61.4	13.2	26.3			-34231.180	-33784.005	80.385	
1774	1774	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-3	4	ST101	41.9	26.2	18.0	16.3	単		-34230.595	-33782.878	80.517	
1775	1775	A区	IVb	剥片	チャート		4	ST101	49.5	35.0	10.5	14.6			-34230.215	-33782.249	80.486	
1808	1808	A区	IVc	剥片	安山岩	An-2	3	ST100	33.0	25.8	7.0	2.9	単		-34222.585	-33785.834	80.372	
1812	1812	A区	IVb	ナイフ形石器	黒曜石		3	ST100	37.3	13.9	8.7	3.3		○	-34221.064	-33784.825	80.520	79
1813	1813	A区	IVb	剥片	黒曜石	Ob-1	3	ST100	27.1	40.3	17.6	15.2	68 a	○	-34220.826	-33784.740	80.524	
1835	1835	A区	V	石核	砂岩	Sa-1	3	ST100	55.8	73.5	54.0	226.3	47 c		-34223.468	-33783.996	80.264	
1842	1842	A区	V	剥片	チャート		3	ST100	36.5	37.4	23.5	16.1			-34223.770	-33785.877	80.264	
1843	1843	A区	V	剥片	チャート		3	ST100	36.2	20.3	8.5	6.5			-34223.747	-33785.889	80.258	
1844	1844	A区	V	剥片	砂岩	Sa-1	3	ST100	58.4	31.5	16.8	25.7	47 b		-34223.297	-33784.097	80.288	
1845	1845	A区	V	剥片	砂岩	Sa-1	3	ST100	39.1	43.7	15.5	25.5	47 a		-34224.007	-33784.054	80.290	
1902	1902	A区	V	剥片	安山岩		3	ST100	44.9	45.6	17.5	38.6			-34221.577	-33784.393	80.278	
1911	1911	A区	V	燧石	砂岩		3	ST100	122.5	49.0	34.3	335.2		○	-34221.649	-33784.827	80.229	98
1933	1933	A区	V	剥片	黒曜石	Ob-1	3	ST100	27.2	35.9	18.1	12.5	68 b	○	-34221.271	-33784.631	80.226	
1937	1937	A区	IVc	燧石	砂岩		4	ST101	103.8	59.8	50.2	432.8		○	-34225.628	-33781.660	80.324	
1978	1978	A区	IVc	台石	砂岩		2	ST90	123.1	123.8	37.5	637.3			-34217.567	-33790.392	80.301	
2006	2006	A区	IVc	鋸歯縁石器	チャート	Ch-9	外	外	60.5	40.8	19.5	37.2	単	○	-34204.204	-33798.006	80.379	83
2007	2007	A区	IVc	剥片	チャート	Ch-11	外	外	34.2	34.7	15.5	12.2	単		-34203.422	-33798.337	80.384	
2154	2154	A区	V	剥片	頁岩		外	外	48.2	39.5	10.5	10.3			-34207.941	-33795.067	80.145	
2189	2189	A区	IVc	石核	チャート		外	外	25.4	28.5	15.6	11.5			-34202.975	-33798.715	80.263	
2519	2519	A区	V	剥片	黒曜石	Ob-3	4	ST101	32.4	46.0	9.2	15.8	単		-34228.137	-33779.381	80.240	
2638	2638	A区	IVb	剥片	黒曜石		4	ST101	89.9	81.1	24.5	175.2			-34231.537	-33781.421	80.550	
2681	35	B区	IVb	剥片	黒曜石		9	ST106	24.0	11.9	6.1	1.0			-34297.994	-33694.163	80.720	
2753	107	B区	IVb	剥片	チャート	Ch-16	外	外	27.6	18.2	8.0	2.7	単		-34297.572	-33689.949	80.602	
2772	126	B区	IVb	剥片	黒曜石		9	ST106	9.3	14.0	4.1	0.4			-34298.643	-33693.502	80.612	
2833	187	B区	IVc	剥片	頁岩		6	ST102	32.0	15.8	12.5	5.9			-34288.663	-33705.887	80.379	
2851	205	B区	IVb	剥片	黒曜石		6	ST102	22.2	19.0	6.3	2.3			-34289.636	-33711.133	80.466	
2858	212	B区	IVb	剥片	砂岩		6	ST102	14.2	27.8	5.8	1.2			-34288.133	-33707.524	80.445	
2860	214	B区	IVc	剥片	黒曜石	Ob-9	6	ST102	36.2	24.9	16.8	12.6	単		-34288.629	-33709.563	80.375	
2861	215	B区	IVc	ナイフ形石器	黒曜石	Ob-8	6	ST102	31.4	19.4	9.9	4.4	単	○	-34289.535	-33709.875	80.366	101
2862	216	B区	IVc	ナイフ形石器	黒色頁岩		6	ST102	36.2	16.4	6.5	3.2		○	-34288.930	-33709.377	80.339	102
2864	218	B区	IVc	剥片	黒曜石		6	ST102	16.8	13.8	3.6	0.4			-34290.551	-33706.818	80.310	
2882	236	B区	IVc	剥片	チャート		8	ST105	29.7	32.8	12.7	10.8			-34297.463	-33704.061	80.350	
2939	293	B区	IVc	ナイフ形石器	黒曜石	Ob-8	12	ST107	34.4	12.0	10.0	3.1	単	○	-34304.156	-33701.778	80.325	105
2940	294	B区	IVc	剥片	黒曜石	Ob-10	12	ST107	16.2	21.6	8.2	2.3			-34304.346	-33701.688	80.287	
2999	353	B区	IVc	剥片	黒曜石	Ob-10	12	ST107	15.2	25.9	7.5	2.2	単		-34304.067	-33700.580	80.359	
3000	354	B区	IVc	ナイフ形石器	黒曜石	Ob-10	12	ST107	15.0	12.4	3.0	0.3	単	○	-34304.191	-33700.499	80.341	106
3001	355	B区	IVc	剥片	黒曜石		12	ST107	17.9	33.6	9.1	5.0			-34304.521	-33700.512	80.324	
3014	368	B区	IVc	剥片	黒色頁岩	BSh-4	9	ST106	37.5	33.8	9.5	13.9	単		-34300.699	-33693.323	80.306	
3098	452	B区	IVb	部分加工剥片	黒曜石	Ob-8	9	ST106	17.2	27.0	11.1	3.4	単	○	-34297.283	-33695.901	80.629	113
3099	453	B区	IVb	剥片	黒曜石		9	ST106	23.8	32.2	11.0	6.8			-34297.318	-33695.115	80.476	
3100	454	B区	IVc	剥片	黒曜石	Ob-9	9	ST106	30.5	28.0	21.5	11.6	単		-34297.236	-33694.845	80.382	
3167	521	B区	V	剥片	チャート		6	ST102	40.3	38.6	19.9	29.6			-34290.419	-33708.874	80.185	
3236	590	B区	IVb	部分加工剥片	黒曜石	Ob-10	7	ST103	21.5	14.2	7.0	1.1	単	○	-34293.696	-33702.106	80.602	112
3248	602	B区	IVc	剥片	頁岩		9	ST106	39.6	46.2	15.7	23.8			-34301.274	-33696.173	80.224	
3250	604	B区	IVc	剥片	緑色凝灰岩	Gr-1	9	ST106	50.2	37.7	10.9	19.2	単		-34300.837	-33695.787	80.225	
3251	605	B区	IVc	剥片	緑色凝灰岩		9	ST106	53.7	30.4	11.5	13.5			-34300.681	-33694.584	80.244	
3252	606	B区	IVc	剥片	黒色頁岩	BSh-4	9	ST106	22.5	14.1	6.4	1.5	単		-34300.330	-33694.499	80.217	
3253	607	B区	IVc	剥片	緑色凝灰岩		9	ST106	52.7	37.4	10.3	19.4			-34300.242	-33694.432	80.233	
3254	608	B区	IVc	剥片	緑色凝灰岩		9	ST106	12.0	27.0	5.3	2.0			-34299.894	-33694.732	80.251	
3307	661	B区	IVb	剥片	黒曜石		7	ST103	16.5	20.8	6.6	1.5			-34292.101	-33701.929	80.633	
3308	662	B区	IVb	剥片	黒曜石	Ob-9	7	ST103	31.5	25.8	8.8	4.5	単		-34291.030	-33702.714	80.577	
3309	663	B区	IVb	ナイフ形石器	黒曜石		7	ST103	15.8	29.4	6.0	1.9		○	-34290.588	-33703.923	80.712	103
3310	664	B区	IVb	剥片	チャート		7	ST103	26.7	19.5	4.7	1.5			-34292.088	-33704.536	80.573	
3311	665	B区	IVb	石核	黒曜石		7	ST103	31.1	20.3	20.9	7.5			-34292.426	-33703.789	80.404	
3312	666	B区	IVb	剥片	黒曜石	Ob-10	7	ST103	11.8	23.8	7.3	1.2	単		-34291.721	-33703.218	80.422	
3313	667	B区	IVb	スクレイパー	黒曜石	Ob-9	7	ST103	29.9	20.5	8.0	3.8	単	○	-34291.291	-33703.004	80.454	108
3325	679	B区	IVc	剥片	黒色頁岩		12	ST107	71.3	41.8	14.2	39.0			-34303.513	-33701.692	80.236	
3334	688	B区	IVc	スクレイパー	黒曜石	Ob-7	12	ST107	35.0	37.8	13.2	10.8	単	○	-34304.343	-33700.167	80.254	110
3348	702	B区	IVc	剥片	緑色凝灰岩		7	ST103	23.0	17.1	7.5	2.4			-34294.874	-33703.019	80.328	
3354	708	B区	IVb	ナイフ形石器	黒曜石		9	ST106	33.1	17.2	7.8	3.0		○	-34297.803	-33698.075	80.554	104
3355	709	B区	IVb	剥片	黒曜石	Ob-6	8	ST105	25.0	31.8	12.7	7.5	71 a	○	-34297.904	-33700.639	80.481	
3356	710	B区	IVb	剥片	黒曜石	Ob-6	8	ST105	17.2	25.4	8.4	2.1	71 b	○	-34297.995	-33701.179	80.412	
3357	711	B区	IVc	剥片	黒曜石	Ob-10	8	ST105	21.0	25.5	7.4	3.4	単		-34297.277	-33701.581	80.250	
3358	712	B区	IVb	剥片	黒曜石	Ob-6	8	ST105	27.6	20.0	16.6	7.0	単		-34296.402	-33700.225	80.547	
3359	713	B区	IVc	剥片	黒曜石	Ob-8	外	外	26.5	17.7	13.2	5.2	単		-34295.535	-33705.680	80.249	
3360	714	B区	IVc	剥片	黒曜石	Ob-8	外	外	17.0	26.3	3.9	1.6	単		-34295.531	-33705.885	80.219	
3363	717	B区	IVc	剥片	黒曜石		12	ST107	17.2	11.5	7.7	0.8			-34304.393	-33700.252	80.247	
3376	730	B区	V	剥片	安山岩	An-3	9	ST106	35.2	42.5	14.1	17.4	69 a		-34297.560	-33695.090	80.190	
3377	731	B区	V	剥片	安山岩	An-3	9	ST106	30.1	47.9	15.2	15.1	69 b		-34297.860	-33694.738	80.156	
3409	763	B																

表49 第3文化層 石器観察表(5)

通番号	小ラベル	区	層位	器種	石材	母岩	ブロック	STNo	長さ	幅	厚さ	重量	接合	図版	X	Y	H	実測図番号
3414	768	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-7	11	ST92	27.4	42.1	24.4	18.2	単		-34298.879	-33710.197	80.094	
3415	769	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-7	11	ST92	19.1	19.8	7.3	2.0	単		-34298.954	-33710.005	80.098	
3416	770	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-7	11	ST92	20.4	34.3	10.7	4.3	単		-34298.669	-33710.076	80.102	
3417	771	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-7	11	ST92	15.9	9.1	3.7	0.2	単		-34298.670	-33710.216	80.106	
3418	772	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-7	11	ST92	12.7	12.4	4.2	0.6	単		-34298.641	-33710.243	80.111	
3419	773	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-7	11	ST92	17.3	12.3	3.5	0.2	単		-34298.614	-33710.277	80.075	
3420	774	B区	V	砕片	黒曜石		11	ST92	8.3	10.5	1.3	0.1			-34298.778	-33710.297	80.067	
3421	775	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-7	11	ST92	14.5	12.3	3.4	0.5	単		-34298.820	-33710.281	80.067	
3422	776	B区	V	砕片	黒曜石	Ob-7	11	ST92	11.4	9.5	2.0	0.1	単		-34298.692	-33710.052	80.070	
3423	777	B区	V	砕片	黒曜石		11	ST92	3.0	8.5	0.9	0.1			-34298.516	-33710.195	80.086	
3424	778	B区	V	剥片	チャート	Ch-16	11	ST92	26.5	23.1	11.8	4.3	単		-34298.400	-33710.347	80.115	
3425	779	B区	V	剥片	チャート	Ch-16	11	ST92	29.3	16.4	0.3	1.3	単		-34298.373	-33710.348	80.114	
3426	780	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-7	11	ST92	12.4	7.8	4.3	0.3	単		-34298.419	-33710.396	80.083	
3427	781	B区	V	剥片	黒曜石		11	ST92	13.1	7.5	3.1	0.1			-34298.546	-33710.525	80.064	
3428	782	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-7	11	ST92	22.0	18.1	5.2	1.2	単		-34299.166	-33709.900	80.043	
3429	783	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-7	11	ST92	35.3	23.7	11.4	6.3	単		-34298.835	-33709.845	80.025	
3430	784	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-5	11	ST92	57.9	30.9	13.6	18.0	70 b	○	-34298.511	-33709.453	80.069	
3431	785	B区	V	石核	黒曜石	Ob-7	11	ST92	33.1	40.4	30.7	39.2	単	○	-34298.283	-33709.717	80.037	119
3432	786	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-7	11	ST92	40.1	22.2	8.7	6.8	単		-34298.433	-33709.703	80.033	
3433	787	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-7	11	ST92	20.0	27.6	13.4	4.6	単		-34298.340	-33710.131	80.034	
3434	788	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-7	11	ST92	26.4	21.2	5.9	2.7	単		-34298.585	-33709.966	80.008	
3435	789	B区	V	剥片	黒曜石		11	ST92	10.1	12.0	3.5	0.3			-34298.255	-33710.344	79.996	
3436	790	B区	V	剥片	黒曜石		11	ST92	11.5	11.3	2.8	0.3			-34299.243	-33709.949	79.973	
3437	791	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-7	11	ST92	22.0	19.7	5.0	1.3	単		-34299.252	-33709.830	79.893	
3438	792	B区	V	スクレイパー	黒曜石	Ob-7	11	ST92	17.5	14.3	9.2	1.8	単	○	-34299.175	-33710.800	79.894	109
3441	795	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-8	6	ST102	14.1	16.8	6.2	0.9	単		-34287.167	-33708.916	80.161	
3444	798	B区	V	剥片	砂岩		6	ST102	32.1	28.2	7.4	6.5			-34288.213	-33708.177	80.177	
3748	1102	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-7	11	ST92	29.0	28.6	4.8	2.7	単		-34297.479	-33710.593	79.968	
3749	1103	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-7	11	ST92	12.3	14.6	5.0	0.5	単		-34298.896	-33710.037	80.060	
3759	1113	B区	V	敲石	ホルンフェルス		11	ST92	90.8	32.0	18.9	73.4		○	-34298.576	-33710.375	80.072	121
3766	1120	B区	IVc	剥片	黒曜石	Ob-5	11	ST92	48.9	15.2	10.1	6.4	70 a	○	-34299.190	-33708.457	80.208	
3767	1121	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-7	11	ST92	18.0	27.2	16.7	3.5	単		-34299.250	-33708.593	80.164	
3768	1122	B区	IVc	部分加工剥片	黒曜石	外	外	外	22.8	27.3	7.1	4.1		○	-34299.040	-33705.889	80.208	116
3769	1123	B区	V	部分加工剥片	チャート	Ch-16	10	ST104	16.7	37.4	7.6	3.6	単	○	-34295.457	-33708.445	80.068	117
3780	1134	B区	V	剥片	砂岩		8	ST105	60.3	41.0	11.0	30.0			-34297.382	-33703.917	80.181	
3868	1222	B区	IVc	剥片	黒曜石	Ob-6	8	ST105	35.4	26.1	11.3	10.9	単		-34298.280	-33701.135	80.203	
3886	1240	B区	IVc	敲石	砂岩		7	ST103	96.3	56.1	27.2	191.9			-34292.426	-33703.021	80.285	
4086	1440	B区	IVc	剥片	黒曜石		7	ST103	16.5	28.9	9.6	2.7			-34291.527	-33704.159	80.296	
4087	1441	B区	IVc	剥片	黒曜石		7	ST103	15.1	7.2	3.1	0.2			-34292.295	-33703.967	80.275	
4088	1442	B区	IVc	部分加工剥片	黒曜石		7	ST103	10.8	16.1	3.4	0.6		○	-34291.942	-33702.788	80.347	114
4089	1443	B区	IVc	部分加工剥片	黒曜石		7	ST103	41.3	24.4	13.2	8.2		○	-34291.017	-33702.747	80.279	111
4090	1444	B区	IVb	スクレイパー	緑色凝灰岩		7	ST103	74.4	35.1	10.8	37.5		○	-34292.956	-33699.418	80.633	107
4091	1445	B区	IVb	石核	チャート		6	ST98	39.2	31.0	21.0	28.5		○	-34293.490	-33692.795	80.629	118
4105	1459	B区	V	石核	黒曜石	Ob-7	10	ST104	41.0	54.5	41.5	71.1	単	○	-34292.639	-33709.631	80.103	120
4106	1460	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-8	10	ST104	33.1	21.0	13.0	7.0	単		-34292.909	-33711.197	80.146	
4107	1461	B区	V	部分加工剥片	緑色凝灰岩	CU-1	10	ST104	78.9	48.9	18.2	59.4	単	○	-34293.433	-33712.636	80.070	115
4108	1462	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-8	10	ST104	22.3	11.5	6.7	1.1	単		-34292.089	-33712.869	80.116	
4109	1463	B区	V	剥片	ホルンフェルス		10	ST104	78.3	79.9	14.1	65.4			-34294.702	-33712.823	80.084	
4110	1464	B区	V	剥片	頁岩		10	ST104	64.9	40.6	12.0	32.9			-34294.648	-33712.842	80.084	
4111	1465	B区	V	剥片	黒曜石		10	ST104	44.1	29.0	7.5	9.3			-34294.158	-33709.132	80.033	
4112	1466	B区	V	剥片	砂岩		10	ST104	18.2	48.3	8.9	9.9			-34295.447	-33712.795	80.034	
4114	1468	B区	V	剥片	黒曜石		10	ST104	33.8	24.2	10.0	5.7			-34293.485	-33708.964	79.966	
4125	1479	B区	V	石核	チャート		8	ST105	73.3	108.0	59.0	594.0			-34297.756	-33700.119	79.961	
4126	1480	B区	V	剥片	ホルンフェルス		9	ST106	15.3	35.2	6.0	3.2			-34296.206	-33697.650	80.083	
4127	1481	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-10	8	ST105	23.8	24.2	12.8	5.4	単		-34297.428	-33700.239	80.061	
4128	1482	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-6	8	ST105	27.0	48.3	25.3	24.7	71 c	○	-34297.643	-33700.068	80.082	
4147	1501	B区	V	石核	黒曜石		7	ST103	22.7	27.0	16.6	7.8			-34291.338	-33703.334	80.164	
4148	1502	B区	IVc	剥片	黒曜石		7	ST103	8.6	19.0	3.7	0.4			-34291.244	-33702.875	80.242	
4149	1503	B区	IVc	剥片	黒曜石		7	ST103	20.9	10.7	6.5	0.7			-34291.033	-33702.910	80.237	
4169	1523	B区	V	剥片	頁岩		6	ST102	37.4	58.4	6.5	14.7			-34288.149	-33707.440	80.045	
4235	1589	B区	V	剥片	黒曜石	Ob-8	6	ST102	23.1	19.0	4.7	1.4	単		-34288.106	-33709.959	80.023	
4326	4	C区	IVc	剥片	チャート	外	外	外	44.5	28.5	14.2	12.0		○	-34286.626	-33723.738	80.014	122
4332	2	D区	IVa	剥片	チャート	Ch-18	外	外	13.7	23.4	6.3	1.7	単	○	-34272.776	-33702.934	80.723	128
4430	100	D区	IVb	剥片	チャート		13	ST94	49.5	33.3	14.4	20.5			-34277.377	-33699.059	80.213	
4438	108	D区	IVc	剥片	黒曜石		13	ST94	11.6	10.8	7.0	1.3			-34275.145	-33697.258	80.050	
4439	109	D区	IVc	砕片	黒曜石	Ob-11	13	ST94	10.0	6.0	3.8	0.1	単		-34274.875	-33697.780	80.018	
4440	110	D区	IVc	剥片	黒曜石	Ob-11	13	ST94	9.0	12.7	2.0	0.1	単		-34275.204	-33697.929	80.004	
4441	111	D区	IVc	剥片	黒曜石	Ob-11	13	ST94	9.7	11.5	4.6	0.3	単		-34275.285	-33697.798	80.023	
4442	112	D区	IVc	砕片	黒曜石	Ob-11	13	ST94	10.4	9.8	1.9	0.1	単		-34275.456	-33697.754	80.034	
4443	113	D区	IVc	砕片	黒曜石	Ob-11	13	ST94	8.0	11.2	2.8	0.1	単		-34275.532	-33697.883	80.049	
4444	114	D区	IVc	剥片	黒曜石		13	ST94	12.0	7.8	2.0	0.1			-34275.779	-33697.949	80.073	
4533	203	D区	IVb	剥片	黑色頁岩		13	ST94	38.7	26.6	9.9	6.6			-34278.783	-33697.504	80.490	
4543	213	D区	IVc	剥片	チャート		13	ST94	34.4	23.4	11.0	5.4			-34278.294	-33697.166	79.980	
4544	214	D区	IVc	剥片	チャート		13	ST94	45.7	25.8	10.5	9.1			-34277.678	-33697.150	80.177	
4545	215	D区	IVc	剥片	チャート		13	ST94	28.3	12.4	9.2	2.2			-34277.119	-33696.821	79.970	
4546	216	D区	IVc	石核	チャート	Ch-18	13	ST94	45.6	43.0	29.0	61.7	単	○	-34277.105	-33696.519	80.177	127
4547	217	D区	V	剥片	チャート		13	ST94	9.5	19.8	3.3	0.4			-			

表50 第3文化層 石器観察表(6)

通番号	小ラベル	区	層位	器種	石材	母岩	ブロック	STNo	長さ	幅	厚さ	重量	接合	図版	X	Y	H	実測図番号
4551	221	D区	IVc	剥片	チャート		13	ST94	23.7	14.0	9.5	1.5			-34275.519	-33697.894	79.914	
4552	222	D区	V	剥片	黒曜石		13	ST94	15.6	14.0	4.9	0.6			-34275.143	-33697.808	79.869	
4553	223	D区	IVc	剥片	黒曜石		13	ST94	17.0	16.0	4.0	0.8			-34275.031	-33697.677	79.952	
4554	224	D区	V	砕片	黒曜石		13	ST94	9.2	5.6	2.9	0.1			-34275.016	-33697.605	79.879	
4555	225	D区	IVc	部分加工剥片	黒曜石		13	ST94	12.0	8.2	4.1	0.2		○	-34275.257	-33697.505	79.934	126
4556	226	D区	IVc	部分加工剥片	黒曜石		13	ST94	26.5	19.0	9.4	3.2		○	-34274.666	-33697.576	79.916	124
4557	227	D区	V	ナイフ形石器	黒曜石		13	ST94	19.3	10.8	5.0	0.7		○	-34274.635	-33697.628	79.900	123
4657	327	D区	IVc	部分加工剥片	チャート		13	ST94	26.8	26.3	7.3	2.5		○	-34276.842	-33698.621	79.920	125
4658	328	D区	V	剥片	黒曜石	Ob-11	13	ST94	8.8	15.1	3.8	0.2	単		-34275.211	-33698.326	79.879	
4659	329	D区	IVc	剥片	チャート		13	ST94	17.9	20.2	7.7	2.3			-34276.368	-33696.418	79.909	
4666	336	D区	V	剥片	黒曜石		13	ST94	16.8	23.8	6.8	1.0			-34273.745	-33698.107	79.661	
4669	1	F区	IVb	剥片	チャート	Ch-19	5	ST-93	27.4	22.8	9.2	5.6	単		-34250.125	-33745.691	80.717	
4671	3	F区	IVb	石核	黒曜石		5	ST-93	24.8	26.5	13.6	6.5		○	-34251.129	-33744.149	80.597	132
4673	5	F区	IVb	ナイフ形石器	黒曜石		5	ST-93	31.8	17.0	7.7	2.9		○	-34251.394	-33746.374	80.547	129
4674	6	F区	IVb	剥片	黒曜石		5	ST-93	22.3	34.8	9.5	5.2			-34252.352	-33745.797	80.565	
4675	7	F区	IVc	剥片	黒曜石		5	ST-93	17.2	9.5	5.3	0.6			-34252.559	-33746.613	80.447	
4676	8	F区	IVb	剥片	黒曜石	Ob-12	5	ST-93	23.7	23.2	8.1	2.1	72 b		-34253.685	-33746.143	80.664	
4677	9	F区	IVb	剥片	黒曜石		5	ST-93	13.7	39.7	12.0	4.9		○	-34254.412	-33746.925	80.600	133
4678	10	F区	IVc	剥片	黒曜石	Ob-12	5	ST-93	23.2	20.6	8.5	3.1	72 a		-34255.155	-33748.084	80.484	
4679	11	F区	IVb	剥片	安山岩	An-5	5	ST-93	41.3	38.7	13.2	18.3	74 a	○	-34253.985	-33748.034	80.557	
4680	12	F区	IVb	剥片	黒曜石		5	ST-93	14.8	19.5	4.2	1.1			-34252.936	-33748.428	80.795	
4681	13	F区	IVb	剥片	黒曜石		5	ST-93	16.2	25.3	6.4	2.4			-34252.620	-33748.001	80.726	
4690	22	F区	IVb	剥片	黒曜石		5	ST-93	17.0	11.6	5.0	0.9			-34248.213	-33747.022	80.566	
4696	28	F区	V	石核	安山岩	An-6	5	ST-93	34.6	37.3	24.7	19.4	75 b	○	-34253.572	-33747.939	80.159	
4712	44	F区	V	剥片	安山岩	An-4	5	ST-93	21.7	26.9	8.8	4.0	73 b		-34250.735	-33746.093	80.193	
4715	47	F区	V	剥片	黒曜石		5	ST-93	22.7	13.1	7.9	2.0			-34254.976	-33747.514	80.099	
4716	48	F区	IVc	砕片	黒曜石		5	ST-93	7.6	8.0	3.9	0.1			-34254.071	-33747.250	80.251	
4717	49	F区	IVc	剥片	安山岩		5	ST-93	24.6	12.0	7.4	2.0			-34253.806	-33747.047	80.445	
4718	50	F区	IVc	剥片	安山岩	An-5	5	ST-93	40.5	24.8	7.5	5.0	74 b	○	-34254.039	-33746.772	80.227	
4719	51	F区	IVc	剥片	チャート		5	ST-93	27.5	34.3	11.6	9.1		○	-34252.447	-33746.556	80.259	134
4720	52	F区	V	剥片	チャート	Ch-19	5	ST-93	23.0	15.4	9.5	2.8	単		-34251.655	-33747.162	80.107	
4721	53	F区	V	剥片	安山岩	An-4	5	ST-93	24.8	20.5	8.9	3.2	73 a		-34251.522	-33746.771	80.076	
4722	54	F区	V	剥片	チャート		5	ST-93	23.0	15.7	7.1	2.5			-34251.749	-33746.667	80.087	
4723	55	F区	V	剥片	チャート	Ch-19	5	ST-93	16.2	19.1	10.7	2.4	単		-34251.923	-33746.443	80.091	
4724	56	F区	V	剥片	黒曜石		5	ST-93	4.9	13.9	5.0	0.1			-34251.502	-33745.730	80.094	
4725	57	F区	V	錐形石器	黒曜石		5	ST-93	28.9	30.0	16.2	9.5		○	-34250.567	-33744.779	80.180	130
4726	58	F区	V	剥片	安山岩	An-6	5	ST-93	27.0	21.6	6.7	2.4	75 a	○	-34253.100	-33747.445	80.109	
4738	70	F区	IVc	部分加工剥片	黒曜石		5	ST-93	46.3	23.8	11.9	9.6		○	-34250.212	-33750.080	80.265	131
4741	73	F区	V	石核	安山岩	An-4	5	ST-93	77.8	88.5	46.5	319.9	73 c		-34251.216	-33746.784	79.917	
4748	80	F区	V	石核	チャート		5	ST-93	31.4	91.3	27.8	90.0			-34256.612	-33750.549	80.156	

表 51 第 4 文化層 石器観察表 (I)

通番号	小ラベル	区	層位	器種	石材	母岩	ブロック	STNo	長さ	幅	厚さ	重量	接合	図版	X	Y	H	実測図番号
7	7	A区	IVa	石核	黒曜石		2	ST96	79.7	68.4	39.2	206.5			-34210.08	-33787.149	81.32	
8	8	A区	IVa	剥片	黒曜石		2	ST96	12.3	22.4	3.7	0.7			-34209.62	-33783.793	81.15	
9	9	A区	IVa	使用痕剥片	黒曜石		2	ST96	30.8	19.5	9.0	3.3		○	-34207.96	-33786.209	81.14	140
10	10	A区	IVa	剥片	チャート	Ch-5	3	ST89	19.8	13.1	7.7	1.4	単		-34216.69	-33785.367	81.08	
11	11	A区	IVa	剥片	チャート		3	ST89	35.4	35.2	9.4	10.0			-34216.21	-33785.858	81.39	
12	12	A区	IVa	剥片	チャート	Ch-5	3	ST89	27.7	42.1	17.4	15.3	単		-34216.11	-33785.535	81.19	
13	13	A区	IVa	剥片	チャート		3	ST89	36.7	35.2	6.8	7.8			-34216.80	-33784.757	81.24	
14	14	A区	IVa	剥片	チャート		3	ST89	15.6	11.2	3.1	0.4			-34216.82	-33784.743	81.25	
15	15	A区	IVa	ナイフ形石器	チャート		3	ST89	21.6	16.5	6.8	2.1		○	-34215.89	-33786.057	81.13	135
16	16	A区	IVa	ナイフ形石器	頁岩		3	ST89	30.5	12.4	4.1	1.5		○	-34218.13	-33785.749	81.14	136
17	17	A区	IVa	剥片	チャート	Ch-5	3	ST89	13.8	15.6	2.0	0.4	単		-34217.25	-33785.574	81.07	
18	18	A区	IVa	剥片	チャート	Ch-5	3	ST89	24.7	16.3	10.1	3.9	単		-34217.11	-33786.081	81.06	
30	30	A区	IVa	剥片	安山岩		2	ST96	25.2	27.5	9.3	4.5			-34212.08	-33792.484	81.08	
31	31	A区	IVa	剥片	安山岩		2	ST96	49.5	61.7	9.9	26.7			-34214.26	-33792.987	81.19	
44	44	A区	IVa	石核	チャート		1	ST95	24.7	30.5	24.0	18.8			-34203.59	-33801.571	81.19	
45	45	A区	IVa	剥片	チャート		1	ST95	36.3	22.4	21.6	13.3			-34203.58	-33801.799	81.12	
68	68	A区	IVa	剥片	チャート		1	ST95	43.3	31.0	8.3	8.2			-34202.16	-33800.009	81.08	
100	100	A区	IVa	砕片	黒曜石		1	ST95	7.0	8.1	6.2	0.3			-34205.78	-33796.271	81.07	
121	121	A区	IVa	剥片	チャート		2	ST96	39.9	52.5	23.3	29.1			-34210.55	-33788.032	81.04	
122	122	A区	IVa	剥片	黒曜石		2	ST96	13.3	25.7	9.7	2.2			-34211.40	-33786.392	80.86	
124	124	A区	IVb	部分加工剥片	チャート	Ch-5	2	ST96	24.5	24.0	6.9	3.7	単	○	-34212.35	-33789.890	80.73	141
149	149	A区	IVa	剥片	チャート		3	ST89	46.7	32.7	13.6	17.7			-34218.74	-33788.731	80.96	
166	166	A区	IVa	剥片	チャート	Ch-5	3	ST89	27.0	11.9	6.2	1.5	単		-34215.86	-33784.497	80.91	
167	167	A区	IVa	スクレイパー	黒曜石		3	ST89	54.2	39.7	12.5	23.7		○	-34216.43	-33784.418	80.94	138
168	168	A区	IVa	剥片	チャート	Ch-5	3	ST89	46.4	30.3	20.8	27.5	単		-34216.71	-33784.199	80.92	
169	169	A区	IVa	剥片	チャート	Ch-5	3	ST89	40.7	29.8	16.1	19.7	単		-34216.76	-33783.707	80.87	
170	170	A区	IVa	部分加工剥片	チャート	Ch-5	3	ST89	40.8	25.2	9.1	6.5	単	○	-34216.80	-33784.518	80.85	142
171	171	A区	IVa	剥片	チャート	Ch-5	3	ST89	41.4	28.7	16.2	13.5	76 b		-34217.97	-33783.781	80.87	
173	173	A区	IVa	剥片	チャート	Ch-5	3	ST89	44.1	46.7	17.8	26.5	単		-34218.61	-33784.218	80.85	
174	174	A区	IVa	剥片	チャート	Ch-5	3	ST89	26.3	15.3	4.7	1.4	76 a		-34217.79	-33785.030	80.92	
175	175	A区	IVa	部分加工剥片	チャート	Ch-5	3	ST89	52.0	44.3	9.1	20.9	単	○	-34217.52	-33785.479	80.91	143
176	176	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-5	3	ST89	17.7	25.5	5.1	2.1	単		-34217.67	-33785.757	80.84	
177	177	A区	IVa	剥片	チャート	Ch-5	3	ST89	35.1	31.3	10.0	8.8	77 a	○	-34217.79	-33785.775	80.88	
178	178	A区	IVa	剥片	チャート	Ch-5	3	ST89	33.1	28.5	9.6	6.7	77 b	○	-34217.49	-33785.925	80.92	
179	179	A区	IVa	剥片	チャート	Ch-5	3	ST89	53.1	37.4	13.3	19.3	単		-34217.43	-33786.122	80.90	
180	180	A区	IVa	ナイフ形石器	チャート		3	ST89	24.4	15.2	4.5	1.7		○	-34216.07	-33784.986	80.86	137
181	181	A区	IVa	剥片	チャート	Ch-5	3	ST89	3.0	23.2	4.9	3.0	単		-34217.01	-33786.371	80.85	
182	182	A区	IVa	剥片	チャート	Ch-5	3	ST89	25.6	32.9	7.0	5.8	単		-34217.63	-33786.842	80.99	
187	187	A区	IVa	剥片	黒曜石		3	ST89	28.5	16.8	7.2	2.6			-34220.57	-33784.864	80.94	
216	216	A区	IVb	剥片	頁岩		1	ST95	27.7	25.0	14.0	8.0			-34204.40	-33801.221	80.63	
217	217	A区	IVb	剥片	頁岩		1	ST95	20.6	24.8	10.6	4.3			-34204.15	-33800.629	80.61	
219	219	A区	IVa	剥片	チャート		1	ST95	34.9	22.4	18.0	13.8			-34203.68	-33796.623	80.94	
220	220	A区	IVb	剥片	チャート	Ch-5	1	ST95	39.7	30.1	7.3	9.0	単		-34202.77	-33796.773	80.83	
221	221	A区	IVb	部分加工剥片	チャート		1	ST95	33.0	21.7	9.0	5.2		○	-34203.80	-33796.280	80.73	139
222	222	A区	IVa	剥片	チャート		1	ST95	13.8	25.8	4.2	0.6			-34202.51	-33795.931	81.00	
228	228	A区	IVb	剥片	砂岩		1	ST95	43.0	52.0	26.1	34.2			-34203.60	-33795.935	80.79	
396	396	A区	IVb	剥片	黒色頁岩		2	ST96	47.3	30.1	13.3	16.6			-34210.96	-33788.927	80.71	
2647	1	B区	IVa	錐形石器	チャート		6	ST98	27.0	21.9	9.6	4.5		○	-34296.74	-33694.401	81.24	153
2648	2	B区	IVa	剥片	チャート		6	ST98	24.5	16.1	8.4	2.8			-34297.16	-33694.632	81.24	
2649	3	B区	IVa	剥片	チャート		6	ST98	20.7	19.9	7.7	3.9			-34294.67	-33691.416	80.98	
2673	27	B区	IVa	石核	チャート	Ch-14	6	ST98	42.3	51.4	34.1	71.6	単		-34297.21	-33690.308	80.84	
2683	37	B区	IVb	ナイフ形石器	黒曜石		6	ST98	31.2	16.8	7.3	2.7		○	-34298.72	-33693.657	80.77	149
2685	39	B区	IVa	剥片	緑色凝灰岩	Gtu-2	4	ST91	34.7	42.0	5.9	8.3	単		-34285.08	-33701.674	81.01	
2686	40	B区	IVa	剥片	黒曜石	Ho-1	4	ST91	48.6	28.3	5.8	7.2	単		-34286.03	-33705.272	80.90	
2687	41	B区	IVa	剥片	黒曜石		4	ST91	27.8	21.0	9.2	4.0			-34286.62	-33704.931	80.87	
2688	42	B区	IVa	剥片	緑色凝灰岩	Gtu-2	4	ST91	26.7	17.8	7.6	2.9	単		-34285.95	-33704.348	80.89	
2689	43	B区	IVa	石核	緑色凝灰岩		4	ST91	25.2	30.9	33.0	33.2		○	-34285.39	-33704.858	80.84	158
2690	44	B区	IVa	剥片	チャート	Ch-17	4	ST91	49.7	25.6	14.6	14.0	単		-34287.68	-33705.552	80.85	
2691	45	B区	IVa	剥片	頁岩		4	ST91	12.1	19.6	5.7	1.1			-34285.94	-33707.732	80.86	
2692	46	B区	IVa	剥片	チャート		4	ST91	25.2	45.2	7.5	7.8			-34285.95	-33707.060	80.84	
2693	47	B区	IVa	剥片	黒色頁岩	BSh-1	4	ST91	10.5	10.6	1.9	0.2	単		-34289.71	-33706.522	80.88	
2694	48	B区	IVb	石刃	黒色頁岩	BSh-1	4	ST91	40.9	18.6	10.0	5.3	82 a	○	-34288.59	-33707.635	80.77	
2695	49	B区	IVb	剥片	チャート		4	ST91	48.5	14.2	7.0	2.9			-34288.08	-33708.750	80.79	
2697	51	B区	IVb	剥片	チャート		4	ST91	10.2	13.2	3.4	0.2			-34287.71	-33707.217	80.74	
2698	52	B区	IVb	剥片	黒曜石		4	ST91	16.6	14.0	4.9	0.8			-34286.90	-33708.720	80.72	
2699	53	B区	IVb	剥片	黒曜石		4	ST91	10.8	18.8	3.0	0.5			-34289.48	-33705.576	80.73	
2700	54	B区	IVa	剥片	黒色頁岩	BSh-1	4	ST91	40.2	27.5	6.2	5.5	単		-34289.94	-33707.469	81.08	
2701	55	B区	IVa	ナイフ形石器	緑色凝灰岩	Gtu-2	4	ST91	22.8	12.1	3.3	1.1	単	○	-34288.96	-33710.037	80.95	144
2702	56	B区	IVa	剥片	黒曜石		4	ST91	17.7	23.3	6.9	2.4			-34288.94	-33709.952	80.91	
2703	57	B区	IVa	剥片	チャート		4	ST91	45.5	29.9	6.4	6.8			-34288.62	-33709.576	80.86	
2704	58	B区	IVa	剥片	チャート		4	ST91	26.3	26.4	5.3	2.3			-34288.58	-33709.568	80.81	
2706	60	B区	IVa	石刃	黒色頁岩	BSh-3	4	ST91	46.3	13.6	3.9	2.0	単	○	-34285.65	-33705.280	80.94	156
2707	61	B区	IVa	石刃	黒色頁岩	BSh-1	4	ST91	57.9	29.3	13.5	12.8	82 b	○	-34286.17	-33705.498	80.82	
2708	62	B区	IVa	剥片	黒色頁岩		4	ST91	19.5	20.8	6.5	2.6			-34286.95	-33706.817	80.83	
2709	63	B区	IVb	剥片	黒色頁岩		4	ST91	36.4	31.3	14.0	13.5			-34286.32	-33705.997	80.76	
2710	64	B区	IVb	スクレイパー	黒色頁岩	BSh-3	4	ST91	42.2	36.3	9.8	15.8	単	○	-34286.54	-33705.762	80.77	151
2711	65	B区	IVb	石核	黒色頁岩	BSh-2	4	ST91	54.0	37.9	33.8	81.1	単	○	-34285.92	-33705.845	80.75	160
2712	66	B区	IVb	ナイフ形石器	黒色頁岩	BSh-2	4	ST91	43.3	26.1	7.6	5.5	単	○	-34286.62	-33706.009	80.78	146
2714	68	B区	IVb	剥片	黒色頁岩	BSh-2	4	ST91	21.9	21.1	5.0	1.8	単	</				

表 52 第 4 文化層 石器観察表 (2)

通番号	小ラベル	区	層位	器種	石材	母岩	ブロック	STNo	長さ	幅	厚さ	重量	接合	図版	X	Y	H	実測図番号	
2716	70	B区	IV a	剥片	緑色凝灰岩			4	ST91	59.3	22.0	17.5	20.3		-34286.281	-33707.416	81.16		
2717	71	B区	IV b	剥片	黒色頁岩			4	ST91	36.6	16.7	8.3	5.5		-34286.865	-33707.063	80.67		
2718	72	B区	IV b	石核	黒色頁岩	BSh-1		4	ST91	50.8	36.2	20.7	63.3	単	○	-34286.224	-33705.704	80.67	159
2719	73	B区	IV a	剥片	頁岩			4	ST91	20.3	10.5	9.1	1.5		-34284.184	-33705.147	80.82		
2720	74	B区	IV a	剥片	チャート	Ch-15		4	ST91	42.5	17.7	6.2	2.1	単		-34287.502	-33703.129	80.84	
2721	75	B区	IV a	剥片	緑色凝灰岩	Gtu-2		4	ST91	39.7	18.0	10.0	6.1	単		-34291.554	-33705.397	80.84	
2725	79	B区	IV a	剥片	チャート			4	ST91	36.9	21.5	4.0	1.7		-34288.936	-33702.789	80.81		
2727	81	B区	IV b	ナイフ形石器	緑色凝灰岩	Gtu-2		4	ST91	20.3	11.2	3.5	0.8	単	○	-34284.024	-33705.180	80.72	145
2740	94	B区	IV a	剥片	黒色頁岩	BSh-1		4	ST91	10.9	8.5	2.2	0.4	単		-34283.831	-33704.800	80.88	
2741	95	B区	IV a	ナイフ形石器	黒色頁岩	BSh-2		4	ST91	37.8	13.8	5.2	2.5	単	○	-34284.514	-33705.545	80.80	148
2742	96	B区	IV b	剥片	黒色頁岩	BSh-1		4	ST91	35.0	28.5	6.9	4.9	単		-34285.156	-33705.338	80.72	
2745	99	B区	IV b	ナイフ形石器	黒色頁岩	BSh-1		4	ST91	31.6	13.2	4.0	1.6	単	○	-34284.493	-33704.275	80.72	147
2746	100	B区	IV b	剥片	黒色頁岩			4	ST91	20.9	13.0	2.0	0.3			-34284.075	-33704.069	80.72	
2747	101	B区	IV b	剥片	黒色頁岩	BSh-1		4	ST91	25.6	18.6	5.3	3.0	単		-34284.229	-33704.057	80.72	
2748	102	B区	IV a	剥片	チャート			4	ST91	23.5	32.2	6.2	5.0			-34285.300	-33704.994	80.84	
2749	103	B区	IV b	石刃	黒色頁岩	BSh-3		4	ST91	53.5	15.2	3.8	3.2	単	○	-34284.140	-33704.651	80.74	155
2750	104	B区	IV a	剥片	チャート	Ch-14		6	ST98	32.9	26.8	7.6	5.5	単		-34296.687	-33688.427	80.97	
2751	105	B区	IV a	剥片	チャート			6	ST98	36.2	26.8	6.8	4.8			-34297.772	-33688.770	80.89	
2752	106	B区	IV a	剥片	チャート	Ch-14		6	ST98	52.4	39.0	11.7	24.6	単		-34297.455	-33688.568	80.82	
2778	132	B区	IV b	剥片	黒色頁岩			6	ST98	35.1	72.7	7.9	18.4			-34295.694	-33690.060	80.79	
2792	146	B区	IV b	剥片	チャート			6	ST98	35.0	26.6	13.1	14.9			-34296.369	-33689.633	80.74	
2793	147	B区	IV b	剥片	砂岩			6	ST98	50.5	41.6	14.9	29.5			-34295.818	-33689.797	80.77	
2794	148	B区	IV a	スクレイパー	チャート			6	ST98	39.9	42.1	23.1	28.1		○	-34295.149	-33689.486	80.84	150
2795	149	B区	IV a	剥片	チャート	Ch-14		6	ST98	32.8	36.0	14.0	13.8	79 b		-34296.454	-33688.650	80.85	
2796	150	B区	IV a	剥片	頁岩			6	ST98	46.1	27.3	7.7	9.8			-34296.717	-33688.682	80.82	
2804	158	B区	IV a	砕片	チャート			6	ST98	7.1	12.5	3.3	0.1			-34296.697	-33688.446	80.97	
2805	159	B区	IV b	剥片	チャート	Ch-14		6	ST98	36.2	31.3	9.4	9.8	79 a		-34296.278	-33689.172	80.78	
2806	160	B区	IV b	剥片	チャート			6	ST98	16.4	19.8	5.3	0.8			-34297.653	-33689.316	80.74	
2807	161	B区	IV b	剥片	チャート			6	ST98	13.2	24.3	8.4	1.9			-34296.451	-33688.702	80.71	
2808	162	B区	IV b	剥片	黒色頁岩	BSh-1		4	ST91	31.5	19.0	8.4	5.0	単		-34288.920	-33705.060	80.72	
2834	188	B区	IV b	石刃	チャート	Ch-15		4	ST91	70.5	26.4	11.1	11.4	単	○	-34288.855	-33708.297	80.65	157
2835	189	B区	IV b	剥片	緑色凝灰岩			4	ST91	16.5	24.7	8.5	3.2			-34288.586	-33707.993	80.67	
2836	190	B区	IV b	剥片	チャート	Ch-13		4	ST91	36.1	24.3	10.0	6.6	78 b	○	-34288.974	-33708.822	80.57	
2838	192	B区	IV b	剥片	チャート	Ch-13		4	ST91	48.2	30.5	21.0	29.2	78 e	○	-34288.285	-33708.117	80.60	
2839	193	B区	IV b	剥片	チャート	Ch-13		4	ST91	37.9	21.3	12.7	8.9	78 d	○	-34288.700	-33708.730	80.58	
2840	194	B区	IV b	石核	チャート	Ch-13		4	ST91	46.7	35.5	31.6	57.5	78 f	○	-34288.277	-33708.030	80.59	
2841	195	B区	IV b	石刃	黒色頁岩	BSh-1		4	ST91	54.2	24.0	14.3	16.8	82 e	○	-34289.164	-33708.020	80.60	
2842	196	B区	IV b	剥片	チャート			4	ST91	16.7	16.1	5.8	1.5			-34288.135	-33707.842	80.63	
2843	197	B区	IV b	剥片	チャート			4	ST91	33.0	39.6	8.8	9.5			-34288.710	-33707.090	80.61	
2844	198	B区	IV b	石核	チャート			4	ST91	63.6	50.0	28.6	69.3			-34288.949	-33708.440	80.57	
2845	199	B区	IV b	剥片	チャート	Ch-13		4	ST91	22.5	25.8	7.8	3.2	78 a	○	-34287.874	-33708.860	80.60	
2849	203	B区	IV b	剥片	チャート	Ch-13		4	ST91	60.2	24.7	11.5	9.5	78 c	○	-34287.688	-33709.483	80.58	
2853	207	B区	IV b	剥片	チャート	Ch-17		4	ST91	17.7	26.8	13.1	7.1	単		-34289.326	-33705.278	80.48	
2855	209	B区	IV b	剥片	チャート			4	ST91	17.7	13.1	2.2	0.5			-34288.123	-33705.516	80.60	
3225	579	B区	IV b	剥片	緑色凝灰岩			6	ST98	29.0	25.0	4.9	2.2			-34295.865	-33694.285	80.66	
3227	581	B区	IV a	剥片	チャート			6	ST98	27.7	26.8	13.7	9.9			-34293.038	-33695.254	81.03	
3229	583	B区	IV a	スクレイパー	緑色凝灰岩	Ho-1		5	ST97	47.7	30.4	11.9	17.1	81 b	○	-34294.779	-33701.259	81.02	154 b
3230	584	B区	IV a	剥片	緑色凝灰岩	Ho-1		5	ST97	42.9	40.8	10.7	17.3	80 b	○	-34294.681	-33701.499	80.89	
3231	585	B区	IV a	スクレイパー	緑色凝灰岩	Ho-1		5	ST97	55.0	36.4	18.9	40.6	81 a	○	-34294.771	-33701.726	80.86	154 a
3232	586	B区	IV a	スクレイパー	緑色凝灰岩	Ho-1		5	ST97	53.6	50.6	21.4	44.3	80 a	○	-34294.864	-33701.939	80.88	152
3233	587	B区	IV b	剥片	緑色凝灰岩	Ho-1		5	ST97	40.8	38.6	17.2	25.2	単		-34294.535	-33701.866	80.76	
3234	588	B区	IV a	剥片	頁岩			5	ST97	63.3	57.8	13.2	33.3			-34295.869	-33702.516	80.92	
4331	1	D区	IV a	尖頭器	凝灰岩		外	外		96.0	34.9	6.4	14.3		○	-34273.613	-33701.759	80.81	161

報告書抄録

ふりがな	たまらんざかいせき 4							
書名	多摩蘭坂遺跡IV							
副書名	東京建物株式会社共同住宅建設に伴う事前調査							
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	国分寺遺跡調査団 (団長 吉田格) 中村真理 上村昌男							
編集機関	国分寺市遺跡調査会							
所在地	〒185-8501 東京都国分寺市戸倉1丁目6-1 国分寺市教育委員会内 TEL042-325-0111							
発行年月日	2003年3月25日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	。 。 。	。 。 。			
たまらんざかいせき 多摩蘭坂遺跡	東京都 国分寺市 内藤	13-214	7	35° 41' 20" ～ 35° 41' 32"	139° 27' 46" ～ 139° 27' 46"	平成13年 11月19日 ～ 平成14年 2月28日	1,773 m ²	共同住宅 建設に伴う 事前調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
多摩蘭坂遺跡	包蔵地	旧石器時代	ブロック26ヶ所 礫群46基 炭化物集中地点2基	ナイフ形石器 基部加工石器 楔形石器 ノッチ 鋸歯縁石器 斧形石器 礫器	台形様石器 尖頭器 スクレイパー 錐形石器 石刃 斧形石器素材 敲石	X層～IV層 で4文化層を 検出		



多摩蘭坂遺跡 近景 (西から)



A区 近景 (南から)



A区発掘作業風景



B区発掘作業風景



F区西壁 土層層序 (東から)



A区第1文化層 遺物出土状況 (南から)



A区第1文化層 土層層序および
遺物出土状況 (北から)



A区第1文化層 遺物出土状況 (西から)



A区第1文化層 遺物出土状況 (南から)



B区第1文化層 遺物出土状況 (北から)



B区第1文化層 遺物出土状況 (東から)



C区第1文化層 遺物出土状況 (北から)



A区炭化物集中2 (西から)



A区第3文化層 6・7号礫群 出土状況 (東から)



A区第3文化層 13号礫群 出土状況 (東から)



B区第3文化層 33号礫群 出土状況 (南から)



B区第3文化層 37号礫群 出土状況 (南から)



B区第3文化層 30号礫群 出土状況 (東から)



B区第3文化層 31号礫群 出土状況 (南から)



D区第3文化層 13号ブロック 出土状況 (東から)



D区第3文化層 28号礫群 出土状況 (南から)



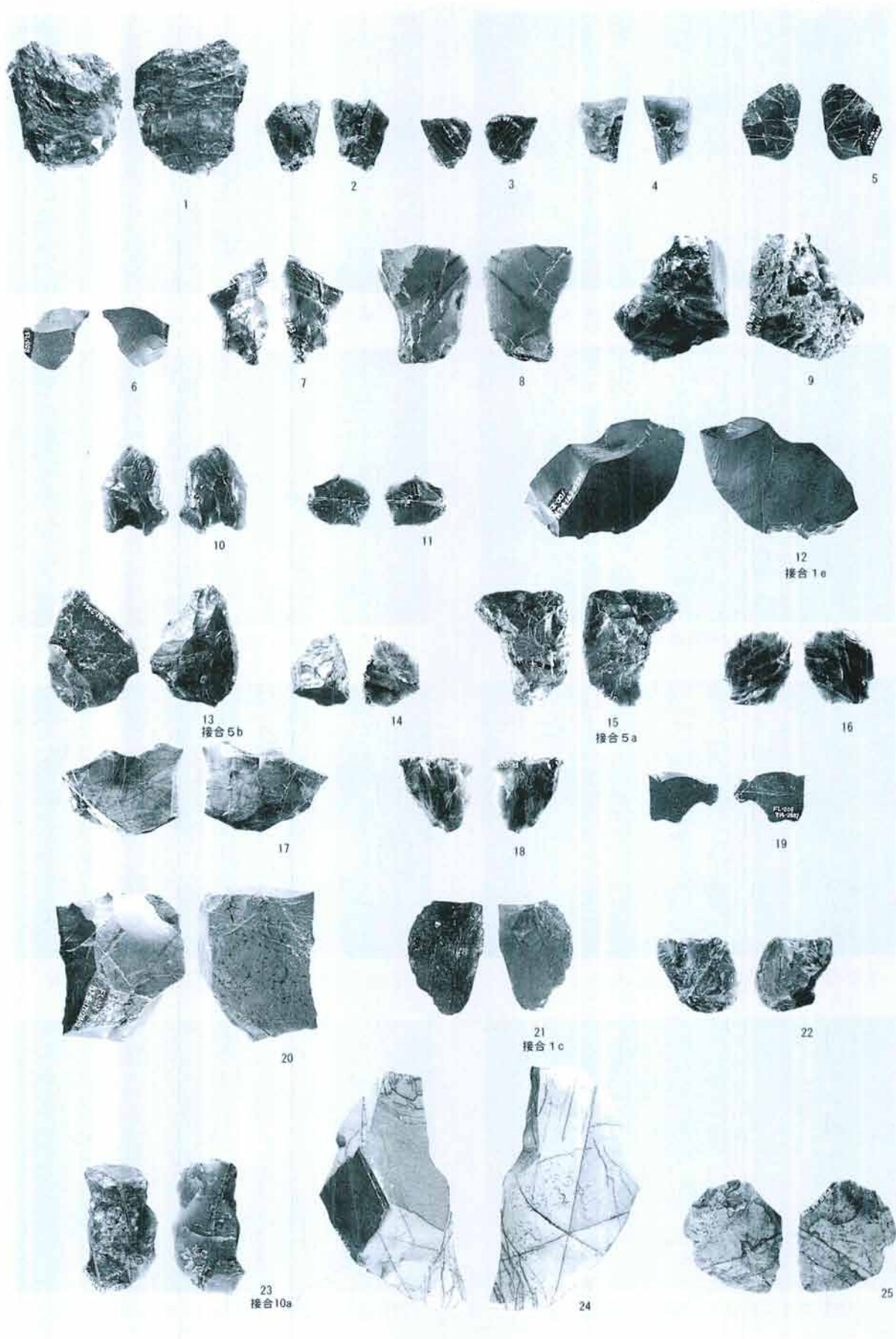
A区第4文化層 1~3号礫群 出土状況 (西から)



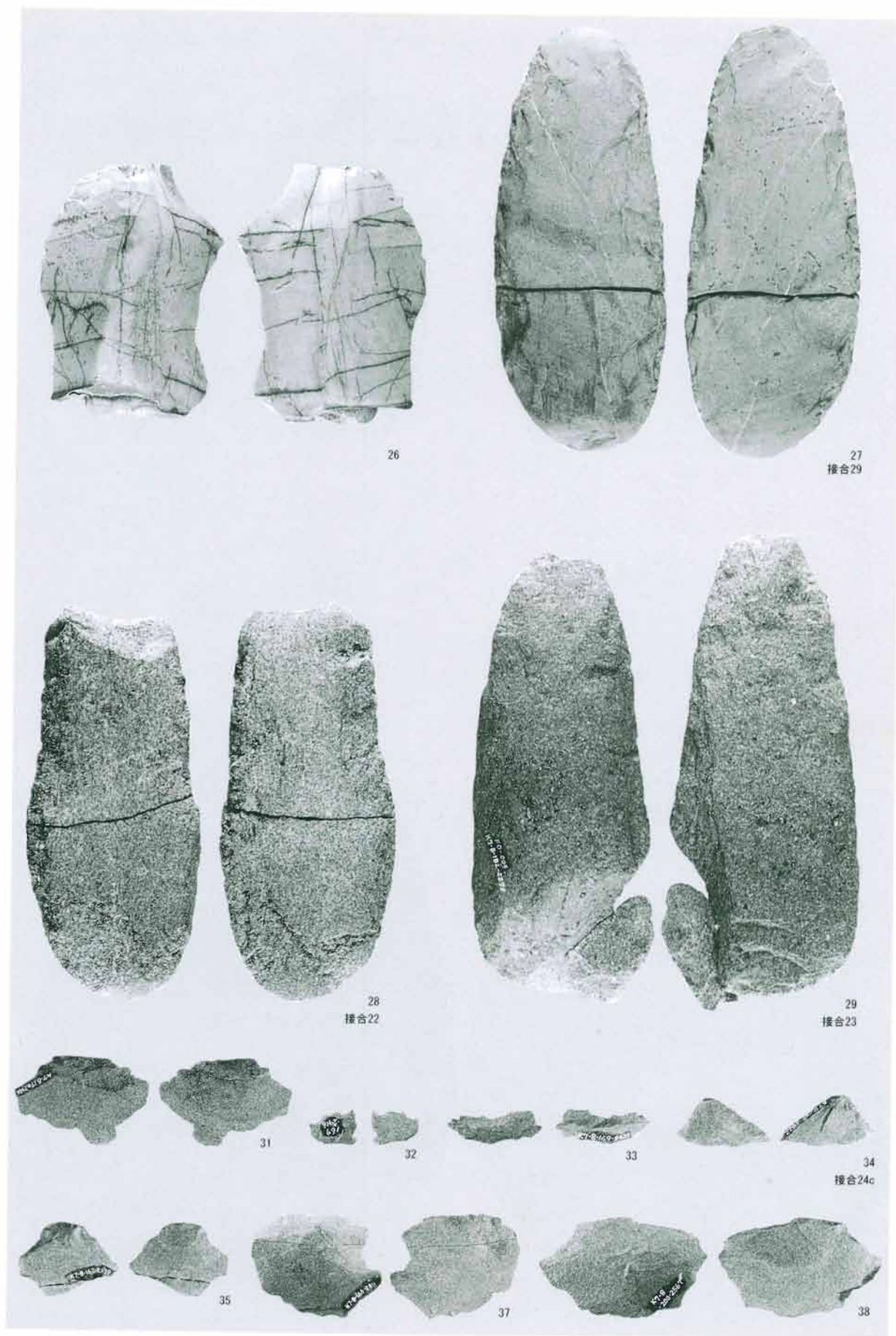
B区第4文化層 出土状況 (北から)



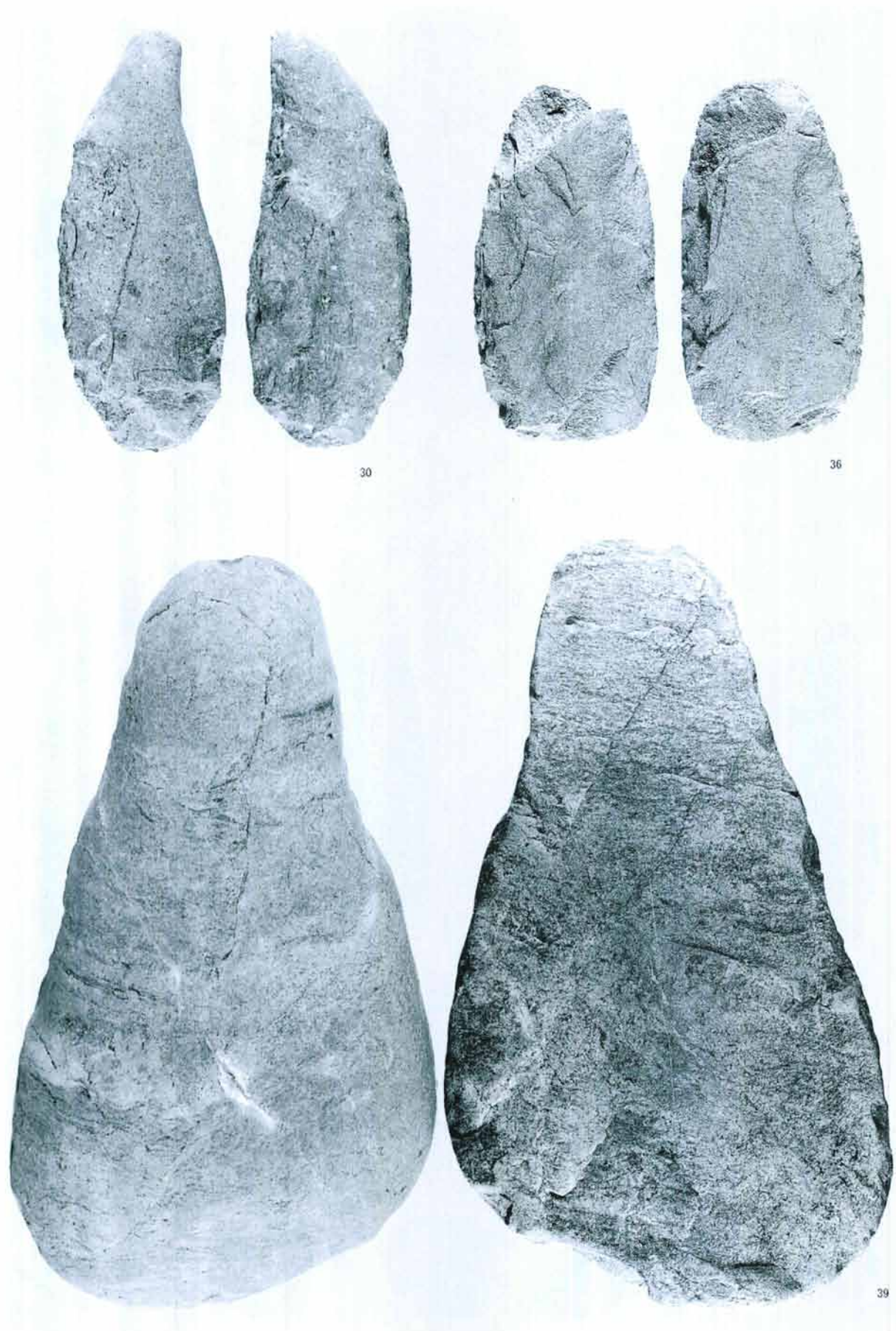
D区第4文化層 尖頭器出土状況 (東から)



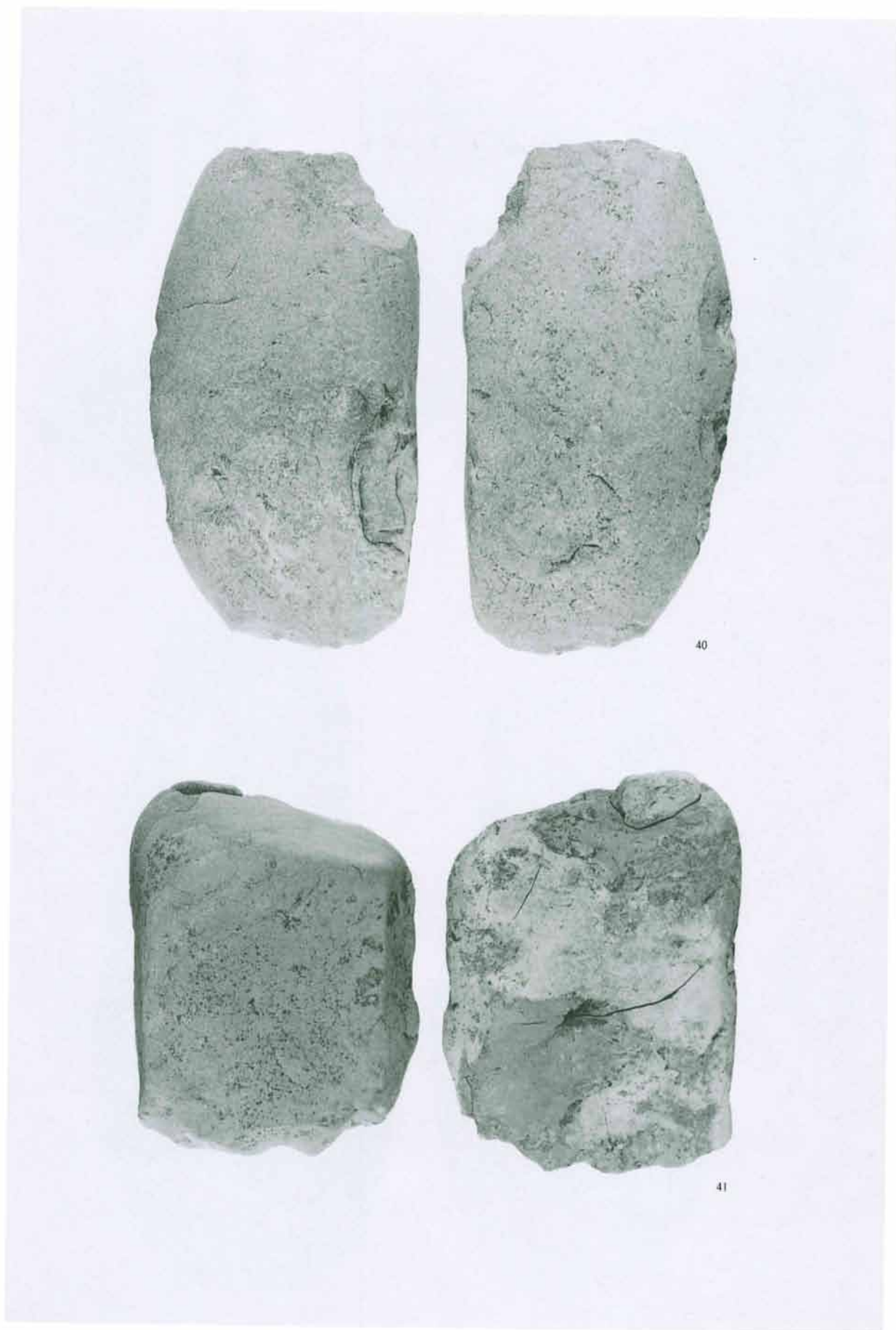
第1文化層A区出土石器 (I)



第1文化層A区出土石器(2)



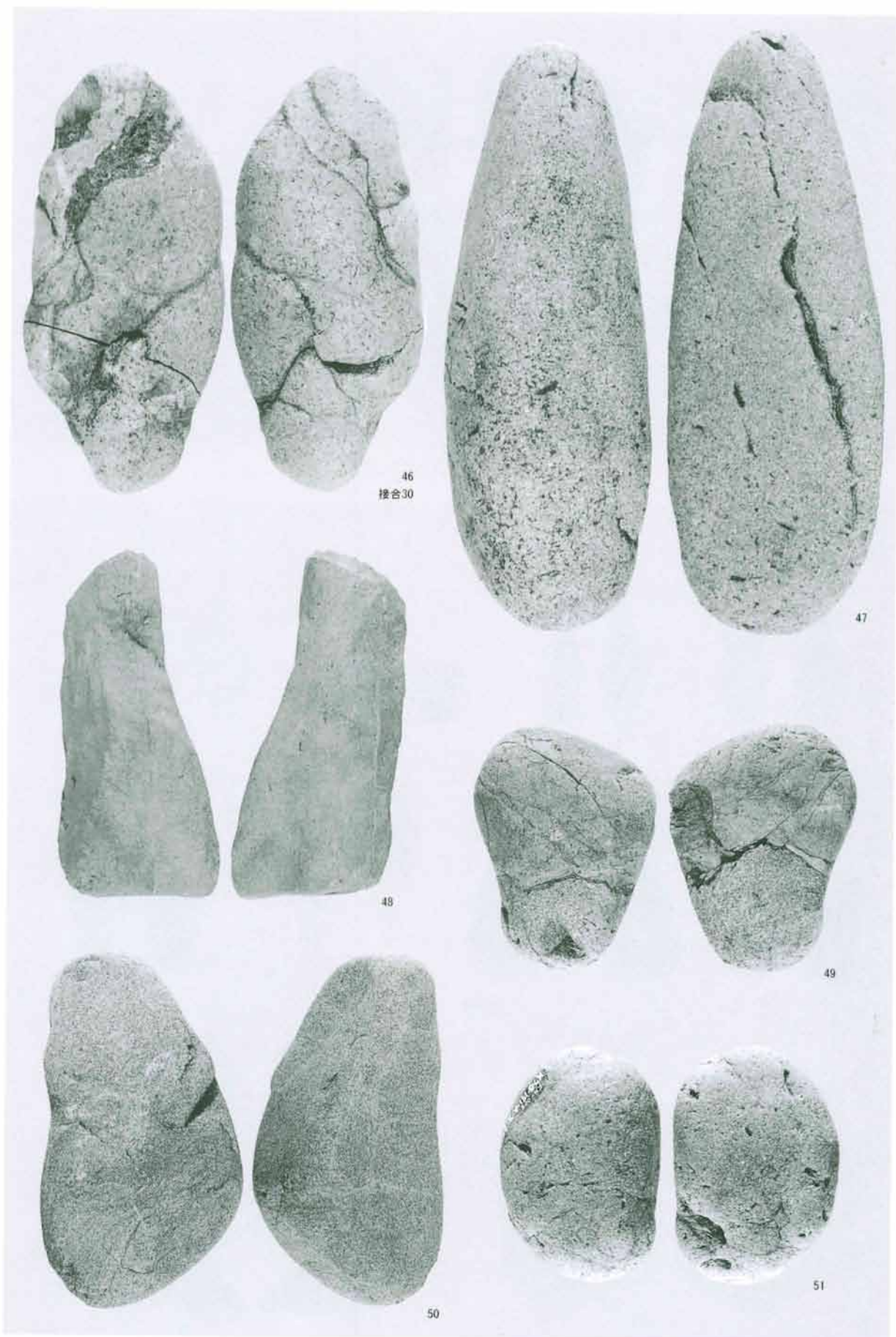
第1文化層A区出土石器(3)



第1文化層A区出土石器 (4)



第1文化層A区出土石器(5)



第1文化層A区出土石器 (6)



52

第1文化層A区出土石器 (7)



53



54



55



56



57



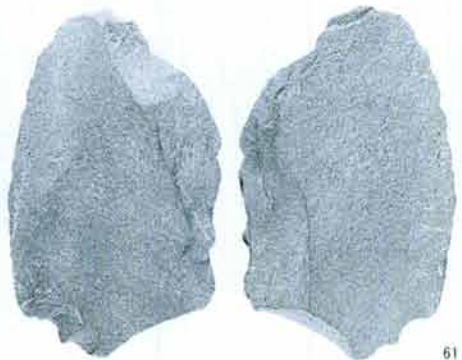
58
接合45d



59



60



61

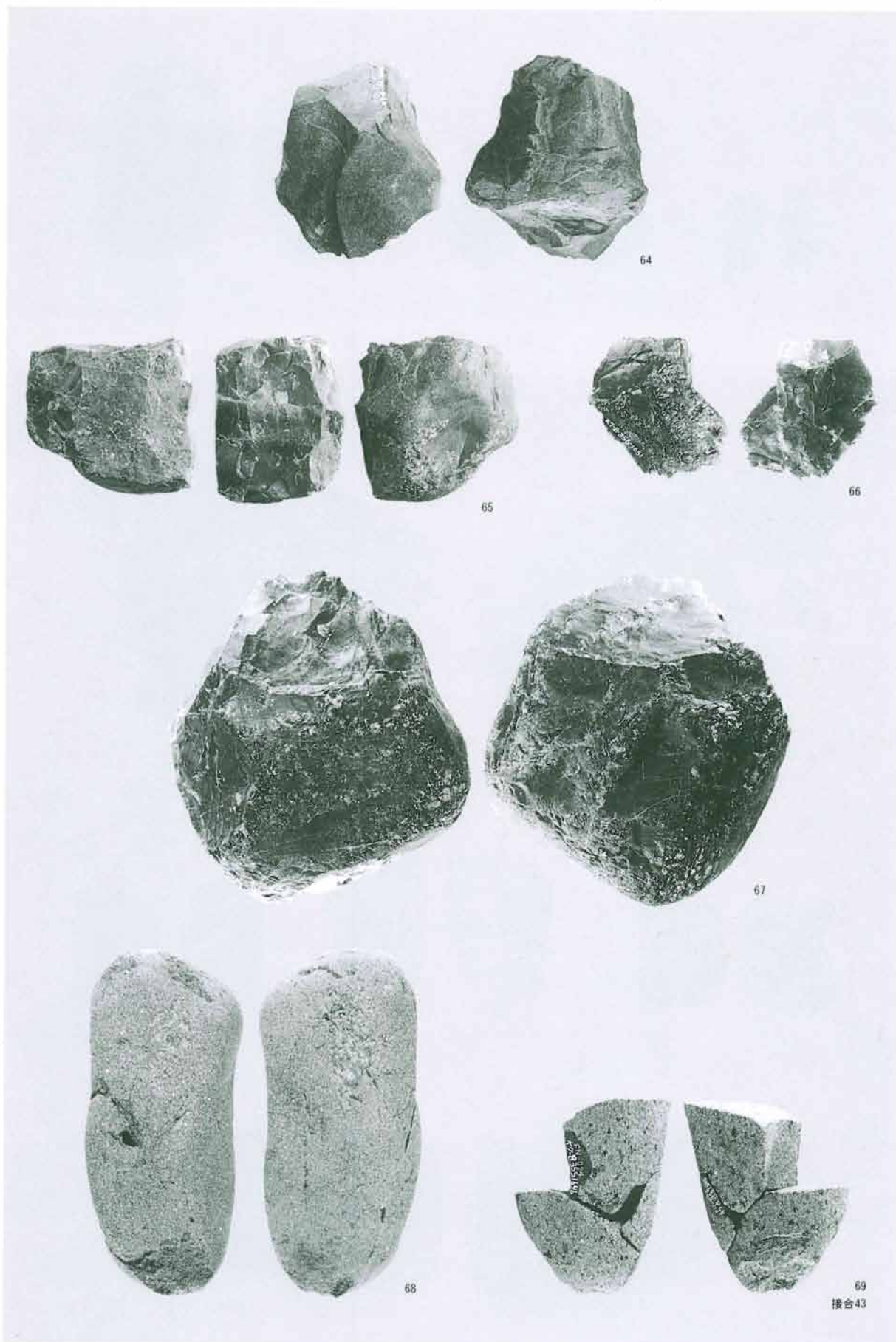


62
接合42b

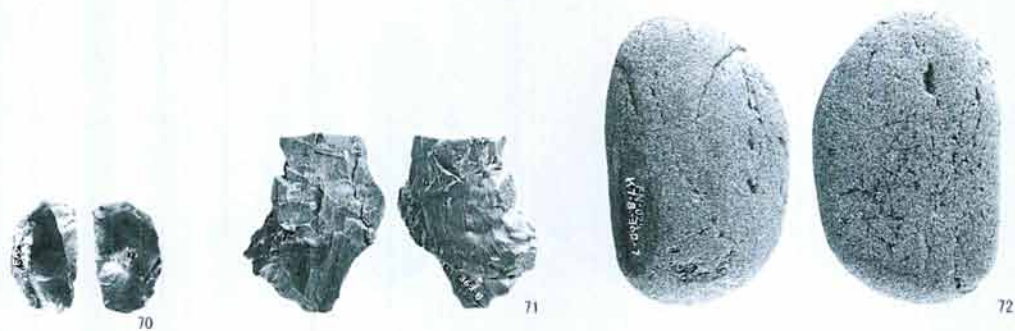


63

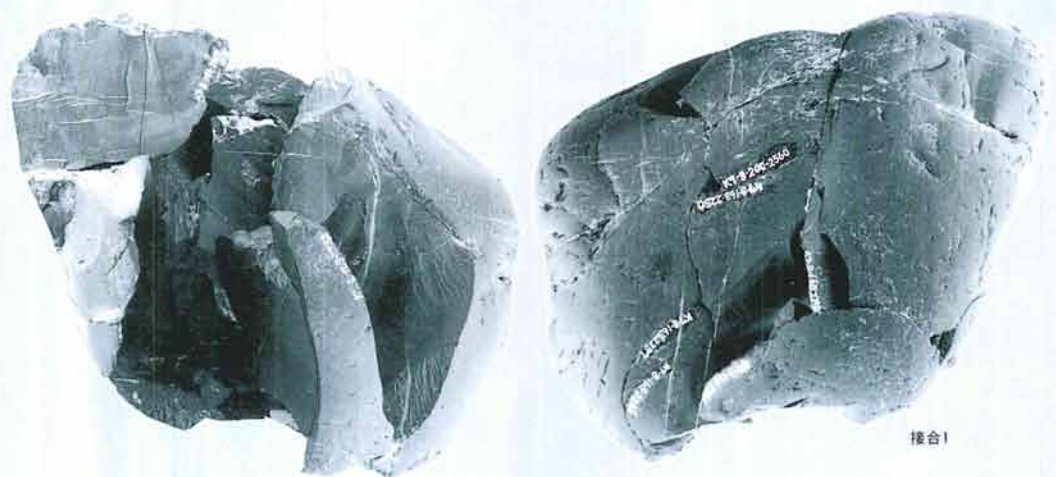
第1文化層B区出土石器 (1)



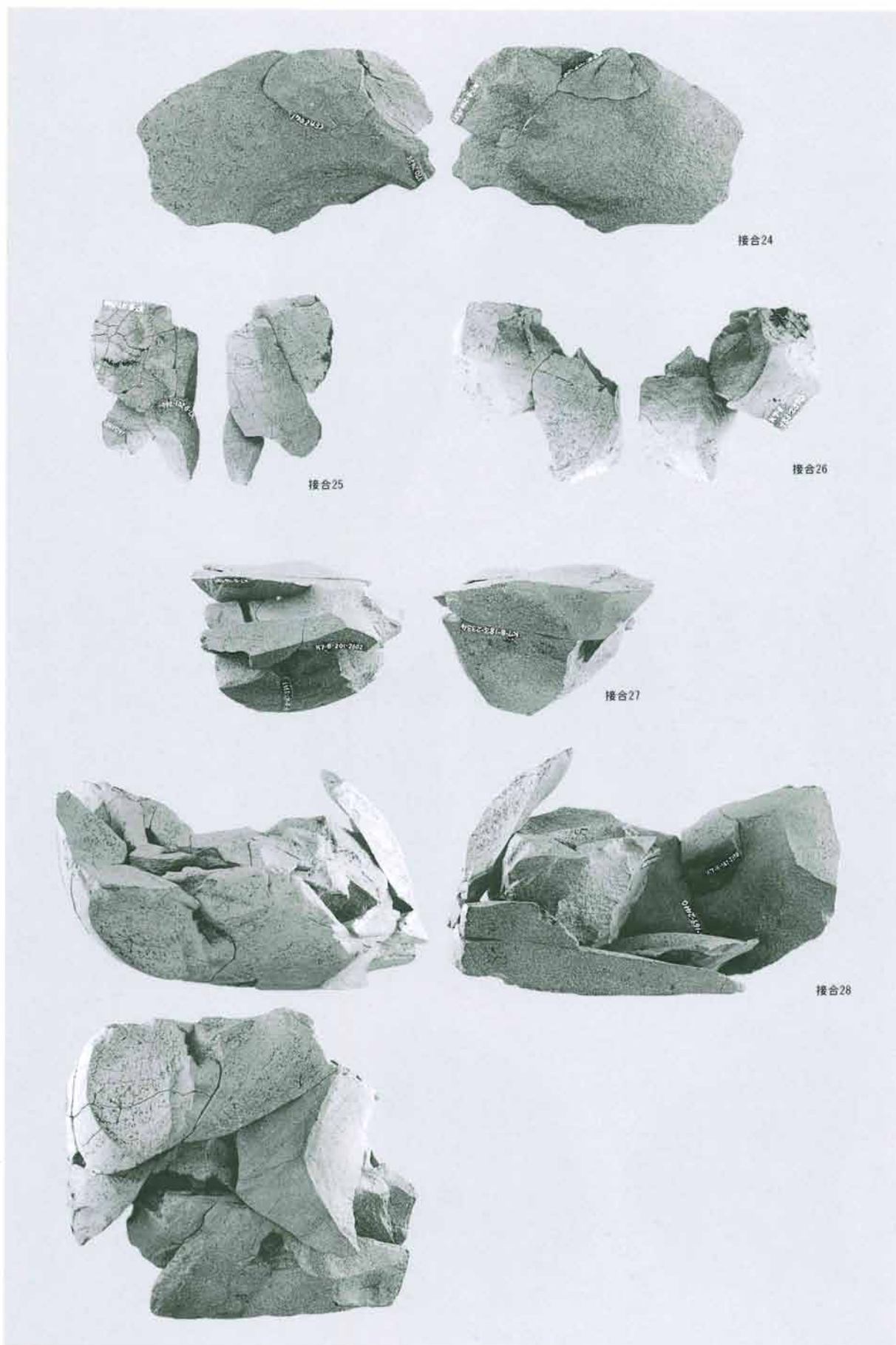
第1文化層B区出土石器(2)



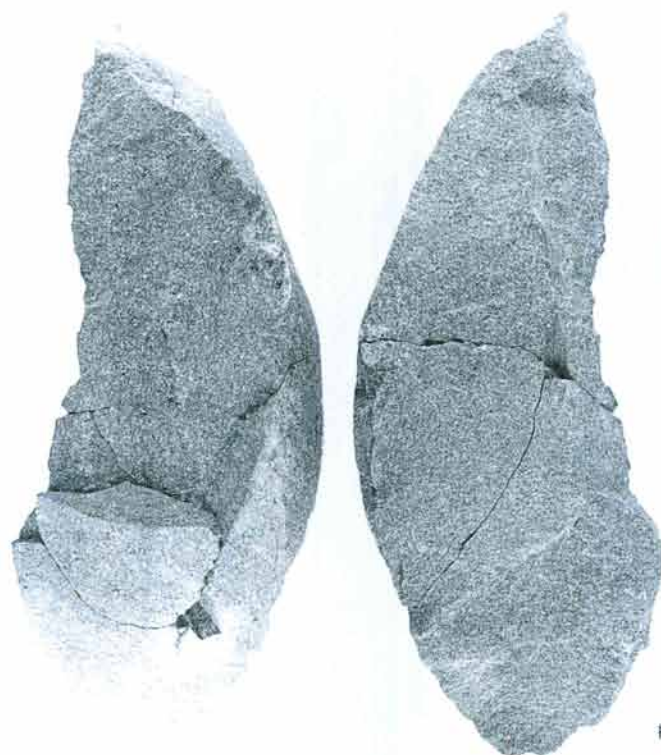
第1文化層C区出土石器



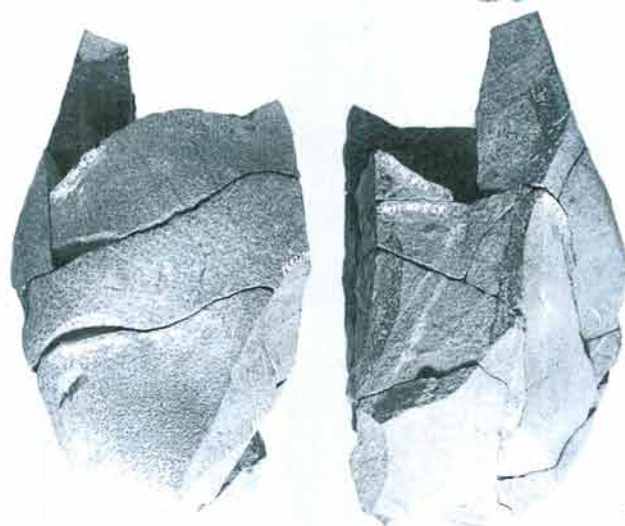
第1文化層A区接合資料(1)



第1文化層A区接合資料(2)



接合36



接合38

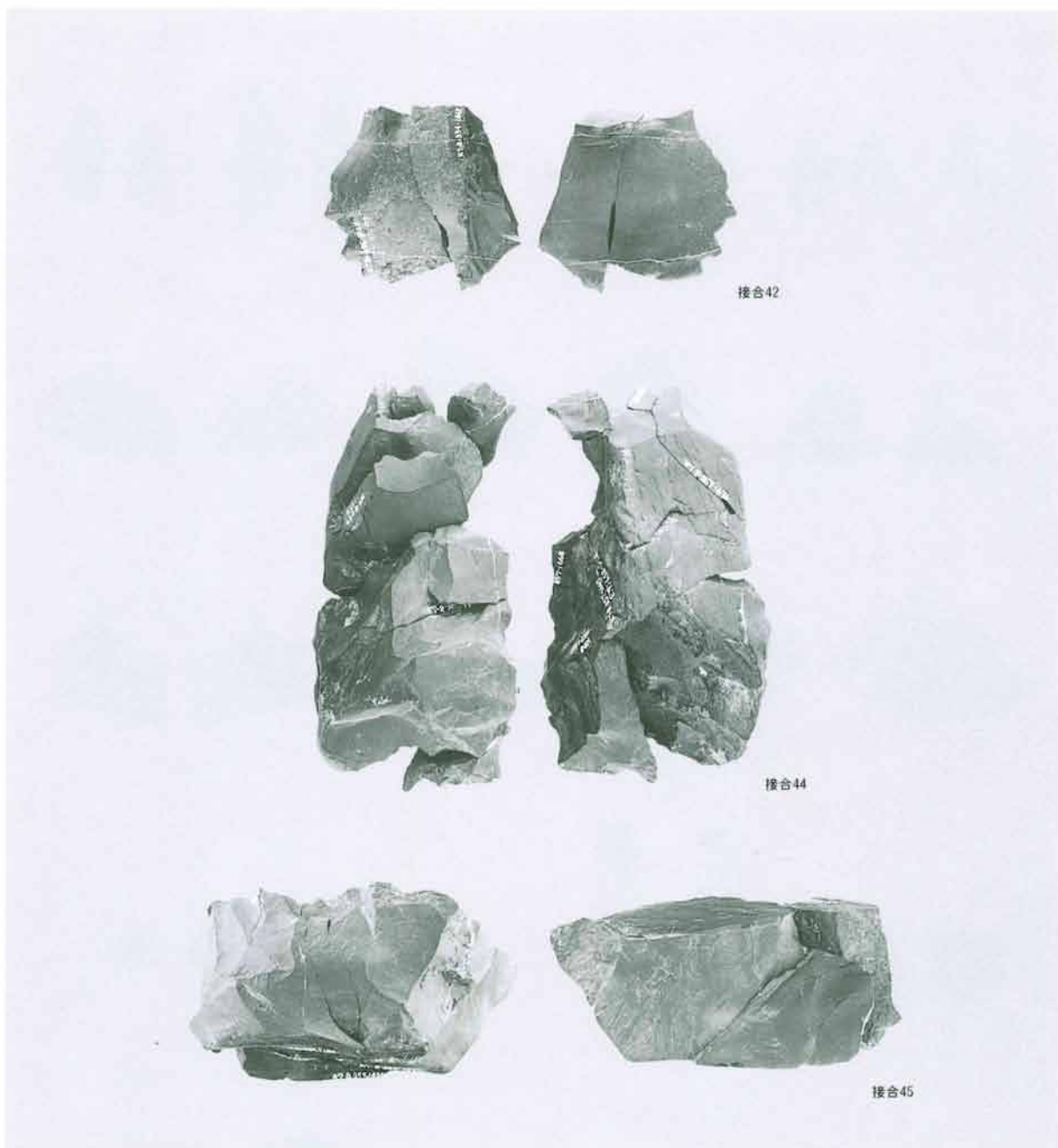


接合39



接合40

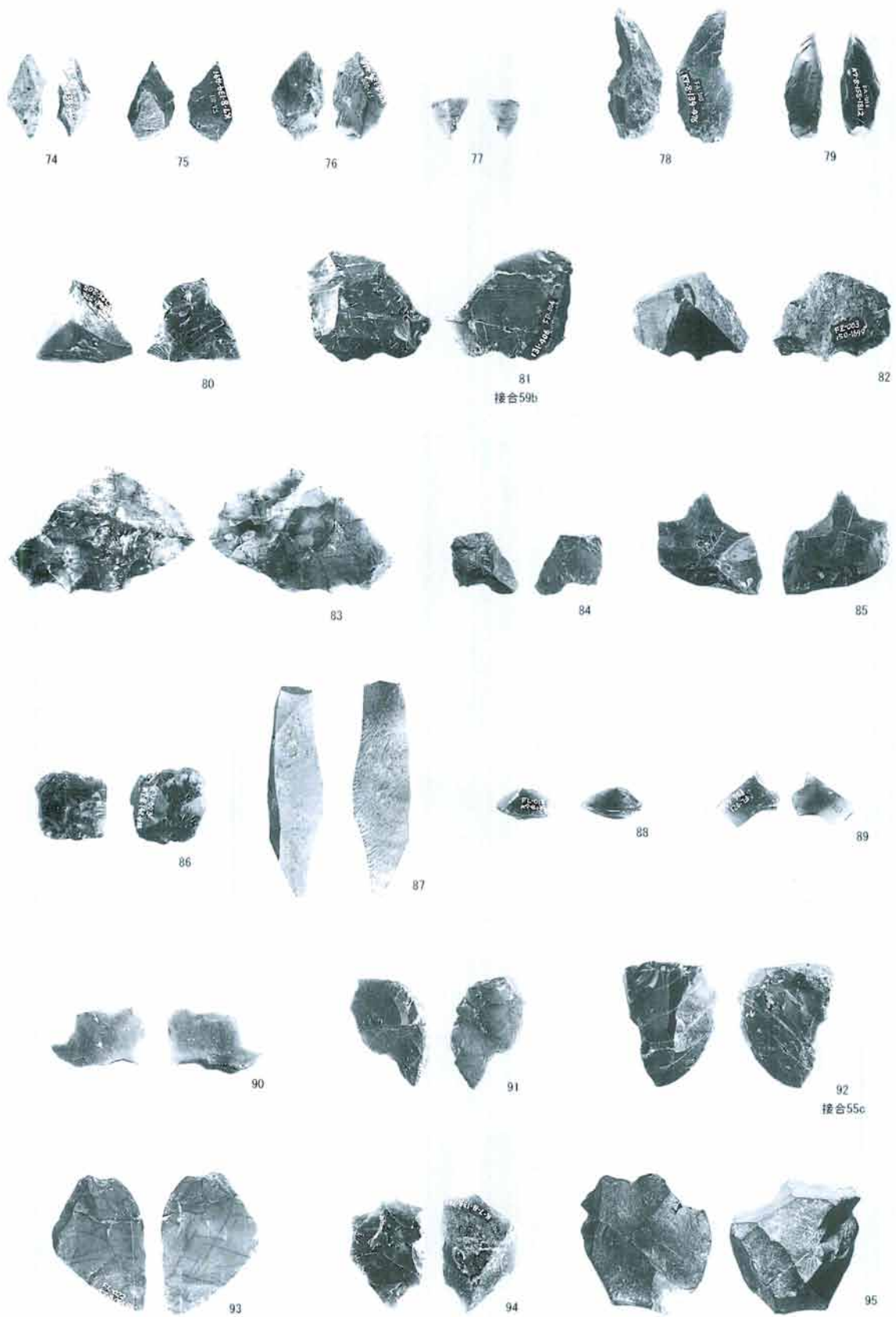
第1文化層A区接合資料(3)



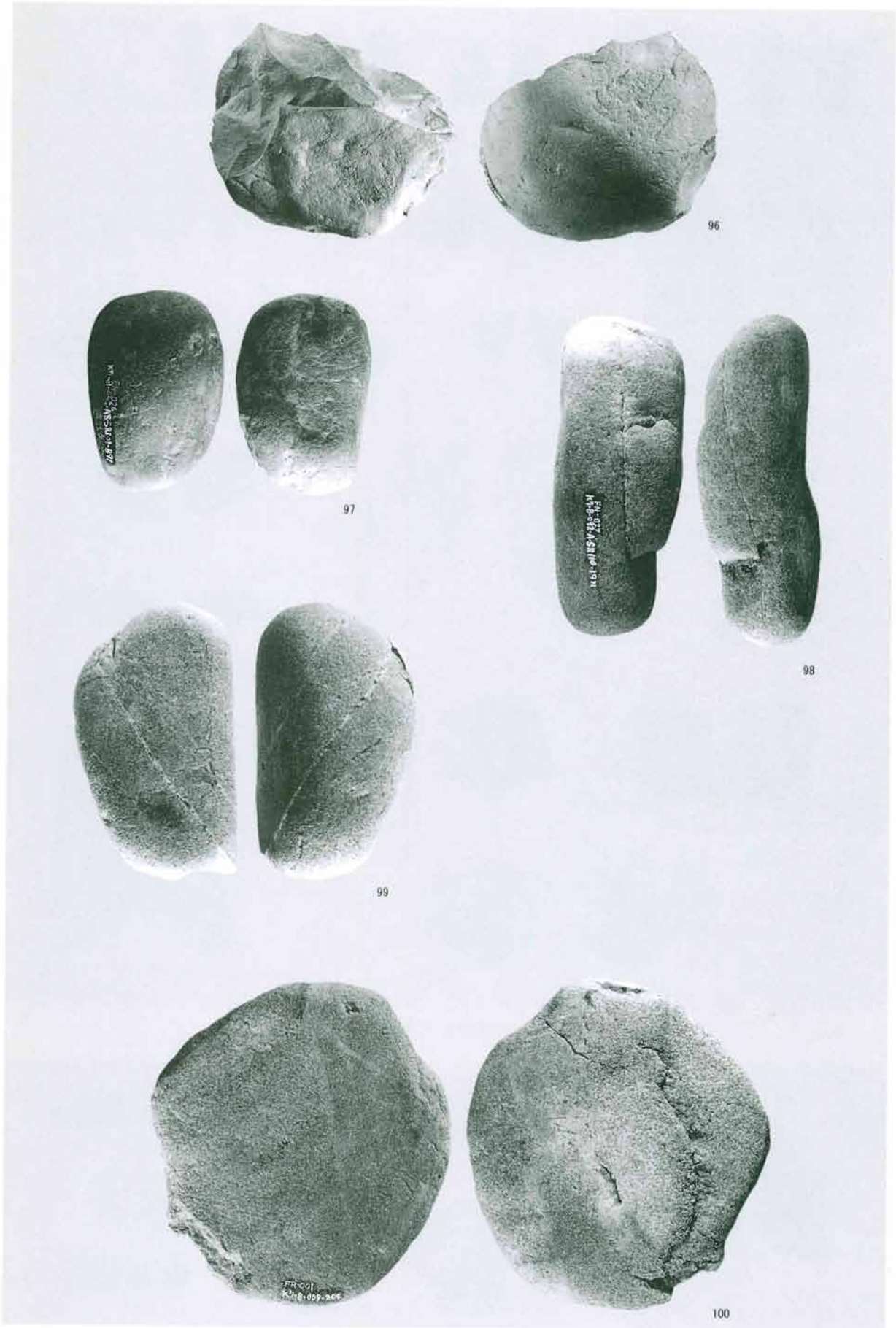
第1文化層B区接合資料



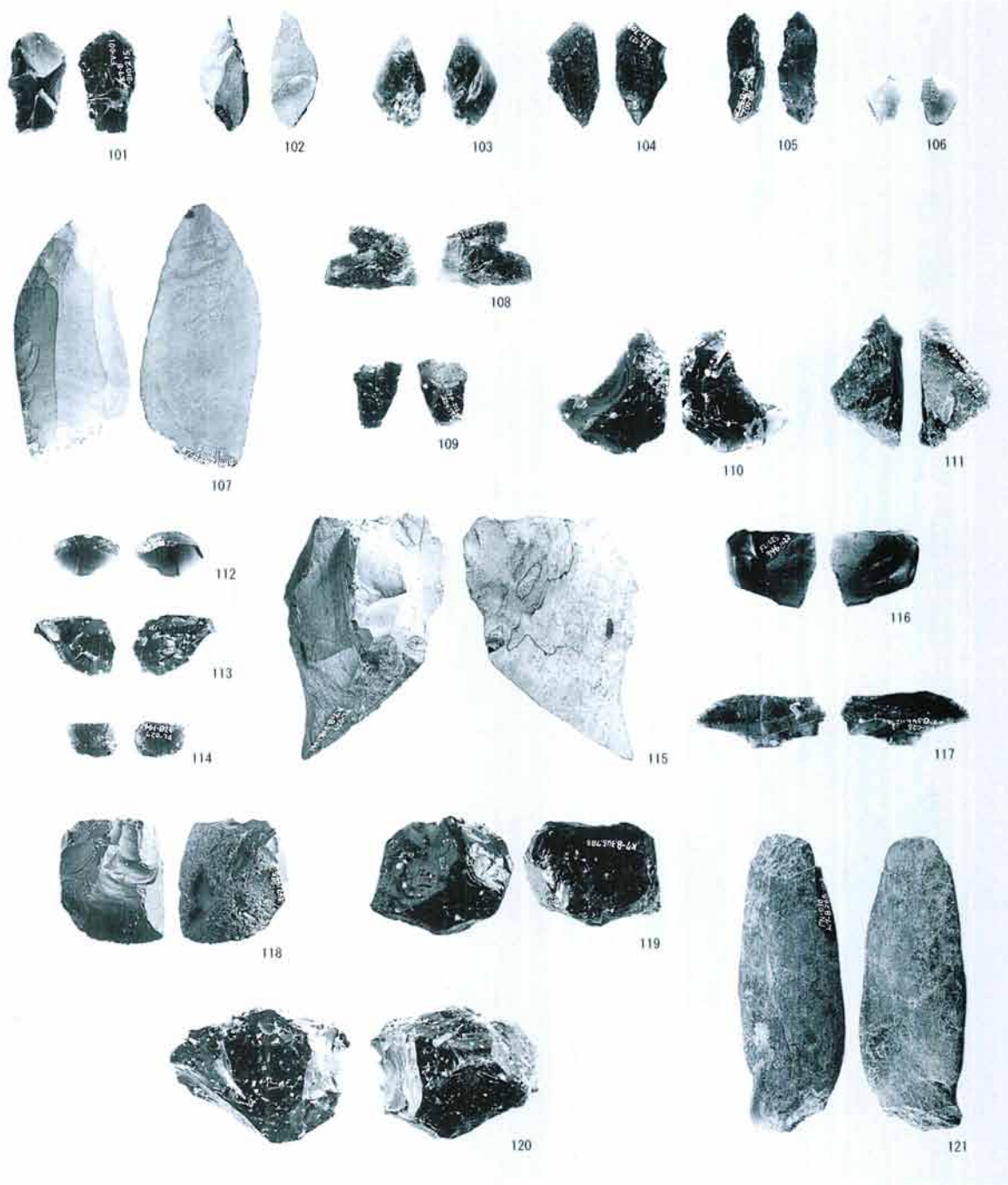
第2文化層F区出土石器



第3文化層A区出土石器 (I)



第3文化層A区出土石器 (2)

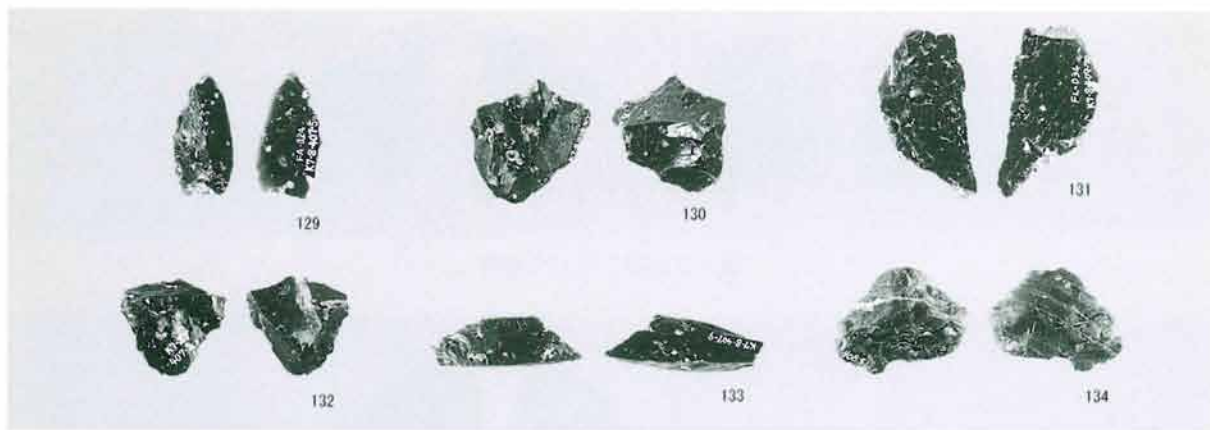


第3文化層B区出土石器

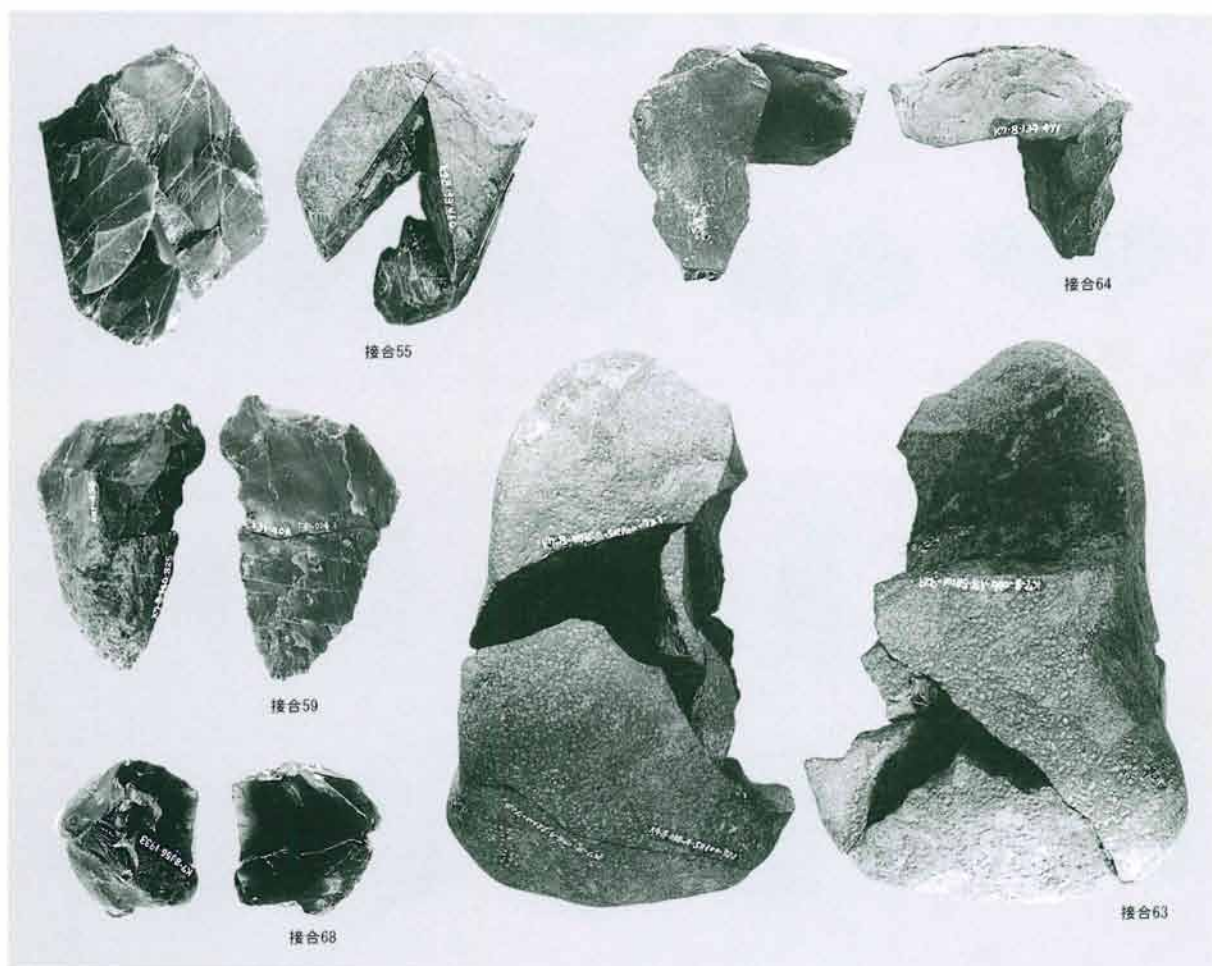


第3文化層C区出土石器

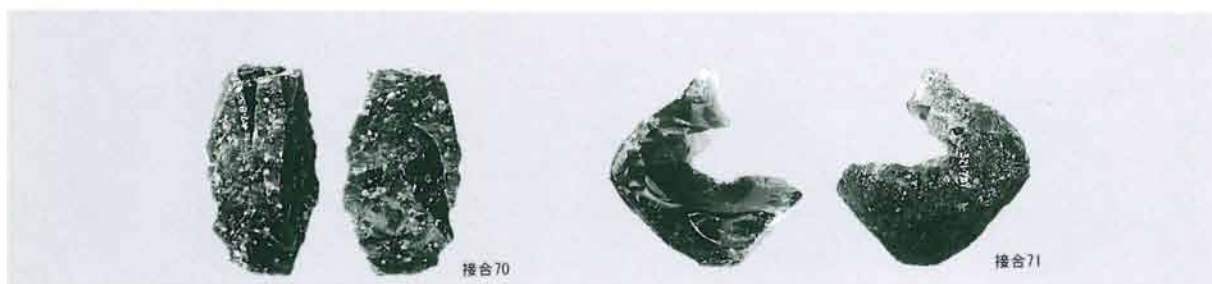
第3文化層D区出土石器



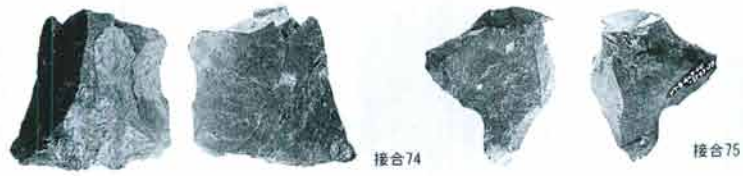
第3文化層F区出土石器



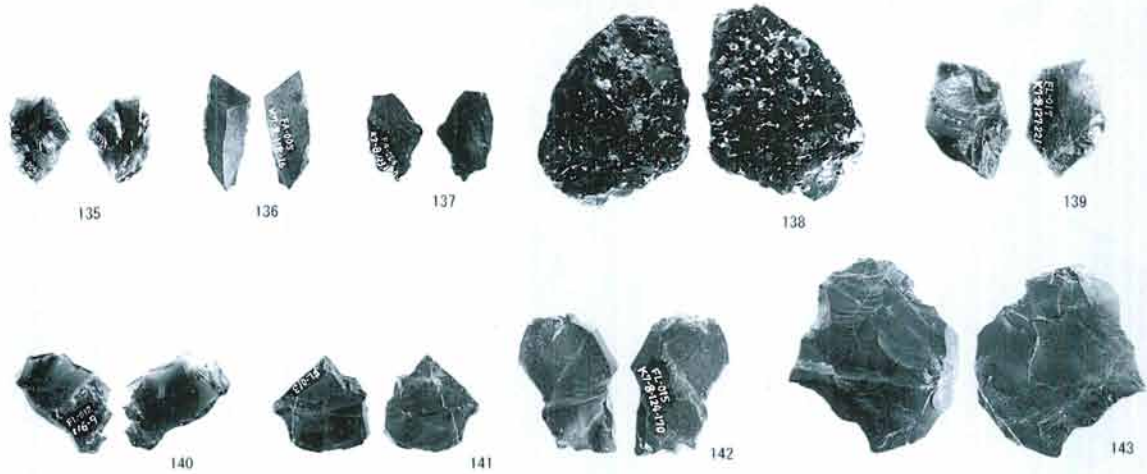
第3文化層A区接合資料



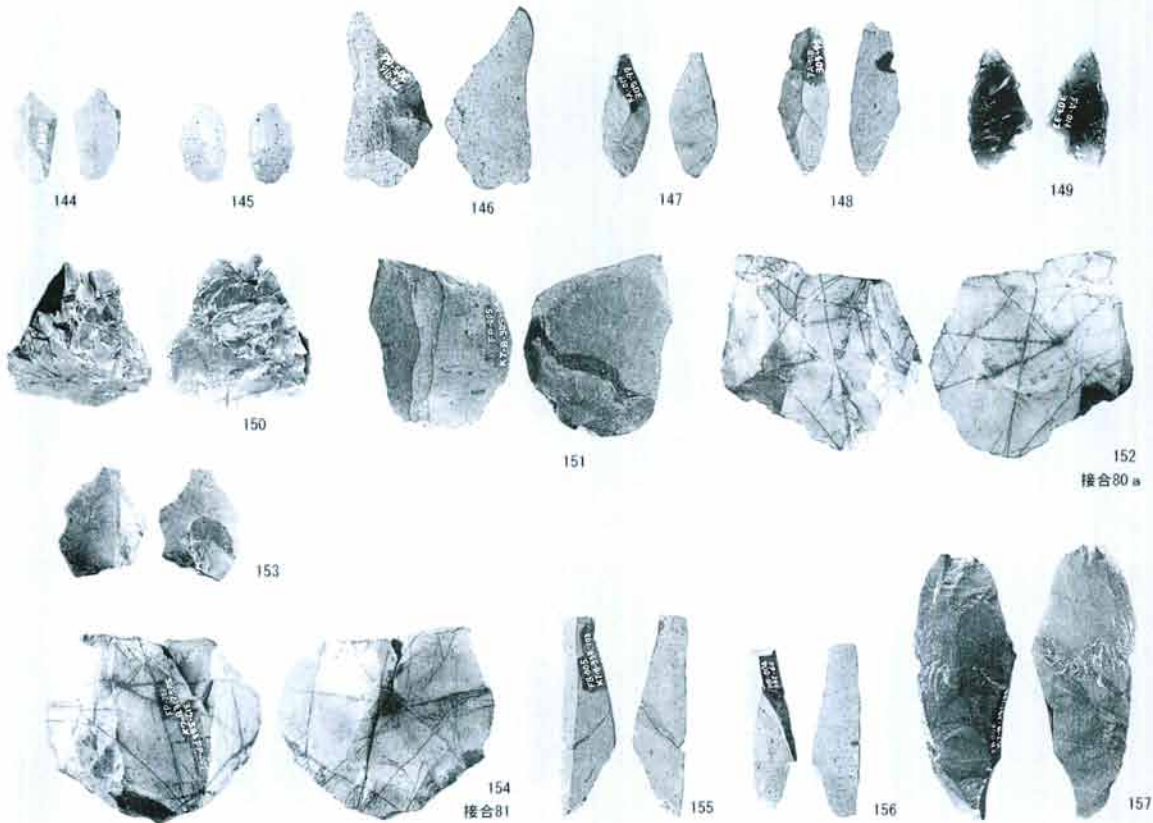
第3文化層B区接合資料



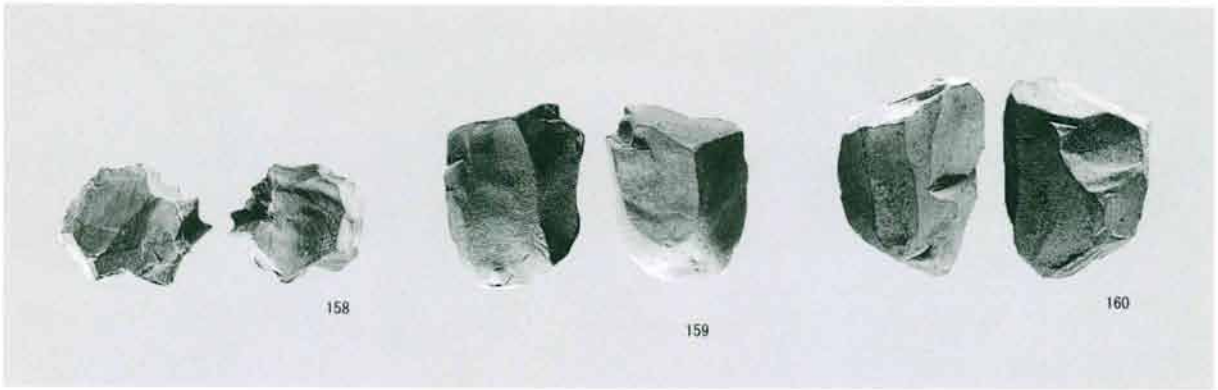
第3文化層F区接合資料



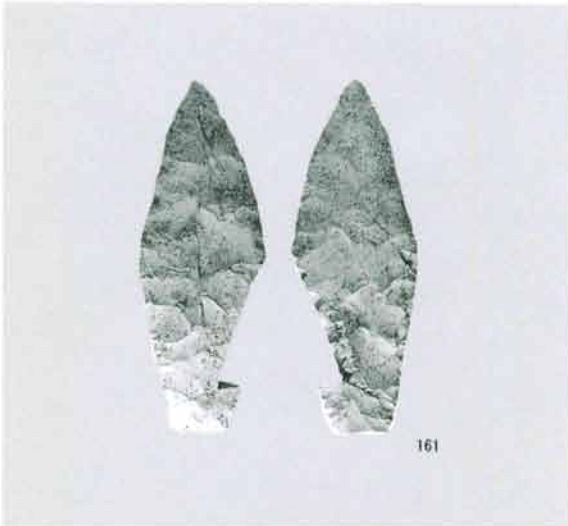
第4文化層A区出土石器



第4文化層B区出土石器 (1)



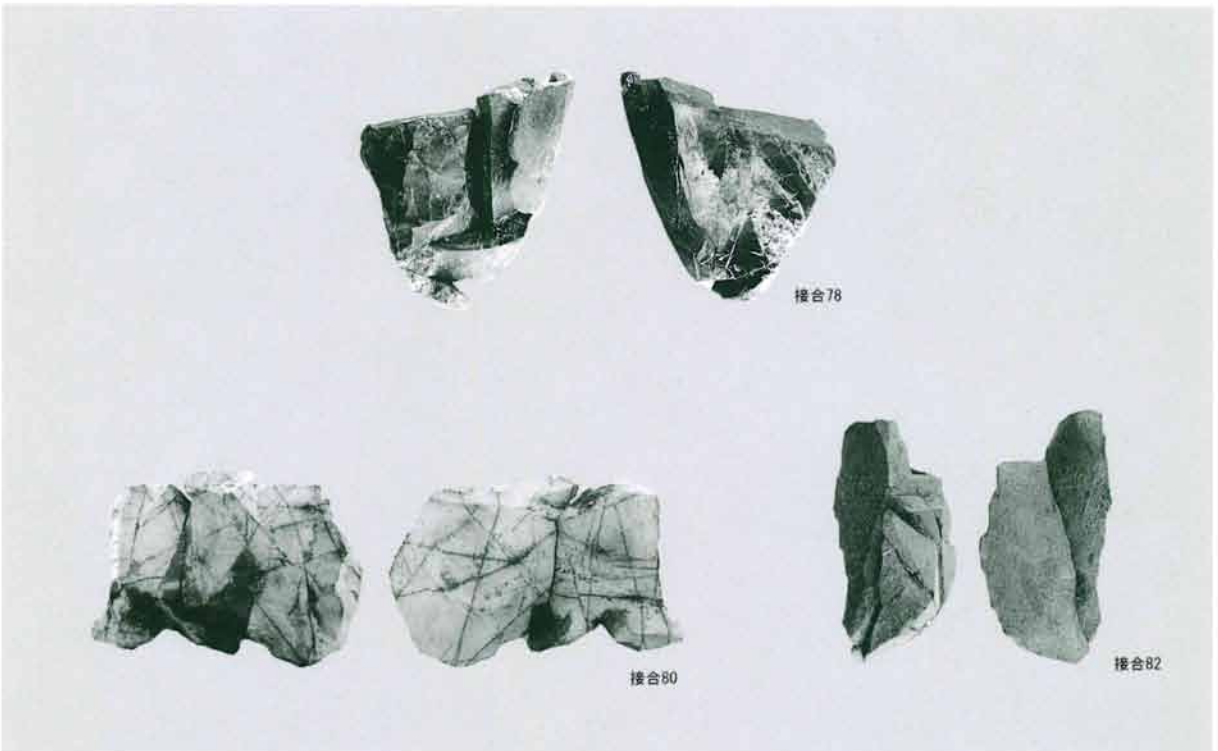
第4文化層B区出土石器(2)



第4文化層D区出土石器



第4文化層A区接合資料



第4文化層B区接合資料

多摩蘭坂遺跡Ⅳ

—東京建物株式会社共同住宅建設に伴う事前調査—

発行日 第1刷 平成15年3月25日

編著者 国分寺遺跡調査団

© (団長 吉田 格)

発行所 国分寺市遺跡調査会

〒185-8501 国分寺市戸倉1-6-1

TEL 0423-25-0111 (代表)

国分寺市教育委員会内

印刷 株式会社 東プリ

〒144-0052 東京都大田区蒲田4-41-11

令和4年(2022)3月9日 デジタル版作成